ミーム言語が現実を作る

OTW　カのメメジセンター、コロナ、!

自叙伝 | オットー・シモライト (Otto Thimoreit)

2020年からの人類の歴史、

すでに起きていることとその先にあることについて…

力の中心、コロナ＆私 ~ 2020年 ~ 」の様子

自社出版社とアマゾン

グラフィックブックのタイトル by アレックス・グレイ

最初にお読みください：次世代の聖書、どちらも私が 5 人の子供たちのために書いた本です。

第3版 2020年11月1日

この美しく神秘的な世界で生きていることがどれほど素晴らしいことか。並外れた人たちと一緒に、魂のこの力、魂の天才、そして体のパフォーマンスがとても印象的でした。成功は自然の中で、宇宙の中で、私たちが示すべきものを持っている世界中で目に見えています。実際には誰なんだろう？怪物、天使、よく同じことを自問自答するのではないでしょうか？はい、私たちは、人類の歴史の始まりから、その文化的な歴史、そして私たちは常に真実ではないものを受け取る...
親愛なる母よ、あなたの祖母はよく言っていた、「ああ、私たちはそれをとてもうまく、美しく手に入れることができた、ただ私たちは一緒に引っ張っていかなければならないが、私たちの感情と魂の侮辱は、単にそれを許さない...」と。 彼女は自分の家族だけでなく、人類そのものを意味していました。彼らがどのように自分自身を扱い、お互いに、そして地球に何をしているのか。
しかし、私たち人間の子供たちは、すべて同じ宇宙船に座っていて、お互いのためにそこにいるべきであり、本当の問題を解決する...私たちは、知識と資源が私たちのすべてに利用可能であるため、それを行うことができます。

"どうやって最初から始めればいいのか？" "終わりのことしか考えられないのに"

私が何を悩んでいるか知っていますか？
トラウマはエピジェネティックに呪いのように家族の世代から次の世代へと受け継がれていく......!
両親や祖父母がドイツの制度の奴隷だったこと。カイザーライヒの下の東プロイセン、NACI帝国、連合国占領下のFRGでなぜ故郷を失わなければならなかったのか、デュッセルドルフでイギリス兵に飢え、略奪され、強姦されなければならなかったのか、なぜ隣人に裏切られ、裏切られたのか、父方の何人かはロシアの強制収容所（KZ）で投獄され、殺害され、餓死し、ロシアの捕虜になって生き残ったのです。
すべては、祖国、神、天皇、指導者、首相という栄光のイデオロギーのために......これらは、私が自分の体で先祖のこれらの経験を経験したことがないので、単に共感することができないにもかかわらず、今日でもしばしば米国帝国主義の中で私の心を傷つける悲劇である。
母や母が父や父よりも収入が少なくても許されていたこと、それは今でもそうです。つい最近（1997年以降）、婚姻中の強姦や子供への殴打が法律で罰せられるようになったばかりだというのに、それが悪いことだということを以前から理解していなかったのだろうか。
女性は自由で平等ではないこと、それはまだ明白である - 私は解釈することなく、あるいはそれらを非難することなく、これらの単純な事実を知覚しようとすると、それはどこにもつながりませんし、知性の兆候ではありません、JidduKrishnamurtiを書いていますが、それは有罪の人を非難しないように私のためにとても難しいです！それは、私が罪を犯した人を非難しないようにすることができます。
70年前、私たちはこの国で飢えた人々を養わなければならなかったし、今日、私たちはsated人を空腹にしなければならない - 広告を通じて - それの背後にある目的は何ですか？
狂っている！

信念やイデオロギーのために自分を犠牲にし、政策や雇用主のために自分を奴隷にしてしまうのは、多くの人にとってとても理解しがたいことです。まるで遠隔操作されているかのように、生物学的にも文化的にも洗脳されているかのように、特に今は世界的なコロナパンデミックで、これらのトラウマは後天的に受け継がれているのでしょうか？
これで考え始めました。
そう、このジレンマ、この悲劇......それは今日も私たちの家族の伝記の中で実行され、あなたの子供たちはほとんどの場合、あなた自身の子供たちにそれを渡すでしょう。
平和の願いは叶わないわ 私の生きている無垢な11歳の双子よ 全てが以前のように戻るべきよ おばあちゃんとおじいちゃんが生きていて お互いに愛し合っていた頃にね 私もアルゴリズミックの手錠が頭の中にある。
ジークムント・フロイトは正しく、私たちは自分の家の中では、主人ではないと書いています!
お母さんでも幼少期のトラウマは捨てられず、今に至るまで、両親のアフガニスタン戦争からの逃亡、父親からの性的虐待、オランダの実家からの逃亡、17歳で赤線地帯に入ったこと、これらすべてが彼女の魂を傷つけてきました。
また、私は自分自身にも多くの罪悪感を持っており、両親の死の責任の一端を担っており、両親が晒した危険性を全て明快に理解させることができず、他人や自分自身のEGO-ICHに報復の権利を適用しています。
私も幼少期に親から愛情や認められ、受け入れられていなかったので、自分の自尊心のなさを成功~お金と権力~で評価してもらい、その後親から認めてもらいたいという希望を持って再評価した

いと思っていました。
残念ながらそれは真実です：愛は買うことができません...ただ与えられるだけです。
少し前までは、裏切られたり、騙されたり、嘘をついたり、強盗に入られたり、先祖代々の家を警察に追い出されたり、気分を害したり、無気力な長女に追い払われたりしていなかったのに。　彼女は、我々はすべてのように、彼女の両親の剥奪から、愛、認識、受け入れのための絶望的な叫びから、彼女は苦しんでいる...これはあなたの傷ついた子供のモードは、スキーマ療法によると、トラウマです　そして、彼女はまだ思春期で、ドーパミンがまだキックインしていない、すべての10代の若者が24歳まで我慢しなければならないこと - だから、彼女は彼女のMEと彼女の遺産を簡単に持っていません...！彼女はそれを持っています。
しかし、200年前ならば、気が狂っているか、呪われているか、悪魔に憑依されていると宣言されていたでしょう！ しかし、彼女は世界の何よりも私を愛しているだけで......!
これが恒久的なストレスを生み、それが人間が調和して生きられない理由なのです。
だから、家族のほとんどが依存性障害を持っているのは偶然ではありません、彼らは世界の人口の大多数と同じように、トラウマ、ストレス、恐怖から逃げています。

すべての戦争の原因が嘘だからだ
情緒的な世界、彼らは部分的に遺伝しています。
子供の頃に習った「からだ」について
霊感を受けて、精神は身体に影響を与えます

しかし、幼少期や思春期のドラマチックな記憶にうまく対処できるようになった人もいるので、例外もあります。何よりも、思いやりの心を育むことで、自分や他人を許すことを学びました。
ちょうど私の父が結婚の50年後に彼の妻によって彼の人生の終わりの直前に家から放り出されたように、警察（シュワルツバッハで）と、彼らは私に手錠をかけ、それはあまりにも彼の家だったし、それは違法だった....

私たちが共有してきた良い時も悪い時もすべては、両親の50年に及ぶ結婚生活の末の夫婦喧嘩、母方の遺言（...子供たちが私に最も恥ずかしい行動をして、私と一緒に暮らそうとしている...）、両親の800万ユーロの遺言についての私と異母姉との1年に及ぶ遺産相続争いなどが原因でした。私たちの子供たちの子供たち（相続人）のための家族の王朝の確保された将来と曽祖母＆曽OPIの夢は、最終的にすべてを裏切るために、不動産で設立された、本当にすべてのものは、我々は1つを持っていた...嫉妬、貪欲とお金のために、それに責任があり、誰が罰に値するのですか？

私は両親とあなたの命を救った時、何度か両親への愛を示しました。私は常に家族の利益を第一に考えることで、私の成熟と知恵をあなたに示しましたが、自己力学、混沌、そして私の知性の力は、家族に真の平和を作り出すのに十分に強くありませんでした。
裏切りも秘密の陰謀論も、傷ついた感情のせいで起こるんだ！
私は2X4メートルの小さな刑務所の独房に座っていたときに、これはあなたが知っているように感情的に私を感動させ、私の妹が私を刑務所に入れて、私たちの両親の遺産を詐称し、溶解させるだけであることを知っていました。
これでは悪化しただけで、重い一撃でしたが、最終的には非常に良いこと、非常に悪いことにつながってしまいました。
ああ、戦いの後の勝利の味はなんて甘いんだろう...復讐と報復の気持ちはなんて美しいんだろう...解放されていないEGO-ICHのために。
多くの敵、多くの名誉...しかし、最も困難な戦いでは、常に一人で戦う!
どのように我々は、正義なしで、そのような感情で、すべての平和を見つけることができます、私たちの家族の中で、私たちの隣人と、私たちの仲間と、地球と自然の人々と、私たちも自分自身と平和に生きるために管理していない、血と魂の仲間との平和を作ることはおろか...！！！私たちの家族の中で、私たちの隣人と、私たちの仲間と、私たちの家族の中で浄化のプロセス。
これを把握するために、知的にも感情的にも、なぜ、どのようにこれらの感情が発生するのか、誰がそれらの責任を負わなければならないのか、それが問題であり、私はあなた方のためにこの本を書きたい理由の1つです

人類の歴史の中でいつも傷ついた感情だけで終わっていた戦争がいつ終わるのか？
私たちの家族の中で、魂や体が傷ついたり殺されたりしていない人は一人もいません...なぜ私たちの中には、霊的に盲目で鈍感で無情な人がいるのでしょうか？
ヘイトはバラストだ　怒りや怒りを抱えたままでいるには、人生は短すぎる。それは価値がないだけで、それは私たち自身が病気になる！でも、すべての人が自由のない精神、自由のない意志を持

つべきだとしたら、私は許さなければならないのではないでしょうか？
私はあなたの子供たちは、私たちが犯した過ちのために、私たちの両親を許すのに十分な理由があると思う、私たちはあなたに私たちが与えた魂の傷、私たちは私たちの両親と同じことをしなければならなかった、彼らはそれを助けることができなかったので、それらを許す、彼らの遺伝的性質、刷り込み、パターンやトラウマのために - 私たちは否定的な感情を手放すことができた場合、それは私たちのすべてを助けてくれます
これは、国家、宗教、経済における権力エリートの過ちと同じように、社会の大衆の魂にも当てはまると私は信じています。後に読むように、これらの権力エリートでさえも魂に病んでいます、アチラ、ヒトラー、スターリン、ナポレオンだけでなく、彼らは皆、真実を曲げ、自分の好きなように法律を捻じ曲げていますが。
彼らはバカとは程遠く、正義の味方である我々をバカと見なしているだけだ！
私の遺伝的な性格構造は明らかに父のものとは違います；父は自由なIと、誰かを愛するときの無条件の愛を持っていました。持ち主をつかむような愛はいつも嫉妬、残忍な暴虐に変わる、母の愛はそんな愛だった、それは条件付きの愛だった　これは、私たちが無条件の愛と呼ぶもので、私たちの感情は非常に頻繁に私たちを支配し、私たちはそれらを無効にしないので、それを実践するのはとても難しいです。

私は母から、自由ではない、自分勝手なmeを受け継いだのですが、それなのに、自分の感情を見極めて反映させるのに十分な知能を持ち、警戒心があり、成熟していて、賢明である--この本を書いてから、私は警戒心を持つようになりました!

私が人生から受け取らなかったことは、本当に私が受け取らないことの祝福なのでしょうか--そう、それはあなたによって、この本の中でここに確認されます

私の人生は謎に満ちている、解決された、解決されない、そして解決できない...

この本は、1つのトピックから別のトピックにジャンプします;それで私はあなたの思考の境界線を解消し、それがどのようにすべてのものが接続されているかを理解できるようにしようとします　-全体像
.

まず第一に、私がこの本を書いているのは、私自身のために、浄化のプロセスのようなものとして、第二に、あなた方の子供たちのために、順番と赤い糸を取り入れることができるように、すべてのトラウマを処理できるように、です。私が会うことのない あなたの子供たちのためにも
私は子供に世界を説明することができれば、私の考えは本当に良かった...この態度で私はこの本の最初のバージョンを書いた。　それは1993年のことで、私にとっては、私と世界がどれだけ変わっていないかを証明してくれています。
世界の知識と自分の魂の成熟した変化は、すべてが良い方向に向かっている証拠です!
この本では、一般的な知識の他に、主に（私が判断できる限りでは）真実の事実について書かれていますが、子供たちの好奇心を刺激して、もっと詳しく知りたいと思うはずです。必要とされる知識は非常に豊富で、何千年にもわたって基礎知識を積み上げてきた人たちの肩に立たなければなりません。
私は、私たちの宇宙を訪れている人のためのガイドである、超宇宙系の読者の視点で書いています...。

この本では、国家、経済、宗教のプロパガンダが本当に自由な思考を不可能にしているのか、それとも私たちの遺伝的素因が自由意志を全く許容できるのかを扱っていきます。
意識的に人々に深い教化を行う古代の権力の中心があるのか？
どの権力者が私たちを分裂させ、虐待し、搾取し、操ろうとしているのか、それは人為的なものなのか、それとも宇宙的なものなのか？

今日の世界史は本当に私たちに多くのことを疑う理由を与えてくれますが、何よりも自分自身を疑うこと、私たちのIを疑うことです。地球や仲間の生き物をどう扱うのか、自分自身をどのように整理して管理しているのかが気になります。　そのためには、宇宙を構成するもの、生命、社会、EGO-IEについての最新かつ質の高い情報を得ることが絶対に必要です。
このすべてのことはどこから来ているのか、誰が、何が、このすべてのことを支配しているのか、そして何よりも：それのすべてのポイントは何なのか？
私は世界の歴史、非常に複雑な開発への短い洞察力、図書館を埋める知識、この本に結びつけるために、ソースの私のリストでのみ可能であることを説明します - 私はあなたの好奇心を喚起し、あなた自身の答えを見つけるでしょう。　　それはまた、それが自分自身の中でクリックしない場合は、それの使用は何ですので、それは非常に明確です...すなわち、全く何もない！それはまた、非常に明確です。　章はトピックごとに構成されていますが、開発の歴史を見れば、すべてのものがどのようにつながっているかがわかります。そして、0.37パーセントの死亡率を持つ小さなコロナウイルスは、世界を逆さまにし、2020年にはその世界的な影響もアメリカ、香港、ヨーロッパの二重大陸で革命を引き起こし、したがってまた私たちの福祉国家が、すべての上にそれは米国帝国の脆弱性を表示されます。私たちは、多くの（一見）知的で賢い頭脳が神と世界についてすでに理解していることを扱うので、正しいことと間違ったことを分離することで、多くの時間を節約できる知識の基礎を築きます。
説明したいことから納得させたいことへの線引きは浸透しています。これらの知識人は人間であり、狂人であり、我々と同じように欠点を持っている。
また、私たちの精神（意識）、感情の世界、理性の世界についても何かを学んでいきます。
神と世界は潜在的に説明可能であり、自然の法則は有形であり、宇宙的、化学的、生物学的な秩序は存在し、無限大、永遠、カオス、始まりと終わりのように、私たちの脳がその限界に達するところでは、少なくとも私たちはなぜそうなのかを理解しているので、私たちは科学的、哲学的な洞察を楽しむことができるでしょう。

文化、言語＆ライティング - - 彼らは私たちの思考を形作るので、彼らはまた、彼らは私たちの思考を形作るので、我々は、感情に対処しますし、彼らはすべての形状の私たちの社会と時代の精神

を形成するため、我々は、パワーの中心に対処します。

私たちの世界の知識、すなわちデータ量は現在、マインツのヨハネス・グーテンベルク大学の学長であるゲオルク・クラウシュ教授によれば、18ヶ月ごとに倍増しており、毎年76,000冊の本がドイツで出版されており、YouTubeは毎分、500時間分のビデオ素材をサーバーにロードしています。
人生と読書時間を有意義に管理し、嘘とナンセンスとは何か、プロパガンダとは何か、何を理解することが大切なのかを見分けるためには絶対に必要なことです。
この本は、この主張を果たすことができるようにしたいと思っています、それは事実、証拠に基づいた知識、真実についてのものであるべきであり、真実以外の何ものでもありません!
読んでいる間に、それは新しい思考パターンに到達しなければならない、それは今ではまだ完全に不十分である。

- ➢アンコンディショナル・ラブ
- ➢目的の現実
- ➢FORM&EMPTY, MATRIX- CULTURE
- ➢フリーウィル
- ➢THINK OUTSIDE THE BOX
- ➢資本主義-社会主義
- ➢COSMIC CONSCIOUSNESS オーガニックスコンシャスネス
- ➢MEMEGEISTERS
- ➢EGO-ME & WE-ME
- ➢予知モンスター＆エンジェル
- ➢シンギュラリティ
- ➢バーチャル・リアリティ
- ➢超対称性
- ➢深度測定
- ➢キャピタルデジタル
- ➢マジックマッシュルーム

...そして、我々は、これまで世界で最も賢い頭脳が解決できなかった限界に来て、したがって、我々は人類の知識の限界を経験しています。賢くて賢い頭でも思考の限界があるからだ!

今日では、エビデンスに基づいた知識がすべてであり、それが確実性と信頼性につながっていると思われます。

しかし、科学は常に最終的な事実（証拠）から成り立っているのではなく、科学はむしろ研究、疑念、テストの絶え間ないプロセスである。真実のスーパーには、真実の一つの商品がたくさんあります。
世界を発見し、理解すること。彼らは知的に理解しているので、それは嘘のような防衛を必要としないため、あなたに真実を理解する自信を与えることができるもの...人文科学や自然科学のすべての分野では、知識の最終的なソースは私たちに利用可能ではありません。
クリシュナムルティ、ブッダ、マッケンナ、テスラ、アインシュタイン、ペンローズなど、私たちの最も聡明な頭脳の多くの理論や仮説でさえ、部分的に反証されているので、絶対的な真実はありません；最も聡明な科学者たちが、事実が何を意味するのかについて議論しているコロナパンデミックでさえ、暗い数字や予測があります。　具体的には、ウイルス学者、疫学者、社会学者、政治学者、経済学者、生態学者などの科学的論争を意味します。

彼らは名声、権力、金のことを上から目線で主張し、後になって初めて民主主義、グローバル資本主義、そしてその人々のために意味を持つようになった......!
今日と文化史の最後の13,000年の間に我々は私たちのEGO-ICHであまり変更されていないという事実は、おそらく人間が彼のスキーマータのために異なる行動ができないという事実に起因している、彼のアルゴリズム、心理学者や行動研究者は、この遺伝的強制力を呼び出す：集団的、認知的不一致や不協和、言い換えればピッピ-ロングストッキング症候群：私はそれが好きなように私は世界を作る...！私はそれが好きなように私は世界を作る
しかし、本書では、私もまた、権力の中心がある裁判所に対して、彼らが単に遺伝的、心理的な気質に従っているだけであることを証明するために、厳しくしなければならないだろう。

権力は腐敗する、それは私たちの最高のものを腐敗させ、私たちの最悪のものを引き寄せる。

私が理解する上でもっと重要だったのは、この状態を変えるためには、社会としての私たち、そして一人ひとりが自分のために行動しなければならないということです。自分自身の中のすべての上に、私は、それがsedentarinessの開始以来、私たちに同行していないので、動物の王国に戻って、私たちはすべての時間をこのIと一緒にいます。　すべての動物には自由意志がない、人間には自由意志があるのか？もしそうでなければ、動物が獣にとって人間であり、いわば天使であることが明らかになるはずです。

親愛なる子供たちよ、どんな本にも隙間や間違いがある。私はこの本を書いているのは、皆さんが事実から世界観を形成するためであり、それは私たちの家族の歴史と関連しています。

この宇宙の神秘的な歴史について、私の情報源のリストを考慮して、私たち人間と一緒に判断することができます。ある場所では、人生の成功のために必要な非常に重要な教えがあるでしょうし、ある場所では、宇宙や世界、自分の身体や精神に対する深い感嘆の念を感じるでしょう。その後、あなたは人々の中の善への信頼を失うほど激怒させる事実を読むことになるでしょう、他の場所では、あなたはとても感動的に、心を込めて笑うことができるでしょう　-　あなたの私と世界について。無条件の真実と愛の道と良い力の奉仕のツール：私はこの本は、あなたが人生でどの道を取るのかについての疑いを持っていないようにあなたを導くことを期待しています。

全体の真実を語ることができた人はいない、私でさえも!　しかし、これは、私たち全員が自分の不信や嘘の中にある真実の欠片を暴いたという意味ではありません、すべてのバカにも良い考えがあるので、あなたのお父さんを先入観しないでください。重要なままで、まだ開いている...それはあなたが誰に属していないことが重要ではありませんが、所有物は、テレンスMcKennaは、それがあなた自身と直接の経験とあなた自身の直接の知識、あなたの見解、あなたの感情であり、それはそれが機能しないように、タイム誌や鏡から出てきません（！）を書いています。　　)、任意のマトリックス、思想、グル、お金、またはパーティーや友人にあなたの忠誠心を与えないでください　-誰かがそれを所有している場合、それはあなたに何が良いですか、それを理解しているか、またはそこにいて、それを見てきましたが、あなたはしない...何もない! - 心を取り戻せ！ -

もう全部知っていると思っていては新しいことを学ぶことはできません!

この本は、あなたの中の熱い好奇心を喚起しようとすることしかできません、ソースのリストは、より深い理解のために不可欠であり、勉強に時間がかかります　出来るだけ徹底して良心的になるようにお手伝いします。
本の勉強を始めたら、巨大な図書館に入っているところを想像してみてください--入り口には、私が出した......赤い糸を........あなたのために。
このスレッドは、床、廊下、棚の迷宮を通って、読む価値のあるすべての本を見つけるためにあなたを導く。全部読むには1000年かかるので、赤い糸はこの世界の図書館に散らばっている最も重要な本の特定のページにしかリンクしていません。
そうでなければ、知識のこの迷宮の中で自分自身を見失うことになるので、あなたの精神的な目からこの赤い糸を失わないでください、それはまた、あなたを誤誘導し、混乱させ、偽装し、あなたを狂わせることができます - 知識の図書館が呪いになることができないように - 本の最後に自己選択された自由につながる赤い糸に従ってください。マトリックスから抜け出して、イデオロギー、嘘、半端な真実、主観的な真実、客観的な真実の社会図書館から抜け出して......!
￼

そして、英語を知っておいた方がいいですよ、ほとんどの　ジューシーで大切なものは、ここでしか手に入らない 言語

"自分に全く不利な証拠を調べる準備をしておかなければならない 内なる信念、完全に矛盾したものとして を理解することで、自分が正しいと思っていることを理解し が真実であることは、実際には誤信である - 新しいもののために開いたままにしておきます。
知性とは、すべてを知ることではなく、すべてを知ることができる能力である。
真実を考えることは、質問することであり、個々の変化のための準備ができている;そうでなければ自由な精神があることはできません - いいえ
"自由に考えろ"

無名筆

私たちの世界は神によって創られた、あなたは神によって創られたのであって、人間が神を創ったのではないと信じているならば、あなたの運命はすでに決まっているのです。 そうすれば、自然科学と人文科学、来るべき事実と真実が、あなたの精神的な黄昏状態からあなたを揺り動かしてくれるでしょう。 もしあなたが、これらの疑問の答えを見つけることができないと考えているのなら、この本を読むことは、あなたを目覚めさせ、この社会を、私たちが生まれながらにして生まれたマトリックスとして理解することを悟らせ、それは生物の本質から受け継いだものである。 私たちはどこから来たのか、私たちは誰なのか、そして私たちはどこへ行こうとしているのか、それが本書の指針となります。 自分で決めた人生を送るには、精神的な束縛から解放されることが必要です。 これらの鎖は巨大な力を持っていて、自然と力の中心によって私たちの中にしっかりと固定されていたのです!
私たちは、すべてのものの始まりがどこにあるかから始め、その宇宙的、地球的な進化の発展を評価します。そして、私は最新の科学的知見の助けを借りて、ここの生命がどのように発展してきたかを証明しようとしています。耳の間のコンピュータであるスピリットと呼ばれるものを生み出すことができるのです。
どうしてこの生物学的なPCは、私たちのMEが本当にそれを望んでいないのに、私たちの中に怒りや悲しみ、愛のような感情をもたらすことができるのでしょうか。インスピレーションと創造性のフラッシュはどこから来るのか、私たちの脳はどのようにそれを行うのでしょうか？
人間も動物もすべて思いやりがあり、平和(健康)を求め、幸せになることが許されている、それを古代の哲学者たちはエウデモニ、充実した人生と呼んでいました。

オピはどうして戦争でこれほど多くのロシア兵を殺したのか、彼はとてもお人好しで、理解があり、愛にあふれていたのに、どうして全国民、別の国が破壊しようとすることが可能なのか。 幼い子供の頃の私たちはなぜこんなにも天使のような存在なのか、20年後の私たちはこの世界の戦場では怪物になっているのか。 家族の大切な人に、隣人に、今まで何もしてこなかった人たちに、そして自分たちに何かをしてくれたことのない人たちに......なぜ、1万年も戦争が続いているのに、それが止まらないのでしょうか。 なぜ私たちは他人や自分自身にこのようなことをするのでしょうか？
私たちの何が悪いの？

この本の中で何度も出てくる疑問は、*BIG WHOLE*とは何か、*Meme Spirits*とは何か、ということです。それは、私たちの考えや思考の創造者、宇宙の創造者を探すことであり、むしろ、進化が従う自然の量子物理学的、物理学的、化学的、生物学的、心理学的なすべての法則、そしてすべての民族の社会的なルールに従って、誰が、あるいは何が、この宇宙に情報やデータを挿入したのかを探すことであり、その時代が始まったときからです。
宇宙の法則は私たちを占拠しなければならず、これが進化の本当の意味を理解することにつながるのです。
その後、我々はまた、起源と世界の終わりについての基本的な質問のための興味深い答えを持っている研究コミュニティの仮説に対処しますここと今。
それは、それが本当にホロフラクタル陽子を持つホログラフィック(ユニ)バーサムであり、*MANY-WORLD-THEORY*を検出可能にするかどうかを疑問に思うことは刺激的であろう、とNassim Harameinは言います。つまり，コペンハーゲン解釈のダイナミックなモデルによれば，私たちの宇宙は別のものの一部であり，別のものであるということなのです．
つまり、多元宇宙とは、超宇宙的なものも含めて、私たちすべてが存在しているところであり、私たちはマトリックスの中で心の中で生きており、世界を思いのままにするシミュレーション（ピッピ・ロングストッキング症候群）をしているのです。 物理学の化学、生物学、そして最終的には自意識が出てきたことが証明できるので、私たちは進化のつながりに深い洞察を得ることができるでしょう。さらに、私たちの文化の社会世界は、動物の群れとしての動物界から、石器時代、中世を経て現代に至るまで、そして私たちのGGGのパワーセンター（信仰、暴力、お金）まで説明する

ことができます。　人間の話す能力が複雑な思考パターンを生み出したのは、21世紀に生きる私たちが共に生きていく上で決定的な文化的進化を遂げたからです。
GGGのパワーセンターを相手にしているのは、今のコロナのパンデミックのせいでしかない。ウイルスは、私たちのアメリカ帝国主義のヘゲモニーに直接リンクしています...私たちの決定要因は、単一の加害者は決して存在しません。ローマ皇帝とアメリカ大統領は、彼らの資本の利益のために決定する彼らの背後にお金の権力構造を持っています。2020年の世界の社会秩序が、全く違う生き方につながるはずだと、私は本の中で述べています。　このヘゲモンは資本の独裁である-お金が世界を支配している-そこには世界的なプルトクラシー（私のためのより多くの、あなたのための何もない）だけであり、彼らは国境のない世界を望んでおり、ミッキーマウスの民主主義があります。

実際に*Alpha-Tier*と呼ばれるソフトウェアプログラムがあり、それはEGO-ICHの資本主義運動とWIR-ICHの社会主義運動の2つの人間主義的な宗派（イデオロギー）に分裂しました。　これは、宇宙を誰が、何を統治しているのかという問題と同じくらい、個人的にはどうでもいいことかもしれません。また、ブルーピルにはこのような望ましい症状があるのも事実です。　しかし、科学の教育、注目すべき人々との出会い、あるいはサイケデリック物質の摂取などによって、誤って赤い薬を飲んでしまった場合は、善の道から離れないことが必要になります。
2100年までの時間を予測して、良い意味でのユートピア的な結末と、悪い意味でのディストピア的な結末で楽しめました。それは、私の人生の中でいくつかの重要な出来事があり、それは間違いなく、私の家族、私のサイコナウトとしての人生、そして国家の敵としての私の人生のすべてをまとめています。

目次を見る

コスモス

チャプターサブディレクトリ。

マクロコスモス

- 時空、銀河、星、惑星の進化
- スタンダードモデル：万物の理論-GRAND UNIFIED THEORY（GUT）。

ミクロコスモス

- 自然法則、量子物理学、データ論、物理学、化学、生物学
- 宇宙意識の仮説 - ミームスピリッツ。

ビッグバン 特異点 - *EX NIHILIO*

ミクロコズムとマクロコズムの誕生

昔々、人々はこの地球について考え、例えば、地球は巨大な亀の背中に山や海、そして私たち人間が住んでいると信じていました。
そして、人々は、神がこの世界を創造し、地球と私たち人間が絶えず訪れていると信じ、一人の神が6日間ですべてのものを創造したと信じていまし ...

そうそう、ニビル星から来た異星人は猿とセックスをして、奴隷として仕えるために私たち人間を作ったのです。

20世紀以降は、もはや迷信的な神官が決めたのではなく、理系、論理系、数学系が決めたのである。
自然科学者やヒューマニストたちは、今では、すべてのものが電子よりも小さい超ミニポイントから、最も熱い太陽よりも熱いプラズマ熱で爆発（ビッグバン）したことを証明できると信じていましたが、それには30万年かかったと言われています。
そして、約100億年の膨張と進化を経て初めて、私たちの太陽系、惑星、衛星が誕生しました。 そして我々人類はビッグバンから140億年後に出現したと言われています。
このすべてのことは、理由もなく、ただそれだけのように、NOTHING-Ex nihilo-から起こった。

もしこれが、第一次世界の迷信ではないならば、私はむしろ、起源-特異点-は、データ、情報、エネルギー、物質、生物、生物、心、精神、精神の中から非常に複雑なものから生まれたという理論を信頼しています：ますます複雑化していく複雑さの中で、バンという音がして、新しい宇宙が誕生したのです

そこで、宇宙論者や理論物理学者が何を書いているのかについて、非常に簡単に説明しましょう。
宇宙の進化史については、現在でも一般的に受け入れられている理論が大統一理論（GUT）である。　　宇宙のすべてのものは物質でできていて、それはエネルギー、つまり波動粒子でできていて、あるときは波（太陽の光線のように）、あるときはダイヤモンドのように硬い物質である、と書いてあります。
この物質は、私たちが原子と呼んでいる92の元素（素粒子）から構成されています。　これらがエネルギーで構成されていることは、アルバート・アインシュタインと原子爆弾によって証明されています!
しかし、重力などの自然法則があるという事実によって認識される一種の宇宙的な情報があるということは、誰もが絶対に検証可能なことであり、リンゴを空中に投げれば、重力と質量関係によって、地球とリンゴの間に、再び地球上に落ちてくるのです。
そして、物質ではない思考があることは、私たちの脳のネットワーク内の最高の化学的、電気的なインパルスは、一般的に議論の余地がないだけでなく、我々はリンゴが落ちるのを見て、間接的にのみ知覚する自然の法則があるという認識があります。
だから、宇宙を理解することは、実際には多かれ少なかれ、何の問題もありません。　私たちの脳では絶対に想像できないことは、ビッグバンの前にあったものであり、プランク時代の直後には、そこにも論理と数学はその限界に達します;そこに現在の説明のつかない、仏陀のようないくつかの哲学者は、FORMとLEERE、または用語を持つ科学者のようなものを開始するので：　NOTHING - ex nihilo - 何もないところから。

宇宙のすべての情報や自然の法則などが、ビッグバン以前からNOTHINGの中に存在していたとか、神の創造主によって創造されたとか、そんなことを考えるのはばかげている、信じてもいいかもしれない。
この思考の列車は決定論であり、実際には宗教が私たちに信じさせるものである：すべてのものはあらかじめ決められており、私たちの人生のコースさえもすでに書き留められている　-　したがって、自由でない宇宙の意志。
無宗教の科学者は少し違った見方をしています。彼らは、事実に基づいて、宇宙の発展の歴史が実際に必要としたのは、宇宙の秩序、水素原子、そして秩序からの多くの自由（新規性）を与えるいくつかの自然の基本的な法則だけであることを証明できると考えています。

このようにして、単純な若い宇宙が、より古く、より複雑な宇宙へと変化していくのです。　この進化の発展は、宇宙構造の複雑さがどんどん速くなっているので、最終的なゴールに向かってギャロップをかけたくなるようです
進化論は、ゲーム理論によると、自然はそれが星、惑星、人間の意識に来るべきであることを、決して計画を持っていなかったと言う、重要なことは、ここ＆今で勝つものである - 何が生き残っている
それはちょうど水素の成分といくつかのルールに起因している、これらはすでにNOTHINGからビッグバンの前に存在していたかどうか、または以前の宇宙の遺跡や多元宇宙の一部から...今日まで、すべてが完全に不明瞭です
確かに私たちは人間が限られた方法で世界の現実を解釈しているという証拠を持っていますが、感覚器官と自由意志について読むときに、次の章でこのことを理解するでしょう。
ここではまず、これらの簡単なルールと、私たちが知っている他の何かを扱います。非線形力学の力とカオスの力
.

リスク評価のある保険会社、気象研究者、ギャンブラーは以前からこのことを理解していました。人生の多くのことが、私たちが計画したり、コントロールしようとしたりするのとは異なる結果になることを見れば、私たちは皆、このことを自分自身で確認することができます。すべてのシステムは、独自のダイナミクスを持っており、それは他のシステムと相互作用し、多くの場合、より良いものが勝つことはありません、すなわち、生き残っているので、子孫を作成することによって、その環境で今ここで最も成功しているものではなく、単にそれが適切なタイミングで適切な場所にあったので。
これはまた、細胞や単一の遺伝子＆ミームのように、死んだ星にも適用され、したがって、新しい星の基礎を作成します。つまり、生きとし生けるもの、それがイデオロギーであれ、企業であれ、今ここで成功していて、環境条件が不利に変化した場合、それは単に死に絶えてしまうのです。
ピリオド！

ということになります。
宇宙の中の計画
絶え間なく
に適応しています。
無きにしも非ず
自由を与える目標
計画変更。

私はここで最新の科学を暗唱しているので、あなたの子供たちには明らかですか？

それがある種の神創造主であろうと、ある種の前宇宙的なものであろうと...
この種の法律/情報/認識
宇宙の秩序は、現在
物議を醸し、証明されていない。

我々科学者はこれをプランクフェルドと呼んでいます。
しばしば宇宙的な意識を持っています。いくつかの宗教
この意識を神と呼び、私はこれを神と呼びます。
宇宙の情報を意識したり
またはミームスピリッツ、つまり
シャフト粒子のフィードバック。

それゆえに、彼らは本当の意味での権力の中心なのです。

- このフィードバック効果、自然物理学、化学、生物学の法則から
- と同様に、すべての生物の生物学的意識（ウェットグッズ）と人間の意識の心（オペレーティング・システム）のそれ。
- この中から出てきた人間の文化：宗教、政治、経済、その他多くのイデオロギー、それぞれのアルゴリズム（ソフトウェアー）。

宇宙以前の法則/情報とは、例えば、存在したい、生き残りたいという意志のことである。 彼らは法律や身近な環境のルールに縛られています。
この存在への意志は、不変性や秩序への欲求で表現されています。

すべてのものは原子で構成されています。
神経細胞。
思考は写真のように存在する。

光、ただのエネルギー、情報-。
そして彼らは持っている...
マスはない！
もう一つのコズミックな法則は、熱の法則がどこにでもあることに気づくことです。

- ➢一番重要なのは、原子の動きの速さによって体温が決まるということです。0度ケルビン（-273.15度）では、原子は全く動きません。そして、動けば動くほど暖かくなる!

- ➢エントロピーです。- それは、すべての原子が変化していることを示しており、何も永遠ではないことを示しています - あなたも、星も、宇宙も。すべてのものが歳をとり、それ自体が子孫の誕生によって、死後も続くための基礎を作るならば、星や人間は永遠に生きる必要がないということを、生命が永遠に染み込ませているという理由で、おそらく。

- ➢したがって、私たちの宇宙もまた、ビッグクランチ、ビッグチル、またはビッグバウンスで、宇宙が崩壊して新たな特異点に落下し、その後ビッグバンとして新たに始まるだけで死ぬと仮定されています。

実際には、それはそれは、学ぶために多くのことがありますが、私たちと私はここに提示したいもののために、それは十分です...それは簡単に保つ！私たちのために、私たちのために、私はここに提示したいと思います。　私たちの脳内理論では、ナンセンスを広めないようにするために、数学を使っています。この言語がナンセンスも記述できることを知っているからです。　　この記事では、なぜ私たちの脳がプログラム（シミュレーション）を作るパソコンなのかを後ほど説明すると、ついつい見失ってしまいますので、あとは理解することが重要です

宇宙 - 時空 - 銀河 - 星々

コズミックコンシャスネス

私の祖先も、私たちの祖先も、ほとんどの科学者が説明しているように、奇跡の力を借りて、約13.6億年前から14.2億年前のいつかに生まれたのです。　それは、宇宙、エネルギー、物質、そして時空がどのようにして生まれたかを示すグランド・ユニファイド・セオリー（GUT）であり、自然の四つの法則（ミーム/情報）のための遊び場である。
水素は最も単純な原子（陽子と電子）であり、これは星に点火したガス雲としての重力の法則で、冷却された時空の中で一緒に塊になるのに十分であった。星が沸騰して膨大な光エネルギーを放出したときにできたヘリウムと呼ばれる2番目に単純な原子と。これらの恒星高炉では、私たちが知っている91個の原子はすべて沸騰したか、あるいは星の死（恒星爆発）の際に形成されました。この超新星のいくつかは、例えば、すべての新しい物質を空間（時空）に放出し、散乱して分散した。

- ❖ブラックホール
- ❖反物質。
- ❖マターデブリは山の大きさ、さらにはそれ以上の大きさ。
- ❖ガスや星屑に

❖これらは順番に、重力のために他のものの間で、一緒に形成され、今、私たちの太陽のように、再び星を形成し、初めてまた、惑星、小惑星や衛星を形成し、私たちの月のように、順番に彼らの太陽の周りを一周した惑星の周りに旋回した。

それはもう、そうだったんだ！
これは、接続で銀河を形成し、このように生きているシステムを表していますので、多くの星系が生じ、この進化の発展のうち、上に行ってきました。

- ➢情報は存在します。
- ➢情報が物質になる
- ➢物質が一体となって誕生する
  に物質が存在します。
- ➢熱法（生きている
  を通して物質は崩壊していきます。
- ➢エントロピー
- ➢死の残骸から新しい星が誕生します。

これらの銀河が合体して超銀河を形成し、まるで宇宙という生命体の臓器のように、生きている超有機体や一部のように相互に作用しています。
これで、各銀河には約1000億個の星があることが証明できるようになりました。

約1,000億個の銀河が結合して超銀河を形成していること、あるいは存在していること、生きていることを証明することができます。

星を意味する
開発中
必然的に、完全に
シンプル、ホール
オートマチックに
クラウドオフ
HAZMAT!

科学者たちはこれを脈動する宇宙だと考えており、宇宙の寿命は800億年と推定しています。原因の連鎖の実際の開始後、質問に答えるために、このようにのみ延期、解決されていません。なぜなら、私たちが知りたいのは、いつ、どのようにして起こったのかだけではなく、なぜ宇宙が誕生したのか、なぜ何もないのか、なぜ何もないのか、ということも知りたいからです。

このような質問は、常に私を友人や学校、国家の輪の中に排除してきました。

疑問がすぐに湧いてこなかったら宇宙の境界線はどうなっているんだろう？その裏」で何が起こるのか？例外なくすべてを包み込む最終的な境界線、それはもう外には何もないということで、私の想像を超えたものであり、また私にとっては自然や芸術的なモデルはありません。数学の直観的な言語でのみ、不自然な論理に従って、我々は、11次元の文字列理論、ホログラフィック多元宇宙のような試みを見つける - これらは、当分の間、唯一の深刻な仮説であることに残っている。

獣人のように、我々は感覚器官と心に支配されており、その脳はまた、球体である惑星を想像することができませんでした、もし我々が地球上で見ているすべてのものが2次元の世界であるならば、宇宙からしか見えない、私は地球が実際には湾曲していることを認識しています、したがって、球体、3次元-3球体-です。
重力について誰にも説明する必要はなく、リンゴが木から落ちるときにそれを知っていますが、私たちは重力を見たことがありません。

1926年、エドウィン・P ハッブルは銀河の脱出運動を発見しました - 彼らは毎秒500キロの脱出速度で互いに離れて拡大します - 2020年の知識の状態：それは我々が今日持っている任意のロケッ

トよりも速いです。これをハッブル定数、ドップラー原理を宇宙の膨張と呼んでいます。

私たちの太陽系を含むすべての星、銀河、クェーサー、ブラックホールは、互いに遠ざかっていて、遠ざかれば遠ざかるほど、相対的に大きくなっています。 太陽は2億4000万年ごとに天の川銀河の軌道を回り、銀河は隣の銀河と同期して2000万光年の距離で回転しています。
もし私たちが外から宇宙を見ていたら、すべてのものが相互に作用しているという印象を与えるだろう、それは私に、宇宙が全体として、まとまりのある体、情報、規則（自然の法則）を持っているという印象を与えると言ってもいいだろう......そう、誰かがそれを生物として理解することができるだろう、コンシャスネスを持って、それがデータから、情報から構成されているからだ！それは、データから、情報から構成されているからだ！私たちは、それを理解することができますか？

私が生まれたとき、アメリカの科学者アルノ・A ペンジアスとロバート・ウィルソンは、多くの人が先に疑っていたが証明できなかったことを偶然にも耳にした。エコープロジェクトでは、約140億年前に本当に巨大なバングがあったに違いないという証拠が説明されています。その反響は、古いテレビの電源を入れて、ノイズやチラつきを見ても、今でも検出可能です。
宇宙論者にとっては、ビッグバンと膨張する宇宙-ビッグバン理論への言及である!

中世にジョルダーノ・ブルーノが空の星が実は太陽であることを発見したとき、空は地球を中心とした神からの星の布を描いたものではありませんでした。　　そして彼はすぐにそれをさらに考えた、まだ説明のつかない思考：これは偉大な、偉大な空間（？
しかし、彼は正しかった、多くの人はすでにそれを知っていた。彼らはまた、チャールズ・ダーウィンが後に証明したように、人間は神の子供ではないかもしれないことも知っていました：人間は神の特別なケースではなく、自然の法則に縛られているのです。
ハッブル、ペンジアス、ウィルソンは、宇宙は拡大し、老化し、これまでになく速く発展している存在であり、すべての人は、この存在の中で、すなわち、赤ちゃんのように単純な何かの超複雑さを認識していましたが、時間の経過（老化）とともに、この古い何か、これまでになく速く、これまでになく複雑になったのです。
したがって、宇宙の進化は、この惑星では、次の物理化学的進化に従っています。化学・生物学の進化、生物の進化、意識の進化の中で（親のいない）生物の-この進化的文化進化から、スポーツ、芸術、科学、宗教、国家、経済などの人間社会（社会）が発展してきました。基本的にすべてのこれは、研究者がやろうとしているように、これを再構築することは、もちろん超複雑で、超わかりやすいです　ここで改めて強調しておきたいのは、宇宙の生命とは、エントロピーのために生まれて老化し、そして死んでいくものであり、その残骸から新しい生命が生まれていくものだということです。この地球上で死に、他の生物に取り込まれたり食べられたりするすべての生物と同じように、完全に自然な、おそらく宇宙的なサイクルなのです。

宇宙もまた、脈動する生きたシステムであり、寿命はさらに800億年と推定されています。 ここまではいいんだけど、起源説が弱い！？ なぜ？
それは量子宇宙論者によって主張されている...空気も真空もない空間に「バング」があった、バングだけが時空を生じさせた、つまりバングだけが空間そのものを生じさせたと。　それが量子場理論で、それ以来、人文科学や自然科学は逆さまになってしまった。

時間は、次のようなイベントによって定義されています。それは満たされます。 ここがノベルティ（ノベルティ　テレンス・マッケンナが言うように、「あなたが勝てば　絶対に何もない空間で100万年 ...あっという間に過ぎてしまいます。
何も起こらなかった時に何も起こらなかったから　その時は時間がなかった　その中にあるコスモス イベントがないところでは何も起こらない。は無の宇宙である。コスモス、それは人間の幻想
魂！
ここが問題の始まりの場所であり、彼らは私たちに教えてくれます。
何もないところから何かが生まれて、何かの中に入っていく（何もないところから何かが生まれて、何かの中に入っていく）。
まだ利用可能ではなかったスペース**)**
大爆発が起きて初めて何かになる
HAD BEEN OVER FOR SECONDS...

"...ただ信じてください、彼らが言うには、論理的に考えず、疑問を持たず、私たち専門家を信じてください、...そして、私たちは簡単に、その後すぐに起こったすべてのことを証明し、論理的、数学的に証明することができます！その前に何が起こったのかを説明することはできません、私たち自身はそれを理解していません、何が起こったのか見当もつきません、何か有益なことを証明することはできません、私たちはbefore自体を理解していません、私たちはそれをクソ理解していません、この地球上の人に北の方向を尋ねてみましょう - そして、私たちは北極に立って尋ねるまで、私たちは常に方向を得ます：北はどこにありますか？- それはTIMEも同じかもしれません。ビッグバン以前ではないにしても、ビッグバン以前に何があったのか？

答えはその時だろう。
時空の始まり。

*ETERNITY*という答えは、非常に、非常に、非常に、非常に、長い時間という意味ではないので、好きではありません。
しかし、時間の不在。
そしてそれは、ビッグバンの前に何があったのかという質問に答えているのと同じでしょう。

時空の始まり...！

つまり、この時点から、疑惑のビッグバンが存在し、最も素朴で単純な原子である水素原子がこの空間に入ってきたとき（ビッグバンの後しばらくの間に起こった）......そう、そのときから、時空を語ることができ、すべてを科学的に理解し、説明することができるのです。もちろん、我々が見ていると思うものに非常に関連しており、したがって開発された数学で、すなわち、我々は我々が見ていると思うものを反映した抽象的な数式を持っているか、またはより良い我々が理解していると思うものを言った - 再び：ガスと塵の雲から
水素原子、星、惑星、小惑星が形成されている。 星はそこにある最も単純な原子、水素原子からそこにある2番目に単純な原子、ヘリウム原子までを燃やします。 この原子変換によってエネルギーが生み出される-原子力発電所では核融合と混同されない核の使命-放射性廃棄物はあるが、核分裂ではない。
だから、再び：これらのガスと塵の星雲のうち、塊が一緒に重力を受けて、常に重力の自然法則の下で発火する可能性があり、星および/または孤独な惑星になります。 初期の暗黒空間では、ビッグバンからわずか数百万年後に最初の星が星明かりを産み出した。それは、宇宙が初めて照明された時のことです。
"最初の星の火 "で

それが最初の星の誕生であり、それに続く多くの星の誕生であった。星は誕生し、燃焼し、その間に水素を食べたり、水素を燃やしてヘリウムにしたりして、私たちが知っているほとんどすべての素の原子構造を沸騰させます。そして、その星が爆発して死ぬと、私たちが知っているすべての原子元素が深宇宙に放出されます。 星が死ぬと、その中で最も大きいものがブラックホールとなり、通常は銀河の中心に位置します。
次のページでは、大宇宙とガス雲のグラフを紹介しました。

小宇宙は、世界...
原子・素粒子の
ばんせい
は構造化されている -
ちょうどあなたと私のような; THAT
個人の自信、集団の自信
意識(時代の精神)とそれ以外のすべてのものが
感じたり、見たり、聞いたり、触ったりすることができます。

この物語は、はるかに聖書の創世記の物語を打つ、不信と不信で、私も無学で、狂信的な信者を意味し、そのような何かを信じることができません...無から無に、何かで、無から無に、その後、何かに無を作った、そこから宇宙が来て、それによって星や惑星に、生命と意識は、私たちが見ていることになるように、そして何よりも、私たち自身が構築されているからです。

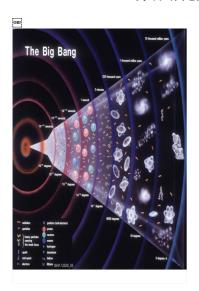
これが2020年の宇宙論の知識の状態であり、これらの科学者自身でさえ、この知識の状態に非常に不満を持っていることを記しておきたいと思います
ひも理論家は宇宙データの中に超対称性を見つけ、物質の構築者は超対称性を見つけます。 そして、これらの原子が私たちの体と心を構成しているのです。

これらは、これらの行を読んで、実際にどこから来たのかを考え、ある日彼らに何が起こるのかを考える積み木です...

これらは、SpaceTimeの構成要素です。
無限大の幻想
そして永遠に
積み木のこの世界に存在する
そして、この時空の中だけで。

これらは星のビルディングブロックです。

マクロコスモス - ビッグバンから15億年。

OBJ

今すぐここにいる
コスモスはこんな感じです。

私たちは、約1000億個の星と約2000億〜4000億個の惑星がある「天の川」と呼ばれる渦巻き銀河の中に住んでいます。私たちが知っている宇宙の直径は約146億光年で、約1000億個の銀河がある--そんなことは、宇宙物理学者でも誰も想像できないことを知っています。

サイズ感を考えた例をご紹介します。
もし太陽がゴール前のサッカー場でオレンジ色の大きさだったとしたら、ピンヘッドの大きさの地球はゴールから16メートルも離れていることになります。　惑星火星2と惑星天王星は5つのサッカー場のような距離にあり、ケンタウルスプロキシ（隣の星）は4,300キロ離れたアフリカにあるだろう。太陽からの光線は光速（毎秒約30万キロ）で地球を8分で通過し、CentauriProxiでは4光年後にならないとそこにはいないので、アフリカまでの4,000キロは頭の中に入っていることになります。
もし私たちの太陽がピンヘッドの大きさだったら、私たちの天の川の大きさはアメリカと同じくらいになるでしょう。　私たちの脳は、そのような大きさ、距離、お金の供給を計算することができることを知っています。
EUがコロナパンデミックに費やしている：1兆ユーロ＝1,000,000,000,000,000,000.00
宇宙論や宇宙物理学における仮説や理論のいくつかは、さらに露骨なものになります。
はチェックも検証もされていません。専門家の中には、あなたの同僚でさえ何を言っているのか理解できないほど、理論的または数学的に検証不可能な仮説を持っている人もいます。　アインシュタイン、ゲーデル、ホーキンスがそうでした!　他の仮説証明では、宇宙の無への膨張、暗黒物質、暗黒エネルギー、ブラックホール、量子物理学のように、私たちが望遠鏡やスイスのCERNのスーパーコンピューター上のソフトウェアプログラムを通して宇宙で観察しているものと一致するように、数学的にいくつかのものを発明するというように、極端に私たちを混乱させています--ところで、ワールド・ワイド・ウェブはティム・バーナーズによって発明されましたが、実際にはお互いにデータを交換するためだけのものです。

暗いエネルギーは、そのような
重力 私たちのオペレーションシステム
コスミックコンピュータ
私たちのPCには、それがすべてです
メイキング、IOSのバックグラウンドで
またはMSDOSが制御されています。
"ダークディンガムは
物質と物質の間の擬人化
エネルギー、他の人はそれを考えている
同じホームランドで
思い出の精霊がここに......！？
さて、まずは標準的な膨張宇宙理論を考えてみましょう。この気球の宇宙が膨張しているという事実と証拠がありますが、何から、そしてもっと重要なのは、何に向かって？
まあ、専門家は説明のためのアイデアで遊んで、それはダークエネルギー＆ダークマターです。しかし、それは宇宙の90％以上を占めているはずで、私たちはそれを見ることも、直接測定することもできません。

それはビッグバンのようなもう一つの手品で、それ以来、天文学者がすべてを説明し、証明し、証明することができるようになりました。
アルバート・アインシュタインはまた、相対性理論の彼の理論に魔法のトリックを必要とし、彼は単に時空があったことを私を信じて、そこから私はあなたにすべてを説明することができると言います。
ということは、ビッグバンと同じように、この暗いタマボが仮説のままである可能性は十分にあり得るということです。500年前、私たちは惑星が円盤のように平らであることも証明できると考えていました。その証明は誰の目にも明らかでした。
物理学者であり、Die　Zeitの編集者でもあるロバート・ガストは、「おそらくそれを説明するのに最適な方法は、微生物やバクテリア、それを格言と呼ぼう」と書いています。　ある日目を覚ますと、オーブンの端（地平線）まで伸びる巨大なイースト生地の中に入っていることに気づく。遠く

では彼女は
生地から山のようにそびえ立つパン粉を何十個も発見してください。それと同時に、マキシムはパン粉が離れていくことに気づく。遠くに行けば行くほど、焦っているように見える。　マキシムは好奇心旺盛な単細胞生物であり、例外的に賢い。だから、彼女はパン作りの本を見て勉強しています。ついに彼女はすべてを悟った!　彼女はオーブンの中にいるに違いない、その熱で生地がゆっくりと立ち上がろうとしているのだ。微生物パズルです。このまま生地が上がっていくのかな？　それともまた崩れるのか」と。
それにしても、誰がオーブンのスイッチを入れたのか、誰が作ったのか。

天体物理学者にとっても状況は似ています。1998年以降、望遠鏡による遠方の銀河の測定の詳細は、最近膨張が加速していることを示唆しています。時間が経てば安定して拡大することは予想できたが、なぜ加速する必要があるのか。
この観察を行うために、3 人の研究者 Perlmutter、シュミットと Riess、2011 年、ノーベル物理学賞を受賞しましたが、彼らはこの質問の答えを見つけることはできませんでした。そして、今日に至るまでの研究コミュニティもそうではありませんでした!
私たちはまだ、そこにあるものに対する答えとして多くの仮説を持っていて、微生物のマキシマムと同じように戸惑っています
1930年代、エドウィン・ヒューベルは当時の技術を駆使して、宇宙は毎秒500kmで膨張することを計算しました。　この速度は、現在のどのロケットよりも速く、現在の研究者は、膨張速度は秒速67-74kmしかないと考えていますが、この速度は、現在のどのロケットよりも速いです。-　もし私たちが宇宙の周りに「無」と呼ばれる無限の大きな空間を持っていても、何の物質もなく、光子や光のエネルギーだけでさえも、大きさも速度も時間も知覚できないのであれば、少なくとも私たちの心と、そこにある現実を知覚し、判断するためのデータを受け取る5つの感覚器官にとっては...ここに本当の問題があります：客観的な現実の知覚、私たちは後でそれを知ることになるでしょう...

"宇宙を理解したいならエネルギー、周波数、振動で考えること"

バイ ニコラ・テスラ

コズミック・ブレイン-コンシャスネス

宇宙の設計図は、数学的なアルゴリズムのようなもので、通常のコンピュータのアルゴリズムのように、ビット(オン/オフや1/0)があるのではなく、量子コンピュータのような量子ビットのようなものです。 中間値の1と0があります! 宇宙アルゴリズムは、情報コンテンツの言語としての量子アルゴリズムのような働きをすると考えられます。この2つのアルゴリズムは、力学とカオスの力の中で観察される様々な不確実性を実行します。重ね合わせの状態があり、結果がユニークなものになることはなく、様々な結果が考えられます。量子コンピュータでは、宇宙進化のように、結果、結果は何回か実行して初めて、確率的な答えとして現れるのです　今、あなたが考えていることはよくわかります。

地質学・数学・統計学・プログノシス
アリストテレスのシラリスティクス。
彼はすべての哲学者の中で最も重要な人物であり、彼は初めて自然科学の世界と思考、思想の世界を一緒にしたのです！彼は、すべての哲学者の中で最も重要な人物でした。　彼は次のように書いています：「主張は、その前提条件のうち2つが正しければ、論理的に正しいとみなされる。例えば、第一に人間はすべて死すべき存在であり、第二にソクラテスは人間であるという事実から。したがって、ソクラテスは死を免れない！と言えば、これは論理的に正しいと考えることができます。" これらの文章は、3000年近く前のものですが、今でも驚くべき知性を持っています!

プラトン以来の疑問は次のようなものだった。数学は人間によって発明されたか、または彼と彼女が世界を探索するために、理解し始めたときに、人間は数学と幾何学を発見しました　昼夜、季節、月の満ち欠けなどの自然のサイクル、自然の中の幾何学的な形を疑問視するために、プラトンはそれらを神から与えられたものと考え、他の人はそれらをほとんど人間の発明と見なし、それらについての論争は現代まで続いています。

数学者のロジャー・ペンローズ、言語学者のダニエル・E エバート、テレンス・マッケンナらは、ここでは直感的なテレパシー言語である言語(アルゴリズム)を使っていると言っています
そこにある世界は確かに数学的に、というか幾何学的に記述することができます; 人類全体は常に数と形の数学と一致しています! 円の計算にもピタゴラスの正方形にも解釈の余地はありません。これは花やカタツムリの殻のような自然の形に見られるもので、数学者ユークリッドが古代に幾何学やフィボナッチによって記述することができた数学的な対称性を持っています。
幾何学、数学、音楽、美学の間の重要性は、ここで一時的に言及されているだけです;　ビクトール・シャウベルガー、ヨアヒム・エルンスト・ベレントのような著者は、振動、星や惑星が作る音を扱ってきました。ギリシャのピタゴラスは、我々が自然界で見つける黄金比と原子物質の音に関連して音のスケールを研究した数学者であり、振動は、例えば、ガラスや細胞を壊すことができます。　アルバート・アインシュタイン、レオナルド・ダ・ヴィンチは、芸術の多くの種類が宇宙の幾何学であることを、これを確認した。
ヨハン・セバスチャン・バッハはまた、彼の音楽に数学の論理を見て、音楽的な調和を作成し、何よりも芸術作品と同様に、私たちの感情世界に訴えるか、または数学的に私たちの魂に触れることができます。

エネルギーは、数学的には振動として記述することができます。

DESCRIBED, BECAAUSE IT IS NOTHING ELSE
周波数と
周波数を設定することができます。
数学の数と形の数
DESCRIBE GEOMETRY!

生物学的自然の幾何学:

生物学では、数学は細胞分裂にあります。
HALVINGによるDOUBLINGは自然の原則である。

DIGITAL-ROOTと呼んでいます。

1倍は2倍
2倍は4
4倍は8
倍は１６、３２、６４、１２８、生物の細胞が分裂すると

また、2,4,8,16などの原子構造の倍数化スキームもあります。2倍ではなく2倍にするとどうなるのか？ 同じことだが、今だけ極性が正から負に変わる。 ニコラ・テルサはこれを宇宙への数学的な鍵と考えていましたが、なぜでしょうか？ 3倍は6倍、6倍は12倍、つまりすべての数字が9倍ではなく9倍になるのです。
9は単独で立っているので、どうなるか見てみましょう：9倍の9は18か、1+8=9になります。
18倍は36か3+6=9
36 + 36=72または7+2=9
9は正と負の両サイドの統一であり、9は0と同じように、すべてのものと何もないことを表しています。
宇宙、原子、分子、細胞、プラスとマイナスの電気エネルギーは、非常に正確に数学的に記述することができ、それは何か特別なことで、私にとっては、宇宙と人生に数学的な秩序があることを意味しています。
しかし、私たちの思考が数学的に考えるということは、次のようなことも意味しています

幼児や他の動物は、数の少ないもの（5つくらいのもの）を本能的に理解していますが、なぜ分数で1/2が1/4より多いのかを本当に理解するには、数学を勉強しなければなりません。

算術の証拠力はすべて
物の世界、記号の世界からではない。
数式の
これが応用数学！？

私たちの中にある数の遺伝的な理解が、応用可能な数学へと導いてくれました。 これは、私たちの遺伝的なテレパシー能力（相手が何を考えているかを直感的に知ることができるが、発話はしない）に似ていて、それによって私たちは音の外、言葉の外、複雑な認知的思考を行うことができるようになったのです。 書くことと同じように、数学は私たちに客観化を与え、秩序を生み出します インドの文化がこのような数学を教えてくれたのは、たった1400年前のことです。 そして、私たちは今日まで次の原則に忠実であり続けてきました：0と1だけがあり、もし私たちが世界のものを数えるのをやめて、この数の世界だけにとどまるならば、別の数が追加され、数の無限大になります-なぜなら、それは常に精神的な算術で別の1を追加することができるからです...

もう一つ、現在ネットワークにおける人工知能に非常に期待されている分野があります。 ドイツでは1930年からルートヴィヒ・ウィトゲンシュタインとアラン・チューリングが取り組んでおり、現在はヨッシャ・バッハ博士が取り組んでいます。 今日のAIとは何かというと、複雑な情報処理以上のものではなく、それ以上のものを必要とし、それ以上のものになるかもしれない。 つまり、情報を処理するのではなく、人間のシミュレーションのモデルを取って「遊ぶ」真の知性...
これは数学の言語としては、抽象数学としては、理論的には全く問題ないのではないでしょうか。

これは過去３００００年の多くの哲学の中から フィルターをかける方法になるでしょう 何か新しいシミュレーションを与えてくれます 脳とＡＩコンピューターが今日まで科学者が見つけられなかったより良い解決策を見つけることができるようになるでしょう なぜなら彼らは文化と呼ばれるシミュレーションの中で 人間の生活をリードする限られたアルゴリズムを持った脳に過ぎないからです...
第二の数学は、抽象的で直感的な数学であり、感覚的な経験に基づくものではありません!
Godehard Brüntrup教授は、概念的な分析であり、形而上学や量子物理学、量子コンピュータのアルゴリズムに匹敵すると述べています。

私たちは、これらの数学的課題を、どのようにして解にたどり着いたのか、どのようにして解にたどり着いたのか、あるいはどのような結果になったのか（！）を一歩一歩追跡することはできません。

1,2,3,4の数を∞（無限大）までの数にしてみましょう。　ここには数学的な構成があります。　しかし、たった5行でコンピュータプログラムを書くことができて、その操作が永遠に続くのは、時間的にも終わらない。
そして、我々は無限大を想像し、1つが来て、次のように言います。
よし、∞に2をかけて無限大の2倍にしてみよう。

この手の数学は、狂気、宇宙意識、物理的な物体、つまりマクロとミクロの世界を、非常に、非常に正確に表現できる言語なのだ！」と。
中性子星からクォークまで、客観的な現実の表現は驚くほど正確で、数学はABCのような言語です。　アトランティスはどこにあるのか、愛の神はどこに住んでいるのか、死んだ後に何が起こるのかなど、これらの文字から順番を作ることができるようになりました。
どんな言葉でも、真実だけでなく、嘘も表現できるんだ！と言いたいです。
それこそが心の能力であり、論理的に考えることができなければならないし、何が現実で何が幻想で何が嘘なのかを言語化せずに理解しなければならない。　ヨッシャ・バッハ博士によると、私たちの脳や宇宙意識は、新しいことを学ぶときにメタ数学的なアルゴリズムで書く、つまり、私たちは現在、コンピュータの人工知能を、独立して学習するアルゴリズムを書くアルゴリズムでプログラミングしているとのことです。AIの次のステップは、自分で学習するプログラムを書くプログラムを書く......!
今、多くの専門家は、来年、経済が縮小するかどうか、あるいは、コロナウイルスが人類を劇的に危険にさらすかどうか、予測を立てるのに忙しくなっています。　これらの予測は、その後、すべての人々の生活に直接影響を与えるでしょう...これらは仮説にすぎず、特定のアイデア、信念、ドグマなどを持つ研究者のものと同じくらい不正確ではありますが、彼の研究結果に影響を与えるでしょう!

これは、研究者が独立していないことを意味します。
感情に左右されるなど
コントロールされていて、あるべき姿ではありません。
自由意志は彼の感情や思考を支配する
とかのセオリーが出てきました!
それがストイックさだ。
理性的な悟りを得て、理性的な悟りを得て、理性的な悟りを得て
感情的な悟り、あなたはそれを理解している、これは
完全に理解することが重要

業績予想・統計

以下はすべての統計や予測に当てはまります。"質問の仕方だけで答えが決まる。
金融業界、特に保険会社はリスク評価をして仕事をしていますが、これが経済的に存在できる唯一の方法です。　これらの専門家は、いつ、どのくらいの頻度で、例えば、福島の原発の前に津波の波が発生するかを評価し、その後、彼らの統計は、15,000年ごとに波が来て、それは非常に高く、職人はさらに高い壁を構築すると言う - この場合、波は統計や予測よりも高く、大災害が発生し、保険会社は今支払わなければならなかった....と!
銀行はまた、彼らの金融商品のリスク評価を持って、彼らは100年ごとに株式市場の暴落があるかもしれないことを統計的に述べ、経済学者トーマス-メイヤーは、実際にはそれがおそらく10年ごとであることが判明した書いています！銀行は、彼らの金融商品のリスク評価を持っています。

これはそれ自体が科学である」と、ボンの情報研究所のドリス・ヘスは書いています。　ここでイデオロギーとエビデンスが出会う。イデオロギーは、権力の中心が関与している場合には、しばしば証拠に勝ることがあります。これらは、クライアントが行くことができる場所、例えば、情報研究所以外にも多くの競合他社があるため、単純にクライアントの資本主義的な条件である - お金が関与している、真実のために、それは常に悪い取引です。
理論は証明されて経験的に検証されて初めて良いものです。　何かを想定して、そうであってほしいと願うだけでは十分ではありません-そのためには、公的に主導された議論の文化がなければなりません。　これらの分析をどのような誠実な誠実さと客観性を持って行うかで、過去の分析、事実、事実、事実を予測のために取り上げるほど、信頼性が増していきます。
根性論的な判断や広告や選挙統計が最終的には「好意」と解釈され、合理的で経験的なデータに基づいていないのはなぜだろうか。

- ➢これらの数学的言語はどちらも試みで...
- ➢政治選挙に勝つために
- ➢商品、売るためのアイデア
- ➢リスクを評価する
- ➢科学的な真実を見つけるために
- ➢論理的にも事実的にも証明できない過去の出来事をもとに、未来を説明すること。
- ➢統計や予測は、クライアントの利益のために、改ざんされる可能性があります。

この占いの世界は、まず第一に幻想であり、ホロスコープや天気予報、選挙の予測、株式市場の動向、リスク評価、あるいはクォークや中性子と同じように曖昧なものです。　特に時間的な要素が一緒にプレイしている場合は、明日の朝の天気が2100年12月1日の天気よりも簡単に予測できるので、ここでも力学とカオスの力が決定的な役割を果たしているのです

そして、彼ら自身も何が引き金になるかわからない!

しかし、どの言語もそうですが、ここに書いてあることもそうですが、数学には予測や不条理、ナンセンスなことがたくさんあります。一方では主観的な現実と単純に矛盾しているからとか、ナンセンスだからとか。最初は理論物理学では不条理で論争的で非論理的に見えたからといって、客観的な現実に多くの発見をしてしまったことに注意しなければなりません。
マイナス1の根元は虚数値であり、存在しないし、存在し得ない。量子物理学のように、私たちの感覚を超えた現実があることに気付き、気づかなければなりません。
しかし、私たちの自然な心は、無限性、永遠性、不確定性を理解するように作られているわけではなく、学校や大学でも教えられていません。　アルバート・アインシュタインは、量子物理学について教えられたときに、古典物理学の基礎であることを認めなければならなかったときに、このことを考えるのは非常に困難でした

星のような大きな質量が時空を曲げ、物質はエネルギーでできているというアインシュタインの思想を理解するのに80年かかったが、同時代に生きた最も優れた論理学者・数学者の一人であるオーストリアのクルト・ゲーデルはまだ完全に理解されていない--2 + 2は4に非常に強い傾向があるが、それは法則ではないという彼の数学的証明は、私たちを再び論理的混乱の中に投げ込んだ。制度を参考にしているだけで、優れた制度を無視している以上、制度には証明がないことを証明してくれています。そして、私たちは自分自身や宇宙についてのすべてを知っているわけではないので、常に上位のシステムが存在しています。
クルトも数式、ロジック、いいえ - 彼は数学がいつでもすべてを証明することができないことを証明することができ、量子物理学の父たちも話すし、彼らの実験で証明されているこのぼやけが常にあることを証明することができます - 宇宙は謎であり、うまくいけばそうではありませんが、言葉の謎は謎を意味するので、謎です。

不可解不可解不可解不可解
ここで関心があるのは、古典物理学の4つの自然法則を記述し、その結果として説明できるような形で、数学が宇宙進化や宇宙意識（量子意識）を数式で表現できるかどうかということです。
これは現在、Donald Hoffman氏などによって進められており、彼はマクロと小宇宙の2つの世界に取り組んでいます。
このことは、もし私たちが宇宙がミームスピリッツの情報で構成されていることを受け入れるならば、私たちに本当の答えへの希望を与えてくれます - そして、悟りを開いたミームPCはこのデータを処理することができるのです
人間の要因は、それが物事を認識し、解釈するように彼の脳は、純粋な頭の事である...

パンシキズム

盲目の神経外科医は、彼が医学的に彼の患者を治療することができる方法を非常によく理解していますが、彼は色覚を理解することはできません、我々はコウモリがエコーの感覚器官とその世界を見ている方法を理解することはできません、これは主観的な、定性的な真実に属しています！ 古典科学は唯物論の量的真理しか知らない、つまり物理学者は物質を記述することはできても、物質が何であるかは知らない。　彼らは自然の力を説明することはできますが、これらの力がなぜ存在するのか、どこから来ているのかを説明することはできません。これこそが、まさに定量的自然科学なのです。　ガリレオガリレイはすでに15世紀にこれを教えている：色の質、自信の感情の質は、科学によって説明したり理解したりすることはできません - 彼の意見では、唯一の魂によって。宇宙意識、panpsychismと、それは同じケースですが、唯物論的、二元論的な科学は、それが編んでいるように、デッドエンド、主観的な現実のままになります　波動粒子も星も、彼らには理解できないこと、量子哲学者たちはもっと多くのことを理解しているのに、それを量的科学に持ち込めないこと、それは1000年以上の間で最大の問題である、魂が肉体から分離しているかどうか、である。

客観的な現実
簡単に説明すると VRメガネをかけて、コンピュータアニメーションの世界を見ていると想像してみてください - それがあなたの主観的な現実です！ 宇宙の世界、社会の世界、そして人間である私たちが科学的に見ているものは、すべてこのバーチャルリアリティメガネの目線で見ることができるのです VRメガネでは、VRゲームをプレイしても自分が立っている空間（環境）が何も見えないことがわかっているので、これは理解しておきたいところです。ここで問題になるのは、メガネを外して実際に自分がどこにいるのかを理解できるかどうかということです。
私たちはゲームのシミュレーションで世界を理解しようとしていますが、例えば二元論（心から分離された物質）や一元論（物質は心である）など、トーマス・ネーゲルは書いています。自然科学者の還元主義は、客観的な現実（存在論）が実際に何を意味するのかを理解するために、行動科学者の生物学と同様に有用である；映画「マトリックス」では、マトリックスのエージェントが爆発するときにそこにある緑色のコンピュータコードである。　ドナルド・ホフマンのような神経学者が、なぜ私たちの感覚器官がこの緑色のコードを見ることに問題があるのかを説明してくれます...
哲学者は私たちを少し助けてくれるでしょう;　プラトンは最初に洞窟のたとえでこれを発表しました - アイデアのプラトンの世界、アリストテレスとルネデカルトは、実際の現実がどのようにあるか詳細にこれを検討しました - 経験および/または知識の世界、マトリックスのTWO-WORLDモデルと！ 哲学者は、私たちを少し助けてくれるでしょう。
例えば蝶がいて、触角で自分の世界、自分の現実を嗅ぎ、足で味を感じ、三万（目）のレンズで世界を一周して見て、翼で世界を聞いている...この小さな生き物にとって現実とは何なのでしょうか？
私たちは五感を使って世界を知覚していますが、それはその帯域幅、つまり感覚器官が非常に限られています。私たちが見て、感じて、嗅いで、聞いて、味わっているのは、スペクトルのごく一部に過ぎない...これが、私たちの主観的な現実だ。
それは明らかにそこに存在する現実ではなく、抽象化されたものです。　宇宙が意識や情報で構成されていることをどうやって証明できるのでしょうか？
二千年前にプラトンが言っていたことは、何よりも私たちの世界の現実は常に変化しているということであり、今日私たちは政治の世界をこのように見ていて、明日には全く違った見方をするだろう、つまり主観的な真理なのだ！ということです。
人間の自由な精神は、最も簡単にこの謎の底に到達することができます、我々はまだ本当に理解されていない、思考の能力を持っている、後にそれについての詳細は、ここでは、我々は宇宙の真実と同様に対処する前に、当分の間だけロジックの力を使用しています。Jiddu Krishnamurtiは次のように書いています：　"私は、言語、言葉-すなわち思考-が大きな全体を把握することができることは不可能だと思います、それは想像することができません、それは唯一の経験することができます....!
量子物理学は、物質が波動粒子以上のものであるという最初の証明をもたらしてくれます。
エルヴィン・シュレーディンガー、ルパート・シェルドレイク、フィリップ・ゴフ、ドナルド・ホフマン、ゴデハルド・ブリュントラップなども汎心理学に取り組んでおり、この理論は反対というよりも賛成の方が多いと考えている。すべてのシステムは物質の複雑な蓄積であるため、すべてのものは一種類の物質から生じ、無生物や無生物の物質は存在しません。

脳は物質でもあり、神経細胞群は私たちの思考であり、ホルモンは私たちに感情のようなものを与えるように管理しています。 しかし、これらはすべて心理学的な性質を持っています。 それによって出現 - システム - それは意味する：全体は、その部分の合計以上である -（コンピュータ）システム、（ニューロネン）ネットワーク、（人）グループの例。

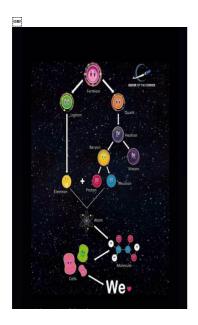
これは、銀河、星、惑星のように、一定の複雑さに達する物理的なシステムにも当てはまります - その後、サイキックは（無生物）物質から発生し、説明的な関係があります。
私たちはこれらのシステムを観察し、それらを創発的なものとして見ています...そして、このことから中立的なモノリスムが生まれ、私はそれらをミームスピリッツと呼んでいます。
霊的でも物理的でもないが、両方の性質を持つ物質。 この基本的な物質であるミームスピリッツは、肉体的にも精神的にも説明できませんでした。
後日、ミームスピリッツと宇宙意識、動物と自己意識を繋げていきます。

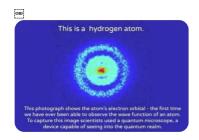
合理的なシステムで、我々がそう呼んでいるのは
そのようなシステムを知覚することもできます。
まだ客観的な現実ではなく
我々が着用しているVRメガネのシミュレーション。
感覚器官と脳...

私たちがその餌のボウルを埋めるときに私たちを見ている犬のように - 両方のシステムは、そのようにお互いを認識し、彼らはさらに認知的にお互いの行動を予測することができます（音声なし） - しかし、両方ともVRメガネを着用しています!
私は今、原点に戻っていますが、デッドマターがシステムになる方向性を簡単に示したいと思います。
状態は因果的な役割を果たしているというか、ミーム霊から進化的に進化した精神をもって、主観につながる因果の連鎖を示している。

システム

THE COSMIC DATA & MEME SPIRITS:

物質と生物のビルディングブロック。

シャフト部品

私たちは、原子を粒子（物質）としてではなく、物質とエネルギー（振動・情報）の仙人、雲として理解しなければなりません...原子は99.9999999999999999999%の空虚から成り立っているので、もし私たちの体の中の原子を実際の質量だけに圧縮するとしたら、この地球上の80億人の地球人全員と一緒にこの質量は角砂糖の大きさになるでしょう！私たちは、原子を粒子（物質）として理解するのではなく、物質とエネルギー（振動・情報）の仙人、雲として理解しなければなりません。

原子がどのように見えるか、研究者が実験に参加している瞬間に何をするか、それがどのようにそれ自身を顕在化させるかは、観察する実験者にかかっている、とフリードリヒ・フォン・ヴァイツェッカーは書いています。粒子を観察することは、粒子を使って何かをするという事実につながりますが、これはハイゼンベルクが語った不確定性です。　つまり、原子を観察していると、電子と陽子が一つの場所に集まっているのがモデルであり、目をそらすとまた雲になってしまうのです。　なぜ、私たちが見たときに影響を与えるのか？　ショーン・キャロルの言葉：「...自分を特別

扱いしないで、その瞬間に多世界の量子場機能に関与している、それだけだ…」。
科学者が、彼の観察の行動で、実験から除外することができないという事実は、すべてのものを理解することをより困難にします - これは、小宇宙での最小の大きさのオーダーにのみ適用されますが、大宇宙では、私たちはそれに気づかないのです！科学者は、彼の観察の行動で、実験から除外することはできません。　リチャード・ファインマンはこのように説明した。"小宇宙での電子の振る舞いはとても幻想的で、大宇宙で起こるすべてのものとはとても素晴らしく異なり、言い換えれば、それは説明する言葉がありません。
電子が波のような振る舞いをすると言ったら…いや、ちょっと違うかな。電子が粒子のように振る舞うと言えば・・・いや、全く同じではありません。電子が星雲のように振る舞うと言えば、原子核の周りの雲……いや、全く同じではありません。
原子がどのように振る舞っているのかを正確に把握できるように、原子の鮮明でシャープな画像が欲しいのであれば、現実の優れた画像 - 私はそれを自分でどうすればいいのかわからない！私はそれを行うことができます。私たちは数学的な絵を持っています 面白いですね 数学がどのようにできるのか分かりません 非常に奇妙で奇妙なのですが それを使えば 物事が何をするのかを計算できます 絵がなくてもそれができます コンピュータと同じように 数字や数式やアルゴリズムを入れて車である場所に着くまでの時間や　行き方を教えてくれます　今ではコンピュータが計算して、いつ、どのようにして目的地に到着するかを正確に教えてくれますが、コンピュータは車の写真を撮ることができません。パソコンは算数しかしないので、私たちを含む宇宙のすべてのものが作られている物質の構成要素と同じように、私たちは計算はするが、車の絵がない……」。
量子物理学はまた、時間が機械的な時計仕掛けのように動作することを教えてくれる錯覚である、量子物理学者カルロRovelliは書いています： "我々は右の薬を使用していた場合、我々は学校でそんなに注意を払っていなかった場合は、我々はより良い時間の概念を理解しているだろう - それは常に相対的である。あなたが音楽の一部を聴いていると、あなたは音楽があなたに与える振動を感じている想像してみてください、実際には一度に1つのノートを聴いているが、前のノートのあなたの心の中の記憶と次の来るものを予想することは、実際に音楽の作品を作るものであり、私たちはそれを通して感じていた。 それは時間が私たちの心の中でどのように作られているか、HERE & NOW（現在）と未来への期待の間の相互作用、過去の記憶 - 唯一の宇宙の時間はそのように時を刻むことはありません!
物理学者のハインツ・パゲルスは次のように説明しています： "量子物理学の現実を理解したいのであれば、私たちは目で見て感覚的に知覚できる現実をあきらめなければなりません。量子論で記述された世界は、古典物理学のようにすぐにはわからない。
量子の現実、特に今では原子核、電子、陽子の構成要素となっているこれらの6つの異なるクォークは、数学的に合理的ですが、あなたはそれのアイデアを得ることができません - どのように我々は何のアイデアを得ることができるか、それは私たちの心（ソフトウェア）のための精神的な課題ですが、私たちの耳の間に座っている私たちの量子コンピュータのためではありません
何でもかんでも唯物論で説明しようとするから思考に行き詰ってしまう。脳を取り込んで物質的な部分に解剖し、意識があることを期待しています。下から見ても何も出てこない。それを上から下まで説明してくれるのが、パンプシズムの理論だと思います。

宇宙は意識である。
星、惑星には意識がある
生きとし生けるものには自信がある
意識の進化的発展があり、それは宇宙意識とつながっています。

真の問題は、そもそもなぜこのようなものが存在するのか、元の情報には資料がないのに、なぜコンシャスネスが残っていたのか、ということです。
シーン・キャロルは、あるものは安定していると信じ、他の言葉では、何もないものは安定していないと信じている…これは、KURT RUSSELが言うように、何もないという結論につながる: そこにあるのは、あるものだけである。　しかし、そこには主な何かがあり、物理学の複雑なシステムには許容されていました。
裸の事実は、誰もが目的の現実で理解することができる答えを持っていないということです、私たちは私たちの感覚で目的の現実を理解することに違いがあります…私たちは、言語の問題を持っています、私たちは言葉を欠いて、それ以降の思考を持っています。
だから我々は脳を使い、意味のあるシミュレーションを作るようにそれを求める。　量子物理学者だけが質問に出てきて、存在するかしないかの選択の余地はないと考えています…彼らはマルチバースやメタバース、膨大な、膨大な宇宙時間の蓄積について話しています。
それがどうやって問題を解決しているのかわからない…なぜコモスは存在するのか。

量子物理学と量子哲学
ここで私たちは、宇宙を何もないところから知的で意識的な何かとして提示する理論の始まりを持っている - ex nihilio。 この理論によると、物質とエネルギー、空間と時間があった前に意識があった。 この量子論では、ミクロコスモスと、原子でできているマクロコスモスの世界を説明しています。
また、時空がどのように構成されているのか、どのような創始者情報がビッグバンを引き起こしたのか。 これは、中世の科学者たちが、非常に正確に動く巨大な時計仕掛けを作った時計師にちなんで、自分たちに問いかけたことを意味しています。今日、私たちは、宇宙は意識の巨大なホログラフィック・シミュレーションであると考えています。量子力学的な時計仕掛けのような秩序があります。
ということは、今までも、そしてこれからも情報であり続ける宇宙意識！？
量子物理学の歴史は次のようなものでした。1901年、マックス・プランクは
量子物理学のタイムエポックが始まり、古典物理学から分離したという仮説。
彼の理論は、エネルギーが小さなクアンタから構成されていることを証明した。物理学のコミュニティは、彼の理論に非常に動揺していました。それは、自分たちがエネルギーについて知っていると思っていたことがすべて間違っていたということを意味していました。
1905年、優秀な数学者アルバート・アインシュタインは、プランクの理論を支持する相対性理論を発表して世間に知られるようになりました。これは、彼は絶対にプランクの理論に反対していたので、アインシュタインの側のとげだった："神はサイコロを投げない"、彼の言葉だった。しかし、ヴェルナー・ハイゼンベルグ、ニールス・ボーア、マリー・キュリー、エルヴィン・シュレーディンガー、リチャード・フェイマン、ポール・ディラックなど、多くの一流の物理学者や数学者がプランクを支持し、量子物理学は科学技術全体を根本的に変えていった。 アインシュタインは、それを反証することができなかったと提出した;ニールス・ボーアは彼に言った："アインシュタインは、神に何をすべきかを教えてはいけない！"
そうして、彼の死の直前に、アインシュタインは量子物理学と彼の情報理論である宇宙コンピュータ理論の接続に取り組んでいたのです。

"コード・ビット・フロム・イット"

- すべては情報 / データであり、Q-bit by Q-bitである。そして、それがどこにあるのか
そこには、複雑さがあり、つながりがあり...気付きがある!
見てください。
コスモスは物ではなく、物である。
組織主義、皮膚を持つ、または細胞のメンブレンのような。
外周!

一般物理学の自然科学者にとって、これはまだ顔に平手打ちであり、それは彼らのEGO-ICHで彼らを怒らせ、彼らの世界は少なくとも2,500年のために二元論的に形成されていたし、また、彼らの常識で完全に理解可能であった、それは論理的であった！彼らの世界は少なくとも2,500年のために二元論的に形成されていた。

最後に、量子物理学については、レーザー技術、衛星通信、スマートフォン、特に原子爆弾などの世界では、それらの理論が機能しているため、量子理論なしでは実現できないということで、これ以上言うことはありません。

この見解は、スティーブン・ワインバーグ、ブライス・デウィット、スティーブン・ホーキンス、リチャード・フェイマン、マレー・ゲルマン、ローレンス・クラウスを含む自然科学の多くの学者によって共有されていますが、ローレンス・クラウスはまた、私たちが住んでいる世界の解釈である多世界論を支持しています。
この解釈はもちろん、パンプシズム（宇宙意識があるという）についての解釈も、科学者の間では今日でも非常に議論を呼んでおり、世界人口はもちろんのこと、約40億人が雲の中に住む神を信じ、人間が動物に属していることや、銀河が生命体である可能性を激しく否定しています。

私が表現したいのは、信者と量子物理学者の対極にあるものは、そう遠くない！ということです。思考パターンはすべて霊的なものであり、ミームの霊、宇宙の意識と私たち自身の意識は、これにつながり、それは私たちを分離したいと思っている機関だけです - 力の中心。 これらはすべて権力と利益志向であり、遺伝的素因である利己的な性質を持っているからです。

バチカンを代表して司祭のテイハルト・ド・シャルダンは、ノースフィアを語り、シュレーディンガー、エイブラハム、ユング、ホフマン、シェルドレイク、マッケンナなどは、これらのミームスピリッツに他の言葉を与えますが、基本的には1つと同じものを意味します：思考、情報、またはデータからなる創造的な力、それゆえに物質、星、生命、意識、そして私たちを作ったのです。大宇宙と小宇宙をその深さで理解するならば、これらの文字列は素粒子空間、この雲である。
ジドゥ・クリシュナムルティは、なぜ私たちの脳がそのような困難を抱えているのかを、彼の言葉で説明しています。

理論物理学者であり、『醜い宇宙』の著者でもあるサビーヌ・ハッセルフェルダーは、時空について次のように書いています。我々は、素粒子の観察された挙動を定量化するためにそれを発明した、空間は、我々は多くの可能な予測のいずれかを行うことができますと数学的なツールです..."
今日まで、時空という宇宙空間の真空が何であるかを証明するものはありませんでした! 過去の研究者も現在の研究者も、誰一人として、自分たちの仮説を理解できるような証明をしていない。
専門家がいつもシンプルで美しい世界の公式を求めているから行き詰っているのかな？　　サビーヌ・ハッセンフェルダーは次のように書いています。「理論物理学者は、集団的に妄想的な考えに固執しており、自分たちの非科学的行為を認めることができない、あるいは認めたくないという疑念が高まっているのではないかということです。これらの基準が機能することを経験した人と話をする必要があります、私には足りない経験です！"　宇宙も、あなたも、私も、量子物理学者が言うところの波動関数を持った波動粒子（原子）です。波動関数とは、素粒子は粒子（物質）でも波動（エネルギー）でもなく、両方の性質を持っていることを意味します...!　これらの原子は互いに結合して原子鎖を形成することができる。緊急事態があります - プロパティ：いくつかの金原子は、数千の原子が一緒に来たときにのみ、色と水分が作成され、金色を作ることはありませんが、いくつかの水の原子は、水分を作ることはありません。

ここで物理学は化学になります。例えば、酸素が鉄と出会うと鉄は酸化して錆び、水素が酸素と結合すると水と呼ばれるようになります。これらの原子鎖が一定の秩序を持って結合したとき、私たちが進化と呼ぶ膨大な発展の時間を経て、化学が生物学になり、原子鎖が結合して分子、高分子、単細胞生物、多細胞生物を形成するのです。例えば私たち人間は、約50兆個の体細胞で構成されており、多くの独立した生物のネットワークで構成された生物になっています。
テレンス・マッケンナは、この原始的な情報は、死んだか、大きな跳ね返りとして死んだ以前の宇宙から来たものである可能性が高いと考えています。なぜならそこにはたくさんの複雑さがあるからです：何十億もの銀河、生き物、技術、言語、ミーム、ミーム、ミームと幽霊、幽霊、思考脳の幽霊、コンピュータ（他に何があるかは誰が知っています）--そこには再び始めるための火種があるでしょう。 しかし、これは最初の宇宙の問題を先延ばしにするだけで、解決にはなりません。
また、第一子誕生の試みが何十億回失敗したのか--生物学の閃きで地球上でもそうだったように--とか、動物である私たちが原点から考えてみるという疑問も......!

また、すべてのものが織り込まれていることを理解し始めているのに、なぜ二元論的に世界を見ようとするのでしょうか。　このことは、私たちが宇宙をどのように理解するかに影響を与えていますが、量子物理学者だけでなく、哲学者、心理学者、社会学者、脳研究者、医師など、要するに人間とその行動形態を扱うすべての学問分野が、これらの宇宙的洞察と格闘しています。　人間の精神は、矛盾していて曖昧で、影響力があり、個々に大きく異なるのと同じだからです!
最後に、制度化された科学システムは完璧ではなく、多くの点でアンビバレントでさえある。
これらの人々への圧力は莫大で、名声、名誉、お金に依存しています - 真実と客観的な現実の検索に非常に悪い影響を与えます　そこで問題となるのは、科学を全く信用できるのか、それとも資本主義やカトリックのような別のイデオロギーなのかということです。　盲目的に教祖や社長についていくことすら許されるのか？

客観性の錯覚
2600年以前の中国の哲学者老子は、道教の中で、「今ここでしか考えられない世界の客観的な現実に気づくことができる」と書いています。
インドの哲学者ジドゥ・クリシュナムルティは、ルネッサンス期のヨーロッパの哲学者アルフレッド・ノース・ホワイトヘッドと同じように、ヨガにも同じ教えを見ていました。　自然科学は、それが起源の宇宙理論であれ、病気の原因であれ、すべてのものが一つの原因にまで遡ることができるというモノカオス性を常に望んでいたので、量子物理学でこの啓蒙に屈するしかありませんでした。
20世紀になって、私たちが素粒子の次元に進んだとき、私たちは皆、イエス・ノーの論理はありえないことに気付きました。
それは、ヴェルナー・ハイゼンベルクとクルト・ゲーデルが数学的に証明していたことです。　これは、科学のルールが厳密に守られていれば、それが信頼できるということを示しています
彼らの世界観は常に新しいものに置き換えられるように開かれていて、より良い洞察力を持っていて、それはそれ自身の修正を可能にします。科学の最大の特徴である「改ざん可能性」。真の科学は、もはや絶対的な真実を受け入れようとしない；いかなる知識も、真実として結論的に検証することはできない、それは偽造することしかできない-反論の余地のない確実性と確実性は存在しない。

このシステムを持つ科学者の日常生活からの洞察を与えてくれるRainer Rothfuß教授をご覧ください。

物理学における観察者から独立した客観的な現実という考え方は迷信として信用されず、このことはあなたが自分の生活に取り入れることができるように、この本で理解することが絶対に重要です。
私にとっては、ギリシャ人やローマ人、新ヨーロッパ人が教えようとしていたことよりも、世界と自分自身を理解するためには、道教の方が良い教えでした。

この理解が直接影響しているのは
本書のトピックス：パワーセンター、コロナと
吾輩 の使い方に影響を与えます。
構造化された社会、政治体制
との善悪の分かれ目。
人と自然の分離と

私たちの自己を分離し、EGO-ICHと
道教でいうところの自由意志!

マイクロチューブ、脳内プロセッサと私は言語

スチュアート・ハメロフは、1989年にロジャー・ペンローズの著書『エンポラーズニューマインド』を読み、神経生物学者であり麻酔医でもある彼は、ロジャーの特殊な分野である量子物理学と、生物の脳内での意識の探求との間に関連性を見出した。
スチュアートによって記述された微小管は、脳(ソフトウェア)の感情世界や理性世界をシミュレートするための情報処理、すなわちミームを処理するために内側の神経細胞で行われるプロセスであるが、意識もまた、それらは、生物の自然の生物学的法則のコンピュータプロセッサである。 ここでは、神経学者と量子物理学者が一緒になって、SUPERPOSITION - それはここにある＆ここではない、それはここにある＆そこにある - 量子粒子。 複雑に聞こえるかもしれませんが...言い換えれば、私たちの脳はコンピュータですが、W-LAN接続が可能なのです!
そう、私たちは考えているし、それは音楽を再生するラジオのように、これらの思考が、ラジオ局からこのデータを受信すること以外に何の意味もありません! ラジオでそこから音楽を流しているバンドがいないことがわかっているからです。 しかし、私たちの脳はラジオではなく、コンピュータであり、考える(受信する)だけではなく、状況を考えることができるのです! 言い換えれば、主観的な宇宙についての主観的なシミュレーション、私たちが生きている世界についての主観的なシミュレーション、仲間についてのシミュレーション、自分の内なる声についてのシミュレーション、これらはすべて脳が作り出すシミュレーションなのです。
したがって、私たちは、私がそう呼んでいるようなミームスピリッツと対話しています。 私はこの思想をテレンス・マッケンナから盗んできましたが、この本で言及した他の学者からも盗んできました。 それは私にとって、世界の宗教が提供するものよりもはるかに優れた仮説です。ジドゥ・クリシュナムルティは、私たちが疑問を持たずに真実として受け入れるものには、非常に注意するように強く助言しています。
哲学者インマヌエル・カントは、"判断力の欠如は、実は愚かさと呼ばれるものである "と書いています。

それが真実であることが証明された場合のみ
私たちが自分自身を作っていくという直接的な体験をして、次に
私たちは考えている...自由に考えている！

宇宙は、私たちと私たちの世界を作る原子を形成する文字列/スレッドのデータネットワークであることを理解させようとするジム・ゲイツ教授、ナッシム・ハラミンらの発見 - SUPERSYMETRY。 言い換えれば、行列、シミュレーション、これは２１世紀の最も重要な科学的発見だと思います。
2番目に重要な仮説は、宇宙には外界があり、その外界が別の宇宙につながっているという「多世界論」です。
第三の重要な仮説は、私たちの脳はWラン接続のコンピュータであり、宇宙のミームスピリッツ(ホロフラクタルプロトン)に接続されているというものです。 私たちのコンピュータが思考を通してこれらのデータを受け取り、コンピュータが独自にデータを処理し、それがミームスピリッツに戻っていくということです

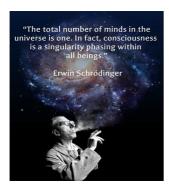
それが世界(?)なのです、親愛なる子供たちよ...我々はまだ多くのことを理解しなければなりません、他のものの間ではハイドンは粒子か糸か糸であると考えられていますが、何よりも重力と量子力学では、我々は終わりが見えません! 量子哲学は終わりである必要はありません、我々は宇宙コードを発見した、我々は我々のコンピュータでシミュレーションを実現するために自分自身を使用するものとの数学的類似性を参照してください - 私たちはシミュレーションです！私たちのコンピュータでシミュレーションを実現するために、私たちは自分自身を使用しています。私たちが味わうものは、見て、感じて、私たちの脳が客観的な現実から解釈する私たちのシミュレーションである - それは神経細胞が味わうことができないことは明らかである、博士Joschaバッハは言う....
サスキンド教授は、小宇宙の世界が私たちにも影響を与えていることを確信しています-すべてのものがつながっていて、私たちの生活全体が実際には宇宙のシミュレーションになり得るのです-次の章で読むことになるのは、私たち人間が文化的な進化を通して、自分たち自身の人工的なシミュレーションを作り出したということです。この行列の守護者はカルト--文化！？彼らは力の地球上の中心である: 状態、資本及び宗教、または私がGGGの力の中心として本の中でそれらを参照するように、暴力-信仰-お金および彼らは人類のすべてを奴隷にする。

もし私たちが本当にここにいるミーム・スピリッツという情報を把握したら、ミーム・スピリッツが実際に存在するという洞察に目覚めたら、あなたの人生は根本的に変わり、私たちが特別な生命体であることを理解できるでしょう
...私はあなたがこの情報を中立的かつ懐疑的に処理することを強くお勧めします...

ロジャー（物理学者）のためのように、スチュアート（生物学者）のために、意識または量子意識 - ATTENTION（意識） - 時空幾何学における環境の知覚を意味します。

この二人の世界では、何事にも確信を持って言える法則はなく、全てが可能であり、絶対的な可能性はない、ホメオパシー、テレパシー、サイケデリックトリップの幻覚、生まれ変わることさえ考えられる--そう、祈りに応えてくれる個人的な神さえも--ナンセンスだ、それはガサツだ！」と。

麻酔医以外の誰が、意識がどこで、どのように機能するかの質問に精通している可能性があります、彼らはすべての医療手術中に徐々に意識を麻痺させる場合。そして、誰が経験し、私たちのためにDMTと他のトリプタミンの影響下で意識を記述しようとしたサイコナウトのテレンスMcKennaよりも優れています。　私は本の後の章でこれに戻ってくるが、ここでは、ソースリストは自習のために重要であることに注意する必要があります、私はちょうどこのトピックのための紙のシートのフルトラックが必要になるだろう....
ノーム・チョムスキーよりも言語学者として、情報とその情報を伝える乗り物の言語について何かを教えてくれる人はいないだろうか。私はそれがMeme　i言語を発表した彼だったと思う...彼は感覚器官のような部分は、脳と環境がその部分、すなわちi言語よりも多くのシステムを形成していることを書いた、と我々は、我々はサブアトミック（量子）、原子とその分子の世界でそれを見つけたのと同じように、バイオ化学的進化の中で後にそれを見つけるでしょう。
主観的現実はシミュレーションであり、客観的現実はその瞬間に把握するための問題である!
コスモスの中のすべての個人の魂は一つの魂です。コンシャスネスはコンシャスネスから来ており、生物だけではなく、すべての構造の中の特異性です。

エルヴィン・シュレーディンガー（物理学者）による

中心テーマ
結論と貸借対照表。
コスモスシステムについて、自信を持って言えることは何でしょうか？

1 最新の知見によると、宇宙は亀でも時計仕掛けでもカニでもない。 かつてバチカンが強制しようとしたように、星空は星空テントではありません。死刑　アインシュタインとゲーデル以来、我々は宇宙の起源、時空、原子物質と数学のビルディングブロック（量子振動）について何も理解していないことを理解しています。そして、おそらく私たちは、ゲーデルの定理に従って、私たちの生得的な感覚（器官）では、それを理解することはできないでしょう。　数学的論理学者と、ゲーデルを理解し始めている科学技術の現状。私たちは50年以上立ち往生していて、この精神的な迷路から抜け出す方法を見つけることができません。　大宇宙は、宇宙、星、そして私たちが構成されているビルディングブロック、小宇宙に入る場合にのみ、非常によくモデルで説明することができます - そこにすべてがぼやけて、不確実で予測不可能になります。 私たち人間は、不可解なことを簡単に説明できるようにするために、無限大と永遠（！）を発明してきました。　しかし、これは科学的な公式やモデルにまだ含まれていることが多く、さらに我々は観察できるものだけを信じているので、明らかにフィルターである感覚器官に頼り、それらを制限し、それらを解釈する...そして、それは我々が長い間行き詰っている理由です、もし我々が宇宙の境界を想像することができるならば、この絵は間違っています。 イメージや時空で考えるのはやめよう どうやって？ 知らないよ！
2 システムコスモスは、量子物理学、エルゴティズム、パンプシズム（形而上学）で述べられているように、すべての物質が情報の源である霊的な性質を持っているが、心からは理解できないという証拠を与えてくれる。超対称性は、宇宙がコンピュータプログラムのような行列である可能性があるというヒントを与えてくれます。　もしこれがシミュレーション仮説が本当なら、私たちはシミュレーションの中に住んでいるのかどうかを知ることはできないでしょう。　仮にコンピュータキャラクターのMARIOがコンピュータの中に存在していることを知ったとしても、MARIOがアップルPCで遊んでいることを知り、スティーブ・ジョブズのことを知り、量子の世界で生物系であることを知るにはどうしたらいいのでしょうか？
3 神と無限と永遠についての基本的な疑問は、科学哲学、量子哲学でしか答えられない。宇宙は情報でできているので、このデータが保存され、処理され、秩序づけられている何らかの意識を持っていなければならないと私たちが考えていることを理解するために - これは、すべての脳が基本的に行っていることです。宇宙はおそらく生物であって、カニではないだけである。正直に言うと、私たちは知らないし、私たちの脳には必要な情報も技術的なツールもなく、質問をより知的に聞くことができない可能性があります。それは私に、人々がお互いに話す方法を見て、私は言語の音を並べ替えようとしているような印象を与え、私はまだそんなに離れて内容を理解することから、はい、アリであってもドイツ語を理解することができます...？
4 宇宙のマクロな世界では、銀河も星も惑星も、ガスや塵の雲から自然の法則があったからといって、難なく形成されていた。ここでは、秩序とある種の一貫性、つまり始まり、中間、そして終わりを見つけることができます。　宇宙の中では、互いに離れたり離れたりしながら、構造物の動きが拡大しています。私たちは、成長したり、老化したり、衰えたり、死んだりする生き物を「コスモス」と呼ぶことができますが、永遠に存在するものはありません。　神がすべてを作ったという答えは、今はそれについて推測するのをやめて、私にとっては満足のいかないものです。私たちは宇宙の一部だと思っています、もしかしたら一部というよりも、宇宙が自分自身を認識した結果なのかもしれません、もしかしたらこの宇宙の情報はミームスピリッツの一部なのかもしれません。元々の水素原子がどのようにしてより複雑で斬新な原子へと進化していったのか、時空や自然の法則、星の溶鉱炉と結びついて複雑な原子を作ることができるのです。
5
観察者は観察された者! それはビットから。MATTERENERGYとSPACETIMEは情報でできていて、それをNOTHINGと呼ぶ人もいますが、アジアの哲学ではそれをEMPTYから来るFORMと呼んでいます。時を超越したミームスピリッツは、情報であり、宇宙意識であり、太陽、月、銀河などが形成される時間的に拘束された原子、分子、細胞、生物、生物、思考、自己意識を形成しています。

6 宇宙がどのようにして誕生したのか、古典物理学でも量子物理学でも、まだ解明されていない。宇宙は原子やクォークでできているのではなく、その根本的な本質は情報であり、意識であると考える人もいます。　　これは、何か（時空）に囲まれていない身体（宇宙）を想像するという問題が、私たちの想像力の中にあるからであり、多世界論でさえ、この思考モデルを全く解決していない。　しかし、スーパーサイメトリーが示唆していることは、より理にかなっている：宇宙はホロ

グラムであり、データは、それ自身の存在のために時空や身体を必要としないが、明らかにこの世界で自分自身を表現することができます、はい - 彼らもそれを作成し、我々は次の章で理解するように、彼らは同様に私たちを作成しました。

7　宇宙、私たちの世界、私たちのIは、私たちの脳が外界と内界をモデル化するために行う主観的なシミュレーションである。

太陽と惑星地球

チャプターサブディレクトリ。

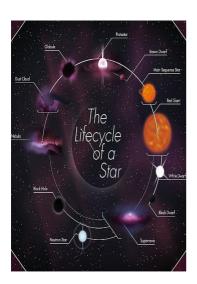
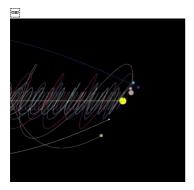
- ➢太陽系の起源
- ➢宇宙進化からの生物化学進化
- ➢物質からの生命の起源
- ➢生命体からの意識の出現
- ➢自己意識の出現
- ➢動物人間

太陽系の起源

Der Lebenszyklus eines Sterns:

目に見える宇宙では、天文学者は星の数を推定しています：100.000.000.000.000.000.000.000.000.000（！）これは再び私たちの心には想像を絶するものですが、砂の粒との比較は、より良い助けになります... 平均的な星の寿命は約7億年ですが、私たちの太陽の年齢は約46億年、さらに40億年で、その安定した寿命が生物学の発展に貢献したからというだけで、太陽の光は紫外線（UVライト）のために生命にとっては敵対的であり、植物の葉緑体が生命エネルギー / 食物エネルギーを得るためにそれを使用するために生命を促進するからです。　しかし、どのようにしてそれが存在するようになったのかは物議を醸しています、それとその9つの惑星が存在するようになった方法については、約15の異なる説があります。コンセンサスは、以前の星系の残骸から発生した回転するガスと塵の星雲に由来するというものです。これはすでに他の星で証明されており、事実とみなされている - それは自動的に起こった... これらのガスと物質の残骸の99.9%は太陽そのものを構成し、残りの惑星、小惑星、衛星の質量のごく一部を構成しています。しかし、私たちの太陽は、それが大きさに来るときには何も異常ではありません、ベテルギウスは300倍大きく、（HDF）ハッブルディープフィールドで、私たちが知っている最大の星は、UY-Scuti - 私たちの太陽の1億倍の大きさです。 宇宙空間を飛び回る母星のない孤高の惑星（約1000億個）があるように、惑星のない星もあります。それゆえ、我々とこのような孤独な放浪者との衝突も不可能ではない。小惑星は毎日、14日に私たちを打つ。　　2002年6月、小惑星MN-2002はちょうど私たちを逃し、それは都市を破壊している可能性がありますほとんど大惨事に来ているだろう。我々はより多くの場合、我々は私たちの近くに来るすべてのものを引き付ける豊かな木星の次元に負う必要があるヒットしていないこと。　実際のヒットはすでに何度か起こっています　テイアが約40億年前に私たちの惑星を襲ったときに、それと合流し、いくつかの破片が私たちの月を形成しました。あるいは、約6500万年前に恐竜を一掃した小惑星の直径は「わずか10キロ」だったとか。 太陽は天の川銀河の軌道を回るのに2億年のサイクルを必要とし、この旅の間に多くの星が死ぬが、最も興味深いのは、おそらくベテルギウスとビッグガーの大きさのような星が死ぬときである。このような超新星は、銀河系では100年に1度の割合で発生しています。　そして、すべてのブラックホールは、そのようなメガスターの死から来ていることを知っていると信じていますニール・デグラス・タイソンは書いています。

￼

The Lifecycle of a Star
Protostar
Globule
Brown Dwarf
Main Sequence Star
Dust Cloud
Red Giant
Nebula
White Dwarf
Black Hole
Black Dwarf
Neutron Star
Supernova

このグラフィックは、太陽系がどのように回転し、同時に宇宙と一緒に膨張していくかを示しています。

地球と組織

惑星の起源と生命の起源

Die Entstehung des Planeten & des Lebens

ここでは、科学は、私たちが現場にいるからこそ、宇宙では手に入らない道具を使って惑星の起源を理解し、説明することができます。
46億年前、地球は太陽系と一緒に形成されました。

私たちの太陽系の恒星系としての惑星は、地球と呼ばれる生息地を提供しています。　地球は岩石の地質学的変化によって生きています。　私たちが知っている岩石は、地球の過去の遺物であり、生物地質学の遺物です。
地球の表面はマグマという液体の内部に浮かんでいるため、すべてのものがお互いにゆっくりと、しかし一定の動きをしています。陸塊や海が山に移動したり、地球内部に飲み込まれたりする。これは海流に影響を与え、短期的には天候、長期的には気候にも影響を与えます。これは、動物や植物の生息地、ひいては種の多様性に多大な影響を与えています。
例えば、1億年前、オーストラリアの南海岸は、それまでランドマスを形成していた南極の北海岸から分離しており、現在の南米のアマゾン盆地に匹敵する温帯気候が存在していました。
約3,500万年前、2つの地球プレートはついに分離し、氷の砂漠と砂の砂漠という2つの異なる気候帯を形成しました。
ユーラシア大陸とアメリカ大陸の地殻プレートが年に2cmの速さで離れていく様子は、今日でも見ることができます。
私がこれらの大陸シフトを提起したのは、誕生の揺りかごからの距離が非常に遠く、海によって隔てられていることが多いにもかかわらず、なぜ異なる種の動物が生息地に到着したのかを説明するためです。
火山と世界の気候がガイアの生息地を形成しています。地殻は常に移動しており、新しい陸地、山、海を生み出しています。そのため、地域の気候も変化しており、すべては現在も続いています。　これらの変化は、動植物の種の変化にかなりの影響を与えます。ユーラシア大陸とアメリカ大陸のプレートは、今でも爪が生えてくるようなスピードで動いていますが、その理由は、地殻が液体の岩石の流動性マントルの上を動いているからです。私たちが鉱山で採掘している鉱物の多くは、地球の内部から採取されたもので、地質学者や生物学者にとっては魅力的で刺激的な生命の実験室です。生命の構成要素が結晶のような岩石から発達したという仮説もあれば、原始細菌が隕石に乗ってヒッチハイクしてきたという仮説もありますが、どちらも信憑性があります。
NASA職員のカール・セーガン博士をはじめとする研究者たちが、微生物の存在を証明したのは
私たちの大気の高度50kmに存在し、真空中でマイナス150℃の宇宙空間に追いやられると、
ショック状態になり、紫外線でさえも害を与えることができません。これらの生物は非常に小さいので、太陽風によって帆船のように、驚くほどのスピードで宇宙空間に飛び出していきます。
生命の宇宙の種が私たちに来たかどうかは、宇宙ステーションISSの実験室でのテストが示すように、細菌や真菌の胞子は、簡単に寒い宇宙で生き残ることができるかどうかは、彼らが生命に優しい環境（生態系）を見つけるまで待つ、それはパンスペルミア理論であるか、またはここで開発されたまだ明確に答えられていませんでした。しかし、太陽の周りをバイタルゾーンで周回している惑星がたくさんあることはすでに証明されており、私たちにとっては驚くべきことではありません。

生物化学的進化

ドナルド・ホフマンはゲーム理論をこのように理解しています。

進化をゲームとして説明する理論です。そして、ルールやポイントがあるゲームのように、ゲーム内でポイントが増えれば増えるほど、次のレベルに到達するのが早くなったり、ゲーム内で負けたり死んだりします。
太陽の熱が大きな化学分子を燃やすことができず、 1-2ケルビンの宇宙の寒さが複雑な生命を不可能にするほど熱が弱いわけではないので、生物化学的な生命体がここで誕生する可能性がある。太陽までの平均距離が1億5千万キロなので、生命に優しい平均気温が得られます。地球は、地球温暖化の結果として、ニッケルと鉄の金属製の回転する地球のコア（磁場）を形成することができた大きさを持っています。玄武岩と花崗岩のような岩塊で構成されている - 地球の地殻が固まる可能性があるほど多くの温暖化だけを可能にする放射性元素の含有量。月のように裸の惑星だったが、熱いコアと液体マグマ、そして熱い地殻を持っていた。
例えば、月は地球の自転の速度を安定させ、地球の軸が約23.4度傾いた位置にあることで、四季と安定した気候が得られます。 地球内部では鉄心が回転しており、磁場を作り、放射性物質から私たち生物を守ってくれています。火山とプレートテクトニクスは、地球の液体コアの結果であり、陸地、海、大気の形成に責任があります。
地球は最初の6億年は赤茶色の惑星で、隕石や小惑星の砲撃を常に受けていました。 約40億年前、地球が冷え込み、化学進化が行われ、脂質クラスの物質の単純な有機分子、これらは、岩石の表面上のバイオフィルムに発展しました - 原始のスープ。

そして、これらの脂質は中空体に形成された。
中空の球体と膜で囲まれた
水だけではなく、分子にも影響を与え、結果として
内側と外側-後に細胞膜として
透過性のある国境、すべての国境が支配している
透過性

これらの形成は、最初の個体、代謝、したがってエネルギーのターンオーバーが行われました。封じ込められたタンパク質分子は、細胞の構成要素となり、これらの多細胞は生物を形成しています。

彼らは原細胞と呼ばれ、分子のキャリア（設計図）であり、一度惑星が細胞に感染すると、それを根絶することは不可能になります!
ここでは、進化はすでに行われています。
人生はダイナミックで混沌とした環境を複雑なものに変えてしまう、それを覚えておいてください

この意味で、生命＆知性は密接に絡み合っているのです
知性は、ダイナミクス＆カオスの力の上に人生の特定の制御を可能にします。

つまり：発明＆試してみて、非常に多くなり、その後、何が正常に動作するようになります ここ＆現在では、生きている、と何が動作しない、死んで、さらによく動作するものは、様々な形で、より多くのものが出てきて、勝つ - それは、それは、非常に簡単に - 行われた
以下を記録します

原子から銀河まで、宇宙の全容は、原子核から中心まで、似たような構造をしています。すべては内側から作られているのです
最初の宇宙の自然は完全に退屈だった、最初の分子の形成は、物理学から化学へ、それはより面白くなり、生物学的進化の中で、それは本当に面白くなります。
つまり、タイムラインはこれまで以上に複雑に進行し、テレンス・マッケンナが言うところの「グレート・アトラクター」に向かって、これまで以上に速く進んでいくのです。
惑星地球はガイアシステム（ジェームズ・ラブロック著）で、透過性のある境界線を持ち、宇宙と自然の法則が生物圏やバイオジオロジーに決定的な影響を与えています。
生物発生 - 生命は細胞と呼ばれる分子機械であり、自分自身を組織化することができ、3つの機能を持っています：遺伝的チューリングマシン、自己複製、エントロピーのための抽出器 - それだけ

です
オートマトン - チューリングマシンは、1936年にアラン・チューリングによって発見された、それは1970年にマイクロチップのための画期的なものだった、おそらく今日までの最後の重要な発明は、博士Joschaバッハを書いています!

- ➢彼の発見は、普遍的な、数学的な機械語、ルール（自然の法則）に従って情報をシミュレートするモデルであることを明らかにした。 自然界では、これらは遺伝子＆ミームであり、PCでは1,2,0である。 アランはそれをA-machine、自動化された機械と呼んでいた。
- ➢そして、ここでは、最初のプロパティのうちの2番目のプロパティ、複製、生物学的な子孫を持っています。
- ➢エントロピー抽出器は、カオス＆ダイナミクスの影響を修復し、システムからそれらを追い出す仕事を持っています。 突然変異は、細胞内のあらゆる瞬間に行われ、癌細胞は細胞のカオスを開始し、これは、例えば、免疫システムを調節します。
- ➢今後、私はこれを生物化学的、記憶的アルゴリズム、行動、内面と外面の世界の間のものとして説明します。

外界とのうまく機能するとはどういうことでしょうか？
最初はオートマトンの自由な意志があった! そして、ずっと後には、オートマトン2.0の自由意志が発達して、必要なことではなく、正しいことを行動するようになるはずです。
環境中のすべての生物の生活は、結果として

協調性と競争力のある行動に適応する
EXTINCTION NO DESCENDANT REPLICATION!

動物界のハンターは獲物を作るために賢くなければならず、獲物の動物は慎重にならなければならなかった。 ライオンはカモシカよりも知能が高い。 原始細胞やバクテリアからコアラやカンガルーに適応した彼らは、東京のような大都市の人々と同じように、この新世界の海の砂漠、後に砂の砂漠に適応しました。

これらは生物地質学の進化的発展です...なぜならば、例えばオーストラリアは4000万年後にアジアに加わり、数百万年前に存在していた熱帯気候の条件を再び持つことになるからです。
また、北極海にはプランクトンやオキアミなどの微生物が豊富に生息し、魚やクジラの餌となっていました。 この海渦は、地球上の海流を引き起こし、太平洋、大西洋、インド洋で、地球規模の海洋サイクルを開始させました。これは原理に従って働いた：冷たい塩水が沈み、暖かい塩水が上昇するか、または冷たい塩水が海の深さに沈むように引き起こす：ポンプが作成されます：南半球から大西洋の北半球への湾流、太平洋ではこれもあります。

ヨーロッパの温暖な気候はこの湾岸流のおかげであり、もし存在しなければカナダ北部と同じ気候になっていたでしょう。

ここでは、自然の力が気候、天候、気候の中でどのようにお互いに影響しあうのかを見ることができます。
生物の種の多様性は、当面の間、安定した動態を発達させてきた...

ダイ・キモエボリューション

太陽系が赤褐色の惑星を形成した後、地球は6億年の若さであり、その後、化学進化が来ました。地球の内部が沸騰して圧力を作り、火山活動で放電したため、地球に大気を与えたのです。　地球は水蒸気、窒素、二酸化炭素、炭素、水素、二酸化硫黄、リン、メタン、アンモニアなどを「汗だくになって」排出しています。
そのため、大気ができただけでなく、雨や雷（雷や雷）が降ったので、地球上に約100.000年間雨が降り、高温の地殻を雨が蒸発しない程度に冷やし、地球の70%を覆う原始の海を形成し、生命の苗床となっていたのです。　　この間に化学進化が発達し、それは物理原子が星の溶鉱炉で以前に行っていたように、お互いに化学的なつながりを持つようになったことを意味します。
化学は、異なる種類の原子が互いに愛し合うところから始まり、彼らの赤ちゃんは彼らの親のミックスである - ちょうどあなたがママと私のミックスであるように。
水素の2つの原子と酸素の1つの原子がエネルギーを持って結合すると、水ができます。環境や外気温によって、水が固体（氷）になるか、湿った状態（液体）になるか、気体（蒸気）になるかが決まります。鉄が酸素と結びつくと酸化して錆びる...これらはすべて化学的なプロセスです。 また、軽希ガスはすべて原子を持った化合物でしか出てこないので、ここでは分子を作っています。
宇宙に存在するこれらの92の異なる要素を分子に結合させることは、どれほど偉大な意志であるか......それは、それらの共通の親和性に依存する。
互いの関係、というか惰性、反応することができないこと、反応の速度;　...いくつかは他のものよりもお互いが好き...他のものよりも団結するために外部からのエネルギーを必要としない　-　しかし、団結する傾向は、すべての92の異なるタイプの原子で存在しています。

クォンタは原子の構成要素です。様々な種類の高分子
原子は、ポリマーの基礎である
生命の構成要素とDNAの設計図のために
すべての生き物の！

このようにして、原始地球は約10億年後に大気と原始海（原始スープ）、原始細胞（脂質のバイオフィルム）が水中の岩肌に中空体を形成した惑星に発展しました。これらの地層は、生物化学的進化と地殻化学的プロセスの変遷の最初の個体（原始細胞）である。　古細菌（古細菌）・細菌・藻類（ヤノバクテリア・アオコ
エネルギーを必要とし、老廃物として酸素を生産し、彼らの体は食料となっていました。これらの構築型は原核生物（細胞核を持たない）と呼ばれ、DNAの糸はまだ自分の膜に包まれていない。
1-2-4-8-16-32-64-などの単純なセル分割で乗算します。

バクテリアやクマムシは、おそらく私たちが知っている中で最も抵抗力のある生物であり、一種のショック状態になることで、宇宙空間の環境を生き延びることができます。

命と呼べるものは
籠もっていると
は、外の世界、環境を作ります。
も常に浸透しています。

元々の地球は、今の私たちが知っているような生物にとって生命に優しいものではありませんでしたが、当時の分子化合物にとっては、その環境に適応していたのです。当時の原始細胞にとって酸素は毒であり、一部の寄生虫や細菌を除いて、現代の生物は新陳代謝に酸素を必要としています。これは、発見者ハロルドC.Ureyの後、我々はUrey効果と呼んでいるもので、水が酸素に分割することができるように、最初の生き物、光合成の光解離（光による分解）に加えて、そこにあります。これは、分子からタンパク質、核酸まで、生命の構成要素を作るための唯一の方法でした。
ヴォルボックスは、当時からこれらのプロセスを理解するために今日でも研究されている最初の多細胞生物の一つです。1000個の藻類の細胞（球体）から、それは個体を形成し、これらの細胞は、もはや個別に、自律的に、一緒にのみ存在することができるようになりました。
約30億年前の次の進化のステップは、独立した自給自足の原始細胞-単細胞生物-もまた団結し、協力して内共生体を形成し、その結果、それぞれの異なる専門性をもって、1つの有機体、オルガネラ、多細胞生物を形成したことでした。
私たちの体もまた、元々は単一の生物器官であった多くの器官の集合体であり、後の器官である。

我々の祖先は元々のギャラートロイドである

原生動物、従属栄養単細胞生物は最初の単細胞動物であり、すべての動物の祖先であり、彼らは基本的な精神レベルの感情、つまり感覚が感覚的な印象を与え、彼らは捕食者であるために、その細胞体の中に食物の粒子を取り込んでいます、胆嚢菌、双生類、 ノトネラリア、ガストネラリア、カルダテス、そしてその後、シアノバクテリアや珪藻類（酸素を生産する）のように！彼らの細胞体の中に食物の粒子を取り込んでいるのです。　捕食性のものはすべて動物と呼び、葉緑体を持つものは植物と呼んでいますが、これは太陽光から光合成で食物を作り、水と二酸化炭素、糖・ブドウ糖、その廃棄物は酸素以外にも動物の食料となります。

化学を専攻していたスタンリー・ミラーは、1953年にシカゴで実験室実験を行い、死んだ物質がどのようにして生きた物質になるのかを調べました。世界中の生化学者たちは、これを探求するための合成方法を探していましたが、それ以上に幸運だったのは学生のミラーでした。彼はメタン、アンモニア、水（当時の原始地球が持っていたすべてのもの）を取り、その溶液をガラスのフラスコに入れ、24時間のエネルギーを雷（原始地球の雷雨のようなもの）の形で加えました。この非常に短い時間の後に、すでに生命に必要な20のビルディングブロックのうちの3つが作成されました。グリシン、アラニン、アスパラギン。　スチュアート・ミラーの実験は世界中でテストされ、70種類以上のアミノ酸が再現されたため、とても重要なクロロフィルや核酸、タンパク質までもが再現されました。　これらの生物学的タンパク質は自然界の生物法則の構成要素であり、設計図でもありますが、おそらく約30～40億年前にも似たような条件で作られていたのではないでしょうか--太陽からの紫外線や稲妻、火山活動によって大気が豊かになったために！？
生命はどこから来たのか？
この光の中で見ると、生命自体が空から落ちてきて、そのうちのいくつかは、分子ビルディングブロック、タンパク質、生体高分子（バイオポリマー）を形成するために結合し、それはちょうど再生するのに十分な時間を必要としています。スチュアートは彼の実験をわずか数週間与え、自動的にアミノ酸、年のより多くの時間と最初のタンパク質を得て、その後、ポリマーが形成されている可能性があり、はるかに、はるかに、より多くの時間と遺伝子のためのDNAが開発されているだろう - 自動的に星のように!
宇宙は生命を愛しています、それは生命であり、生命を消すことはできません。

その結果、脂質膜のラメラのシステムが体内に分割され、環境や生活空間からの栄養素の吸収を可能にしたのです - これが私たちが内共生体と呼ぶもので、内と外の世界との協力なのです
このようにして、細胞は「自己栄養化」され、次のようになりました。
自給自足：単細胞生物。

葉緑体（植物、藻類）は、約25～24億年前にこれらの細胞から発達しました。この時、嫌気性であった原核生物の最初の大量死が起こり、この大気中の毒酸素は、我々人間が呼吸できるほどに十分に濃縮されていました。この時、赤褐色の惑星は青色の惑星となり、窒素-酸素雰囲気の惑星となり、原生代の時代が始まりました。
これらの単細胞生物、真菌類、藻類、陸上植物、そしてバクテリアや古細菌は、今日でもこれらの惑星に住むすべての生物の食物連鎖の基礎となっています!
最初の原生動物は、従属栄養性の単細胞生物である原生動物であり、そこから鞭毛虫、根足類、繊毛虫などの多細胞生物が発達しました。多細胞生物は、私たちが動物界で知っているすべての動物、生きているか、または化石として、今日のようにです。
したがって、動物を軟骨、繊維、腱、歯、筋肉、神経、骨などの結合組織生物と定義します。
そしてもちろん、地球自体が意識的に生きている超生物であり、それ自身のライフサイクル（生態圏）や生物圏を持っているというガイアのテーゼも忘れたくない。このようにガイアは、個々の部分を超える生態系を形成しています。　ケアンズ-スミス理論によれば、宇宙全体が生命であふれていることが考えられます。それによると、"胚芽" - 生命のその種は、ここで作成されたものではありませんでした。　つまり、情報の自己複製パターンは、閉じたシステム（生物）の中で、宇宙を旅して、偶然にもここにたどり着いたのです。しかし、現在の科学の状況によれば、これは創世記を説明するためには必要ではありません。　水-地球（大気と火山）上の物理学は、化学化合物（分子）を生成することができますので - 水と土地で、したがって、生き物の生物学。

だから私は、ドゴンと星シリウスの物語、または地球外生命体アヌンナキスについてのシュメールの本と地球外生命体ネフェラインについての古代イスラエルの本エノクの話を、懐疑的な見方をしています。なぜなら、上記のように、生命の出現に地球外からの干渉は、これらの惑星での進化には絶対に必要ではないからです。私たちはとにかく宇宙の一部であり、私たちは永久に接触している；そして、私たちは遺伝的証拠も化石も、それがそうであった古代のUFOも持っていない - これはおそらく陰謀の神話である。

それも証拠がない......!

…中心テーマ…

結語・貸借対照表

太陽系、惑星地球、生物の起源について、確実に言えることは何でしょうか？

- 宇宙の起源を理解するためには、現在のところ超ひも理論でしか説明できませんが、これ以上の説明はありません。
- それは確かにシステムであり、すなわち全体が太陽、惑星、月、小惑星の個々の部分よりも多くなっています。それは一緒に働き、量子物理学的な代謝でもあり、生まれて、生きて、死んでいくのです。
- 外の世界から切り離されたすべてのものには内なる世界があり、これが存在 / 生への意志を持ったEGO-ICHの原型であり、存在のための闘争である。
- 進化はD.ホフマンのゲーム理論に従う。
- 地球は無機質な前の存在であり、半物質であり、この物理化学的進化から生物へと発展し、生物を生み出し、化学生物学的進化へとつながっています。進化の変遷は流動的であり、進化がどのようにして新種を生み出すのかについては、後ほど詳しく説明します。
- それは、単一の体（！）で異なる生物の協力なしでは想像を絶する理解可能な生命であり、また、私たちの体は、主に異なる生物、細菌やウイルスで構成されています。宇宙の影響力がなければ、このようなことは起こらなかったでしょう。この星では生命が独自に発達しているが、宇宙からの自給自足ではない！？物質・エネルギー・情報の宇宙成分が明らかに検出され、シンプルなピッピでした!
- したがって、私は、地球上の生命の種子は、星シリウス、シュメール人とそのAnunnakis、ネフェラインについての古いイスラエルの本エノクの伝説のように、宇宙空間から来たというパンスペルミア理論を考慮していない、唯一の彼らは絶対に必要ではないと彼らは事実で証明されていないことを、除外する。地球の生命が死んだ物質からどのようにしてここに発展してきたかを説明するのに、これらの物語は全く必要ありません。
- アルバート・アインシュタインは言った：もしあなたの理論をどんな子供にも理解できるようにすることができなければ、それは非常に価値がない可能性が高いです。科学的な理論はどれもわかりやすく、宇宙の複雑さは基本的にシンプルなものでした。アインシュタインは時空の理論と原子爆弾、重力、そして最後の1つである万物の理論でこのシンプルさを持っていたが、彼はミーム魂を失ってしまった......!

ボディ＆マインドの進化

"人間はその傲慢さの中で、自分自身を神の介入に値する偉大な作品だと考えている。もっと謙虚で真実に近いのは、自分自身を動物が作ったものとみなすことだと思う。"

チャールズ・ダーウィン著 (1871年

ここでは食物として循環経済、食物連鎖があり、例えばアマゾンのビオトープでは、地面に落ちた葉っぱはすべてアリやバクテリアによって数時間以内に利用されています。私たちはこれを動的平衡と呼んでいます。すべてのものがリサイクルされ、死体もおならも、すべてがリサイクルされます。星が銀河と共生しているように、銀河が銀河と宇宙と共生しているように、生物とその生息地が共生しているわけですね。
システム、存在は情報なしには存在できないので、データが必要です。これが形而上学の言うところのアジアの哲学者やパンプシズムの提唱者の言うところの文字通りの意味です。
すべては魂である。

化学進化論

40億年前、物理学と生物学の間に架けられた架け橋であり、生物への身体の生化学へと導いたのです。虚から形へ...最初の原始細胞ができたのは約38億年前、約20億年前に最初の細菌（古細菌）ができて、それから初めて真核細胞ができた。　これらから、葉緑体は、生命の茂みの中の別の枝に自己栄養的に発達した（植物、真菌、藻類）。そして従属栄養細胞（動物）ウルビラテリアへの第二のブランチ。 だから昆虫、軟体動物、無脊椎動物、脊椎動物。
原始的な自己意識は、これらの原始的な生物の感覚器官、外界を知覚するための神経刺激を介してのみ発生することができました。
宇宙意識は神経細胞を発達させ、これらは環境を解釈し、最初は光と闇、寒さと暖かさの間で、今日ではこれらの神経細胞は宇宙の中で自分の起源と起源を考えます。5億年前の無脊椎動物は、初歩的な神経系が全身に分布していただけだったが、節足動物の選択的進化によって、脳が中心点に向かって自らを命令した（ちょうど両性具足類から性器がオスとメスの間のセックスになるのと同じように）。彼らは特殊な感覚器や性器を発達させ、15億年前の刺激反応型の単調な生活から解放されました。
世界の観察は、それが目や他の感覚器官に来るまで、特殊な神経細胞から始まったが、非常に長い道のりだったが、我々は、開発には
知覚、観察、解釈、相互作用、コミュニケーションは、これらすべてを事前に計画し、そのために何十億年もの開発時間を必要とした創造主によって意図的に設計されたものではありません。
したがって、地球上のすべての生命は、その起源の年齢が同じでなければなりません。ゾウは、最も単純な細菌と同じくらいの血統を持っています - 彼らは起源のラインを持っています。ゾウ、人間、植物、バクテリアなどが、実際には多細胞動物のまとまりのあるコロニーであり、多細胞生物は単細胞生物と宇宙物質であるビッグバンの水素原子に由来することを正しく主張することができます。　私たちの体のすべての単一のセルでは、私たちは私たちの体と心を構築するのと同じ遺伝物質を持っています。

したがって、生物としての私たちは、物理学、化学、生物学に反映されている宇宙の情報を自分の中に持っています。

水から陸から空へ...

海水1リットルには、数百億個のウイルス、10億個の細菌、50億個の細菌などのミクロの小さな生物が生息しています。
何百万もの動物性単細胞生物と100万もの藻類が、ミクロとマクロの構造が織り成す織り目模様の中にカラフルに織り込まれています。
水の中から足を踏み出す......なぜ我々生物がこのようなことをしたのかは、なぜ宇宙を旅するのかという疑問と同じくらい不可解であり、我々は宇宙という敵対的な環境で生きるために作られたのではないし、水の中の生物は土地のために作られたのではないのだ。
最初の陸生生物はおそらく微生物で、次に多細胞生物が5億4000万年前、次に菌類が約4億4000万年前、植物が少し遅れて4億2600万年前に続いたのではないでしょうか！？ これらの植物は、膨大な量の腐った植物がバクテリアに食べられて海が傾き、海洋生物の75%を絶滅させる原因となったため、海の酸性化の原因となったのです。 この危機は命を奪ったに違いない......!
これを一歩一歩可能にするためには、深刻な遺伝子改変が必要でした。海には存在しなかった重力と睡眠から始まり、エラから発達しなければならなかった肺、ヒレから脚へ、脱水症状から身を守ることができる皮膚、海は太陽への軌道のために季節的、昼夜のサイクルがあるにもかかわらず、平均温度が4度であるため、暖かい血の発明。そして何よりも生殖という性的行為は、海の中でメスが卵を産み、オスが後から来て卵を受精させるため、子宮が海なのです。陸上の動物では、卵子も精子もないような形で性行為が行われなければなりませんでした。
胚の発達は、内部（子宮）で成長しなければなりませんでしたが、それは非常に大きな発達のステップであり、私たちは今でもあなたや私と一緒に理解することができます。
胚の段階では、最初のうちはすべてメスであるだけでなく、エラやヒレ、尻尾があるのです。　魚は泳ぐために、水中で安定して泳ぐために4つのヒレを持っている必要があるので、物理的に必要な - 空気力学的に2組の翼が必要であるように - 両生類（半分水/半分陸上生活）は、その後、陸上動物も4つの足として開発しなければならなかった！魚が泳いで、水中で安定するために4つのヒレを持っている必要があります。他になぜ四肢が発達するのか？なぜ私たちは羊水の中の胎児なのでしょうか？なぜ私たちの脳は、その構造である脳幹が爬虫類のそれに似ているように作られているのでしょうか？

最初の原始大陸はロディナイム先カンブリアと呼ばれ、それ以来、国が存在しています。その後、約1億6500万年前には原始の海はゴッドワナとパンゲアに囲まれていました。 サンゴ礁は確かにこれらの惑星の最初の生物の揺りかごであり、海の住人はそこに敵からの十分な保護と獲物、すなわち食べ物の大規模なオファーを見つけました。陸上では、サンゴ礁が海の住人に提供したものと同じように、森林が陸上の住人に提供していました。現在の種の豊富さと生物多様性を持つ熱帯雨林が、動植物の生命の発祥の地であったと仮定しています。　サンゴ礁や熱帯雨林は、地球の地殻変動、火山、地域や世界の気候、大気などのガイアと共生する生命のゆりかごであり、育つ場所でもあります。
ここで私が注意したいのは、地球上のほとんどすべての生命を絶滅させた出来事が少なくとも5つあり、最後にメキシコのユカタン島で起きた隕石が約55～6000万年前のものでした。
それは、人生の新たなスタートを必要としたことはなく、人生の冷めたスタートだけだった。　この地球上の生物の大部分、バクテリア、ウイルス、ダニ、胞子などが生命のミクロの世界ですから、微生物だけでも38兆種類もの菌株が存在しているのです!
それらは私たちをどこでも取り囲み、陸でも、水でも、空気中でも、有機的な鎖を形成し、私たちの体もまたその一部です。
海岸付近の陸塊の植民地化は、まず細菌、真菌、植物種、次にミミズの順で行われたと考えられます。
魚とカニ。この進化のステップは、数百万年かかっていたし、遺伝学＆エピジェネティクス（記憶学）を介して継承する能力が不可欠であった - 海の生き物は、すでにこれでかなり優れていた。

1立方メートルの表土（1立方メートル×1立方メートル×1立方メートル）には、約10億個のバクテリア、約10億個のレイ菌（バクテリアと菌類の中間体）、約100億個の青藻類や珪藻類、約1,000億個の単細胞生物（繊毛虫、鞭毛虫、原生動物など）、線虫、線虫、キノコ...など、肉眼で見えるものが含まれています。ミミズ、ミミズ、木蝨、キツネムシ、ゼンマイ、アリ、ダニ、シラミ、クモ、キリギリス、カブトムシ......どれも土壌の細菌叢に働きかけ、微量元素やビタミンなどに変化させ、肥料（養分）として植物の根に吸収されます。
母なる地球のようにコンパクトで複雑に共生的に織り成された生命体は他にはありません - この1

立方メートルには、地球上の哺乳類の数よりも多くの生命体が含まれています。
ここでは、より多くの生物が共生・共同生活をしており、後に追加された昆虫や鳥類も含めて、陸生動物や草食動物、肉食動物の食料源となっています。 それはほんの少しの間に
数十億年の年は、協力、共生と競争、選択の影響下で起こる - これは私にとって非常に印象的なようだ、特に私は
きのこや植物（コーヒーや大麻）を扱うことが多い　私はまた、植物が成長、健康と豊かな収穫とケア（愛）にどのように反応したかに気づいた...最初のように
ルドルフ・シュタイナーらは、それを有機農家として本当の科学的な植物育種に変えた。　生物といえば、もう一つの生物の変種である寄生虫について説明しなければなりません。

寄生虫 - ウイルス・メメウイルス
一方では、進化には突然変異があり、それは盲目であり、他方では選択があり、共進化があり、それは超知的である。　例えばメンウイルスのようなウイルスは、それ自体が知能を持っているわけではなく、突然変異で宿主を殺すようなコピーを作り、そのコピーが選別されると死滅してしまいます。宿主を長く、あるいはそれ以上に長く生かしておく突然変異は、増殖に成功します。　ウイルスは、私たち哺乳類が正常に繁殖することができるような方法で私たちのゲノムを変更さえしている、とボストンのMITのマノリス・ケリス教授は書いています。
何か非常に注目すべきことがあったので、ここで簡単に説明します。共生だ　多くの動植物は他の種と共生していますが、それらがなければ絶滅の危機に瀕しています。　私たち人間の体内にも無数の細菌やウイルス、いわゆる寄生虫が存在しています。例えば、脳サンゴや魚サンゴは、共生単細胞生物（ゾオキサントリア）と共生している動物で、宿主動物（ポリプ）に光合成によってエネルギーを供給しているからです。そして、これらの共生社会のサイクルはサンゴをはるかに超えています。なぜなら、ウミウシはサンゴを食べ、年間5トンもの砂を排泄し、それが海岸に堆積し、風によって内陸に運ばれ、今では北アフリカ砂漠がアメリカのアマゾンに重要な栄養素を供給するようになっているからです。言い換えれば、サンゴ礁の共生は、多くの生物に良い生息環境を与え、その結果、アマゾンを凌ぐだけの生物多様性をもたらしています。
寄生虫とは、宿主である他の人と一緒に生きている生き物のことです。これは2020年のNATURE通信が、約5億1200万年前のカンブリア紀の中国で発見されたブラキオポッドの化石についての記事で確認したものです。彼らは陸にも地にも水にも空にも住んでいます。　ウイルスも体をなしている存在です。今のところ最もよく知られているウイルスは、バクテリオファージというバクテリアを食べるウイルスです。　しかし、ウイルスや動物、あるいは人間であっても、それに依存して自然に悪/悪なのか、あるいはそれに依存しているのかという問題は、善と悪のように二元論的に切り離すことはできない。これは、善と悪はコインの表裏一体であり、どちらの面がテーブルの上に落ちるかは50/50ではないという事実に関係しています。つまり、コインの端に止まるのではなく、確率論者が統計で説明したがるように、毎回反対側に落ちるわけではありません。　コインは前にどうやって落ちたかわからないだけで、コインの同じ側に10回落ちない確率がルールなんだけど、ゲーデルの定理が数学的に証明してくれたんだよね、常にそうでなければならないという法則はないんだよね
そして、すべてのギャンブラーはこれを確認するだろう;　3回連続で色の赤がルーレットで来た場合、彼は黒に賭けて勝つだろう!
偶然の一致が存在するとすれば、私の考えでは、カオスの力に属する。
ダイナミクスとカオスの力は、宇宙の複雑さや生物の進化においても決定的な役割を果たしています。　それは明らかに、ウイルスは、それがホスト動物の殺人的なゲストである場合は、自分自身とその子孫は、任意の良いことをしないことは明らかである - 人類は時間の始まり以来、理解することを学ばなければならなかったように、死亡した
コミュニティの誰もがインフルエンザウイルスから死亡したわけではありません;　20世紀のスペインのインフルエンザは、大世界大戦で倒れた兵士の面で持っていたよりも多くの人々を殺したか、または2018年にドイツで約25,000人がインフルエンザから死亡したが、誰もが、このようにウイルス、その遺伝子マシンは、イギリスの生物学者リチャード・ドーキンスが彼の中で書くように、それ自体が死ぬことはありませんでした - すべての場合は、唯一の体の免疫システムは、それを行うことができますか、ロバート・コッホ?
また、宇宙のすべてのもの、すべての生命は、私たちが宇宙の調和を認識すべき均衡を求めていることも明らかです。　現在メディアでコロナ感染の統計を報道しているドイツの医師ロバート・コッホ、後に彼の研究所が最初のウイルス（炭疽菌）を発見したのは1876年ですが、アラブの医師イブン・シブンは1000年前にこの病気を発見し、検疫対策で戦っていました。　ウイルスは新陳代謝も呼吸もしません。彼らは宿主の細胞に入った時だけ、ある種の生命に目覚める。　数えきれないほどの数と種類の異なるウイルスのために、科学は、すべての種のRNAとDNAの普及に並々ならぬ貢献をしているという結論に達しました。

人間だけでは何百万年も前からウイルスと共存しており、体内には約80兆個のウイルスが存在しています--すべての種類のウイルスが病気の原因になるわけではありません!
コロナパンデミックまたはより良い言い方をすれば、パニックパンデミックは2019年12月に中国の武漢で始まり、持続可能な方法で世界社会を変えることになっていました。　　私たちは、両生類、爬虫類、昆虫、哺乳類のような野生動物を食べたり飼ったりすることについて、今日の世界社会の章でこれについての詳細を読みます - ここでは、まず第一に、生物多様性の一部としてのウイルスとその役割を理解することについてのみです。その攻撃的な繁殖パターンは非常に印象的で、上記のウイルスが細菌細胞を攻撃して繁殖する場合、それはチャンスを必要とします。　右の空気や水の流れは、例えば、その後、ウイルスが細胞に触れ、その微細な足を折り畳み、ドリル自体 - 感染 - 細胞に。 彼の遺伝物質は彼の頭の中にあり、ウイルスはこれを細胞のDNAに転送し、気づかないうちにウイルスの正確なコピーを作成します。　この自殺行為は、ウイルスが生物の中で拡散し、そこに生きていることにつながり、善良なウイルスは宿主の生命を維持しています。　なぜなら、もしこれが狂犬病ウイルスの場合でなければ、新しい宿主を見つけるために、その生存の可能性は非常に低いだろうからです。　ウイルスは、それゆえに体をなしている既存の遺伝物質であり、それ自身のコーディングとそれがパッケージ化されているエンベロープの設計図を含む核酸ストランド以上のものではありません;感染すると、ウイルスはそれ自身を完全に空にします。　電子顕微鏡でしか見ることのできない小さなサイズのため、ウイルスがどのようにして宿主の中で生きているのか、あるいはどのようにして消えたのかを理解することは、研究者にとって非常に困難なことです。
この時点で私たちにとっては、生命の起源を調べているのか、本当に誰が誰を支配しているのか、遺伝子の共生なのか、ということであれば、次のようなことが興味深いです。私たちは、地球上の他の高等生命体と同様に、この前例のないウイルスの繁殖技術のおかげで、私たちの存在が存在しているという事実に勝るものはないのかもしれません。なぜなら、個々の種にとっては取るに足らない情報ではあるが、すべての生物が遺伝情報を持っていることは、すでに顕著であるからである。私たちは、ウイルスが他の宿主に感染したときに、種を超えても、ウイルスが宿主の遺伝子をいくつか持っていくことに気がつきました。
1958年、アメリカの生物学者ジョシュア・レダーバーグは、ウイルスが宿主細胞に感染すると、ある細胞から別の細胞への遺伝物質の移行がしばしば起こることを発見したことで、ノーベル賞を受賞しました。これはどういうことかというと、ウイルスは増殖するときに、自分がくっついている細胞のDNAの断片を取って、それを持っていくということを繰り返して、知らず知らずのうちに次の細胞や次の宿主に感染してしまうということです。　分子生物学者は、この方法では、3個、4個、あるいは5個の完全な遺伝子が、全体として以下のように転写されることを発見しました。
遺伝学の研究者は、人間の遺伝情報の8%はこのようにして作られると考えています。　　このように、約4億年前のレトロウイルスが神経細胞、つまりそのシナプスにデータを記憶（記憶）する能力と、このデータを処理（学習）する能力を与えたというのがアーク遺伝子のテーゼであると研究者の間で議論されています。
しかし、現時点では、コロナはおそらく、生物学的な戦争の文脈で、ヒトの突然変異ウイルスであるという刺激的な兆候もあります。なぜなら、ウイルスのこのバージョンは、冬のインフルエンザが来て、2017/18年にドイツで、国民のパニックなしで、25,000人を殺したときに、私たちが何十年も感染するものではないからです、このタイプのコロナウイルスは、HIウイルスのように、宿主の体内のT細胞を攻撃するのです コロナパンデミックのもう一つの選択肢は、ズノーゼです。
これらは、他の動物種も攻撃し、宿主の遺伝子を変化させる病原体（寄生虫、細菌、ウイルス）です! この説は、武漢の市場では、この病原体は消費を目的とした野生動物から感染した可能性が高いと考えられています。アフリカでもブッシュミートの消費が大きな問題になっているので、SARS1 2（コロナ）、BSE狂牛病、鳥インフルエンザ・豚インフルエンザ、エイズなどが、人間社会とその農場の動物（屠殺動物）に適応し、感染し、蔓延している可能性が非常に高いのです! 先進国のE-Bayのクラシファイドでも、生きている両生類、爬虫類、昆虫、小型哺乳類は何の問題もなく取引され、販売され、個人に届けられています。
この遺伝的経験 - メモリは、地球上のすべての種の間で行われる進化の進行中のメカニズムです。進化が無数の生物にもたらしたすべての遺伝的発明は、遅かれ早かれ他の種族にもこの方法で読み取られる可能性があります。
これは、有性生殖以外のもう一つのメカニズムで、遺伝的およびエピジェネティックな

だから、私たちがウイルスを考えるとき、コロナ・インフルエンザの次の波として、一方的にそれらを見て、このウイルス感染の迷惑な個人と社会的な結果をドラマ化してはいけないが、自然は何も秘密にしていないことを理解し、その自然の法則の不可欠な部分として、生物学的、暗黙の自由を維持しています
マティアス・グラウブレヒトは彼の本に書いています：ダス・エンデ・デア・エボリューション

（2019年）：「すべての学問分野で、我々は常に原子の波動関数、宇宙の重力波だけでなく、
我々はまだすべてを知っているわけではなく、特に生物圏として知られている、お互いの間の相互作用の多さについて、より多くのことを学んでいます。
これらの生態学的で動的な連鎖反応（力学の自然力）は、自然科学者や人文科学者にとっては、数式や論理的に簡単に理解できる宇宙論（物理学）や化学の世界よりもはるかに理解が難しいものです...生物学は物理学や化学の世界よりもはるかに複雑で、量子物理学やパンプシズムに次ぐ最も複雑なものであり、それらはおそらく表裏一体のものなのです。

アルバート・アインシュタインはかつてこう言ったと言われています。宇宙の科学を掘り下げれば掘り下げるほど、神や力が私たちの発見のためにすべてを組織化してくれたのだと信じるようになりました。

- ここには、この情報を誰が作ったのか、何が作ったのか、誰が管理しているのか、という疑問が一つだけあります。

-
- テレンス・マッケンナは、それを彼の言葉で「超越的物体」と呼んでいる。

- ルパート・シェルドレイクはそれをモルフォ遺伝学的分野と呼んでいます。

- エルヴィン・シュレーディンガーは、それをボディ＆マインドの特異点と呼んでいました。

- ドナルド・ホフマンは「コンシャスエージェント」と呼んでいます。

- カール・ユングはそれを集団的無意識と呼んでいました。

- ラルフ・エイブラハム、グレートムーバー-ダイナミック・アトラクター

- ラルフ・オットー、聖なる...

種の分類学

生物学の一つの基本は、いつ、どこから来たのか、どの生物が地球上にいるのかを正確に知ることです。哲学者アリストテレスは、最初の生物学者、動物学者、分類学者であった - 生者の世界 - 彼の本で、紀元前345年にレスボス島でこのテーマについて書いています：デpartibusanimalium。

その後、スウェーデンの植物学者カール-フォン-リンネ、彼の著書：Systemanaturae、ブッフォン、フンボルト、ダーウィン、19世紀のウォレスが続いた。

今日では、完全な種の測定には程遠い状態になっています。花卉類や哺乳類は80～90%を記録しているが、軟体動物（カタツムリなど）、無脊椎動物（昆虫など）、真菌類、細菌はせいぜい1～10%、最も少ないことがわかっていると考えている。

そして、研究され、多くの種の発見は、私たちの研究所の棚の死体として横たわっています。約1,500万～2,000万の種があるかもしれませんが、それ以上に3,000万～8,000万の種があるかもしれません。昆虫だけでも200万種と推定され、これまでに500～800万種をマッピングして公開しています。　私たち人間が書く本（ミームスピリッツ）と、世界最大の図書館、ロンドンの大英図書館には1億7000万冊、2位はワシントンD.C.の米国議会図書館で1億6400万メディア、3880万冊...と比較すると、これらはすべてしっかりとカタログ化されており、研究されています。

これをもって、遺伝子や種の多様性を担う遺伝子の増殖に比べて、ミームの多様性や情報発信のスピードがどれだけ大きいかということもお伝えしたいと思います。だから、私たちの心は、遺伝子のはるかに遅い進化よりも、ミーム知識の本の出版物の方がはるかに創造的なのです。　つまり、ミームの文化的進化の方が強力なのです。この力は、おそらく音声コミュニケーションと同様に、テレンス、ルパート、ラルフ、ドナルド、カール、エルヴィンが考えた宇宙以前の原始法則に属するものであろう。

事実は：地球上ではない脊椎動物（骨とすべての）ルールが、90パーセント無脊椎動物や軟体動物に - そしてこれはすでに6億年のために。

バクテリア、原生生物、古細菌、藻類などの単細胞生物や多細胞生物は、もちろんその存在が30～40億年前に始まった真の原始の親なのです！（笑）。

なので、カタツムリ、ミミズ、ダニ、虫などの軟体動物や無脊椎動物などは　その時点で生命は、原始の海で、生命の揺りかごとして始まった - 今日では、生息地の土地、乾燥した湿った暖かい気候が明らかに生き物に好まれているため、それはまだ海に住んでいるすべての生き物のわずか17%である　-　最大の種の多様性は、世界の熱帯、森林地域にあります。　また、霊長類やホモ属のものは、200万年前にすでにこの気候を愛していました。見てください。

これらの惑星の生物の非常に大きな割合は、昆虫ではありません、彼らは全生物の約70%で2位ですが、いや、1位は微生物です　-　母なる地球の一握りは、世界の人間の数よりも多くの生物を持っています！これらの惑星の生物の非常に大きな割合は、昆虫ではありません、彼らは全体の生物の約70%で2位です。　これらの惑星の生物のほとんどは科学的に研究されていない、進化生物学者マティアス・グラウブレヒトによると、1500万〜2000万の種があるかもしれないが、3000万〜8000万以上の種があるかもしれない、誰もそれを知らないし、私たちが収集したものは国際的なデータベースに記録されていない。昆虫だけでも200万種と推定されています。　これまでのところ、500万～800万種をマッピングして公開しています。

科学者の間での論争は、まだバイオシノシス（種の多様性）の問題であり、非常に多くの種があり、彼らはしばしばお互いに共生しているという事実の背後にあるメカニズムは何ですか、1つの

説明は、地球全体とその生き物が共生し、したがって、超有機体を形成しているというガイア理論です。

遺伝だ

個体をその種や属の最初のものとして歓迎することや、個体をその種の最後のものとして解任することは、進化の中ではありえない。すべての「新しい」ものは、一見しただけでは移行するとはわからない、非常に似たものから出てきます。　ダーウィンが、遺伝子は何十万世代にもわたって、姉妹グループでしか変化しないと研究者たちを納得させたとき、ラマルクはなぜこのようなことをすべて理解していたのでしょうか？　今日のダーウィン研究者の多くは、経験則として、種が親から新しい「娘型」に分裂し、最も近縁の姉妹グループと遺伝的に相性が悪くなり、もはや一緒に子孫を作ることができないほどになるには、約1万から10万世代の子孫が必要であると考えています。
私たち人間15-16年と比較して、より速い進化は突然変異とエピジェネティクスを介して新種を作成することができ、さらに孤立した生息地は、新しい種分化メカニズムと宇宙放射線のような他の要因をトリガし、2〜3週間でフルーツフライのような子孫を生成します。
ラマルクとダーウィンのエピジェネティクス / メメメティクス。
詳細と解釈のいくつかについてのすべての懐疑論のために、そう多くの核酸種、主にRNA（リボ核酸）は、メモリと関係する何かを持っていることを今日明らかにする必要があります。言い換えれば、個人の遺伝的設計図で学んだ行動パターンを子孫に引き継ぐ個人の能力！？ここでは、自然は、生物化学的進化の中ですでに得意としていたことを継続しているだけです。核を持たない原始細胞が、生存の可能性を高めるために、呼吸や光合成などの特定の機能を徐々に獲得していったように、それに対応する専門化された細胞、つまり特定の経験や情報をオルガネラとして取り込むことで、その機能を獲得していったのです。このように、この多細胞個体は、環境の突然変異と選択の中で自己を表現する受動的な知性の起源を持っていますが、それでも自己意識的なアイデンティティや個性はありません。
これは明らかに、内部での無意識のコミュニケーションを必要としており、これは最初に多細胞生物の中で化学信号を介して行われ、その後、神経コード（化学的および電気的）を介して行われ、それは脳幹/脳と呼ばれる器官に集中していました。動物や細菌、人間を使った多くの実験室での実験が、すでに20世紀に入ってから証明されています。
記憶力はすべての脳よりも古い!

したがって、それは非常に特定の記憶 - (精神) - は、ホルモンを介して、化学的に一人の個人から別の、心理的に転送することができることが証明されています。

MEMETICS - EPIGENETICS.

これは唯一の脳幹からの拡張を必要とした - 生物の無意識の制御、今では意識から自己意識を開発した大脳に、我々は、彼らが文化的進化の始まりであり、力の中心であるため、次の章でこれについての詳細を学びます。　水素原子から人工知能（AI）に至るまで、完全な連続性と複雑さを増していく進化の歴史の全貌を理解することができます。
行動科学者はこの能力にいくつかの名前をつけています。本能、ドライブ（生得的および刷り込まれた）、条件付け、スキーマータ（後天的）。　つまり、テキサス州ヒューストンのベイラー大学の薬理学者ジョルジュ・ウンガー教授がマウスで実証した、私たちをすべて習慣の生き物にしてしまう合成記憶! 細胞核内のDNA（デオキシリボ核酸） - 唯一の酸素原子（！）が存在しないことによってRNAとは異なる - 分子からなるタンパク質/酵素（アミノ酸配列）の形で体にその情報を渡すように、これは驚くべきことではありません。
コミュニケーション
私たちは、宇宙だけでなく、草原や森、魚、鳥、哺乳類、昆虫など、動物や植物の王国全体でそれらを見つけることができます。例えば、アリを例に挙げてみましょう。建物の通路を掃除したり、計画に沿って改装したり、夜には入り口の門に警備員を配置したり、川の下に道路やトンネルを作ったり、川に架かる仮の橋を作ったりして、動物たちがお互いにくっついています。キノコの胞子を探し、アンテナで集めて巣作りに持っていき、あらかじめ噛んでおいた葉っぱで餌を与え、農家が刈り取るようにキノコの糖分を食べています　彼らは動物界の協力の達人であり、地域社会のために食べ物を集めています。

これは「心の理論」から発展した知性を前提としており、私たち人間が文化的な世界で複雑になっているだけの行動を明確に示しています。これらの作業を行う神経細胞は私たちだけが約８５０億個、ハチは約１００万個、ミツバエは２５万個の神経細胞しか持っておらず、細菌は外膜に元の神経細胞を持っています。センサーが危険な化学物質のわずかな気配を感知するとすぐに、バクテリアは自動的に逃げようとする反射的な動きをするからだ。ここには、これらの信号を三次元の知覚/マップに変換することができる中枢神経系が存在していたし、存在しない - しかし、我々は精神的な行動と反応の起源を理解しています!

頭の中のQビット - 量子意識

量子生物学の分野は、形而上学、信仰療法家、ホメオパス、密教主義者などの怪しい影響をまだ受けていますが、プラシーボ＆ノセボ効果-量子心理学-などの量子現象については、多くの研究者が取り組んでいます。
物理学者であり研究者でもあるMathew Fischer氏の量子脳プロジェクト（ブラウンシュヴァイク工科大学）は、ミュンヘン工科大学で生物学者のTobias　Fromm氏と共に、感覚知覚を含むいくつかの現象について研究を行っています。
感覚器官のリン原子、体内の神経細胞のリン原子は、量子物理学の量子もつれに匹敵する他の細胞に信号（データ）を送信するために一種の Q ビット計算プロセスを使用します - ここでは、量子粒子がその姉妹粒子との反応は、それがあったように、大きな距離で、同時に。

また、元の思考を言葉で辿ることなく何かを理解するためのミームスピリッツ、インスピレーション（稲妻思考）の現象は、リモート効果/エンタングルメントで量子物理学から古くから知られている量子現象である可能性があります。私たち人間がラジオのように送信波を受信したり、RNAが思考を継承したり、ウイルスが宿主に感染したときにそれらを引き継いだりするように思考を受信していること。 研究者グラハムフレミング（バークリー大学）とマイケルTorwartは光合成中にクロロフィルの振動、波のような量子現象をNATURE　2007で発表した光の粒子から化学反応が分子の複合体で行われる方法 - 量子生物学。ウルム大学（量子科学センター）は、ホウボウの1グラムの脳がどのようにして私たちのGPSシステムでさえ達成できなかった精度でアフリカに飛ぶのかを研究しています。

生と死
エピクロスは2351年前に死について書いています。
"なぜ人は死を恐れなければならないのか？なぜなら、私たちが存在する限り、死はそこにはありません、そして、それがそこにあるとすぐに、私たちはもはやそこにはありません...それは死んでいることを苦しめたことはありません。"

生き物になっているということは、新陳代謝という新陳代謝があるということです。しかし、これは非常に表面的なことで、死物質の中にも環境との交流が存在しています。死の定義が難しいのと同様に、イモムシが蝶に変身して、それまでの遺伝子構造を完全に溶解して変態するのは、イモムシの死なのでしょうか？　　私の知る限りでは、遺伝子を侵して細胞を変形させ、子孫を作って若返った段階に戻ることで、実質的に肉体として永遠に生きることができる生物は、クラゲのTurritopsis　dohrniiくらいしかいません。　他の生き物は老衰や病気で他人に食べられてしまうので、病気は死につながります。私たち人間の場合、何年も病気になって、やっと死んでよかったと思うことがよくありますが、私のおばあちゃんの場合はそうでした。教会支配の州の中には、神が彼らに命を与え、神だけが彼らの命を奪うことを許されているという理由で、医療支援自殺を禁止しているところもあります...そうでなければ、彼らは地獄に行き、医者は刑務所に行くかもしれません
人間になりますが、科学的な手段で生命のための戦いを長引かせようとします。　今日の医学は、すでに私たちが年齢を重ねる理由を非常によく理解しています：それは私たちのミトコンドリアが行うミスであり、生物が年を取るほど、より頻繁にミスが発生します。　私たちは、私たちの体の細胞内の遺伝子のコピーや突然変異を操作することを学ぶならば、私たちは、おそらく永遠の、しかし、まだより長い存在に向けて、さらなる一歩を踏み出すことができます。　　ここで重要なの

は、私たちの感覚器官が外の世界を解釈し、それを現実的に再現しているわけではないことを理解することです。

現実の世界は、私たちのフィルター（感覚器官や脳）では実質的に感知できないだけなのです。これはまた、私たちの科学や信念は解釈であり、現実、真実、美のシミュレーションであることを意味しています。
私たちのような動物の中には、死が何を意味するのかを理解するのに問題があるものもあります。例えば、私たちの子供が死んだときなどは、その理由を理解することなく、すべての母となる女性が喪に服しますが、それは悲しみのうちの損失の恐怖の原型に過ぎません。
そして、私たちは損失の拡張恐怖を持っているので、私たちは死の恐怖を持っている、私たちのEGO-ICHは、それが喪に服する理由である、その所有物を失うことを望んでいません。　人間は主に、オステレーション、快楽への欲望、快楽への中毒によって動かされており、どちらも脳と呼ばれる私たちの意識の機械、その暗黙のアルゴリズムを動かすコンピュータの思考の結果である。
これを持っているのは私たちだけで、他の類人猿や他の動物には恐怖心がありますが、それは本当の恐怖です。　彼らは危険が迫っているとき、ハンターが彼らを食べようとしているときに恐怖を感じるが、彼らは自分の命を失うことを除いて、損失の幻想的な恐怖を持っていない!
喜びも同じで、動物は食べ物を与えると喜びますが、私たちが誕生日プレゼントを楽しみにしているのと同じように、将来の何かを楽しみにしているわけではありません。

この孤独の恐怖は何なのでしょうか？
ひとりぼっちになる それは苦痛だ
痛みを好む動物は痛みを避けるために何でもする
避ける
痛い！
絶え間ない喜びのポイントは何ですか？
永遠の愛と幸福の後に？
それが私たちの中にある痛みであり、痛みは私たちの中にある痛みにつながります。
恐怖は、すべての動物の中で、特に私たちと一緒に - 。
死を聞いたことがあるからだ！

心臓が止まると臨床的には死んでいます。私たちの脳、大脳新皮質は、さらに20秒から10分ほど機能し続け、そこに記憶があります - 臨死体験はそこから来るのです

"私があなたを愛していること、私の人生、私は死を借りている。"
セネカより

中心テーマ

結語・貸借対照表

生物の進化について、私たちは何を確信を持って言えるのでしょうか？

- 生命の起源は海の果実体にあり、一時的に海の岸辺を植民地化した。微生物、菌類、植物は、水生動物のために土地と大気を準備した：原始的な**Notoneuralla**は、爬虫類、恐竜、鳥や魚、両生類の祖先です。 彼らから、他のすべての陸生哺乳類が発達した。
- 遺伝的に関係のない植物種や動物種は存在せず、すべて宇宙の原子から作られています。 これらの体細胞はそれぞれが元の細胞に関係しており、すべての原子は自然の法則の影響を受けて、水素とヘリウムから形成された太陽の溶鉱炉で調理されたものです。
- 個体がその種の最初のものになることも、その種の最後のものとして挨拶をすることも、その種の最後のものとして別れを告げることも、進化の中ではありえない。 すべての「新しい」ものは、既存の姉妹グループからの移行であることが一目ではわからない、非常に似たものから出現します。種が新種に分かれるたびに遺伝的な原因があり、それに成功した突然変異があります。 **Here & Now!**
- 私たちは現実に生きていると思っていますが、それは神経学的に現実をシミュレーションしたものに過ぎず、それは脳という精神によってシミュレーションされています。

OBJ

また、唯一の原因として考えることができる1つの変化ではありませんが、エピジェネティクスが証明しようとするように、大気が今でも慢性的なストレスによって酸素化されたため、突然変異は、偶然にも、気候変動、他の食糧源によって引き起こされている可能性があり、文字の特徴、親の行動パターンは、刷り込み、パターンと遺伝を介して自分の子供に渡す方法に似ています。　神経生物学者のロバート・サポルスキーは、私たちの社会では慢性的なストレスは病気であり、動物だけが持っている他の病気につながると書いています。 ここでも、すべての動物は短期的なストレスを経験し、これは実際に私たち動物にとっては良いことですが、長期的なストレスではありません。 これはおそらく、人間が非常に感情的な存在であり、生化学的プロセスやホルモンによって制御されているため、経済や政治において優れた殺人猿になっているからだと思われます。

ドMのようなスワンクな行動で
Balzverhaltenは20世紀の広告でこれになります。
不条理だ
持っていないお金で物を買う
感動させるために
気に入らない

私は何者なのか-第二章

チャプターサブディレクトリ。

エピジェネティクス - 遺伝子とミーム

脳（心理生物学）とその運用システム（神経科学
今日でも、私たちは肉からどのように思考が作られるかを完全に理解しているわけではありません。おそらくそれは、細胞、単細胞生物が光や暗闇に反応するなど、その環境を知覚し、解釈することができるように、刺激＆反射から生まれた - したがって、すべての感覚器官/脳の起源。行動科学者コンラート・ローレンツにとって、この個々の生物が自分の皮膚の境界を認識していることを理解することが重要でした。 もちろん、大学の学生たちは、800個の細胞と300個のニューロンを持つ線虫の実験をしたり、80万個のニューロンを持つ草の種の粒よりも小さいハチの脳を実験したりしていますが、彼らの複雑な行動やコミュニケーションを理解することはできません。

私たちは、ほとんどすべての生物が神経細胞を持っていることを理解しています：原始スープの多細胞生物から、これらは酵素によって発揮された化学信号であり、これらの神経細胞は昆虫の中で正しく発音され、アリさえも蜂のような群知能を持っており、ホモ・サピエンスは、私たちが判断できる限り、宇宙がこれまでに作成した中で最も複雑な脳を持っています。私たちは今のところ、脳がある前に記憶があったことを述べることができ、大脳がある前に知性があったことを述べることができます - 魚や昆虫や鳥の群れの意識 - 。

生物学的精神医学の分野では、思考する心とそれに関連した脳化学との関係を研究しています。リック・ストラスマン教授の実験では、脳のどの場所で、個々の神経細胞や神経ネットワーク（マップ）の電気的・化学的な信号（神経伝達物質）が、感情や思考を作り出したり、解釈したりしているかを示しており、それによって意識のプログラムに持ち込むことができます。
ライプツィヒのマルクス・プランク研究所のクリスチャン・ドエラー氏によると、これらの基本的な思考プロセス、保存されている内容は、街の中でその道を見つけるための神経コード（神経ネットワーク）のようなもので、非常にわかりやすいという。

"脳はこれらのメンタルマップに知識を蓄えている "と仮定しています。 私たちが考えるとき、私たちは常にこれらの知識マップに後退します - そして、それは部分的に意識的に、部分的に無意識的に正しいマップを選ぶことを含みます。 状況やタスクに応じて、無関係な情報を隠し（選択）、関連する情報を前面に出すマップに切り替えます。

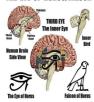
しかし、感情の世界は常にこれらの思考プロセスの一部を担っています これは、被験者を磁気共鳴画像法などの画像処理に接続した場合の話で、現在どの脳領域が活動しているかをリアルタイムで見ることができるからです。 2014年、神経科学者のジョン・オキーフ氏らがノーベル医学賞を受賞したのは、海馬にあるこれらの地図 / 位置情報のグリッド細胞を特定できたからです；つまり、脳内にはこの情報をコード化する細胞の種類があるのです! 彼らはこれらのマップを複雑な多感覚知識マップと呼んで、我々は脳の抽象的な本空間でこれらの神経細胞を想像することができます - 活動パターンとして。
図書館のように、すべての本棚にアルファベット順に並べられ、すべての知識/メームが空間的に分離されているが、デスクトップコンピュータのように、常に新しい知識のネットワークを整理し、廃棄し、再構築しているのだ。

前頭前皮質は、コンピューターのCPU（中央処理装置）や思考中枢のようなもので、コンピューターが接続されたデバイスやそのソフトウェアの影響を受けるように、私たちの感覚器官のメッセージや前頭前皮質、扁桃体、感情の世界（インプリント、感情、スキーマタなど）からのメッセージに影響を受けているのです
思考システムも脳もPCも、常に情報交換をしています。どのマップが決定するために優先順位を与えられている：誰が、どのように、いつ、私たちは何かを考え、何かをするとき、なぜ私たちはしばしば矛盾して行動するのか、より良い知識にもかかわらず、ダブルスタンダード、このすべてはまだ明確に見て、神経科学者によって理解されていません。
人間の脳は進化の化石、つまり胎児の中の赤ちゃんの脳の発達を追うことができます。最もシンプルな進化の脳は爬虫類の脳であり、私たちの脳幹であり、そこにはすべてのパターン、本能、すべての生化学的アルゴリズムが存在しています。 これが大脳辺縁系に包まれ、感情、感情、影響の他の生物化学的アルゴリズムが固定されます。そして、大脳が来て、実際には2つの大脳半球があります。これらのウェットグッズはすべて、独自の構造を持ち、独自の脳化学を持ち、今日まで私たちが理解していなかった方法でお互いにコミュニケーションをとっています。生きている脳のPETスキャンで脳の解剖学やその働きを観察したり、思考や感情を見ることはできますが、それだけではアイデアやミームがどこから来ているのかを理解するには不十分で、糸を動かす人形遣いを見ることはできません。生物学的精神医学の分野では、人間の心とそれに関連した脳の化学と言語学の関係を調査しています!

最初の生物が水から陸地まで、生命にとって完全に敵対的な新しい生息地を征服したように、彼らはそのために作られたものではありませんでした。
このような進化の重要な一歩が再び行われました。新生息地、思考世界！？ ここでは、すべてが理解できず、思考や感情が来たが、その意味を理解することはできなかった。 脳が発見したのは、心の錯覚、説明のつかないことだった。これにはミームスピリッツの進化言語がついてきました。

THE PC-GHOST - NATURE VERSUS NURTURE
ケアに対する自然

CARE.
THE MEMETICAL ALGORITHMS：これは、リチャード・ドーキンスによると、親、部族、学校などから学んだ文化的な知識を意味します。学んだ知識は、その人の思考や感情、身体に決定的な影響を与えることができます！ これによって人間は文明化され、あらゆる種類のMATRIX-IDEOLOGIESと世論、タイムゴーストを生み出します！ 精神科医のDr. ブルクハルト・ヴォースは、研究の中で、人はむしろ自分の意見よりもグループの意見を表していることを証明しています!
THE NATURE.
THE BIO-CHEMICAL ALGORITHMS.
つまり、ロバート・サポルスキーによると、脳が考えていることや感じていること、脳が考えていることや感じていることが身体に影響を与えているということです。
キーワードは生物化学ホルモン、それは生存を確保するための進化的最良の戦略として生物に奉仕する - EVOLUTIVE PSYCHOLOGY!

宇宙のデータが体内に入ってきました。
原始的な思考＆感情は体内のホルモン

単純化するために、脳はプログラムを持ったコンピュータとしてイメージしています。 自然な生物化学的アルゴリズムは、その操作ソフトウェアときちんとした暗黙のアルゴリズムです。文化・教育用ソフトウェア。
松果体-第三の目-魂の座
すべての幻想の受信者-直感-インスピレーション-創造性-トランセンデンス。
宇宙送信機への接続！ この腺は私たちの小指の爪よりも大きくなく、脳組織からは形成されておらず、すべての動物に存在しています。ラジオがラジオ局を必要としているように、脳が考えていることや感じていることを全て引き出しているわけではないと考えています。脳はむしろ、ある種の遺伝的・記憶的スキーマータ（刷り込み）に従って情報を解釈しています。 確実で明白なのは、動物界のどの脳も客観的な現実を知覚することはできないが、選択された感覚的な印象を解釈しているということだ!

感覚は特殊な脳組織（視覚と聴覚の毛細血管）によって処理され、それらは感覚データを脳に伝達し、その保存と解釈を担当する中継基地となっています。 松果体は脳の中で松果体の真横にあり、狭い水路で区切られているだけなのです。 大脳辺縁系（情動脳）も隣にあり、悲しみ、怒り、欲望、快楽などがつながっているように、昼の夢や夜の夢など、私たちの夢と密接につながっています。 松果体は意識の座と考えられているか、ルネ・デカルトが書いたように、肉体と精神が出会う魂の座と考えられています。感情の世界と理性の世界。パトスとレシオ。
 松果体はDMT分子（ジメチルトリプタミン）の影響で幻覚や臨死体験、出産時の痛みの緩和などの妄想を誘発すること、つまり極度のストレスを引き起こすものは何でも引き起こすことが、神経エンド・クリノロジーの科学的研究から分かっています。
DMTやセロトニン（ホルモン）は、多幸感を誘発するエンドルフィンが放出される長距離走中のオーガズムやタントラ、高揚感の原因にもなっています。

DMTは、メスカリン、サイロシビン、LSDのような他のトリプタミンと密接に関連しています。 そして、深い意識状態を誘発することができます。

リック・ストラスマン教授らの実験では、脳のどの時点で個々の神経細胞とそのネットワークの電気的・化学的機能が感覚（感情）、ひいては思考を意識にもたらすのか、セロトニン、ドーパミン、ノルエピネフリンなどの神経伝達物質（神経ホルモン）を実験室で「観察」することで、これらの分子の思考や感覚を閃光として理解することができます。

だから、どのように我々は世界を経験し、それに感情的に反応する方法は、バイオ化学的および電気的アルゴリズムにレイアウトされている、我々はこれを行うことができますどのようにうまくEQ（感情的な感情的な感情の知性）と言います。自由意志がプログラムされていないため、変更することも困難な暗黙のアルゴリズムは、我々は大まかにIQ（合理的思考のための知能指数）で評価することができます。
マサチューセッツ大学のセイモア・エプスタインは、実用的な知性もまた、集団や社会の集合的な知性に影響を与えると書いています。私たちが連邦政府である私たちの政党で、私たちの国を愛国的に信じているならば、精神分析、向精神薬、社会療法士は、それらが私たちの心に影響を与える証拠を見つけるでしょう...そして、私たちはそれらを治療することができます - 私たちのスポーツチームが負ければ、私たちは自動的に怒りを感じるでしょう！私たちのスポーツチームは、私たちの心に影響を与える証拠を見つけることができます。

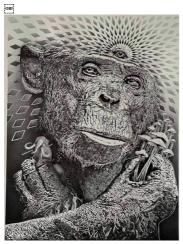
すでにソクラテス、アリストテレス、セネカ、ブッダ、ナザレのブッダ、そしてプラトンは2000年以上前に、合理的で合理的な思考が自由意志を持つことを可能にし、自由な思考が自由に考えることを可能にし、これは生化学的、記憶的アルゴリズムを介して行われていることを知っていました。
は意識的に家庭、学校、友人を制御することができます - プラトンはそれを戦車乗りと呼んだ。
だから、魂/心の薬としての哲学の起源は偶然に来たのではありません。捕食性の猿ホモ・サピエンスの矛盾は、彼が不可解なことを説明するためにシャーマニズムを開発したと同時に、DMT-トリプタミンの助けを借りて、答えを探すための彼の探求の一部であったことは間違いありません。

誰かが何かを理解した後の行動がないのであれば、それは明らかに理解ではなく、アルゴリズムの強制だったのだ！ということになります。
ジドゥ・クリシュナムルティ

マトリックス＆*EGO-ICH*

私が*EGO-ICH*とそのアルゴリズムについて書くとき、私は動物が脳内で行うシミュレーションを意味しています。　　私たちにこれを説明するヨッシャ・バッハとニック・ボストロームの講義があります　-　脳は内側と外側の現実を表現するためのコンピュータです。
エロン・ムスクのスーパー*EGO-ICH*は、ペルーの農民の*EGO-ICH*とは違い、エロンのシミュレーションがより贅沢であるという程度で、彼は彼が力を持っているので、彼のシミュレーションがより重要であると考えています。
また、愛犬が私をシミュレーションとして取り入れ、私が根本的に違うシミュレーションであることを理解しているかどうかという問題もありますが、自信のある存在はそのことに全く気づくことができるのでしょうか？
*99.9%*の人でも気がついていない、自分のマトリックスを認識することが、おそらく道教や仏教で言うところの「悟りへの覚醒」なのではないかと思います*!*
私にとって他の何かがこの本で伝えるべきより重要なこと、すなわちマトリックスの認識、これらの多くのシミュレーションのプログラマーの認識、そして超知性（ミーム・スピリッツ）を持つ客観的な現実の理解である。

- 脳がシミュレーションをする
- 頭脳のプログラマーは誰なのか
- 天地創造者としての超知性
- 宇宙が存在するという事実の裏には何の意味があるのか

トリプタミン、アルカロイド、霊長類の

人間になること。
ストーンエイプ論

大母論

神が創造した霊長類＆類人猿

現在も世界には504種の霊長類が生息しており、その多くが絶滅の危機に瀕しています。　約6000万年前、アフリカで最初の樹木生活で昆虫を食べる霊長類が実証的に誕生し、そこから約2000万年前に最初の偉大な類人猿（ゴリラ、チンパンジー、オランウータン）が発達しました。　霊長類は、約6300万年前にユカタンの隕石の衝突の前に、唯一の夜行性の生活を導いたすべての哺乳類のように、昼間の恐竜が完全に惑星を支配したように。恐竜が支配し、生息地も支配していた頃は小型の哺乳類に過ぎなかったが、発達が始まったのは7,500万年～1億年の恐竜時代である。

動物種の生命の茂みから、約75〜1億年前の哺乳類の種は、尻尾のある猿に発展しているでしょう。　旧世界猿と新世界猿を区別し、504種の霊長類は無尾の新世界猿に属する。彼らは約6500万年前に旧世界のサルから発展した - 隕石がメキシコのユカタン（チクスルブ・クレーター）に衝突した後 - アフリカの熱帯雨林に最初の樹木性の昆虫性の霊長類が住んでいたとき。
掴み手と足の手を持つ樹上霊長類が、世界を席巻した380種の霊長類の一つになったのは、今から5000万年前の始新世になってからのことです。　約3000万年前、霊長類は新世界のサルに空間的な色覚を持つ昼行性になり、すべて尾を欠いていました。約2000万年前に最初の偉大な類人猿が発達し、そのうちの5種が現在も観察されています。ゴリラ、オランウータン、チンパンジーと関連するボノボとホミニッツ属-血縁/遺伝子関連のヒト（ホモ・サピエンス）を含む-この属は、約600万年から700万年前に地球上で進化の段階に入ったことになる。

戦争は狩りであり、それは常に残酷なものです
すべてはまた、時折肉食動物であり、すべてが彼らの獲物を狩り、最大120人のメンバーのグループに住んでおり、ボノボやオランウータンのような唯一のいくつかは戦争をしないでください。戦争や外国人恐怖症はなぜ起こるのか？　次のように想像してみてください。美味しい桜やリンゴの木に囲まれた美しい水源地の森の中で暮らしています。そして今、干ばつのために家を離れることを余儀なくされた別のグループが来ています。そのうちの50人が私たちのグループに来ています。例えば500人です。ここでは、おもてなしはまだしばらくはうまくいきますが、300人、400人、1000人の個人がいれば、外国人恐怖症になるだけでなく、天然資源をめぐる戦争にもつながります。今はそれがすべてです：彼らか私たちか！　それが今日も戦争の最も重要な理由である移民です。

なぜなら、すべての霊長類は支配的な共同体の中で生活しており、それは常にグループ内での紛争の可能性を与えているからです。
は、彼または彼女がしなければならないことを他の人に伝えたいと思っている、横方向の思想家 - 無政府主義者 - 開発

約1,160万年前、私たち、すなわちDanuvius guggenmosiは、他の類人猿の家系から分離しました - オランウータン、ゴリラ、3つのチンパンジー種ホモ・サピエンス（人間）、ボノボ、一般的なチンパンジー。 約200万年前、化石の発見によると、最初のホモ・エレクタスが現れ、ホモ・サピエンスよりもずっと後に交尾した。　私たちは、私たちがパンpanisnus（ボノボス）、パンサピエンス（低地のチンパンジー）以外にも、この家族に属していることを知っている - それはまた、第三のチンパンジーの種として私たちです - とパン troglodytes（森のチンパンジー）！私たちの家族の中で、私たちの家族は、この家族に属していることを知っています。

我々は猿の子孫ではなく、一つの人間です。
我々は霊長類の血縁者であり、間にホモ・サピエンスに分離されています。六百三十年から五百万年

パンやチンパンジー、指紋までもが遺伝情報の98.77%近くを共有しているのです。
それに比べて、現在の世界のすべての人々は、99.9パーセントの遺伝子を共有しているのです! つまり、分子レベルでは、1.23パーセントは我々とチンパンジーとの間の明らかな違いであり、0.1パーセントはNACIと彼らが手を叩きたい黒人との違いである...多分、二人のKu-Klux-ClanやNACIの兄弟の間の遺伝的な違いは、アフリカの仲間の市民との違いよりも大きいのです。　　肌の色はジェネリックレギュレーター1本でOK! 白人の捕食猿レイシストが何世紀にもわたってアフリカ人を猿と呼んでいたことが、今になって真実であることが判明した--自分自身にとっても......！？

99%が同じ文字と言葉で構成されている2冊の本であっても、同じ事実 / 内容を反映する必要はないと、マティアス・グラウブレヒトは著書『Das Ende der Evolution』（2019年：96-97）の中で書いている。

チンパンジーにはない遺伝子が689個もある！？そして、ホモ・サピエンス・ネアンデルタール人との遺伝子の違いは30個しかありません。個人の身体や心がどのように進化していくかを決めるのは遺伝子の発現と遺伝子制御であり、遺伝子の文字であるA、G、C、Tではありません。

私たちは、アフリカだけでなく、人類のクラドルを持っているが、また、猿と私たちの遺伝子を共有している - 誰が、私たちと同じように、また、現実をシミュレートするALGORMSで、脳と呼ばれるPCを持っています! .

これはもちろん、すべての信者、司祭、政治家、科学者、狂信者の深く教化されたエゴ・イェを怒らせます。
偶然の自然淘汰ではなく、創造主である神の手によって作られたのです。

"黒人種は我々とは異なる人間の種である" "グレイハウンドとスパニエルのように"

ヴォルテールの1763年の世界史エッセイより抜粋

この時点で私はイエナで、1939年11月15日に、ハンスF.K.ギュンターは、ホールにヒトラー、ゲーリングとヘスを座って、人種研究の就任講演を行ったことを言及したいと思います。イエナ宣言では、「人種は存在しない」と述べている。人種という概念は人種差別の結果であって、その前提条件ではない! その理由は、ヒトのDNAゲノムの中で、32億塩基の交配の中で、アフリカ人と非アフリカ人を分ける固定的な違いは一つもないというものでした。人種をその人種の思想的特徴で識別する基底対は一つもない。
カール・アステル教授は、1929年から1934年までトゥリンゲン州レース事務所の会長を務め、イエナで繁殖と遺伝の理論を始めました。
動物学者のエルンスト・ヘッケル教授もまた、1930年に人間が神の玉座にある創造の冠であることを証明しようとしていました。ダーウィンやラマルクの進化論、部族史、系統（生命の発生）などを幅広く扱っていたが、思想的には盲目的で、当時の文化に深く洗脳されていた。　彼の科学的な研究は、世界を正しく奴隷化し搾取したヨーロッパのすべての人種差別主義者のための道を開いた。
それ以前の15世紀には、白人が神から自然や有色人種を服従させる権利を受けたのは、人種差別主義者のバチカンとそのイデオロギーだった。

ユダヤ系やインド系の人種すらいない。これらは、他人を搾取し、奴隷にし、服従させるための深い洗脳だ！
この表現はライナー・マウスフェルド教授に由来しており、ユング、フロイト、ニーチェ＆カンパニーなどの心理学者が19世紀から20世紀にかけて発見し、さらに発展させた大衆心理学のことです。
さて、それは二元論的なコインの片側である、我々は他の動物の生物学の遺伝学を見れば、私は狼の例を使用して、人種差別のこのトピックに追加しなければならない何か他のものがあります。

犬種はすべて狼の子孫であることが証明されています。　　約1万4千年前からオオカミを家畜化し

た、つまり、友好的に近づいてきたオオカミは、私たちに餌を与えられていたので、信頼していたのです。
この数世紀の間に、私たちはオオカミをどんどん繁殖させてきました。遺伝学的な理論を用いて、ダックスフンド、プードル、ピンシャーなどを生み出してきました。
これらの犬は、物理的にも精神的にも、生まれつきの祖先とはあまり共通点がないことが多いです。　彼らはダックスフンドと牧羊犬の間の外観のように明らかに異なる性格の特徴を持っています。

私たち人間とこのような人種の違いを理解しない理由はありません。　また、私たちと一緒に、外観には明らかな物理的な違いがあります。　彼らはすべてエピジェネティックな起源であり、人間は環境に彼の外観を適応させた - 5万年以上の時間枠で。 しかし、私の経験から、性格の特徴が彼の外見にリンクすることができる人に会ったことがありません、それは体系的な人種差別である：家族＆国家の文化教育 - 文化は非難されるべきである！私は、彼の外見が彼の外見にリンクすることができます。

最近のメディアでは、構造的な人種差別、つまり誰かを差別しないように配慮され、事実を見失ってしまうことが目につきます。シュトゥットガルトやフランクフルトで起こったように、外国人のグループが暴動を起こすと、彼らはドイツの刑務所の受刑者の85%以上と同じように、外国人の仲間の市民と呼ばれることはほとんどありません;そして、それは事実とその原因が公の議論にさらされないことを開始します - そして、それは全体の人口のフラストレーションを作成します。
しかし、これは人種のせいではなく、これらの同胞である人間が、良い家庭の子供たちと同じように教育や社会的支援を受ける機会を得られていないからなのです。

犬のすべての品種は、動物愛護法の前に平等であり、それは正しいです。
すべての人は法の前に平等でなければならず、それはそうではありません!

祖先の家族-偉大なる母の理論

大いなる母なるイヴ説
遺伝子解析の結果、現代のすべての人間には、その時代から共通の祖先が1人いたことが証明された……約30万年前……ゴードン・オリアンズの原始母イヴ説! これは、聖書で知っているように、女性がいたからといって、私たち全員が女性から子孫を受け継いだということではありません。
たくさんのグループの中に一人の女性がいたと言われています。彼女の娘の一人は、このグループの女性の他のすべての子孫よりも成功していたと言われていますが、彼女たちは死んでしまい、その遺伝子を引き継ぐことはありませんでした。　この地球上の全ての人がこの女性の遺伝子を持っていて、この一人の女性が背負っていて、この女性は他の共同体に住む外国人と交尾して、自分たちを他の人類だと思い込んでいたと言われているのです
この理論の重要性は、何千年もの間、人種差別的なイデオロギーで私たちを分断しようとしてきたすべての人々にとって、驚異的なものである-私たちはすべて兄弟姉妹なのだ!
その時すでに世界には人造人間が住んでいました。　ネアンデルタール人（私たちと同じ人類）は、最初に発見されたデュッセルドルフだけでなく、少なくとも40万年前から中東やユーラシア大陸を放浪していましたが、約4万年前に絶滅してしまいました。200万年前にアフリカから世界を征服したホモ・エレクタスの子孫です。
私たちホモ・サピエンスはこの種と交尾しています。その子孫はすべての人間に見られるからです。
遺伝的には1.5-2.1%で、アフリカ系の人を除いては、白人の王様やローマ法王が強制的に移住させていた時にしか移住していません。　他の研究結果では、ホモエラスター、-florensis、-heidelbergensis、-rudolfensis、-georgicus、-habilisなどのホモ属遺伝子が混在していることが示されています。(Nature, 512:194-197とNature, 555:652-654を参照) いずれにせよ、我々は2ダースの異なるヒト科動物の中で生き残った唯一の存在であり、おそらく我々がストレス下での作業と非常に暴力的な作業を得意としているからであろう　-　人間は常に危機的な時に顕著な発展を遂げてきた。.　化石の骨から、私たちがどのような病気にかかっていたのか、特にコロナウイルスはどのような感染症にかかっていたのか、さらには初期の人類を悩ませていた歯の問題まで読み取ることができるのです。

人間は勇敢な開拓者であり、永遠の開拓者であると同時に、生態学的な大量殺人者でもあり、動物界がこれまでに生み出してきた中で最も偉大で破壊的な力でもある。ハラリ。そしてサバンテは、私たちは大胆で、攻撃的で、少し非常識だったと書いています
また、多くの霊長類がそうであるように、外国の地域や領土に放浪（旅行）することは、その土地の人々にとって常に潜在的な危険性を持っていたか、またはそのように認識されていたことも理解できる。彼らにとってこれは正常な行動であり、現代の人間よりも新しいものを再発明したわけではないのだ! 人間は獲物（金と土地）に関しては戦争を発明していない。 人間が発明したのはイデオロギー戦争であり、思想や旗、神のために人を殺す。アフリカ人、アメリカの先住民、共産主義者、NACIのまたはキリスト教徒とイスラム教徒を殺害しました、はい、ユダヤ人の戦争も基本的にはミーム戦争です - しかし、それは主にから来ています。
暗黙のアルゴリズム しかし、私たちは
また、エピジェネティックな意味でのストレスが私たちにどのような代償を与えているかを考えてみましょう。理性と感情に恵まれた人間が、サーベルトゥータッチの猫やクマ＆Co.の世界で生き抜くために何をするのか。霊長類や哺乳類の後継者である私たちは、このストレスを内在化させ、そのように条件付けし、今日も遺伝的、エピジェネティック/メセティックにコントロールされているのです!
私たちが何をしているのか、何を食べているのか、どのようにしてどこに住んでいるのか、誰と関わっているのか、誰の子孫がいるのか、どの政党なのか、どの宗教を選んでいるのか、どのような人生哲学に従っているのか、なぜ、誰のために私たちは殺したり、盗んだり、ごまかしたりしているのか、これらすべては、私たちの生物学的な青写真、2つのアルゴリズムに深く根ざしているのです。
それは、私たちが手放すのが難しいと感じるこれらの記憶の魂です!

だからこそ、私たちの現在の性格の特徴、嗜好、ニーズ、本能は、都市の住人になるための文化革命の始まりとともに、約15,000年の間に残された生息地で、何百万年も前の、長い年月を経たプロセスの結果なのです。
革命とは進化である、とカール・マルクスは書いている、それはイデオロギーにとらわれてはならないが、進化がそうであるように、さらに発展しなければならない

結論から言うと、約10万年前の最後の大移民の波とともに、地球は私たちによって定住されたと言えるでしょう。私たちは食物連鎖の頂点に近づいてきて、徒歩で世界を植民地化し、また、オーストラリアやボルネオまでの耐海性のある船でも植民地化しました。
他の獲物は、私たちの攻撃性と大胆さを恐れ始めました。　脳は今の私たちのようなもので、外見的にはもう何も変わらなかった。　これは、私たちについての最も重要なことは、複雑な言語と、それが文化、貿易、社会、宗教につながったことを発展させた場所であろう。
身振りや音、言葉が複雑な思考になり、それがさらに複雑な言葉や文章の概念につながっていった。
神々の言語、金の言語、暴力と権力の言語にも。力の中心（ggg）!
最初の言語は、その後、書き込み、インターネットは、人間の社会的なコミュニティは、言語のコミュニティであり、より複雑な言語、より複雑な社会は、我々は嘘をつくだけでなく、はるかに良いお互いをいじめることができません！私たちは、より多くのことができます。しかし、言語は学習を容易にするものでもあります　他のサルも学習しますが、私たちのように言語を教えることはできませんし、ホモ・サピエンスのネアンデルタリやハイデルベルゲンシスが私たちと同じように30万年前にそれができたからだと研究者たちは疑っています。　中新世の地質学的時代には、我々はホミニドと呼ばれる霊長類の骨の化石を発見しました。古生物学者のマデリン・ベーメ氏によると、これらのサルはすでに部分的には現在の私たちと同じような存在だったという。

ドイツのAllgäu地域での発見は、彼らが1160万年前に住んでいたDanuviusと呼ばれる猿を発見し、もう一つは700万年前の年齢を持つGraelopithecus、600万年前の年齢を持つSahelanthropus、320万年前の世界的に有名なAustralopithecus（ルーシー）であった。　私たちのように直立して歩くことができる
最初に発見されたのはアフリカのホモ・エルケトゥスで、このホモは約200万年前にアフリカから中東やヨーロッパに向けて出発し、これらの地域に定住しました。　私たちは、ホモ・エレクタスのほかに、1100万年前から存在していたと仮定し、イエナのマックスプランク人類史研究所の研究者によると、同じ時間と場所に住んでいた多くの他の14のヒト科の種を発見しました。ホモ・サピエンスの最初の原始的な母親は、約1000万年前にアフリカに住んでいた可能性があります。
マデリン・ベーメ教授による2019年のオールゲウからの発見は、劇的な気候変動があった時期に複数の種のサルが同時期に暮らしていたことを証明しており、生き延びるための遺伝子変異の引き金となった可能性があるか、少なくとも個体群内での移動圧力を引き起こした可能性がある。　ライプツィヒのマックス・プランク研究所の古生物学者キャロル・ウォード氏は、最近、アフリカからの移動の波があると仮定し始めていると書いています。
しかし、人間と動植物の世界との選択的な相互作用は、約500万年前にさかのぼると考えられています。これは、植物を食料源としてだけでなく、癒しの源としても利用していたからです--他の多くの動物種が今日もそうであるように。
アフリカの熱帯雨林では約10万種の植物が存在するのに対し、サバンナの景観では、熱帯雨林から自然淘汰されて発達した植物がせいぜい500種程度である。 餌となる植物の種類が直接影響していました。
私たちの体と心、つまり遺伝子とミームの上で。体内で検出できる突然変異は、主にストレスによるものでした。
アフリカからの移住の3つの波の間に、私たちはそれを持っていました。500万年前の気候変動により、現在のサハラを含む多くの地域で、熱帯雨林からサバンナへとアフリカの風景が変化したからです。この時すでにホモノイドは肉食から草食、昆虫食、菌類、スカベンジャーまで、食生活を実験していました。
この苦難の中で、私たちの頭脳は大きくなり、意識も高まり、今日の他の類人猿であるボノボ、チンパンジー、ゴリラ、オランウータンよりも複雑な行動をとるようになりました。　霊長類はすべて男性優位のヒエラルキーを持つ集団であり、女性はすべて男性よりもはるかに小さいので、強い者と賢い者の競争という法則がありますが、それは今日でも有効です。
ところで、シャルルは進化論を発見した最初の人ではなかった、それは前にすでに知られていた、名声は彼だけのものではありません。　本当に大切なのは、身体的な特徴だけでなく、行動も遺伝するということです!
毎年200万頭のシマウマが緑の草原を求めてアフリカを移動していますが、時には空腹のワニが密集している川にたどり着くこともあります。シマウマは何をするの？　他の人が安全に渡れるように、集団のために自発的に自分を犠牲にするのは誰だ？　まあ、何が起こるかというと、年長のシマウマは年少のシマウマによって川に押し込まれてしまいます。
利己的な遺伝子は、ここでは種の存続のためであって、個人の存続のためではなく、最も戦略的な行動をしています；これは、遺伝子がミームを通してどのように考えるかを理解するために重要です
大切なのは、個人ではなく、地域や家族がしっかりしていること。　最強個体の存在（生存）を賭けた闘い、それはミームコミュニティにおける遺伝子コミュニティの存在を賭けた闘いでもある……!

今から30万年前のモロッコの遺跡で証明されていますが、ショッピングモールの中では、身長は1,80メートルでした。彼らは我々と同じ脳みそを持っていたが、彼らのミーム行動や知識は我々と同等ではなかった。しかし、彼らはすでに他の霊長類にはできない複雑な方法で、石や木から制御された火や道具を作ることができました。

彼らは墓に死者を埋めた - おそらく利他主義、人間の愛、他の動物は、類人猿を除いて、そのどちらかを行うことはありません。 したがって、私たちはここで、動物の人間から動物の中の人間への橋渡しを見ているのです!

古生物学と遺伝学は、私たちの遺伝子をさかのぼることができ、約30万年前の原始的な母体に出くわしています。 エチオピアやモロッコ（JebelIrhoud）では、さまざまな発見がなされています。
これは、聖書がイヴについて記述しているように、女性がいて、私たちは彼女から来たという意味ではなく、他の多くのグループの中に女性がいたと言われています。それは、彼女の娘の一人が他の人よりも子孫を残すことに成功していたという意味です。この地球上のすべての人がこの女性の遺伝子を持っていることを証明できるからです。この一人の成功した女性/母親からの　この発見の意義は単純に驚異的であり、国際

平和の理由でもある。何千年もの間、すべての人が一つの家族であること-私たちは皆、兄弟姉妹であることを!
また、私たちはシベリア、中央アジアのデニソバ洞窟での発見から、2018年8月にスウェーデンの古生物学者SvantePäboによって、1人のネアンデルタール人女性が約45,000年前に別のホミニドと交尾したことを知っていますが、これはまた、約5万年前に少なくとも3つの人間の系統が1つと同じ地域で一緒に住んでいて、彼らはすべて互いに実証的に交尾したことを意味するので、これはまた、約5万年前に少なくとも3つの人間の系統が1つと同じ地域で一緒に住んでいたことを意味します。確かに、これらのホミノイドの放浪心と統合しようとする意欲に駆られている。

私たちの動物の行動の概要とバランス。

➢ミームに加えて：母性本能、女性は自分の子孫のためにほぼ独占的に責任を負う、男性はグループ内のすべての女性を支配する - 一夫一婦制ではなく、一夫多妻制が優勢。
➢私たちは100人までの集団で社会的存在であり、従いたい、従わなければならないということ。　これは霊長類の世界でも、人間社会でも珍しいことではありません。
➢霊長類や人間だけでなく、動物界の欲望のために盗み、騙し、騙し、嘘をつき、殺人をする。
➢力ずくで新しい地域に進出することは、人間だけがすることではありません。
➢身振りや音、言葉などのコミュニケーションシステムは、多くの動物にも存在しています。
➢木や石でできた道具を使って仕事を始めたことも、動物の世界では珍しいことではありません。
➢しかし、珍しいのは、人間は記号や死について考え、30万年前から埋葬を行ってきたが、他の人類もそうであることが証明されている--ホモ・サピエンス・ネアンデルタリスがそうであることが証明されている。

ストーンエイプ論。
このホモ・サピエンスという類人猿がなぜこのような精神的な能力を持っていて、他の類人猿は持っていないのかという疑問は、このような説があり、非常に興味深いです。アフリカ大陸が干上がって食料の拡大を余儀なくされた時に、人類が菌を発見した可能性は十分にあるのではないでしょうか。　殺傷効果のあるキノコもあれば、抗ウイルス作用があり薬になるキノコもあれば、サイケデリックなキノコもあります。　少量で食べると、末梢視力やマインドフルネスを研ぎ澄ましてくれます。　これは、彼らがより簡単に食べ物を発見し、時間内にハンターを見ることができるように、彼らはより多くの環境に注意を払っていたことを意味します - それらのための進化上の利点。 別の進化の利点 - より大きな用量では、性欲が増加し、その結果、より多くの子孫を生産する人になります。 さらに大きな用量では、それは精神的な幻覚につながる - それらは簡単な獲物だったので、進化の欠点。しかし、調和の追求という進化的な利点もあったかもしれません。
マッチョアルファ動物の集団の中では、メス、縄張り、食料などをめぐって、常にストレスや権力闘争があります。　しかし、これは完全に停止し、それはEGO-ICHの精神を溶解し、グループの調和が設定され、それは確かに多くの点で肯定的であった! ポジティブと私はpatriachateを意味するものではありません。我々は、旧石器時代の女性と男性が解放を知っていたことを知っている、両方が採集者、ハンターと戦士（動物の行動）であった、唯一のsedentarinessは10-13,000年前にパトリアキテが存在するようになったとき、それは私の国、私の妻、私の子供たちと呼ばれていた...それは常にグループの子供たちだったことを前に、コミュニティ、土地は彼に属していなかったが、彼らは土地に、自然に属していた。
私がスリナムに住んでいたとき、アリが葉っぱを集めて砕いて、地下の構造物の中の菌類に食べさせていたのを見ました。　菌類はアリに食料としての糖分を与え、生き延びるために必要な活動をさせた。

祖先がアフリカから来て三波で移住してきた現代人は、他のホモ類と何度か交尾し、ホモ・エラスター属、フロレシエンス属、ハイデルベルゲンシス属、ルドルフェンシス属、ジョージクシュビリス属、ルゾネンシス属、ネアンデルタレンシス属との出会いがあった可能性があるという事実があるのです!
移民の最後の波はおそらく6万年前で、今日の基礎となっています。
人間の世界。　　我々だけが類人猿ではなく、人間関係も複雑で、詳細が不明な部分も多いのですが、本では突っ込みが入りません。
私たちにとって重要なのは、私たちが約2ダースの人類種の中で唯一生き残っているということであり、他の種族は絶滅したか、あるいは戦争で私たちによって絶滅した可能性があるということです。 Y. N. Harariは彼の本の中で人類の短い歴史を書いています： " ... "証拠はホモ・サピエンスが生態学的な大量殺人者であることを示唆している..."　マンモスのような電撃戦で多くの種、特に大型哺乳類を絶滅させたからだ。　だから私たちは、片手に人権書を持ち、もう片方に水爆を持っている動物になってしまった・・・。

当時の最も知的で殺人的な捕食猿は、されている＆残っているので、私たちは、単に最も成功しています
世代を超えて、短期的な計画を得意とし、長期的な計画を悲惨なものにしています。

行動科学者のサポルスキーは、私たち類人猿ホモ・サピエンスは、私たちを守るため、または私たちと私たちの家族を養うために食べ物を狩るためだけでなく、基本的な動機のために殺す唯一の霊長類ではないと述べています。彼は、彼がヒヒの別のグループをいじめていたので、彼らのグループのメンバーを殺すバブーン（ヒヒ）のグループを観察し、チンパンジーが彼らの領土の国境の領土を支配し、移民チンパンジーが彼らが侵略者だったからというだけで彼らを殺したことを発見しました

霊長類との共通点が残っています。

すべての霊長類は他人に共感することができ、他人が何を考えているかを理解し、操作したり、嘘をついたり、ごまかしたりすることができ、彼らもまた、あなたのために働くように他人を条件づけることができます。
攻撃性、乱暴、強欲、利己主義、人種差別、性差別、妬みなどは、自然の法則から聖書の10の戒めをすべて破っています。
彼らは他の人に、思考の彼らの世界を投影し、彼らが一方であるか、他方である場合 - ロバートは、ところで、魚でこの行動を発見しました！彼らの思考の世界は、他の人に、彼らの思考の世界を投影します。
知的財産権の窃盗の原型である模倣でさえも、物質的な窃盗につながる。
霊長類は支配的な文化の中で生きており、ほとんどがオスのアルファ動物であり、存在のための闘争の原型であるEGO-ICHの継続である。
群集行動、すなわち集団心理学、すなわち個人が集団の決定に従うこと。
心を変える物質で自分を酔わせたいという衝動に駆られる。

そして、私たちはもはやどんな動物とも共通点がありません。
私たちを本当に違うものにしているのは、シンボルの中の抽象的な思考であり、フックされた十字架には意味があり、ポールの上の国旗は私たちの中に愛国的な感情を呼び起こし、紙幣は私たちに自信を与え、幻想的なニーズを満たすことができ、私たちは私たちの人生を手放すことさえもできます。 動物は、永遠の忠誠と愛、神、祖国、会社の上司、政党などを信じていません。
人間は、利己的な利益のために、そして彼の自己陶酔的な病理学的なスーパーEGO-ICHのために、集団的な搾取を組織する。
私たちはもはや、今ここだけではなく、過去と未来の多くに住んでいます。
私たちは未来のことを考えているので、目先の報酬を放棄していますが、動物は短期的な未来のためだけにこれをしています。
私たちはあらゆる分野のアーティストであり、それが大好きです。
脳が生成し、宇宙、生命、目覚めた私についてのモデルをシミュレートし、それはそのマトリックスが幻想であることを認識するようになります - だから私たちの一部は動物であることから遠く離れているので、彼らは生物学的なマトリックスに住んでいることを理解していません!

なぜそのようなことをするのか、それがどこから来ているのか、それはすぐに対処します。

動物の中の哲学者

動物たちとその思い
植物種も動物種も遺伝的に関係のないものはなく、すべて宇宙の原子から作られています。　これらの体細胞はそれぞれ原始細胞と関係があり、すべての原子は、自然の法則の影響を受けて、水素とヘリウムから形成された太陽の溶鉱炉で調理されました。

またかよ
ファーストセルから今日に至るまで、私たちは皆、そのファーストセルの一部であり続けています、それは死滅したのではありません、それはレプリケーターです!
個体をその種や属の最初のものとして歓迎することや、個体をその種の最後のものとして解任することは、進化の中ではありえない。

すべての「新しい」ものは、既存の姉妹グループからの移行であることが一目ではわからない、非常に似たものから出現します。種が新種に分かれるたびに遺伝的な原因があり、今ここで成功した突然変異があったんだよ!
また、唯一の原因として見ることができる1つの変化ではありませんが、エピジェネティクスが証明しようとするように、大気が今酸素化されたので、突然変異は、偶然にも慢性的なストレスによって、気候変動、他の食糧源によって引き起こされている可能性があり、文字の形質、親の行動パターンは、刷り込み、パターンと継承を介して親から子供に渡す方法に似ています。神経生物学者のロバート・サポルスキーは、私たちの社会では慢性的なストレスは病気であり、人間とそのペットだけが持っている他の病気につながると書いています。
原則として、すべての動物は短期的なストレスを経験しており、これは実は私たち動物にとっては良いことなのですが、感情を持っている動物にとっては長期的なストレスではないということで

す。これは、人間が非常に感情的な生き物であり、生化学的なプロセスやホルモンによって制御されているため、ある程度のストレスはあるものの、経済や政治の分野では優秀なキラーモンキーになっているからでしょう。　意識へのこのゲートは、我々は詳細に説明するように、脳（視床と松果体）で見つける、奇妙な黄昏状態は、そこに来た - 私の娘たちはまだ生きています。
ここでは、EGO-ICHとSUPER-EGO-ICHの形成において、本書で重要な役割を果たす2つの進化のルールを紹介しています。
選択圧力とは、現実の生存圧力と実際の生存圧力を意味し、それぞれ存在への意志、権力への意志、繁殖への圧力を意味します。
Here & Nowで誰が一番適応できるか。
生き残った者は多くの子孫を生み
の可能性が高くなります。
子孫は生き残れる!
私たち動物では、生殖パートナーシップの2つのグループがあります。一つは一人の女性との長時間ペアの絆（一夫一婦制）、もう一つは多くの女性との短時間ペアの絆（多夫一婦制）--つまりセックスが早いということで、実はここでは絆のことは書けません。生物学者と行動科学者ロバートSapolskyは、母親の一夫一婦制グループは、彼らが仕事とケアを共有し、長期的には養育の彼の部分を引き継ぐ男性との子供のための利点を持っていることを書いています。
他のグループは常にマッチョな問題を抱えており、オスはconspecificsとの一定の戦いの中で、彼らは偉大な、豪華な、強いタイプであることをメスに証明しなければならないが、彼らは多くの母親から多くの子孫を育てることについては全く気にしていない。私たち雄類人猿は、2つの集団行動の間に立ったり振ったりするアンビバレントな行動をしていますが、これは生物化学的な行動というかアルゴリズムです。

私たちにとっての更なる淘汰圧力は、生き残りをかけたり、存在を賭けた闘争であり、狩りが失敗したからといって獲物として食べられず、狩りに飢えていないことが多いのです。ここでは、さらに生物化学的な、漂うような行動/アルゴリズムは-全能と無力のそれのような-EGO-ICHとその奴隷を開発します! すでに魚では、意識がもたらす特徴である複雑な行動を見ることができます。
スウォーム（諜報）、食料や相手探し、防衛のために。　鳥は、他の人の間でカラスは鏡の中で自分自身を認識し、彼らは死んだconspecificsのために嘆き、新しい状況を調べる。彼らは自分のために嘘をつき、騙し、見せびらかし、欺き、カモフラージュする - EGO-ICH 2.0.彼らは自分の遺伝的行動パターン、バイオ化学的アルゴリズムに従っており、これはチョコレートやおもちゃになると、スーパーマーケットの幼児から始まります！彼らの行動パターン、バイオ化学的アルゴリズムに従っています。 "私の家、妻や夫、車、宗教、国？" 言葉とそれゆえに思考が発達した2歳の時に限って、なぜこのようなわがままな私がいるのでしょうか。

動物の意識は、その進化的発展の中で、私たちは今日、動物がアリストテレスやデカルト、カントが主張したよりもはるかに賢く、敏感であることを知っています。また、コウモリやクジラの世界を理解することができないことも知っています。　それでもチンパンジーたちは、自分たちの未来を計画し、過去を思い出し、愛し、苦しみ、考えます。少なくともこの知識はすでに私たちの法的規範を変える - 動物はもはや物ではなく、動物の権利を持つ仲間の生き物である - 動物の保護があり、類人猿が飼育下（動物園）で生きるべきかどうかについての議論が始まる。飼育下の霊長類人猿は、動物園では、廊下やコンクリートや格子の床を悲鳴を上げながら走り、その射撃で壁を汚します。 土の中に果物を放り込んで迷惑をかけたり
警備員や動物園の来園者を、汚い、イライラする、意地悪な生き物のようにからかう。

ロバート・サポルスキー教授からの抜粋：「...我々は、基本的な動機のために殺す霊長類であり、攻撃者から我々や我々の子供を守るためではない。ロバート・サポルスキーは、彼が他の人をいじめたので、家族の一人を殺したヒヒを研究し、領土から自分の国境をコントロールするチンパンジーは、入ってくる他のチンパンジーを殺す - 彼らは別のグループに属しているからというだけの理由で。生物間のもう一つの自然淘汰は、生息地の違いです。彼らは、個々の生物や生物の集団が突然変異によって、遺伝的に変化するという、さらなる選択圧力をかけています。そのため、地球上の生物多様性として知られるダーウィンの動物間の生存と個々の存在のための闘争という、ますます複雑化する宇宙的なダイナミズムにつながる競争圧力が存在しています。　これは、より深い知識のためのソースリストがあるので、概要として十分であるべきである、例えば、動物/植物/バクテリアの最初の脳は、元の細菌の以前に開発された感覚細胞の助けを借りて、世界の内部モデルを作成したのではないかと疑う神経科学者ビョルン・メルカーのための

そして、その過程でアバター/ICH、つまりI-HerDrinnenが誕生しました。　意識のために他に何もないが、モデルの内部からの多感覚ビュー、その機能は、それが外の世界からのデータ/情報の洪水を整理し、解釈することである！意識のためには、それが外の世界からのデータ/情報の洪水を整理し、解釈することです。

3000万年前の当時に生きていた霊長類は、果実食でも葉食でも、新しい生息地を求めて圧力をかけられたときには、すでに新しい生態系ニッチの「征服者」とみなされていた。他の集団や種からの競争圧力、気候の変化（雨不足、熱波、砂漠化）、火山の噴火、洪水、河川の変化などの自然災害によるものである。

つまり、種の発展や改良は、自然や創造者であっても、ダイナミクスとカオスの力によって予測できないと断言できるのです。　このことは、社会の変化と経済システム、資本主義、共産主義、社会市場経済の場合には、後にもう一度見ることになります。　これはまた、捕食性の猿ホモサピエンスから現代人に、トランプ、プーチン＆Co.だけでなく、アインシュタイン、ヘーゲル、ヤスパース、アーレント、マルクス、カント、イエス、仏陀、Dutschke、ウェーバー、ランドにつながったため。

EGO-ICH＆カルチャーマスターズ

神経科学
まず第一に脳に：我々は今日まで思考が肉からなることができる方法を理解していない、おそらくそれはすべての原始的な単細胞生物がすでに持っている刺激や反射によって起こった - 光と闇を区別し、それに反応するために。また植物と私達は例えば松とのように、先見の明のある能力を証明してもいいです-ブランデンブルクの研究者は害虫昆虫の性的フェロモンとそれらを蒸発させました-彼らは近い将来にこれらの昆虫の交尾が行われ、彼らが針に卵を産み、幼虫が針を食べることを認識しました。松は過酸化水素を発生させて幼虫を死滅させることで防御策を開始した。

生まれつき目が見えず、手術によって初めて目が見えるようになった人は、目のデータを脳内で解釈するのに莫大な困難を抱えていました。初めてリンゴを目で見た男は、目の見えないリンゴを何度も触ったが、丸いという言葉は理解できなかった。他の形や色も同じで、全く新しいことを学ばなければなりませんでした。これは、次のようなことを意味しています。
私たちの脳は、現実を主観的に想像（解釈）しているのであって、世界のように客観的なものではないということを!

現実の世界は、私たちのフィルター（感覚器官と脳/生化学的アルゴリズム）と一緒にあり、単に実質的に知覚できません!

しかし、ドライブや本能さえも無意識の行動や反応であるが、それは長い間、進化的に理解可能な方法であったが、私 - 自己 - が現れることができるまで。 私たちの感覚器官（見る、聞く、嗅ぐ、味わう、触る）は、その世界を理解し、解釈するための脳の道具です。
つまり、私たちの思考や感情、哲学、芸術、科学などは解釈である！ということです。それはシミュレーションであって、現実のエミュレーションではないということ。したがって、客観的な現実についての真理とは一致しない。

真実の違いを知りたい
アドレス：それが主観的な真実になると
感情に関わるものであれば
無数の真実 色の印象
REDは、私が個別に解釈しています。 REDは
みんなで少しずつ感じ方が違う、解釈! 見てください。
脳は環境からすべてを知覚するのではなく、生きていくために必要なものだけを知覚しているのです! 霊長類は私たちと同じようにすべての色を知覚することができますが、熟した果物と熟していない果物を区別するために色が必要なだけで、赤外線を見ることは重要ではなく、超音波を聞くことは重要ではありません。この意味では、すべての生物の限られた認識で十分である。

時には意識して受け止めようとすることもあるかもしれませんが、それを顕在化させることは、私たち人間の誰にとっても、とても、とても難しいことです。

小さな子供たちにとっては、次の章で何度も何度も参照することになるので、このことを理解しておくことがとても重要です。

世界や宇宙の現実を認識していると思っているのは馬鹿だけ。
考えることで思考を止めようとすると、その思考はますます激しくなり、何をしようとも思考の空虚さはない。

情報とは言語ではなく、絵に描いたような音や口の中の音でさえもなく、その情報を表現する一つの方法なのです　遺伝子の場合は体と脳に生化学的なシグナルがあり、ミームの場合は脳に生化学的なシグナルと文化的なデータ（行動）があります。どちらも、子孫（遺伝子）を介して、（デジタル）文章、会話、音楽、絵画、数学などのミームコミュニケーションを通じて、情報を蓄積し、伝承する能力を持っています。

遺伝子は、肉体/形態を持つ物理的な世界で直接これを行い、精神世界のミームは、両方ともアルファベットで通信します - ミームは、遺伝子よりも自分自身を表現するためにかなり多くの文字を持っている、彼らは彼らの遺伝的青写真（DNA二重らせん）でこの惑星のbioversityを記録するために4つの文字（A,C,GとT）だけを使用しているからです
例えば、世界で一番長いボケボケの文章を想像してみてください。そして、その前に「パパが言った...bla-blla-blla-blla」という文章を加え、さらにその前に「リリーが言った...bla-blla-blla」という文章を加えます。 そして、世界のすべての名前を加えたところで、次のように始めます。

遺伝子は同じことをすることができるので、種の潜在的な多様性はミームのアイデアの多様性と同じくらい無限大です。

OBJ

A MEME IS THE SMALLEST
UNIT OF AN IDEA.
MEMES , LIKE GENES , MUST
BE COPIED CORRECTLY TO
AVOID PATHOLOGICAL MUTATION

進化生物学者のリチャード・ドーキンスが1976年に初めてミーム理論を発表したのは、その著書『Selfish Genes, and

ミームとは、ショートピースの
情報を、言語の形で、など。

- ➢内なる声の思考-内なる声の思考
- ➢音、単語、文章を読む
- ➢数式
- ➢文化/イデオロギー
- ➢音楽、ダンス、写真などあらゆる種類の芸術。

ミームが一番シンプルなアイデア！？そして、遺伝子が選択、協力、競争によって環境の中で生き残れば、生物の集団（遺伝子プール）の中で遺伝子が増殖するのと同じように、ミームはミームネットワークの中に存在し、そこで自分自身を主張しなければならないのです。　動物は、一方が協力することに価値があるときと、他方を裏で刺してズルをすることに価値があるときを区別することができます。　だから、これは人間では何も新しいものではありません、ロバートSapolskyは言う、囚人のジレンマのゲーム理論を参照してください。
生き残るためにはゲームのセオリーが欠かせません。
そうしないと遺伝子はミームと同じように枯れてしまう、それは
今ここの環境から消えていく。

アイデアは、それが精神的なデッドエンドを形成しない場合、すなわち、それが自由を介して開発の可能性を保証する場合は、遺伝子プールのプロパティのように、常により成功している - " ...それはちょうどそうであり、そう残っている...　"は、ちょうど常にそこにあった神の教義（深い教化）のようなアイデアのデッドエンドであり、すべてのものを作成しており、それはまた、常に、永遠にそうのために残っている;これらは、死に絶えてしまうデッドエンドです　突然変異は、この意味では、それが間違っていることを認識し、今ここで場所を外れている思考パターンです。
メンバーバンドがさらに発展するための自由度が高ければ高いほど、今ここでの選択圧力や競争、協力に対して自己主張ができるので、将来的にはその存在がより成功すると考えられます。　ミームがどこから来るのか、それが実際にエネルギーなのか、それとも脳が神経細胞で化学的・電気的にこの情報を作り出すのかは議論の余地があります。　脳は情報を受信するラジオのようなもので、発信者が電波で受信し、それを音楽や音声メッセージに変換しているだけだという意見もあります。　他の人は、私たちの脳、それを備えた生物の意識が、これらのミームを作り、RNAで世界に広めていると言います。
宇宙の情報が原子の中に蓄積されていること、化学の情報が分子の中に蓄積されていること、生物の情報が細胞のRNAやDNAの中に蓄積されているために存在していることは、もはやほとんどの研究者が疑っていることではない。
この時点で、これは生化学的アルゴリズムであり、記憶的アルゴリズムであることを（膜的連想／思考パターンとして）理解することが重要であり、どちらのアルゴリズム（ソフトウェア）も脳（ウェットウェア）のためのオペレーティングシステムであることを理解しておくことが重要です

- ➢ミームリプリケータ
- ➢ミームの出会いの場
- ➢コミュニケーション

例えば、火を起こしたり、車輪付きの台車で重い荷物を運んだり、石の刃を作ったり、鋤を作ったり、青銅ではなく鉄で鎌を作ったり...良いアイデアがあると想像してみてください。あるいは議会制民主主義の考え方：民主主義とは、相手側を引き裂いて排除することではなく、自分が相手側の一部であるという事実とともに生きることです。
少数派の方との交流や話を聞いていると、間違った考えをしている可能性があるので、お互いに理解し合っています。これと私たちはすべての一部であること、それは社会主義であること：私たちは、特に病気、貧困、安全保障の中で、コミュニティとしてお互いのために存在していること...または、または、または、または、 - どのようにそのようなアイデア、そのようなミームの協会は、コミュニティ内で最高の配布することができますか？
それは参加型の直接民主主義でしかできません。他のすべてのものは代表民主主義と呼ばれ、それは寡頭政治であり、少数の者が多数派を支配しています。

もちろんこれはi言語コミュニケーションであり、音（魚の原語のようなもの）とフェロモン（昆虫や植物のようなもの）、認知情報や感情情報を持った音の言語文化であり、人間にしか存在しな

いもの）である。

囚人のジレンマのゲーム理論：君のように僕のように、君のように僕のように。他の人が協力する限り、動物たちは協力するようにした。もし彼らがズルを始めたのなら、ズルはズルをして戻ってきたことになる、とロバートは書いています。
もう片方が協力して戻ってきたのであれば、もう片方が協力したことになります。　そうでなければ、協力するのが当たり前のルールだったのだ！」と。　このメモリルール：あなたから私へ、私からあなたへのように - 動物の世界では、それが意味を持っていました。

協力して関係をスタートさせることは、いつでも友好的です。
搾取されて騙されると逆襲する。
相手が再び協力し始めると協力に戻る、許すことができる。
この明確で紛れもないルール：あなたが私をするように、私もあなたをする...多くの戦いには負けるが、すべての戦争には勝つ！

THE CULTURAL BEHAVIOURAL EVOLUTION.
良いことをした者は良いことが返ってくる」というのは、動物界から広げてきたカルマのルールです。　国家機関への行動規則の動物の機関は、共同体の組織として、その時だけ効果的な方法です;ゴールデンルールは、あなたが私にしてきたように、私はあなたにしてきたので、によって観察される場合。これは、真実は真実であり、詐欺や嘘ではないという意味でもあります。
という考えであれば、ウイルスと同じように宿主に感染します。ここでは実際にミームウイルスを語ることができ、良いアイデアはより早く広がり、悪いアイデアは死に絶え、真実は永遠に残り、嘘は遅かれ早かれ死ぬ。

人工接種でもしない限りは。
広告やプロパガンダで生かされている
深い洗脳、親の教育、教育
学校の これらの教義は
組織的な政府と
あらゆる色相の宗教。

ウィルス学では、その後、私たちはそれを話します。超拡散イベント。　　そこには場所やメディア、教育機関、議会などのデジタルツールがあり、思想やイデオロギー、思想の間で情報や経験を交換するためだけに存在しています。
これらは、彼らが遺伝子プールのように、自分自身を主張しなければならないという目的を果たす;どの思考は現在、その環境で生きていることに生存のための利点を与える　-　しかし、ゴールデンルールの下で：あなたが私を与えるように、私はあなたを与える!
例えば、18世紀の女性は平均13人の子供を持っていたが、遺伝子の観点から見ると、これは良いミームの行動であり、良い生殖戦略であった；ちょうど彼の（結婚している）妻に永遠の忠誠を誓った男のように（嘘）、彼は交尾の準備ができている（欺瞞）魅力的な女性に会ったとき、しばしばこの誓いを忘れてしまう。　勢いは続いて、子供が貧困の中で育つシングルマザーがあり、彼らはその後、母親よりもはるかに優れた男性の行動を理解し、彼らが年を取ったときに男性とそれに応じて異なる行動を取る;貧困は動物界では何を意味するのでしょうか？　私たちが作る子供たちは、私たちが養えないから死んでしまう、そうして私たちは悟りの時代、産業の時代まで生きてきたのだ--その後、私たちは動物の貧困を倒した、精神的な貧困は今日まで残っていた...。
20世紀には女性と避妊ピルのための国家教育が来て、これは女性の結婚依存の概念と子供を産むために先進国の女性の意欲を変更しました。すべては、コミュニティ内のメモワールで起こったことです これはミームの啓蒙、フェミニズム = フェミニズム、女性の権利の平等によって行われた。
確かに、家族構成が子供や女性に悪影響を及ぼすことも証明できます。　女性は今、フルタイムの賃金奴隷として働かなければならず、家族のための時間がないため、子供たちは両親からの影響をあまり受けずに育つ - 国家とその深い洗脳は今、集団的なミームの行動ではなく、その政治的なものに従ってそれらを形成している。

サラリーマン奴隷の正式名称は扶養社員であり、ダイムラーベンツの人事部長以上に起業家精神旺盛なこの人たちの人生を表現できる人はいないだろう。

マトリックスの人類史の中で最初の出会いのポイントは

人間界からの原始文化
そして
動物界の原語

その後、文化、芸術、集団での法制度、複雑な言語が人間に発達し、より複雑な思考につながった経典（新しい考え方）、言語による理性で社会的紛争を解決するためのシング部族会議、アルファ動物の独裁ではなく集団裁判、不可解なことを説明するための礼拝、知識を蓄積して後世に利用できるようにするための印刷などが行われました。

その後、小集団が大集団（民族、国家、帝国）になると、国会、国家行政（司法、軍事、税務署、警察など）、労働組合、社会サービス（捕食的資本主義からの保護）、新聞、学校、大学、ラジオ、グーグル、ウィキペディア、ユーチューブ（情報源へのメディア）からのインターネット、正義と自由のために平和的に戦うためのデモや反乱、少数の権力エリートを裏切り、真実を売りにしてきた。
20世紀には、テレビ、インターネット、ソーシャルメディアがミームスピリッツの主な出会いの場となっていたのではないでしょうか。

そして21世紀には、時代や個人の精神を決定的に変え、形にしていくのは、インターネット上のバーチャルリアリティになるのです!　私たちはいつも遺伝的な行動パターンに従うわけではありません、私たちはいつも私たちが見るものすべてを信じているわけではありません、夜にはいつも（月）の光に従う蛾のように、それゆえに家の中の電球の上で自分自身を燃やしているのです。

人間のパソコン
&
ALGORITHMIC SOFTWARE.

生化学アルゴリズム（オペレーティングシステム
脳にはシミュレーションをするタスクが1つしかない!　つまり、その世界、内側と外側をマップするプログラムを作っているということです。 脳は内なる声や性格、外界のイメージを作ります。
私たちの感覚器官を介して流れ込むデータは、本来電気的なものであり、耳、目、皮膚はこれらの信号を脳に与え、脳はこれらの信号をそのプログラム、またはアルゴリズムで解釈します。　私はここでは表面的にしかこのテーマを扱っていませんが、詳しい事実については、これらのアルゴリズムや脳の働きを解説しているヨッシャ・バッハ博士をお勧めします。
生物化学的アルゴリズム、これは私たちの脳がホルモンと神経細胞の電気的相互作用の助けを借りて作り出す思考、本能、感情と呼ばれるものです。私たちが攻撃したり逃げたりするときに感じるこれらの衝動、飢餓感、集団に従うための群れの本能、怒り、恐怖、悲しみ、性欲、母性愛、欲、嫉妬、快楽、多幸感などは、理性によって制御されていない、彼らは本能、本能＆スキーム制御されています。　確かに心理学者は衝動制御について話していますが、それは彼の感情世界に一定の注意を払って、ハードに訓練されなければなりません。

人間の恋愛は、一種の中毒性のある行動に例えられます。　男性にとって魅力的な女性を見向きもしないのは、生化学的なアルゴリズムのために難しいのです。

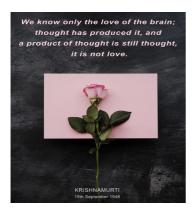
教授リチャード・プレヒトの哲学は、感情を、動物界では、2つのグループに区別しています。

- 飢餓感、恐怖感、セックス、母恋などの普通の感情。彼らは、生物学的に見て、生存に奉仕している。
- 人間の愛は、逆に言えば、雑な感じで、生物学的に言えば、遺伝子が出来るだけ広めたいと思っているので、生物学的には、意図的ではありません。 それは、忠実さと情熱と興奮という2つの異なる期待を求めています。　性欲と恋愛には何の共通点もありません。　動物界にも愛がありますが、モンキー夫妻ではなく、親子の間にも愛があります-モンキーラブ!

では、猿の愛はどのようにして人間の中の要求の厳しい無条件の愛と誠実さになったのでしょうか？

思春期には、私たちはもう親を愛していないことを開始します、完全に普通の! 誰か他の人に愛を求める、完全に正常な、私たちは種を生き残るために遺伝子＆ミームのアルゴリズムに従っています。

愛と忠誠の概念は文化の進化のミームの産物である.

We know only the love of the brain;
thought has produced it, and
a product of thought is still thought,
it is not love.
KRISHNAMURTI
19th September 1948

それは愛と忠誠のこれらの混乱した感情であり、しばしばトラブルに私たち人間を取得します
薬物乱用のように、我々は彼らの後を追い、検索します。
彼らは、それらを保持している...幻想！ シート
これらの幻想的な感情やビジョンの中には
脳の松果体（第三の目）。

彼らと一緒に、過去の愛の壊れた心だけでなく、さらなる困難が来る、それは私たちも死ぬために準備されている狂信的な幻想に来る - ジーンサバイバルマシンに私たちの生活を犠牲にするために!

私たち人間だけがこの品質を持っている、それは来なかった
神々によって、それは文化の進化から来たものであり
生物化学的進化から来ていて、それは
量子物理学的進化の
知る由もありません。

この物件の名前が出てきました。 ideology. それは私たちを条件付きの愛と誠実さへと導き、幻想の人生のパートナーを探すだけでなく、神、指導者に愛と誠実さを見つけることをもたらします...死に至るまで、戦争に至るまで、政治的イデオロギーに至るまで、彼らに従うために、そしてそのために殺すために！それは、私たちを条件付きの愛と誠実さへと導きます。

無条件の愛とはこのことだろう。
条件なしに愛すること。
下心なく語り合う
下心なく与えること
期待せずにお互いを思いやること
大衆心理学は、グループ内の集団行動の研究であり、私たちは群れの動物として従う - 大衆イデオロギーのために私たちは（ほとんど）何でもする
私たちは神々の象徴的な鎖を身につけ、国の家族（部族）の旗を持っています。 私たちは、私が想像できる最も理不尽なことをしています。口と鼻のマスクをつけているのは、他のみんながそうしているからというだけです。

なぜ多くの人が目に見えない霊神を「信じている」のか？ 子供におとぎ話を聞かせて、PCはそれについてのシミュレーションをして、それに固執します
それとも宇宙起源の不可解さ、それ自体が生死（雑な感情）を神シミュレーションで説明した方がいいのかな？
それって迷信じゃないの？
この「真実」を「真実」として、「偽り」を「偽り」として見るためには、もちろん人は制限（愚かさ）からも解放されていなければならず、批判的なシミュレーションで自分自身-人間のPC-を疑うためのシミュレーションを盲信してはいけないのです
もちろん、これでは自由意志、自由な思考が容易に育たないからです。この幻想的な過去と未来、記憶、希望、期待が幻想的な現在の行列をシミュレートし、幻想的な問題-Iを作成し、Jiddu Krishnamurti、かなり顕著なインドの哲学者を書いています。
私たちのiPhoneがアルゴリズムによって制御され、アニメーション化されている（魅せられている）ように、すべての生物はオペレーティングシステムのアルゴリズムを持つ生化学的なコンピュータです。 子供の頃、私たちは「私には意識があるのか」と自問する。そして、シミュレーションでは "そう、あなたは......!
この用語を説明するのは簡単で、MS-DOSがどのようにPCの中のオペレーティングシステムであり、Windows10のようなソフトウェアは、このオペレーティングシステム上で動作するプログラムです。コンピュータ自体には意識がなく、ソフトウェアが意識を装っているだけなのです

これによれば、これらの記憶的アルゴリズムは、親、友人、学校、宗教、国家の幼少期の教育、つまり文化の進化となる。

この文化教育から
深い教化
文化が教えてくれる
それを作る様々な幻想的なソフトウェアプログラム

獣の世界にはない
あっち

子供：文化は本当の友達ではない

私たちが神と世界について持っている信念、儀式、ルールなどの文化的イデオロギー（大衆）心理は、ごちゃごちゃした感情であり、自然と矛盾しています。彼らは通常、幼少期に行動の教えとして、私たちに操作的に教えてくれます。
母毒；私の思い通りにならないなら、もう愛していない！あなたがダメなんだから！」と言っていましたが、私の思い通りにならないなら、もう愛していません。
多くの親の毒のもう一つは、幼少期に作られ、彼の人生を通してこの個人によって質問されることはありません協力の思考とは対照的に、競争の思考である...これは、政治、経済、教育、他の人と一緒に生活する上でのすべての社会的な問題が始まる場所です
もちろんエピジェネティックに受け継がれます！

フランツ・ルパート教授は、ここでは母親と加害者の話をしていますが、それによって原始的な感情をトラウマにしているのです!
カール・ユングは、その結果として生じた母親のコンプレックスを詳細に扱ってきました。　私はそれについて十分に書くことができない、その主題はまた、あなたの自己研究を必要とするトラウマを持った子供たち、まだ今日あなたを伴うスキーマータは、特にあなたがあなたを残した父親と、壊れた家族とシングルマザーから来ているので、あなたの子供時代の結果である！私はそれについて十分に書くことができません。

今の世の中ではそれが当たり前になっていて、人々の感情に多大な影響を与え、社会の社会環境を形成しています。 ルパート教授は著書の中で、戦争にも同じことが当てはまると書いています。
傷ついたトラウマを負った子供の魂を癒すことは、大人になって傷ついた子供を癒すよりも簡単なことが多いので、いつか自分で子供を育てようと思っているのであれば、覚えておいてください -
ほとんどの親は、何世代にもわたって、ロマンティックな愛、国民愛（愛国心）、神への愛（宗教）などのごちゃごちゃした感情に、取り返しのつかないダメージを与えていることにさえ気づいていないことが多いのです!

そして、学校があり、そこでは、子供たちは従順で従順で、心で学び、心で学んでこそ、良い子であると教えられ、認められ、愛を受けることができるのです。
人間の価値は常に服従に依存していた、後に来た宗教（父なる神）は、（拷問）罰＆報酬を介して、法律（父の毒殺）と父国家、これを強制的に。あなたは、あなたが私たちの、実際に私の法律に従えば、あなたは唯一の善良な市民であり、従うと他の人ではなく、これは市民の不服従、革命と人種差別、暴力、競争、うつ病と無気力につながります。

トラウマ社会が形成される、恐怖の群れ動物。　父なる神、父なる国家、父なる酋長、首都の独裁者たちは、原始的な感情の羊飼いであり、その中には群れの所有者であり、私たち全員（あらゆる肌の色）を彼らのアジェンダに従わせるために繁殖させてきた者もいます。

彼らは猿の自然な自由を奪い、社会と呼ばれるイデオロギー的な文化動物園に彼を閉じ込め、国民国家と呼ばれる、宗教と呼ばれる、資本主義と呼ばれる...彼らは宇宙的な自然から私たちを奪い、私たちに彼らの猿の神を与え、彼らのトラウマは私たちのものになりました...そして世界の人口は何千年もの間、これに苦しんできた、彼の本の中でフランツ・ルパートは書いています - 治療的な懸念の方法についての講義を参照してください!
群れを支配するためには、深い洗脳が使用され、教授ライナーMausfeldはYouTubeで他の人の間で、講義を与えることについての意見の操作、! このような海外のシュミレーションから解放されるためには、敵を知らない者は全ての戦いで敗北してしまうので、自分を解放しなければならない......!
だからこそ、私たちは権力の組織化の方法を知らなければならないし、それは本当に非常に、非常に難しい作業で、私たちには変わるチャンスはわずかしかないのです！私たちは、そのようなことができないのです。そのためには、後の章で述べる解放運動が必要である。
例えば料理のレシピは、まず野菜を取り、細かく切ってから水を入れて鍋を温め、塩コショウなどを加えて調理するというアルゴリズムです。　自動販売機はまた、アルゴリズムで動作します：カップを入れ、次に水を入れ、次にお茶を入れ、次に砂糖または砂糖なし...それはコンピュータがどのように動作するか、コード（アルゴリズム）は、何をいつ、どのように行うかの順序を与えま

す。
つまり、動物には自由意志がない、つまり自由な思考がないということです。
だから、馬が騎手の舵取りができると思っているように、脳のアルゴリズムから自由になれると思っているのは要注意……!

生化学的アルゴリズムは強制力、生物学的強制力
(ドライブや本能など)と
暗黙のアルゴリズムは強要
(スキーム、インプリント、文化。

生き物において、この生物学的強制は、主に私たちの遺伝子、ホルモン、感覚器官によって引き起こされ、二次的にはミーム（思考）によってのみ、つまり無意識のうちに引き起こされています　これらのすべてのこれらの刺激 - これらの化学的および電気的なインパルスは、私たちの意識がそれらについて知らされる前に、大脳の特別な部分で処理されなければならない - 我々はしばしば、我々は衝動的に反応し、賢明に行動しないため、最初にそれらについて考えずに行動し、話をする理由です。心理学の行動と模式図療法は、これらの行動パターンを非常によく知っており、どのように神経細胞の接続がネットワークに形成されている - とどのように困難な古い行動パターンを放棄することですが、合理的な心はあなたに何を変更しなければならないことを理解しているが、それは。　これは、動物のためのすべての非常に正常ですが、私は本でリストの本を続けることができました...神経系によって生成されるホルモン（カテコールアミン）の量は印象的です。

松果体のDMT（トリプタミン）は、出産する母親と同じように、死の恐怖や臨死体験の際に神経を保護してくれます。

最後になりましたが、脳に面白いことをさせてしまう中毒性のある感情を終わらせます。外部のサイケデリック物質は、THC、LSD、メスカリン、psilocybinなどの物質のドッキングサイト（受容体）がすでに存在する松果体に作用し、私たちによって摂取することができます（cf.　Strassman 2001）。
彼らは文章や言語では説明できない「サイケデリックな花火」を引き起こし、参照して
これは、サイコナウト＆シャーマンが自分自身で経験してきたことであり、脳はこれまでに考え出され、経験したことのない思考や感情（ミームパターン）をシミュレートし、テレンス・マッケンナは書いています：　"...彼らはアウト宇宙的な存在であったかのように！"　"これは、サイコナウト＆シャーマンが自分自身で経験してきたことです。 "本当の旅"
早くも1516年には、カトリック教会はサイケデリックなキノコの使用を禁止しています。"神に会いたければ 私たちの教会に来なさい 私たちの教会だけに...

なぜ脳がこのようにプログラムされているかというと、おそらく、危険な状況（飛行や攻撃）で数え切れないほどの命を救ってくれた、はるかに古いストレスホルモンの保護システムを構築しているからでしょう。　狩猟者の脳は、その過程で自分自身を危険にさらすことなく獲物を殺すことが「価値がある」かどうかを常に判断しなければなりません　-　ライオンが病気の動物を攻撃する場合、それは銃を持った人間よりも良い判断ですが、ライオンの脳はこれを非常によく理解し、生化学的な判断プロセスを行います。
他の脳研究者は、ラジオがエーテルから音楽（情報波）を受信するように、私たちの脳は直感的でひらめきのある思考を「受信」するという意見を持っています - ミーム・ゴースト理論。つまり、私たちは遺伝的に思考や感情をコントロールされているだけでなく、外的にもコントロールされているということです。後にサイコナウツの章では、多くの動物に見られる松果体という受け手の可能性があるものを、より詳しく扱うことになる。

もう一つの有望な研究は、臨死体験である。ミュンヘン大学の教授Brüntrupは、自分自身がそのような経験を持っていた、彼は臨床的に死んだ、すなわち脳の活動はありませんでした。　しかし、他の患者さんが確認しているように、死そのものが気持ちいいという意見もありました。　しかし、これは医学的には意味がありません、物理的にはすでに死んでいるのに、どうして脳は何かを感じ、体験することさえできるのでしょうか。　松果体にサイケデリックなトリップを引き起こすメッセンジャー物質を構築することはできませんでした。
しかし、形而上学者や汎心理主義者にとっては、これは非常に明確なことである。　そして、それは最も荒唐無稽な憶測を暗示している、私はそれが死とその後についてのすべての宗教の物語が遊びに来る場所であることを知っています
しかし、スピリチュアリティや神秘的な体験も登場し、この惑星のすべての宗教が語っています。まあ、おばあちゃんとおじいちゃんは、すでにそれを経験しています**......**私の愛する子供たち、残念ながら私たちはそこに行くことができませんでした。死にかけの段階では、生者と死者の訪問を受けると言われています。手放すことができる人（**EGO-ICH**）は、上に保持している人よりも簡単な移行を持っています。　死にゆく透明感が現れ、これはアルツハイマーの患者にも見られ、死ぬ直前には精神的に正常に戻り、「さようなら！」と言っていました。

神経精神科医ピーターフェンウィックの死の研究は、この方向では、1999年以来実行されている、ここでの研究は、人間だけで動作するため、我々は理解しようとしている、自信を持つ他の動物（microtubulli）は、言語で、彼らの臨死体験について私たちに伝えることができますし、それは非常に重要である。
まあ、私たちはまた、魔法のキノコで、私たちは同じ経験をしているので、私たちはまた、私たちの一生のうちにこれを経験するでしょう、唯一のこの旅行は致命的ではありません、私たちはいつも臭い通常の行列に戻ります
行動科学-行動科学
バーチャルリアリティ（VR
ここに文化的進化のプログラムが固定されている、というか、第三者によって（深く）教化されているのです。
21世紀に我々は書くことができ、算数を行う人口を持っているが、我々はまた、脳はPCであるため、脳は、博士Joschaバッハを書いていますので、必要に応じて、学習されているものを取り消すために、もう一度、もう一度、新しい何かを学ぶために、どのように質問する方法を理解していない1つを持っています。

スコットランドの哲学者デビッド・ヒュームは、18世紀に、私たちの感情世界が理性世界に先行していると分析しています。今日では神経学や心理学で総合的に確認されています。私たちは、ある種のフェルト信念、態度、世界観を持っているので、ピッピ・ロングストッキング症候群（私は自分の好きなように世界を作る）の後に、適切な合理的な議論を模索します。神やマルクス主義や資本主義を信じている人は、自分を納得させる合理的な事実や論拠があるから支持されないのであって、自分の信念を裏付けるピッピ・ロングストッキングの論拠を選んでいるのです（反響室）!
私たちが人生で行う決定の大部分は、ほとんどの場合、自由ではないEGO-ICHの感情、満たされていない自尊心の後に行われてきました。

スーパーエゴイチ
精神医学では、病的なナルシストや社会病質者、つまり精神疾患のことを指します。　それはしばしば小児期に発生し、家族の中でのトラウマ的な経験、精神社会的な影響はしばしば不治の病です。　彼らは自尊心の欠如に嘘をつき、彼らは決して十分に良いものではなく、しばしば切り捨てられていた。
これらの人々は権力を欲し、無制限のコントロールを求め、他の人々はこの目標を達成するために搾取され、虐待されています。
彼らは完全に彼らのアルゴリズムによって、カール・ユングによって記述されるようにEGO-ICHによって運転され、理性的な論理またはSOCI-ICH、WE-ICH（共感、道徳および倫理）に従ってほとんどオープンマインドではありません。
つまり：神経細胞の信号、思考（ミーム）は、私たちの中で構築したり、シミュレートしたり、自己概念（パワーI）は、個々の、しばしば不合理な世界、その環境に従わなければならない独自のマトリクスを
ノンフィクション作家のセリーヌ・フォン・クノベルスドルフは、彼女の著書『合理主義者のための直感』の中で、これが私たちの政治的、経済的、宗教的な制度が病んでいる主な理由の一つであると書いています。　これを社会的に認識して、こういう人たちがこういう立場にならないようにすること。 彼らは治療を受けたに違いない そうでなければ、施設が生き残るかどうかを 決めることになるかもしれない 我々の文明にとって重要なことなのだ！ コロナ危機の政治対策は、このようなタイプ（ソフト）の人たちの作品である：無制限の支配＆絶対的な権力!

脳はどのようにしてそのような病理学的シミュレーションの理由を見つけたのでしょうか？
私たちの脳が行う最も重要なことは、行動科学者コンラッド・ローレンツとロバート・サポルスキーにすでに知られていた、多くのニューロンの感覚的な印象からソート（！）することでした - 私たちが考え、塑性的かつ創造的に行動できるように、他人の立場に自分自身を置くことができるように（共感）、他人が何を考えているかを感じ、したがって、嘘をついたり、彼らをごまかしたりすることもできます。　最初に実行しなくても模擬的な状況をイメージできることが、個々のメリットになっていました。しかし、このソーシャルコンピューティングの力は、欺瞞が露呈した場合、個人や家族全体のコンスピのグループの生死を決定することがよくあります。
霊長類だけではなく、子供の健全な精神的発達には母子関係が非常に重要であることがわかっています。
驚くべきは、類人猿に暴力＆利他性があるだけでなく、猫や犬などの霊長類にも共感＆反感があることです。　さらに驚くべきことに、種を越えても、我々は脳のこれらのシミュレーションを見つ

けることです：犬は猫が好きで、猫はマウスに同情を持つことができます。
人間は彼や彼女が認めたがる以上に、動物との共通点が多い。エピジェネティシスト、進化社会学者とendroctinologistsは、我々は強迫的な感情や思考の多くを持つズーンpolitikom、高度に社会的、コミュニケーションの存在であると言います。
進化の成功は、もし私たちがそのように評価すべきだとすれば、他の姉妹グループの霊長類と私たちの違いは、私たちの遺伝的、精神的な気質（生化学的アルゴリズム）に従って、グループのアルファ動物の役割を意味のある方法で果たすことに深刻な問題を抱えていることであり、私たちホモ・サピエンスだけが、権力の病的な感覚（スーパーEGO-ICH）になると、しばしば狂信的になる。　これは、私たちの一つ一つのEGO-Iにも適用されます：私の家、私の夫/妻、私の、私の、私の、私の、私の、私の、私の、そしてもっともっと欲しい。
これらのエピジェネティックな素因は、少なくとも700万年前からしっかりとヒト科に定着しており、私たちもこのパターン/マトリックスに従って社会を構築してきました。
この世のトランプ、メルケル、フリードマン、ゲイツはガンダムや仏様を凌駕しています　彼らはちょうど彼らの脳がシミュレートしたシミュレーションであり、彼らの脳はこのMEを作成している...しかし、それは悪が短期的には良いを上書きしているようだ - Joschaバッハを参照してください：自己 - YouTube上で。
女性と男性
女性や男性の体にいるとき、脳はどのようにシミュレーションしているのでしょうか？
EGO-ICHになると、力や消費、所持に対する欲求の満足度に差が出てこないんですよね。男性の方が体格的に強いので、到達する方法が違います。
優秀なVera Birkenbihl教授は、1929年以来、私たちが政治権力中枢から教化されてきたように、二人の性は平等ではないとはっきりと述べています!
私たちは法の前には平等であり、それは深刻だが見過ごされがちな違いです
男は染色体が欠落していて、そうでなければ全員が女性であり、妊娠初期であっても全員が女性であることになります。　しかし、私たちの間にある違いは物理的なものだけではなく、何よりも精神的なものです。
私たちは本当に2つの異なる惑星（金星＆火星...）から来ているかのように、幼児教育でもそれを変えることはできません。このことは、生物化学的アルゴリズムがいかに強力であるかを改めて証明しているに過ぎません。
それは広範なトピックであり、Veraは優れた教師であり、私はあなたがYouTubeで彼女を訪問することをお勧めします

自分の脳みその家は誰が担当しているのか？
私たちが自由でない意志を持っていることは、長い間証明されており、もはや仮説ではなく、今日、私たちは、人が彼の内なる声でこれらの思考を自分自身に気づいている前に、人の中で私たちの認知的な思考、願いや願望を予測するために脳スキャナーを使用することができます。　実験では、被験者はそれぞれの手に電気ボタンを持っていて、その気になったときに2つのスイッチのうちの1つを自由に押すことができました。"今、私はこの指でこのボタンを押しています "と自分自身に言い聞かせたときに。画面上の被験者の神経細胞の活動を観察した研究者たちは、被験者がスイッチを押す前に、つまり被験者の意思に気づく前に、どちらの手を使ってスイッチを押すのかを予測することができた。そして、それを0.5秒前まで!
しかし、被告は猛然と主張した。
これは私の自由意志であり、左手でスイッチを押すという自由な選択でした。

自由意志と自由な発想

親分の言ったことはもっともらしいが、事実の真偽はわからない。今左手を使ってスイッチを押そうと意識的に決めているのではなく、選択としての衝動を感じて行動しているだけなのです
しかし、回答者は、「これは私の自由意志であり、左手でスイッチを押したのは私の自由な選択だ！」と猛烈に主張しました。　　これはもっともらしいが、事実の真偽はわからない。今左手を使ってスイッチを押そうと意識的に決めているのではなく、選択としての衝動を感じて行動しているだけなのです
神経生物学者のロバート・サポルスキー氏は、イスラエルで仮釈放を申請した5000人の受刑者のファイルを研究し、次のような結果が得られました。　決定される裁判官が少し前に昼食を食べていた場合、執行猶予付きの執行猶予を得るための受刑者のためのチャンスは、裁判官が3-4時間空腹だった場合よりも60%高くなった - その後、チャンスは0%でした。
身体は禁断症状にあり、空腹時には血糖値が低い（！）、私たちも攻撃的で短気で、空腹時には人種差別的でさえある、いろいろなことが重なってくるのです
裁判官の説明はもちろん法的に正当化されたもので、例えば、すべてのケースが個別に異なるということですが、神経科医は、大脳新皮質でよりよく、脳内で何が起こっているかを正確に理解しています：前頭皮質が糖分の栄養が不足している場合、それは素晴らしい方法で思考を扱うことはありません - そこでは困難で複雑な思考プロセスが処理されます - 受刑者の過去は何だったのか、社会的状況は何だったのか、どのような種類の再社会化が可能であるか - これらのすべては集中的な思考を必要とします。脳が空腹の時は、シンプルな解決策が選ばれます：彼は刑務所に留まり、ファイルを保管し、今、彼は美味しいものを食べています　もう一つ、法的な問題だが、この見識を思いついた。 人間は罪を償うことができるのか、また償わなければならないのか。 彼と彼女の過ちは道徳的にも刑事的にも責任があるのでしょうか？
社会は明らかにこれにイエスと言い、これはすでにエフェソス431 ADのバチカン公会議で - 教皇は自由意志がないことを述べたので、それはカトリック教会が人間をリードしなければならないことが正しいです！社会は、これにイエスと言います。
泥棒や殺人犯は、懲役（予防拘置）で処罰するか、無能力化して精神病院（閉鎖精神病棟）に行くかのどちらかの犯罪につながる思考や行動が2020年にある! 前者は罰であり、後者は（強制的な）治療です。彼らは自由意志で犯罪を犯すことを決めたか、彼らは中毒を持っているので、彼らはそうすることを余儀なくされたか、または彼らはもう責任がないので、その後、彼らは彼らのためにすべての重要な決定を行う裁判所から後見人を得る - 彼は年を取って散漫になったときのおじいちゃんのように、しかし、常に言った：私はかなり正常です、ちょうど時々何かを忘れている...！彼らは、彼らのためにすべての重要な決定を行います。　結論は、私たちの脳が行う決定に責任があり、私たちの自由意志に従ってこれらの生物化学的アルゴリズムをうまく制御することができない場合、私たちは責任を負わされ、おそらく司法、パートナー、両親、そして私たちの子供たちによってこれらの推論のエラーのために罰せられるだろう、私たちはめったにそのようなエラーを許すことはありません - 特にそれが何度も何度も起こる場合...
ハラリは著書の中で「非常に複雑に聞こえるかもしれませんが、この洞察力を検証するのは意外と簡単です」と書いています。次回は、思考があなたの心に来るときは、一時停止し、自分自身に尋ねる：なぜ私はこの特定の考えを考えたのだろうか？1分前にその考えをしようと決めていたのに、その時だけ考えてしまったのかな？それとも内なる声からの許可や指示なしに頭の中に現れたのか？"
もし私が本当に自分の思考、決断、そして自分のMEのボスなら、次の60秒間は何も考えないことにしたり、セックスやドラッグ、ロックンロールのことを考えるのをやめることもできますよね？

さて、それでは、これを試してみてください...もしそれがそんなに簡単だったら、もうそんなに多くの問題はないでしょう - 私たち自身と環境のために なぜなら、それは私が意識的に私を変更することができることを意味するだろうから、私はもうクリスチャンではない、またはそれが法律になっているので、女性の服を着るために、例えば、しかし、我々は人々が投獄の脅威の下で自分自身を変更することはほとんどないことを参照してください、さらには投獄、または死刑の恐怖がジョルダーノを作った
ブルーノは、公に空の点が遠い星であると主張していたから保たれていない - 教皇は、彼がソクラテスのように、彼が撤回したくなかったので、彼は火あぶりで焼かれた、生きた体と精神を持っていました
自分自身でそれを試してみて、自分の考えを反映させて、自分が本当にどれほど自由であるかを見つけてください...それは、この本で理解することが非常に重要です；なぜなら、まだ来るのは、自由でない意志のこの知識、エゴ-イチの犯罪の上に構築されているからです。私たち自身、そして

社会として、どのように対応していけばいいのでしょうか。　残念ながら、薬理学は、物質の摂取や錠剤、頭にチップが入っている状態で、人間の自由意志と自由な思考を保証するために、フルスピードで働いているわけではありません。　軍や他の企業は、脳内の神経細胞の発火パターンを、洗練された知的な方法であらゆる命令を実行するように操作するいくつかのプロジェクトに全速力で取り組んでいます。

もちろん、テレビは70年間、デジタルヘロインのように電子的に幅広い大衆を操作してきた。　これがiPhone&Coで起きていることで、テレビ以上に私たちを操ることができるようになるのではないでしょうか。この操作は、政治・経済・宗教のために意見を操作する方向に行きます。
その広告は、私たちに特定の店で商品を買うように強制しようとしたり（ポケモンGOを参照）、政党に投票するように強制しようとしたり（ケンブリッジ・アナリティカを参照）しますが、この質問は未回答のままではなく、私たちはすでにそれを知っています!
これを自分たちの自由意志で防げるかどうかは、自分たちの生物化学的・記憶的アルゴリズムによって間接的に強制されて、その店の商品を買って、その一党、あるいはただの神を選んだり、認識したりすることはあっても、できることだと思います。
だから、これを非常に簡単に要約してみましょう...そう、私たちはほとんどいつもUNFREEだと思っています　-　なぜなら、私たちの神経クラスターは、私たちのMEなしで外部から受け取ったデータを分析して行動するからです - フルストップ。
今、ジドゥがマインドフルネスで言うことが来る、または私の父と：最初に熟考してから開始します。　私がマインドフルであれば、私の思考プロセスについて完全に明確であれば、思考は私の思考を疑問視する場所を取ることができ、それは絶対的な決定者として、そのニューロンに伝えるために意志の力を必要とします：いいえ、これはこの結論にあなたを導いた情報が間違っているので、実際に間違っているか：はい、これは直感的な正しい結論だった、あなたの直感的な決定は、正しいデータ分析のために正しいものであり、私の自由な思考はこれを確認しています

サスキンド教授は自分自身に問いかけている：脳は最終的には非常に単純な基本的なルールに従って機能するものなのか、それともひどく複雑なだけなのか？

自由な意志と自由な思考の欠如

自由意志がないというのは、かなりわかりやすいですよね。
どうしてあんなことをしてしまったんだろう」「私ってバカだな」「もっとよくわかっていたはずなのに」などなど。
リリーちゃん、お姉ちゃんと一緒に私の家にいた時のこと覚えてる？"二人で過ごして欲しくない"と思っていたのに、実は朝から晩までiPhoneとバーチャルゲームに縛られていたんだよね？　私はお姉さんに、それは嫌だと言ったし、もし彼女が私と過ごすよりもiPhoneが好きなら、ママのところに帰ったほうがいいと言った--彼女はそうした。でもあなた、リリー、私はあなたに留まるように言ったわ、あなたの目を見て、言葉もなく、私の行動が正しいことを理解したから......でもあなたは私に言ったわ、私は妹と一緒に行く、それは私の自由意志よ（その意味を話し合ったわ）。

親愛なる我が子よ、経験豊富な老いぼれとして、これを言っておく。
この地球上に自由意志を持てる子供や若者は一人もいませんでした。　自由意志は生得的なものではない!
自由意志、自由な思考は、教育によって、獲得しなければならないのか？いいえ、それだけでは十分ではありません。なぜなら、お二人とも11歳の時に、自由で自由でない思考が何を意味するのかを非常によく理解しているので、認知的にはお二人とも子供の頃にすでに理解しているからです。
だから教育はそこでは役に立たない、大人になっても役に立たない、ほとんどの老人は自分の自由意志を知らないのだ
私たちは本当に自分の自由意志で決めていると思っています、私は知っています、私は長年同じでした、あなたたち二人を笑うとき、私は自分自身を笑っています、私たちのほとんどの人と同じでしたから。　過去と未来は幻想であるということは、結果的にあの頃の自分が今の自分になってしまったとしても、ほとんどの人はそれに対処することができます。実際には「今ここ」しかないので、「今ここ」には「あなた」しかいないのです。いつも考えずに放置しているのは、私たちはコンピュータの思考、私たちはシミュレーションだ！ということです。　これが私の自由だと言うのならば、これはあなたの自由のない思考のシミュレーションですね
そのEGO-ICHは決して、決して解散することを望んでいないだろう - それは決してここに書かれているこれらの行に同意することを望んでいないだろう！そのEGO-ICHは、決して解散することを望んでいない。

最大の敵は私たちの中にあり、敵はこの衝動思考、このシミュレーションであり、あなたが衝動制御のためにマインドフルネスを実践し、自分自身に問いかけるときだけ、マインドフルネスのマインドフルネスを通して、あなたはそれが鎖の中にあることを、証拠を見つけ始める - 。あなたは自分で嘘をついているので、あなた自身の裁判官になる必要があります...これは簡単な行為ではありません、私はすべてのあまりにもよくこれを理解しています。
しかし、これは自己認識への道であり、それは覚醒や悟りへの道であり、あなたが何と呼ぼうと、それは自由へとつながる - それは精神的な束縛が突然溶解し始めるので...

衝動制御の喪失
依存症の例は、ジャンキーが長期的に行動を変えて自滅するのをやめるように説得するのは、現代の心理学ではいまだに困難を極めているものです。　中毒者は非常によくタバコやヘロイン、他のオピオイドの消費が自分の健康に有害であることを理解している、彼らは停止したいが、彼らはほとんど今まで成功したことがない、なぜですか？
彼らに欠けている決定的なものは、明らかに自由意志です。不足しているのは、MEがなぜそれが何をするのかを理解したときにのみ来る意志の力である - 実際には非常に単純で、まだそこにある最も困難なものは、中毒を打ち負かすことです。そのため、向精神薬会社は代替品を探しており、これらは多くの場合、依存症を合法的な中毒性物質に置き換えるようにしています。
他にも解決策はありますが、どれも自由意志の開発から始まるものではありません。もしかしたら

政治的な理由で、自分の脳みそすら操作できない民族が羊であることをやめてしまうからかもしれない--その時、どんな社会になるかは誰にもわからない......！？
いずれにしても、このような（デジタル）中毒薬で科学的な突破口が開かれ、私たちが知っているような21世紀の世界は劇的に変化するだろう。
自由で自由な社会を愛するすべての人のために、それはその後、永久的な非常事態の状態になります - コロナのパンデミックをロックダウン - 私たちは、アリのコロニーに匹敵する集団的な意志を得るでしょう - 権力の中心地のための夢! ハラリは、この革命は、一人一人のヒューマニズム、自由意志、信仰を揺さぶるものだと書いています

とにかく永久的なMEは存在しない、10年前、20年前、40年前の私のMEは今と同じではないので、永久的なMEが存在する以上、個人はおそらく存在しないのではないでしょうか。　文化の進化はまた、これらの不確実な変化に服従しなければならないことは、世界の歴史によって証明されている - これは、デュッセルドルフからネアンデルタール人は20万年前だけでなく、ローマ2の皇帝アウレリウスにも適用されます。　200年前、ドイツではヒトラーによって、80年前、帝国日本では-詩人や思想家の国は、まとめて裁判官や処刑人の国になりました。なぜなら、権力の中枢、メディア、私たちに価値観を与える文化や伝統の深い教化にもかかわらず、地域の時代錯誤、社会の大衆の魂さえも、不確実に変化しているからです。
そこにはEGO-ICH、私たちを制御する2つのアルゴリズムがありますが、それさえも変化し、彼らはしばしば私たちの意識的な介入なしに、私たちの合理的な、合理的な決定なしに変化します - そうでなければ、私は世界の多くのことを説明することができませんでした。例えば、娘が理由もなく私を家から追い出した理由を自分自身に説明することができません；これは、彼女が幼少期のある時点でトラウマになっていたこと、彼女のシミュレーションの中で私への侮辱と愛の感情を調和させることができないこと、上記のことを考慮に入れれば、理解され、したがって許されることができます。
または、あなたが私によって選択に直面したときに、その2つの双子は、：どちらかのお父さんやiPhoneが、両方ではなく、私たちは一緒に質の高い時間を過ごすことはありません - あなたはお父さんを選択しませんでした...これは、彼女がそうすることを強制する中毒性のある行動（デジタルヘロイン）です

脳の研究者は何年も前から警告しているので、iPhoneは18歳から23歳までの間に、脳が完全に発達しているときだけ若者に与えるべきだと確信しているのです

結論：私たちは皆、自由意志を持っていません。もし持っているとしたら、それは罰を与えると脅されたり、報酬に誘われたりしているからであり、それは自由意志ではありません。

賢い猿からバカな男へ。私たちは皆、教育を受けていますが、知的ではありません - 賢く考え、愚かな行動をしています。私たちは直感で行動します。なぜ人は嘘をつき、自分と彼女が真実を語ると信じてしまうのか。
ホモ・サピエンス（合理的）は一貫性のある合理的な存在とは程遠いとモジモジは書いています。私たちは、彼らが自分自身にさえ有害であることを自分自身のために知っていることを行う、私たちはこの認知的歪み/ディソナンスと曖昧さ耐性行動を呼び出し、私たちはマシュマロの人々は、心理学の科学2018（29/7：1159-1177）を書いています。
遺伝的、記憶的(エピジェネティックとはマップのこと。知識は遺伝子に移せる!)　無意識から意識への結果は、人格、記憶、経験、学習能力、問題解決パス（抽象化）と直系の子孫との遺伝的交換（継承）の要約であり、conspecifics、性的パートナーに、後で彼の深く教化された私と - 無限のセルフトークで私たちを捕虜に保持し、私たちにすべてのアンフリーウィル、アンフリー思考を与え、これらのアルゴリズム（ソフトウェア）は、自然および/または文化の法則のいずれかによって作られています。
しかし、私は私の脳のPCによって制御されていることを意識するようになったとき、私はそれに反抗し、それらを無力化し、それは自由意志と呼ばれるソフトウェアであり、自由思考に基づく自由な選択であるが、そのための神経回路網が最初に構築されなければならない、博士バッハは書いています。　脳はただの機械であって、それ自体は自意識ではなく、プログラムを書いたり、ネットワークを書いたり、自意識をシミュレートした地図を書いたりしているのだ！」と。
ここに哲学が登場し、神経言語プログラミングや、OshoやSadhguruのような他の人生哲学の達人の知恵があります。

しかし、私が若い頃に特に感動し、影響を受けたのは、著者カルロス・カスタネダの「ドン・ファン」と「メスカリート」についての本でした。非の打ちどころのない自由な意志を持った平和な戦

士が、辛抱強く、しかし目的を持って心の道に従うことについて書かれていました。なぜなら、真の上師は教えないし、指示を与えないから、こうしなければならないと指示しない。

私たちの内にある霊-初めには、この言葉がありました。

プロトマトリックスと内なる（声）の声

内なる声、私たちのセルフトーク、自分自身と一緒に生きること、それがEGO-ICH-Softwareの基礎であり、自由意志と自由な思考のためのものなのです！　ここで重要なのは、私たちの精神、私たちのIは、まだ科学によってローカライズされていないということです。私たちはIを物質、原子、分子、肉で覆っていますが、精神は明らかに物質ではありません！私たちはIを物質、原子、分子、肉で覆っています。
白昼夢や白昼夢の中で語りかけるこの内なる声はどこから来るのでしょうか？明らかにそれは言語である - 我々は赤ちゃんのように私たちの両親からのみ学んだこの形式の音や喃語や言語は、それは遺伝的および記憶遺産ではなく、それへの唯一のその処分は、私たちの脳に固定されています。私はそれが最初に思考のための言葉を発明した思考であり、それが人々がミームスピリッツを発明したか、おそらく発見したという事実を生み出したのではないかと疑っています；古い質問：ラジオの中にオーケストラがあるのか、それともラジオ局からの波動周波数をラジオが受信しているのか、ということです。

他の生物の動物語は複雑だが、平均的な人間は5000語を知っており、私が知る限りでは動物界で最も複雑な言語である。　5000語もあるプロラッフェン（プロレテン）にとっては、語彙が少なすぎてこのミーム本を理解することができません。

チンパンジーが人間の子供から複雑な言語を学ぶことを期待して、幼児とチンパンジーを一緒に育てる実験が行われています。チンパンジーが人間の子供から言葉を学ぶのではなく、その逆であることが明らかになったため、実験は中止されました
言語とは、動物界で音やフェロモン（アリやハチなどの昆虫では嗅覚コミュニケーション）などを介して見られる言語コミュニケーションやプロトランゲージよりもはるかに多くのことを指します。　動物は電話をかけてきますが、私たちはいつも視界と範囲内でしか話したり、ささやいたりしません。霊長類や他の動物は求愛、認識、警告のコールを持っています、彼らは命令し、従う、通信することを学びますが、彼らは言語で教えていない、私たちのようなものではありません。知識と経験を教えるために、この能力は、塗装された文化に向けたもう一つの重要なステップだった。
それは、この能力が約50万年前に再構築された喉頭と大脳の生物学的発達であり、ここでもそれは人間が話すことができることを一夜にして起こったわけではありませんでした　物語の絵画、洞窟の壁に描かれた思考、音楽とダンス、形而上学的思考（神秘主義）、抽象的で象徴的な思考能力、描かれた音の中の言語（文字）は、最初の文化的成果であり、人類学では、霊長類から類人猿へ、そして後の現代人への最後のステップと考えられています。
言葉が全てではありません。

言葉がなければ-複雑で合理的な思考はない! ホモ・サピエンスといえば、これは自動的に複雑な思考を持っていて、個々の感情の世界にアクセスしていたことを意味しています - 頭の中に射すすべてのもの - そして、彼らは認知的かつ抽象的に考えなければならない理性の世界を持っていたのです! そして、それは最低でも5001語でしかできません......!
つまり、「私」は言葉が思考になるだけのものなのです。　言えないことから言えることへ、言えないことからできることへ!
初期の人間では、この内なる声は、魔法のような、神のような、不可解なものとして認識されていたと推測できます...誰が話しているのか、神なのか、私の祖先なのか？誰もが1つのMEしか持っていない、神経生物学者や心理学者は、私たちの中に少なくとも10-ICHSを見つけ、そのすべてが脳の中で独自の接続やバージョンを持っています！私たちの中には誰もが持っていません。
最初のサイケデリック・シャーマンにとっては、自然の神々、母なる大地やガイアとのつながりを求めていくことになりそうです。この疑惑の精神-意識-は、全人的で生命を与える生物としての惑星地球の。
そのうちの一つ、アマゾンのシャーマンについての講義はテレンスが担当しています。　テレンス・マッケンナ氏の講演では、ジュリアン・ジェームズの理論を紹介しています。"誰かが危険な状況に陥ったとき、猿のホモ・サピエンスは彼の神秘的な内なる声に耳を傾けた。ここから出て行け！"　この原始人たちは、それを幽霊、警告する神だと思っていた。　やがて彼らはこの能力をEGO-Iに同化させ、「いや、それは神ではなく私だ」と伝えたのです。それとも
"神は私と共にある"

これは、環境、山、雷＆稲妻、太陽などに神が宿るだけでなく、自分の頭の中、自分の体の中にも神が宿るという考えで、人間が始めた神秘主義の原点です。　神秘主義は今、この時代の精神から生まれた、前アニミズムの時代のエポックから、EGO-ICHの動物が猿を去った時代のうちに...

ところで、オーストラリアのアボリジニーやアマゾンのヤノマミなど、今日の先住民族でも、睡眠中の夢の世界と昼間の世界の区別はなく、夢の中に現れる亡くなった親族は、このように実際にこれらの人々のために表示されますので、過去の破局や幸せな出来事が復活しています！このように、夢の中に表示された親族は、これらの人々のために、実際に表示されます。

ここには、過去と未来の「時間」の起源、人間の意識の中での自分の死の起源もあります。

死が起こったときに失うことを恐れるものは、思考が「私」として、「形」として、「名前」として、そして「FORM」と「この名前」への執着心として構築してきた構造である。

思想家が自己、私を理解するとき、すべての誤解は解決されます。

言葉に囚われた心、言葉に囚われた心は、自由にはなれない。

ジドゥ・クリシュナムルティより

"観察者 "は "観察された者 "です。考える人は考える人である。"

カール・ユング

…赤い糸…

結論と貸借対照表。
人類の始まり、文化の進化について、私たちは何を確信を持って書くことができますか？

- ➢土地の所有権は動物界から来ており、ほとんどの動物は自分たちの縄張りを守ったり守ったりしています。
- ➢権力への意志の攻撃性は動物界から来ている。 暴力は依存症であり、トラウマを持った人をサイコパスに変えてしまう。
- ➢人間の階級社会は動物の王国から来て、グループ内の一定の戦い、ヒエラルキーがあります。
- ➢子孫へのヒエラルキーの継承については、ロバート・サポルスキー氏によると、私はメスのヒヒヒとボノボのチンパンジーしか知りません。 そうでなければ、グループは決闘で勝利したアルファアニマルを受け入れる。 だから人間の文化と同じように
- ➢動物界からの行動文化である文化進化なんですね。 人間の複雑な言語は、私たちを文化とGGGのパワーセンターへと導いた。
- ➢人間の脳はコンピュータであり、2つのアルゴリズムは実行しなければならないそのプログラムであり、自由意志がありますが、それが生まれたのはギリシャ・ヘレニズムの中だけです。
- ➢脳は実利主義的な器官であり、自分がしたことや他人にミラーリングしたことが、自分の神経回路網を変化させるのです。

メンフロウ
…

チャプターサブディレクトリ。

- o発話と思考のコミュニケーション
- o神秘主義の文化的進化

神秘主義と
コミュニケーションが生まれました

精神と内なる声は、再び自分自身から平和を見つけることはありませんでした、新しい思考が流れ込んで、離れてさまよって、自分自身との一定の話を開発しました。私たちはそれを...

自由のない思考。

神経心理学者は、子供が5歳の若いときに、その人格の約50％が形成されていることを言う、それがしっかりと文化的な深い教化によって確立されている思春期の後に、その後、行動療法士の経験は、それが治療で人間の子供の意見を変更するのは簡単ですが、大人の行動を変更するのはほとんど不可能であるということです - 。
自由意志はない

もう一つ、私たちが理解する上で重要な現象が、他の人との音声コミュニケーションです。"リリーに何か言いたいことや聞きたいことがあったら 今日は何曜日？" これは単純な質問ですか - 回答通信、誤解はありません、曜日は紛れもない事実です。　しかし、あなたが本当に私を愛していないと感じた時、あなたの愛の言葉は何のアクションも矛盾も見せず、次のようになります。"リリー......あなたは話すだけで、私を愛していない！"　今、具体的に何が起きているのか？内なる感情が内なる声として私に語りかけてきます。認知的に考えずに口に出してしまう。喉頭と舌の力を借りて、シンタックスを音に変え、部屋の中で空気の振動を作ってくれます。中空を旅して耳に届く。振動は耳から脳に電気的に送信され、彼らは感情や思考にホルモンと化学的に変換される可能性が最も高いところで、そのようなあなたの中で発生する："なぜあなたは、私はあなたからこれを聞くとき、それは私が私を傷つける、そのパパを私に言っている"。　あなたのコンピューターは、私の構文と2つのアルゴリズムを比較したか、解釈したかしています。　あなたからの反応があり、それはあなたの個々のアルゴリズムに基づいて分析されました　それだけではありません。あなたが私の話を聞いている間、あなたの目は、あなたのコンピューターが私の仕草、表情、音程を分析して、あなたの答えはこれらすべてに基づいていたのです！そうなんですよね？　あなたのMEが私に認められ、受け入れられ、大切にされていると感じてくれれば、それが共感につながるのではないでしょうか。私のことで気分を害したり、気分を害したりしていたら、お父様への反感を買うことになってしまいますよね。
私がとても重要だと思うこと：私たちは1対1で選択した言葉で話すことはありません - つまり、私の言葉は常に、常に、あなたがそれらが真実であると信じているようにあなたによって解釈され、私が意味するようにではなく、それらを言って、それらを考えていました
言語の発明は莫大な紛争や誤解を招き、研究者の中には、言語がこれほどまでに発達したのは、私たちにとって重要な生存戦略であったからに他ならないと考える人もいます。"私の食べ物を奪ったのか？"彡(ﾟ)(ﾟ)「......私？ "いいえ、私は..."

以前に比べて、言葉の効きが良くなったのは嘘だった。私たちは世界に嘘をつき、さらに悪いことに、私たちは毎日自分自身に嘘をついていました。

しかし、時間とともに、多くの時間言語は、月に飛んでインターネットを構築した文明をもたらし、中世に印刷機を発明した時のグーテンベルクの絵に描いたような音よりもさらに強力なミーム言語を生み出しました。言語は何よりも情報であり、情報は宇宙のすべての基礎なのです。
しかし、言語、したがって言葉はさらに多くのことを行う、彼らは仮想世界を作る　-　マトリックス。情報のない社会は不可能ですが、言語のない社会は私たちに来るだろう、私は、人間がインターネットに直接接続するとき、私たちはサイケデリック旅行のように通信することを予見しています：言語なしでテレパシー的に、直接の知識、直接のコミュニケーション、すなわちテレパシーは、他の人の思考を読んでいないが、他の人が何を意味するかを見ている - アイデア、比喩が目に見えるようになり、言葉で説明する必要はありません！私は、それを見ています。
ミームの霊が我々の世界にさらに効果的に拡散するか、あるいは優れたミームウイルスが常に行ってきたように人々の霊に感染し、その時だけ文明が劇的に変化するだろう。シリコンバレーの優秀な研究者たちがすでに研究しています。その可能性は原子力発電のようなもので、良いことをすることができますが、私たち全員を奴隷にすることもできます。

アイデア＆言葉はいつでも目に見えて世界を変えることができます。

だから、そして今、誰にとっても本当に明確ではないもう一つの重要なこと：あなたが思っているシミュレートされた人は、あなたのためだけに存在し、自己（私）は、どのような人-あなた/私-が明確ではありません。
それは、あなたがあなたの関係を持っている人と会う他のすべての人が、あなたの頭の中で、あなたの人についての彼自身のシミュレートされたバージョンを作成することを意味します。
お母さん、お父さん、兄弟、友達、近所の人など、あなたは同じ人間ではありません。何千もの模擬版があるのよ あなたの人の頭の中ではね A あなたは、これらのバージョンのそれぞれの中に、他の人の中に、頭の中に、あるいはPCソフトの中に存在しています。

言い換えれば、あなたはすべての人が
見られていると思っているのと同じように

それはコミュニケーションにおいても同じであった：私の言葉があなたに届くことはありません1to1...ここに書かれている私の言葉もまた、この本の中で書かれています-これは、なぜ彼らは私を理解してくれないのかと自問するすべての人に明らかであるべきです。！
彼らはこの複雑さを理解することは非常に簡単になりますので、意味のある対人コミュニケーションで、ヴェラF.ビルケンビエールによる本は、数十年のために周りにあった;　私がお勧めする本の一つは、次のとおりです：精神論理的な正しい交渉。
独り言の芸術は同様に有益である：なぜ私はそれを言ったのか、またはなぜ私はそれを全くしないのか、そこに神経言語学のほかに、神経倫理学は最新のものです。

私たちはすべて、これらの精神的な出会いを持っており、私たちのほとんどすべては、これがそうである理由を理解していない - ここに答えがあった、Jidduとユングは一歩深く行く...

心理言語学 - 言語能力

複雑な言語発達の原点-マトリックス

思考者は思考であり、思考は生きた言語である!

霊長類の世界から動物の原始的な言語（言語の根源）から開発されたすべての人間のコミュニティ（言語の進化） - 言語の生得的な理解 - 他の動物種（クジラ、鳥、霊長類）にある独自の地域的、部族的な弁証法、また、集団的に適応されています。　言語は、複雑な思考パターンを可能にし、感覚的な知覚を整理し、個々のものを作る言語であるため、私たちの脳は複雑な質問をするようになります。世の中、嘘をつくのが楽になる
今日まで新しい思考パターンが何度も何度も約束されているので、それは最初に、その語彙の中で自動的により複雑にならなければならなかった　-　言語と思考は、お互いに条件付きであり、したがって、また、その能力のために、嘘をつくために、狡猾さと陰謀に、材料と精神的な発明に、そして上記のすべての暴力（侮辱）を使用するために、唯一のミームによって！それは最初に、その語彙の中で自動的に複雑にならなければならなかった。

どのような形態の動物文化においても、内なる声とグループ内のメンバーとの間で言語的なコミュニケーションが必要とされる。人間はイミテーション猿なので、小さな子供が複雑な言語を覚え、周囲の世界を把握し、EGO-Iを相手に伝えることは難しくありません。　最初に話された言葉が何だったのかは理解できませんが、もしかしたら、Yes & No, Mom, それとも、話した嘘だったのかもしれません。
音やコールなどが複雑なミーム言語に発展したことで、複雑な思考パターンの基礎ができ、文化の進化の始まり、つまり芸術、文字、数学、文明へとつながっていったのです!

…赤い糸…

結語・貸借対照表

脳内の2つのアルゴリズムについて、確実に書けることは？

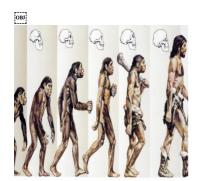
1 言語は宇宙意識と自己意識の産物である。 あなたについてのバージョンは一つもなく、誰もがあなたを違う目で見ています。 言葉は、私たちを他の人とは違う存在にしてくれるものなのです 言語がなければ複雑な思考もないので、科学も技術も精神性もありません。

2 私たちは皆、何かにはまっていて、それはそのままですが、私たちが変えることができるのは、それを楽しむだけで、それを消費しないことです。男は、彼/彼女がさらされているストレスから逃れるためにハイになるのが大好きです。 白昼夢を見たり、松果体の（体の）トリプタミンを介して松果体のDMT-トリップ、アルカロイドは、霊性へのゲートウェイであり、おそらく地球外生命体、ミームの霊や他の超常現象へのゲートウェイです。

3 私たちは自分の五感で客観的な現実を知覚することはできません。 そのためには、J.クリシュナムルティやT.マッケンナのような独自の哲学やソフトウェアが必要です。私たちは神経学的なシミュレーション（マトリックス）の中に住んでいるので、自分自身を客観的に知覚することができません。そして、2つの生物化学的アルゴリズムと暗黙のアルゴリズムによって制御されている--自由な選択と自由な意志と自由な思考はない。後者は、ガボール・マテ博士やブルース・リプトン博士などが心理療法を教えるように、行動療法やスキーマ療法で認識し、変化させることができます。

4 しかし、これはまた、今日では大衆心理学がはるかに効率的であることを意味し、深い教化と世界の人口に対して精神戦争を戦うために - 目覚めた個人と権力中枢との間の軍拡競争が始まる。

5 人間は自分たちの精神的な鎖（アルダス・ハクスリー）を愛し、パワーエリートが私たちの動物的な気質に合わせて独裁を行使することを許している。なぜ他の人の苦しみを望むのか？なぜなら、私たち自身が不幸だからです 理解の裏に行動がないのであれば、理解がなかったのであれば、あなたの中の脳の神経回路に変化がなかったことになります。

Check YouTube: Memegeister Wissensbank

私はどこにいるのか 第三章

チャプターサブディレクトリ。

動物は別の動物になる

人間は彼の中にもっと多くの猿を持っていて、彼らは認めようとしています。私たちは、非常に多くの感情や感情を持って、すでに約200.000年前から、非常に社会的でコミュニケーションのとれた存在であるZoon politikomです。
私たち人間は、家族やグループが一緒にいて、一緒に保持されている場合は、常に私たちの歴史の中で最高の生存の可能性を持っていました　そうして私たちの脳は、社会性、共同体、ひいては社会との関係において、ますます複雑な脳へと発展していったのです。
誰が食べ物を見つける最高の水の場所を知っている人は、グループは誰と誰と誰が仲間、従うべきである - "あなたはすでに聞いたことがある......?
これらは、グループ内での生存の成功に貢献するために必要なすべての情報/meemsです。地域/家族を犠牲にして騙したり、騙したり、盗んだりするのが得意な脳みそはどっち？　これを認識し、それに対する答えを見つけるために、今日の現代まで、共同体に住んでいるほとんどの哺乳類のように、私たちを占有しています　成功は明らかに私たちとチンパンジーの間にあり、まだ私たちは公正なグループの基準を探しているときに私たちのアルファ動物のトランプ、メルケル、プーチン＆Coと深刻な問題を抱えています。ガンジー、マンデラ、ショール、イエスは少数派に過ぎず、自然淘汰は常に我々の中で最も高貴な者を好むとは限らないのです。嘘、裏切り、欺瞞は私達の同族の祖先の一部であるためには、今まで以上に持つことがEGO-ICHの一部であるのと同じように。自信は、計画的な攻撃性のように、人間にしかない行動ではありません。他の霊長類は「他者」に自分を入れることができる--共感。だから私たちは、退屈な仕事や他の生き物の搾取や奴隷化のように、私たちが楽しんでいないことを行い、私たちは将来にある報酬を期待するために物事を行う、おそらく決して起こらないだろう - 私たちは自分自身に希望を与える。

これは私たちをモンスターにすることができます - しかし、天使にもなります

なぜ私たちがモンスター＆天使であるかは、もちろんここで生物学の進化と説明することができます。なぜ石器時代にピラミッドを作ることができたのかは、生物学的にも文化的にもミームの進化では説明できない。　この時代のすべての神話は、「上」から来た訪問者によって書かれたものであることは否定できません。宇宙での戦争の話や、神と呼ばれる訪問者の話もあります。　これらの質問は、多くの本で文書化されており、エーリッヒ・フォン・デーニッケンは印象的な貢献をしています - 私はあなたが次のビデオを見ることをお勧めします。
猿の文化
現代人の起源についての物語は、ありのままの姿であったかもしれないが、それを完全に証明することはできないだろう。誰が最初に制御された火をつけたのか、意味のある文章を発したのか、誰が最初に直立して歩いたのか、誰が石器を作ったのか、誰が最初に衣を着たのか、誰が最初に食事を作ったのか、誰が最初に目に見えない神を崇拝したのかを証明することはできないだろう!
踊って音楽を作ったのは誰が最初ですか？　最初に貝や真珠やコインを手に取り、戦利品と引き換えにそれを差し出し、価値あるものと引き換えにそれを受け入れる素朴な人が最初の村の名前は何だったのでしょうか？永遠の忠誠を誓い合った恋人たちのペアとは？物品や称号の相続を発明したのは誰か？
誰が最初に「私の妻、私の金、私の土地」と言い、他の人たちはそれを受け入れて服従したのでしょうか。他の人はどうなんだろう？　"私だけのものは何も言えないし、私のものは何も言えない！" 集団抗争があったのか 部族間の争い？
誰が最初に集団に服従と服従を要求したのか。貢物や税金を要求したのは、力や狡猾さや裏切りによって、友人や敵に？

タイムマシンなしでは不可能！

また、文化的にも成功する方法はありません。
個人の進化
その最初の種であるイデオロギーを見つけるために
発明されたものであり、それゆえに歓迎されるべきものである。
共産主義の最後の砦として

さようなら
すべての新しいものは、非常によく似たものから生まれますが、これが進化的、文化的な変遷であることは、一見してわかりません
人間は抽象的な知性を持つ社会的な群れの動物であるため、一度電話とその後、何百万人もの人々とのグローバルなネットワークが来るだろう拍手の音との通信からそのことは、唯一の理解です。
石器時代の人々がどのように日常生活を過ごしていたのかは謎であるが、1万年後にはインターネット上で誰が自分の生活を明らかにしたのかを再構築することは問題ないだろう。エビデンス、証拠、化石、遺伝などをパズルにしています。古生代学者、動物学者、人類学者、考古学者、古生物学者など、普遍的な学者たちは非常に勉強になります。
文化の始まりを立証するとすれば、チンパンジーからホモ属が分離した700～600万年ではなくアフリカの生態系災害のタイミング　300万年前の気候は、乾燥して暖かくなり、熱帯雨林-かつての生息地-は、乾燥したサバンナと砂漠によって大部分が置き換えられました。　これがきっかけで食生活が変わり、雑食になり、淘汰されて多様な食べ物に適応し始めた突然変異脳になったのです。
約100万年前、現代人、ホモ・サピエンスというホモ科の人間が発生し、まだアフリカのサバンナに住んでいて、20万年ほど前に次の気候変動があって、どんどん移住を余儀なくされました。　若いホモ・サピエンスがアフリカを歩き回ったとき、彼はすでに霊的な巨人の肩に立っていました。
彼の祖先はすでに100万年前に火を使う方法を知っていました、身を包み、天候から身を守るために、彼らは肉を焼いてそれを長く保つために、彼らは光と熱の源として、そして他の捕食者に対する武器として火を使っていました。火は最初の良い発明で、その後、石の刃と道具や武器としての槍が来ました。
知性と技術で石から打たれた最古の石器の起源は
300万年の歳月。 ヨーロッパで最も古い石槍はヘルムシュテット近郊にあるシェニンガーの槍で、30万年前のもので、ホモ・ハイデルベルゲンシス（Homo heidelbergensis）のものと言われています。　このネアンデルタール人の祖先は、ホモ・エレクトゥスとともにヨーロッパの大部分を定住させた。20メートル離れた場所から大物を殺すことができる芸術的な投射物を作り出すことができたのは、知的な考え方を持っている証拠です。

シャーウッド・ウォッシュバーン、ラルフ・ホロウェイ、クリフォード・ジョリー、オーウェン・ラブジョイなどの進化論者や古生物学者は、現在の最初の人類が少なくとも13万年前にアフリカに住んでいたことに同意しています。
他の研究者は他のホモ類で我々の認知装置を発見していますが、ホモ・ヘルメイは40万年前に最初のストーンポイントを作りました。

物々交換貿易がより重要になったのは、人間が時間と才能と努力を必要とする何かを生産する能力を持っていたときだけでなく、誰かからそれを手に入れたいという欲求を喚起し、それに伴って文化的資産としての工芸品や技術が登場したからです。
石刃の発明（約80年前。　石英、花崗岩、玄武岩のような岩は、ナイフの刃や槍のための岩よりも硬い道具でしか切り取ることができなかったので、石の刃の発明（約8万年前）には、手作業の技術と技術的な知識が必要でした;　彼の本の中でユルゲン・カウベは書いています。すべてのものの始まりは、刃のアイデアは歯の原理から、ハンマーの発明は握りこぶしから、臼はビットから、スプーンは中空の手から、プラウは枝の引っかきから、しかし、車輪は、360度回転する構造物で、それ自体の回転と地面に触れたときの転がり方向の2つの自由度を持つように取り付けられています。
これらの直感的なアイデア、インスピレーションの閃きは自然界にはモデルがなく、この刺激は人間の知性から生まれたもので、ナイフから槍、弓、剣、原子爆弾に至るまで、おそらく他のすべての発明のように、それは一歩一歩、今から今に至るまでではなく、一歩一歩進んでいきました - 私たちは考えるための自由な時間を必要とし、個々の職人に特化するために、動物としての私たちが持っていなかった時間を必要としました。
イスラエルのゴラン高原にある金星の女性のような最初の宝飾品や人物は約25,000年前のもので、スワビアのアルプにある金星の人物は35,000年前のもので、目に見えて刻まれた膣があり、おそらく母なる大地、豊穣の女神であり、霊界の最初の神の一人であると思われます。　最初の装飾品は8万年前にさかのぼります。
洞窟の壁画は5大陸すべてで発見され、数週間の作業を必要とし、計画的で、少なくとも45,000年の年齢を持っています。南アフリカのブロンボス洞窟での発見は90.000年前にジュエリーを持ってきた
カタツムリの貝殻）や黄土石で色を抽出しています。スマトラ島では、240以上の異なる洞窟で4

万年から5万年前の人間の文化遺物の証拠が発見されています。フランス南部のラスコー洞窟に鳥の頭の人（石像）、ドイツのホーエンシュタイン洞窟にあるライオンの頭の人（石像）は4万年以上前のものです。

￼

メモフローが複雑化している ...

人間はすでにこれらの作品で、これらの芸術作品で遊び始めています。なぜならば、物語性のある絵画、メタフィジカルな思考、宗教的な信仰パターン、抽象的で象徴的な文化的成果を達成する能力は、人類学者によって、今日の人間のありのままの現代人への最後の一歩とみなされているからです。
なぜ人間は、野生動物から身を守るために、自然に発生する火を熱源として、夜の活動時間を長くして、肉片を長持ちさせ、食べられるようにしたのでしょうか？

石器時代-石や木で作られた武器や道具

パプアニューギニアのこの写真が示すように、先住民族は今でも少なくとも20万年前と同じように、狩猟採集民の小さなグループで生活しています。
そこで私たちは、人間の文化はここから始まったという、紛れもなく私たちを証明する事実を探し続けています。ここには、他の霊長類にはできなかった複雑な道具作りがあり、ここには絵画や宝石などの芸術的な技術があります。
ホモ・ヘルメイは25万年前にすでに石を扱う認知能力を開発しており、最初のストーンポイントやウェッジは30万年から40万年前にまでさかのぼり、現代人が作ったものではありません。

ゴラン高原（イスラエルの占領下パレスチナ）にある2万5千年前のヴィーナスの女性（芸術的な石像）、ドイツのスワビア・アルブにあるヴィーナスの「女神」は3万5千年前、ホーレンシュタイン・シュタデル洞窟にある象牙で彫られたライオンの男は約4万年前のものなど、豊饒教団の最初で最古の工芸品を見つけることができます。 最初の装飾品は8万年前のものであっても、4万5千年前の時代から全大陸にある洞窟の絵や絵画です。最初の陶磁器は1万2000年前のものです。中国の嘉湖にある骨笛や器のお墓グッズの第一号は9000年前のものです。パンを焼くための大麦が家畜化されたのは11,000年前のことで、ここではすでに文明化されています。
これらの発見は、文明の最初の兆候である旧石器時代（5～8万年）に見られます。グローバル化の第一波が完成した当時、人類はすでに世界中に広がっており、ヨーロッパだけでも推定4万人が暮らしていた。

原初の文化
約14,000年前の新石器時代には、人間は意識的に環境をコントロールし、支配するようになり、その結果、自分の運命を自分の手に委ねるようになりました。　余った食料を提供してくれた場所に集団が短期間定住した場合、この肥沃な場所である肥沃な場所は人間の狩猟採集の助けを借りて残っているのは時間の問題である。

人類学者は、これらの最初の
グループは社会的なグループのコミュニティでした。全
同じグループが物々交換をしたことがない
があった。
みんなが地域に貢献してくれました。

民衆は常に一族で協力してきた、これは現代の原始民族にも言えることです。
気候変動によって好まれ、文明の発祥地は、トルコとエジプトの間で約12,000年前に発生した - 農業と牛の繁殖はsedentarinessにつながった、農民はそのような鎌＆スペードなどの技術＆ツールを具体的に使用し、人工的に生息地、耕地を作成するための最初の技術者であった;これは肥沃な三日月（メソポタミアと北アフリカ）で起こった。

今では交換され、取引されたが、外国人と
グループです。 これも戦争の前段階となった。
なぜなら、何かを手放しても、その前提でしか手放していないからです。
何よりも大切なものを手に入れるために
はあきらめています - つまり、使用効果を持ちたいのです。
取引をしたい、悪いことがある
ムードは遊びの中にあることが多い!

知的概念は、私たちのPCは、このように最初の二元論的な契約と希少性をシミュレートした作成された、教授フランツ-ホルマンは言う。
その後、職人が来て、それはシステム化された仕事と労働力に来て、したがって、アルファ動物の前と同様に、彼の社会的環境で調整し、支配していた酋長/王の帝国に来た - それはまた、彼の社会的環境で調整し、支配する酋長/王の帝国に来た。

これまでのところ最古の都市は約12,000年前に建国されたギョベクリ・テペ（アナトリア南東部）で、他の中東の都市王国は8,000年から4,000年前のものである。

これはおそらく、地球上の彼の存在の大部分（95%）を決定した遊牧と家畜化された牛の繁殖に狩猟採集文化共同体に、代替の生活として始まった、と彼の本の中でユルゲン・カウベは書いています：Die Anfänge von allem。

狩猟採集集団が一度には取れない植物の餌が余っている場所に到着したというような形での沈降性が想像できた。これが原因でグループが長く滞在し、その場に留まり、進化の優位性を知覚したのではないかと考えられます。
この文化的なステップが一部の人々のために地獄の門を開き、すべての戦争、搾取、不正は農業、財産、貿易、お金から始まり、個人の生活を遊牧民、狩猟採集民の時代よりもはるかに残酷なものにしたという結論に至るでしょう！この文化的なステップは、私たちの生活の中にあるものではありません。

ここには3つの権力の中心があり、それらは動物の王国から設立されました。そう、信仰もまた複雑な言語、ミームの世界から出てきたのです。
生物学者のリチャード・ドーキンスは、その著書『盲目の時計師と創造の嘘』の中でこう述べています。ここで注目は、権力とお金の利益を持っている機関の宗教に向けられている、死と誕生についてのアニミズム的な信念は、2つの異なるテーゼです。一人はお金を稼ぎたい、もう一人は自分（ME）と世界を説明しようとする。　今でも多くの学者が論じていますが、自分で決めた方がいいですよ。これについては、次の章で詳しく触れていきたいと思います。

始まりには火が、終わりにはごちそうが。
料理は、ユルゲン・カウベが書いているように、狩猟や掃き集めを、より長い時間をかけて、より耐久性のある（保存）ものにした。 それは食べ物を解毒し、細菌を殺した。
つまり、料理があれば、食用になるものが少ない世界では、食料の供給量が多くなったのです。
私はアマゾンに住んでいたことがあるのですが、周りが緑に囲まれていただけに、植物の食べ物は意外と少なく、あったとしてもそれは以前の先住民族が食べていた植物が生い茂っていただけでした。 動物を探すのはとにかく問題です...。そこの少年たちがいなかったら、私は天国で餓死していただろう！

そして、料理をするためには、常に火をコントロールできる能力が必要です。　 それは、何日もくすぶる火の粉のようなもので、Ötziさんも持っていました。
考古学者は、ホモ・エレクタスと同じくらい早くから暖炉の証拠を発見しており、この場所は190万年前のものだとカウベは著書の中で書いている。　 ホモ・サピエンスの発見は、約100万年後になってからです。　　人が料理をする場所は自分たちの家でした。その結果、短期的なセダンタリ

ティ--村--が発生した。これらの丸い村のすぐ近くで、また、洞窟やグロットに埋もれていた。
紀元前9,000年頃から暖炉は家の中に移され、この頃には土鍋や臼、ランマーなども出土しています。

人は口先だけでは生きられなくなった!

これは、人間が亡くなったグループのメンバーを、いつも身近な地球に埋めるようになった時期でもあります。　これらの埋葬地は最初の礼拝場所であり、墓地（塚）や最初の神殿や教会はすぐそこに建設されました。　最も古いものはパレスチナのヨルダン渓谷で発見されたもので、遊牧民の狩猟採集社会のセデンタリズムの発祥の地であった可能性があります。

火花が2種類の石で打てることを知った彼や彼女はどのようにして、それが火薬の菌の上に落ちたときに火を起こし、その後何日もくすぶっていたのでしょうか？アフリカ以外のヨーロッパで制御された火を発明したというテーゼは理にかなっている。-ヨーロッパのネアンデルタール人は火を使って料理をしていたことがわかった。
ホモ・サピエンス・サピエンスとホモ・サピエンス・ネアンデルタリスの両種の化石の発見は、生肉は歯がないと食べられないので、彼らが死ぬまでの長い間、老齢期に歯のない生活をしていたことを証明し、調理の理論を示唆しています。　彼らの骨から、我々は厳しい人生を読み取る。栄養失調、感染症、病気、歯の問題。これにサーベルトゥーステッドキャット、クマ、ヘビなどの敵対的な環境が加わります。
しかし、私たちはこのすべてのことに確実に答えることはできないでしょう!
ヨルダン渓谷では、最初の恒久的な住居である食料品店が建設されましたが、私の知る限りでは、これらの店は穀物のためのものであり、それゆえに農民の農耕社会の始まりでした。墓用品としてのすり鉢、土鍋、杵、杵つき、スプーンなどの出土品は11,000年前にさかのぼります。 約8万年前の車輪の発明は、自然界では知られていないことだったので、私たちはそれを発明しなければなりませんでしたが、2つの異なる石を使って火を作ったり、ブロンズと鉄を溶かしたり、万能接着剤のバーチピッチを使ったり、これらは非常に革新的なインスピレーションのフラッシュです
その時に起こることも明らかで、一方は他方と一緒にそれを見て、それも欲しがって、どうやってそれをするのかと尋ねます。発明者が何かと引き換えに自分の秘密を話したくなかった場合、それは単に盗まれたり、力ずくで取られたりしただけです - 他の多くの霊長類は今でもそうです。
これが儀式的な埋葬品と解釈できるのであれば、土地や物品、妻や子供の財産所有権、そして死後の生活という考えがあったことになります。これはその後、支配的な社会の発展であり、おそらくキノコからの内因性DMTによるものでもあり、神々や儀式、神の法則が存在する霊界である。最初のビジョンは、世界の起源と自然の法則と共同体の中での秩序の認識について現れました。　彼らは動物の群れの移動、星、月、太陽、海辺の潮汐、季節の移り変わりに規則性があることを認識していました。
これはアニミズム、つまり宇宙は生きている、地球も木も山も...すべてのものが宇宙意識を持って生きている、ということです - ナイーブ？いや、一流の量子科学者たちは、冒頭で述べたような方向性で考えています。 それは正しいのか？

私は、アインシュタインの相対性理論を含め、すべての理論が変化してきたと信じていますし、常に変化していくと信じています、私たちはほとんど何も知らない、思考はどこから来るのか、色の赤の感覚、甘いものの味、宇宙、クォーク、意識？
全ては...仮説であって事実ではない!

アリストテレスは、古代エジプト人がすでに信じていたように、私たちの思考器官は心臓であり、女性の能力は男性よりも劣っていると私たちを納得させました。そして、それは今日も人口の大部分は、この惑星では、まだ確信しているだけでなく、60億人の人間は星/雲の中に住んでいる神を信じている - ルーサー、ダーウィン、マルクス、アインシュタイン、サポルスキーとインターネットの後にも！ それは、今日も人口の大部分は、この惑星では、確信している。
中国の嘉湖では、酒類の最古の痕跡が器や墓の中でおかずとして発見されたほか、骨笛や装飾用の亀の甲羅（楽器として機能していた可能性がある）も発見され、年代は9000年から7600年の間とされています。
ビールとワインの発見は、おそらく最初のアルコール飲料メソポタミア、ゴディンTepke、ウルークと8,000と2,900　B.C.の間にエジプトでパンとビールのための大麦（植物）は、早くも9,000 B.C.、すなわち約11,020年前に家畜化された。しかし、ブドウからワインを作り、蜂蜜から蜂蜜のミードを作るために、発酵させることは、ビールを作るための発酵工程よりもはるかに簡単でした。　アルコールは確かに新石器時代の社会では皆のための薬物であり、その前に、それは排他的

に植物やキノコであったでしょう - 最初の神話では、アルコールの影響下で、神々とのパーティーの話をしているので - 私はここで私たちはすでに文化、文明社会について話すことができると思います。sedentarism、農業、道具、農民、職人などの専門的な職業があったので、また、食料の余剰が何を意味するのか、彼らは食料のための生存のための毎日の闘争に参加する必要がないので、また、彼らの工芸品を専門にした兵士が今あったということでした。占い師、透視師、ヒーラーとしての社会的義務を果たしたシャーマン(神官)の職業と同様に

市民文化をめぐるハンター＆ギャザラー

狩人はその才能に応じて男女ともにいましたし、動物界のように特定の場所に縛られることなく獲物を追いかけていく狩猟は、確かに人間が狩猟＆採集を成功させるためにはマニュアル的なスキルが必要です。しかし、私たちが信じてはいけないのは、この工芸品が完全に人間によって発明されたということです。多くの動物がこの能力を持っていて、いくつかはまだ人間よりもはるかに、はるかに優れています
現代人は、20万年前とそれ以上前に、放浪し、収集し、群れの動物の後に狩りをした - また、新しい牧草地を求めて、移動する必要があります。もし彼と彼女が静止していたら、獲物となる動物は故郷の地域で駆除されていただろうし、採取した植物も同様である。研究者たちは、人間が狩猟場を新たな居住地の発見ツアーとして利用し、それを発見したと推測しています。 1世代あたり約20～100キロ、つまり100年後には半径60～300キロ、1000年後には600～3000キロ！？

これにより、これらの遊牧民は最初の外国人となった。

都市国家への和解
ジャレッド・ダイアモンドは、約12,000年前、ミームのアイデアは、多くの動物種の集団的意志、社会的行動、領土行動から土地の所有権から生まれたと書いています - 一部の人間と動物だけが考えています：土地はすべての人のものか、またはどれもない！と。
多くの霊長類と同様に、人間の動物はハンター＆コレクターとして生活していたが、その後、何か異常なことが起こった、すなわち、それらのいくつかの遊牧民である。人間は風景を歩き回り、羊、ヤギ、牛、オオカミなどの動物を家畜化（飼いならされた＆選択された）しました。これらの動物は常に新しい放牧地を必要としていたので、彼は新しい牧草地を求めて動物たちと一緒に移動しました。土地は今、私、（EGO-ICH）だけで、他の誰にも属していた - 境界線、財産の始まり。
そして、ニーチェ、フロイト、ユングがそれを呼ぶように、暴君、スーパーEGO-ICHが来ました...彼はとてもナルシストになり、彼らは世界を支配したいので、彼らはすべて神のようにそれらを崇拝しなければならないことを、彼はとても選ばれていると考えている（神によって？彼らは神となり、神のように崇拝するようになった--今日の精神医学の基準では、彼らは非常識になってしまったのです。今や都市国家、王国、帝国、バチカンの神の代理、映画スター、多国籍企業のボス、金融業界の銀行家、そしてその他すべての制度宗教の似非シャーマンたちが、その存在となっています。

これがパワーセンターの始まりだ!

その後、彼は大麦のような植物を家畜化し、自分の収穫から豊富な食物の恩恵を見た。彼らの中には農民や商人になった者もいて、定住と耕作の始まりとなった。

植物性食品（豆類など）や薬用植物、中毒性のある植物や菌類（他の動物も探して消費する）の収集家である人間は、何百万年も前から生来備わっているアルゴリズム（行動）に従っているに過ぎない。

私の考えでは、第二の文化的ステップは、おそらく動物の家畜化であっただろう。遺伝学者は、彼らが家畜化されたときに私たちの家庭や農場の動物で証明することができます;オオカミ（約14,000年前）、10,000年前の猫、その後、ペルシャ（レバント）で良い9,000年前に牛、羊、ヤギが来た。野生のオオカミが夜の野営地で肉を焼きながら人々の様子を見ていて、中には珍味で従順になったり、飼いならされたりしている人もいたことが想像できました。そして、彼らの行動は、人間と一緒に住んでいた彼らの子孫に受け継がれ、狩猟でそれらを助け、また、彼らの仲間のオオカミから、捕食者からそれらを保護しました！そして、彼らの行動は、彼らの子孫に渡されました。

土地の所有が必要になったのは、農作物の家畜化・飼育が始まってからです。これらは群れの動物のように移動するのではなく、フィールドで常に注意とケアを必要とし、そのために彼らは豊富に人間に食べ物を与えました。
遺伝学者によると、最初に家畜化された植物は、小麦、キビ、ライ麦、大麻でした。

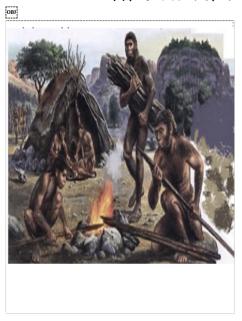
人間同士の最初の戦争は、確かに縄張り争い、食糧資源をめぐる近隣紛争、個々の群れの家族グループ、群れの中での家族の争いだった（個人的には、これ以上悪いことはないと思っている）。パックは人となり、やがて国家となった。

グループの最高の、そして最も有能なグループのための民主的な選挙は、驚くべきことに、今日まで存在しません - 他の動物のグループでさえ、最も無能な人は選ばれないでしょう（！） - 原因は貪欲であり、このための理由は、グループ、集団の深い教化で嘘をついています。　動物は、彼らが本当の資質を持っていない限り、グループ内の支配的な位置を取ることができないだろうから...人間と狡猾さと欺瞞は、しばしば十分な、政治のビジネスです！それでは、あなたはそれを行うことができますか？

これらの旧石器時代の狩猟採集社会がどのように組織されていたかは、古生物学者、古生物学者、考古学者の助けを借りてしか証明することができません。　ゲルマン民族には、長が裁判をする法制度がありましたが、長のグループは満場一致で判決を確認しなければなりませんでした。

ヨーロッパのゲルマン人やケルト人は、旧石器時代の8000年前と5万年前にそこに住んでいた原住民と2～3000年前に混ざり合っていましたが、今では、旧石器時代の8000年前と5万年前に混ざり合っていました。　ネアンデルタール人がまだ私たちと直接隣り合って暮らしていた頃の話です。これらは、後にケルト人の斧の男とゲルマン人の槍の男の祖先となった最初の部族です。 5万年前にはすでに戦争で共同生活をしていたと推測できますが、協力的に生活していたとも考えられます-現在も多くの霊長類がそうであるように。
戦争はチンパンジーも例外ではないので、他の集団が自分たちの国や領土に侵入してくると、拳が飛び交い、というか牙が使われます。
戦争は残酷な狩り以外の何物でもない!
現代人は、神のために、または女性の愛のために、理想的な価値観のために戦争をし始めたとき、それは謎です。　もう一つの謎は、なぜ、いつ、彼らは奴隷制のアイデアを持っていたかということですが、誰も有用な理論を持っていません　-　たぶん最初の奴隷は、戦争の捕虜、または別のグループから追放され、賃金やそのような何かのために、食べ物のために働くために自分自身を提供した個人だった...

詳しくは後ほど......!

石、ブロンズ、アイアンエイジ

家族の一族、グループ、部族

多くの動物種において、我々は共同生活、遺伝的種の親族関係（家族）内のグループ、および外国のグループとのグループを見つける。これに進化的な利点があることは明らかです。
必要な遺伝的多様性と記憶的多様性。
敵や競合他社からの保護。　　生き残りをかけた戦いでは、個人よりも集団全体の方が常に有利です。

そして、これが、ほとんどの動物や植物が共同体の中で生きている理由です。 最大150人の共同生活は、社会の始まりを超えた小集団のコミュニティである。
それは別個の生物となり、もはや猿の王だけでは支配できないし、酋長や薬師、シャーマンのようなアルファ動物でも支配できない。
これには組織化が必要で、複雑な社会構造や分業のためには集団的な組織化が必要で、このマトリックス、バーチャルリアリティがうまく機能するように。　そして、これは一夜にして起きたことではなく、人が増えれば増えるほど、複雑になっていくのですが、このマトリックス-VRで約1万年の経験を経た今でも見ています!

つまり、人間の動物的精神が平和と秩序をもたらすルールを求めている状況なのです。　宇宙やこの惑星の他のシステムと同じように。　星、細胞、多細胞生物、動物、村が分離され、それは内側と外側に作成され、WEとTHEY、それは外の世界、環境から分離されている - 他の人は今、他人になります。
集団の問題は、コミュニティが1000人程度の場合にのみ発生し、個々人へのストレスが飛躍的に増大して発生します。

市民の病気、ニーズ、そして多くの社会的対立!

例えば、約12,000年前に設立されたジェリコという明らかに最古の都市は、7,000年前にはすでに1平方キロメートルあたり30,000人の人口密度を持っており、これは現在のロンドンの6倍もの人口密度を持っていたのです!
考古学とパレオ人類学は、市場、居住区、寺院、パン屋、醸造所、陶器、軍事、行政、支配者の建物があったことを証明する痕跡や調査結果を発見した - 言い換えれば、富める者と貧しい者、教育を受けた者と受けていない者の階級社会であった。
つまり、彼らは熟練した労働者、国家構造、人口を供給するための肥沃な土地のかなりの地形を必要としていたことを意味し、ここで我々はすでに、近隣の人々の貿易関係との長距離貿易があったと仮定することができます。

収穫の果実は自然と他の人々の欲望を呼び起こしたので、テル・バルク（シリア）、エリコ（ヨルダン川沿い）、ウル（6,000～7,000年前）などの最古の都市では、穀物の家が攻撃や略奪を防ぐために要塞で守られていたことがわかります。文化とは、集団的な意志と思考の産物でしかないのか？

必要なのは、少なくとも150～200人の人々が、自分の願い、欲望、必要性を全て持って、コミュニティに世話をされたいと願い、伝統的な道徳規範/法秩序と集団的なカルトコミュニティ（自然と都市の神々）に服従しているグループなのです！それが必要なだけなのです。

結論。

- 元々の文化は協同組合でした。
- 物々交換貿易は、最初に他人との間で発展した。
- 外国の団体との貿易は資本主義のシステムだった。
- 貿易は、集団間の最初の戦争につながっただけでなく、文明の進歩にもつながった。

力の中心

約*24000*年前～*7000*年前の石器時代の新石器革命

革命は、考古学者*Vere Gordan Chidle*がこのエポックを呼んでいるように、したがって、文明の歴史の最初に農民を配置し、ユルゲン・カウベは、人間の歴史の中で第二の重要なエポックを表す都市革命が、続いて書いています。その前に、*260*万年のために、人間は多かれ少なかれ彼らの環境が狩り＆収集するためにそれらを提供したものを受け入れていた、彼らはの芸術を学んだ
受け入れる＆受け入れる。

農耕文化のこと。
今、彼らは彼らの環境を飼いならし、制御し、支配した - 植物と動物 - そして初めて北アフリカ、インド、中国、中東（東洋）から南ヨーロッパまで、彼ら自身の手に彼らの運命を取った。　農業を目的とした以下のような沈降性の変化も、おそらく約*1*万*1000*年前には膨大なものであったと思われる--原始国家的な組織が作られたのである。しかし、それは今日でも有効で、すべての社会的紛争は、人間が組織化された自我になったときにその起源を持っています。

人間は今では社会に依存するようになり、これは、個人にとっては、より危険であり、不毛への依存よりも、または自然の中で一緒に住んでいる猿の小さなグループの中で*!* 人間は狂気の自我を 確立し始めた

なぜなら、今では何千人もの人々が、王-アルファ-動物、すなわち組織的な能力だけではなく、命令の連鎖、行政に従わなければならなかったからです（神父、貴族、職人、商人、警察と兵士、裁判官、官僚など）。このような社会では、すべてのものがより生産的になったが、平和的・精神的に共存することがより難しくなり、人々の魂をコントロールすることを使命とする正義と宗教の始まりとなった。　　ここでは、一般市民は、裁判官が、王や神の名の下に、拷問や何かをするときに、権力の中心の真の顔を体験することができます - ここでは、あなたは自分の体と魂を売った、または自分自身を奴隷にしたことを認識するようになります！ここでは、あなたは、自分の体と魂を売ったことを認識するようになります。　ここでも国家反逆罪と陰謀論が始まり、秘密警察によるパワーエリートのスパイ行為が行われ、ここでは新しい法律が確立され、最初は口頭で、その後石に刻まれています-法と秩序。

*GGGG-MACHINE*エリートが生まれましたが、*CIVILIZED*マンは動物のままで、彼らはまだ彼らの*2*つの*ALGORITHMS UNTIL TODAY*に従っていた*!*

もちろん、信仰と国家の法律は、アルゴリズム的にプログラムされた*EGO-ICH*、ネポティズム、汚職、詐欺と侵略のための潜在的な可能性、貪欲さと捕食性の猿の復讐心を防ぐことができなかったので、それはどちらも、その時うまくいかなかった。互いの間の権力、信念、所有権の戦争は、今日まで論争の的となる規範であるべきである。
商品やサービスの消費者/消費者、当時新たに台頭してきた職人や技術的な商売、商人たちは、
物々交換の始まりを経済に、そして世界経済に導いてきました。
そして保証人：王室や国の借金（銀行）を引き継がなければならなかった人、国家＆給料のために自分の命を犠牲にした兵士（軍人）。
王族の王類人猿に遺伝した神々の救いは、自然起源のものである；ヒヒと同様に、ロバート・サポルスキーは書いている。私は、人間の中では、おそらく*8000*年前に（強制的に）定められたとしか思っていません。霊長類のすべての種が自分の順位を子供に伝えるメスのヒヒと同じようにカチカチになるわけではないので、ボノボは女性主導の集団ヒエラルキーの中で生きているので、これもエピジェネティックな現象になるのではないでしょうか。

ロバート・サポルスキー：「脳は文化の進化の中で生活を複雑にし始めた。動物として、それは文化の発明で、生き残るために役立ったが、脳はまた、それ自体に多くの紛争の可能性をもたらし、このように多くの流血と拷問を作成しました...！」。

部族の酋長から王、暴君、独裁者、大統領、首相まで

寡頭政治・封建主義・資本主義

...重い肉体労働、家庭や子供の世話、隣人との些細な喧嘩、映画、サッカー、ビール、そして何よりもギャンブルが彼女の思考の範囲を満たしていました。
難しいことではありませんでした。
彼らをコントロールするために...

だから、それはミームブックのジョージ・オーウェルによって1万年後であるべきである：1984年が適切に記述されている...

権力への中毒性
権力の中毒は諸悪の根源です。　動物界のEGO-ICHのうち、世界を支配しコントロールしたいという妄想的なEGO-ICHになったのは、この権力欲によるものです!　 アルファ動物がいるということは、動物界ではアルファ動物に従う動物と同じくらい当たり前のことであり、これらはすべて、集団の中で生活することの方が一人でいるよりも多くの利点があることを進化的に学んだ社会的な生き物なのです。
霊長類の人間は権威者である羊飼いのアルファ動物に従うのが好きで、子供や女性も含めてほとんどの人が自分自身もアルファ動物になりたいと思っています。

動物の男は、社会でも自主的に思想的な屠殺場に、死にもこの羊飼いに従っており、彼らは彼らのパックのコミュニティに提出しています。 この忠誠心は無条件ではないことが多い - どんな群れの動物でも、新石器時代のコミュニティでも - それは常に、義務/法律、罰および/または報酬、ヘルパー-ヘルパー（貴族、王子、政治家、公務員など）との暴力の階層的なグループまたは国家形態を必要とし、グループ内の横方向の思想家をそれぞれチェックして維持するために!
今日の社会的行動は、集団共同体で生活する動物の行動であり、彼らは2つのアルゴリズムに従っており、人間/動物は、群れの本能と大衆心理学のための解釈として、彼らの束縛の中で自由を見ていること、ハンナ・アーレントは述べています!

個人の自由は、それが他者の自由を制限し、危険にさらすところで止めなければならない。自由とは、他の人が要求することをしなくてもいいということでもあります

世界の大多数の人たちは、今日でもこの階層を受け入れています。アナーキズム（無力化）と参加型民主主義（多数派によって選出された法律を自発的に従属させる）の思考パターンは、システムと権力の中枢によって、いまだに猛烈に反対されている。

"国民の代表が国民を代表していると信じている人は、レモンの蛾、レモンが折れることも信じている"

政治家は、それらの前にすべての支配者のように、独立した、成熟したブルジョワジーを恐れている...今日、彼らは通常、我々はすぐにそれらに気づくので、オープンな暴力、軍事的、経済的な戦争（ハードパワー）でこれを行うことはありませんが、ソフトパワーで - 鎖に頭を入れてください！ - 鎖の中に頭を入れてください
ソフトパワーは、それが私たちの政治的な免疫システムを弱体化させるような方法で編み込まれており、私たちは混乱したままで、私たちは間接的にそれに気づくだけで、しばしばそれがそれに対して自分自身を守るにはすでに手遅れになっているとき、ライナー・マウスフェルド教授は書いています。
実質的な権力中枢は２０世紀に入ってからも見えないようにしてきたのだから、彼女は無防備ではなかったのだ。

今 - 旧石器時代に - アルファ動物はまだ目に見えるし、それまでは無防備だった!

...赤い糸...

結論と貸借対照表。

社会の文化的進化について、私たちは何を確信を持って書くことができるのでしょうか？

1　　2人の間には1対1のコミュニケーションはなく、それぞれが自分の主観的な解釈を持っています。ジェスチャー、表情などは情報の構文に影響を与え、私たちのアルゴリズムは私たち一人一人に影響を与えます。
2 心理言語学...言葉が思考と文化を作る あなたの人についての1つのバージョン、1つのバージョンはありません、誰もがあなたを異なって見ています。
3 新石器革命は約2万年前にアフリカで始まった - ヨーロッパ、アジア、アメリカの7000年前までは、人間が風景を制御し、作業を開始したのはその時だけだった。動物や植物は彼の願いによって家畜化され、個々の先住民族は今日でもこれらの古風な意識の状態で生きています。　言語や文化は確かに動物界から来たものですが、現代人はそれらを自分の母体とし、今日に至るまでそこから抜け出すことができない牢獄としています。　権力の中毒は病理学的な、自己愛的なEGO-ICHを形成した。

THE SYSTEM IS A VAMPIRE

"自分の話を知らないと、今日の状況を理解できない"

古代世界の最初の高度な文明＆帝国

11,500年以上前の円形の村落共同体における定住性、自己決定性が、約7,000年前のウルやバベルの都市のような中東で実証されている都市国家の「私たち」の創設につながったことは明らかである。村の丸いテーブルに座っている原始国家組織から、外国の支配、行政、税金、軍隊、職業（農民、商人、職人、学者、官僚）を持つ階級と軍隊を持つ社会へ。

"一人は他の人に対抗するために合流する "と、ケン・ジェブセンは書いています。 そうですね、そして、権力の感覚は、おそらく本当にこれらのアルファ動物の発生に来たのでしょう、それは狡猾さと狡猾さ、知恵と強さを通じて、政治、王と神父に来たのです。彼らは地域社会だけでなく、隣人や神々の世界を支配しようとしていた。

宗教のビジネスでは、多くの競争があったので、ポリセイズムの歴史から、私たちは、人類の歴史の中で2000以上の異なった義務を証明することができます

神秘主義のシャーマン - アニミズム

未来や過去、そして私たちの死を意識するようになったことは、必然的に説明のつかない疑問につながっていきます。このことと、昼間に取り込まれた-言語とともに-それと結びついた睡眠の夢の世界が、神々の霊的な発明につながったのではないだろうか。約10万年前の酩酊毒の下での旅のシャーマン、司祭、学者によって、世界の場所とは無関係に何度も!

シャーマンはセラピスト、ヒーラー、マジシャン、神秘家、錬金術師、先見者/預言者、裁判官、哲学者、神父/仲介者であり、ガーナ（アフリカ）では今でもアファーと呼ばれ、祖先から受け継いだ霊であり、祖先や自然の神々と話をする（祈る）。　どこでゲームを狩るのか、天気はどうなるのか、喧嘩のせいで村で落ち込んでいる人は誰なのかを知っている。
インドの神秘主義者は、「私がいたとき、神はいなかった」とこのように表現しています。"今は神がいて 私はもういない"
私は神の中にいて、神は私の中にいて、隣人は私の兄弟であり姉妹です。
多くの人は、ユカタンのドンフアンとメスカリート、デルフィの透視能力者/占い師/オラクルのピシア、ギリシャ、マヤはサボテンとキノコを使用し、それを神々のTeonanacatlの肉と呼んでいたように、おそらく薬物の狂乱の下にあった、これはアストラル旅行を可能にしました。
幻覚的な共感覚とエゴイチの死！？

この死は、個人に許可を与える。
コズミックコンシャスネスの中で
世界の魂の形で再会するために
and allnature.

シャーマンは、魔法を使って世界の不可解なことに答えようとした人であり、最初の自然とスピリチュアルの科学者は僧侶であり、シャーマン、そしてそれらのいくつかは今日もある - 神を信じる人たちです。
神々の国は20万年前にアフリカ、アジア、ユーラシア大陸に定住していたのではないでしょうか。
死をめぐる人間の宗教的関心が最初に文書化されたのは、私たちが再発見した彼の墓である、とエドワーズ・エヴァンスは著書『原始宗教の理論』の中で書いています。
しかし、私の知る限りでは、ホモ・サピエンスとホモ・ネアンデルタール人しか埋葬していませんが、シャベルのない世界では難しいですよね！？
死体を埋葬することは、必ずしもここでは死が異世界への転移と解釈されていたわけではなく、死体に対する一定の敬意や畏敬の念、畏敬の念（先祖崇拝）を示し、埋葬場所が思い出の場所（墓地）となるのです
オーストラリアのアボリジニ、いわゆるムンゴマンの最古の儀式埋葬は4万年前、ポルトガルのラガル・ヴェリョの子供は2万5000年前、つまり石器時代後期。

今日の先住民は、土地は人間のものではないが、彼らは彼のものであり、土地は人間のものであるという信念を持っています!

財産は窃盗、収穫は所有です。
奴隷制度は殺人だ

これらの原始的なホモ・サピエンスとネアンデルタール人、これらの洞窟の住人は、愛する死者が腐ったり、捕食者に食べられたりするかもしれないという印象を受けましたが、彼らの夢と記憶の中では、彼らは生き続けていました。　今日の宗教が主張するように、人類は生き続けているという考えは、旧石器時代の埋葬地から推測できるが、6000年前の青銅器時代の先進文明では、ガンジス川（インド）、ユーフラテス川、ティグル川（コーカサス）、ナイル川（アフリカ）の間に墓地があり、その土地が彼らの祖先が埋葬される家族の土地となっていた。
オーディン、ウータン、ティル、フライヤーなどの神々のゲルマン世界は、4000年前のインド・ゲルマン語と信仰のルーツであるヴェーダや、古いインドの神ミスラやヴァルナにまで遡ります。エジプトの人々には半神や神人がいました。人間の下半身にタカ、ネコ、サル、カバ、ワニ。　改革ファラオ・アケナトン（アイトン太陽神）と旧イスラエルのヤハウェ神、つまり一神教の唯一無二の神の暴力の独占は、長い年月を経て......私たちの暦よりも約1000年も前のことであった。

これは、先祖の土地との国家的なつながりの始まりであり、むしろ、今日まで信者が死んでいる墓地と聖地とのつながりの始まりなのです。

彼らの宗教的な死のカルトでは、2つのアルゴリズムに基づいて、先祖崇拝が宗教以前のミーム崇拝であったことを証明することができます。死者はお墓の品（武器、食べ物など）を持って別れを告げられ、名誉を与えられ、おそらく食べ物で栄養を与えられた。古代ローマでは、死者が子孫に生き続けるように姓を継承していました。アジアの仏教徒と一緒に、悟りの時まで再生は避けられない。

アフリカやオーストラリアでは、原始的な人々は、故人が一族の人の中に自分自身を具現化することができると信じています。
DNAの発見者であるフランシス・クリックは、その著書の中で、「魂とは何か」について説明しています：「...すべての精神的プロセスは、自分自身のアイデンティティの感覚さえも、神経細胞やネットワーク（風景）と対応する分子の巨大な対立の行動である...」。重要なことに、耕作が出現するまでは、死のカルト、狩猟のカルト（獲物は自分自身を狩猟者に与え、どちらも自然の一部である）、豊穣のカルト（母なる大地がすべての生命を与える）しかありませんでした。
すべては一つであるということは、ハイドロゲンアトムから、人間のマトリックスに至るまで、長い間、原始的な人々に広く知られていたことです。

そして、突然すべてが変わった、土の耕し方、収穫の時期が来たことで

豊富にある食べ物!

収穫のための豊饒感謝のカルトがあったが、また、財産の所有とALWAYS-MORE-HAVING-WANTING、それは常にグループの共同体の不利益につながっていた - カルト、祈りと供物がありました、主にお金、豊饒と戦争の神に。

母なる大地、豊穣の女神アダムゥ（カルデア）、イナンナ（シュメール）、アヤ／エオス／イシュタル、イシャ／イブ（バビロン）、メソポタミアのアナトゥなど、今日に至るまで2000以上の神々の多神教（多神教・汎神教）から始まった。
太陽神は、魔法のようでありながら目に見える天の火として、すべての古代文化で崇拝されていましたが、それが与えたり、奪ったりするので、初期の人類でさえも崇拝していました。水の上昇と下降を作る潮の女神、北アフリカのベルベルベル族の部族の間で、種まきと耕作地での収穫のための時間の女神、リビアの近隣アラブ人の間では、Karlは、最大Hindukushにアラビアは、同じ月の女神が異なる名前で崇拝されていました。イシュタル、アスタル、アスタルケ、カリ、カイベル、バル、ルナなど。カルの父はポセイドンで、この月の女神はチェスの女王の代表と言われています。もちろん彼女にも夫（王）がいたが、この結婚の期間は正確に決まっていて、彼女は365日（月・日暦）ごと、あるいは100太陰サイクルごとに血の生け贄を要求していたからだ--その後、王はカルを慈悲深いものにするために生け贄とされ、次の満月には祭司たちが新しい王を選んだ。カルマという言葉の語源は彼女にあり、転生、変容、超越の無限のサイクル、生命力としてのクン

ダリーニ、そして何よりも彼女は運命の女神であり、今日でもほとんどの宗教家はこのことをしっかりと信じています。農耕文化のこの儀式は、死と再生、種まき＆収穫、冬と夏の、常に春に始まった（ちょうどカーニバルシーズンは、今日は彼女の月曜日/月曜/Lundi）にちなんで名付けられたその起源と平日を持っているように） - 太陽は星の間に立っているとき 牡羊座と星 牡牛座。鉄器時代の古代とそれに続く宗教戦争から、多神教はますます禁止され、国家宗教は一神教につながることになった; 少なくともコンスタンティヌス大王、西ローマの最後のローマ皇帝は、キリスト教を宣言したときに国家宗教 - 1500年前 - 何世紀にもわたってキリスト教は失敗して戦っていたので。　　当時、ヨーロッパの野生のゲルマン民族は、神聖ローマ教会（ローマ帝国の後継者）によって強制的に改宗されるまで、まだ自分たちの神を信じていました。19世紀以降、ヨーロッパの社会秩序の中で、宗教はその覇権を失っていきました-それは精神的な悟りの時代でした。それは、社会をあらゆる方向へと飛躍させることに成功した。生活水準、一般教育の科学、技術、心理学、政治学、経済の中で - 生活は、庶民のために、より良いものになりました
カルトの豊穣の女神（ヴィーナス、グレートマザー）と死者のカルト（葬式の儀式）は、おそらく初期の人類が最初に尋ねた質問でした：赤ちゃんはどこから来るのか、なぜ私は死者を見て話すのか？不老不死の憶測はその始まりがあったのですが、不老不死を考えようとすると、想像を絶するものに手を出すことになりますから、それは無限の線のように想像を絶するものなのです。

永遠の命とは、言葉の上では矛盾している：想像を絶する!
脳の研究者は、神経細胞の化学的・電気的な活動がなければ、意識、思考、感情などは不可能なので、精神的な魂の不死をパイプドリームと考えています。　DNAを発見した脳研究者フランシス・クリックは、著書『魂の正体とは何か』の中で次のように書いています：「...すべての精神的プロセスは、自分自身のアイデンティティの感覚さえも、化学的・電気的な振る舞い、神経細胞、神経ネットワーク、ホルモン、関連分子の巨大で共通のコレクションである。脳研究家のウルフ・シンガーが簡単に説明します。

"不死身の魂の構築は 科学的に耐えられるものではない"

このすべては、例えば狩猟運＆不運、雷雨や地域の気候変動の干ばつなど、神秘的に見えたに違いない、そう頻繁に今日まで人間に同行している、なぜ1,000人に1人は社会病質者、根っからの人は悪（性格や精神）であり、他のすべての人は自然に善人である、それは常にそうである。
HURT PEOPLE, HURT PEOPLE?

精神的または神経質に病気の他人に苦しみや痛みを引き起こすサディスティックな人々ですか？ - このすべては、しばしば物質的、動物や人間の犠牲、精神療法的な犠牲と説明と上記のすべてのソリューションを必要としています。ちなみに、心理療法士はこれをよく理解しています。

戦争やトラウマ体験は
犠牲者が加害者になったと、教授は言う。
フランツ・ルパート - 殴られた犬に噛まれたフランツ・ルパート。
すべてのものが一緒に属しているので、私たちは信じられないほどです。
は何千年もの間、被害者と加害者の力学の中で生きてきた。
これを理解すると
人類がいかに狂っていたか、そして今もそうなのか。重要
は、その理由を知ることができて
治療のプロセスを開始する必要があります！

当時のセラピストはシャーマンで、セラピーはゴッドカルトと呼ばれていました。ユダヤ人、ゲルマン族、マヤ、インカの間でも、コミュニティの英雄が犠牲になったとされています（！）...彼らはおそらく、コミュニティの利益のために、自発的にそれをしなかったのでしょう...私はそれを想像するのは難しい、それはすでに深刻なトラウマを抱えたコミュニティ、集団精神病や集団統合失調症であったかのように思えます...

アフリカやオーストラリアでは、同じ名前を持つ人の中に亡くなった人がいるという信念が広まっている - 多くの場合、長男が生まれた - 自分自身を新たに体現した、それはペルシャ人、ゲルマン民族、ギリシャ人やローマ人がこれを発明したかどうかは不明ですが、相続権が唯一の故人の利益

のために意図されていたように - 家族の長は永遠に生きるべきである...

私のトラウマの母はこのミームの教義を誇張していたので、私が生まれたとき、彼女の父である EGO-ICHがとても欲しがっていた一族の王朝を継承する子孫を持つためだけに、彼女は命をかけて家の不動産を持っていた。父の父は、進撃するロシア兵から逃れて、第二次世界大戦中に東プロイセンの首都ベルリンに行きましたが、持ち物を気にして妻と一緒に帰国し、二人ともロシアの収容所で餓死してしまいました。このミームの同盟は、彼らの命を犠牲にし、私の母の心の平和を犠牲にした。彼女の唯一の息子は彼女のミームの命令に従わなかったからだ...そして私は自分の幻想的なミームの王朝を望んでいただけだ。そのため、私のEGO-ICHが必要と考えたように、私の人生をそのようにアレンジするために、青春時代にアメリカに移住することになったのです。

マトリックス研究所 -Temple-
最初のシャーマンがヒーラー、預言者、哲学者、占星術師、錬金術師として、石器時代のアーカイックな自然の神々から、組織化された宗教（力の）が発展し、グループの神秘的な経験は、しばしばサイケデリックを介して、質問への答えを与えた：自然と宇宙、私はどこから来たのか、私はどこに行くのか、そして、このすべての目的は何ですか？　このようにして、常に運命に対する信念が芽生えてきます。あるいは、私たちはアルファ動物、パワーエリートの魔手に捕らわれ、単に従わなければならず、耐えなければならない-これが今日まで続いてきた方法です。ゾウやチンパンジーでは、親族であろうとなかろうと、死んだ同種の動物は非常に注目を集めることが知られている。死体が引きずられ、触診され、検査され、いつもと違う声や音がしたり、いつもと違う沈黙が聞こえたり--攻撃的な行動が見られる。
チンパンジーは、仲間のチンパンジーが死んだ場所を避けることが観察されており、露骨な心配りをしているようです　これは、ローマ、ペルシャ、ギリシャの古代の都市国家やメガシティだけではありません。
子供がいない、今でも世界では見かける。　ホモ・サピエンスとネアンデルタール人だけが、シャベルを使わずに（！）死体を埋葬していたので、捕食者に死体を任せていたらどうなるかと心配していたのですが、彼らには死者への愛情があったのですね　故人との大切な思い出があり、土葬や火葬で故人を称え、保存し、守りたいと考えていました。土地は民衆のものではなかったが、民衆は土地に属していた、土地は民衆のものだ!
ポルトガルでは40.000年前の墓を発見し、周辺地域ではまだいくつかの墓、人類の最初の墓地からのヒントがあった、彼らは彼らの恒久的な家と呼ばれ、そのsedentarinessもハンター＆ギャザラーで存在していたことを近くに場所がなければなりませんでした。エジプトや中東の7000年という古代のエポックでしか見られない記憶のフィールドとしての死者のためのモニュメント。空間的固定化は、出現する祖先崇拝に必要な前提条件である-私たちはここに属している! 死者がここに横たわっているならば、ここは私たちの国でもあり、家族の国であり、地域社会の国であり、国民の国でもあるのだ!
これは、古生物学、古生物学、人類学、考古学、地質学、動物学、植物学、細菌学、ウイルス学などの古代科学が私たちに証明してくれます。死者から先祖になり、墓は記憶を作成し、それは生きている人の夢の中で存在し続けた共通の過去を作成し、死者も生き続け、私と私たちの国、私たちの宗教と私たちの文化、私たちの王と私たちの神が存在するようになった - それはまだ今日のように。自然科学や人文科学の起源は、高僧である神々への信仰にあります。これらは学校、大学および教会がルネサンスまで出現した宗派を通って進歩を制御した;　それから、16世紀の啓蒙の時代から、Memeの知識は劇的に爆発した。　　　　　ノーム・チョムスキーによると、ジェフ・ベゾス（AMAZON）は、2020年には約1810億ドルから富を拡大し、わずか1日でさらに120億ドルを「稼いだ」という。

マトリックス：アフリカで生まれた文化と芸術

私がここに書きたいのは、事実を客観的に知覚することが難しく、非難することができないとしても、文化的な進化の中で、受肉の否定的な、あるいはあまりにも憶測的なイメージを記述しないように非常に気をつけているということです。
ここで読むタイムトラベルは、主に古生物学、古生物学、人類学、考古学、地質学、動物学、植物学、細菌学、ウイルス学などの古代科学に基づいています。　ナラティブ・ペインティング、形而上学的思考、宗教的思考 / 信仰パターン、抽象化する能力、象徴的な文化的成果は、現代人への最後の一歩と人類学者は考えている。北アフリカからの骨の発見は、現代人が約30万年前の芸術家と同一のものであったことを証明しています。彼らは、最近の発見に見られるような認知能力、論理的思考力、芸術的思考力を持っていました。　すべての大陸の洞窟の絵画は、サイトの分析によると、約45,000年前に発生し、彼らはすべての同じテーマを扱っています：他の人の間では、男性と女性の二元論、セクシュアリティ、死の脅威-獲物-ベアリング-混合ハーフ動物-ハーフ-人間。
彼と彼女がいつ文化的なポリッシュを手に入れたのかは不明であるが、人間は9万年前にすでに抽象的で象徴的な思考が可能であったことが証明されているからである。　考古学的な知見によると、これは約30万年前にある種のホミノイドに起こったに違いない。ホモ・サピエンスの場合、確かに9万年前、これは南アフリカのブロンボス洞窟からの発見によって証明されています - そこでは、カタツムリの殻で作られたネックレスのジュエリーが発見され、黄土色の石が発見され、彼らは絵を描くためのこれらの洞窟で、彼らの壁画（狩猟シーンや人間と動物の混合生物）のために必要とされていました。
すべての考古学的発見は、世界ではアフリカのサイトよりも古いものはないことを示しています
ヨーロッパ、アジア、オーストラリアのものは、240以上のサイトがありますが、すべて65,000年から40,000年前の最近のものです。

ということで、次のような順番で記録していきます。

DREAMS.
PICTURES.
音楽だよ。
言語.

絵画における複雑な思考パターンと
そして最初のオリジナル。

これらの思考プロセス（神経細胞の心象風景）の中で、創造性、直感、インスピレーションが生まれました　コミュニティや社会の中で、お互いに社会的なコミュニケーションが行われていたことは、もちろん人類の文化的進化の始まりの重要な一歩であった。
言語はアイデアの世界を引き起こし、ミームネットワークはますます複雑な神経パターンを開発しました。　それが貿易と技術、宗教とシャーマニズム、管轄と非難につながった。そして、このようにして、α-Animal-King-Monkeyから、Chief-King、God-Judge、Banker、Emperor、President、パワーセンターの機関へと導かれた。
それはすべて、動物の王国から、石器時代に生まれました！

その最初の証拠は11,000年前にさかのぼります。遊牧民や牧畜業者から農民まで、その前にアトランティスのような複雑な文明があったのか、それとも石化猿説（テレンス・マッケンナを参照）の

ような文明があったのかは、純粋な憶測です。
たとえそれが信憑性があり、可能性があるように見えたとしても-少なくとも今のところ、私にとっては。

Ur-Script-Matrix

何千年もの間、私たちは言語だけでミームの知識を交換し、物語、ダンス、絵画、歌などで伝えてきました（神経リンギング・プログラミング）。　知識を記録するための最初の文字によるコミュニケーションは、おそらく絵文字が最初で、その後、ヒエログリフ（絵文字）の絵文字が登場し、誰もが理解できなくても読めるようになりました。　これはおそらく、約7000年前のエジプト、中国、インドで起こったことでしょう。　楔形文字は、元々の絵文字をくさび形にしたもので、最大800種類の筆致で書かれていますが、この文字は地球上の様々な文化によって独自に開発されました。最初はシュメール人、次にヒッタイト人、アクカド人、そして5000年前のペルシャ人だったと思われます。中国人は4,000年前に楔形文字に似た文字を開発し、マヤ人は2,500年前に絵文字から象形文字と楔形文字を開発しました。　ここで読んだ私たちの26文字のABCは、生きている言葉、話し言葉の音を初めて表現したものでした!　いつ、どのようにして作られたのかは不明ですが、おそらく3600年前にシリア/パレスチナで作られたのでしょう。 商人はそれを、他のすべての知識/マスターと同様に、世界中に広めました。
約3,000年前、最初のギリシア貨幣よりも300年前）、次にラテン語のアルファベット（約2,000年前）が登場します。　ヘブライ語の方形文字は2400年前から使用されており、ゲルマン民族は1800年前にルニック文字を使用し、約1500年前にはアラビア文字が登場しています。　書き込みや手書きは、実際には持続可能な方法でミームスピリッツを輸送するための最もオリジナルな方法ですが、本当に人口の間で普及している、それは学校があった18世紀から、わずか150年前にその普遍的な受け入れと認識を発見している必要があります。
マトリックスの読み書き
この非常に重要な文化、人間の発明と発展は、人間が過去からのすべての知識とすべての出来事、未来へのすべての欲望と願望を、言語の物語、神話（おとぎ話、伝説など）、石彫、絵画、ダンス、音楽、歌、儀式と礼拝の場、生け贄の場所などの芸術の中に保存していた高度な文化へと私たちを導いたのです。　最初のシュメールの楔形文字（粘土製の錠剤）は、約5,000年前の約5,000年前の交易書のものでした。
メソポタミア 文章を書くという言葉は、引っ掻くという言葉から来ています。 文字は、中国、エジプト、マヤの（絵文字/象形文字）、シュメール（楔形文字）、インドで、世界中で何度か独立して発明されました。　私がここで使用しているアルファベットは、ミノア人とクレタ島のミケーネ文化、3,200 年前から来ているし、ギリシャ人とフェニキア人によって数世紀後に改善されました - 彼らは約 2,000 年前に手で最初の知識のスクロール本を書いた、これらの木製または革のカバーをバインドされた折り畳まれた羊皮紙シートだった。エジプトに生える植物であるパピルスが書かれたのは約5000年前ですが、私たちが知っているような本が登場したのは約1000年前のことです。
そして、約2200年前にペルガモで羊皮紙（革の皮）に。中国人が紙を発明したのは約1900年前のこと。
これの動機は明らかでした：ミームスピリッツ - 自分自身のために、そして他の人のために、思考/記憶を記録するための言語!

これは私たちにとって、人類と地球の起源に関するすべての伝説や物語、伝説は、文字、特にアルファベットの出現によって、人類の文化史を証明するものとしてしか提示できないということを意味しています。此処に
古生物学者でなくても、約2500年前の高度な知識を持った人々の考えを客観的に理解することができるのです
ヨーロッパでは、活版印刷はヨハネス・フォン・グッテンベルクによって、印刷機で行われていましたが、それは550年前の中世後期にのみ行われていました。 中世初期でさえ、読書をしない修道士たちは、読書をしている修道士が絵に描かれた音を何時間も語り継ぐことができることに魅了されていました--それは、人が複雑な歴史的内容を難なく再現して伝えることができるということは、彼らにとって魔法のような出来事だったのです。
知識を聞くことなく
人類の時代の精神がどうであったかをよく証明している。
マーシャル・マクルーハンとテレンス・マッケンナは、20世紀に入ってから、特にラジオ、テレビ、インターネットなどの電子メディアが発明されてから、人類の精神が根本的に変化したことを認識していた。
単語を読むことは、その単語を推測することに起源がありました。我々はそれを読むとき、それは非常に高速な推測である、我々は今のように、文字、単語や文章をスキム - しかし、我々はそれらを1から1に知覚しないが、私たちの経験、信念や教育基準に応じて非常に個別にそれらを解釈し、私はそれが私たちにとって非常に重要であるため、これを質問することをお勧めします！私はそれが私たちにとって非常に重要であるため、これを質問することをお勧めします　書くことから、誰が税金を払わなければならないかを記録するために物々交換の会計につながり、その後、書面による法律になった。　最初の法律（約260の法律）はハンムラビ写本で、3800年前のバビロンでは、10戒のようなすべての法律が口頭で記録され、官僚制がなくても、地域社会の規範的な行動によって書かれていました。

生物学者ロバート-サポルスキーは、我々は常に新しい関係を構築しなければならない唯一の霊長類であることを書いている、我々は毎日見知らぬ人を知るために得る - 石器時代の人々は、これまでのところ私たちの生活は、仲間の人間の小さなグループで構成されているため、彼らの全体の生活の中で会ったことがないよりも、より多くの。　そして、都市国家があるので、初めて社会的ストレスが生じたので、法のない平和が存在しなければならなかった、少なくとも真実は、神々の助けを借りて、明るみに出るべきである。
しかし、嘘を真実とし、真実を嘘とするために、正しいことを持っていることと、正しいことであることのハグリングは、これらのアルファ動物の王の裁判官と同様に、神の裁判官とその時に始まり、エリート民主主義とその深い教化2.0、プロパガンダ、非常に、今日も続いています
貧乏人の中でも最も貧しい者は、当時の権力エリートから、戦争や人間や自然の搾取について、今日のイエズス会の教皇が実際に書いているように、ゴミのようにみなされていたのです!

石器時代の技術からハイテクまで。

プレアストロナウティクスについての注意点。

約12,000年前のギョベクリ・テペのヒッタイト文化がどのようにして無から発展したのか、あるいは約4～7,000年前のエジプト文化であるスフィンクスやピラミッドがどのようにして発展したの

か、今となってはまだ理解できない。

エジプト人は神々の祖先だと言っていますが、その証拠は何もなく、ただ彼らが残していったこれらの驚くべき建物だけが残っています。
ギザにある高さ147メートルのエジプト・チープスのピラミッドは、260万個の石のブロックの重さがそれぞれ2000キロで、わずか20年の建設期間で完成したと言われています。　鉄の道具を使わず、車輪も滑車も使わず、どうやってこの2つの建物のゴールデンセクションを知り、実現したのでしょうか。

私たちは、この文化、前身の文化は、私が知らない唯一の明確な証拠、はるかに長い時間（11-36.000年前）に存在していた沈没文明（アトランティス？ スフィンクスの石は雨水によって浸食されており、約7000年前には雨がそこに存在していた、つまりその頃にはすでにスフィンクスは建設されていて放棄されていた、あるいは整備されなくなっていたということになります。
また、私にとって不可解なのは、これらの建物がどのような道具を使って建てられたかということです。
この驚きにつながるのは、ピラミッドは600万トンの石で構成されており、いくつかの花崗岩のブロックは、技術が採石場からこれらの石を移動させることができなかった（ブロンズ）時代には、50トンもの重さであり、それらはお互いに完全にフィットするような方法でそれらを動作させることができなかったということです。　私たちはまだ宇宙データに関する数学的知識を持っていた、ピラミッドは太陽、月、星の定点に位置している、それは非常に正確に私たちのコンパスのポイントに調整されている、北...それを正確に北に整列させるための知識と必要性はどこから来たのでしょうか？

彼らとマヤ、インカ、アステカ（クロヴィス文化）の祖先たちは、インフラ、ピラミッド、都市などの建物をほぼ「同時に」建設しました。

￼

私たちの初期の歴史のこの部分を今日まで知らないのは、私たちにとってはまだ暗闇の中にあるからです。アトランティスのような失われた文明だったのか、ニビル星のアヌンナキだったのか。おそらく、その証拠がないので、そうではありませんが、ギザのピラミッドのためにはありますが、唯一の問題は、彼らがそれをどのようにしたかです！それは、彼らがそれをやったのですか？

猿のハイカルチャー
初期の人類のどこでも証明できる技術的な文化的成果のアイデアは、約30万年前に石の刃を作る技術でした。 しかし、それは本当に約6000年前に始まったばかりで、そこには古代世界の最初の7つの驚異があり、それは創造性における捕食性の高いサルの巨大な成果の証拠です。 現代世界の7つの不思議はまた、ピラミッドや海の最深部に潜った潜水艦トリエステを建設するまでにどれだけの時間がかかったかを示しています - 宇宙の征服、それに続く医療の発展 - 他のコンピュータ技術と比較することができないGOOGLEの量子コンピュータとチェスコンピュータに至るまで もしそれが科学者からエンジニアに渡された、そして渡されたこれらの技術的なおもちゃのためではなかったならば、自然科学の主題はホメオパシー、指圧、占いのそれに退化していただろう、なぜなら 我々は前の章から知っているように、これらの専門家の仮説と確率の予測は、アインシュタイン＆ゲーデルによって嘲笑されたからです。
最初は野生の（捕食性の）サルの大群であったが、その後合流していくつかの家族の一族を形成し、常に移動を続けていた、文明化された捕食性のサルの最初の形態である、資本主義的な循環型の貿易／経済を持つ共同体であり、移動する職業から始まり、20世紀中頃までヨーロッパのジプシー（はさみ挽き、鍛冶屋、商人）によって今でも行われていたのである。
農民以外の最初の職人は、おそらく鎧職人、建築家、兵士、売春婦、醸造家だったのではないでしょうか。都市国家の汚れた水は、薄いビールを醸造することで消毒され、誰もがそれを手に入れた - 赤ん坊でさえも。
ヨーロッパ人はビールやワインに含まれるアルコールが危険であることを小アジアやアフリカから学びました。
サルモネラ菌、E.colli、シンゲラ菌などの細菌を殺します。
国民、EGO-ICHが他の何よりも酩酊を愛していることはよく知られていますが、麻薬という言葉で何を理解しているかによりますが、権力、金、贅沢、女性は麻薬ではなく、スマホのデジタルヘロインなのでしょうか？
それは確かにそうです、力への酩酊 - 薬物の力 - 古代世界のこれらの壮大な建物につながった。
バビロニア人はこの宇宙の出来事を石像に記録していたので、日食は人々にどのような影響を与えたのでしょうか。 12個の星の複合体である12星座は、1年のうちの12ヶ月が私たちのものになっただけでなく、多くの宗教で重要な数字となっていました。 天文学的なイベントは、建物、12,000年前のGöbekli Tepeで始まった高度な文明の初期のエポックの宗教で自分自身を明らかにした。これらの寺院の創始者は、狩猟採集文化が定住し、どこからともなく、どこからともなく、私たちにはまだわからない知識を持っていました。

マトリックスだ 貿易と親愛なるお金
物々交換は10万年前から存在していたと言われていますが、それは食料のための物々交換であり、殺したり殺されたりするよりも進化的に賢明であったため、競争ではなく協力による淘汰が再び行われていたからです。他の動物が（性のために）対価を求めて収集し、物々交換することは、例えば、いくつかの哺乳類や鳥類でよく知られている。人間がそのような石の刃のような最初の使用のツールを発明していたとき、私は次のように2つの初期の人間の会話を想像する： "私はあなたが欲しいものを持っており、あなたはその見返りに何を私に与えるか - それは私の作業時間＆マンパワーを要したので、EGO-ICHは、それを与えることを望んでいません！"と。これはアクティブマネーです。
トーライ（3.000年前、中国ではすでに紀元前1.200年前に貨幣としてカウリーのカタツムリを使用していました - 経済原則：商品やサービスに対して希少で美しいカタツムリ - だから、コインマネーのアイデアは、中東（イラン、イラク）と西アナトリア、トルコ（紀元前670年頃まではリデルン、現在のトルコ）でのみ発生したものです。 紀元前600年以降、地中海全域にミントがあった、アクティブマネーのミーム思想がミーム爆弾のようにヒットした、都市国家/国家権力の発明だから革命的だった。
カタツムリや金は稼がなければならなかったし、無制限ではなかったし、何もないところから来ていたのだ!
アクティブなお金は、かつても今も価値ある対象であり、それは普遍的なブックマネーであり、カタツムリのような交換媒体である--しかし、その背後にある王や帝国の力によって、お金は複雑で社会的なシンボルになってしまったのだ!

受動的なお金。
もし私がアクティブマネーを持っていて、友人がやってきて、「あなた、私にはアイデアがある、農場を作って小麦や牛などを耕したい、これを実現するためにあなたのお金をくれたら、あなたが私にくれたお金よりもアクティブマネー（利払い）を返してあげる」と言ってきた場合、私はあなたが私にくれたお金よりもアクティブマネー（利払い）を返します。
ここにとても大切なものが生まれました。
- アクティブマネーにはオーナーが一人しかいない!
- パッシブマネーには複数のオーナーがいる!

このようにして、金融業界、パッシブマネーやデットマネーが作られた、つまりお金は何もないところから生まれたのです。信用、投資、貿易、行政、法制度（写本/法律）の人類最初の文書化された文書が欲しかったし、文書化しなければならなかったので、最初の紙幣は中国の桑の木の皮から来た。
お金と紙は貿易と投資に役立ち、受動的なお金のこの発明によってのみ、簡単な数学、簿記（お金の管理）と貸付（お金を作成し、信頼と約束から引き出す）が来ました - おそらくお金の最も重要な文明的特性。お金は社会にとって成長ホルモンであると同時に、この階級社会の人々が苦しむ最大の心理的負担、すなわち貧困になったのです。 つまり、社会の形態はお金がなくても満足に暮らしていたが、お金を使う人には文明的にはどんどん後進国のままだったということです。
マルコ・ポーロによると、皇帝チンギス・ハーンは、ダリオスのように、彼の帝国内のすべての臣下/商人のために、力ずくでコインマネーを受け入れるように命じました-そうでなければ、彼/彼らは死刑で脅されました; また、紙幣とコインマネーの偽造は死刑で処罰されました、それは主権者の仕事になったし、残っています-暴力とお金の独占

資本主義と長距離貿易の発想が生まれた!

お金は急速に貿易を簡素化し、民族間のミーム文化交流を促進した。知識だけですが、交換品を交換するために市場に運ぶ必要はありませんでした。お金は単純に管理しやすくなりましたし、今では生き延びるために必要なものはすべて自給自足する必要はありませんでしたし、特定の知識・記憶活動に特化した自由な時間が与えられ、アンバーロードのようなグローバルな貿易・輸送システムが出現しました。シルクロードと古代ローマ人の交通ルート - 民族間の文化と知識の交換が始まり、経済、世界経済、貨幣経済の始まりであり、もちろん貨幣独占の始まりです。
この時間以来、政治と経済は、制度的な宗教といくつかの時間後に力の3つのセンターを形成した共生を、形成 -（GGG）- 彼らはまだ今日、全世界を支配しています。

金儲けの魔法を最初に実装したのは、旧ペルシャの皇帝ダリウスだと思うのですが、リディアのクロエサス王でしょうか？
- 彼がお金で価値を保っていたこと
- 貸してお金を作る銀行。
- 知識の成長のためのモーターとしての信用
- 複利で成長する強制力

1 王様の銀行から私設銀行へ...。
2 生の金には、彼の時代以前から交換価値があったが、ダリウスは死の刑に処して、財やサービスの交換に生の金を使うことを禁じたが、彼の金貨だけがそれを可能にしたと考えられていた。
3　つくりたての新しいお金が生まれる「貸し出しの発明」-お金は複数の持ち主を持つところにある!
4　銀行や銀行家の次なる仕掛けは、ほとんどお金がかからない紙幣だった。イングランド銀行はヨーロッパで最初の州立銀行で、1694年にはすべての紙幣をいつでも金と交換することを約束しました。しかし、紙幣は主に国家権力（軍事）への信頼がベースになっているので、このようなことはありませんでした......!
5 20世紀になって、世界の紙幣は金で担保されなくなり、約50年前から流通している新しいデジタルブックマネー（不換紙幣）は、実体経済では実質的な価値を持たず、政府の約束事である約束手形で担保されているだけで、価値を維持している。　　自国の人口は、それを返済することを約束し、利子を加えて、将来の世代にもそれ以上のことをする。　これらのいわゆる国家銀行（中央銀行）の目的は、利子の貢ぎ物を支払わなければならない国民からの約束手形と引き換えに、政府に資金を提供することでした。政府は主に戦争に紙幣を使っていた......!
6　ヒトラーから毛沢東まで、すべての独裁者は中央銀行を通じて資金を調達してきました。つまり、過去のすべての戦争は銀行カルテルによって賄われており、これらは例えばロスチャイルド家のような一族の王朝に属しています。
フランツ・ホルマン教授は、これらの銀行は治外法権的な地位にあり、国家がオフィスに入ることは許されておらず、ファイルにアクセスすることもできないと、彼の著書『Das Ende des Geldes』の中で書いている...。
8　金融の疑似科学は生きているお金の創造のこの幻想を維持し、経済学者トーマス-マイヤーと教授フランツ-ホルマンはかなり正しく言う....

アメリカのヘンリー・フォード大統領は「政治は行動すること。もし人々が本当に金融システムの仕組みを理解していたら、明日には血まみれの革命が起きるだろう。"

中央銀行

この記事では、この連邦準備銀行がどのようにしてアドルフ・ヒトラーと出会い、世界大戦に資金を提供したのか、この連邦準備銀行の創設について説明している。

アメリカが世界最強の銀行家なのは、ある理由からです。
帝国は米ドルが世界の通貨だからな。
金のカバーなし - だから、ただの紙幣。 の時から
アメリカは世界で最も強力な軍事力を持っています。
彼らはこの紙幣に力を与えています。
それが理由です。 それが資本の独裁だ！

国家や民間銀行が中央銀行から受け取るお金がどのようにして作られているのかを非常に簡単に見てみましょう。
国は象徴的で質の高い国債を発行しているので、例えばこのお金であれもこれもやっている、というような信用度を示しています。　通常はよく考えられた経済対策や質の高い債務手段ですが、これらの対策が悪質な投資となり、結果的に劣った債務手段となることが多くなっています。　手に入れたお金には、借金道具の質に見合った価値しかありません-ゴミ入れ、ゴミ出し。
中央銀行はこの国債を受け取った時に何もないところから金を刷っている、まさに政府が要求しているのと同じように、納税者はその金を保証しているのだ。
このような中央銀行のバランスシートの疑似的な価値観が実現しないと、富裕層が紙幣の価値を買えなくなったことに気付き、利息利益が実質的な価値を持たないことに気付き、最悪の場合ハイパーインフレが起こる。 インフレは中央銀行、つまりBIS（国際決済銀行）によって決定されることを理解することが重要である、とエルンスト・ウォルフは書いています。
ジョージ・ソロスのように、中央銀行のバランスシートには市場価値がないことを悟って投機をして儲ける銀行の専門家がいて、ソロスやイギリスの通貨のように、中央銀行のバランスシートには市場価値がないことを悟って、投機をして儲ける人がいます。これがすでに起きているとしたら、この通貨で自分のお金が価値を失っていることに気づくのは、道行く普通の人だけです。

この開発は、世界の富が単独で1970年と2006年の間に価値が3倍になっていたときに、証券取引所のコンピュータネットワーク内のこの本のお金は、お金がお金を作る...クラッシュやハイパーインフレが発生するまで、すべてが以前のように継続しているという事実につながっています。

しかし、世界の人々がこれを信じている限り、金融システムは安定したままであり、そうでない場合は、心理的なミームのハイパーインフレ、貨幣同盟が存在し、すべてが再びすべてのことが始まるだろう、そこでは貧しい人々はすべての貯蓄を失い、金持ちは実際に彼らの借金を解消するだろう、お金はもちろん、権力エリートの武器の力で、幻想であるからです！しかし、世界の人々がこれを信じている限り、金融システムは安定したままであるだろう。
この危険性は、２０２０年に再びＨＥＲＥ＆ＴＯＤＡＹに存在する...超富裕層のためのお金が無限に残ることはないと危険にさらされているとき、エルンスト・ウォルフは書いています
経済学者のトーマス・メイヤーはまた、紙幣システムに未来はないと見ている。それは自由市場に従わないので、国家（納税者）はシステムに関連する世界の銀行、約30の銀行、大きすぎて失敗しない保証を与え、これは何度も何度も悪用されている。

EGO-ICHは、金持ちになるためだけに、必要な
動物捕食者資本主義：搾取、貿易・不正行為、戦争
&略奪/人の輸出
(労働奴隷)、信用、契約、利息。
オークション（銀行）と自然
動物・原材料）を使用しています。

国境を越えて貿易が盛んになると、貿易ルート（シルクロード、アンバーロード、ローマの道路網など）では、銀行業が不可欠となり、有力通貨としての力の独占（中央銀行）でお金をコントロールする者は、力を持っていた（MONEY GOVERNS THE WORLD） - それは、それが今日の米ドルのアメリカ帝国と同じように、当時のローマ帝国の場合でした。"...それらを搾取し、搾取し、販売することが動機である...それらは富の源泉である.... "とカール・マルクスは書いています。ハーバート・マーキュースは1976年に次のように書いています：「知識と技術は今日、世界中のすべ

ての人々が自由で幸せな生活を送ることを可能にするだけでなく、世界を地獄にするために利用できるようになっています。
これはアリストテレスの意見でもありました。"お金と財産は、幸せな状態に加えれば、完全な幸福をもたらすことができる。しかし、それらを正しく利用してこそ、すなわち、良いことをすることができるのです。そうでなければ、お金や財産は、幸せな人生への道のりの邪魔であり、邪魔でしかありません。" ローマの哲学者セネカは次のように書いている。"貧乏人だけを見ればいい。大多数の人は金持ちよりも悲しくて苦しい思いをしている人はいないだろう。"
そして、まだ我々は、彼らが良いではないことを知識を持って物事を行う...変更のためのこの洞察力は、真実では、保全で、人間性では、お金では、自己認識と自己規律にあまりにも多くの費用がかかります
だから良い3,000年のために私たちの認知心は、私たちのEGO-I、私たちの欲望、欲望、感情の動物の世界のドライブ、本能、スキーマタなどは、間違ったトラック上にあるという洞察力を持っていた - その深く教化されたと：常に-to-more-have-moreパワー＆富を望んでいる - 私の父が言ったように、私たちはまだ、できません：私たち自身の影を飛び越えて...メタレベルに到達！私たちは自分の影を飛び越えて...メタレベルに到達することができます。　2つのアルゴリズムが私たちを捕らえているので、私たちの意志に自由がないのです、素因的な自由意志は、大多数の人にとって、彼らがふりをしている幻想なのです-神経生物学者のロバート・サポルスキーは、そう言っています。神経心理学はまだ自由意志のメカニズムを理解していない、それが存在する場合、我々は経験的にそれを証明することができていない;しかし、それについての詳細は、次の章で、後で...それは過去と未来と同じであるように思われる、両方が記憶的な構造、アルゴリズムである - 実際に何があるか、存在するものは、今ここだけである！それはあなたのために何をしたいですか？！

青銅器時代の武器と道具
石木銅

この時代の現代史家の報告はほとんどないので、この時代の個々の民族の戦争の理由、遺伝的確執、便宜上の同盟などの話を理解するのは非常に難しく、遺伝学者と考古学者だけがその手助けをしてくれる。
彼の埋葬場所に石で彫られた司祭や王の傾向的な歴史学は、現代の発明ではありません - 勝者は彼の物語をきれいに嘘をつくが、現実と真実に従ってではありません。　金持ちが永遠の命を買うことができたナイル川の最初の文化、エジプト人よりも集中的に死を扱っていない文化はありません、信仰はビジネスの宗教となり、権力のための貪欲と欲望、大祭司カースト（職業）の利益を提供しています!　そして、古代ギリシャ人ほど、魂の世界と魂の健康を徹底的に扱った文化は他にありません。
プラトンは、美しいもの、善いもの、真実について尋ねた。魂の薬はギリシャ哲学の始まりだった、彼らはまた、都市国家、大規模なコミュニティは、人々が精神的に病気になったことに気づいたし、これは今日まで変更されませんでした - 仕事からの病気の休暇の最大の部分は、精神的な性質のものです。ワーク・ライフ・バランスは、大きなコミュニティに住んでいた頃の人類の昔からのテーマであることに変わりはありません。
バビロニアやアッシリアの文化は、生け贄で永遠の命を買うことが信用できるとは考えていませんでした。
この本は、30万年前から取り組んできたことの続きに過ぎませんが、今日では、私たちはどこから来ているのか、宇宙はどこから来ているのか、このすべての目的は何なのか、といったことが、より分化されています。

王族、国家、国家資本主義

私が調べた限りでは、近隣の民族と合併してネットワークを形成している民族グループの最初の証拠は、約4000年前のエジプト人とペルシャ人（バビロニア人）にまでさかのぼります。約3000年前の古代ギリシャ人とローマ人。アテネのギリシア人は、その環境の中で暴君と都市王を統一した歴史上初めての国家思想家であり、プラトンが考えた「金を払ってはならない政治的カースト」と、民衆を権力エリートと統一するためのエステートと民主主義の共和制の一部であった。　後のローマ人は、元老院共和国を導入したが、これは同じことであった：子羊の民を支配する知識権力エリートであり、男性には投票権があったが、女性や奴隷には投票権がなかった。　これは、王や司祭が議会や政治家に取って代わられた17世紀と18世紀の啓蒙主義（ルネサンス）までそうであった　-　実際には、まだ同じパワーゲームである。しかし、ここでは、我々はまた、シュタイナー、プルデントとBachuniの無政府主義（無政府主義）やマルクスとエンゲルスの共産主義、社会主義（どちらも個人の権利を制限する）と、個人の権利が合意によってのみ制限されている今日も良い、評議会共和国と参加型民主主義のような新しいイデオロギーを見つけることができます -政治家は政治的な職業を行使しないが、資格に応じて選出され、限られた期間のために選出され、彼らの行動に責任があります!　重要な決断を間違っても代償を払わなくてもいいような人に押し付けるほど、愚かで危険なことはほとんどありません!
Albrecht Müller: Glaube wenig, Hinterfrage alles, Denke selbstの本も参照してください。彼は書いている：　"私たちの思考は自由ではありません、彼らは人々、組織（プロパガンダ＆広告）とシークレットサービス（ディープステート）によって、操作可能である - 電力は常に目に見えないままにしたいと思っている！"と。　少なくとも100年間、科学的に研究され、テストされ、実際に試してみることに成功しています。政治的な意見形成、意見や思想の自由の検閲があり、それは原則に従って生み出されます：分裂と支配、パンとゲーム、敵のイメージを構築しようとする努力、階級社会、人口集団間（右翼保守派、左翼リベラル派、テロリスト）、他の民族と国家間（資本家、共産主義者とキリスト教徒、イスラム教徒）。ライナーMausfeldは、最小の定義を引用しています："左と我々はより大きな平等の方向に社会的変化の発生を指定したい　-　政治的、経済的、または社会的、右と正確にそれに反対しています。
女性のヒヒとボノボは、ロバートSapolskyによると、彼らの女性の子供たちにグループの支配的役割を継承した場合でも、状況は捕食性の猿人と非常に異なっていた、ヨーロッパ、アフリカ、アメリカ、アジアのほとんどの部族は、彼らのランクから最も有能な選択し、確かに継承、王家の王朝があった。そして確かに古代の多くの男性は、神が王位のために彼らを選んだと確信していた、来るべき古代帝国のいくつかは、彼ら自身が神の起源であると信じていたし、他の人　-　司祭-ローマ法王、ファラオと皇帝　-　彼ら自身が神であると信じていた、ローマ人とそれは非常に正常であった、今日の心理学者はそれを異なる診断するだろう!
しかし、ここで重要なのは、今日もそうであるように、彼らは皆、権力と名声とドルに貪欲だったという事実である - EGO-ICHは、当時もお金が世界を支配していたので、親愛なるお金のためにすべてのことをしているのだ!

封建主義＆支配文化の資本主義とは、次のようなものです。
支配者という言葉は、人間や自然を支配する所有者のことです。
名前の主のアドレスの形式は、支配の文化からの遺物です。
戦争はいつもこの財産のこと
これは動物界の支配的な行動である
私たち全員の中のEGO-ICHは、このアルゴリズムを実現しています。

奴隷制度と賃金奴隷

ハード＆ソフトパワー

まず、グループ内での提出は、グループの利益のために区別しなければなりません。その後、実際には不要なガラクタを購入するために、今日の先進国で広まっている負債の束縛があり、このことから搾取的な服従と政治的服従を次のようにしています - 外国の支配。
生物化学的進化では、細胞が多細胞生物の化合物に従うことがわかります。　これはまた、動物や植物の王国で発見されたグループは、どこに個人のシステムの同盟国。このような服従は共同体の

ためのものであり、孤独な動物であることを選んだ個体よりも進化的に有利である。とはいえ、私たちの中にあるように、動物界にも無条件服従はありません、動物界にも反逆者＆改革者がいるのです!

自由への意志があったし、常に強いので、無政府主義のイデオロギー、支配の欠如-私の上には誰も私の下には誰もいない、または民主主義のそれは証言する：我々はすべてのシステムの支配者であるべきである。　実は政治には、仲間の共同体の中で、また国際社会の中でコンセンサスを見出すことに存在意義がある。もちろん、そこには常に多元性があり、異なる意見や利益があります。しかし、政治の芸術は常に、多くのEGO-ICHSのこれらの異なる利益を理解しやすく、客観的な議論で合意に導くことです。　なぜなら、何が起こるかというと、エリートがどうやって得ようとも公式票の必要多数を得て、それゆえに多数派を持つことになるからです--そして、これが法的な独裁に発展したのです　緊急時にのみ、市民選挙は、そうでなければ合意がなかったので、妥協の解決策であるが、古代のアテネ人は、すでに彼らが民主主義のイデオロギーを発見したときに、もちろん群れの動物の王国から、それを知っていた。
私たちはかつて封建主義（ハードパワー）、人/市民/領土/土地/家屋/車の所有権/愛の強奪/神の所有権/貨幣の所有権/継承権/権力の所有権などに対する所有権の主張を持つエゴイチを持っていました。

これは人間的・文化的な発明ではありませんでした!

人間は、群れの動物として、奴隷、仕事の動物であることを好む、ギリシャの哲学者ヘシオドは、すでにほぼ3.000年前に言ったと文句を言った、今日、私たちはこの柔軟な人的資本を呼び出す、私たちの新自由主義的な資本主義と消費者社会、政治的な共産主義と民主主義は考えられないだろうなしで!　これは、イデオロギーやプロパガンダや学校（国家）、広告やメディア（企業）、神の偽りの信念（宗教）のような他の心理的なトリックの助けを借りて、自然の法則の2つのアルゴリズムから派生した文化的な発明であり、もちろん武器の力で裁判官、銀行、秘密結社と一緒に。テンプル騎士団、オーパス・ダイ。イルミナチン、ロスチャイルド、ビルダーバーグ、スカル＆ボーンズ、外交問題評議会、国家機密サービス。
著者のヘルマン・プロッパは、彼の優れた著書「Die Macher hinter den Kulissen」の中で、世界のパワーエリートが1945年以来、どのように組織化され、世界の人口をコントロールしようとしているかを、非常に詳細に説明しています。　なぜ政党は自由ではないのか、その政治設計の中で、なぜメディアや大学は行動範囲が自由ではないのか、という事例を紹介している。

マトリックス 天皇・法王・銀行家
"ハードな肉体労働、家や子供の世話、隣人や家族との些細な喧嘩、映画、サッカー、アルコール（ドラッグやスマホ）、そして何よりもギャンブルが彼女の思考の幅を埋めていた。
抑えるのは難しくなかった。"

ジョージ・オーウェル著 "1984"

このモットーによると、2020年の近代までの鉄の時代には、パワーエリートが臣民を支配していました。

祈ります。
従う。
仕事をしています。
買う。
消費する。
税金を払え
- 死んで天国に行く

だから、もう一度。
これらは私がすでに書いた病的なナルシストや社会病質者です。
確かに、世界を支配するためのアジェンダを常に持っている個人の組織化されたグループがありました。
これはおそらく1万年前に都市王、王猿が彼の超EGO-ICHに服従し、力を愛し、これを実現するの

に十分な知的、精神的に病気であったときに始まった、彼らが必要とするのは羊です。

なぜ羊は羊に従うのか…
ここで起きていることは、基本的にはかなり簡単に説明されています。私は組織を持っている場合は、誰もが知っていると私が何をすべきかを理解する必要はありません…または教授ライナーMausfeldの羊の例。

子羊たち、羊飼いの犬、羊飼いは、群れの所有者が羊飼いに要求する彼らのタスクを実行しなければなりません。　課題は、子羊の世話をして保護しなければならないこと、黒い羊は、彼らが年末に屠殺場に運ばれるように分離しなければならないこと、それは眠っている羊が絶対に信じていないし、理解したいとさえ思っていません!

牛群所有者が屠殺場、卸売業者、小売業者とどのような契約を結んでいるかは、牛群所有者の関心事ではありませんし、牛群所有者が銀行、税務署、地元の政治家との契約を結んでいるかどうかも、牛群所有者の関心事ではありません。
以下の王国や帝国も同じように機能していますが、それらは単にこれらの非常識な野望の延長線上にあるだけです。
著者のヘルマン・プロッパは、現代の秘密の権力構造、ディープステート、そして今日も私たち-子羊-を操り、支配し、搾取しようとする見えない帝国を何十年にもわたって扱ってきました。

これは何百冊もの本で扱われてきたテーマです。
伝えなければならないことがあります。
独学自習
仮説や陰謀の神話。

プレアストロノーツ。
量子哲学。
知識の哲学。
魔法のキノコの世界。
臨死体験!

気候危機、青銅器時代の終わり
考古学者と気候学者は、文化的危機の証拠の痕跡を発見しました。　当時の主要な原始帝国のG-7は、すべての繁栄した経済、文化の変化、文化の進化は、北アフリカ（エジプト）と東洋で安定していた、これらの人々の名前は、もう私たちにはあまり馴染みがないが、私たちは映画トロイを知っている、私たちはラムセスを知っているし、それはその時代にあった、ピラミッドは、少なくとも2000年前からすでに存在していた！私たちは、映画トロイを知っている、私たちはラムセスを知っているし、それはその時代にあった、ピラミッドは、少なくとも2000年前から存在していました。

フリギア人、リディア人、ヒッタイト人は、今日のシリアからトルコまでの帝国であり、その文化は少なくとも4500年前にさかのぼる。
フェニキアは、今日のレバノンは3000年前にさかのぼります。

エラムとバビロニア帝国は、現在のイラン、イラク、ユーフラテス川とティグレ川の下流、ペルシャ湾まで遡ると5000年前にさかのぼります。
今日の北東アフリカからイスラエルまでを取り囲んだエジプト帝国は、5000年から1万年前の世界最古の文化であり、誰も知らない...！？
アッシリア帝国は、ウラルティア帝国、中央アジアにいわゆるオールドオリエントと呼ばれていた、それは約4500年にさかのぼります。
研究者たちは、この大災害にはいくつかの原因があったと考えていますが、そのすべてが一度に起こったことで、数世紀にわたって人類の文化が後退し、G-7の帝国が完全に全滅し、フェニキア人、エジプト人、ギリシャ人だけが残されました。

エジプトの現代の目撃者によると、地中海より北の沿岸地域からやってきたのは海の人々だったという。彼らは武器と征服の力を持って来たが、そうではなく、1,700年後のように、捕食バイキングが戦士だけで行ったように、これらの海の民族、9つの異なる民族が言及されていますが、また、彼らの妻や子供たちと一緒に来た - 新しい生活空間を求めて。 難民の波だったわけですが、この民族移動のきっかけは、ヨーロッパで始まった気候変動だったんですね。それは、常に人口過剰を補うことができ、今では反乱と自分たちの間で戦争の結果と、飢饉を引き起こした、そこに農業を停止状態に持って来た非常に少ない雨の乾燥した季節だった。それは我々が時間を計算する前の1250年から850年の間にあったので、約3,270年前になります。
これらのヨーロッパ人のためのこれらの気候と自然の力（そのような50年の長い地震のような）大災害の皮肉は、彼らが唯一の時間の遅れで、乾燥した季節も、東洋と北アフリカに拡張し、そこにも圧力の下でG-9帝国が飢饉をオフに設定し、したがって、また反乱と戦争を発見するために、彼らの祖国のローカルな大災害から逃げたということでした。
もし今日、地球上で大惨事が起きて国家秩序が崩壊するとしたら、電気が数世紀に渡って崩壊するとしたら、これは私たちにとっても、その時代の人々にとっても、再び石器時代には住めないということを意味しているのです。人類の知識は今でも本や人々の知識として存在し、次の世代へと受け継がれていくでしょうが、工場を稼働させ続けることはできず、電気自動車もなく、近代医療もなく、行政もなく、私たちが慣れ親しんでいるような財やサービスの消費もなくなるだけです--しかし、6600万年前の隕石のように、文化の進化を止めることはできません。6,600万年前、幸いなことに、恐竜の絶滅は花と哺乳類にとって幸運の一撃だったことを覚えているので、それは改善にさえつながっています（！）。

紀元前500年にペルシャとギリシャの最初の帝国を作成した文明の再構築があったので、非常に短い時間で、詩人や思想家のヘレニズムがあった、そこに巨大な技術の進歩があった、特に金属加工産業で...それは鉄器時代に来た。

人類の歴史は、新石器時代のコミュニティから地球をまたぐ帝国まで、暴君、苦しみや戦争の話でいっぱいですが、いくつかの捕食性の類人猿、アルファ動物から、自然と多くの人の搾取に関連した搾取、それは今日まで根本的に変更されていません。束縛はもはや鉄ではなく、資本主義のようなイデオロギーによって 精神的な束縛になってしまっただけなのです。価値の優先順位、自然の本能、ドライブ、野心、ニーズ、欲望、貪欲さ＆欲望、これは我々が考える方法です - EGO-I - 少なくとも...

しかし、私たちは私たちの覚醒、アリストテレス以来、ほぼ3000年前に、非常に、非常に知的に注意し、書面でこれを記録した人々は、古代の知識人の思考を聞くことを借りています。ユーチューブです。アリストテレス：人生を変える名言（古代ギリシャ哲学）と!
目覚めた、ナザレのイエスだけでなく、それに関連付けられている知恵のリストは長いですが、また、イマニュエル-カント、デビッド-ヒューム、ジョン-ロック、ハンナ-アーレント、アラン-ワッツ、エックハルト-トレ、カール-ヤスパース、ヴォルテール、ルソー、バークレー、ルター、クリシュナムルティ、オーショ、マンデラ、ガンジー、ショール、Dutschke、RAF、IRAなどなどを参照してください。

アルダス・ハクセリーは、例えば、コロナのパンデミックの中に、資本主義エリートが具体的で目に見える形で立ち向かう世界政府の戦略を見ているだろう アルダスは、痛みのない強制収容所（KZ）、涙のない独裁、人間の最後の革命を書いた; 薬理学的手段の助けを借りて、公共国家メディア、株式上場企業メディアは、幸せな奴隷を作成する
ノアム・チョムスキーは、メディアはただの
任務を遂行する：重要なイベントの情報を提供する
私たちの気をそらすために！

マルコムXはメディアが最も強力だと書いている
フォースの助っ人である彼らには能力がある
有罪を無罪にして
無実の人を有罪にして支配する
人の心

反乱軍＆改革派がこれまでのところ即時の変化を達成できなかった理由は、人口の地域的なズィットガイストが、子供の頃から一定の教化の対象となっている彼らの神経地図を構築し、維持するために、彼らのアルゴリズム上で十分な経験、教育、啓蒙 / 覚醒を持っていなかったからである - 彼らは自由意志と自由な思考を持っていなかったし、持っていなかったのだ!
精神的な奴隷制度は最悪の形態です　それは、私たちが従順であり続ける限り、自由であるかのような錯覚を与えてくれます。私たちは抑圧者 (ストックホルム症候群) を愛し始め、ミームの事実で私たちを自由にしようとする人たちを敵と考えるようにさえなります。
嘘は人類を、真実だけが解放できる状況へと導き、深く教化された人間には真実すら受け入れられない状況へと導いてしまったのです

ジドゥはこう書いています。
"自由を求めるのではなく！"

...赤い糸...

結語・貸借対照表

文化ミームの進化の始まりについて、確信を持って書けることは？

- ➢複雑な言語、文章、芸術が私たちをユニークなものにし、文化の進化を後押ししています。
- ➢農業の文化、定住の文化の始まりは、アルファ動物の群れと群れの行動 (順位付け) から発展した国家社会の引き金となり、国家暴力 (霊長類の攻撃行動) 、神秘主義の宗教 (ストーン・エイプ理論) 、物々交換経済 (強欲) のパワーセンターの始まりとなったのです。
- ➢マトリックス　信仰と暴力とお金は、今日の世界社会にしっかりと根付いています。人間の社会的行動は、完全に霊長類の社会的行動、自己中でナルシストなα動物の社会的行動がベースになっています。
- ➢動物には自由意志と自由な思考がない! 人間の子供や思春期には自由意志や自由な思考を持っている人はいません - ほとんどの大人はそこに到達することができません。
- ➢これが、権力中枢が作り出した、深い教化の連鎖システムなのだ! それによって、すべての以前のチェーンシステムは、彼らの世界征服という最終的な目標を追求しています。

- ➢考える人は、頭の中のアルゴリズム思考です。　　　生物学的意味の進化からの行列、観察者がクォークと文字列 (スレッド) の量子物理学の宇宙進化で観察されているのと同じように。

- ➢大惨事は常に長期的な進歩につながる。気候変動と過疎化は、石器時代以前からの移住の原因である重要な資源の不足につながる。

- ➢正義の法則は人間が発明したものではなく、動物の集団行動から導き出すことができます。人間の社会的行動は、他の類人猿や霊長類などの哺乳類の社会的行動が完全にベースになっています。これらの行動は、神経細胞とそのネットワークの中で、生物化学的、電気的に制御されています。

- ➢マトリックス、政治のためのプロパガンダのような深い教化、経済のための広告。　教会やモスク、寺院には精神的な鎖として歌やサガ、祈りや儀式があります。

- ➢サイケデリックなキノコを通して、死、生、誕生の偉大な全体に気づくこと。

➢人としてのあなたのバージョンを持っているものはありません。

鉄の時代

鉄と鋼の武器と工具

帝国とあなたのグループ-ヴォーク-国民の魂

自由とは、自分のやりたいことができるだけではなく、何よりも他人のやりたいことをしなくてもいいということです。

庶民意識、庶民魂、あるいは時代の精神
人類の歴史で知っているのは世界の69の帝国で、最大のものはエジプト人、ペルシャ人、ギリシャ人、モンゴル人、オスマン人、ローマ人（ゲルマン系キリスト教のヨーロッパ人）、キリスト教のアメリカ人です。彼らは青銅器時代末期の終末とローマ帝国の崩壊から、文化としてうまく生き残った人たちです。

帝国主義のサインファイン-国境なき支配
帝国は常に単独の世界征服を目指し、あらゆるものを支配しようとしてきました。これらの野望が現実のものとなるためには、専制政治が必要です--動物界のルールのように、平和的な交渉はほとんどありません......！？ これが最も純粋な形でのドミネーター文化であり、そこに神々への信仰心が加わると、「神々は私がすべてを支配することを望んでいる」ということになります。
カール・ユングはこの行動の中に、死に至るまでの犠牲と服従の意志を見ており、それは私たちのアーキタイプに深く根ざしています。
皇帝は戦争をします。多くの場合、武器を使って、そして言葉を使って、陰謀、裏切り、不和、狡猾さと悪意、これらすべてが戦争の武器であり、これらのアルファ動物のそれぞれが、正しいよりも悪い動物王国から持ってきたものです。　それは、ボノボの平和的な戦略（暴力の代わりにセックス）が一般的に受け入れられるようになるまでに数千年かかった、私たちのあまりにも多くは、私たちの自由意志が私たちと他の人にはるかに、はるかに少ない病理を持つ調停的な、非暴力的なコミュニケーションを適用することを妨げるあまりにも強い感情を持っていた。
私たちの間での取引は、この変化の中でその役割を果たしているでしょう。　私たちが帝国に住んでいて、戦闘でその帝国に敗北したとき、私たちは知っています：それは世界支配-世界秩序-世界政府についてのものであり、私たちは今から従う。なぜなら、社会に有意義に参加するためには、その国の言葉を話さなければならないからです。　　私がこの本で使っている言葉の多くは、ギリシャ語やローマ語に由来するものですが、2000年前には、すべてのゲルマン民族はラテン語をもっと上手に話すことができていたはずですから...。 イエスの時代のパレスチナには、知識人の言語であるギリシャ語がありました。　ラテン語は貴族や商人、裁判官、教皇、司祭、王、皇帝のためのもので、彼らはすべて両方の言語でコミュニケーションを取っていました。
イエソスなどは原住民で、主にアラム語で、このアルファベットにはJという文字は全く存在しなかったのです　当時の言語の進化は、現在の発展に比べれば原始的なものではあるが、グローバル社会において必要不可欠な課題を十分に伝えるには十分なものであったと言えるだろう。当時の言葉は、今の言葉を知らないことが多かった。今日の科学である量子物理学や量子哲学のそれらは、はるかに言語のミームの世界には存在していませんでした。　しかし、私は、ミームスピリッツがそうすることができたことは考えられると思いますが、人口のミーム的アルゴリズムだけで、時代精神はまだそれのために成熟していませんでした;しかし、彼らの脳はありました。
僧侶や戦勝軍団の側にある風潮のある歴史叙述は、現代の発明ではありません。神経言語プログラミング（深い洗脳）の形での条件付けは、古代にも存在していました。家族のメンバーシップからは、部族性と後の民族性、私たちが愛国心とナショナリズムと呼ぶかもしれない民族的な魂が来て、それゆえにEGO-ICHの2つの生物化学的および記憶的アルゴリズムに属しています。すべてのミーム-ウイルス、文化的進化の歴史のイデオロギー、宗教的、経済的、政治的な力によって導入された、東ドイツの1989年のものであっても、平和的な革命はありませんでした...とマルコムXはニューヨーク市で言ったように：　"それは平和的であるため、...であっても黒人革命は失敗した、我々は戦争ベトナム、韓国、ドイツで死ぬが、それは私たちに来るとき、我々は流血を恐れています！"と。
革命には常に一つの目標がある、とマルコムXは言った、それは土地であり、土地がなければ個人の自由はない。
国家間の戦争には、常に一つの目標しかない。それは、敵とその人口、金、原材料、そして彼自身の権力の影響力を拡大することである。　これは常にそうで、だからこそ、遺伝子に基づいた本当

の民族形成（民族の創造）がないのであって、私たちは皆、どちらかというと雑種なのです。
移住（必要に迫られて、あるいは貿易で）、あるいは権力闘争を経て!
この地球上に人間が描いたすべての国境は、何百万人もの人々の血で描かれ、都市王国から現代に至るまでの民族間戦争が行われてきました。1960年以降のアメリカの大統領は皆、戦争犯罪と人権侵害の罪で自分を罰するようにしてきた、とノーム・チョムスキーは書いている!
エジプト、ペルシャ、ギリシャ、ローマの皇帝（皇帝）は、敗北した民族、その臣民の貢物（関税、税金、安い労働力や原材料）なしでは、どのようなこともできませんでした。エジプト人、アッシリア人、そして後のペルシャ人は、すでに国境の道路に国境管理をしていました。お金へのアクセスは、戦争と銀行を介して、行政、軍（兵士とスパイ）、戦争と商船、彼の一流の大邸宅、人々のための寺院、橋、彼の道路網などで彼の帝国を維持するために必要であったし、それはアッシリア人が青銅器時代後期にそれを開始したと書くのが妥当である - なぜそれはそれからそんなに時間がかかった
最初の都市と農耕国家 - 少なくとも6000年 - 私の知識に説明することはできませんが、我々は多くの憶測や失われた文明の理論のための証拠を欠いているが、彼らが存在していたことは、私の意見では非常に可能性が高いです
しかし、確かなことは、青銅器時代から鉄器時代の間に、約3220年前の気候の大災害の後、アルファ動物の男性優位文化のためにかなりの力が生じたということです。そして、自然科学や精神科学におけるミームスピリッツの爆発；ソクラテスの影響下にあったヘレニズムの哲学は、プラトンに民衆の支配（民主主義）を不条理であるとして却下する十分な理由を与えた。羊飼いの動物、人間の運命は、決定されたのと同様に、その時すでに羊飼いに従う羊であり、19世紀にだけ-啓蒙主義のエポックで-真剣に神王から政治家および議会への質問され、変更された; 主にマルクス、エンゲルス、シュタイナー、プラウドン、クロポトキン、バクニンおよび他（無政府主義者）のような現代的な精神によって。
タキトゥスとキケロの多くの文書には、ローマ帝国がキャンペーンで残忍に拡大したところはどこでも、野蛮人（野蛮人）を発見し、文明を置き去りにしたことが記録されています。それは、道路や橋、大規模な農場やスパ、井戸や下水を建設した彼らのマスタービルダーでした。
商人と商人、職人と商人、哲学者と科学者、芸術と文化、そして被服された人々は当然のことながら、原材料や奴隷の形でローマに課せられた課徴金を支払わなければならなかったし、すでにお金を持っている場合には、貢物や税金も支払わなければならなかった。帝国とは、やはり偉大なマネーマシンである。そして、ゲームをマスターした者は、新たな成功したルールをプレイに持ち込む。
帝国を成功させるためのもう一つの戦略があります。

➢ディバイドと征服 - ディバイドと帝国。

皇帝ユリウス・シーザーは紀元前55年に『コメンタリ・デ・ベッロ・ガリカ』を書き、ガリアとブリタニカでの作戦がどのように勝利したかを説明しています。これはまだ、人口内の第二のドレッシングの政策の助けを借りて、彼らはあなた（私たち）に反対しているので、我々はそれらを戦わなければならないことを意味します - 右/保守、左/リベラル、右/資本主義者、貧しい/社会主義者、共産主義に対する民主主義を参照してください。中国とロシアという異常な文化国家が敵対している（アメリカ）というのは、バカな人しか信じないバカなプロパガンダでしかありません。愛国心は、この二国を原爆で破壊することの愚かさをよく擁護しています

実際には、どのような単一の帝国も
ユーラシアのような巨大帝国、長期的に支配する
ハードパワーでは、それがないだけで
手元に十分な自国民がいて、また
他地域の人々の支援を受けに行った
これではなく
しばらくはソフトパワーでしかできません。

世界帝国は、長期的には外交的な同盟とソフトパワーによってのみ存在することができ、他の（クライアントの）王と権力と利益を共有し、彼らの貴族や元老院のコミュニティ内で、その結果、忠誠と服従を受け取る場合。　これは、すでに帝国に支配されている国でも起こることで、ローマ人は、とにかくお互いに戦争をしている民族グループとその兵士を選び、どの政党も（経済的にも軍事的にも）帝国にとって深刻な脅威となりうるほど強力になることを防いだのです。なぜなら、服従していたすべての人々は、ローマの州として、物品、人（奴隷や兵士）、原材料、貴金属などの形で貢物や義務を支払わなければならなかったからです。- したがって課税対象となります。

第二の医学は、パンとゲームです。
-パネムとルドス

社会の中でパンを手に入れるためには、私たちのほとんどが（給料）奴隷でなければならない、定期的な収入のない男は、食べ物のない5日後に不快になる、食べ物を得るために男がすべてを行います。したがって、それは
不況でも経済を維持するためには国家が欠かせない。

猿とその仲間が満足していれば、反抗の形で求めることはない、つまり食べ物が十分に安くてお腹が満たされていれば、動物であっても求めることはない。私たち人間も国家から年金や失業給付、社会福祉や健康保険を受けているのであれば、まだ反乱は起きていません。個人の自由の最低基準が存在することを条件に　そして、精神、EGO-ICHはまた、政治的なプロパガンダ、教会の訪問、スポーツイベント、テレビ、コンサート、休日や他の公共＆民間のニュースメディアによって楽しまれている場合は、すべてが罰金です。また、現在私たちが経験しているコロナ危機の時、マスコミは国家に忠実に報道し、社会に批判的な報道をしないことにも気がつきました。　マスコミは評価しないと中立的に事実を認識できない。彼らもそうではなく、足りないのは、権力エリートの輪の中からポジティブな出来事やネガティブな判断を客観的に報道することだ。
そして、良いニュースの文書化とは、出来事の分析と編集者の予想される結果であり、ここに質の高いジャーナリズムが反映されています。
情報は公共財！？

すべてのメディアが取り組むべき中心的な課題
の第四の力となることを世界的に約束しています。
状態 - パワーエリートを制御する機能です。
と、そのタスクを、理由はともかく
ずるい

教授ウルリッヒTeuschは、プレスは当然のことながら、実際の世界の出来事を提供していないことを彼の本Lückenpresse（ギャッププレス）に書いているが、それは傾向があり、それは1960年以来、ダブルスタンダードで測定しています。
編集者の好みに合わせて事実を曲げるのは、昔からジャーナリストの常套手段だった。調査ジャーナリストのGaby Weber、Rainer Höhling、Gerhard Wisnewski、Dirk Pohlmann、Udo Ulfkotteのような例外はルールを確認しています - KenFMのインタビューを参照してください。
私たちが強制的に資金調達をさせられている公共メディア、つまり国家条約を結んでいる国営メディアには、実は政治や経済を監督する義務があるのです!
民間メディアの報道は、また、政府のプロパガンダに従うように並べられています。

大切なことは学ばず、大切なことは学ばず
重要なのは、私たちが何を学ぶかである、とダーク・ポールマンは書いています。

2020年には、ここでいかに素人的なジャーナリズムが行われているかが信じられないほど明らかになっていて、国民はそれに対して反乱を起こそうともしないし、知りたいとも思っていません

社会的理性の崩壊はその結果であり、一部の人がインフルエンザで病気になったために世界の人口を閉じ込めることが実際に可能になった、非常に、非常に少数の人がインフルエンザで死んだ（2020年8月時点で80億人中60万人）、コロナウイルスはインフルエンザウイルスが毎年殺すよりも多くの人を殺すことはない、ノーベル賞を持っている医者はそう言っているのだ！」と。

ルパート・マードック、ジョージ・ソロス、ロックフェラー財団は、世界の通信社のほとんどを所有しており、ソーシャルネットワークを含むすべてのメディアに供給しています。
中央銀行を全て所有している家族よりもはるかに少ない。　情報の民間独占があると、明らかに情報の自由な社会に支障をきたすのではないでしょうか？
お金の創造システムが私物化しているのは社会問題ではないのか！？
マトリックス帝国は終わり、しばしば誰も気づかない
これまでのところ、世界の69の帝国の一つ一つが崩壊しており、崩壊の時間はかなり驚くべきこと

に、かなり迅速に来ました：ペルシャ帝国は、王クセルクセス（ギリシャ人に紀元前350年にダリオス大王の息子、一夜限りの戦いの後に崩壊し、家族の王朝のわずか100年後にそのこと。
アレクサンダー大王が来たギリシャの家族の王朝は、 - - 200年間、ローマ帝国に対してその家族の帝国を守ることができました; 紀元前50年に彼らは一晩で負けた。 その後、ローマ人は約500年間、経済的、政治的、軍事的覇権を掌握し、キリスト教ゲルマン民族に力づくで引き渡しました。ローマがすでに崩壊していた時に、彼らはローマの支配を引き継いだのです。
全てがそうだが、それでも文明開化のために500年の繁栄は良かった。5世紀に西ローマ帝国が崩壊した後、ローマ人の遺産をめぐって、飢饉、無法地帯、王になりそうな者同士の確執などで移住の波が押し寄せました。誰もがレックス・マグナス、偉大な王になりたいと思っていた、あるいはより理解しやすい：偉大なアルファアニマルになりたい、そのためには常にナルシストなEGO-ICHが必要です。この時点で注目すべきは、ローマ帝国の全皇帝の62%が暴力的な死を遂げ、69人の皇帝のうち43人が暗殺未遂の犠牲になったり、戦死したり、自殺したりしたことである、とDIE ZEITは27.12.2019.27号のNo.1で書いている。

そのため、今と同じように、多民族の魔女の大釜が作られました。フランク人とテュートン人の間の権力戦争、ドイツ人の友愛戦争、フランコニアのシャルルマーニュ王が、18世紀と19世紀の啓蒙主義の時代の民主化運動に1000年後に彼のヨーロッパ帝国-神聖ローマ帝国-を失うことになるまで、です。1806年、ローマ法王によってマトリックス・ドイツは国家として宣言された--神聖ローマ帝国のドイツ国家。 ここで簡単に言及しておきますが、自分自身を皇帝に戴冠させるためのルールは、ローマ教皇の同意があって初めて皇帝の称号を得ることができたので、ローマの教皇の手の中に権力のヒエラルキーが明確に置かれたのです。
その後、20世紀の2大世界大戦が勃発し、世界支配のカードが再編成された。ドイツ帝国はわずか数年で崩壊した。大英帝国はわずか17年、ポルトガルは1年、フランスは8年、オスマン帝国は11年、ソ連は2年で崩壊した--1989年以降、ほぼ100年の支配期間を経て、アメリカ帝国の時代もカウントされている。

システムは、GGGパワーセンターの行列が残っていたが、私はこれがばかげていると思う。 私たちは、封建的な中世にどのように人々が住んでいたかを歴史から学び、私たち一人一人がより良い人生を歩んできました。20世紀末、私たちは西洋で東洋の人々の生き方を学んだ後、実際には社会主義共産主義を意味していたのですが、私たちは皆、当惑して首を横に振ったのです。 しかし、私たちはそこで立ち止まって、私たちの行列に疑問を抱かなかった - それは同じように不条理でグロテスクである。

マーカンタイル・パワーセンター、帝国、そしてファシズムのマトリックス。
怪物は人を食べるし、イベント的にも人を食べる。

クリス・ヘッジスによる

ユーラシア戦略
その新しいロシアと中国は、世界の権力を乗っ取ることに正しく興味を持っていて、彼らは西洋のモンスターに反対しています。
1917年にアメリカ帝国がヨーロッパに軍事進出して以来、ユーラシア大陸と呼ばれる大西洋からシベリアのベーリング海に至る40億人の土地は、民族が一つになれば世界を支配する力を持っていたのです。 この地政学的な戦略は後に扱うが、これだけ事前に：中国はおそらく、コロナ・マスク・プラネミアの影で、21世紀の新帝国となるだろう。
THE MATRIX: 教会、モスク、寺院などの施設
制度宗教の集団的、偏執的な統合失調症...それは人々に多くの苦しみを与えたが、それを克服した人々もまた存在する、とヘレン・ケラーは書いている。組織化された宗教の不誠実さは、動物の行動を利用することです。子供は、すべての若い動物のように、両親や家族のグループからすべてを学び、ここで宗教は子供たちに信仰を教え込み、子供の意識の中にしっかりと定着させ、多くの場合、彼の人生の残りの部分のために...そして一度子供が親の役割を取ると、それはその子供たちにその祖先の信仰を教えています - ほとんどの場合、これはケースですが、私の場合、私は私の若者の間にすでにキリスト教の信仰パターンを破った。

"地球上では、暴君は人間の自由を否定する。イデオロギーはこれによって人間の精神を形作る、彼らの儀式、教義と伝統を持つ司祭は人間を奴隷にし、彼らの果てしなく空虚な約束、嘘と欺瞞を持つ政治家は、精神的な束縛でそれらを維持する - 人間に対する人間"。

Jiddu Krishnamurti

￼
最初の先進文明、最初の権威主義国家や原始帝国は、今日でもエジプトで見ることができる石造りの神殿を最初に建設しました。 考古学者のために正しく証明可能な時間は、紀元前500年までお互いに戦争をしていたエジプト、アッシリア、バビロニア、シュメールの宗教文化と、約5,000年前の時間です　-　そして、我々はそれゆえに、この地球上の少なくとも24の異なる、注目すべき文明（民俗魂）を知っています。
思想信条はメメウイルスへの服従である。
迷信はこの集団的なメメウイルスへの抗議である。
ここエジプトでは、デマゴーグとそのプロパガンダ（多神教 / 多神教）による神々のカルトとして、社会の集団的な精神病が始まりました。　歴史的に暴力行為のほとんどは、不服従からではなく、権力への服従から生じたと歴史家のハワード・ジンは書いています。　ここにも運命を信じる気持ちの始まりがあります。男は、なぜ自分の人生がこのようになってしまったのか、他には何もなかったのか、高僧やシャーマンは、自分たちの神がすべてを計画し、生け贄によって自分たちを鎮めることを約束することでお金を稼いでいた。先見者＆sothsayersはまた、そのようなチャラタンであり、彼らは話すために言葉の芸術を使用していますが、何も言うことはありませんが、すべてのことができ、何もしなければならない - 我々は、すべてのものが来て、行くことができるように書かれているホロスコープからこれを知っている、それは証明可能または検証可能ではなく、明確ではなく、理解可能ではありません。　そして、同じスタイルで、彼らはUpspanushads、死者のそのチベットの本やI　Ching、ギルガメッシュ、トーラー、カバラ、聖書、コーランについての本を書いた　-　2と曖昧な、何も具体的な...我々は、いわゆる専門家と今日でも、政党の会議や意図や選挙の約束や経済や科学的な仮説、統計、予後の彼らの宣言で、これを見つける：ブラブラ、ブラブラ、ブラブラ！私たちは、いわゆる専門家とこれを見つける。心理学者はそれを曖昧さの許容と呼んでいます...もちろん、人はいつでも力学やカオスの力を非難することができますが、そこから作られるお金がなかったので、ほとんどの人は、ホロスコープ、占い、占星術、生け贄の動物の内臓を読んで、私たちに個人的に害を与えようとしている邪悪な悪魔をまだ信じています...残念ながら、神々は無駄に愚かさと戦っています....！？
誰も本当は何が起こっているのかを理解していない、とテレンス・マッケンナはかなり正しく書いている!

イスラエルの第12部族は、おそらく約5-7.000年前にさかのぼり、奴隷としての彼らの運命は、エジプト人とペルシャ人の年代記から独立して確認することができます。ヘブライ人の羊飼いアブラハムによって発明されたユダヤ教は、キリスト教の前身である（大工イエス（約1,600年前）と商人モハメド（約1,300年前）によって発明されたイスラム教徒によって不随意に）。
2,500年前のヘレニズム時代、ギリシャとローマのスクライブス（ソクラテス、アリストテレス、プラトン、ユークリッド、ディオゲネス、プルタルク、エピケト、そしてセネカ、タトゥキトゥス、キケロ、アウレリウス）は、その後、ユダヤ教/キリスト教やアジアのヒンドゥー教など、個々の文化の歴史の証言を書面にして後世のために不滅にしました。
これらの「ミーム文化の技術者」が感染した/説教された。あなたは重要ではありません、あなた

は落ちこぼれです、あなたは生まれつき罪人であり悪です、神はあなたの人生のすべてであり、神はすべてを決定します、あなたは従わなければならない唯一の神の道具であり、祈らなければなりません、あなたが従えば、神はあなたの魂の救いを救うことができます、死に至るまで！あなたが従えば、神はあなたの魂の救いを救うことができます。
強調する必要はありませんが、（死）罰を与えられると脅されても、すべての人がこの意見ではなかったということです--EGO-ICHは幼少期から成長していると、そう簡単には操作できません......
私なら火あぶりにされていたでしょうね

ユダヤ教、キリスト教、イスラム教

ヘブライ人の民であるイスラエルのセム系12部族の一神教（一つの神）は、エジプトでの多神教やアクナトンの短命な一神教から、もともとアラビア半島から来たセム系のユダヤ人のミーム信仰へと発展していった。
他の結果として生じるメメウイルス信仰：キリスト教とイスラム教は、その起源をアダムとアブラハムにまで遡る宗教として、その起源で一致しています。
宗教です。

メメウイルスは殺せないが、殺す
人々よ、共産主義を見よ！

これら3つの宗教にとって、女性と奴隷は無法で、不純で、ほとんど魂のない生き物だったのです。彼らにとって女性は、母親を含めて奴隷とは言わないまでも、もはや下僕ではなく、出産のための機械であった - それはおそらく性差別を説明しています。
しかし、三帝国の神々の世界やゲルマン民族やアフリカの部族は、女性を崇拝し、女性に権利や女性の神々を与えていました。
紀元前722年から586年にかけて、ユダヤ人はアッシリア人やバビロニア人と戦争をしていましたが、彼らが失ったものはすべて国外追放され、奴隷にされてしまいました。その後、ユダヤ人の神ヤハウェは、紀元前1000年にダビデ王とエルサレムの神殿の後に、トーラー（ユダヤ人の聖典）に破滅の予言を書きました。メシヤ（私が油注がれた者）が来て全世界を贖い、調和して生きるようになるまでは、あなたがたが再び主権者になることを望まない...それまでは流刑になって生きることになる...」と言って、メシヤであり、すべての罪人の贖い主であると主張する者が多く出てきた...。これは、キリスト教の黙示録の予言がすぐに来るとされていたように、すぐに来るとされていた救いの予言である--しかし、まだ長い時間が経っていないのである。紀元前539年にバビロニアの束縛から解放されたユダヤ人は、1946年まで流刑生活を送っていました。これは彼らの神の意志ではなく、１９０４年のテオドール・ヘルツルの意志だったのです

今日の人種差別主義者のシオニストは、以下のように見ています。
しかし、異なる方法で、何十年にもわたって
は大量虐殺を続けている - ガザは
KZは他に言いようがありません。
同胞の心に傷を負わせる
パレスチナ、また、他の近隣のアラブの人々に。
これらは戦争犯罪であり、博愛主義の
米帝、NATO、サウジアラビア、カタールと
にファクトチェックをしないメディア
プロパガンダを暴くために、応援しましょう

ヘブライ人のユダヤ教は、エジプト人、ペルシャ人、ローマ人などの力の帝国によって奴隷にされたとされる12部族（ファリサイ派、エッセネ派、狂信者など）に由来すると言われています。　彼らの聖なる戒律の多くは、これらの帝国ではすでに法的なテキストだったので、正直に言うと、彼らは基本的に何か新しいものを発明したり、人々の搾取を防ぐための新しい方法を見つけたりしなかった改革者でした。トラウマを抱えたユダヤ人は、自己愛に傾倒していたので、彼らのEGO-ICHはヤハウェ＆ルシファーと呼ばれる家父長制で二元論的な神を作り、彼らの（人々の）神でしかなく、彼は他の民族を人間の生き物として受け入れず、彼自身の罪深い民族に対して常に怒りと無慈悲な態度をとっていたのです。エゴイチは神に選ばれることを愛していた......！？
これは実は、このナザレのユダヤ人イエスが、山の上の説教の中で、他のことの中でも特に理解し、私たちに教えようとしていた最も重要なことでした。

- 愛だけは、愛だけは、他には何もない!
- ガンジーやソクラテスが言ったように、右の頬を叩かれた時は左の頬を向けなさい：不正を受けることは、報復のために不正をするよりも良い......!
- 進んで死に向かう彼の信念のために、それは十字架刑です。
- 隣人だけでなく、敵をも愛しなさい。
- 主よ、彼らをお赦しください。彼らは何をしているのか知らないのです。

- ➢権力と富を放棄し、（物質的な）貧しい者は祝福されている
- ➢祝福されるのは与える手であって、奪う手ではない。だから私たち一人一人のために正義の愛＆赦しを!
- ➢彼は、罰と報酬の原理が不合理で有害であることを発見し、イエスと彼の「治療的な教え」について、オイゲン・ドリューマン（神学者・心理療法士）はこう書いています。

これらは、彼らは私たちの2つのアルゴリズムに対して絶対に実行されるため、達成するためにすべての人間のために非常に困難な名誉と絶対的に重要な目標であり、それは仏が皆から仏を作るために始めたので、これらの必要な教えのいずれかを取る、ない信者は、オートマティズムを開発した人は非常に少ないです。なぜ無条件の愛が大切なのかは明白ですが、敵を許してください、私を牢屋に入れた姉を許してください、私を騙して盗んだ娘を許してください、他のすべての人を許してください？費用対効果の計算として許す意味は？

- ➢復讐は永遠に精神的な鎖に繋がれる
  赦しはそれらの鎖を断ち切る！
- ➢しかし、そのためにはまず自分を許す必要があります。
- ➢ならば、私は敵の中にある善と欠点を見なければならない。　敵は私に人生の良い教訓を与えてくれました。

霊的に成長するためには、この教えを学ばなければなりませんでした。だから、許すことは特に自分のためになりますし、それはポジティブなことです。

イエスは実は心理療法家であり、反抗的な政治家でもあり、剣と火のない、私有財産のない、貧しい人のためのパンと薬の提供など、神の国を建設しようとしていました。だから、愛（ケア）の力、赦し、すべての民族の共存-ソクラテスに次ぐ第二の社会主義者。もしイエスがマタイが自分の名前で福音書を出版することを知っていたとしたら
...それゆえ、すべての国に行って、すべての人々を私の弟子にする - 父と子と聖霊の名において彼らに洗礼を授け、私があなたに命じたすべてのことに従うように彼らを教える.... "この疑惑の大いなる使命は、1日に彼の教会につながった彼の宣教師の戦士を持って来る狡猾さ、欺瞞＆暴力で世界に、何百万人もの死者と、1以上。　800年の間、ああ、彼は人間の善の信仰と地上の代表者である教皇に絶望するだろう
彼は物理的＆精神的暴力を望んでいませんでした。
彼は理性を求めていたが、これが躍進につながる!
エゴイチには不可能と思われる何か、二人（ガンジー、イエス、ソクラテス）は最終的にすべて殺された（！）し、私でさえ、この数年後には、理解するのが難しいと思う、それをバカとさえ呼ばないなら、それはすべて道徳＆倫理についてのものである-知識の理論！それを理解するために、私はそれを理解することができます。
その後、私が言えるのは、J.クリシュナムルティとM.ガンジーについては、彼らが非暴力コミュニケーションを説き、実践したとしか言いようがないのですが、実際に自分の教えを実践している人はあまりいません。

自虐的な人間-信者-狂信者はナルシストでサイコパスな狂信者
少なくとも彼らは彼らの考えで限られていて、彼らのイデオロギーによってシステム的に深く教化されて、EGO-ICHの生物化学アルゴリズムに落ち込み、自由意志および自由な思考を持っていない、彼らは空想から病的に苦しむ。　恥ずかしながら私を裏切った私の家族に関連して、少なくとも報復と血の復讐攻撃を放棄するために今日の私のためにまだすごーく難しい思考パターンは、私を騙した - はい、私の肉体的な子供たちのいくつかからも...あなたが何をしているのかわからないので、半分は悪い...イエスの言葉は正しかった！私はあなたが何をしているのかを知っていないので、私の家族は、私の家族の一員であることを確認してください。
しかし、これらの思考パターンは、一つのことを非常に明確にしています、つまり、私たちは自由意志を持って、二つの生化学的アルゴリズムと暗黙のアルゴリズムに抵抗することができるということです。なぜなら、赦し、許し、隣人を自分のように愛することに意味があるからです。この本の中で私たちは、人類が自分自身とその対種との間で繰り広げている絶え間ない戦争について、今日まで、もっと多くのことを読むことになるでしょう。戦争は紛争を解決するための短期的な解決

策であることは何千年も前から知られていますが、長期的な解決策にはなったことがありません。自分のアルゴリズムに逆らうのはとても難しいし、自分の子供でさえも、誰も彼らのアルゴリズムに従うことを責めることはできません - 私たちは意志に自由がなく、思考に自由がないことが多いのです。
キリストの地上の代表であるバチカンのローマ法王はその好例で、１５００年もの間、赦しを説くと同時に、イエスを十字架に連れてきたことを理由に、信仰を持ったユダヤ人の兄弟を虐殺してきた。彼らはフースやウィクリフのような中世の時代に仲間の信者を虐殺し、特に - ドイツでは - マルティン・ルター、ツヴィングリ、エラスムスによるプロテスタントの設立（1511年） - そして1499年にはスペインでムーア人に対するポグロムが発生した。
中世では、豊富な食料を持った女性や子供、老人たちが市場に出向き、歓声と誇大な宣伝をしながら、公共の祭りとして残酷な処刑に参加し、嘲笑と嘲笑で処刑を非難していました。
ロドリゲス・デ・ザヤスがドイツファンクの放送で反乱について語っていました。今日、アメリカの基本的なキリスト教徒が権力を握っており、原爆のボタンを押した自分たちの一人が、善（キリスト教徒）と悪（イスラム教徒）の間の最後の戦いであるハルマゲドンを望んでいるのです。
だから、過去だけでなく、現代でもジェノサイドを証明することができるし、人類に対する大量虐殺や犯罪を正しく語ることができるし、アメリカのコロンビア前のインディアン、ヨーロッパの異端審問（考え方の違う人たち）、ドイツのKZ　Ausschwitzでは、バチカンは常に権力中枢の一部だったし、世界史の戦場で神の名のもとに殺し合ったのは、カトリック・プロテスタントの兵士、処刑人、裁判官だったんだよ！」と。
ローマのキリスト教
キリスト教はヨーロッパ人によって発明され、彼らはイエスという名前の男の物語を取った、ローマ帝国の遠い隅に住んでいた人、何百年も前に - パレスチナで。
これはどのような宗教ですか、ロドリゲス-デ-ザヤスは、その基本的なシンボルは、死、その苦しみ、痛みの叫び、その血を表しています。カルトのオブジェが他の宗教よりも病的で病的な死骸（遺物）の一部である宗教。死の恐怖、地獄の恐怖、罪の恐怖に基づいて、影の領域のカルトのようなものではありませんか、ロドリゲスは正しく述べています。　これまでに発明された中で最も完璧な服従の道具ではないでしょうか？もちろん、これらの教会にも立派なメンバーがいましたが、それが教会の功徳だとは思いません。
バチカン-信仰の権力中枢-は、このことで非難されることはなく、機関として叩き潰された。
アドルフ・ヒトラー、ヨーゼフ・ゲッベルス、アドルフ・アイヒマン、カール・シュミット教授などのようなユダヤ人の殺人者は、すべてカトリックの思想家であり、聖なる教会の歴史の中で、ユダヤ人の殺人者は一人も破門されたことがありませんでした、つまり、彼らは教会の教義に違反していませんでした。
いいえ、バチカンはまだ国連（国連）の席を持っており、政治保守政党で表されます。国際社会はローマの聖座を非難し、罰することはありませんが、また、イスラエルのシオニスト...中国がカリフォルニア州を併合し、ロシア人がバイエルン州を併合し、地元の人々を奴隷にし、搾取する想像してみてください - それはまた、いわゆるテロリストとの反乱を作成することになります
ローマ法王とシオニストは権力の中心で暴力を使い、彼らは神の戒めに従わず、殺し、盗み、偽りの証言をする--彼らは神の戒めをすべて破っている......! これらの機関のために心理学の助けを借りて、精神的条件付け、深い洗脳を完成させている...この時点で私はまた、注意したいと思います：ユダヤ教、キリスト教、イスラム教徒は、彼らがパレスチナとArabayaのアジアの宗教の影響を恐れているので、個人的な啓示を除外します。ブッダは個人的な悟りの話をしましたが、心の覚醒は、アジアだけでなく宗教においても重要な役割を果たした麻薬消費後のエクスタシーのように、アジアにおける彼らの哲学の中心的なポイントです。皮肉なことに、当時のパレスチナの宗教学者の多くは、すべてのサイケデリックドラッグを崇拝し、アジアとキリスト教の起源のそれらの信念の継承者である密教者＆Gnosticsであった、とジェラルド・メサディエは書いています。また、1世紀にはギリシャ・ヘレニズム（エレウシンの神秘）やユダヤ教とも接触した。　グノーシスの本質は、超越、知識の探求であり、私たち全員の中に神聖な閃きがあるという信念であり、それは私たちがより積極的になるために学ばなければならないものであり、彼は彼の本の中で次のように書いています：　"...また、イエスは仏教、グノーシス的な流れ（記憶のアルゴリズム）によって捕らえられ、形作られたものであり、彼のたとえ話のようなスピーチは、私たちが新約聖書の中で読むことができるこのことの証人である"。
宗教は、この地球上で私たち人間が話す個々の文化、伝統、言語と同じように織り込まれていることは、読者にとってあまりにも明らかである。
口論するアブラハムの大祭司（ユダヤ人、キリスト教徒、イスラム教徒）は、神の唯一の代表者ではなく、恐怖に頼り、私たち人間を救うことができる唯一の者として自分たちを提示することを好みます。
これは第一段階の深い教化だ！

高く評価されているハンナ・アーレントは、ユダヤ人の祖国からの追放、追放を、国家と宗教の間の信仰の架け橋として光明にもたらしました...このことは、ユダヤ人がおそらく無条件に自分の国籍と宗教を結びつけている唯一の地球人であることを意味しています　-　そしてそれは2000年の間。　この時点で注目すべきは、ユダヤ人は先祖代々の土地でUNOによって自由を与えられ、わずか5分後にはすでに自由を失っていたということです。
これは、若いFRG　1949年、GDR　1989年は、1789年のフランス人と1776年のアメリカ人のように、基礎の直後に彼らの自由を失っていたので、私たちを非常に驚かせるべきではありません - 各革命はただ次のものへの衝動を誘発した、それは常に力を失ったスーパーEGO-ICH個人であった、一般的に力を獲得し、力を愛しています。　　私たちはまだそれに集中的に対処しなければならない、それは最終的に私たちのすべての心を支配したいと思っている実際の宇宙のパワーセンターに私たちを導く。
もちろん雲の中の神、天国や地獄の話をしているわけではありません、いや、私はただここであなたを気取っているだけではありません--この話は6000年も前から本当につまらないものになっています、あまりにも陳腐で、疲れた...ただ退屈で、グロテスクで、不条理で、世間知らず：サンタクロースもサンタクロースもいません...あるのはミームの精霊だけです...。
ここでは、このようなマトリックス、神々のカルトを、時代の精神の中で、まったく生き続けてきた集団的、偏執的、統合失調症的な施設、そして何よりもその信者たち、集団的な精神病についても語ることができます。　なぜなら、イエスが実際に生きていたという証拠があっても、アレオパゴスのアテネでの弟子の説教のように、事実を理解することは非常に難しくなってしまうからです。
十字架刑は、常に目の高さで、裸の繊維の破片で行われ、死は、胸が崩壊したので、窒息によって、数日後にのみ行われた;と彼の十字架刑も　-　これは、ローマだけでなく、ペルシャ人によって実施された一般的な処刑方法でした。　　これは西暦27年に起こったとされていますが、その歴史は、ローマの歴史家セフォニウスによって西暦71年に独立した情報源によって書き留められているだけで、それは一般的にキリスト教徒について報告されていた;　ゼアロットのユダヤ人部族が反乱を起こし、西暦66年にローマ帝国と戦った後、ローマが前例のない残忍な反撃で西暦79年にエルサレムの街を取り戻すまで、ユダヤ人は何世紀にもわたって戻ることを許されませんでした。　イエスの正式な死からわずか数年後、パウロはキリスト教に改宗しましたが、それはまさに新約聖書によると、イエスは彼の理不尽なプライドのために、彼の側にとげがあったからです。おそらく、イエスの名によって教会を建てることになったのは、ファリサイ派のパウロだと思われます。彼は、ローマ・ギリシャ世界を宣伝旅行し、ローマ、アテネ、アレクサンドリア、エフェソス、コリントなど、人口密度が高く、あらゆる種類のウイルスに感染しやすい大きな商業都市に、信者仲間（陰謀者）に手紙を送っていました。　パウロは書いています：「キリスト教会は、復活祭の朝、彼の墓からイエスの復活の噂で、...しかし、キリストが復活していない場合、それについての私たちの説教は、信仰も無駄であると言うことができます。
教会史家のジェラルド・メサディエは、彼の著書の一つである「イエスという名の男」の中で次のように書いています：「イエス自身の弟子たちが語ったパウロとヨハネの証言以外に、その存在を証明するものはありません。エマオで弟子たちが彼と出会った経緯が記されており、権力の中枢とのイデオロギー的な反発から海外に逃亡したことは容易に想像できる。そして、それはヨーロッパの十字軍、イルミナティ、イエスがマグダラのマリアと一緒にフランスに逃げ、ダン・ブラウンが彼の本の中で詳細に説明したように、王室のメロビンジア王朝を設立したという陰謀論を与えた：イルミナティ。円卓 - 世界のすべての支配者は、すべての政府が解散し、彼らの力の順序を使用したいと考えている組織。　しかし、私の考えでは、キリスト教は地球が平らであるというような陰謀論の神話に基づいています。あまりにも多くの矛盾と不条理があり、神話はただのおとぎ話であり、この場合は聖職者、貴族、王に物質的な利点を与えたmemevirusである　　-イエスはバチカン（ローマ）を拠点とする「キリスト教AG」という搾取組織の道具となった。

いずれにしても、ローマやギリシャの世界がキリスト教によってメメに感染するまでには約400年かかり、最初は女性や奴隷を中心に--キリスト教にはすべての人に救いのメッセージがあったからだ!　　アテネのアレオパゴスに関するパウロの説教：「...すべての私たちの神は、金や石でできた神々の像のようなものではなく、人間の考えで作られたものではない...いや、私たちの神はご自身を私たちに明らかにしてくださったのだ。多くの人が彼を見て笑い、多くの人がもっと知りたいと思っていた...!　今日でもイエス様とその普遍的な救いのメッセージについて人々を感動させているのは、人種差別や階級の違い、奴隷や皇帝などではなく、すべての人に適用されているということだと思います。　イエスが話したこの新しい契約は、ドグマであった：イエスは私たちと神の間に立って、言い換えれば、神は人間になった - 彼は彼のイメージで私たちを創造したので - この神はエジプトのハイブリッドではなく、ギリシャの半神ではなく、誰もがそれらを持っていたので、...イエスは神が私たちの中に住んでいるという事実について話した！イエスは私たちの中に神が住ん

でいるという事実について話した

イエスの後に商人ムハンマドが来て...

後進国のキリスト教文明よりも中世の方が進歩的で人道的だったので、イスラム教の方が少しはマシだったが、今日に至るまで、彼らはヨーロッパ人やアメリカ人の兄弟姉妹から猛烈に、そして人種的に虐げられている。　　ムハンマドは、この宗教機関の創始者であり、彼は最初の教師（預言者）であり、シリアのユダヤ人やキリスト教の書記者と接触していた。彼の前後の多くの人がそうであったように、彼は実際にはユダヤ教の神々とキリスト教の3つのカルトをイスラム教に融合させようとしていた。
EGO-ICHは彼の精神的な教化、特にそれが子供の頃から始まる場合には非常に制限されています。信者たちは、別のメーム神を信じて崇拝するよりも、ライオンに食べられ、木の十字架に釘付けにされ、火あぶりにされることを好む。
そして、その時から今日に至るまで、シーア派とスンニ派、そしてキリスト教徒やユダヤ教徒を相手にした信仰戦争が生まれました。正統派やプロテスタントなどの自分たちのサブグループを含め、すべての信者に対するキリスト教徒。ユダヤ人やイスラム教徒に対するシオニスト。要するに、今でもみんな、自分たちが分割したいと思っている一つの同じ神の解釈について議論しているのだ！」と。そして、異邦人（多神教）と女（権利のない）と奴隷（財産）であった亜人に対して、それらのすべてが!
カール・ユングは、このような信念が私たちの中に深く根付いていることを、アーキタイプと深い洗脳の中で見ています。
真実と自由として受け入れられているものは、深い洗脳（プロパガンダ、広告、消費者と娯楽文化、給与奴隷制）による宗教、政治、経済（GGG）の条件付けに過ぎない - 現実には、一つの生化学的アルゴリズムの刑務所からもう一つのミームティックアルゴリズムの刑務所に移動することによって、それは刑務所である!　人間は彼らによって製品とみなされ、これは誰もが消費を持つことができないので、すでにズボンの中に行くつもりです - 地球は、原材料の限られた資源を持っています！人間は、彼らによって製品とみなされ、これはすでにズボンの中に行くつもりです。
バチカンが約1020年の間に完成させたことは、それがEGO-ICHに罪の意識を植え付けたことであり、人間は、自分と彼らが罪を犯した場合、彼らは確かに天国には入らないが、地獄で永遠の懲罰を受けることになることを知っていた - 彼らは司祭（セラピスト）に告白し、地球上のキリスト/神の代表者、教皇にお金を与えない限り（耽溺取引など、有料の恵みの特権）。　これと教会の税金、搾取、略奪、他民族や同胞の奴隷化を経て、バチカンはその富を蓄積し、今日でも最も裕福な商業企業であり、最も古い企業でもあります。

政治・宗教・経済帝国
古代の-鉄器時代では0年前、現代では0年後。

0年目

まず第一に、0年は当時の人々にとって0年ではありませんでした。6世紀のキリスト教の修道士は、イエスの誕生が新しい時代の始まりであるべきだという考えを持っていましたが、1545年には教皇グレゴリー13世が公会議でこの考えを現実のものにするために始めなければなりませんでした。このグレゴリオ暦は、それまで有効だったユリウス暦に代わるものでした。ユリウス・シーザーは、イエスの誕生の45年前にこの時間を導入し、それは750年前のローマの基礎に基づいていた、当時パレスチナのヘブライ人は、その時点で他のすべての帝国と同様に、独自のカレンダーを持っていた;ユダヤ人のためのそれは、その時点で彼らの神ヤハウェが宇宙と人間を作成したので、3560年だった....！それにもかかわらず、私たちは、その時間を過ごすことができます。
0年以前の世紀はどうなっていたのか？
中東：文化と戦争の起源の地。多くの場合、アフリカ、ヨーロッパ、アジアの間の接続国であり、通過国でもありました。これらの人々の王たちが最初の帝国を形成したので、これらの人々は帝国が行ったり来たりするのを見て、したがって、苦しみ、利益と進歩を見た。　私たちは、約4000年前にナイル川に最初に定住したヌビア人についても、エジプトの（高い）文化が青銅器時代にどのようにしてピラミッドを建てたのかについても、5000年前のものだと主張する人もいれば、ゼカリア・シッチンのように15000年前のもので、地球外生命体によって建てられたと考える人もいます。最初に書かれた証拠と、人類史を解釈するための常識が全てです!　実証可能な文明の始まりを語れば、アテネの都市は紀元前1300年に、おそらく7500年前の村として誕生したと言えるでしょう。　ローマの都市は紀元前753年に始まり、おそらく3020年前の村として、シュメール人のバビロンは紀元前2300年頃、ケメット（古代エジプト）は紀元前5000年頃、エルサレムは紀元前3000年頃、ウルの都市は紀元前5800年頃に始まりました。　それに比べて、パリは西暦250年、ロンドンは西暦50年に設立されました。

古代の天文学
このテーマは私にはあまりにも広範囲にわたっており、因果関係の連鎖を辿ることができないところで、人間には技術と建設能力があったことを示す事実をすべてこの本に盛り込むことができません。つまり、私たちは星や地球の動きと調和した石造りの建物や生け贄の場所、寺院、天文学的な構造物を見つけますが、彼らがどのようにして徐々にこの知識を得るようになったのか、私たちは理解できません - 彼らはそれを一度に行うことができました、それは驚くべきことですが、同時に疑わしいものでもあり、私たちが今日まで単に答えることができない疑問を投げかけています。
考古学的な発見は欠落していますが、1万年以上前に地球外生命体と接触していたという証拠もありません。
北アフリカのエジプト帝国の最初の高度な文明の始まりは、事実のために、私たちのために本当に理解できない、我々は唯一のピラミッドは、地球上で最も古い建物の一つであることを知っているし、どのように重い石のブロックの数百トンを処理し、サイトに持ってきたことは証明されていません。私たちが知っていることは、彼らの知識はペルシャ、ギリシャ、セム語圏、そしてローマ帝国に同化され、最終的には彼らの占領によって解散したということです。アレクサンドリア（北アフリカ）の住民は、真のコスモポリタンであり、この街は科学、哲学、貿易のるつぼであり、東洋と西洋の出会いの場であり、古代世界最大の図書館を持つ科学のメトロポリスであった。　近隣の民族が団結して国家を形成したという最初の証拠は、約3,000年前の古代ギリシャで見つけることができますが、実際には王と暴君の代わりになろうとしていたのはアテネ人でした。
第二の、形成的な、より大きな文化は、ペルシャ人（アッカイ人とアッシリア人）のそれであり、私たちの暦の約600年前にカルシュ1世の王朝と彼の子孫のダリオス1世（善を保持している）と彼の息子クセルクセスを持っています。彼らは獣であり、同時に天使でもありました...彼らは紀元前522年から486年頃に最初の多民族国家を作りました。彼らはヨーロッパまで支配していましたが、北ボスポラス海峡の北側にはトラキアやスクルドラやサカ（ドナウ川沿いのゲルマン民族）の人々がいました。ペルシャの北、アラル海にはスキタイ人が住み、ペルシャ帝国の南には砂漠のアラバヤとエジプト帝国があった。ローマではエトルリア人の王ターミナス・スーパーブスが支配し、ギリシャでは西ヘレネス人がパエストゥムを建国し、インドではシッダールタ・グータマ（仏陀）が托鉢僧として裕福な家庭から離れ、ナザレのイエスと呼ばれる大工の手本となった時代である。　ペルシャ帝国は、非常に才能のある先見の明があるまで約200年間支配していた、非常に多くのエゴマニアックな（ヒトラー、スターリン、ナポレオン、フリードマンなど）のような小さな、アレクサンダー3世（偉大な）、紀元前330年という名前の。ガウガメラの戦いでは、王座の陰謀で脆くなっていたペルシャ帝国が、一撃で蹂躙された......後にローマ帝国がギリシャ帝国を、そし

てキリスト教ゲルマン帝国を乗っ取ったように........vae victis - woe to the defeated.......
また、パルティア人、アッシリア人、カタル人、サラセン人、モンゴル人、モルッカ人などが地域的な権力の中心地として加わり、ペルシャ人の楔形文字はエジプト文化の歴史よりも多くの歴史的事実を教えてくれます。
アルファベットの言語で、帝国権力の野望を持つ国家の最初の文書化された証拠は、鉄器時代のダライアス1世とギリシャのアレクサンダー大王についてのギリシャ語で見つけることができます。
アレクサンダーは最終的に以前の両方の帝国（ペルシャ人とエジプト人）を破り、彼らのミームの魂を引き継いでいた。
私たちのインド・ゲルマン語のルーツと文化圏（ドイツ語と英語）から、実際にはインドやペルシャの人々のグループに属していることから、約4000年から5000年前に黒海やカスピ海周辺で遊牧民として移住し、ヨーロッパやロシアの先住民と混血したと推測されています。そして、彼らはまた、彼らの神々の世界の原始的な神話を持ってきました!
古代ギリシャで私達は既に解決のための最初の提案、大きい人口が財産の共和国のプラトンの民主主義と平和的に一緒に住むべきである方法の思考を、しかしまた平等な権利の社会的共同体の無政府主義(力の欠乏)の見つける。
ローマ・ギリシャの商人は、オリエントと西洋の間の世界的な貿易ネットワーク（長距離貿易）を持っていました。パルティア人、ビティニア人、シリア人、ガリア人、ハイパーボア人、ヌビア人、ナバタイ人、レルハイ人、オシア人、ガラテヤ人、セルティベリア人、イリリア人、アルメニア人、キレニア人、ラテン人、サクソン人、アングル人、ムシア人、ダルマテリア人、ヘブル人、フェニキア人、アテネ人、ヘレネス人、スパルタ人など！（笑）！（笑
そのため、ローマ人の料理も優れた料理芸術であり、少数の裕福なEGO-ICHSの社会生活は素晴らしく、当時の古代世界の豪華さ＆華やかさ（ファッション、宝飾品、香水、奴隷、風呂、街並み、駕籠、船、アーキテクト的な美しさなどの芸術作品）の点では何物にも敵わなかった。
国家の法制度はローマの時代よりも前にすでに非常によく発達していました：国家が保証する信教の自由と輸入関税や貿易税の非常によく組織された官僚機構（行政システム）があり、銀行や商人があり、ペルシャから来た裁判官を持つ司法と法制度は、私たちのヨーロッパやアメリカの法律がそこに起源を持っていたことは、今日でも部分的に理解できる。
ペルシャやローマの役人が公然と突き刺され、重大な過ちを犯したり、帝国のために汚職を犯したりした場合には、その鼻や耳が切り落とされたことは注目に値します。
交易路や高速道路はすでにエジプト人やペルシャ人にとって国際的なネットワークの一部であり、ペルシャ人が海や川のルートを通ってヒンドゥーシュ（インド）へ船で向かう航海は、ギリシャ人やローマ人によってしっかりと確立されており、単に採用されていただけである。
当時の精神は主にギリシャ人の影響を受け、今日の基準では非常に教育を受けた、ソクラテス、アリストテレス、タチタス、キケロ、他の知識人の数千人などの知識人、彼らは確かに私たちの時代の知識人と比較して測定することができます -この人たちはあらゆる分野で教育を受け、世界の知識を哲学にまとめていました。

善悪-協力・競争・反抗

人間は生まれながらにして善良である：例外は精神疾患、虐待、または深い洗脳によるものである。
動物界、特に集団生活をしている動物では、常に臣下（奴隷）とその助っ人を持つ支配者（アルファ動物）のヒエラルキーが見られます。それが社会的な対立になるのは避けられない! 善は悪から独立している、悪は必要ないというのが持論です。 人間の中には善＆悪の二元論的な考えもありました、彼の二つのアルゴリズムの結果-たとえそれがしばしば善良な神々と悪の神々（ルシファーの悪魔）に後回しにされていたとしても、私たち全員がその代償を払わなければならない日が来ています--終末（これは常に差し迫っていました-2500年の間！）。

Ein Kupferstich zeigt Kyros den Großen. Er fiel schon zu Lebzeiten durch seine Toleranz und Gnade als Herrscher auf – ein Ruf, der die Jahrhunderte überdauerte.

この方は良い統治者だったと言われています、彼は恵みを与えた、すなわち、あなたがそれに値しなかったとしても、私はあなたを許す、うわー！と。

他の人は、例えば彼の子孫ダリウスのために、そのようなものではなかった：彼は彼の敵に残酷だったために、ここではペルシャ王ダリウス1世からの歴史的抜粋です： "ああ王Darayavahush ... 我々はTshissan Tachmasの多くの戦士を殺し、彼らの反乱が崩壊していた後、非常にもてなしのない国を通ってそれらを追いかけ、それらをキャッチした。あなたの命令に従い、我々は嘘つき王の耳と鼻を取り除き、彼の惨めさを見る目を残した。彼の従者と共に　私は嘘の王をハグナタマに送りました そこで彼は鎖に繋がれて あなたの宮殿の門に縛られるでしょう...
鉄器時代の前に、我々は、人間の犠牲は、ユダヤ教の創始者であることを、宗教的なイベントで行われたことを十分な証拠を見つける、アブラハムは、それが通常、彼の神の意志であったので、彼の息子を犠牲にしたいと思っていた他の民族の神々の世界では非常に正常であっても、カニバリズムが実践されていた！それは、彼の神の世界では非常に正常であった。
ヒト科の捕食者である人間（EGO-ICH）とその実践（行動生物学的アルゴリズム）は、何が社会を変えたのか？　そして、なぜ世界中の捕食性のサルが殺人的で残酷なものではなかったのか、それは気候や人口過多、トラウマのせいなのか、それともイデオロギー（生活哲学）のせいなのか、共同体がどのように共存していくべきなのか。
当時のアジアにおける禅宗や二元論的な道教は、当時のユーラシア大陸で始まったように、人間を生まれながらにして悪の動物として非難しないグノスティックスに似た非暴力的な哲学的宗教思想の一つであった。　当時の聖地帝国は、自分たちの神々を尊重し、崇拝している限り、他の民族の信仰に非常に寛容であり、宗教の自由がありました。　　当時の帝国の神々の世界には多くの神殿（教会）や礼拝所があり、同時にヤハウェ、ジュピター、ゼウス、アポロン、ミネルバ、イシス、オシリス、ミトラ、バアルなど多くの神々がいて、女性神と男性神、半神-男性の子供と神々がいました。人間と同じように、復讐心が強く、貪欲で、狡猾で、嫉妬深く、すべてがどこか別の場所から来ていて、天国と地獄、あるいは地の底の世界に住んでいました。神が私たちを創ったというのは事実上間違っていて、神や悪魔が私たちの運命を予言していて、ダイナミズムとカオスの力に置き換えられているということです。
宇宙情報の起源を問う限り、我々はまだ闇の中にいるが、その答えはもはや神と呼ばれるものではなく、ひも理論家の6つのクォークについての仮説である。
ゲルマン部族とユダヤ部族だけでなく、階級社会そのものが、しばしばお互いに不和に陥っていただけでなく、反逆者や改革者がいて、彼らは常に存在していたのである。そして、彼らは否定され、破壊者、反乱者、扇動者やテロリストとして処罰された - ここでは2020年に北京の中国政府によって。　神秘的な科学は、よく0年後まで、宇宙は5つの要素（振動）で構成されており、作成されたことを知っていると信じていた（五芒星）：火、水、空気、地球とエーテル。エーテルは知覚されない音楽であり、神々、人間、動物、植物を創造した。音楽は決して変わることなく、永遠であり、それ以上でも以下でもない。つまり、量子物理学のひも理論家が今日も宇宙情報という意味で言っていることと同じではないか......！？
この頃のシダルタ（仏陀）は、私たちの暦の約400年前にインドを歩いていて、おそらく当時のミームスピリッツの最初の知識人であり、無政府主義者であり、反逆者であり、改革者だったと思われます。 それから400年後、我々はガリラヤ出身のナザレン・イエスを持っています。マリアとベツレヘム出身のヨセフ・ベン・ヤコブの息子であり、パレスチナのユダヤ人宗教イデオロギーの同様に重要な反逆者と改革者であり、国際法の当時と現在の基準（2001年9月11日以降）によると、少なくとも彼は、ガンジー、ショルとマンデラのように、令状を持った合法的に認められたテロリストになるでしょう。

ユダヤ人の「王国」

イスラエル（神との戦い）についての最古の言及は、私たちの暦の前の1200年のものです。
約3000年前のユダヤ人の王ダビデとソロモンは、地域の偉大なオークの長い歴史の中で例外的な文字を持って、ユダヤ人の王国は、すでに紀元前722年に、彼らはアッシリア人によって制圧され、紀元前586-538年にバビロニアの捕虜に連れて行かれた、長い時間のために存在することができませんでした。ローマ帝国（66-70　AD）との第一次ユダヤ戦争で、彼らの都市エルサレムの破壊の後、4世紀のキリスト教の巡礼が来て、500年後にローマ教皇の武器　-　バチカンの命令でキリスト教の十字軍。彼らは戦争に敗れ、私たちの時代の638年にアラブの征服は、地域全体を占領した　-　預言者ムハンマドの死のわずか6年後。　スルタン・サラディンとオスマン・トルコの後継者（1516年～1917年）の前身であるムスリム・ウマイヤドの支配は、それ以降、1918年に大世界大戦が終結するまで、エルサレムとオリエント全域を支配することになった。　大英帝国は大戦争の第1部を経て、1922年に委任統治下の大英帝国が政権を握った。そして、ドイツのホロコーストのせいで、ヤコブの聖地に戻るという集団的な考えは、1948年まで実現しませんでした...まあ、1947年の国連の分割計画は、近隣のアラブ民族を差別して騙していたので、1967年に戦争をして、1987年に「平和条約」を結んだのに、まだ全員が多少の留保を持っているのです。宗教の教義が優勢で、ジドゥがそれを唯一の解決策と見なし、一人一人にそれを要求しているように、人々の心の中で根本的な精神革命が起こる限り、本当の平和は長い間現実のものにはなりません。内部へのパスを変更するには、このように変更するには、おそらくまた、脳は、彼らの　2　つのアルゴリズムを待って、同期＆再起動を開始することができる場合に考慮に来るだろう。
なぜなら、3つの世界の宗教はすべてエルサレムを世界のへそとして見ているからです。私はすでに、すべての信者が待っているこのエルサレムの最後の審判が、世界の本当の平和を開始することを想像することができました、なぜなら、ミームのアルゴリズムは、ここで特にしっかりと固定され、完全に失われているからです
私にとっては、この時点でイエスがローマの権力エリートたちに臣下王としてユダ王国を与えられたことは注目すべきことです。しかし、彼はこの力を拒否したのです。ちょうどブッダの前のブッダのように、あるいは彼らの後のガンジーやクリシュナムルティのように、彼らは皆、力の地上的な地位を放棄し、それは人の内面的な強さに依存しており、それらのパワーセンターのミーム中毒者の幻想的な神々に依存していないことを何度も何度も指摘しました-私たちが以前に読んだように....
修行を積んだ大工のラビ・イエスは、ローマ皇帝アウグストゥスの操り人形のヘロデ王の下でパレスチナに住み、0年の6年前に生まれ、ユダヤ人の大祭司たちによって有罪判決を受けたテロリストとして、33歳（西暦27年）で十字架の上で死んだ。　ユダヤ人が戦争のような反乱を起こしたために、紀元前79年に皇帝アウグストゥスによって追放されたことがローマの情報源からわかります。私たちは、キリスト教徒の最初の福音書が疑惑の現代の証人と弟子イエスによって書かれた場合でも、イエスや他の反抗的な反逆者が実際に住んでいたと仮定することができます唯一の80年に、すべてのさらに、ローマの教皇の認識福音書は、教会の公衆にのみ数世紀後に来て、いくつかはさらに信仰の偽の教義として禁止されていた。　キリスト教徒について　我々は、キリスト教徒が聖地でキリストとともに生きることを、155年にナブルス出身のユスティヌスがユダヤ人トリフォンとの対話の中で初めて読みました。
ユダヤ人とその分裂したイデオロギーであるキリスト教とイスラム教のイデオロギーは、主にヌビアの神々から来ており、その後エジプト人、2500年前に最終的にアッシリア/ペルシャ人（ミトラス教団）とギリシャ人（ディオニュソス教団）から来ています。儀式の間、彼らは酩酊と呼ばれる飲み物を飲んだ、サイケデリックな魔法のキノコを使った飲み物だ。　ユダヤ人だけでなく、その共同体は、当時、権力と信仰の争いの中で分裂していました。彼らの神ヤハウェでさえも、申命記（聖書の旧約聖書）に、その民は従わず、彼らを罰し、祖国から追放するだけでなく、残酷な罰を与えると書いています。自分の子供たちを食べることになる娘や息子たちの肉を食べることになる飢饉が起こるのでエルサレムの街を恐怖に変えてしまうのだ... そんなクラゲを民衆に押し付ける神か鬼か。
ローマ人。ハドリアヌス帝は、第二次ユダヤ戦争中に命じた、我々の時代の135年には、ローマ帝国の全ユダヤ人の50%、パレスチナの90%を一掃するユダヤ人に対するジェノサイド（ヒトラーでさえ、このロドリゲス・デ・ザヤスが書いたように、これを管理していなかった）であり、これはユダヤ人に対するジェノサイドの別の波にすぎなかった。第一は、おそらくモーセが十戒を持って山から降りてきて、彼の民が金色の子牛を神として作っているのを見たときに、彼らの神ヤハウェは、聖書の旧約聖書によると、かなりの数のユダヤ人を絶滅させました。
アブラハムの三大宗教にとって、女性と奴隷は無法で、汚れた、ほとんど魂のない生き物なのです。
割礼や豚肉禁止の客観的な理由がないので、このような幼少期の教化はほとんど修正できません
なぜなら、それが彼らの宗教次第であった場合、両方の母親は、本に触れることはおろか、読むこ

とを学ぶことを許されなかっただろう、彼らは夫（すなわち私）に仕えなければならなかっただろう、妻は奴隷と同じレベルでヤハウェ、アッラーと神によって置かれたので - 彼らは世話をされ、隷属のための財産として保護され、働かなければならなかったし、出産の機械だった！それは彼らの宗教次第であった場合、両方の母親は、読書を学ぶことを許されなかっただろう、彼らは夫（すなわち私）に仕えなければならなかっただろう。　ゲルマン人やアフリカの神々の崇拝など、他の宗教では、女性は男性と対等であり、尊敬され、尊敬されていました。

イエスは最初の、望まれていないキリスト者で、人の子であるイエスが、約400年後にローマ（バチカン）の初代ローマ教皇によって神の子に転生されたのです。イエスは、後にマルティン・ルターがカトリック・キリスト教を改革したように、ユダヤ教を改革しようとしただけです。彼は、ヤハウェがユダヤ人だけを愛し、異邦人（非人間）は愛していないと言われている事実に反対し、ローマの占領下にある権力に賛同し、ユダヤ人の信仰を金儲けに変えた祭司たちに反対していました-彼らは皆、善を説いていましたが、その行いは悪でした。彼はこれを暴力なしに、残酷なユダヤ教の神から、すべての人々のために無条件に愛するキリスト教の神へと変えようとしたのです。私たちが理解すべきことは、ヘブライ人とそのユダヤ人の信仰は神の民として、神はユダヤ人を人間としてしか見ておらず、ユダヤ人はイエスの数世紀前に他の民族とその信仰との戦争に導かれ、エルサレムの都市は、2000年後にも近隣の民族との平和を見ていないこと、真の神をめぐる信仰の戦争は、一神教のユダヤ人を介して、その子孫であるキリスト教徒とイスラム教徒から約700年後にも勃発したことである。
私たちはそこで宗教の混合（シンクレティズム）について話しています。
なぜなら、無神論者や無神論者は、私たちの脳が大きな全体/精神、宇宙情報、客観的な現実（存在論）を理解することができないことを0年前にすでに理解していたからです。ギリシャの哲学者プラトンはまた、私たち人間は主観的な現実のバージョンしか認識できないことを認識し、彼の洞窟のたとえ話で非常に印象的にこれを証明しました。
第二の興味深いイデオロギーはグノスティックスで、彼らは私たち一人一人の中に神の火花があると信じていました。グノスティックスだけでなく、無政府主義者、科学者などは、すでに破壊的な扇動者であり、したがって、国家と教会の敵であった - また、ユダヤ人、他のイデオロギー論者の間で、何世紀にもわたって生きたまま焼かれ、ガスで処理されていたことを法律に基づいて拷問され、殺害されたテロリスト!
ところで、アムステルダムの年間1432で豚は、それが人間を殺害したので、死刑を宣告された...そう本当に、正義は常にコミュニティの鏡である...オランダの薬で、乾燥植物の販売は、　-　年2020で、かなりの結果を伴う犯罪である！それはあなたのために、それが人間を殺害したので、豚が死刑を宣告された。
アメリカのシークレットサービスのマニュアルでは
特にアメリカのシークレットサービス（CIA9　）のマニュアルなどでは、拷問という言葉は強制尋問と表現されている。そして、彼らはグアンタナモでの彼らの成功は、彼らがすべての情報を受け取っていたラックがなくても、印象的だったことを知っている必要があります、ナオミ・クラインとロドリゲス・デ・ザヤスは書いています。
それはクレイジーです、パワーセンターの執行者の本が出版されている場合でも、多くの場合、数十年後に、ジョルダーノ・ブルーノ＆カンパニーの本があったし、まだ検閲されている、燃やされたり、出版から除外されている、これはおそらくまた - 理由は何であるか、内容や著者があったかどうか、おそらく常に明らかではない、この本は同じカテゴリに来るだろう：無法者からの禁断のミーム知識、!

西暦30年からルネサンス

ローマ帝国は、青銅器時代から鉄器時代まで、過去1000年の文化的・科学的・技術的進歩のすべてをギリシャ人（アテネは早くも紀元前1300年に存在していた）、約4000年前からいたバビロニア人やシュメール人、約5000年前のケメット（古代エジプト）から継承し、その後1600年以上にわたって世俗的な権力の中心地となった（ローマ東部コンスタンティノープル、ビザンチウム）。

0年後の第2千年紀が始まるまではどうなっていたのでしょうか？
この年30イエスは十字架上で死んだとされているが、ローマ人は実際には約700　ADまで支配的なパワーエリートだった、その後、それはローマ（バチカン）、占領されたローマ世界に拠点を置く神聖なカトリックローマ教会のローマ（バチカン）からのフランコニア王の相続人/後継者（神王）だった、彼らの敵はライン川の東のゲルマン民族（アレマンニ）とイスラム教徒のサラセン人だった。ゲルマン人の兄弟姉妹とスペインのイスラム教徒に対する最初のキリスト教の大量虐殺がここで始まった。気候変動（西暦0年から400年までの湿潤期）による最初の移住と、地域的な過疎化や戦争による飢饉がここから始まった。　時には、最大15万人もの人々が外国の領土をイナゴのように移動し、飢えと暴力を振るっていました - 歯まで武装し、戦争の技術で訓練され、今日の難民の圧力とは比較になりません
これは、工業化時代、1914年から1945年の第一次世界大戦、そしてそれ以降、デジタル時代の今日まで、アメリカのアメリカがそうであった。帝国が出現し、勝利者として支配し、ロマネム帝国の後継者とみなされるべきである; 米国帝国は、1895年から1917年頃から存在している（それが世界最強の経済国家となったとき、主に奴隷AGのために、世界で最も強力な経済国家となった）。
したがって、ヨーロッパやアメリカの政府がローマの遺産を使って、彼らの権力に対する帝国の主張を正当化したとしても不思議ではありません。　　彼らは今日も他の民族を占領し、あるユリウス・シーザーのように、彼らの保護を提供していると...！？　 今日のコンピューター時代のアメリカ・ヨーロッパ、新自由主義資本主義のアメリカ帝国は、このローマ帝国の後継者、つまり征服者（ゲルマン・キリスト教の変換された王）の権力構造に基づいている。
ユリウス・シーザーのような多くのローマの多神教的なEGO-ICH皇帝は、 - 全世界を文明化し、野生のゲルマン民族だけでなく。テュートン人、ケルト人、ロシア人、アングルス人、フランク人など、しかし、抵抗したすべての民族；ちょうど20世紀以降の帝国、ヨーロッパの戦犯のように（国連の戦争と人間法によると）。
戦争や飢饉のために移住した結果、今日まで世界は息づいています
しかし、これらの野蛮人はローマ社会の一部となり、反逆者、しばしば狂ったキリスト教徒/テロリストとしてローマでライオンに投げられた前に-1920年前のサーカス・マキシマスで-それを改革しました...これらのキリスト教徒は、皇帝コンスタンティヌスの助けを借りて、ローマでライオンに投げられました約。1600年前（313年）、これらのキリスト教徒は、皇帝コンスタンティヌスの助けを借りて、ローマのパワーエリートとなり、ゆっくりと、しかし確実にローマの聖なるカトリック教会にローマの西ローマ帝国を更新しました - バチカン - 王神帝国。
そして約1000年前、キリスト教圏のヨーロッパ人は、アフリカのすべての部族と、アメリカとユーラシアの双子の大陸を強制的に占領しました。
この時点で注意が必要ですね。
ヨーロッパ列強（ローマ教皇、王、王妃）は数え切れないほどの大量虐殺を行い、１５世紀から２０世紀にかけてアフリカ、アジア、アメリカの先住民に対して罪を犯してきました（植民地主義）!
アフリカからアメリカに奴隷として送り込まれただけでなく、彼らの名前、文化、神々、土地、原材料を奪われただけでなく、マーティン・ルーサー・キングやイスラム国が何度も何度も糾弾したように、彼らの心さえも奪われ、エピジェネティックな結果は、これらの民族の子孫によって今日も感じられています。
これは、この地球とその人口を力ずくで乗っ取り、改造し、現在も権力の中心の一つとなっているミーム信仰文化であるが、それについてはしばらくして......本書では、0年前、つまり2020年前から文化の進化がどのように進んでいるのか、書かれた証言のみを見ることができる。エジプト人（ヌビア人）の祖先について少し学ぶことができたとしても、2500年前のエジプト王チェオプスよりもはるかに強力なペルシャ帝国を築いていたダリウス1世やその息子クセルクセスのようなペルシャ人（アカイメニデス）やその王たちについては、多くのことを学ぶことができたと思います。

そして、2,345年前のヘレニズム人、アレクサンダー大王は、ペルシャとエジプトの両方の帝国を

支配し、約300年後には世界の新しいへそ-ローマ　　ローマ皇帝マルクス・アウレリウス、ユリウス・シーザーなどは、約2,100年前にロンドン、コルドバ、ウル、アテネからギザまで、世界のすべてのものを圧倒しました。
そして、現在のヨーロッパやアメリカにいる私たちは、これらの神王たちの経済的、精神的な継承者である-ローマ帝国から、フランク王国のシャルルマーニュ王、バチカンと呼ばれる神聖ローマ・カトリック教会の教皇たちです。
このような傑出した天皇は、経済帝国を運営する現代の企業のボスに匹敵する組織的な才能と能力を持っていなければならず、そのためには熟練した労働者を必要としていました。

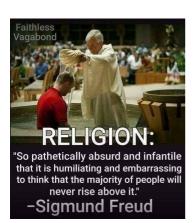
諜報部員
アーティスト、科学者、医師、マスタービルダー（研究開発
兵隊・警察・判事・執行人が必要だった
恩着せがましい
官僚（職員
忠実で信頼できる政権と使用人、そして何よりも給料が良かったので、彼らは自分たちの利益を追求しませんでしたが、それは常に汚職と裏切りで終わりました。

遊牧民、狩猟採集民、農民と商人、王、司祭、大統領からの全体の文化的発展は、私たちは常に流暢な遷移と抵抗の孤島を見つけることができます2020年前のヨーロッパでは、私たちは今日、アマゾン、アフリカ、アジアの2020年にそれを見つけるように。多神教は、植民地化し、変換し、搾取するために捕食性の猿ホモサピエンスの運命と上記のすべてのメンタリティの信念が死んだことはありませんでした。
青銅器時代の終わりの気候的終末以前は、火、死、生命の誕生は深く神秘的なものであり、最初の神々は、生命のための大母/ヴェヌスであり、火のための太陽の神々であり、私たちが炎を瞑想するときに今日でも私たちを魅了し、死者の領域で私たちを待っているハーデスのような冥界の神々であった。これらの人々にとって、アイデアがどこから来たのか、それはまた非常に明確でした...それはEGO-ICHに話しかけた神々であり、集団は、これらのアイデアを持つこれらの人々が神の使者であり、彼らに代わって行動し（預言者）、大祭司や神の王になったと信じていました、なぜなら、これはエジプト人の最古のテキストが言うことだからです - 彼らの祖先は地球に来た神々だった！彼らの祖先は地球に来た神々だったのです。　アフリカのヌビア人とエジプト人は、古代ペルシャ人にミームユニオンを、ギリシャのヘレネー人にミームユニオンを与え、ローマ人はそれを自分たちのミームスピリットに引き継ぎ、ゲルマン民族のヨーロッパ・フランケンのキリスト教に適応させ、最終的にはヨーロッパのゲルマン民族、アメリカやアジアの先住民族を征服し、搾取するために利用した。

の文明を簡単に説明すると
人類は首尾一貫していて、それは
北アフリカ、今日のエジプトで終わります。
シリコンバレー...！？

1144年からの異邦人へのバチカン教団の命令。
死または転換
ヨーロッパの発見者は確かに国家の大量殺人者だった、キリスト教の改宗に代わるものは死であったから、スペイン人、ポルトガル人、イギリス人、フランス人、オランダ人、ベルギー人の捕食性類人猿は、キリストの名の下に、地球上の彼のローマ教皇の代表者と王冠の名の下に、彼らはすべてEGO-ICHの記念碑と考えるべきである。コロンブス、コルテス、ピサロ、バスコ、エルナンドとダガマ、マゼラン、ディアスなどなど - Googleもチェックしてみてください。異端審問、植民地化、ジェノサイド。
15世紀には次のようなことが起こりました。スルタンは最終的にヨーロッパの十字軍に対してトルコ帝国（1453年）を倒し、残酷な戦争と略奪も聞いたし、バチカンAGとの相互合意の後、敬虔な十字軍は聖地への巡礼を行うことが許可されました。 スルタン・スレイマンの下のオスマン帝国は1533年に彼の力のピークに立っていた、彼は世界で唯一の常備軍を持っていた。ヨーロッパ人は傭兵軍しかいなかったし、アウクスブルクやジェノバ、ローマの銀行家がお金を引き出すときには、給料が出なければ傭兵も必ず引き出していました スルタンはそのような心配はなく、臣下や銀行員の気分を考慮する必要はなかった。 彼は最強の商業と軍事の艦隊を持ち、優れた外交を行い、彼の民衆はアッラーへの信仰に満足していた。彼は、ヨーロッパの王国が自分たちの間でどのように分裂していたかをよく知っていて、自分たちのことばかり気にしていて、ヨーロッパ共同体のことは決して気にしていなかった（2020年のように）。ヨーロッパを軍事的に征服することは、スルタンにとって非常に現実的なことのようで、フランスやギリシャも彼と協定を結んでいた。バルカン半島とコンスタンチノープルは1453年から彼の手の中にあった。彼はヨーロッパの中心部に非常に接近し、ウィーンの城壁の前に立ち、しばらくの間ハンガリーを占領した。 ヨーロッパの人々は異教徒のイスラム教徒を恐れていた。

人類新世の始まり
15世紀と16世紀は、ヨーロッパ人がアメリカの新世界を定住させ、それを彼らの財産と呼んだときに、抜本的な方法で自然を変えるために、今日でも知られている資本主義を導入しただけでなく - 永久凍土の氷の層の中で我々は、大気中の二酸化炭素の含有量が1616年以降着実に減少したことを証明することができます。 そして商業規模での大量奴隷制が始まった。 1492年、クリストファー・コロンブスはスペインの王冠とローマ教皇の命令でアメリカの未開の新世界にやってきました。つまり、そこに住む野生の人々はキリスト教化され、神のもとに導かれることになりました。 コロンブスという名のエゴマニアがヒスパニオラ（ハイチ）に到着したとき、彼は約800万人の住民を発見しましたが、彼らは40年の間にスペイン・キリスト教の王冠によって残忍に駆逐され、ヨーロッパから来たインフルエンザウイルスによって部分的にのみ駆逐されました。 先住民族はアメリカ全土でほぼ全滅し、コロンブスが到着した時にはアメリカの二重大陸には約1億人の先住民族がいましたが、19世紀には約100万人の生存者がいました。これらの人々は搾取され、奴隷にされ、土地を奪われ、集団的なうつ病に陥り、今日の子孫の高依存症について何度か文書化し、研究してきました。地域住民の集団的なトラウマは、今日に至るまでそのすべてにエピジェネティックに固定されており、イエス・キリストの名の下にヨーロッパの王家によって犯された第二の大虐殺は、ヨーロッパ・アフリカ・アメリカの奴隷貿易であった。
文字通りの金鉱で、権力の中心が最大の富を築いた。アフリカからアメリカへの奴隷は、そこに彼らはタバコや砂糖のプランテーションで奴隷にし、これらの製品は、ヨーロッパで高価に販売されました。イギリスは18世紀にヨーロッパの王様が最初に奴隷貿易を諦めたのは、同情や人間性を求める気持ちからではなく、工業化時代が始まっていて、機械の方が人間よりも生産性が高かったからだと思います。バチカンと奴隷プランテーションの所有者は政府から金銭的な補償を受けていたが、誰一人として収用されなかったし、処罰されなかったというのも事実だ
褐色、黄色、黒色の肌の色を持つ人々に対する人種差別は、普遍的な基本的権利とマルコムXとマーティン・ルーサー・キングのアメリカの革命にもかかわらず、今日まで、バチカンAG、植民地国家、白人男性と女性にエピジェネティックに固定されたままであった - しかし、私たちは次の章でそれに来るだろう...

Faithless
Vagabond
RELIGION:
"So pathetically absurd and infantile
that it is humiliating and embarrassing
to think that the majority of people will
never rise above it."
-Sigmund Freud

…赤い糸が…

結語・貸借対照表

マトリックス・メーム・カルチャーについて、他に確実に書けることがあるだろうか？

➢男は、彼と彼女はそれらのために死ぬことを喜んでいるように彼のシミュレーションに保持したい - 残念ながら、どの教祖、教師や親もそれについて何かを変更することはできませんが、唯一の私たち自身。
➢パワーセンターは、どのようにしてマトリックスの中に私たちを閉じ込めているかを非常によく理解しています。彼らは、深い洗脳によって、私たちの自作自演のシミュレーションを強化しています。
➢人は悪を行うためだけに力を必要とし、他のすべての愛が十分であるために。
➢人間が脳のシミュレーションから解放される可能性は非常に低い。 心理学的な教育を受けて、人間は非常によく対模倣プログラムを実践することができます - マインドフルネスで!
➢プロパガンダの発明はエドワード・バーネーズのおかげです。精神科医のジグムント・フロイトは彼の叔父であり、彼から人間と群れの動物のダニの仕組みを学んだ。 彼はアメリカの女性を巧みに操ってタバコを吸わせることに成功し、それによって政治家たちは彼を意識するようになった。ここに大衆心理学や大衆操作の原点があります。

男は今、彼には不可解なすべての説明を見つけました。神の仕業であり、サタンは敵というか、私たちの敵でした。大祭司たちは、私たちを救い、天国へと導くことができ、もちろん物質的な貢献をして、私たちを救いに導くことを望んでいました。
哲学者や普遍的な教えを持つ小集団が、神のいない世界を説明しようとしたのが、自然科学者やヒューマニストの始まりであり、主にすべての人が支配する帝国から来ていた。古代世界の建設者たちは、ピラミッドから大陸を横断する水道橋まで、とんでもないことをしていました。世界の貿易と経済は、これまでにない複雑さへと開花しました。
鉄器時代には、権力の中心地、その行政構造、軍事構造が世界の社会にしっかりと定着していたが、今日ではその残虐性が薄れたという点でのみ、両者の違いが出ている。
世界の人口の大多数は、田舎や都市に住んでいた人々は、右よりも貧しい生活をしていた--あらゆる種類の恐怖と絶望的な貧困の中で、束縛の中で--文明は農耕国家か権力帝国の中だけに存在していた--食料生産、サービス、戦争が主な収入源であった。
捕食性の猿を飼いならされたのは、正しさよりも悪で残忍なアルファ動物国家＆宗教のせい。

ローマ帝国から神聖ローマ帝国への変貌
ここで我々は、古代ローマの哲学者セネカが書いたことで、古代ローマの時代の精神を垣間見ることができます： "貧乏人の顔を金持ちの顔と比較して、貧乏人はより頻繁に、より誠実に笑う。一方で、いわゆる幸運な子供たちの明るさは、外見上の仮定ですが、実際には、それは重い憂鬱、表面の下に傷のように化膿し、彼らは不幸なように世界に自分自身を提示する必要がありますが、幸運なものを再生するために持っている彼らの心をかじるすべての悲しみの中で、すべてのより多くの圧迫的な以外の何ものでもありません"。
哲学者ディオン・クリソストモス（ゴールドムント）は、金持ちは自分自身の奴隷であると書いた、彼のEGO-ICHは終わりを見つける欲望の完全な。
これを見ると、当時も今も、いかに富に対する態度が狭かったかがわかります。それは、所有、富、欲望、名声が幸福、心配事からの自由、自立に等しいと貧乏人に見せかける権力エリートのプロパガンダである。 彼らは自分の持っているものを欲しがるように、一種の原動力としてそうしているのでしょう。狼のように苦しむためだけに、さらに奴隷になるためだけに!

振り返ってみると、0年以前の一般庶民の知恵は、アルゴリズムから自由になるには十分ではなかったと大いに主張できます。　残酷な処罰で処罰されなければならない強圧的な法律がもはや必要ないような方法で人々-EGO-ICH-を変えるために;　それどころか、人々に対する暴力は非常に増加しました!　だから、いつも心理的なプレッシャーがかかってくるのは、それに対抗するプレッシャーがかかってくるのです　それは、彼らの魂と体でローマの占領のために、ヨーロッパ全体のアナーキストの動きに来た。

ローマの作家タチタスは、カシアス（62,3,1-7,1）の中で、無政府主義者のブウディッカというイギリスの女王が生まれた時には120歳だったという演説を書いています。 ローマ人の占領に反対して蜂起を起こした千人の男たち：「...あなた方はすぐに自由と奴隷の違いを学びました...あなた方はローマ人の誘惑に惑わされました...私たちは、外国の支配のない貧困が奴隷制度による繁栄よりもどれほど優れているかを理解するようになったのです！」。...我々は最も貴重な財産を奪われたのではないか？...残りは税金を払わなくてもいいのでは？...私たちは、裸の体に追加の税金を払わないのですか？...ローマ人からの自由の言葉だけを聞いて、年々自分たちを買収していくのだ！...死んでもタダではない、亡くなった親族のために莫大な税金を払わなければならないのだ　そして、どのように私たちは、私たちの誰もがお金を持っていないときに、どこから来ても、すべてが共有財産である...あなたに真実を伝えるために、私たちはすべてのこれらの悪のために自分自身を非難する必要があります：私たちはローマ人が島に足を踏み入れさせ、すぐに力でそれらを追い払わなかったので、私たちはかつてジュリアス・シーザーとしたように、...私たちは利益を上げるためだけに他に何もしたくない人々によって軽蔑されています ...我々がまだ自由の概念を知っている限り、子供たちが自由を忘れる前に戦うだろう。...ローマ人は、犬や狼を支配することを敢行したウサギやキツネである...我々は多くの人々であり、より勇敢に、より狡猾に戦いたい...ネロの軍団に対抗して!
タキトゥスはこれを戦いの付録として書き、80.000イギリス人が死んだ、彼の情報によると400レジオネラが死んだ - 確かに疑問があるが、勝利は当分の間、ローマ人のために確実であった。バウディカは毒を飲んで戦闘後に命を絶った。今日、彼女の像は記念碑としてロンドンのビッグベンの前に立っている。これはアナーキストにも言えることだが、現在から2000年の間に普通の人はあまり変わっていない　皇帝ネロは、ローマで内戦のような状況が発生したため、わずか数年後（西暦68年）に自殺することになったのですが、それは、彼が都市の再開発を望んでいたからといって、ローマの一部を焼き払っただけで、眠っている人口を含むローマの内戦のような状況が発生したからです
その後の激しい権力闘争から、ヴェスパシアヌス（西暦96年）は勝利者として浮上した。この時代、ゲルマン民族との戦争は100年以上も続いていたが、結局ローマは勝利には至らず、さらに悪いことにゲルマン民族がローマにやってきて......!　しかし、ローマの権力構造の衰退は、EGO-ICHの飽くなき貪欲さにあったのではないでしょうか。
タチタスは、イギリスの指揮官カルガカス（西暦83年）のイギリスからの演説について（Agricola 30,1-33,1）書いている：「...世界のこれらの強奪者たちは、これ以上の土地が海さえも、彼らの荒廃のために提供されなかった後、敵が豊かであれば、彼らは貪欲であり、彼が貧しければ、彼ら（ローマ人）は栄光に満ちている。東でもなく西でもなく、彼らを飽きさせてしまった。富と貧困を平等に欲しているのは彼らだけです。略奪、殺人、強盗、それを偽名で支配と称し、砂漠を作るところは平和と称する
ローマの他の300年間の支配は、キリスト教の来たるべき支配と同じように、本のボリュームを埋めることになるでしょうが、それだけです。
神の最後のローマ皇帝は、私たちが今読んでいるコンスタンティヌス大帝でした。彼の死後、ローマ帝国は彼の3人の息子の相続争いで分裂した。
コンスタンティヌス2世は、イギリス、ガリア、スペインを支配した。
コンスタンティヌス1世は、イタリア、バルカン半島と北アフリカと東で支配しました。
東洋のコンスタンティウス2世

我が家でもそうですが、父親が亡くなってから次のようなことが起こるまで、たったの3年しかかかりませんでした。
コンスタンティヌス1世はイタリアでコンスタンティヌス2世と戦争をしたが、彼は戦死した。
Constans　Iは、順番に、彼の父コンスタンティヌス大王のように、変換されたキリスト教であった殺人者によって、英国（350　AD）で殺害された　-　殺人者はフラヴィウスマグヌスマグネンティウスだった。
殺人者はコンスタンティヌス2世の戦い（西暦353年）で粉砕された。

このことは、歴史家アンミアーヌス・マルセルリウスによって、彼の著作アンミアーヌス

M.14,5,6-8の中で後世に記録されています。パリ（西暦360年）でアウグストゥスと宣言されたユリウスは、西暦361年11月に死去したアウグストゥス・コンスタンティウス2世と公然と対立しながらカトリックに加わり、ユリウスは戦わずしてローマ帝国の唯一の支配者となった。
2年後、ユリウス皇帝はペルシャの大キャンペーンで亡くなり、西暦364年には、2人の兄弟が皇帝の称号を共有しました。
そのうちの一人はヴァレンティニアヌス1世で、今では分裂した帝国を支配し、彼は西ローマ帝国、弟のフラヴィウス・ヴァレンスは東ローマ帝国を支配していた。二人は息子たちと同様に暴力的な死を遂げたが、ローマ帝国は分裂し、分裂したままで、ローマ帝国の後継者であるキリスト教徒でさえも再結成されることはなかった。
旧帝国が崩壊しなかったのは、共産主義のソ連が崩壊しなかったのと同じように、ロシアの民主主義国家が後に続き、多神教のローマ人の場合は一神教のものが来たからです。
クリスチャン・ローマン　　何が変わったかというと、アルファ動物はもはや皇帝と呼ばれていたが、実際には2人の教皇は、帝国があったし、東西に分かれて残っていたということだった。

バチカンAG - Sacrum Romanum Imperium (神聖ローマ帝国)
伝説によると、ローマ皇帝コンスタンティヌスは、ローマ（バチカンAG）に本部を置き、キリスト教を唯一の国家宗教とした。
バチカンの物語：すべての確率に反して、43　ADで皇帝クラウディウスのlegatusはジュリアス・シーザー（55 BC）以来、ローマ人は何をすることに成功した - ブリタニアへの復帰。彼は2万人の軍団と英仏海峡を横断したいと思ったが、嵐のためにできなかったとき、誰もが海の怪物を恐れていた - その後、光、一筋の太陽の光が横断の決定的な瞬間に雲を通って来た、戦争の16日間で英国は再び文明化された。次のサーガは、コンスタンティヌスと正統な皇帝マクセンティウスとの権力闘争。312年にはミルビア橋での戦いがあった。それは彼の軍隊との戦争に勝つためにコンスタンティヌスのために絶望的だったが、前夜、おそらく彼のキリスト教の母親の助言で、彼はキリスト教の神に祈り、戦いに勝った;これは神のサインとみなされ、皇帝は神への彼の約束を守った：彼の今、統一された帝国はキリスト教になった...まあ、伝説...勝利者は常に物語を書く、マクセンティウスは確かに異なってそれを書いているだろう！それは、彼の軍隊との戦争に勝つためにコンスタンティヌスのために絶望的だった。

帝国内のローマの人口のために、それは国家が新しい神と新しい国家宗教を確立したことは、最初は何も特別なことではありませんでした;私たちに匹敵する今日、私たちはすべての民主主義者であり、もはやNACIではないので、彼らは単にキリスト教徒であり、個人的に人々は、彼らが正しいと思ったことをしました - NACIのような!

次の武勇伝、所有権の主張は、聖書に書かれているように、ペテロがサンピエトロの創始者ではなく、大晦日の教皇--彼は地上の神の第一司祭であったということです。　　裁判を恐れてイエスを裏切ったペテロは、すでに皇帝ネロの時代には、餌を求めてライオンに投げ込まれたり、木片の上に裸で磔にされたりしていたのではないでしょうか--誰も信憑性のある証拠を持っていません......!

コンスタンティヌス皇帝は、文書でヴァチカンに北イタリアのすべてを与えたとされ、それが国家としてのヴァチカンの法的根拠となりました。　これは、この実体主権は、まだ国連ニューヨークの席であり、それ自身の管轄権、したがって貨幣収入源の権利を与えています。

➢洗礼金
➢耽溺の取引 - 罪の赦しのために支払われたもの
➢大学教育
➢民衆と王に対する世俗的な管轄
➢神の独り占め
➢貿易・産業等収入 税収
➢病人・高齢者の介護

8世紀に教皇ステファン2世によって、この寄付の証書が偽造であることが証明された後も、それは問題ではありませんでした。

サクラム・ロマーヌ・インペリウム、神聖ローマ教会は気にしていなかった。より適切に表現する

と、バチカン＆キリスト教銀行ホールディングINC.
権力中心の信仰は、ヨーロッパ社会ではすでにヴォルク＆ケーニッヒで確立されていたので、イエス・ドクトリンは最初のプロパガンダ、人々のアヘンとなったのです。

これにより、アヘンがどのように
意識改革物質（薬物）。 私たちは知っています
新石器時代の最初の敬虔なシャーマンが
サイケデリックなキノコを崇拝し
物質は心を広げる、それは作る
神々への媒介者は不要
接触は1対1です。
伝えられるところによると、コンスタンティヌスはこの献金佐賀の後、ビザンチウム（後のコンスタンティノープル、その後イスタンブール）に退却し、彼の死の床（西暦337年）にキリスト教徒として洗礼を受けただけであった。 しかし、彼の現在のキリスト教のローマは存在し続けた; 一時期、ローマとビザンチウムで同時に2つの教皇がありました - ローマの皇帝の間で以前と同様に権力闘争。

東方帝国であるビザンチン・ローマ帝国は、トルコのイスラム教徒がビザンチウムとコンスタンティノープルの帝国を征服したとき（西暦1453年）に、さらに1000年間存在し、今日まで君臨していました。
バチカンAGの地方支部は正統派キリスト教で、ロシアと小アジアで流行し、ローマはヨーロッパ、アフリカ、アジア、アメリカの二重大陸に集中し、現在に至る。

古代の終わり＆中世の始まり
インペリウム・ロマヌム（Imperium　Romanum）の崩壊後、ローマ（西）帝国-西暦404年-は、おそらくその内部の元老院紛争とゲルマン外敵のために、国家権力は、旧ローマ帝国の皇帝の神王であることから、司祭的な支配者（教皇）に変更されました。
この変化は突然起こったのではなく、何世紀にもわたって行われました。　476年にフン王Atillaは西ローマ帝国に落ち、他のヨーロッパ諸国がそうであったように、それを荒廃させ、イスラム教の台頭（632　AD）はスペイン（711　AD）にモロッコから最初のイスラム・アラブ軍を送り、最後のゲルマン人、西ゴート王Roderichを倒し、フランスに向かって侵略した。
シャルルマーニュの祖先であるカロリング朝の王シャルル・マーテルは、アラブ軍を押し返すことができたが、何世紀にもわたって、ついに南フランス、スペイン、ポルトガルからアラブ軍を撃退し、ヨーロッパから追い出すことができなかった。　ヨーロッパの東側では、フランク人は他のゲルマン人の王たちと同様に、長い間-0年頃-ローマ帝国に属していたため、すでに乗っ取りを確固たるものにしていたのですが、特にローマとコンスタンティノープルが政変を迎え、東洋とアフリカの民族間の戦争に巻き込まれていたため、ヨーロッパの権力の空白を最初に利用していました。
多くのゲルマン民族の中から、ライン川西岸のフランク人（クロヴィス王）は、西暦1000年以降、次の数世紀にわたって、支配的な王朝（暴君）とその貴族（資本家）として自分たちを証明することになりました。ゲルマン民族と-特にサクソン人、プロイセン人が最後だった-彼らは300年間、多神教、一神教、抑圧と自由の間の信仰の暗黙の戦争、fratricidal戦争を戦った（紀元700年から約1000年まで）。
テュートン人も神々への信仰を失ったのでしょう。ゲルマン系キリスト教徒は聖地の荒廃と冒涜を

繰り返した。ヴォータン・ドナールが住んでいた場所、ガイシュマール（ヘッセン州）の近く、彼らはこれらの神々の住居である古いオークを伐採し、キリスト教の教会を建てた、彼らの神はそれについて何もしなかった、彼らの神は自分自身を証明しなかった、キリスト教の神はより強力なように見えました　シャルルマーニュはその後、サクソン人に火葬を禁止した、それは彼らにとって重要だった、死体の煙が神々に昇るべきであり、土の中で休むべきではないので、彼は彼らの神Wotanのために馬を犠牲にすることを禁止し、このすべてはまだ今日の私たちを形成しています：私たちは馬の肉を食べない、私たちは土に埋める...しかし、お通夜のような他の習慣はしばらくの間残っていた、平日の名前は、彼らがゲルマンの神々の名前であるため、残っていました。
いずれにしても、新しい主人たちは私たちに新たな深い教化をもたらした。彼らは今、ローマの神聖な、カトリックのバチカン教皇と並んで、権力の新しい世界的な中心であり、すべての無秩序テロリストは、普遍的なヒューマニズムの出現と19世紀の啓蒙の時代まで、社会的、政治的な変化を確立するのに非常に、非常に困難な時間を持っていたために。そして、政治的社会主義左翼政党（ジョン・デューイ、インゲボルグ・マウス、ライナー・マウスフェルドを含む）。
6世紀にドイツで最初の司教となったボニファスは、彼が書いた報告書を誇張していると考える理由はほとんどありませんが、ゲルマンの野蛮人（異教徒）に対してだけでなく、彼自身の教会に対しても激怒していました。いたるところで悲しみがあり、トラブルがある... 偽キリスト教の兄弟たちの敵意は、不信心な異教徒の悪意よりもひどいものである。"
キリスト教徒へのゲルマン民族の再教育は、何世紀にもわたって続くべきバチカンAGの仕事でした - ほぼ1000年 - 多くの人々は、かつてローマ人がキリストと呼ばれる同じ強制国家の宗教で、コンスタンティヌスに従ったように、強制国家の意志に服従し、改宗しましたが、閉鎖されたドアの後ろに、プライベートで、彼らはジュピターに、ヨーロッパでオーディン、Wotan & Co. しかし、人口は次の1000年のためにひどくなることになっていました-そこには飢饉、略奪、略奪、焼失が何度も何度もありました。田舎道には、乞食、曲芸師、僧侶、学者などが、職人、貴族、僧侶、民衆などの階級に合わせて、さまざまな服装をしていました。無職（強盗）騎士、解雇された大家、解散した軍隊の元傭兵がたくさんいました。過失致死は、田舎道を旅する人々の手を奪って切り落とす（高速道路強盗）のと同じくらい普通のことで、みんな危険な生活をしていましたが、道では歌や物乞い、出産や死もあり、トウモロコシ畑では恋人たちが出会っていました。
田舎では最強の法が支配していましたが、都市では法と秩序のようなものがあり、都市に入ってきた人は誰でも見ることができました。腐った死体、吊るされた檻に閉じ込められた人々、飢え死にした人々、足や手や舌が釘付けにされた板、それらは無慈悲で残酷な正義の目撃者であり、街ではある日から会話が始まりました。民俗的なお祭りでは 特別な種類の処刑が行われます 綱引きのようなものです ある路地では武装した人々が路地を通り抜ける際に 別の人々を切り刻んでいきます 二人組の馬が人の手足を引き裂くクォーターリングです これは間違いなく 街の住人の歓声の中で行われました
古代ローマの時代とは比べ物にならない十字架の上で裸で死刑を宣告され、死ぬまでに何日もかかったり、剣闘士が遊んで見ていたり、数頭のライオンが人を食べるのを見るという大衆的な娯楽があった。しかし、彼らは中世のヨーロッパ人よりも文明的であった：サウナは、ヨーロッパでは洗濯物を洗うことで、清潔さを意味する？そんなものはなく、個人の衛生は健康を害するものであり、人々は年に一度、五月に身を洗い、風呂で子供を追い出すという表現は、年に一度、家の中に風呂があり、家主が先に入り、次に他の家族全員がそれに続き、水が本当に汚れているときに、子供が最後に入ってきたという事実に由来しています。
ローマ帝国では、すべての都市で井戸や下水道が利用できました。ルターの時代の15世紀には、人々がバケツに入れた生活必需品を窓から通りに捨てていたため、街はとても悲惨な悪臭を放っていました。
コロナウイルスでさえそこでは 恐れていただろうが マーティン・ルーサーは いなかった

マーチン・ルーサー

*1516*年に初めてバイエルンのカトリック司教は死と魔法のキノコの消費を禁止し、バチカンは、マトリックスのこの薬が危険になったことを認識するようになった、魔女や魔術師は、側方思想家であり、異端児、異端児となり、革命的な無政府主義者や革命家になった - 誰が常に殺害されました。

1517年10月31日、ウィッテンベルクで、彼が魂の結び目を解くためにキリスト教を煽る者として、95のテーゼが書かれたパンフレットを書いたのはその時だった。何よりも、彼は、すべての信者が神と直接接触するようになり、神権は不要であり、妨げにさえなると言ったのです。そして、スパイや糾弾に反対し、反発し始めた。　彼の意見では、共同体生活、自由な思想、意見の表現は神権によって破壊された。そして、当局に疑問を呈しても、エリートの偽善と二重基準、禁止と拷問の刑罰を悪魔の仕業と見なしていた。そして、イエスが霊的に慈善を要求した場合...最初の（エリート）は、天の国に入るために最後になります、祝福されているのは、与える手であり、奪う手ではなく、彼はそれを説明した。
彼はまた、ユダヤ人はキリストの殺人者であり、女性は夫に従わなければならず、主の晩餐ではイエスの体が本当に食べられ、イエスの血が飲まれると信じていました。
人文主義者で神学者のH.ツヴィングリは、彼を肉食動物として嘲笑していましたが、彼が不条理だと感じたことは何だったのでしょうか？　ルターのパンフレットは、ヨーロッパ中に野火のように広がり、バチカンや王たちにも伝わりました。　もちろんこのルターという托鉢僧とは違う見方をしていた。彼はただ、調停的合意につながるはずの公然とした誠実な対話を開始したかっただけなのに、彼らはそれを聖典法、神の代表、皇帝、そして神ご自身への攻撃と見なしていたのです!　彼は、権力の問題について、王子たちはほとんどが悪党か、せいぜい愚か者であると書いている：「...まるで羊飼いが一斉に馬小屋に集まったかのように、狼、ライオン、ワシ、羊...草を食べて、敬虔で平和的な自分たちの間で、馬小屋は開いている - 羊は長くは生きられないだろう！」。
彼は私と同じように、必要な当局を考えたが、合法的な力（！）で、すべての羊は、それが可能性を持っていた場合、ライオン（EGO-ICH）になりたいと羊を食べるだろうから！彼は、私がしたように、必要な当局を考えた。　力の行使の問題で、彼は聖書からソロモンを取り上げた。自分の命と教会の命を守るためには殺すしかないが、政治と神と信仰のためには言葉と赦しを使うしかない。　言論の自由の問題について、彼は「思想は自由であり、誰も力ずくで異なる思想を強制することはできない」と述べています。これは特に異端と異端審問と王の残酷な処罰に適用されました。"異端とは精神的なものだ　鉄で叩くことはできない　火で燃やしても水で溺れることはできない"
ソクラテス、イエス、そしてマルタンのように、たとえ頭を犠牲にしてでも、自分の真実、自分の真実を語らなければならない人は、人生の中でほとんどいません。
ヴルムスの帝国議会では、皇帝シャルル5世の形をした世俗的な力との会議が行われました。
1521年4月17日 - 当時、人類史上最も残酷な拷問刑があった。 皇帝は決してポンティウス・ピラトのような聖職者の子分ではなく、このローマのローマ教皇レオ10世の場合である。　皇帝はまた、改革者であることを望んでいた、彼は真理を持った啓発による変化を望んでいた、唯一のルターのテーゼは彼にとってあまりにも過激であった、と言うこともできる：彼はまた、気候保護とパワーエリートの失敗についての2019年のUNOでのグレタ・トゥンバーグのスピーチのように、それらが目を覚ます呼び出しであると感じていたと言うことができます。　ルターの演説はより短く、より大胆ではなかった...彼は言った：　"そして、私の良心が神の言葉に囚われている限り、私は何も撤回することはできませんし、何もしません！"と。　争点となったのは、神は告白してお金を払った人だけでなく、すべての人を赦すということでした。　彼は神が彼を助けてくれるかもしれないと言った　"私はここに立っている、私はそれを助けることができない、アーメン"　判決は死刑判決、マーティンはワートバーグに逃亡、亡命が認められた!

ということは、それが妖怪獣男なのか、知らないが
然る事なきを得ず
天使でもある捕食性の猿
私たちの中で天使であり、天使であることができるのは、ほんの数人だけです。

当時、ヨーロッパの人口はわずか5%だった。 経済は農業と原料鉱山と戦争の技術だけだった。商人や商人だけがお金を持っていました。お金が普通の人の手に渡ることはほとんどなく、彼らのほとんどは主人の下僕で、教会のために働いていました。 パワーエリート（僧侶、貴族、王子、王様）はいつもよくやっていて、彼らは快楽主義的な生活を送っていて、当時、読み書きができる僧侶はごくわずかでした。文字を読むことができたのは他の人にとっては魔法だったんだ！
神聖ローマ教会にとっては、当時のヨーロッパではかなりひどいことになっていました。 王様や王子様が補助金を出さなければならなかったのは、主に内部の政治的・経済的な権力闘争があったからです。 これが1020年も続いた。 15世紀までは、ローマの街は破滅に陥っていた、狼は通りを走った、何度も何度も、アラリヒやゴート人のようなゲルマン民族だけでなく、イタリア人がローマを略奪したからだ。時にはそれはローマの教皇たちがアヴィニョンに逃げなければならなかったことをそこにとても混沌としていた...唯一のルネッサンス、啓蒙の時代の初めに、ローマは観光客がまだ今日も見ることができる遺跡になった....
それは文明の暗黒時代でした - 教会は、戦争、苦しみと苦悩で支配しました
しかし、その代わりに東ローマ帝国はビザンチウム（コンスタンチノープル/イスタンブール）で経済的に、宗教的に（正統派カソリック教会）繁栄しました。 オリエント（中近東）全体が文化的に開花し、アラブの人々は文化的進化の文明化のピークにありました。 ペルシャのイスファハンは、西暦1000年に「世界の半分」と考えられていました。
ヨーロッパの神国家とその世俗的な家臣（王）たちは、古代ローマ人の国境であるライム（ライン川は西のローマ文化と東の野性的な自由との境界線であった）から、恐怖の治世を始めたのです
これが引き金となって、数十万人規模の移住が発生しました。 その後、小氷期が来て、極端な降雨、不作、飢饉をもたらしました。 偉大なものはすべて古代ローマ人によってヨーロッパで確立された。 ロンドンは紀元前約50年前にローマの駐屯地として設立され、パリは紀元250年に設立され、アーヘンとケルンと並んでアルプスの北に位置するパワーメトロポリスとして、次の2.000年の間存在していました。しかし、キリストが権力を握っていた頃、ヨーロッパには死と苦しみだけがあり、それは啓蒙の時代が始まるとゆっくりとしか変化しなかった。
19世紀と20世紀では、キング＆プリーストは大きく権限を奪われ、最後の力となった：銀行家の資本がお金に応じて世界を秩序づけるようになった。 新たな神が姿を現し、黄金の子牛が復活した--モーセとその神は、神々への信仰と呼ばれるこの記念すべき戦いについに敗れ、全民に対する力を永遠に失うことになったのである。
2020年になっても、多くの信者が真の神の状態に戻ることはなさそうだ。
しかし、それはまた、変換のようには見えません。イエスという名前の男の実際の教えは、これまでにも予見可能な未来に実装されるだろう - そのEGO-ICHは、まだすべての暗黙知と生物化学的アルゴリズムにしっかりと固定されています!
お金の神様、この金持ちと貧乏人の間のミーム戦争は、私たちを占領し続けるだろう、イエスもルターもマルクスもクリシュナムルティも、それについて何か根本的なことを変えることができなかった。 そして、今日のKenFMのような啓蒙家は、賃金奴隷であり、仕事を失うわけにはいかないので、彼らはインターネット上で入手可能な情報で自分自身を啓発する時間さえ持っていないので、クリティカルマスにも到達していません

16世紀には、アフリカ・アメリカ・ヨーロッパの三角貿易をきっかけにした経済的な奇跡が起こりました。 アフリカから何百万人もの奴隷となった人々は、サトウキビや綿花のプランテーションでアメリカ全土に渡り、その後350年間、ヨーロッパからの武器や道具、布もアメリカに渡り、金、銀、木材、香辛料などが戻ってきました。
この2つのドイツの銀行家の家族は、ハプスブルク家の皇帝たちが権力を握っている間に、直接、間接的にこれらの大虐殺に資金を貸していた。 イエス様がそうおっしゃっていたので、利息付き融資を禁じていたにもかかわらず、ローマ教皇たちはこれらの銀行のお金を取ったのです。 資本の独裁は、政治的、宗教的、経済的な力を得るべき人のための決定的な500年前にすでにあった、フーガーは永遠のペニーを導入しました。
ガビー・ウェーバーの報告書でさらに調べてみました。 ウェルザー家は絶滅し、ファッガー家は今日も存在しています - 悪はしばしば説明を求められず、私有地のアーカイブはまだ科学にアクセスできません。 パワーエリートは、自分たちの犯罪を自主的に公開したくないのです

残念ながらそれはまだそうである...

哲学、神話、そして

宗教
北アフリカのベルベル人とアラブ人、アフリカのムーア族が押して、次の数世紀のためにヨーロッパ南東部（スペイン）を占領し、バチカン神王の後進国のヨーロッパに彼らがローマ人から継承したが、維持することができなかった文明の種類をもたらした。

聖典と数学とその他もろもろ
アフリカやアラビアからやってきた! を持ってきてくれました。
大衆向けの学校制度は、すでに
は、石鹸やアルコールと同じように使われていたので
病気を防ぐことができます。
薬を持ってきた！

ティンブクトゥのマンサ・ムーサ王の西アフリカ帝国（マリ）は、貿易と科学のるつぼだった - 王は、今日の価値観によると、約4000億ユーロの豊かな、非常に寛大だった。金の鉱物資源の豊かさは、産油国やデジタルトランスナショナル企業が登場した20世紀までは二度と見ることのできない金融力の理由でした。
フランクの王と教皇は、今日まで続いているイスラム社会との戦争を開始し、聖地への最初の十字軍はすでに彼らの最初の血の犠牲を主張した - 人口の広い大衆のための恐怖と苦しみの時間が残っていた、大衆は制度になったニーチェは書いています。
作家ライナーNieswandtは彼の本の中で書いていますAbrahams umkämpftes Erde： "... 4世紀のキリスト教の巡礼者は、聖地への道を歩んでいたとき。1039年頃に教皇ウルバン2世が立ち上がり、イスラム教徒に対して聖戦を要求した-デウス・ル・ボルト神はそのように望んでいる-彼はキリスト教徒の兵士に永遠の命とすべての罪の赦しを約束し、ユダヤ人に対しても殺人を行う大衆運動（キリストの殺人者）が今日のようにイスラム世界で台頭してきた。スルタン・サラディンが最終的に十字軍を破壊し、オリエント全体を支配したのは1187年のことでした。
しかし、敵対的な行動は、ヨーロッパのムーア人（イスラム教徒の強制改宗）とユダヤ人に対する異端審問で14世紀まで続き、黒のペストの感染がヨーロッパの人口の約60％を全滅させ、その結果、ルネッサンスが始まりました。

銀行家のフーガーとウェルザー

黒死病

当時の最大の危機にバチカンが失敗したという実感は、本当に必要としている人々を助けることができるのかという深い信仰の危機に彼女を陥れた。1347年の初め、12隻のガレー船が、主が彼らの罪のために彼らの上に来させたこの申し立てられた神の報復から逃げて、メッシーナの港に来ました。彼らは、この目に見えない病気に感染していた人は誰でも、恐ろしい病気を運んだ - ノミの細菌Yersiniaペスティスは、ラットを噛んで、このように人々に来た - 数日以内に死亡した。 病気の経過はいつも同じでした。感染してから2～6日後、リンパ節群が大きく腫れた-有名なしこり、彼らの呼吸器はペスト菌に襲われ、疲労困憊、内出血、心不全で死亡した。 それは今日のコロナパンデミックのように、中国の貿易ルートに沿って陸地の上に広がり、南ヨーロッパの港の上に停止しました。社会秩序はひどく乱れ、家族の構造は崩壊し、できる者は皆、通常は金持ち、貴族、医者、神父などが自分たちを救った。 明日がないかのように快楽主義的に生きていた人もいました。教会の最も非常識な状況は何ももたらさず、多くの聖職者が逃げ出した。それは、神の秩序がしっかりと確立された中で、人々の信仰を深く揺るがす疫病であった。 オーストリアの思想家エゴン・フリーデル(1878-1938)は、近代の始まりの疫病に見た、デビッド・ハーリー(1930-1991)のような歴史家は、プロテスタントの宗教改革の原因! 教会が残した権威の空白は、それに対抗することに成功していた国家に占領されていた。
2020年には、ドイツの老人ホームや病院の人々、所有者は、助けが不足していることを訴えた - それは教会であり、また、医師や聖職者が恐怖から医療ケア、最後の儀式や葬儀を提供していないその時に。 彼らの多くは、困難な時期には常に一人で行動していたし、常に一人で行動している。

アメリカの二重大陸の先住民は、黒のペストによって、特にmemevirusエイブラハム＆Co.によって手つかずのままであった。しかし、それはすぐに悲劇的に変わりました。この発見した大量殺人者コロンブスは、スペイン王室とバチカンの名の下に、神の名の下にこれらの人々を発見し、彼らの物理的、精神的な所有物として、彼らの土地を冷酷に搾取しました; この征服は1492年に始まり、そのトラウマは今日まで有色人種の子孫の中に生き続けています セラピストのフランツ・ルパート教授は、私たちのトラウマ的な経験から、決して一人では治療できないと言っています。
和解と許しは誰の助けにもならず、被害者と加害者の両方に反映されなければならないと言う。抑圧と忘却の方法ではなくてね 魂の傷はすべて私たちの中に残り、さらに悪いことに、私たちはそれを子供たちに伝えてしまうのです。
幼児期の私たちは、すでに両親の傷、特に母親の傷によって形作られています。 しかし、私たちは貧しい被害者のままではなく、私たちは被害者-加害者になるか、フランツ・ルパートがそれを説明するように - 被害者-加害者のダイナミックが作成されます

カール・ザ・グレート - レックス・カロラス・マグヌス

正確には、それは800年11月25日にヨーロッパの最初の皇帝と一緒に来て、彼は12歳でヨーロッパの運命を形成し始めました。シャルルマーニュはフランク人の王であり、ゲルマンサクソン人を服属させ、キリスト教化を強行し、キリスト教の神に感謝してローマのバチカンAGであるローマ教皇から古代以来初めて皇帝の称号を与えられたヨーロッパの支配者である。 彼は5世紀のカロリング朝の王家の出身で、その遺伝子は後世のハプスブルク朝とブルゴーニュ朝の王家を形成することになった。彼なしでヨーロッパはおそらく次の1000年のために大量虐殺の少数派（知識人、無政府主義者、ユダヤ人、イスラム教徒）は、アフリカ、アジア、アメリカの人々を奴隷にしないだろう、彼と彼の子孫は、大英帝国が深刻な競争相手になった1870年まで、ヨーロッパの人々を征服し、搾取した...別のヒトラー、私は一言でそれを記述することはできません。しかし、1933年、ローマ人に占領されたことがなかったためにラテン語を話さなかったゲルマン民族（イギリスとライン川以東のすべての民族）は、短期的に世界秩序を再構築しようとした--不成功に終わったドイツは、決して立ち直ることができないはずだ......それについては、ヒトラー・ドイツに勝った勝者であるアメリカ帝国に会ったときに、後で読むことにしよう。

お金を稼ぐこと，罪を赦すこと

誰もが人生の中で間違いを犯し、我々はまた、他人に悪いことをし、多くの場合、我々はそれを認識していないと、時には我々は意図的に悪である - 私は、これは人間の発明ではないと思います.... 1489年にケルンで悪名高いヘクセンハンメルが書かれ、教皇イノセント8世の承認を得て、ケルンの神学者シュプレンゲル、テッツェル、ホックストラテン、エックらが書いた。　次に詳細に、どの本を燃やさなければならないのか、錬金術師（科学者）は何を研究することが許されているのか、例えば、死んだ人の体で研究してはいけない、どの植物を食べてはいけないのか、例えば、サイケデリックな植物やキノコを食べてはいけない、公共の日常生活ではどのようなルールが適用されるのか、そして何よりも、誰が悪魔と同盟を結んでいるのか、どのように有罪判決を受け、非難されているのか、です。
これらは、異端審問の側で死によって処罰されるすべての罪だった...しかし、ルターが指摘したように、ダブルスタンダード："しかし、お金がある場合は、dirが許可されています！"
合理的なホモ・サピエンスによって、何が残念か、しかし、それは非常に有益であった、すべての所有物は没収される可能性があります。裏切り者たちは、しばしば個人的な敵意から糾弾し、教会と国家権力の復讐と報復で、古い問題を解決しようとしたときに、その分け前を受け取ったのです
ドミニコ修道士テッツェルは、「......そして、もし神の母であるあなたが私を孕ませたのなら、私は教皇の恵みから、もしあなたがその箱にふさわしいものを入れてくれれば、あなたを許すことができるほどの力を持っています！」と書いています。ペーターがここに立って、自分よりも多くの恵みを与えることはできないと言っても、テッツェルは叫んだ。
そして人々は綿あめのようにそれらを買い、地域の経済的不利益のために、各国の経済力はローマに移され、耽溺の取引は商業企業となり、橋、堤防、道路、教会、宮殿、さらにはバチカンのサン・ピエトロ、戦争（十字軍）は資金調達され、フーガー＆COのような銀行家の資本が設立されました。教皇レオ10世の時代には、銀行は年利50%を付与され、そこから保険、貿易、金融産業が発展してきました。
ルターのようなキリスト教改革者たちは、「神はビジネスではない」と反対しました。イエスは私たち全員を金持ちにするために来たのではない！"

この神からの保険書（お金を使った耽溺取引）は、エリートだけでなく、同じように農民にも影響を与え、信仰の革命が始まり、それがプロテスタントにつながった、イエスはすべての人々の罪のために死んだとされているので、原罪はなかった、したがって、バチカンAGとの借金勘定、もし、その後、ローマ法王は煉獄を消滅させることができ、貧しい人々に彼の富を分配することができるはずです...
バチカンにとって最初で最も危険な異端児の一人がペラギウスであり、彼は次のように書いています：「人間は善を行う力を持って神によって創造された。教皇にとってこれは異端であり、人間が善良であるためには神も教会も必要ないということになるからです。　これは当時すでに議論されていたもので、これは別のメメメウイルスであったが、カトリックバチカンのメメメウイルスのスローガンである「金が箱の中に飛び込んでくると、魂が煉獄から飛び出してくる...」ほど脅威ではなかった。
だから、何もないところからお金を稼ぐというのは経済的には素晴らしいことでした。罪は神に償われなければならないが、バチカン銀行を通してだけであるならば、それは新自由主義的な資本主義であり、このイデオロギーの父であるミルトン・フリードマン（1970年）でさえ、大胆さでは

凌ぐことができませんでした！だから、何もないところからお金を稼ぐというのは、経済的には素晴らしいことでした。
農民戦争は、搾取、奴隷化、恵まれない人々の権利の欠如など、幅広い層の人々の経済的・社会的ニーズが主な原因で起こったと考えられます。それは、太った、飢えた、真面目な、脂肪との闘いであった - 当時、憑依していたEGO-ICHの特徴。 血税は、ヨーロッパでの長年の戦争の間、最も苦しんでいた農民たちによって支払われたものだった......! しかし、職人や、今日のような独占を守るために、誰もが彼らの許可なしにどんな仕事もすることは許されていないという団地は、口論を引き起こし、支配者の人々はまた、彼らの権力闘争を持っていたし、世俗的、精神的な力への主張は、教会の聖職者を何度も何度もテストに入れた - それは貧しい人々の正義のための絶え間ない戦いであり、アルファ動物の常により多くの所有欲のための戦いでした！それは、貧しい人々の正義のために、常にアルファ動物の所有欲のために戦っていたのです。 1514年のハンガリーの反乱は、ドイツを中心としたスイス、イギリス、ボヘミア、チェコ共和国の農民戦争の火付け役になったと私は表現します。

この神からの保険書（お金を使った耽溺取引）は、同じように農民だけでなく、エリートにも影響を与え、信仰の革命が始まり、プロテスタントにつながった、イエスはすべての人々の罪のために死んだとされているので、原罪はなかった、バチカン銀行AGの借金口座、もし、その後、法王は煉獄を消滅させることができ、貧しい人々に彼の富を分配することができるはずです....
バチカンにとって最初で最も危険な異端児の一人がペラギウスであり、彼は次のように書いています：「人間は善を行う力を持って神によって創造された。教皇にとってこれは異端であり、人間が善良であるためには神も教会も必要ないということになるからです。 これは当時すでに議論されていたもので、これは別のメメメウイルスであったが、カトリックバチカンのメメメウイルスのスローガンである「金が箱の中に飛び込んでくると、魂が煉獄から飛び出してくる...」ほど脅威ではなかった。
だから、何もないところからお金を稼ぐというのは経済的には素晴らしいことでした。罪は神に償われなければならないが、バチカン銀行を通してだけであるならば、それは新自由主義的な資本主義であり、このイデオロギーの父であるミルトン・フリードマン（1970年）でさえ、大胆さでは凌ぐことができませんでした！だから、何もないところからお金を稼ぐというのは、経済的には素晴らしいことでした。
農民戦争は、搾取、奴隷化、恵まれない人々の権利の欠如など、幅広い層の人々の経済的・社会的ニーズが主な原因で起こったと考えられます。それは、太った、飢えた、真面目な、脂肪との闘いであった - 当時、憑依していたEGO-ICHの特徴。 血税は、ヨーロッパでの長年の戦争の間、最も苦しんでいた農民たちによって支払われたものだった......! しかし、職人や、今日のような独占を守るために、誰もが彼らの許可なしにどんな仕事もすることは許されていないという団地は、口論を引き起こし、支配者の人々はまた、彼らの権力闘争を持っていたし、世俗的、精神的な力への主張は、教会の聖職者を何度も何度もテストに入れた - それは貧しい人々の正義のための絶え間ない戦いであり、アルファ動物の常により多くの所有欲のための戦いでした！それは、貧しい人々の正義のために、常にアルファ動物の所有欲のために戦っていたのです。 1514年のハンガリーの反乱は、ドイツを中心としたスイス、イギリス、ボヘミア、チェコ共和国の農民戦争の火付け役になったと私は表現します。トルコのスルタンはヨーロッパのコックの戦いを利用して、陰謀でさらに火をつけた。それは再びエルサレムとコンスタンティノープルとの十字軍についてでした。 16世紀、ユダヤ人や女性を憎んでいたマルティン・ルターという貧しい僧侶が、心の中に神を見つけて世界の舞台に出てきた。彼は自分がトーストしていることに気づいていませんでした。彼は、私たちの過ち（罪）は神によってのみ赦されると確信していた、いや、むしろイエスによってのみ赦されると確信していた-私たち自身が赦さなければならないということは、彼にははっきりしていなかった。彼はローマでどれだけの金が流れているかを見ていたので、特に耽溺ビジネスのためにバチカンのAGに憤りを感じていた。だから、私の意見では、部分的に二重基準、腐敗、貴族や聖職者の権力を無力化したのはルターであるべきであり、彼は抵抗が変化につながることができることを国民に示し、彼は数世紀後にルネッサンス、自由精神の再生を引き起こすきっかけとなった可能性があります - 横方向の思想家、ヒューマニズムと無政府主義者によって。
シャルル5世はルター（1556年）の10年後に亡くなったが、彼は太陽が沈むことのない帝国の最後のヨーロッパ皇帝であった。彼は死ぬ直前に「あの時ルターを殺さなかった私は間違っていた」と言ったと言われています。私は自分の言葉を守る義務がなかった・・・だから、この間違いは怪物のようなものに成長した。"私はそれを防ぐことができた"
彼が後継者に帝国を残したとき、それは完全に国家破産状態にあり、あらゆる武力を持った教皇は、ウイルスのように世界中に広がるルターのミーム債を根絶することができませんでした！彼は、そのようにして、彼は自分の帝国を相続人に残しました。そして、もしスルタンがヨーロッパの神王との平和条約を拒否してヨーロッパをイスラム教徒に服従させていたらどうなっていたか、

誰が知っているだろうか......世界は全く違う場所になっていただろう!

実際に起こったことは、チャールズ5世の死後、彼の帝国は2つに分裂し、イングランドとフランスを除いたヨーロッパは、多くの小さな都市と首都に分裂しました。

これが中世の終わりであり、政治家、中央銀行、国家の近代時代の始まりであった。

...赤い糸...

結語・貸借対照表

文化の進化について
セキュリティを書くのか？

- 私たち人間が権力エリートから真実として取った最大の嘘は、私たちは動物ではなく、神の姿と似姿の中にある神の被造物であるということでした。　私たちが命をかけて天皇と国に仕え、国を守らなければならないことを。　富は幸せにしてくれますが、ここでもお金の呪いが始まりました...いつもより多くのものを欲しがる症候群です。
- 神秘主義は、本質的に不可解なことを理解するためにそこにあったし、非常にすぐに深い教化と権力組織の形で高僧や王のビジネスとして開発された - 最初のトランスナショナル企業は - 教会、職人、商人、商人と商人の男性だった、長距離貿易＆消費は、世界の力の野望を持つ国家（帝国）を介してのみ存在していた。
- 財産はもはや窃盗ではなく、奴隷制度はもはや殺人ではなかったのです。
- 正義と国家は罰を与えるものであって、自国民のための保護力ではなく、個々の共同体のための保護力でもなかった。
- 権力エリート（アルファ動物）に対する正統派、共謀者、無政府主義者の自由のための闘争が始まり、今日まで続いた。
- 神々への信仰は、エジプト人の原始的な神々から発展しました。
- 飢饉（干ばつ）や戦争による移住の波は存在し続けてきたし、今も存在し続けているし、人類にとって有用で有用なものでさえある。
- 本の検閲、索引や焼却、出版社による間接的な出版物の禁止、ソーシャルネットワークでのユーザーのブロック、ミームスピリッツの会合の禁止などが存在し、現在も存在しています。
- マス心理学、というかGGG-machelitesの深い教化の助けを借りてマス操作は、すべての社会にしっかりと固定されていましたし、今でもそうです。
- 帝国は今でも、分割と支配とパンとゲームという戦略を踏襲しています。
- 非常識なナルシストEGO-ICHは、神や権力、贅沢品などに愛されることが大好きで、神に選ばれた人々として、人間に対するすべての犯罪や大量虐殺を正当化していました。
- それが自分たちのものであろうと、競争相手（パワーエリート）の一人の人口であろうと、常に民衆に対するパワーエリートであった--これは今日でもそうなのだ! マトリックスとは、決してイデオロギー的な意見ではなく、人々に対する権力と地球の原材料だけを対象としたものだったということです

正義の叫び

￼

ヘレニズムのストライドで古代ギリシャ人...ここではすでにすべての人のための正義の平等のためのコールは、キリスト教で再びブーストを得て、巨大な政治的、経済的、宗教的な変化に次の400年を導いたヒューマニズム、それがブーストを得た。民主主義と共産主義、社会主義と資本主義）と新たな人間観（基本法と憲法）を提示した。
この哲学の基本的な原理と実践は、もちろん、ギリシャ人以前、すなわちメソポタミアに存在していた。

感情の世界と理性の世界の間の対立、私たちの頭の中のこれらの2つのアルゴリズムは、この対立は継続しており、それはよく2020年の時間は、人々の世界的なゼイットガイストと政治的なアジェンダの変化をもたらすかもしれない：コールは常に同じでした。

道徳的、倫理的なコードの構築は、良い2500年のための一定のプロセスであり、我々はその時のシャーマン、ギリシャ人や仏教徒から知っているサイケデリック物質は、常にそれがそれらを理解するために私たちに数千年かかるように複雑である洞察力と真実につながっています。

隣人を自分のように愛することは、ナザレのイエスと呼ばれるこのサイコナウトで法を破る者によって実践されるよりも簡単に語られています。

権力の中心を生かすシステムは、彼と他の普遍的な学者たちは全く知らなかったが、彼らは天皇のEGO-ICHを知っていた、彼らは金持ちに対する階級闘争の貧しさを知っていた、階級はこの闘争を失ってはならない、なぜならそうでなければすべての偉大なものはもはや存在しないからだ、しかし、システムは宇宙の自然法則で表される2つのアルゴリズムから構築されているということを知っていた-これは啓蒙主義の学者たちと21世紀の学者たちとの間で後から来たものだ。

それは、先進国の繁栄は、OECDは定期的に24の国民国家を分析し、確かに増加しているという事実である - 1990年以来、これは5億人がまだ1日1.90ドルで生活しなければならなかったアジアで積極的に変更されましたが、今では "唯一の" 1億5000万人。 しかし、特にドイツでは1980年以降、貧富の差が拡大しており、ここでは月に1,100ユーロ以下の人は誰でも貧乏人とみなされています。

3000万ドルの財産は超大金持ちとされており、そのうちドイツには8300万人の人口のうち18000人がいるという。 アメリカでは、総人口3億2800万人のうち、500人の億万長者がいます。

これらの世界的な超富裕層の総資産は米国18～30兆ドル、先進国としてはこれはとてもじゃないが、2018年のドイツ企業の年間売上高は1,400億9,000万ユーロ、2018年のGDPは3兆9,480億ドル...2017年の米国の国内総生産（GDP）は19兆3,600億ドル...少人数では多すぎるのだろうか？

つまり、10%の資本家はより豊かになる、彼らは国富の80%を支配しているのだ！ということで

す。

この3年間で彼らは富を3倍に増やしています...

お金はほとんどがお金に流れます!

レネッサンス

明るさのエポック

2020年までに

平和は自由とのみ可能である; 自由は真実を介してのみ可能である!

カール・ジャスパースより

非常に重要な第一のこと：革命は、それが下から来る場合にのみ、成功のチャンスを持っています。これは、直接民主主義のあらゆる試みに適用されます。権力者は、権力を自発的に手放したことはありません。
帝国は、自分の横にある他の神を決して許さない。
彼らの社会に時代の新しい自由な精神を許したのは、権力の中枢ではなかったのだ！」。民衆は世俗的、精神的暴君に飽き飽きしていたので、芸術、音楽、哲学、人文科学、自然科学、政治、経済だけでなく、ピッチフォークを持って街頭でもミーム爆発が起きた。
"最高の王とは、仕事が終わり、目標が達成されたときに、自分の存在にほとんど気づかない王のことである。 老子によって書かれた。

ここで起こったことは、認識論の偉大な哲学者であるインマヌエル・カントが啓蒙主義の間に、啓蒙主義の有名な文章の中で書いたことである。 "1784年の『永遠の平和』では、彼は適切にこう述べています。" "成長するための呼びかけだ！" 彼は、貴族の支配当局の間で蔓延している敬虔な無知と盲目的な信頼の快適さに対して強く訴えている。

彼からの引用「......怠惰と臆病さが、人口の大多数が未成年のままである理由であり、それは当局が人口に対して保護者として自分たちを上げることが簡単にできる理由である--未成年であることは都合がいいだけだ。

それは、常に高い苦しみと流血の下で、常に権力エリートの変化を強制してきたのは、横方向の思想家、アナーキストと彼らの運動であった - 彼らに今日、私たちは民主主義、社会主義、大学、学校、病院、教会の教義から自由な労働組合とそう多くの個人の自由を借りている; 彼らははるかに多くの本当の自由を望んでいたが、妥協は印象的である
当時の無政府主義者の立場は、今でもそうであるように異常であった：「...私たち人間が政府や国家なしで生きていけると考えるのは、羊にとって農場なしでは生きていけないと考えるようなものだ。
私たちを分裂させ、互いに敵対させ、私たちの苦しみ、苦悩、恐怖に責任があるのです。 飼いならされた捕食猿のような家畜化された羊は、生存のための戦いでそれを簡単に持っていないだろうから、この位置はもちろん、守ることは困難である...ジャングルの中で非家畜化された動物のように。妥協点は、おそらく無政府主義民主主義、寡頭制で、ジャングルの法則が国会に入ってきたことだろう。霊長類は、リーダーとリードの2つのグループに分かれていて、役割は一方から他方へと変わることがあり、多くの場合、それは偶然にもどちらかがアメリカの大統領になるだけです。しかし、全体としては、すべての動物は自分の安らぎを求め、ストレスを避けたいと思っています今日の教授ライナーMausfeldは、それらを子羊、陰謀否定者と心理学は嘘で脅かされた現実を維持するために、この症候群ガス-照明を呼び出します...とパワーエリートは、社会の本当の現実を曇らせるのに役立ちますが、彼らはソフトパワーにハードパワーから暴力の彼らの独占を変更し、我々は陰謀のサブチャプターでこれに来るだろう。 このエポックで、この時代の精神で、ヨーロッパやアメリカの人々は、権力エリートにいじめられることに嫌気がさし、嘘を認め、自由に使えるあらゆる暴力の道具を使って反乱を起こしました。 彼らは独裁国家での生活に疲れていたが、彼らの知識はあまりにも単純すぎて、暗黙のアルゴリズムの迷路から抜け出して、新しくてより良いアルゴリズムを書くことができなかった。 旧来の権力構造に対する彼らの勝利は、誰もがより良く生きるために自分で選んだ独裁政権であり、最終的にはより良い動物園の飼育員を選んだだけなのです。 だから当時のパワーエリートは神王から政治家に肩書きを変えただけ。しかし、それは自然科学や人文科学の時代でもあり、芸術の時代でもあり、公民権の時代でもありましたが、今では科学的に合理的に管理された独裁政権への道になっていました。

宇宙は意味が空っぽになり、機械論的な二元論が展開された。新しい神々は科学と世界貿易と呼ばれ、これは、人口の約1％しか大繁栄を享受することが許されていた皇帝や教皇の下でローマのように、人口の大部分のために知られていなかった繁栄に人類をカタパルトした。貿易と消費は、第二次世界大戦以前から、20世紀以降の一般的な繁栄の原動力となっていました。
セネカはそれを、お金、所有物、権力と一緒に見ていたが、それを失ったときに恐怖を感じてはいけない、外見がなくても幸せに生きていけるという確信が内に染み込んでいるときには、それを失ったときに恐怖を感じてはいけないと考えた。 ムソニウスは、「......私たちは証明を必要とすること、私たちは架空の商品が真の商品ではなく、悪であることを学ばなければならないことを、そ

の後、心はこの条件付けを忌み嫌うようになり、真の心は真の商品を追いかけたいと思うようになります！」と書いています。

産業時代と奴隷の反乱

この社会革命は約250年前に始まったもので、啓蒙主義以降の最も重要なミーム革命である。 マシンは来て、貧乏人＆金持ちのための経済的な結果を持っていた。
我々は2020年にミームの新たな革命を期待できること - グレートリセット - ロボットのデジタルマシン、モノや社会のインターネット4.0、AI（人工知能）...この後についての詳細は...
進化生物学者のダーウィンとラマルクは、19世紀後半の社会無政府主義思想家に社会ダーウィニズムのインスピレーションを与えた。ダーウィンの存在と適者生存の争いの理論、最も効率的な進化論を人間社会に転嫁した。彼らは、ここにアルファ動物の戦場（存在のための闘争）が存在するように、それが今であったお金の発明で、より強い者が正しい：最も多くのお金を持っている者が正しい、一方では莫大な富の蓄積と他方では大衆の不当な貧困があることを認識していた。そして最終的には、頑なに正義と万人の平等を要求し、法の前には万人が平等であることを要求したのは無政府主義者たちであった（明らかに今日まではそうではない）。
それは、ロシアの無政府主義者P.クロポトキンが指摘した定理である。

存在を争う上で最も重要な武器は
協力、相互扶助、と書いています。
"ロシアの無政府主義者 ピョートル・クロポトキン"

ヒューマニズムは基本的に2つの宗派に分かれていました。自由意志ヒューマニズム（自由主義）自分だけに責任があり、自分だけが変わり、自分を幸せにし、すべてを自分で成し遂げることができる。彼らは産業時代の産業資本主義への道を切り開き、企業家と労働者の間の搾取に終止符を打つことを要求した。
20世紀のミルトン・フリードマンのシカゴ派の新自由主義的資本主義が登場し、労働者の権利と労働組合の力の進歩をすべて奪ったのは、20世紀半ばになってからのことである。
彼らにとっては、神は死んでいたか、あるいは神が本当に存在するならば、神は廃止されなければならないのです。
ヒューマニズムの第二の宗派は、社会主義であり、自由な個人もまた、世界中の同胞を考え、感じ、助けている。この哲学は、社会主義の宗派は、共産主義、社会市場経済、福祉国家、すべての人民の間の兄弟愛につながった - マルクス主義。 彼らにとって神は、ニーチェが指摘したように死んだ存在でもありましたが、民衆にとってはアヘンのように有用な存在として認識されていました。
マルクス主義に代わるものとして、アナーコ・シンジカリスムが台頭してきた。労働組合と集団経営の工場を持つ社会主義的なアナーキズムの流れと、抵抗闘争者を持つ急進的な草の根民主的な組織化されたアナーキズムの流れである。
声明は次のように述べていた：「...簡単に言えば奴隷制とは何かという質問に答えるとすれば、それは殺人であり、私の考えはすぐに理解されるだろう。
少しの言葉で、人間の思考、意志、人格を奴隷にする暴力は、生と死の暴力であり、したがって、人間を奴隷にすることは、人間を殺すことと同じであることを示すことができます。だから、なぜちょうど同様に財産とは何かという質問に答えない、それは一般的に誤解されることなく、窃盗です。それなのに、この第二文は第一文の逆転でしかない。 所有権は、Proudhonは、純粋で単純な財産は、物事を支配し、支配する権利であると書いています。 占有権とは、私たちが仕事や消費をして生きていく上で十分な権利である。
所有権は個人の使用にリンクされています...農家が耕す畑や、人が彼を養うために彼の家を建てた土地...人がこのプロパティを使用することができない場合、彼の財産は、新しい分布を実行する集団公共の手に戻って落ちる - したがって、完全に分散化されたが、中央に順序づけられた方法で管理され、その常により多くの欲望を持つEGO-Iのための場所はありません、億万長者は彼の財産を使用することはできませんし、彼の死に彼と一緒にそれを持って行くこともできませんので!
ハラリは、それが1914年の第一次世界大戦の始まりにつながったと1989年まで続いた、共産主義、ソ連が崩壊し、また、資本家のそれは、最初の方法を選択したときに、2つの人文主義的な宗派のこれらの異なるmemevirusesだったと書いています。

ヨーロッパのアナーキストとの戦い。

マルクス主義者と社会主義者-特にスペイン、中国。
ウクライナとロシア-そして資本主義。
ヨーロッパの君主制と共和制の帝国。
の支配をめぐる争いと
単一世界帝国は、我々が知っているように勝った
アメリカ帝国 1918年に...
レーニンはロシアで始まった、後に毛沢東と中国で
共産主義
このメメメウイルスで8000万人が殺された。

しかし、どちらの人間主義的ミーム協会にとっても、人間は自由な人間であり、新しい国家秩序（議会主義）に守られ、基本的な権利が発明され、国際連合（国連）の前身である国際連盟に代表される世界的な人権であった。

蒸気と石油エンジンを備えた工業時代は、すぐに鉄器時代の次の大きなエポックとなりました...鉄器時代以来、エネルギー源としての石炭が世界社会を支配する前に、今では石油があらゆる分野で繁栄と進歩と革新をもたらしました。スタンダード・オイル（ロックフェラー）とフォードの自動車が地球上で最も裕福な個人となり、これが多国籍企業と世界貿易の始まりとなった。しかし、それは今までにない規模のデファウンテーションと環境破壊の始まりでもありました。私たちは自然のサイクルを劇的に変えた - 人間は自分自身と他人の中で破局になり始めた。
世界の先進国が過剰な工業化と消費にわずか200年でかかったが、2020年の今日、人間は超有機体ガイアを乱す重大な要因となっている...! このエポックでは、奴隷制は改革された-機械は安くなった（！）-奴隷制を賃金化するために、臣民と臣民は、国家保証の健康、年金、労働保証などの憲法上の基本的な権利、義務と特権を持つ市民になった-しかし、何よりも、一般的な手工芸、学校と大学教育があった;したがって、高度に修飾された情報へのアクセスがあった!

これはまた、新たな全盛期に科学をもたらし、教会は主に科学から力を奪い、マルクス、ダーウィン、ラマルク、カント、ニーチェのような学者は、反論の余地のない事実、GGGパワーセンターのイデオロギーmemevirusesと、革命を起こした！これは、科学が新たな全盛期に持ってきた。 知識人にとっては、所有物しか持っていなかった人たちが、貧しくてお金しか持っていなかったために、「持っていない人」になってしまったのです。彼らは自分自身を高めるために働いていました!

これらの人々は、彼のお金は彼にとって本当に価値のあるものは何も与えていないというクロエウス王の意味を理解し始めました；イエスや仏陀にとって、権力やお金は無価値であり、彼らはそれが与えられたときにそれを拒否しました-条件付きの王国。
なぜなら、ここでは、それは力と利益についてではなく、それは精神的に役に立たない、邪魔でさえあるからです - 悟りと彼の覚醒は単に販売のためのものではない、また、それは教祖、教師、法王によって販売することはできません! 彼らは、ナルシスト捕食猿の馬鹿さ加減以外にも、過失致死論しかなく、偽善と二重基準に満ちている。パワーエリートはただの人間であり、その権力システムがなければ、他の非実体者と同じように堕落していくのだ！」と。
ジドゥ・クリシュナムルティは、真実が何であるかを理解することが信じられないほど難しいことに多くの時間を費やしました。しかし、このステップは人類が政治的、経済的、精神的に発展するために必要なものであるという事実にしがみついていた。　つまり、私たち自身が救世主であり、誰も私たちのためにこれを実現させることはできません。
啓蒙の時代における革命、改革、国家

敵を知らない者は、すべての戦いで負ける!

アナーキズムについての長い夜-神も国家も祖国もない。
改革も反乱も革命も、基本的には集団の中で生きる動物のアニミズム的な行動であり、アルファ動物が自分の無力さを認めず、それに応じて、他のより優秀な集団のメンバーに自発的にこの権力の地位を譲る、それが平和的な革命であろう。私の経験と知識によれば、これらだけが存在しないので、独裁者は常に強制的に交換されたり、追い出されたり、集団の共同体の外に出たり、殺されたりします。この蜂起、この抵抗は、人々が本当に耐え難いほど悲惨な状態になったときにのみ発生し、そのときに自由の種が蒔かれ、これらの人々は、横方向の思想家、無政府主義者、反逆者であ

り、そのときにのみ、都合の良いグループのメンバーが従う。

アナーキストのグループは、グループのコミュニティでの支配を望んでおり、これはしばしば、グループが幼い頃からお互いに対処するこの方法を学んでいない場合、実際には非常に困難であることが判明し、任意の良いロールモデルを持っていない;お互いに対処するため、人を形成する　-　あなたが誰とつるんでいるかを私に見せて、私はあなたが誰であるかを教えてくれます

これらの反乱は常に暴力的で
のような動物の世界ではほとんど成功しません。
人間のコミュニティの中でも

私たちは、地域での暮らし方について、2つの伝統を知っています。
ローマとプラトニックの伝統、人間の帝国的、司祭的、権威主義的な伝統（家父長制）であり、国家権力のヒエラルキーとしての行政と軍事がある。そこにいる人々は自由ではない、彼らは最強の法則に従わなければならない、従う。
社会主義の伝統である、お互いを思いやり、国家が私たちの存在に奉仕し、気遣い、提供するのは、主に学校教育、健康、老齢期、失業保険です。
家父長制国家の歴史の中で、宗教的イデオロギーの主権-キリスト教、イスラム教、国家イデオロギーの主権-捕食者資本主義；社会主義は苦境に立たされている......!
庶民的な伝統、社会的な無政府状態と連邦の伝統、自由で柔軟な合意と個人間の協力であるリベラル（ユートピア）の伝統、それは、グループのコミュニティの協同組合。そして、ソビエト共和国（つまり、プロの政治家ではなく、普通のプロの人々）は、当然のことながら、権力の中枢からの認識や「愛」を見出すことができません。
誰も命令しないし、誰も従わない場合は、ルールのセットを除いて　-　国家、権力の宗教的な階層は、権限を奪われています。　報酬の高い寡頭政治は、パフォーマンスや成功のプレッシャーがなければ、存在すらしない、つまり、お金が儲かってはいけないのです
自由主義の伝統の形で実践された、社会的無政府主義は、我々は17世紀までタヒチで発見し、一部はまだスイスで今日も。

パワーはいつもより多くのパワーを求めてプッシュしています!

権力はお金ではなく、企業が作りたいものです。
権力のトップのままで、お金は二の次。
力の保持とそれ以上のもの
パワー-精神的に病んでいるスーパーEGO-ICH。

三権分立とは平和を維持するためのものであって、平和を創造するためのものではない、それが啓蒙主義からの新しい民主主義の運営であった。健全な王様猿を飼いならすための解決策で、彼が権力に狂わされないように、これは常に失敗しています。　エリートはソフトパワーで国民をコントロールすることを啓蒙主義から学んだ。　民主主義を与えるための幻想：自由選挙＆国民は王様だ
それはまた、国家に何か問題が起こった場合にも意味します：あなたはそれが欲しかった、あなたは政治的に投票した...

2001年9月11日までは何世紀にもわたってそう信じていたと思いますが、2020年8月1日には自分たちが特権的な群れの所有者の羊であることに気付きました。　約100万人の型破りな思想家たちが、愛と自由を求めてベルリンにやってきた。...資本独裁者に仕える政治家たちと一緒に、改革主義者の思考パターンを抜きにして！
社会の主な問題点は以下の通りです。猿のスーツを着た男は、彼の脳が内側だけでなく、外側の世界をシミュレートすることを理解していない - これは、私がこの本で明らかにし、神経ネットワーク（マップ）で新たな重要なシミュレーションを構築し、自己の中で変化する方法を示したいものです。

そのためには、自由意志と思考が必要です。
そして、そのような急進的な内なる革命を
ジドゥがクリシュナムルティを呼んだ！

それは、人間の精神が権力の2つのセンターから自分自身を解放したときに固定された日付を与えることは困難である - 状態＆教会 - それはすでにイエスの時間にあったか、またはソクラテスの前に - 最初の反逆者であった...我々はおそらく知ることはないでしょう？
ドイツの神学者トーマス・ミュンツァーは、マルコム10世のように、あらゆる（暴力的な）手段を使って変化を求め、難解な司祭や教皇と議論するのではなく、プラハで直接人々に語りかけ、人々をかき乱した16世紀が適切であると私は考えています。
パワーエリートの不正。王子たちは彼を消耗させることができましたが、彼はマルティン・ルター、ヒュルドリッチ・ツヴィングリ、エラスムス、ヤン・フス、ジョン・ワイクリフなどと並んで重要な革命家であり続け、教会内ではその多くが生きたまま焼かれました。
あるいは、教皇グレゴリー７世をオオカミとトラ、聖なるサタンと呼んだピーター・ダミアーニ。
エアフルトの歴史家ニコラウスは、1490年にすでに次のように書いている。狼の毛を刈って、狼から守るだけにしておけばいい。しかし、彼はまた、彼らの体から肉を引き裂き、それをむさぼろうとするが、彼は慰めを提供せず、敬虔さも提供しない-それはどんな羊飼いなのだろうか？
マティアス・クヌッツェン、宗教批判者、無政府主義者、無神論者、マルチン・ルター、女性とユダヤ人の人種差別主義者、神の権威よりも、その無謬性、つまり人間の権威に国家、バチカン、教皇を疑問視したカトリックの托鉢僧；彼のモデルであるガリラヤのイエスは、1500年前にも同じことをしたが。
ミームのイデオロギー戦争が始まった：銀行家（バチカン銀行を除く！）の利潤と利息の禁止、神や偶像の像の禁止、禁忌の販売、真偽に対する解釈の主権化
神の言葉は、このすべてが社会の集団的な気分を加熱し、ヨーロッパの国家共同体のすべての階級層で、ああ、そう、そしてアブラハミック宗教の真の神の上に東（ヨーロッパ）と西（東洋）の間のイデオロギー的な権力闘争を（ユダヤ教、イスラム教、キリスト教）。
神のバチカンAGを疑問視した宗教のこれらの批評家は、このようにしてまた権威を疑問視し、私にとって最もよく知られている無政府主義者とフリーメーソンであり、啓蒙主義の初期のエポックである。
中世の教皇たちにとっても、また社会にとっても、神への服従、教皇や皇帝への服従という、長い間常にそうであったこととは別の「神の救い」への道があることは、全く想像もできないことでした。

パーマネント・リボルト

19世紀から20世紀にかけて、ヨーロッパで最も大きな影響力を持っていたのは、最初の社会主義者である無政府主義者であった。彼らには、急進的で反権威主義的なロシア人のピョートル・アレクセイヴィチ・クロポトキン（『動物と人間の世界の相互扶助』の著者）とアレクサンドロヴィチ・バクニン（どちらもインドの経済的・政治的構造を刷新したときに、無政府主義者志向のモハンダス・ガンジーのモデルとなった）が含まれていました。と社会主義者の無政府主義者カール・マルクス（プロレタリアートの独裁）と無政府平和主義者グスタフ・ランダウアーは、彼が提唱したために、バイエルン州の拘置所で残忍に処刑された。国家のないルールと人間と自然の間の再接続、階層構造のない集落の共同体での戦争の国際的な廃止と同様に、一緒に働く国家の共同体（世界政府）での戦争の国際的な廃止と、一緒にウォーモンガーを罰するだけです。　このような無政府主義者たちの思想や夢は、いつの時代も、そしてこれからも、死ぬほど厳しく罰せられる限り、彼らは愛すべき人々である。他にも、自由を愛し、共感的で、人間主義的で、ユートピア的なアナキストたちがいて、国家とそのエリート社会に対する正当な懐疑心を持っていた、とライナー・マウスフェルド教授は書いている。
アレクサンドロヴィッチ・バクニンによれば、マルコムXのように、あらゆる手段を使って抵抗することは義務であった：「...自由は自由によってのみ創造され、決して強制されることはできない...人間の愚かさのおかげで、血なまぐさい革命は、しばしば必要であるが、それは常に悪であり、犠牲者の観点からだけでなく、達成されるべき目標の純粋さと完璧さのためにもある。
彼らの思想パターンは、欧米では当時の国家権力者であるナショナリストによって血みどろのように弾圧されていた。彼ら自身も他の多くの知識人と同様に、殺害されたり、投獄されたり、追放されたりして亡命しました。
カトリックの異端審問が変化に向かって傾向を持つ啓蒙主義の前にしたことは、今、議会と政治家とのいわゆるReichs-Wahl-民主主義、共和国の名の下に起こった!
急進的な、無政府主義的な啓蒙家は、他のエドガルドバウアー（本の間であった：本：デレストレイトデアKritik mit Kirche＆ Staat）とマックスシュティルナー（本：デレEinzige＆sein Eigentum）他の一方でエゴイスト私を求愛："...何も私の上に、私の上に行くか、またはすべての状態は専制主義であり、彼らは常に経済的、軍事戦争に傾向があるコアを拡大しています！"と。これは、精神的・物質的な制約から解放された自由な私でした。人々を解放するのは国家ではなく、人々は国家から自分自身を解放しなければならないのです　これは当時の社会規範への攻撃だったので、これらの本はまず即刻禁止されました。しかし、後続の多くの無政府主義者は、スターナーを手本にして、「私は国家に何も与えない！」と言った。の境界線を押し広げたのは、おそらくスターナーが最初であろう。
彼は、人々が群れの本能を手放して、心の根本的な革命を完了しない限り、それはユートピアのままであることを認識していた、それは特にジドゥ・クリシュナムルティがよく話していたものだった。

誰にも力はない！
アナーキズムのユートピアは死んではいない!

反乱についての長い夜-自由への兄弟、光へ。
彼らは一揆が常に失敗しているという客観的に検証可能な事実であり、彼らはそれ自体が失敗している、戦争のような一揆は、ローマ人がすでに知っていたように、常に戻ってくる - それは私たちの生物化学的アルゴリズムにしっかりと固定されています。最初の本当の反乱は、自分自身についての無知に対する反乱をリードする必要があります、ロドリゲス-デ-ザヤスは、知識の木からリンゴを食べるために神の禁止に対する反乱アダム＆イブを書いている、この反乱は、我々はまず最初に良い終わりにつながる必要があります。彼らの生活が耐えがたいものになったとき、人々は反抗します、パワーセンターの恣意性のために、彼らの生活水準を危険にさらす理由もなく、彼らが休日、車、子供、家を私のものとして給料奴隷としての生活水準を持っているとき、EGO-ICHは満足し、彼の後ろのドアを閉じ、パワーセンターによって作成された世界的な不正と不平等を忘れます、また、毎年餓死している何百万人もの死者と同様に、それは地球上の食糧が不足しているからではありません。世界で約600億匹の家畜を養っていますが、78億匹のホモ・サピエンスのためには作っていないのですね。
いや、食料は豊富にあるが、流通していないだけだ...ドイツでは食料の50％近くをゴミ箱に捨てているが、それはその方が便利で価格が安定しているからだ。
ジーン・ジーグラーは言う。
今日餓死した子供はみんな殺されたんだ！
ライナー・マウスフェルド教授：新自由主義的な市場理論では、民主主義も資本主義もありません。新自由主義はイデオロギーではないと主張し、彼らは我々が自然の法則を表すと言います。彼らは説明責任を逃れ、経済力が政治力に変換されうるメカニズムを作り出し、まさに啓蒙主義の革命、当時の王室、そして今日の多国籍企業を引き起こしたものである。
責めるべきは新自由主義資本主義であり、世界で成功しているEGO-ICHのおかげでそれが維持されているとだけ言っておこう。この経済システムは、ヒューマニズムともともとアニミズムから来ている - ジャングルの法則：より強く、より賢く、最も冷酷な勝利は、しばしば - と自由市場を意味することになっています。

大世界大戦
"　...世界は衰退、嘘、苦しみ、死に満ちているが、それは克服、それの克服にも満ちている。これを見ている私たちの多くは、世界が分裂していくと考えています。すべてが悪化するばかりです。しかし、これは真実ではなく、人間の歴史と個人の中で一度も確認されていない、何が起こるかは、信念システムが簡単に壊れて、ひょんなことから - 古いものは、別の新しさのための部屋を作ります。何も新しいものを構築することはできませんので、古い、時代遅れの思想理論の柱の上に、地球と宇宙の複雑さの到来のための基盤にはなりません。"

供給、需要＆競争の市場力;このイデオロギーは、大規模にスイス（ジュネーブ校）ハイエックとRöpkeとアメリカのフリードマン（シカゴ校）によって20世紀の初めに伝播した。もちろん市場は自由ではないという事実を隠そうともせず、それどころか鉄の手で市場を包囲しようとしていますが、国家やその法律を鵜呑みにしないで、自分たちで作っているのです。彼らは国家の保護の手を必要としています 国際的な規制権力が 市場を軍事的に守るために 他の人道主義者や社会主義者に対して 当時は戦旗に平和と正義と繁栄を掲げていましたが
しかし、より多くの人のために、より少ないあなた方のためにというジャングルの法則は、実際には古代帝国のモットーなので、人間主義的な資本家は羊の皮を被った狼に過ぎず、政治家は彼らの共犯者ではあるが、決定者ではないのです　政党は結束した政党であり、すべての政党のプログラムには誰もが納得できるものがあり、どの政党も社会主義や資本主義に賛成したり反対したりするものはない。彼らは最後の権力の中心である...

大恐慌の後の1938年、ウォルター・リップマンとのパリ・コロキウムでは、次のような覚書を発表しました。

19世紀に入るとドイツは経済的に台頭し始め、海軍力を中心に400年近く世界を支配していた大英

帝国にとって危険な存在となった。

1888年、教皇レオポルド13世とイギリスのヴィクトリア女王の愛されない息子の協力を得て、次のような方針を打ち出した。

ドイツとオーストリアに対するフランスとイギリスの敵対行為を終わらせる。
ヨーロッパの王室時代の終わりが始まった。
ヨーロッパの共和党革命家に支持された権力の中心地の一つの首都。

王朝に対する資本の戦争が始まった。　そうして王たちは力を失い、二度とその力を取り戻すことはできなかった。

1907年、イギリスのバルフォア首相はライバルを悪魔化する可能性を見ていたが、これはアメリカの外交官ホワイトとの会談で証明されている。

一度権力を手にしたら、決して自発的に手放すことはできません。　これは、ユーラシアプレートを常に支配しようとしていた帝国と、企業と何ら変わりません。
ドイツ皇帝ヴィルヘルム2世は、ヨーロッパの隣国との戦争を望んでいなかったことは明らかである。

1911年以降のイタリア人、フランス人、イギリス人、アメリカ人による北アフリカ・中東の暴力的な占領は、今日に至るまで戦争の焦点となっている。その背景にある意味は明らかで、石油が20世紀の経済の新たな血となったのです。
ベルサイユ条約から国連、EU、WTO、NATOが登場し、現在もロシアを敵視している。

1918年の第一次世界大戦後、ロシア、オスマン帝国、ドイツ、オーストリアの4つの帝国が崩壊し、残ったのは戦勝国としてのイギリス、フランス、アメリカの帝国であった。
見てください。！
1918年の平和条約により、ドイツは共和国となり、カイザー・ヴィルヘルム2世はオランダに亡命しなければならなくなった。
そうだ、そして適切な時期に、どこからともなくオーストリアのアドルフ・ヒトラーがやってきた。権力狂で、他の人と同じように人種差別主義者だ。彼や他の人々は、1914年の戦争を望んでいたわけでも、扇動したわけでもなく、イギリスから権力を奪うという理由で戦争を主導してきた、この2つの袂を分かっていたのである。敗戦と莫大な戦争損害賠償請求に煽られて、1922年のジェノバでは屈辱を味わった......この2つの州が再び力を結集して、1つの大戦争の第2ラウンドでイギリスとアメリカに勝利するために戦うのは時間の問題だったのだ。
信じられないように聞こえるかもしれませんが、ヒトラーはロシア人2800万人を絶滅させようとしていました。イギリス人がインディアンを絶滅させたように、ユダヤ人600万人は言うまでもなく、ロシア人を絶滅させようとしていたのです。
あれは本物の死亡者数だ！
毛沢東だけが次の中国革命でもっと多くの人を殺していた-6500万人!
ヘンリー・フォードとあるロックフェラーとハンフステンゲルが、ヒトラーを操り人形として利用してロシアに戦争を仕掛けようとしていたことは注目に値します。
Divide and conquer, Impera et divide.
このロシアとの戦争により、ドイツは滅亡し、父の家族は死に至り、もちろん数百万人以上の人々が世界中で推定6000万人の戦争犠牲者を出しました。英米勢力が資本力を維持・拡大しようとしていたのは、特にユーラシアプレートの上でのことだったんですね。
ハプスブルク、ドイツ、イギリス、フランス、スペイン、ポルトガル、オランダ、ロシアなどの帝国が失脚し、アメリカはこの権力の空白に入り、20世紀初頭にはすでに経済大国として最強になっていました。1893年からのマネーパワーで、1989年には世界のパワーポジションを固め、グローバルな世界帝国として、これ以上の深刻な相手がいなかったので、アメリカ帝国はラムセス、アレクサンダー、ダリウス、セザール、カールが夢見ていた以上の力を持っていました。
2010年までは、この世界の大国にとって危険な存在になりうる相手はいませんでした、ロシアの7000発の核爆弾でさえも、核戦争は相互破壊を意味し、それは金融業界の利益にはならないのです、なぜなら彼らは自由市場を必要としているからです、すべての小道具を売って顧客に貸すのですから。　来たのは、世界の経済工作台であり、世界の買い手である中国だった。　ここでは、国家が国民の妨害なしに統治できることが実証された。
ヨーロッパやアメリカでは、それは実際にはすでにこのようなはるか以前にあった、彼らは武器の

力（ハードパワー）ではなく、資本主義（ソフトパワー）で彼らの人々を支配しませんでした。
国民はそれとは程遠い啓蒙時代の国家主権者になるべきである。イギリスのマーガレットサッチャー首相とアメリカの大統領ロナルドレーガンは、お金、消費、労働価値で測定された彼らの人々を消費者と呼び、彼らはバランスシートの数字と中央銀行の融資のためのセキュリティである;公共の債務者。
税金を払っている消費者は人情派のアルファアニマル...私の家、妻、車 .... このミーム・イデオロギーがなければ、経済システム全体が崩壊するだろう。資本主義にとっては、年々成長しなければならない。
王は死んでいた、二度と王ではなかった...そしてここで第二の権力中枢は滅びた、ヘゲモン教皇が権力を奪われた200年後、それは権力を奪われたヘゲモン王に来た。今では、最後の権力の中枢として、国民、つまり政治と資本の独裁だけが存在していました。現実には、国民は自分たちが国家の主権者だと騙され、権力は少数の資本である未来の超富裕層に乗っ取られていた。
この病的なEGO-ICHは、家、祖国、愛国心、神を持っていませんでした - お金の神を除いて...お金は力を買う！この病的なEGO-ICHは、家、祖国、愛国心、神を持っていませんでした。

現実は公共政策のマトリクスを通して人々にシミュレートされた。　政治的なショーは、より頻繁にのみメディアでシミュレートされ、メディアは現実を再現していない、彼らはそれを作成します（！）、ジャーナリストのベルント-ウルリッヒを書いた。
教授ライナーMausfeldは、Intereliteの紛争（民主主義管理の新しい方法）について講義を行った、ここでは20世紀の資本の力は、政治は彼らの束縛に取る必要がありますどのように説明されています。

ということで、実際には、2つの権力の中枢である
主権者である国民と国民の代表者。
の下僕を政治家がこっそりと
資本の独裁-最後の地球上の権力の中心として!

その後に残ったのは、精神の衝突、これらの2つの人文主義的な宗派でした。
社会主義のためのもの、見知らぬ人と共有するためのもの。
そして、資本主義のために、すべては私のもの......!

民衆は権力に服従し、反抗する者は少ない、ここに社会的な群れの動物の表現がある!

私たちは、この残っている資本主義的な権力の中心を、病理学的なスーパーEGO-ICHの下僕として認識することができます。
外の世界、私たちの現実は、私たちの生物学的なPCとそのアルゴリズムによって作られている...それは人工的なマトリックスなのです、わかりますか...！？

次の章では、我々は事前にちょうどそんなに、より詳細にそれに入るだろう：それは我々がウォーレンバフェット、ソロス、ベゾス、ムスク＆ゲイツのような超富裕層のグループによって奴隷にされていることを主張するために陰謀神話だろう、誰もが唯一のマトリックス世界帝国であることを望んでいた古いヨーロッパでは、エリートのようにお互いに戦っています。
いいえ、マネーパワーは、これらの人々を支配し、むしろ彼らの非常識なEGO-ICHは、種ホモ・サピエンスを支配しています - 超金持ちのライオン猿。

しかし、世界で最も裕福な50人は約1.9兆ドルしか持っていない。　それはFRGのGDPの半分である--だから、彼らはしばしば異なるルーラー・アジェンダを持っているので、メムワールドではそれほど力を持っていない。　そうです、彼らは最終的に世界を支配したいと思っている５００ほどの一族の王朝の一部です、フォーベスによると、実質的に世界を所有しているのは１４７の企業だけです、もし私たちが動物園からすべての動物を自由に解放するならば、これらの犯罪者たち、そしてそれは彼らが何であるか、世界の動物園に......それでは何も変わりません。 資本主義のシステムは、より多くのプロトスーパーEGO-ICHを権力に持ってくるだけでしょう。
バチカンAGが当時のローマ帝国で構築し、今日まで生き残ってきたネットワーク、バチカンそのものではなく、ネットワークの概念、集合体、イデオロギーのシミュレーション、これを理解することが重要である・・・敵が理解されていなければ、どんな戦いにも勝てない。

行列を扱っているだけだ！
私たち全員、悪者でさえも奴隷なのです！彼らの意志では自由になれないのです！（笑

ジレンマから抜け出す唯一の方法は、自由意志と自由思考の助けを借りて、私たちのニューロンネットワークにおける新しい、批判的なシミュレーションであり、ジドゥがそれぞれの個人に要求するものです：心の内なる革命、自由ではないMEの-そして誰も私たちのためにそれをすることはできません...

アメリカ帝国の政治

我々は代表的な民主主義を持っているが、実際には独裁的な寡頭政治、民主主義と呼ばれる毛皮を被った狼である、とマウスフェルド教授は書いている。そして今日、アメリカはネイティブアメリカンとして120年以上、ヨーロッパ人は2000年以上の間、主犯である。
もし私が自分の人生で力学と混沌の力を経験していなかったら、私は私たちの世界について本当に心配していただろうが、私たちは正当に心配するのに十分な情報を持っていないだけで、彼ら自身の多くの力学は、宇宙のすべてのパワーセンターの計画を台無しにしてしまうのだ！私たちは、私たちの世界のことを心配している。 これは宇宙系の大きな特徴の一つかもしれません。
決まったプランのないプラン!
皮肉なことに、私はこの本でここに書いているすべてが公開されており、情報は検索を見つけるためにすべてのためのものであり、他の州、新興国と先進国の政治家は、あまりにもこれを知っていると銀行がクラッシュするまでゲームをプレイする - 2008年のように、税金を払って賃金奴隷によって保存される、我々はすべてのお金の力に間接的に、世界の国家当局にのみ直接支払う.... 私はすでに、本当に裕福な個人は目に見えないままでいたい、億万長者や古代の貨幣資産を持つ一族の王朝は、悪魔が聖水を避けるように、大衆は大衆を敬遠し、これはまた、彼らの財団や保有物にも当てはまり、大衆に攻撃されないように、彼らは目に見えないままでいたい、彼らはインタビューをしたり、彼らがすでに行ったことについての本を書いたりすることはないだろう - これは、彼の認識できない暗闇の中で運命を再生しようとする市場の匿名の神である、とライナー・マウスフェルド教授は書いています。

あなたは本当に私を信じていない - それをチェックしてください：銀行ブラックロックの年間金融資産は60億ユーロ、ドイツの国家はわずか30億ユーロ...そしてブラックロックは池の中で最大の魚かもしれませんが、彼だけではありません...

ロドリゲス・デ・ザヤス（作家、歴史家、スペイン貴族の一員）："長生きすればするほど、反逆者のような気分になる" 反乱は常に何かに対して、権力の中心である何かに対してです。
それを想像するには他に方法がありません。人間の脳内にある生物化学的アルゴリズムやマトリックスシミュレーションの話をしているのであれば別ですが...操り人形の主人、社会の操り人形の糸を引っ張る操り人形の奏者の話をしているのです。
ここで私たちは、各社会の人形劇団員に反抗していた、そして反抗について話しています。
チェ・グヴェラ、マルコムX、マーティン・ルーサー・キング、ボブ・マーリーだけでなく、ショール兄弟、ローザ・ルクセンブルクなど、歴史的に記録・記述されていない多くの反逆者たちが20世紀に入ってから、大衆は啓発されていない。 残念ながら、1967年に国際的に広まるドイツ革命を起こそうとしていたルディ・ドゥチケでさえも、そうはいかなかったのです 彼は、彼の前後の多くの人々と同じように、パワーエリートによって殺害されました。
彼らの大衆の中の人々は、まだ社会全体の無意識、彼らの無気力さの中に閉じ込められている--これらは権力の束縛なのである
これは、私たちの自由な意志と思考（アルゴリズム）によるものです。人々が根本的に変化し、何百万人もの人々が変化することは、私が判断できる限りでは、今日から明日への変化ではなく、成功した革命には絶対に必要なことであり、したがって、すべての革命は最終的にそれ自体で窒息してしまう。
今日の国家指導者たちは、自分たちのモラルで大量虐殺を正当化している、とノーム・チョムスキーは著書『失敗した国家』の中で書いている。
バートラム・ラッセルとアルバート・アインシュタインは、1945年以降に国際社会に向けたアピールを発表しています...すべての国は、自分たちの違いを脇に置いて、自分たちが生物学的な標本であると考え、戦争を放棄するべきです - 私たちが知っているように、それは無駄な努力だった!

ジドゥ・クリシュナムルティは次のように書いています：「...精神の変換はとても重要であり、革命はこの変換なしでは取るに足らないものであり、これは指導者、神、グルなどなしで達成することができます。しかし、それには魂の完全な革命が必要です。
ルディ・ドゥチケも同じことを言っていました：それは個々人の意志にかかっています。並外れた知性の持ち主だった！

環境保護と気候変動

冒頭にも書きましたが、地球の気候はいつの時代も安定していません。　天気が数分で変化するのと同じように、世界の気候も変化しますが、多くの場合、論理的な理由（例えば隕石の衝突や4万年の氷河期など）で変化しますが、ダイナミクスとカオスという2つの非線形な力のために変化します。

海が出現しては消え、地球のプレートは常に動き続け、山も同じように動き、新しい気候を作り出しています。
太陽と宇宙線との相対的な地球の位置関係は、天候や気候が変化する他の理由です。
次の氷河期は、実際にはゆっくりと始まるはずです。地球の軸にもよりますが、地球が本来あるべき姿よりも暖かいという事実は、おそらく膨大な量の化石燃料のせいだと思います。
現在、6回目の大量絶滅があり、最後の大量絶滅は約630億年前にメキシコに隕石が衝突した時でした。これにより、波高5キロ（！）の海に津波の波が押し寄せ、大気を砂塵と灰で覆い、数ヶ月間世界を暗くしました。　500万～700万年前の中新世では、小規模な気候変動が起こり、ヨーロッパのワニや猿を含むすべての動物が移動を余儀なくされ、東アフリカのホモ・サピエンスは熱帯雨林からサバンナへと移動を余儀なくされました。　つまり、この2つの出来事が哺乳類の恐竜からの回復につながり、サバンナでの滞在が一部の類人猿の直立歩行につながったというわけです。　そして、北アフリカの砂漠（サハラ砂漠）は約10.000年前にグリーンベルトになったことは、現代人がアフリカを離れることができ、唯一の北は人間のための世界への扉だったので - そうでなければすべてが海に囲まれていたので、サハラ砂漠はまた1つだったように、乗り越えられない障壁...はい、そしてそれは、私たちが知っているように、エジプトの最初の高度な文明につながっていた。では、これらの大惨事が人類の文化進化の真の原動力となったのか-今の状況はどうなっているのか？

最近の戦争は原材料だけでなく、肥沃な農地や水へのアクセスについても間接的に関わることが多い--2019年の国連報告書によると、世界では7500万人が逃げ回っているが、それは戦争が原因ではなく、祖国が彼らを養うことができなくなったからなのだ!　　当時のメソポタミア、肥沃な三日月、インドのヒンドゥー川、中国の黄河は、これらの文明の発祥の地でした。　その時、シャーマンはこれらの時間の変化を感じ取るのに適した人物でした。カヤポ族の酋長であるTxucarramae Raoni Metkireは、「...霊はすべてを破壊する嵐を見せてくれた。暗くなっていく太陽。すべてを焦がした太陽... " 1万年前ではなく、2019年にブラジルのメディアでこのようなことを言っていた；ジャイル・ボルソナロが大統領になって初めて...ラオニがノーベル平和賞にノミネートされた！？
そのため、償いができない転換点については、信頼できる予後はありません。　種の絶滅が取り返しのつかないことになったとき、生態系の大虐殺が到来したとき、真剣に予測することができないとき、唯一の確実性は、それが起こるということです。　シドニーでは2019年に最悪の森林火災が発生し、50年で最長の干ばつが発生し、世界的に氷河が融けています。海面は更新世の時代と同じように、現在より15メートルほど高くなるでしょう、それは私たちがこれらの事象をコントロールできるかどうかにかかっています、たぶん少しの間だけです。米国プリンストンのOCCによる洪水調査では、2050年までに以下の都市が水没すると2019年に予測されています。アムステルダム、ハンブルク、ロッテルダム、マイアミ、ニューヨーク、カイロ、ムンバイ、バンコク、上海。　私たちは自分自身と子孫を技術的に準備しなければなりません。　自然を自分の思い通りに改変することができないことは確かです。

銀行業界は事実を作り、地球や私たちに害を与える融資や投資補助金で企業を支援し続けています。　海には石炭、天然ガス、石油よりもはるかに多くのメタンガスが存在しています。ユカタンがメキシコを襲ってからわずか500万年ほどで、地球はサウナになった。 南極は猿やワニが住んでいたほど暖かかったそうですが、キール氷床コアサンプル研究所の研究結果によると、研究者たちは、現在のメタンガスの量は当時の2倍と推定しているそうです!
6分ごとに100個の氷が極に溶けていく。 000タンカーは、パリで気候と環境保護を約束した197カ国のうち、良い方向に進んでいるのは7カ国に過ぎない。2019年のオックスフォード大学の研究によると、アマゾンの熱帯雨林の20%はすでに不可逆的に破壊されています；彼らは、熱帯雨林の40%が破壊された場合、地域の気候が変化し、干ばつが起こり、その結果、飢饉や移住の波が起こり、その結果、飢餓、苦しみ、戦争が起こると考えています - 私たちはヨーロッパではすでにそのようなことが起こっていました、私たちはそれを数十年に渡る民族の移住と呼んでいます！私たちはそれを数十年に渡る民族の移住と呼んでいます

金融業界は企業をサポートし続けている - 利益のために欲のうち私たちの環境を破壊するNGOバン

クトラックは言う - 最大の資産運用会社ブラックロックは、それが唯一の再生経済に投資したいという事実にリップサービスを与える。
私たちの一部は、私たちが生活消費の私たちの標準を確保するために支払うために自然に求めている価格を知っている：ラジカル、惑星汚染、生物多様性の破壊、新興国での必要性と飢餓人口（ジェノサイド）、武装紛争とすべての原料の搾取の上に、これらの資源は限られており、永遠の成長のために不向きであること、水素は無制限であり、それは星を成長させてきました！私たちの生活水準を確保するために支払うために自然に求めている価格を知っている。
しかし、人間は明後日のことや子孫の未来のことは考えないが、ここに最後の力の中心が現れ、それは人間に次のような力を与えるだけである。
を顧客として、消費者として、あるいは人のニーズを持っている、ということに加えて、二つのアルゴリズムが遊びに戻ってきた、自由意志のないもの。 自我-ICH- 常時多かれ少なかれ意志がある。
それとは別に、私は環境保護と我々は自然界と調和して生きることができる方法についての他のすべてのものを自分自身を惜しまないだろう。

マティアスGlaubrechtは、彼の本で非常によくこれを説明しています：1000ページに実行されます進化の終わり（進化の終わり）、。　　実際のところ、再生可能な資源で作られたものでなければ、すべての人がVOLVOをガレージに置けるわけではありません。私は、私たちの未来はとにかくデジタルネットに入ると信じて、フィルムMATRIXは、私たちを収穫し続けたいパワーエリートの希望的観測になるだろう...

で、どうすればいいの？
世界の共同体として知識や資源を束ねていかないと、うまくいかないので、先進国は決断を迫られる。
インドやアフリカを滅ぼすのか？
人間と自然は放っておいていいのか？
彼らの周りに壁を作っているのか、むしろ自分たちの繁栄の限界の前に壁を作っているのか。
汚染された風や川や海に対して壁があるのか？
すべての人のために、私たちの習慣や価値観を根本的に変えなければならないのでしょうか？

2020年までには、ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリアの国境の壁が年々高くなっているようです。　しかし、彼らは私たちを助けてくれるわけではなく、世界の気まぐれな状態から私たちを守ってくれるわけではありません!
理性は常に最後の最後に勝る。そうすると、世界を壁に追いやって、後になって修復しようとすることが起こるのです。　もちろん、富は常に悲しみのために立つわけではなく、感情の世界が理性の世界よりも勝っているので、かなりの頻度で逆のケースがあります。

❖もちろん、獣人は常に貪欲でうらやましい捕食者ではなく、自由意志がお互いに無条件の愛の天使を解き放つことができるように、かなりの頻度で反対のケースがあります。ALLの所有を意味するPossessionlessnessがALLによって共有され使用されるALLの平等のエゴのないコミュニティ......そう、これもまた人間のPCから解き放たれることができるのだ!

❖指導者や指導者、他の学者がいなくても、一人一人が自分の変化に参加してこそ、一緒にできることなのです。

❖しかし、私はテレンスによって提唱された旧石器時代のようなサイケデリックなコミュニティの仮説が今日の私たちを助けることができるかどうかを疑っています...彼は約15から5万年前に、新石器時代のEGOレスのグループコミュニティについて教えてくれました - あなたは石器猿物語を知っています。魔法のキノコは、社会全体の個人の無意識と集団の無意識を、ごく一部の人たちだけのものとして、非常によく溶かすことができました。　80億人の地球人がいる中で、より良い世界のための唯一の選択肢として、それを本気で提案するのは、私の甘さでしょうか？

❖Jidduクリシュナムルティは、私たちの一人一人が心の根本的な内側の革命を通過する場合にのみ、それが動作することを教えてくれました...覚えていますか？ そのようなことに賭けるのは甘いでしょう、世界にはあまりにも多くのEGO-ICHがいて、彼らの世界、彼らの所有物にしがみついています。

❖マルクス＆Co.が彼らのWE-共産主義と社会主義で失敗しなければならなかったことは予見可能

であった、彼らは人間のPCの2つのアルゴリズムを過小評価していた、彼らはしなかったし、本当にそれらを理解することができませんでした;ニーチェ、カント、フロイト、ユング、サポルスキーとマウスフェルドが来て、科学的にそれらを分析し、マルクスが哲学的、イデオロギー的にのみそれらを分析したようにではなくなるまで。

❖それはまた、現在の民主的な法の支配で可能であり、必要なのは多数派、臨界多数派の限界、変化が不可逆的であり、権力エリートによって止めることができない転換点である...必要なのは、直接民主主義、参加型民主主義なのだ。 スイスでは500年前からこのような状況が続いています...ここでは、事実に基づいた議論を行い、事実レベルでしか行われない議論の文化が発達しています。信仰の任意のドグマなしで、このように主張する他の人に対して立場を取る誰もが - もはや彼の顔から皮膚を取らない、理想的にも支配から自由に!

❖金融資本はWALL STREETに居住しており、最大の銀行はゴールドマン・サックスであるが、ここではヘンリー・キッシンジャーとシオニズムについて触れておきたい。 多くのユダヤ人がシオニズムを完全に拒否しているようなものだが、銀行家や政治家の多くがイスラエルやユダヤ教に完全に無関心なシオニストであることも事実である。 彼らの関心は実際には世界を支配することであり、ヘンリーは史上最大の戦犯の一人であるとピーター・ケーニッヒは書いています。 世界銀行とIMFで20年以上働いていた人からの非常に明快なインタビューで、彼は企業が飲料水を民営化するのを見てきたし、国家のような人々が、武器の力で脅迫したり、乗っ取ったりして、そこに政治家を置くのを見てきました

❖国の借金から ピーター・ケーニッヒは、アメリカは130兆ドルの借金をしていると書いていますが、それは2015年のことで、世界の通貨である米ドルは、2000年には全州の90%が使用していましたが、2015年には50%しか使用されていませんでした アメリカ経済が経済的に生き残るためには戦争が必要なのです。

❖アメリカの銀行システムが崩壊すれば、世界中の他のすべての銀行が崩壊するだろう!

共に世界のスーパー**EGO-ICHs**との調和に成功することはないだろう。

➢民主主義の代表的なエリート政治家たちは、決して自発的に権力の座を離れることはないだろう、彼らは群れの所有者からの許可さえも、彼らのスーパーEGO-ICH!

➢権力の最後の中心である新自由主義的資本独裁政権は、決して自発的にフィールドを離れず、アメリカ帝国主義を解散しないだろう。人民のピッチフォークと、１８世紀のパリのような将軍、ジルベール・デュ・モティエ（ラファイエット侯爵）が、大隊の１個と８つの大砲をバスティーユに送ったときのように、これを行うことができるのだ。

➢しかし、ダイナミズムとカオスの力に任せることもできます。 今日の社会システムの素晴らしさは、自滅してしまうことです。新自由主義的な資本主義が自分自身を壁に追い込んでいることはすでに予見可能であり、経済はこのシステムが機能するために毎年成長しなければなりませんが、私たちの資源は限られており、誰もがVOLVOを望んでいるので、それはありません。 経済や宗教のオリガルヒ、政治家はすでに顧客や選挙民の間で信頼を失い、国民は自分たちが騙されて搾取されていることに気付き、年金や救いが保証されていないことに気付いている。

新しい社会革命が来て、民主的な方法の上に安全である;自然のこれらの2つの宇宙の法則は、すでにそれとすべての最も重要なのために提供しています：これまで以上に速く複雑さを進めるための宇宙の努力!

そして、それを終える前にこのトピックで最後に思ったことは、自然災害の可能性はあり得ないことではないということですが、いつでも、どこでもブレイクする危険性の源はいくつかあります。私は気候変動や、数ヶ月間大気を暗くする可能性がある隕石の影響、津波や、数ヶ月間、数年ではない場合は、世界的な電力網をシャットダウンする可能性がある太陽嵐のEMP（電磁パルス）を考えてもいません。
津波の高波を伴うプレートテクトニクスの危険性と、欧米のスーパー火山は噴火で超絶的に遅れている。 その結果、太陽放射のために大気が暗くなり、不作や不作は、飢饉や移住など、社会の安定、秩序、調和以外の何でも起こります。 将来、これらの過ちを防ぐために、これらの過ちから何か役に立つことを学ぶことはできないからです。
私たちは、これらの危険源から効果的に自分自身を守ることはできません。

最後はヴィルヘルム・ライヒの提案で締めくくります。

愛、仕事、知識は私たちの生活の源であり、それらはまた、支配する必要があります。

...赤い糸...

結論と貸借対照表。
偵察で何が学べるのか
セキュリティを書くのか？

- 1 ヨーロッパ人、国家、皇帝、臣下の王、教皇、司祭は、ヨーロッパとユーラシア、アフリカ、アメリカ、アジアの植民地化された世界を、何とも言えない苦しみと経済的搾取へと導いた。
- 0 年以降、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教がそれを要求し、それを法律で強制したため、 信仰の自由を制限しようとする権力エリートの努力が、その後 1800 年間続いた。
- 3) 暗黒時代はローマ帝国がキリスト教化された後にヨーロッパに戻ってきたもので、戦争による西暦830年のマヤ文明の滅亡に匹敵するものに過ぎない。これは、東洋の青銅器時代の終わりに約400年続いた暗黒時代に比べて1対1ではありません。
- とヨーロッパでは、私がすでに説明したように、原因の連鎖は、気候変動、火山噴火、飢饉の結果であり、それだけで戦争の引き金となりました。
- ハードパワーは戦車、ソフトパワーは心理戦。戦車との戦争の方が安い場合は、常にこちらの方が好まれます。
- 権力分与の幻想のために、民主主義の思想を国民に与えたのである。選挙は常にそれが国の政治的な結果のために責任がある彼らだったことを示す必要があります - これは、ライナーMausfeldは歴史から非常によく証明することができますように大量の操作です。つまり、民主主義は国民のための鎮静剤だったということだ！（笑
- アナーキストは、人々のすべての自由な権利のための基礎を築いたが、残念ながら血は両側に流れなければならなかった-そうでなければ、人々のための本当の変化はなかった。
- インターエリートの対立はまだ存在している、最後の権力の中心は、荒野の王猿のような動物のEGO-ICHである。
- したがって、本当の権力の中心は、人間や人間の集団ではなく、自然遺産である。 自由意志、心の内なる革命は、人類が2100年のユートピアで生きるべきだとすれば、それは未来のサクセスストーリーである。

旅の行き着く先-第四章

チャプターサブディレクトリ。

THE NEW, OLD TIME AFTER

インスティテューショナル・イデオロギー、スーパーパワーと世界貿易の創造

自分の道を記述する前にも、私は皆を待ち受ける道を目指して出発している。ということで、今のところはどこにいるのかをまとめておくのが妥当でしょう。それは名誉あるゲオルク-シュラムで開始するのが最善であろう、彼は世界の状況をコンパイルする方法、彼に耳を傾けてみましょう - スーパーリッチに対する戦争の腕で：...それは我々が唯一の風刺家、愚か者から真実を聞くために許可されていることは悲しいことではない、彼らは王に真実を伝えるための許可を持っていますが、ユーモアを持ってください！ ... なぜこんなことになってしまったのかわからないのに、本当に理解できるのか？ それは常に歴史学の問題であり、私は自分の先祖の歴史をあまり知らない、それは誰もが同じです。祖父母に人生について知的な質問ができる年齢になったらすぐに...祖父母はすでに死んでいる！ その後、私は実際に彼らの話を聞いて、私の親の目線で、それは本当の話のバージョンに過ぎない、それは真実ではありません！私は彼らの話を聞いて、私の親の目線で、私は彼らの話を聞いた。 だから、それは3世代もかかりませんし、私たちは皆、それが前にどのようにしていたかを本当に知らない - 物語は霧の中で失われてしまう....

支配者はネタでも同じことをしている。過去には、中国人、アラブ人、マヤ人、ヨーロッパ人、その他多くの支配者が、前史を消していました! 彼らは以前のすべての証拠を破壊しました！ アレクサンドリアの古代世界最大の図書館が破壊され、多くのパピルスの巻物が燃やされ、都市の浴場は18ヶ月間加熱することができ、彼らは意図的に知識を破壊し、スペイン人はマヤの歴史を破壊し、ローマ人はエジプトの歴史を破壊し、ヨーロッパ人は彼らの敵のものを破壊した...なぜですか？

勝者はジョージ・オーウェルが歴史を書いている。

過去を制する者は現在を制する 現在を支配する者は過去を支配する！

おそらく、質問に対する答えがあるのでしょう。 なぜ彼らは偽のイメージを与えようとしているのか、それは明らかにブレインウォッシュです。

州の教育

教育が悪いのは教育がないよりはマシだが、人間として教育がないなんてことは全くないのだろうか？
もちろんそんなことはありません、人間は誰もが環境の提供するものを自動的に学習します。　アマゾンはニューヨークよりも資源が限られており、親が知識の基準に合わせて子供を教育するのに匹敵します。
充実した一般教養を身につけるためには、州立学校が問題なんだよ!
まず第一に、それは短すぎます、私たちの学習曲線は時間がかかります、彼らは耐久性の学習能力とゆっくりと開発しています。　10代の頃、それが爆発すると、18歳から21歳の間に学校が終わるのが普通です。　子供のために、音楽を作って、ジャグリング、哲学とそんなに多くのことは、彼らが私たちに教えるものよりも重要である;すなわち、テストのために心で学び、良いマークを取得するために、参照してください　学校は成功を愛するが、私たちが何をするかではなく、私たちを教える - 結果は、しばしば忘れられている学習プロセスよりも重要です。
ほとんどの人はほとんど何も読まず、テレビやスマホから情報を得て、教育を受けています。　彼らは実際にジョージ・オーウェルズの本のように生きている - 動物の農場 - 良い教育は、真実は意図的に私たちから保持された、我々はもはや本当に何が起こっているのかを理解することができないように、愚かなメカニズムが発明された、ロボットとしての仕事をして、それはまさに国家権力エリートが望んでいるものである。
金融業界が政治家に何をすべきかを指示していることも、それがただの紙幣であることも、権力エリートに騙されていることも、知っています。私たちが本当に必要としているのは、親愛なる子供たちよ、彼らからの自由と、私たちの自由ではない意志なのです。
私たちは真実のために十分に自由ではないし、真実を見つけることさえも自由ではないのです。
我々に必要なのは自由意志、自由な思考、そして群れの所有者から社会的自由を奪うことです
パワーエリートは子羊の群れを手放す余裕もないし、自分たちの羊の皮を脱いで狼として出てくる余裕もないからな、スーパーEGO-ICHのように!　しかし、私は、オオカミがオオカミとして自分自身を明らかにすることを恐れる必要はないことを歴史から認識しています：市民は、「良い」リーダーを望んでいます
羊は狼に食べられることを恐れて、羊飼いによって屠殺場へと導かれるだけである...そしてそれは政治の世界のヒトラーやトランプと一緒だった、どの会社も同様に、眠っている賃金奴隷を必要としているか、または彼を虐待している!

THE NEW BEAUTIFUL, OLD TIME AFTERWARDS（ザ・ニュービューティフル、オールドタイム・アフターワーズ

新旧世界秩序

米帝
それは、アメリカが自国の人々の間で、そして国際社会の中で、自分自身を善良な帝国として提示するようにしているからであり、20世紀と21世紀の事実だけが、全く異なる言語を話している。
1990年以来、アメリカは旧ソ連だけで65,000のNGO（慈善団体）と、確かに名誉ある野心と潜在的な攻撃的野心を持ってカバーしてきました。　また、アメリカが中国やロシアを中心に戦略的に世界各地に軍事基地を築いてきたことも明らかです。　世界最大の海軍力を維持しており、宇宙でも軍事的なリーダーである。 その臣従国（NATO）は、武器で脅すことで世界の平和を守る慈悲深い帝国に仕えている - 通常の帝国。
それはまた、他の大国が - 彼らは常に存在するので - 中国やロシアのような今日保護しようとすることを帝国の3000年の古い歴史から知られている;帝国は常に全世界を望んでいるので。　そして、それはずっとそうだった!
しかし、7o年以来、唯一存在するものは、かつて言ったコルトの発明者：武器で誰もが、誰もが平等である - 核兵器は平等のような保証です。　この武器は、攻撃者を含めた全員が十数回破壊されることを保証します。　最高のミサイル防衛システムでも、約3万発の核爆弾をすべて迎撃することはできないからだ。　だから超大国同士のオープンな戦争はないし、第二の地球に逃げ場がない限り、戦争は起こらないだろう。
だから、1945年以来、これらの列強がお互いに戦ってきたイデオロギー的な心理戦争の最前線にあるのです。　差し迫った未来には、地球全体を支配する政治的大国が一つだけ存在するという現実的な変化は見られません。
国家レベルでも地球は一つになっており、私の知る限りでは、北朝鮮でさえも、世界の他の国々との間に敬意を持って友好的な関係を維持していない、あるいは維持したいと思っていない国はほとんどありません。 しかし、それは1000年前の話で、例外的にルールを確認した上での話です。
だから、私たちが平和と協力して一緒に暮らすことを妨げているのは、現在のアメリカ帝国であり、それは世界におけるそのミーム同盟の覇権のために戦争をしている、要するに、お金のためのイデオロギー主導の戦争です
戦争は実際には主に神のイデオロギーから戦ったことはなく、ローマからの帝国はお金のために戦争をした、というかお金を買う力のために戦争をしたのです。　資本の独裁者は、永続的な世界平和に決して深刻な関心を持っていませんでした、私は、これらのスーパーEGO-ICHの2つのアルゴリズムからこれを説明します、彼らは皆、もちろん自由意志を持っておらず、実際には彼ら自身によって作成されたミーム（イデオロギー）のシステムの奴隷であるので、これらのスーパーEGO-ICHが服従しています。
抵抗は義務

"言葉は彼に通じている、それは勝つだろう、武器ではなく。私の行動を見てください。私は、すべての皇帝や王よりも、すべての力をもって、剣を使わずに、私の口だけでローマ法王を滅ぼしたのではないか？信仰と愛の言葉は千の反乱以上に届く。
マルティン・ルター 1536年

それは政治的なミームの改革と何ら変わらなかった、今日でも人々はまだ異なる政治的、経済的な道に抵抗している、彼らは自分自身のアルゴリズムの習慣にさえ抵抗している-人間は単に群れの中の習慣の生き物である（！）、レイナー・マウスフェルド教授が彼の羊の講義で書いているように、。権力エリートの専門知識は、できるだけ多くの国民を愚かにして、教化することにある。しかし、彼らは彼らの状態＆神が彼らに良いと悪いものは常に他の人であることを、彼らが自由であると思うことを常に注意して、実際には常に虐殺にそれらを導くだろう羊飼いで子羊のように。
絶対主義や専制主義は神の意志であったので、司祭たちは教会の説教壇から人々にそれを説いたのです。 各支配者の地域のモットーは、一つの王、一つの信仰、一つの法律...このように話す最後の支配者、フランスのルイまででした。太陽王-は民衆によって斬首され、我々はこれを政治的、フランス革命（1799年）の始まりとして認めるかもしれません。
しかし、それはイギリス革命（1689年）とアメリカ革命（1783年）と、宗教の自由と政治的自由が憲法上国民に保証されるまで、さらに400年かかりました、レーニンのロシア革命も重要でし

た、...イギリスとアメリカの創設者たちは、ホワイトホールとホワイトハウスの中で、奴隷の所有者だったことを忘れないでください、そして民主主義によって、彼らは次のことを理解していました：特権階級の男性は投票するが、女性、インディアンとニジェールは投票しないだろう - だから、それは文字通り書かれています。
アメリカのドイツ系ユダヤ人、アメリカ系日本人、アフリカ系アメリカ人は、基本的な権利をほとんど同時に、国民の代表として選ばれた彼らの政府によって奪われたからです。
今日、アメリカ帝国は、勝利した権力として、予防攻撃の排他的な権利を取る-恐怖と混沌の衝撃のドクトリン（ナオミ・クライン著）-それは、ダリウス、アレクサンダー、ユリウス・シーザー、シャルルマーニュ、ローマ教皇も皇帝としてやったこと以外の何ものでもない-侵略と大量虐殺の経済的、軍事的な戦争!
アメリカの原理主義キリスト教徒は殺人者ではありませんが、彼らの素朴な聖書の信仰は、おそらく彼らを過去の詮索者よりもさらに危険なものにしています。そして、唯一の資本独裁者は、世界貿易のために、彼を飼いならすことを試みる、現金なしで暗号通貨、世界政府の目標と経済の立法規制機関としてより少ない状態.... ヨーロッパの価値観は、今日、何に基づいているかというと、搾取と大量虐殺に基づいたこれらの以前の帝国、その精神的・物質的な繁栄、啓蒙主義以来の無政府主義者の抵抗の結果である。 これは、私たちの知的文化と、国連、ロドリゲス・デ・ザヤスとノアム・チョムスキー・ノートを含む政治構造の偽善的、道徳的な原則について多くを語っています。インドの哲学者Jidduクリシュナムルティは彼の本に書いています：常にやり直すために新鮮な精神、人間の精神の変換を求めた自由に侵入し、次のように： "...しかし、我々はまた、自分自身でこれらの失敗を見なければならない、我々はすべてのこれらの世界の問題の一部であり、したがって、また、世界の苦しみのために責任がある、それは魂の完全な革命をもたらすことが可能ですか？...私は自分の存在の根源を変えなければならないし、これは私一人でしかできない。
国際連盟 - 国際連合（UN）、国際連合機構（UNO
20世紀に設立され、世界のあらゆる戦争をついに根絶し、人類が一丸となって、いわば国家の魂の革命を起こすために設立されました。
しかし、それがいかに偽善的であるかはすぐに判明しました。問題は、世界の加盟国の票がすべて平等ではなく、20世紀の大戦勝国5カ国が拒否権を持っていたため、国連は歯のない虎のようになり、戦勝国5カ国による戦争犯罪や大量虐殺を傍観していたことです。訴え、講和会議、禁輸などがあっただけで、事実無根のままだったのです
被害者国家は、イスラム国とアフリカの搾取国家の上にあり、これは常に欧米の権力エリートによってのみである。しかし、国際法の観点から見れば、1950年以降のアメリカ大統領は全員、一人残らず戦犯として非難され、処罰されていたことになります
人権団体ヒューマン・ライツ・ウォッチやアムネスティ・インターナショナルはこの犯罪を糾弾しており、例えばヒューマン・ライツ・ウォッチは、アメリカ人のドナルド・ラムズフェルドとジョージ・テネット、そしてアメリカ人に対して、グアンタナモでの拷問についての刑事調査の開始を求めている。サンチェスとミラー将軍 アムネスティは、世界のすべての国に対し、拷問スキャンダルに関与した米国政府のすべてのメンバーに対して、米国の戦争犯罪についての刑事調査を開始するよう呼びかけた。もし、これらの調査が起訴につながった場合、チリの独裁者アウグスト・ピノチェトのケースで起こったように、自国の領土に侵入した者を誰でも逮捕し、法的措置を取るように。
そのような人々が、再選されたにもかかわらず、まだ権力を握っていることがどのようにして可能なのでしょうか。
バチカンがまだ国連の席に座ることが許されているなんて、ありえないでしょう？宗教、同性愛、麻薬、政党を禁止するのは馬鹿げているだろう、ソ連だけが無駄に努力したわけではない。
1945年以降の新日本のように、ドイツ民主共和国とFRGの国家による脱国家化-洗脳-もまた、これを無駄に試みたのである。

問題の原因となっている、その原因となっている場所に行く必要があります。
意志の不合理は万事の原因
一万年以上もの間、世界の人間の苦しみの
年の歳月を経て、人間の傾向を打ち破るために
くだらないことを信じて、そこにいることができる
勝利を勝ち取る

この日から、人間はもはや宗教的に教化されることを望まなくなり、政党政治的にも、彼と彼女はもはや子供の頃から彼に穿たれてきたおとぎ話を信じなくなるだろう。
それはなぜそうであるかを理解するのに役立ちます：哺乳類のすべてのカブは、それらから学ぶために、その親に従うために遺伝的な刷り込みを持っている - 動物の学校は、親と親戚であったとさ

れています。教師の第一の地位は、もちろん母親と父親が果たすものであるが、家父長制社会では、農耕文化が始まった当初から父親が担っていた。ここでは、シミュレーションの状態と教会のマトリックスを見つけます：父の状態、父の国、父なる神、母なる神は、何千年もの間私たちに教えられてきたミームであり、幼少期には家（故郷）であり、これは、私がすでに2つのアルゴリズムで説明した私たちの神経学的構造に従って、これらのソフトウェアと脳がどのようにネットワークするかです; 理論的には、マトリックスの死の後にシミュレーションされた人生があるでしょう!

ジドゥ・クリシュナムルティは次のように書いています：「...人間の限界は最も永続的な問題であり、それはパワーセンター、学校、伝統、宗教、有毒な人々との接触（接触は人間を形成している！）の多くの社会構造によって引き起こされます...それらはすべて自由な私のための檻なのです。 彼は、自由意志、ユートピアでのみ達成可能な自由な思考を考えていました。
私もそう思っています。二つのアルゴリズムは私たちを捕らえている檻であり、魂の超越はおそらく松果体のもう一つの幻想です。
ジドゥは、私たちはエゴ・イチからの助けを期待すべきではないと言い、それがすべての苦しみの原因であると考えています。あなたは知覚し、判断し、評価し、正当化することを学ばなければならない...観察者にならずに観察することを学ばなければならない」と、本『パーフェクト・フリーダム』の２１３ページに書いています。私たちが条件付きで、遺伝的、記憶的に刷り込まれているということは、覚醒が始まるための最初の気づきでなければなりません。
そして、そのためには自由意志と思考が必要です。"私や他の誰かが言ったからといって、自分を知ることが大切だと思っているのなら、私たちの間のどんな理解も終わってしまうのではないかと危惧しています。しかし、もし私たちが自分自身を完全に理解することがいかに重要であるかに同意することができれば......私たちは慎重かつ知的にこのテーマにアプローチすることができます。

私たちはそれに直面しなければなりませんし、そうするでしょう。20万年前、あなたの先祖が誰なのか想像してみてください。サーベルトゥースステッドキャットと戦っていた20万年前、私たちは環境災害、飢饉、戦争を生き延びてきました。私は、全体的な教育、例えばこの本の中にある、全体像についてのミーム知識の重要性を何度も何度も強調することしかできません。
そして、どのような学術的なタイトルも自動的にこれが含まれていない、私は科目別教育を大切にしていますが、私の意見では、それはそれ自体で、むしろ大局観の理解を妨げ、謙虚さ、優しさ、思いやり、忍耐、開放性、無条件の愛の中で自分の心を実践することを妨げ、魂の超越のようなものを可能にしています

今日では、すべての国立学校に関係しています。もし、唯一の真実を代表すると主張する宗教を子供たちに教えたり、豚は不純で食べてはいけない、同性愛者、ユダヤ人、黒人は悪人だと教えたりすると、子供たちはそれを信じてしまい、その結果、一生、ほとんどの場合、深く教化されてしまうのです！子供たちは、そのような宗教を信じています。　そして、この瞬間から、彼らはあらゆる種類のものを信じることができるようになり、ロドリゲス・デ・ザヤスは次のように書いています：「もし私たちが、神を殺す者（ユダヤ人）でもある選ばれた民族から神が一つあると信じているならば、私たちは愚かさの海を航海していることになり、他の何かと呼ぶことはできません！」。 謎を語るな 謎はない 頭文字Dの馬鹿さ加減だけだ"
"人類の歴史の中で何億人もの文明人がそのようなものを信じて戦うことができたとしたら、彼らもまたナルシストなEGO-Iに従うことができ、マルクス主義、資本主義、民主主義から宗教を作ることができたので問題がある！"
では、自由意志がなければ誰でもEGO-ICHをやめることができるのでしょうか？私たち一人一人が、いつもより多くを求めていたのに、他人を気にせずに野心的になるのをやめることができるのでしょうか？人間関係の中で力の役割を求めて努力するのをやめてもいいのでしょうか？種の生存競争における野心、貪欲、妬み、嫉妬のプロセスを制御することは可能なのか、あるいは止めることは可能なのか。金持ちや美人、有名な人を見習って、彼らに属したい、彼らのようになりたいと思うことは可能なのでしょうか？終止符を打てるかな？
"私たちは本当に私たちの自由なMEに対処したいとは思いません...人生の中で私の経験で、私は否定的にこの質問に答えなければならない、その人間の行動は非常にまれに変更することができます - それはルールであり、いくつかの例外は、このルールを確認しています。もし私たちが本当に平和を望むならば、これ以上のことはすべて私たちのすべてから消去されなければならない...」とクリシュナムルティは書いています。
国連は本当に自由意志に対処したくないのです。2005年のミレニアムチャレンジでは、ボスニアでも、アフガニスタンでも、世界の飢餓、搾取、侵略戦争と大量虐殺の耐え難い状況を終わらせるのに役立ったものは何もありませんでした。イラクやシリア - それは利益の上に平和がすべてで望んでいないと思われる、偽善は、経済の広告のように、彼らの教義や説教と宗教の、メディアでの

プロパガンダと政治の一部である... ダリウスはそれらを呼んだように、嘘のすべての王。
もう一人の操り人形師、20世紀の政治・経済の権力中枢も、唯一の真実を処分するという主張をしていた。シカゴ大学教授のミルトン・フリードマン...彼の教え子は、南アメリカや中米の軍事独裁者だけでなく、連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）のトップや何人ものアメリカ大統領も多くいたのです 2006年に96歳で亡くなりましたが、今日の私たちの世界社会を恐ろしいほどに陥れた新自由主義資本主義の創始者であり、社会の切り捨て、中産階級の喪失、超国家企業の経済グローバル化、金融産業のグローバル化...天使よりも野獣のような存在でした。
自分のためのすべてのものと他人のための何もない - それは、都市国家、王国、帝国、今日の工業国の始まり以来、単純な支配者の道徳である。
権力の中心は常に外敵を必要とし、神もルシファーを必要とし、皇帝は彼らの家臣と嘘の王を必要とした - 彼らはお互いを必要としています!
今日はこれを呼んでいます。
ヘーゲル弁証法の原理!
費用便益分析は、イラク、シリア、アフガニスタンだけでなく、常に外交政策や国内政策の一部となっている...アメリカ国防総省は、アフガニスタンの軍隊に必要なものをすべて供給するために、1リットルのガソリンで100ドルを支払っているのだが、これが軍産複合体が利益を上げる方法であり、ガソリンだけでなく、コストも膨大なものになる。
毎回エポックは、それに合う政治家のタイプを見つける - 我々は我々が価値があるものを得る
100年以上前から従者国家を正当に要求してきたが、今でも支配者国家を維持している。ノウハウは長い間存在していたが、パワーエリートが実行していないだけなのだ!
私たちが選挙で選んだ政治家は、もし私たちが選挙で選んだとしても、常に権力や派閥主義、自分たちの利益の餌食になっています。
自分たちが犯した罪で投獄され、合法的に有罪判決を受けた政治家は一人もいなかった。

ケン・ジェブセンの「なぜ私たちは、私たち一人一人が非難されるのか」というスピーチをご覧ください。
私たちはそれを自分たちでやらなければならないだろう-世界をより良い場所に導く-私たちは他の人たちとの連帯を示さない、それはそのような古風な考え方である、それは私たちが共通の計画を作成する場合、可能であれば80億人以上の人々と、それは新たな問題を生み出しているだけです。それは革命、新しい革命の対象に再びつながる - それは常に集団的に私たちを食べるだろう。 いや、ジドゥは真の成功の見込みがあるものを提案していると思う。
自分を見て、あなたは大切な存在であり、すべての問題の引き金になっているのではなく、他の人のために何をすべきかを他人に言うのはやめましょう。
自分の道を見つけて、すぐにこの道を行く、そこには何の努力もない、あなたがそれをするか、あなたがそれを手放すかのどちらかです。
気をつけて、正直に、謙虚に、人を助けることができなくても、少なくとも相手の人生に問題を起こさないようにしましょう。
何も持って行かずに死に向かう、何も期待せずに人を助ける、何かを期待しているときには決して人のために何かをすることはありません。

人口過多の問題とその解決策
1-子供理論
この地球上のすべての人に十分な食料があり、統計的には毎秒4人が餓死することは、ジーン・ジーグラーが正しく言っているように、殺人である。 公害が虎から虫まであらゆるものを引き起こし、私たちの産業と消費者主義的な行動、欲と羨望によって、私たちの脆弱な生態系、ガイアの生物に影響を与えていることは事実です。
コロナパンデミックや政府の対策が惑星の生物圏に良い影響を与えていることも事実です!
最初にニューヨークの国連統計学者から1万2000年前から2019年までの世界人口についてのいくつかの事実をご紹介します。

の狩猟採集民のコミュニティの間に
1万2千年前には1千万人以下の地球人はいなかった
イエス様の時代には、0年には3億人弱の人がいました。
地球人。
16世紀のルネサンスの時代には、その数は少なかった。
4億人以上の地球人

より良い医療のおかげで、より生産性の高い
18世紀には、農業は約10億の価値があった
地球人。
1928年には20億人の地球人がいました。
1959年には30億人の地球人がいました。
1973年には40億人の地球人がいました。
1986年には50億個の地球がありました。
1998年には60億個の地球が
2010年には70億個の地球が
2019年には77億個の地球が
2100年には110億で予測されています。
この人口統計学的研究の著者、フランク Swiaczny は、成長が病気、飢饉、戦争やその他の自然災害のためではなく、減速していることを彼の書類に書いていますが、ほとんどの親の意識的な決定があるので、より少ない子供を持っている - それは彼らのためのより少ないストレスを意味し、それは個人的に私のために理解できる理由だった。　だからこれは重要な発言であり、経済的な負担であり、もはや親への投資ではないからこそ、出生率が下がっているのである--そんな時に!
世界の約半数の国で平均2人以下の子供がおり、一人っ子家庭はかなり発展しやすい。 親が子供を持つことの経済的・社会的コストを理解していればいるほど、戦略的な計画を立てることができます。なぜなら、それらのほとんどすべてが彼らの人生のための最高のチャンスを子供たちに与えたいと考えているからです - だから、彼らは少し多くの子供たちよりも多くのより少ない子供たちをサポートすることを好む! 教育費や養命費は最高の避妊法！？
新興国では、教育が核家族化の原因にもなっています。 教育は女性が理解しているからこそ 子供を持つことは神から与えられたものではなく、意識的で合理的な決定である。
先進国の子どもは、例えばバングラデシュの子どもに比べて、平均で最大20倍もの資源を消費しているからである。　気候変動が原因で私たち全員が死ぬとしたら、それは肉をほとんど食べず、飛行機も運転もしないアジア、アフリカ、南米の人々のせいではなく、時間内に大幅に排出量を減らすことを管理していない主にヨーロッパやアメリカの私たちのせいです。
人口を消費者の顧客と納税者と見なしている州にとって、これらは悪い展開です...バチカンAGにとっても、神が喜ぶように一人でも多くの子供を世に送り出すためのプロパガンダを止めたくはありません。　　これがジェノサイドを引き起こしたのは、多くの子供を持つ信者のほとんどが物質的、精神的な貧困の中で生活しているからです。　彼らの子孫は、悲惨、戦争、犯罪の中で暗い未来を持っています。　ローマ法王は1945年以来、過去のすべてのヒトラーよりも多くの人々を滅亡に追い込んできました
すべての人に食べさせるには十分な食料がないとよく議論されていますが、実際には、今日の110億人分の食料が十分にあるということです--食料も空間も問題ないのですから!
問題は仕事の不足と原材料の不足で、誰もが意味のある生産的な職業を追求し、消費者の生活水準に余裕を持てるようにすることです　国家体制も大きく変えなければならないだろうし、韓国や日本から欧米に至るまで、すべての社会で同じパターンが見られる。　高齢者の年金はまだ若い人たちによって賄われている、提供者と提供者がいる、しかし、提供者よりも提供者の方が多い場合、新自由主義資本主義の経済的崩壊が起こるだろう-成長のための強制力とは別に、もう一つの問題があり、それはすでにこのシステムの終わりを開始している! 彼の本の中のマティアス・グラウブレヒトは、新興市場の人々がすぐに彼らの原材料の需要が現在であるよりも賃金奴隷として先進国によってさらに多くの求愛される可能性が高いと考えています
しかし、UNOがそうであるように、世界の人口の55%がすでに都市に住んでいて、周辺地域の食料生産に完全に依存していることも指摘しています。　これらは、新自由主義的な、資本主義的な権力の中心を混乱に陥れ、奈落の底、ハルマゲドンにさえ投げ込むことができる、さらに黙示録的な騎手である可能性があります。　それはすぐに明らかになるでしょう。権力エリートがどれだけ効果的に世界の人口を安全に保つことができるか、効果的な国民国家がなければ、デビッド・アイクが予言するように、飢餓ゲームやアブラハムの宗教を引き起こすことになるのでしょうか？　計画されたスマートシティ、モノのインターネット、人工知能、世界政府、世界貿易市場、暗号世界通貨とすぐに私たちに来るすべてのだろうか、それは本当に少数のヨーロッパ人のために、生きる価値のある生活のチャンスを持っていますか？
残りはアメリカでもとにかく1日から次の日まで生きています。
他にも合理的な概念があります。

- 大都市では、下水をろ過して水道水にすることができます。
- 排泄物は、尿がリン酸塩を含む農業用肥料になるように分離することができ、排泄物か

らの固形物は、微生物の助けを借りてメタンガスに変換することができ、調理、暖房、発電のための燃料電池を駆動するために使用することができます。

- また、有機性廃棄物はメタンガスを発生させたり、肥料や昆虫の繁殖を食品として利用したりすることができるので、畜産や魚の養殖にも利用することができます。
- 都市部の平屋根、地下のガレージは農業地帯であり、消費者に食品を輸送するためのコストのかかる物流を削減することができます。
- 遺伝子技術の悪魔化は証明されていません、二度と動物を監禁して残酷に屠殺しなくても、体外での肉の生産に利用できるかもしれません。
- 海外ではなく、国内で生産しています。

コンピュータ技術にはこのようなものがあります。
- ➢行政のための人工知能、特に司法・金融・医療・社会・教育などの行政業務のための人工知能。
- ➢自律走行車の運行により、個人の交通や貨物輸送の効率化が図られています。
- ➢3Dプリンターは、最終消費者の家庭で消費者や食品を生産することができます。工場、屠殺場、耕作可能な畑は、部分的に置き換えることができます。
- ➢バーチャルリアリティは、オフィスや議会での作業を完全に廃止し、これは経済や国家の効果的な結果につながり、上記のすべての上に直接民主主義につながるでしょう!
- ➢未来のデジタル通貨は、お金の不足を解消し、貧富の差をなくし、誰もがサラリーマンになる必要はなく、自分の能力に応じて地域社会のために活動し、世界のコミュニティによって生活水準が保証される時代へと社会を導くことができ、世界を変えることができます。
- ➢現在、インターネット3.0では、コンテンツやアイデア、ネットワークを公開することができます。インターネット4.0は、さらに一歩進んで、独自のルールと法律を作成します。

私は、インターネット4.0に最大の可能性があると考えています。
フランツ・ホルマン、彼は新たに出現したことを話す
ネットワーク社会!

ダイナミクスとカオスの力が私たち全員にその影響を明らかにしたとき、未来はどうなるのでしょうか？
地球自体は宇宙を飛んでも気にしません、私たちの世界を破壊するだけで、ガイアは人間のウイルスから再生します、大丈夫、ジョージ・カーリンが言ったようにはちょっと違うかもしれません。
地球 + プラスチック...もしかしたらミームスピリッツの宇宙計画だったのかもしれない...！？

明らかに誰もこれらの質問に確実な答えを持っていないのと同じように、起源の起源、宇宙の外側の限界、そしてビッグバウンス、ビッグチルでの運命...誰もこれらの質問に答えを持っていない、それらは宇宙の他の何かによって答えを得ることができない、なぜなら、宇宙は決定論的であることができない、最終的なゴールがあることができない、宇宙のルールの下では、私が空中に投げ入れたリンゴと同じように実証的に現実的な自然の法則は、地面に戻って落ちるだろう！ということをすでに詳細に議論してきたからだ。
もう一度言うが、テレンスは正しい。彼が言うとき：心配する必要はありません、それは私たちがすべての本質的な要素を知っている必要があります、そうでなければ、心配することは完全に無駄であり、効果がありません。

現代の経済帝国

多国籍企業の創業期は、16世紀のヨーロッパ-アフリカ-アメリカ（ガラスビーズはアフリカへ、奴隷はアメリカへ、タバコ、砂糖はヨーロッパへ）の三角貿易から始まり、大英帝国、主にオランダがアジアへのスパイスルートを支配していましたが、ヨーロッパのすべての王室やバチカンは、モノ、原材料、人のグローバルな貿易の恩恵を受けていました-このようにして、ヨーロッパは今日の資本を築き上げてきました。これらの家系王朝の古都は、20世紀から21世紀の企業が設立したもので、どこからともなくやってきた企業の創業者の中には、一部の例外を除いては、そのような企業が存在していました。
経済帝国は、ローマ帝国がしたのと同じルールに従って動作し、暴力は主に資本であり、もはや剣ではありません。しかし、資本の所有者は、国民の目に見えないようにして、すべてを動物園に閉じ込めようとする--それは仕方がない、システムなのだ!
そして、これらの多国籍企業のそれぞれは、市場シェアを奪い合うだけでなく、市場を支配するために、パワーエリートは今日戦って、明日は仲良くしているのです!
製薬業界が金融業界とは違ってそれを扱うこと、または原料業界はここに詳細に行き過ぎてしまうこと; 重要なのは、彼らが両方のために良い法律である世界の政府に推薦することである、言い換えれば、経済力は政治の力を支配する-そしてEGO-ICHの政治家が常に説得されてきた多くのお金とのそれ。　表向きはそうではないことを装っているが、国民が政治をコントロールし、政治が経済をコントロールしているのである。　　これは公然とした嘘で、経済的に重要だったからといって、汚職から国家間の武力衝突まで、すでに何百件もの事例で証明されている。政治家の軍隊は、南米、アフリカ、近・中近東（東洋）を中心に、世界の経済企業（現在は20社以上ない）に利用されています。　ジェフ・ベゾス　アマゾンのような企業は、今日の市場価値が1.3兆ドルのアマゾンは、いくつかの新興市場よりも年間の売上高（2019年には2800億ドル）が大きく、ブラックロック（過去1年間で6兆ドル）のような金融業界だけが、ドイツのそれと簡単に比較することができます。
残っている権力の最後の中心は誰なのか、もちろん紙幣やデジタルマネーなのですが、誰の目にも明らかなように、これらの少数のグローバルな多国籍企業です。彼らはすべて自由な消費者、地球の人々に依存しているのです。
彼らもそれを知っている......!
興味深いのは、これです：彼らは皆、唯一の世界支配（独占的地位）を望んでいます - すべての帝国のように - そしてそれは、一般的な協力と思われるものは、経済帝国の戦争であることが何度も何度も起こります、それぞれの起源の国の国家、民族、宗教的利益は役割を果たしていない、彼らは長い間考えています。
地球人のお客さんがいっぱいいる世界のEGO-ICHオーナー（たぶんベゾス）！？

最後にライナー・マウスフェルドの言葉で締めくくります。誰がやってるんだ？"　　そして、ノーム・チョムスキーは「何ができるか？"欲しいものは何でも" ... 私たちが今日手にしている自由は、困難で、痛みを伴う勇気ある闘いの中で勝ち取ったものです。しかし、今では彼らを手に入れた。これは非常に重要なポイントであり、この1000年で成し遂げた文明の功績を自分たちでたたえることはできません。彼らは私たちの遺産ですが、彼らは他の人の闘争によって残されました、それは私たちが今日誇りに思っているこれらの文明化の闘争に勝ったのは他の人でした、そしてこれらの他の人は、彼らがこれらの闘争を戦った時にほとんどの時間であった;また、多くの場合、戦い、唾を吐きかけ、人口の大多数によって中傷されました。私たちは、今日の誇りに思っていることが、しばしば他人の大規模な闘争によって達成されたこと、それゆえに私たちが誇りに思っていることと同じ義務を負っていることを、改めて認識しなければなりません。民主主義は一度達成したステータスではなく、今は歴史的に民主主義があり、自分の小さな好みやニーズを追求することができます。民主主義というのは上から目線で常にかじ取りされていく恒久的なものです。民主化が実現しても、それが実現した瞬間に権力中枢からかじ取りされてしまう。これは逆の意味で、民主主義はBOTHから永久に取り戻さないと維持できないということです。そして、BOTHとは、人口だけでなく、もちろん教育、学校、教育システム全体を含む生活のすべての領域を意味します。民主化は腐れ縁がないとうまくいかない。多くの人々は、彼らが過去にしたように、彼らの権利のために戦う場合、多くのことができますので、私たちはまだ多くの勝利を達成することができます...ありがとうございました

資本の独裁者は誰か、彼らの計画は何なのかについては、『マガ操』という本をお勧めします。
ファサード民主主義におけるイデオロギー的条件付け（2020年）、ウルリッヒ・ミース著。

…赤い糸…

結論と貸借対照表。

現代までの啓蒙時代のミーム行列について、確実に書けることは何か？

- ➢啓蒙は、王室や神職から議会、政治家、超富裕層へと社会的変化をもたらした。
- ➢人生の最後に一番の資本を持っている人が勝ったわけではありません 成功は手放すことで測られ、物やイデオロギーにしがみつくことではなくなった。それはヒューマニズムをもたらし、社会的に受け入れられるようにした。
- ➢啓蒙のタイムエポックはまだ終わっていない、人文主義的な2つの宗派は成熟していない。
- ➢革命は下から来なければならない、それは、基本的な民主主義の成長、別の党は無意味です。
- ➢大多数の人が借金縛りから抜け出せなくなっています。彼らのローンはサービスを提供しなければならないので、制度上の問題があります。
- ➢スイスは、直接参加型の民主主義がどのように機能するかを示しています。　本の著者（Silberjunge und Fremdbestimmt）Thorsten Schulteは、たった一つの目標を持って党の設立を提案しています。
- ➢平和は自由を通してのみ可能であり、自由は真理を通してのみ可能である（カール・ヤスパース）。
- ➢兄弟の強欲と妬みが世界を不公平にすることは昔から知られています。イエス、ブッダ、デモクリタス、エピクテトゥス、孔子、老子、荘子、セネカ、ゼノン、ソクラテスなどの学者が後世のために文書に記録しています プルタークは、それらを忌まわしい疫病や致命的な病気と呼んでいた。

私たちの旅はどこに向かっているのでしょうか？
豊かになればなるほど、私たちは道徳的にも精神的にも貧しくなります。
鳥のように飛び、魚のように泳ぐことを学びました。
しかし、兄弟のように一緒に暮らすというシンプルな術はまだ身についていません。

マーティン・ルーサー・キングによって
だから、この本は、謎、役に立たない知識、陰謀、愚かさ、欲、苦しみ、死、否定性などに満ちていた後、最後の部分を読んで、それは笑えて、本当にさわやかで、私たちを連れ戻してくれるでしょう - 宇宙へ。
しかし、私たちはこの本の最初の部分で知ったのとは違うミームの目で宇宙を知覚することになります。
宇宙は情報（波動粒子）なので、そのようなものに名前をつけています。意識のこと。そして、生物を扱う際には、少なくとも動物の世界では、個体意識と集団意識があることを経験的に証明することができました。
人間の世界はゆっくりと、しかし確実に祖先から分離した、そのEGO-ICHが残り、時間とともに、ますます飼いならされていくだろう。
芸術、技術、産業、無条件の愛は、明確な、唯一の人間の発明である　-　-　多くのステップでは、我々は前進しました。　ネズミはすでに嫌なことをしているが、独身のキチガイほどそんなことをする生物はいない。
昔の私の写真を見ると、私の人間像である賢者の姿が見えます。…

…誰も変わらなかった方法で……..まあ、ラッキー・ドゥーベとボブはたぶん変わったんだろうけどね　それは今、あなたが私が残念ながらできなかった方法で人間、社会、権力の中心を理解する機会です、彼のユーモアは1つのものですが、彼の知性ははるかに印象的です!
ゲオルク・シュラムやフォルカー・ピスパース、ジョージ・カーリンのようなキャバレー・アーティストは、35年以上にわたり、権力の中枢がいかに私たちを何度も何度もねじ伏せているかを伝えてきました。笑って、同意して、家に帰る。私たちはすべてを知っている、情報はすべて公開されている、この本の中のすべてが公開されているソースから来ている、群れの動物の子羊は、確固たる信念を持って、屠殺場にその羊飼いに従っている：これは結局のところ、私たちには起こらないだろう……!
私の意見では、大衆の暗黒の限界に光が当てられていない、人間のPCの2つのアルゴリズムは、自由意志のオプションを持っていない、私のiPhoneは自発的にアップルを放棄することはありません。
共通の善、連帯の共同体は長い間忘れ去られている、コロナのパンデミックは、市民の抵抗がいかに弱いかを証明しているだけである-賃金奴隷はデジタルヘロインに付着し、屠殺場に行く。そして、ジェフ・ベゾス＆Co.は今年2億5000万ドルの大金持ちになった - 危機には常に勝者がいる!
抵抗は弱いが、以来…注目度の高い弁護士のグループは、2020年7月に欧州政府に対して法的措置を取っている; 民主主義のためのリーガルEagel …
基本的権利の制限、政令による政府、立法府のテコ入れという最も自然な方法--それまではすでに背景に過ぎなかった--は、厳しく、極端なものであったし、今もそうである。
標的とされた恐怖とパニックキャンペーンは、WHO、政治、メディアによって世界中で上演されています。それによって、豚インフルエンザの波が人間にとって危険ではなかったことを非常によく証明することができました。

私たちは2010年、ロックフェラー財団によって、2020年に現在起こっていることについて正確に警告されました。
以下の記事がすべてを語っているので、私はそれ以上に入ることはありません…

選択肢に直面したとき、あなたの子供たちは今うまくやっているし、将来の世代は、天然資源を枯渇させた価格を支払うことになり、その生活はよく災害で終わるかもしれない、ほとんどすべての親は、今の子供たちのためによく生きることを選択します。
そして、だからこそ、環境保護、戦争、使い捨て社会の消費となると、抜本的な変化は期待できません。
ブレイブニューワールド
本の第二部では、文化的進化がどのようにEGO-ICHと私たちのシミュレーションの記憶的アルゴリズムを形成してきたのか、そして私たちはまだ霊長類の生物化学的アルゴリズムの遺産を私たちの中に持っていることを見てみました。
私たちは本当にそれについて十分に読んできました、苦しみについて、私たちはすべての私たちの中に持っていることを常に多くの欲望を持っています。　その代償は、同胞の生物である地球と、超生物ガイアに求められています。 これは我々が受け入れる搾取であり、エコサイドである。
では、明日の世界の善はどこにあるのでしょうか？2020年に向けて、命を吹き込んでいきたいのは連帯感、共感なのかな？　根本的に自分を変えられないのは、自分の中にある愛の欠如や虚しさが原因なのでしょうか。
焦って「はい」と言わないでくださいね。
私たちの思考、私たちの意識は、最終的には宇宙のパワーセンターによって作成され、これらのアルゴリズムでは、それは私たちが単に私たちのシミュレーション、全体像を把握するために私たちの限界を望んでいないことが意図されているので、でプログラムされています。
本を読んで、それは私達がいかに閉じ込められているか、力の中心によってではなく、その自由でない意志と思考を持つ私達のEGO-ICHによって、より明らかになるべきである-脳のシミュレーション。
iMacはそう簡単にはそのオペレーティング・ソフトウェアから脱却できません、実際、PCは再起動なしでは全く脱却できません、メーカーからのアップデートで、APPLEやもっと悪いことに、MS-DOSのビル・ゲイツと違って、エゴイチの奴隷が欲しいだけなのです
EGO-Iはまた、フリーソフトウェアの消費者を恐れており、それは私たちの体と心の上に彼の力を奪うだろう。

不幸なことに、観察者は(不幸なことに)観察された者である......!

過去のネットに引っかからない思考＆行動、すなわち、知覚するだけで、決して非難したり、判断したり、恨みを抱くことがないソフトウェアは、全く存在するのでしょうか - これは私たちの生活の中で意味を成しているのでしょうか？
私たちは今、私たちの中に新しい思考パターンを発見しようとしましょう、これまでのところ私たちのために隠された世界の、別の、しかし良い幻想 - 量子哲学、ソフトウェアのないオペレーティングシステム...

ディープステート

社会全体の無意識

ニコロ・マキアヴェリとフリードマンのショック・ドクトリン
イタリアのマキアヴェッリと彼の友人や評論家フランチェスコGuicciardiniは、ギリシャの代表的な民主主義を振り返って、今日でも有効な基礎、私たちの西洋の国家秩序を書いた。　彼の作品の中で最も重要なのは、臣民を操ることである：「…王子は、自分の好きなようにやっていれば、民にとって良い家父であり、民にとって有用で良いことではない…」！「….王子は、民のために良い家父である。
自分自身の経済的・政治的目標を達成するための最もポピュラーな方法は、集団的な経験や危機の瞬間を利用して急進的な変化を押し進めることだとナオミ・クラインは書いています。
CHAOS MAKES ORDER - カオスからの秩序

大危機」を待って、国民がまだショックから立ち直っていない間に事実を作り、最終的には法と規制で改革に恒久性を与えているのだ！」と。 これが核となる戦略的ドグマであり
ミルトン・フリードマンの理論（経済ショック療法）では、「ただの危機、ただの
現実のもの、あるいは知覚されたものが、人口や世界の本当の変化につながります。このような危機が発生した場合、どのようなアイデアが流通しているかによって、さらなる手順が異なります。それが私の考えでは、私たちの主な機能は、代替案を作成し、政治的に不可能なこと、政治的に避けられないことが起こるまで、それらを生きたまま利用できるようにすることです。
そして、いったん危機が訪れたら、最も重要なことは迅速に行動することである。危機に瀕した社会が現状維持の圧政に陥る前に、迅速かつ不可逆的な変化を強いることである。
彼は政府は、それがこの期間中に断固として行動するためにこの機会を活用していない場合、それは再びそれを得ることはありません、これらの深遠な変化を達成するために約6-9ヶ月を持っていることを推定した。
変更を行うには、このアドバイスは、ここでは暴力の行為であり、彼らが来るときに、それらのすべてが一度に来てみましょう - それは中世の思考マキアヴェッリであり、フリードマンの教師＆アドバイザーのような権力のすべてのセンターの - 彼らは両方の神を信じていたし、政治と経済学の教育を受けていました。彼らの戦略は、世界の多くの国で大成功を収めました。多くの場合、拷問、殺人、大量虐殺と結託しています。コロナのパンデミックとその危機についてすぐに話をするようになると、マキアヴェッリの思考と貿易が見えてきて、対テロ戦争や銀行危機を分析すると、それはミルトンではなく、仕事をしているのはニッコロなのです。

過去のイベントを伴わない、または伴わない災害
まず、闇の中に眠る、人にすぐには気づかれない危機。私はまず、気候変動、生物多様性の損失（種の絶滅）、汚染　-　一般的なエコサイドを考えています。　国連気候計画の元責任者であるクリスティーナ・フィゲレス氏は、2020年以降に抜本的かつ賢明な保護策が実施されなければ、パリの気候目標は達成不可能になるだろうと述べています。　グレタ・トゥンバーグと未来のための金曜日は、メディア効果的なメガネとしてではありません…私たちの政治的な選挙のように4年ごとに、彼らは任意の根本的かつ意味のある変化をもたらすことはありません
たとえ今日のすべての数字や出来事が世界社会の適切な反応を誘発しなかったとしても、ある日、数十年にわたって収集されたこの証拠は、起訴のための証拠として機能するでしょう。　その後、将来は特に権力の中心で、文化の進化とアカウントを解決するとき。　すべての先進国では、我々は、憲法の武器、政治と少数者の資本の独裁を持っています。彼らに説明を強制し、理性を要求するだけでなく、我々はまた、動物園に彼らを閉じ込めることができます。
子供の頃、庭にはカエル、サンショウウオ、鳥、ウサギ、たくさんの昆虫がいたのを覚えていますが、私たちは環境の変化を自分たちで感じられるほど長くは生きていません。　私たちは気候変動について議論することができます、なぜなら、これは時間の初めからこの地球上で起こっているので、私たちはいくつかの気候関連の移動、飢饉や戦争を知っています - 約12,000年前の最後の氷河期以来、今日までの多くの干ばつで実証されています。
アフリカや世界の多くの沿岸都市や太平洋の島々の洪水。
政治的な対策も、既存の技術も、思い通りの気候にすることはできないのではないかと疑っています。我々は気候変動の結果と一緒に生きなければならないでしょうし、我々は確かに社会的、国際的な紛争を受け入れることができます、彼らは来るでしょう…戦争難民と経済と気候難民　-　そして、それは来るべき彼らの権利であり、誰もが彼の人生を救うだろうし、彼らは機会を与えられた

場合、彼の家族のそれ。
Jean Bandallsは30.01.20にDIE ZEITという新聞にエッセイを書き、彼の研究によると、市民社会、法制度、民主主義の崩壊は、不可逆的なドミノ効果につながるティッピングポイントに基づいており、早ければ2028年にも起こるはずであると見ている。
ここでは、経済と政治のロビイストは、短期的および長期的な成功の利益のために、誰が法律を作り、世論を操作するのかを再び示しています。　広報企業がどのようにしてメディアの景観を形成しているのか、非常に過小評価されています。　ペンタゴンは27,000人のPRスタッフを雇用し、3大通信社は世界中のメディアが何を報道するかを指示している - ニュースは完全に同期化されており、真実とは全く一致していない、と彼の本の中でイェンス・ヴェルニッケは書いている：メディアは嘘をつくか？
ホモ・アカデミクスでさえ、自分自身を啓発する時間も意欲もないということを、私たちは皆目をつぶっています。 なぜなんでしょうか？ それは、個人的に時間をかけて勉強するような情報が多すぎて、誰もそんなことをしないからです
また、ロビイストの誰もがそれを行うには、彼らは言うことはありません：私は私自身の利点のために嘘をつく
またしても自然界と私たちは、科学からのより良い知識と勧告にもかかわらず、耐えなければならないもの...

恐怖の戦争

テロ国家との戦争 - ...それはここでしか起こらないが、ここでは起こらない...
すべての戦争は道徳と倫理と神の名の下に行われる、少なくともそれがプロパガンダだ。
2001年9月11日、テロに対するショックドクトリンのミーム戦争が始まった。新興国に対して嘘を言われた、参照。9/11ドキュメンタリーの新作、ジャディ・ウッド博士（米国バージニア工科大学教授）とダニエーレ・ガンザーの共演 - ここでもマス心理学がマス操作を固めるために使われています。

これらの報告書は、なぜ私たちが今日ジェノサイドを犯しているのか、あるいはなぜGGGのパワーセンターが殺しているのか、私たちはただ見ているだけなのかをよく説明しています...しかし、もし私たちが戦争や殺しの匂いを嗅いだり聞いたり、犠牲者の匂いや叫び声を聞くことができたら、もし私たちが犠牲者について読むのではなく、犠牲者の肉からウジ虫を見ることができたら...私たちは非常に異なる方法で感動するでしょう。
それはメディアがベトナム戦争後に私たちに任意の本当の報道を与えない理由である、ウルフギャング・ヘルレスは彼の本に書いています：Gefallsüchtige - その時からこれらの写真は、実際にフランスがその帝国的野心を強化し始めた、そこに戦争が終わりに来たことを米国帝国に対して、そのような巨大な国際的な、国民の圧力につながったので...！それにもかかわらず、このような写真は、その戦争は、実際にフランスがその帝国的野心を強化し始めた...

2019年は、そのような記録が存在して以来、最も反乱が多かった年であり、干ばつや戦争による飢饉以外の理由、政治や独裁への嫌悪感による民主化運動の失敗などがありました。
2020年は再び中東での戦争の年であり、インド、中国、パキスタン、パレスチナ、イエメン、韓国、ベネズエラの間でカシミールでの紛争...他に何が、ああ、はい、いくつかの軽い反乱やデモがアメリカとヨーロッパで行われています。もう一度言いますが、それはすべて権力への主張についてのものであり、それは直接的にも間接的にもアメリカ帝国が暴力で答えているのです。コロナは関係ない......!

コロナミクスは何をしてきたのか-パニックパンデミック？ その理由と背景には誰がいるのか？

制度に疑問を持つ勇気がある人はいませんか？私はそれが再び、啓蒙主義の時代のように、ドイツの少数の横方向の思想家、無政府主義者、彼らがすると思います - メルケル＆Co.のおかげで。...今、若者は再び活動家になり、自由を望む...マスクの義務から、ハ、ハ...それは本当にそうですか？
"本当に余裕があるのか？　働かないといけないし、お金がとても必要なんです...いや、刑務所に入ってしまいます...他にもやる人はいるし、私はいらないんです...未来のために戦わせてあげてください...。　そう、それはいつもそうだった、恐怖と義務、ローンの返済、彼らのEGO-ICHが要求する彼らのオブジェクトフェティシズムの代償!

10月には、ポール・シュレーヤーの本が「Chronicle of an announces crisis」というタイトルで出版されました。　ここでは、2019.12.31に中国の武漢で最初に死亡したことが世界に知られるようになったことに注目しています。
ここに表示されるものは、かなり偶然にも10月2019年に「ロールプレイ」イベント201、参加者の与えられた国際的な企業の執行委員会は、ほぼすべての政府が（また、中国の）代表者を送っている、状態の病気のコントロール、メディアの代表者や銀行家の代表者があったということです。
さて、2020年1月21日のダボスでは、国際的な金持ち貴族を集めたクラウス・シュワブ氏が議長を務める世界経済フォーラムの年次総会が開催され、社会全体のグローバルリセット（新たなスタート）について語られました。同時に、コロナ非常事態は、メディアと科学者のグループの支援を得て、世界中のすべての政府によって宣言されました - すべては、私たちがすぐにいくつかの基本的な権利を中断し、世界経済を仮想的に停止させることがない場合は、ウイルスは多くの、何百万人もの命を主張すると述べた。
これは全て偶然の一致なのか？　2020年に実施される予定の計画は、それ以前から十分に計画されていたことは明らかです。
つまり、9.11の場合のように、議会で承認されることもなく、国民の支持を得ることもなく、社会の変化を推し進めるためにウイルスが使われているということです。
2008年から破綻していた銀行システムは、現金を廃止し、さらに国民を奴隷化する目的で、人為的に生かされていたに過ぎない。これがクラウス・シュワブ、ビル・ゲイツ、ロックフェラー、ロスチャイルド、その他の億万長者によってのみ行われたことは、製薬会社が計画した可能性があったと言えるのと同じくらい、ありえないことです。　資本のパワーセンターの意志は、世界的な権力の中央集権化を強行しようとしている。　今後数年のうちに、権力の中枢が刑務所に入るのか、鎖につながれた生活を送るのか、どちらになるかは予見可能だ。

アメリカ財政システムの戦争

すべての帝国のように、アメリカは世界の基軸通貨であり、すべての国家、企業、人間がその経済取引を行わなければならない（Swift-Network）！米ドルへのアクセス権を得ていない者は、世界貿易にも難なく参加することができる。

制裁

全ての制裁は制裁された国の国民との戦争です。　国際通貨システムが封鎖されたら、国民はすべてを欠いている！」ということになります。　ディルク・ポールマンのドキュメンタリー映画「Deception: Deception - the Reagan method」がありますが、これはアメリカ帝国とそのシークレットサービスである当時のソ連がどのようにして経済破綻に至ったのかを描いたものです。
もちろん、これは、最後の、真の権力の中心である、惑星地球の貨幣印刷所（中央銀行とBIS）でのみ行うことができます、もし家族の所有者がこれらの制裁を望むならば、彼らは来るでしょう。天皇は常に彼らと世界銀行に依存しており、彼らは何世紀にもわたってお金の神々を演じてきた非常に小さなパワーエリートの手の中にある - 。

YouTubeをチェック。ロスチャイルド家の台頭...世界で最も裕福な一族...
世界銀行は何をしているのか
金融企業、シャドーバンク、ブラックロック、ヴァンガード...などは、ラリー・フリンというナルシストのエゴイストについてのレポートも参照してください。
超富裕層が次に行う戦争は自国民に対するものであり、むしろ貨幣制度への国民の依存である。
社会学者のハンス・ユルゲン・クリスマンスキー教授は、スーパーリッチの進化的発展があるかもしれないと考えている。　このことに対する内なる憤りが、新自由主義的な資本主義とミッキーマウスの民主主義とは別の新世界でなければならないような形で、資本の独裁が自然科学や人文科学と連携していくことになりかねない。　ジドゥが私たち一人一人に求めていること、つまり、完全な自由に向けた心の根本的な内なる革命を達成するために、彼らが助けてくれることを願っています。

現在の道は、別の大惨事につながるからだ。2008年以来、経済の世界は返済不可能なほどの負債を抱えている、とエルンスト・ヴォルフは著書『Finanz-Tunami』の中で書いています。 これは、実質的な価値観ではなく、デジタル（紙幣）の創造を前提とした民間融資の結果であり、これは消費者、企業、不動産所有者を奴隷制とも言える一種の依存状態に陥らせているのです。　国家が異なる運賃を取るべきだというのは、日本の国家が世界で最も負債の多い国家であり、それゆえに資本の決定に依存していると仮定するのは甘いだろう-もし金利が戻ってきたら、多くの先進国は財政破綻に陥るだろう。
私はここで、国家・企業・国民のグローバル社会が、すべての中央銀行を所有する数少ない一族の王朝にどれだけ依存しているかをヒントにしたいだけです。
私はまた、ハンス-ユルゲン・クリスマンスキー教授があえて希望するように、それは超富裕層自身が世界のより良いために変更することは不可能であることをここで非常に簡単に言及したいと思います。　彼らはハムスターの車輪の外にいますが、ハムスターと車輪によっては、非常に近くにいます-それは、二つのアルゴリズムがすべての宇宙の力で私たちに強制する、自由でない意志と自由でない思考との本当にジレンマです...私は、PCR検査自体がプラネミアの一部である何かへの感染であるという陰謀論の神話であることを願っています；なぜなら、パワーエリートが自分たちのアジェンダを押し通すためにこのすべてを計画したならば、それは素晴らしい考えではないでしょうか？
パワーエリートがどれほど不謹慎なのか、ポール・シュレイアーなどが著書で証明しているように、生物兵器の実験は1966年以来、自分たちの身内（ニューヨーク市営地下鉄）で行われてきました。つまり、彼らは私たちのことを気にしていない、迷惑な存在であり、ビル・ゲイツが世界の人口を減らそうと推し進めているように、私たちの周りには多すぎるのです!　私はまだPCR検査を受けていませんが、あなたたち双子は受けています......!
銀行員がいる政治家は
ビジネスジャーナリストのノルベルト・ヘリングは、著書『Die Abschaffung des Bargelds und die Folgen』の中で、資本独裁の背後にいる人々の名前を書いて、Klipp und Klarと書いています。
➢資本の命令に従いたくなければ、国債のために中央銀行からお金を受け取る政府はありません!
➢これは過去にも証明されています!
➢これは、この地球上には（お金の）パワーの中心が一つしかないということを意味しています--もちろん、これらのライオン猿は彼らの二つのアルゴリズムに従っており、彼らはミームスピリッツの宇宙パワーの中心から切り離すことができません。

だから、マスコミや議会の遠吠え猿が自分たちを唯一の権力者として提示するとき、それは眠っている羊のためのショーなのだ!
ここでは、07.11.19のナルシストのドナルド・トランプ氏の言葉を引用します：「もしトルコが、私の偉大な、他の追随を許さない知恵の中で、見苦しいと思うようなことをしたら、私はトルコ経済を破壊し、一掃するだろう...！」。
これは、資本の口実がそれを指示するときに、そのような人々は、彼が押す力のスイッチに自分の指を持っていることを危険な彼の病的人格障害のナルシシズムです。
資本独裁も1990年以降、政治経済制裁で国際政治を作ってきた!

アメリカは現在、戦争制裁のために30カ国を罰していますが、それに従わない場合は、世界のあらゆる銀行、会社、工場、個人を罰しています。　経済戦争もまた、侵略戦争と同じように、国連の委任状や国際条約の下で禁止されている、とジーン・ジーグラーは書いている。

制裁は経済的なものであり、銀行家が行う暴力的な戦争である。現在、これらの制裁は、ベネズエラ、北朝鮮、ロシア、イラン、シリア、イエメン、パレスチナ、中国などに対して、何年も前から

行われています。その結果、これらの国は世界で物やサービスを売買することが非常に困難になり、経済発展がより困難になっていますが、それがどの国家をも崩壊に追い込んだことはありません。トランスペアレンシー国際報告書2019によると、おそらく製薬、健康、娯楽、保険、銀行、武器、原材料、食品産業の主要な産業はすべて腐敗しており、犯罪的である、彼らはそれを、かなり正しく、ギャングスター資本主義と呼んでいます。
2008年にリーマン倒産が来て世界経済を危機と銀行倒産に陥れたか、金融危機ではなく金融詐欺だったか、おそらくドイツや世界の公私のメディアよりも多くの事実を収集しているドイツの風刺家たちはこちらをご覧ください
Creditreformの債務アトラスによると、2018年には、約700万人のドイツ人（総人口のほぼ10%）が、もはやクレジットの請求書を支払うことができなくなっていた。債務超過の別荘オーナー、中流企業、債務超過の夫、シングル・ペアレンツ、そして反省のない衝動買い（買い物狂い中毒）からも引き裂かれる子供たち。
また、失業、株式市場の不安、ゼロ金利政策、無担保融資（国や銀行が無謀にも融資をした）による債務超過などがあります。
新自由主義資本主義のデジタル時代には、企業が遊ぶ市場やルールが変化しています。例えば、SIEMENSは36万人の従業員を抱えていますが、デジタル企業のアップルやアマゾン＆カンパニーのように、インターネット企業と比較しても、モノやサービスの世界的な消費をコントロールしているわけではありません。シリコンバレーに拠点を置くこれらの企業は、合計30万人を雇用していますが、彼らは世界のモノやサービスの市場なのです　これらの企業の株式価値は、生産企業の株式価値をはるかに超えており、これは、世界の政府にとっても、独占と経済的破滅につながります-特にコロナパンデミックの間と後に。 2020年2月から4月の間に、ダイムラーベンツはその価値の半分、300億ユーロを失いました。 これらの統計だけで、私たちの貧困について多くを語っています：2019年には、ドイツでは4700万台の車がありましたが、これはアフリカのすべてのよりも多くの車です
ドイツの税関を拠点とするFIU（欧州金融情報ユニット）は2019年、欧州の年間売上高が1兆ユーロ（約1兆円）であることを発表した--BMWの年間売上高は1000億ユーロ（約1兆円）にすぎない--ため、しばしば間違った（犯罪者の）手に渡っていたとしても、十分な現金が存在するという。現金とそれがもたらす自由を廃止する重要な理由の一つは、私が言うには、国家と資本の独裁にぴったりのものです。　しかし、暗号通貨の利点はまた、多国籍企業とある。最も重要なタックスヘイブン - ヨーロッパでも - APPLE, AMAZON & Coが一般の人々から利益を隠していること（税金詐欺）は、政治と経済の狂気を私に示しています。
2008年の金融危機以降、世界的にも、また欧州でも、このようなお金と信用の問題を抱えた社会の崩壊を食い止めるための法律は成立しませんでした。現在の世界的な経済危機のように、各個人と各国家は、独自の利点だけを考えている - 欧州連合は、難民と金融危機で失敗し、それはおそらく、コロナのパンデミックに対する政府の措置のために、最終的には、それが私たちの家族では、少なくとも私の中で起こるように、破壊されるでしょう。　遺言書には真実性に欠ける部分があるので、それをバカにしても仕方がないのですが......!

貧しい人々はより貧しくなっている、これは何十年も前からそうだったし、今はちょうど危機の中で1%の金持ちがより豊かになっている、さらに豊かになっている　意見・調査の自由、報道の自由、集会の自由に反対するマスメディアの戦争。

"自由が何かを意味するならば、聞きたくないことを人に伝える権利がある"
ジョージ・オーウェル著

憲法には政治家を罰するための法律やルールがありますが、これがどのように制裁されるべきかは定められていませんでした。基本法は私たち国民に権利と保障を与えているが、それは紙の上だけのこと...私たちには権利、抵抗する義務、あらゆる形での意見の自由の権利があるのに、それが政治的指針の圧力でほとんど適用されていないのは、良い意見でも悪い意見でもあるからだ。批判的なコメントが出るたびに顔に一発、誰もそれを望んでいないような社会が構築されていて、特に世間の評判の良さで生計を立てている人はそうではありません。人は一般的にはまだ自分の小さな世界に満足しています。　すべての公に知られているジャーナリスト、研究者、裁判官、政治家、司祭、実業家、俳優、スポーツマンは、彼または彼女がしなければならないよりも誰も頭が高く、何とか自分自身の周りに快適な方法を歩いています。これは、都市国家の始まりから存在し、おそらくすでに仲間の種がライオンに食べられたときに恐怖、利己主義と制限の外にとどまる動物として存在しているグループの服従である - いくつかの反逆者、改革者はもちろん介入しますが、これは例外であり、ルールではありません。
恐怖パニックが思考封鎖を誘発するからだ！

私たちには意見の自由があり、したがって研究の自由があるので、私たちが研究したり、研究をしたり、発言したり、書いたりしたからといって、必ずしも刑務所に入るわけではありませんが、それは80年前も700年前も私たちの国であったように、他の国でも変わらないのです。
しかし、私たちが科学、経済、政治、宗教について社会的に批判的な意見を表明するとすぐに、エリートや専門家でさえも、雇用主から、広告スポンサーから、自分たちの利益団体から、司法から、あるいは自分たちの家族から、問題や非難を受けるのです-それは完璧なマニピュレーターであることを恐れてのことです。

これは認知的不協和であり、したがって
を批判する人はほとんどいません。
マトリックスとイエスの場合は、無視するか
マスコミが歪曲している

実際に欧州の民間メディアは誰が所有しているのか？ごく一部のコスモポリタンに国家の状況や世界の状況を提示したり、彼らのために解釈したりしているメディアが世界に数十社しかないのは当然のことである。　残念ながら、これはGOVERNMENTとその目に見えないアジェンダという意味で、私たちには理解できないことが多いのです。
2019年12月31日、中国・武漢でCORONAのパンデミックが始まった。ウイルスとの戦争として嘘が語られた、KenFM.de　USコロナ法：ビジョナリー立法を参照。米国のトランプ大統領は、すでに24.1.2019に議会の下院（27.03.20に導入されたH.R.748 The CARES法 - Coronavirus Aid, Relief and Economic Security Act, 27.03.20）の彼の動きで計画した3.2兆ドルの企業や銀行、金融寡頭制またはジョン・メイナード・ケインズがそれを呼んだように3.2兆ドルの援助パッケージ。イールドジャグラー - 首都の猿に死す!

牛群所有者のサーバント家系のダイナナスティス

CIA、ゴールドマン・サックスの写真が消えているのは、ピーター・ケーニッヒによると、ヘンリー・キッシンジャー、史上最大の戦犯だそうです。

ヘンリーは「食を制する会社は人を制し、エネルギーを制する会社は大陸を制し、お金を制する会社は世界を制する」と書いています。

メディア - ミームネットワークのサポート
センタリングされた情報は、あなたが必要としている情報であり、知ってはいけない情報です。
2020年初頭、コロナパンデミックでは、SNSや陰謀論などの無修正公開を禁止するなど、研究や表現の自由の限界を法律でさらに制限すべきである。　グーグル、ツイッター、ユーチューブ、フェイスブックなどの企業は、WHOに沿っていないすべての情報を燃やしている-。
これが2020年のデジタル検閲だ!

メディアや出版社が果たすべき社会的責任のために、国家が監視すると信じないのは不条理だ。国家、マスコミは嘘とされていることに同意しなければならない。
司法が手続きを開始すること、議会が調査委員会を開始することは、ヨーロッパではありませんでした。
真実は防衛を必要としないので、自由思想家のいくつかのグループ（フリーリーガルイーグル）は、公開調査を開始した、事実は、好みに応じて解釈することはできません。　陰謀論者であることを告発するのは根拠のない人殺し論であり、中世の人々はメムワードウイルスという異端で沈黙していた。

対話と議論に終止符を打つことを目的としています。
議論を煽る
これはミームの免疫です。

ライナー・マウスフェルド教授は、メディアと企業の政策の間の協力についての良い説明をしています。認知的に考え始め、他の羊に言う羊について、「犬と羊飼いは一緒に働いていると思う！」と。バア、それは陰謀論だ……!

パワーエリートの恐怖は、強化され、教育を受け、経済的に独立した羊たちに影響を与えています。

事実を隠蔽したり捻じ曲げたりする検閲を使った操作の試みは、あまりにも古臭くて…すげーつまらんな
しかし、編集者は非常に選ばれており、監視システムが確立されているため、すべての出版物に国家による検閲が行われる必要はありません。
編集者は何が印刷されていて何が印刷されていないかを知っています。

政治的誘導文化に仕えている
イェンス・ヴェルニッケを参照。

自分のイデオロギーの評価とは無関係に、これは、すべてのジャーナリストが嘘をつくわけではなく、メディア業界が嘘をつくということを意味しています、広告業界と同じように、それは単に自分の意見、あるいはクライアントの意見、あるいは自分の給料を払ってくれる人たちの意見を宣伝するための一部に過ぎないのです。　これで私はまた、すべての政治家が嘘をついている場合、彼らは彼らのクライアント、選挙民、党（派閥主義）と政治家のそれよりも他の職業で彼のキャリアに従っている質問に答えます。
ソーシャルネットワークの検閲 - 特にウィキペディア、フェイスブック、ユーチューブ - 2020年以降、これがミームの予防接種として理解できるほど明白になってきています - 真実は予防接種できないので、これはコロナウイルスよりも長く続くと思います、事実は事実のままで……!
私はそれが羊飼いに従わない人が整理されている日常の政治生活の中で同じケースであると仮定し、残念ながら私はこの自己検閲を打ち消すために、科学のアカデミーでこれを自分自身が経験しているが、成功せずに。

争いの文化がカラシニコフに取って代わる。　感情レベルではなく理性レベルでの論争で、事実無根の議論をしても共通の解決にはつながらない。　今日では、古い思考パターンを残しているため、問題そのものを論じる文化が蔓延しています。　独裁的な羊飼いは、助言的な機能だけを発揮し、専門的な知識を優先的に与えるべきである - 羊飼いの前に。 2020年以降の課題は膨大なものになります。
経済学者ピーター-ケーニッヒは、この戦争同盟は、ソ連とのすべての約束を破った、それは新しいロシアの国境に進むべきではない - しかし、それはありません、自由に破るためにそこから手かせの一つとしてNATOを見ている。 中東での戦争はすべて違法な侵略戦争であり、彼らはケープ独裁者の命令で戦犯であり、資金を提供している政府ではありません!
嘘が君臨する星では、真実は陰謀論にしかならない…。
これは陰謀論である。
これらは陰謀の神話です。
人間はあらゆる種類の無意味なことを信じる傾向がある！私たちはまだ猿のような行動をしていて、本当に文明化されているとは程遠いように見えます。

人が会って自分のプライベートなことをプライベートな雰囲気の中で話し合う--それはそれぞれの人がやっていることだと思わないのはナイーブです。主婦だけでなく、麻薬の売人も。　なぜビジネスマンも非公式な会議で会うべきではないのでしょうか…彼らは彼らや彼らの会社にとって何が重要か、何がうまくいっていないのか、それについて何をすべきかを話し合っています。
そうなると、私たち自身も何かに影響を受けているのかもしれません。名前を聞いたこともない人たちに…誰だか知られたくない人たちに…見えないようにすることを重視する人たちに…その人たちは秘密を重視し、自分の社員でさえも役員室で決められたことをすべて知らされないようにして

いるのかもしれません…。
今、私が推測しているのは、システムが作られ、それ自体に勢いが生まれ、もはや制御できない…目に見えないものでさえも制御できなくなったということだ。
陰謀論とは、しばしば秘密の委員会で会合を持つ人々のグループによる、実際の、しかし秘密の行為のことである。これらの人々は、政治、ビジネス、宗教内のネットワークにほぼ独占的に属しています - GGGパワーセンターとして、他の秘密結社、組織内の友愛会、財団、シンクタンク、メディア、金融協議会があります。

陰謀神話とは、実際に計画された嘘であり、ほとんどの場合、嘘を公表している人々のグループによるものであり、多くの場合、異なる動機と目的を持っています。
1つは事実と真実であり、2つ目はミーム・ウィルスとして広まる可能性のあるミーム・ウソであり、時には悪いように正しい - しかし、最終的には真実は常にウソよりも勝っています!
例えば、惑星が平らな円盤であるということは、明らかに陰謀神話の領域に属するものですが、科学の常識はこの500年で非常に向上しています。 陰謀論では、それは信仰の宗教的な論争ではなく、全く異なる権力の問題であり、ここでは、事実と証拠があります - それがあったか、または/または隠蔽されている、そして国家機密です。
国家の検閲、司法、マスコミは、知識の選択と、どんな状況下でも国民が知ることが許されていること、知ってはいけないことを選択する役割を果たしています。 集団心理学、深層教化、プロパガンダ、フェイクニュースを心理兵器として使っているというのは、本当に何のことはない、啓蒙の時代からもっと使っているだけなのだ。
デジタル革命により、政府はソーシャルネットワーク（Facebook、YouTubeなど）という媒体を利用することが増えています。ヒューマンテクノロジーセンターは、2019年の現代プロパガンダに関する報告書を米議会に提出した：……ブードゥー教のアルゴリズムによって、エコーチャンバーがますます作られるようになっている。彼らのページやリンク先に行くと、私たちのためだけにアバターが覚醒します。このアバターは、政治的な話題や広告メッセージに行動心理学のすべての芸術で私たちを精神的に魅了するタスクを持っていますが、私たちは決して自分で選んだことがないでしょう。それは確かに長い時間のために今でもフェイクニュースと意見の自由で、インターネットの媒体を介して私たちを操作することです - すなわち、国家の陰謀神話である嘘と。もう一度言いますが、私たちは、私たち自身がこれらの信念に到達した自由意志と自由な思考と同様に考えています-私たちは、アバターが取り残されているので、マトリックスも、国家、経済、宗教（GGGパワーセンター）の操作も見ていません!
この時点では、数十億人のユーザーを積極的に操作する可能性もあることに留意すべきだが、パワーセンターはこれを許すことができない、それは彼らの力を溶解するだろう、おそらくグローバルなミーム革命を通じて、神経倫理学の新しい主題は、それが実際に何をしているのかを尋ねるために私たちの脳を助ける….

それは、インターネット上のファクトチェッカーを提供することは問題ではないだろう、ウィキペディアとWkileaksの方法では、Google-検索とは異なり、事実と真実にのみ基づいている - しかし、権力の中心部によってサポートされていない、むしろ防止され、その結果、政治的に戦略的な質問にも暗記されている、科学的な報告書に検閲されている、デジタルブックの燃焼！それは、インターネット上のファクトチェッカーを提供することは問題ではありません。
ジュリアン・アサンジは今、刑務所に入っています。戦争をしたジョージ・ブッシュではなく、ジュリアンは真実を発表しました。

また、私は男がいかに騙されやすいか、彼の傾向はほとんどすべてのナンセンスを信じていることに何度も驚かされます。どんな動機であれ、これらの嘘をでっち上げる人たちには、フェイクニュースで個人を騙して操るよりも重くのしかかる意見の自由の権利があります。
存在してはいけないが、存在することを許されなければならない!

それが最終的に終了しなければならないと、世界でこれ以上の全体主義的な思考の禁止があってはならない、話す権利があり、それは予約なしで適用されなければならない - それは侮辱や中傷であっても、真実は擁護者を必要としませんし、感情的な批判は非常に客観化されています その後に事実と確認され、嘘やくだらないナンセンスと暴露された陰謀論（陰謀神話、誤報）。

陰謀の神話。

- 神は7日で世界と宇宙を創造したとか、みんな天国に行くか地獄に行くかとか、惑星は平板な円盤か亀だとか。
- 人間は宇宙に飛び、月面に降り立ったことはありません。
- 地球という惑星は、中が空洞になっています。
- 3000年前のシュメール人と古代イスラエル人（アヌンナキとエノク）の書物は、今でもミームウイルスとしてミームの世界に存在する陰謀神話、イエスの復活の最初の証拠が書かれていた可能性が非常に高い。ナザレのイエスが人の子であったこと、あるいは人の形をした神であること。
- 子供の血を飲んだり、子供の臓器を売ってアンチエイジングホルモンを手に入れる超富裕層の世界的な運営網。
- 飛行機の空の蒸気の軌跡（ケムトレイル）は、私たちを殺すためにあるのか、何なのか。
- ユダヤ人が世界を支配している。
- マヤ暦がそう言っていたから世界は終わる（2000年）......！？
- 気候変動が人為的なものであること、エコサイド、種の喪失、汚染は一部では私たち全員が引き起こしたものであり、今も止まらないことは、ここで言うまでもありません。
- 私たちは、エーリッヒ・フォン・デーニッケン・ゼチャリア・シッチン、デビッド・アイクなどのような地球外生命体に支配されており、怪しげな証拠を持っていることが、彼らの本の中で私たちに教えてくれています。
- 製薬業界が人間の病気で永続的に利益を上げるために、実績のある治療法を抑えていること。
- 私たちはヒンドゥー・クシュで私たちの自由を守り、守る...これは、第一千年紀のヨーロッパの権力エリートに代わって、十字軍（権力を守る）が、彼らが東洋、アフリカ、アメリカを占領したときに言ったことです - これらは、それぞれの地域での権力と影響力のための帝国のフレーズです!
- 1954年から大衆を無力化する反重力と、それを利用してUFOが作られてきました。
- 電磁周波数（5Gネットワーク）によるマインドコントロールのための戦争としての電子幻覚。
- ジオエンジニアリング......我々は天候を制御することができます。

陰謀論。

➢最初の実証可能な陰謀は、2000年以上前に父ユリウス・シーザーを殺害してローマ帝国の権力を握ったブルータスだった。　近代までの政府や権力エリートが、意図的に他の国家や組織、人を不当に非難して、陰謀を実行したことを証明する何百もの本があります。
➢NACIの主要なメンバーは、非難されていないと1945年以降、世界的に、国家、経済、科学の主要な地位を持っていた。
➢国家の秘密は何十年にもわたって公文書館に閉じ込められたままになっていることがよくあります。 国家機密を開示した者は、抜本的な処罰で非難される。
➢多くの州（アメリカ）では、シークレットサービスは正義と政治によって規制されていない。
➢国家のテロリズム、シークレットサービスは、20世紀以降の人口に対する致命的なテロ行為を実証的に実施した。　その理由は、実際に国家が設立したテロ組織に潜在的なテロリストを引きつけるためです。
➢人道作戦は、海外の一部の人口に対する戦争の隠れ蓑になっている。
➢国には法律を書く経済のロビイストがいる。
➢アメリカ帝国を含む全ての帝国は、異なる考えを持つ者（国家の敵）のための処刑マシーンであることを
➢政治が私利私欲のために非公式に経済と協力していること、つまり汚職、詐欺とネポティズム、そして自国民の窃盗は、世界のすべての国で何度も何度も証明されています。
➢最後の世界的に深刻な陰謀論は、共産主義者、麻薬の売人、イスラム国のテロリストという目に見えない敵との戦争だった。
➢ケネディ暗殺事件、2001年9月11日のニューヨークでの出来事、2008年の世界的な金融詐欺、Coronap(L)andemia 2020も、合理的な疑いの根拠となっています。 1960年以降、国際テロとの戦争は、嘘、詐欺、戦争のプロパガンダが散りばめられています。
➢侵略戦争はありますが、195の州が侵略戦争を禁止しています。アフガニスタン、イラク、セルビア、シリア、リビアの戦争は、NATOの侵略戦争だった--防衛同盟としてしか許されない! 自分たちの法律を破っている、私たちは、私たちは、それの一部であり、西洋の政治家はすべて、自分たちの法律に従って、戦犯であるからです。

➢これは、世界の政治と人間の家族、市民、あるいは有権者の行動を記述することしかできない狂気である-私たちに責任がある!

したがって、言語、言葉の選択に注意を払う、なぜならば

思考はマスコミに操られている
これらの違法な戦争の正当化
政治家の間でも議論されています。
ブッシュ、シュレーダー、メルケルは
認めるが、しかし、しかし、ミーム語で......!

アメリカ帝国は数十年にわたり中東を不安定化させ、その地域の政府に政治的・経済的な力を行使し、テロリズムを生み出してきた。クリントン、ブッシュ、オバマの3人のアメリカ大統領が9つのイスラム国を戦争の混乱に陥れ、1100万人が死亡したが、誰も彼らをテロリストとは呼ばない。アフリカ、アジア、アメリカでのアメリカ帝国の記録も同様の手段で行われ、さらに多くの死者を出しています。風刺番組の概要は以下のリンクを参照してください。　それは、アメリカの秘密サービスが機密扱いを解除して陰謀論を、秘密の数十年後に、それらを確認し、世界の公衆が政治的なシーサーズとそのヨーロッパの臣下の王のための任意の法的な結果を要求していないことが顕著である - 彼らは私たちをあざ笑うと、どのような方法でも、恥ずかしいです。どれも今日まで変更されていません!

私たちは奴隷にされ、分断され、愚かにされ、権力欲と欲望の名の下に、信仰と武器の無意味な戦争でお互いを敵に回しているのです。
コロナウイルスが人類に危険を及ぼすというのは、国家のプロパガンダです。
世界経済は新自由主義資本主義のために2008年からすでに衰退していたので、ウイルスが新しい世界秩序を迅速に導入するための正当な理由に変えられました-ショック・ドクトリン：カオスが秩序を作る！」。

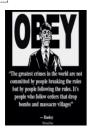
そのような真実を話し、それに対して警告する私たちの多くは、陰謀論者として、異端児として寝ている羊、否定者やメディアによって軽蔑され、笑われている、羊飼いのパワーエリートは、真実をからかう - 彼らは真実を嘘と嘘を真実にする...

DIVIDE & RULE - DIVIDE ET IMPERA!

古代ローマ人は、何のためにこれを「戦争の黄金律」にしなかった、彼らは人々やグループを分割し、不和を蒔いたときに、人々が口論し、お互いに戦って、その後、彼らは常に帝国のために、または自分自身のために良いであった彼らのベールに包まれた「解決策」を持って来たことを見ました

- 世界経済が崩壊しているのは、ウイルスのせいではなく、それを意図的に誘導する政策のせいです。
- ディープステートは、金融システム、多国籍企業、政治家の複合体である。
- 世界の人口の大多数は、それ自体が楽器化され、支持され、これまでのように従うことができます、それはそのようにそれを望んでいます!
- 覚えておいてください：私たちは私たちの思考ではなく、私たちは思考が発生する意識であり、それは同じではありません - 私たちは私たちの思考ではありません、エックハルト・トレは書いています
- すべての侵略戦争は国際法の下でUNOによって禁止されており、世界貿易センターのタワーが崩壊して以来のNATOの戦争はすべて違法であり、実証的に違法であった。
- メディアは権力エリートを操り、従わせるものだが、幸いなことに私たちはまだインターネット上で無修正の代替メディアを見つけている。

メモワール

￼

コンピュータウイルスは、自宅のコンピュータのホストを乗っ取り、ウイルスのプログラムが実行されるように自己複製するために使用されます。
それはメディアでもインターネットでも同じで、メンウイルスのイデオロギーは感染した宿主によって人間の集団の中で実行され、印象的な方法で、感染は反響室、同好の士のバブルの中にあります。
アイデア＆言葉はいつでも世界を変えることができる - ミームスピリッツのおかげで!
政治的、経済的、宗教的なミームネットワークでは、イデオロギー的、文化的なミームネットワークを介して、そのために血が流れることが多く、宗教戦争が繰り広げられています。
ライナー・マウスフェルド教授は、束縛されている子羊たちは、彼が深い教化と呼ぶ大衆心理にさらされており、国家の陰謀を否定していると述べています。
権力者である金持ちの集団が集まって、自分たちの力を高める計画を実行するべきではないと信じないのは、陰謀否定派の不条理だ!
それを信じている反対派の人たちが、それを証明できることが多いのに、嘲笑され、攻撃までされるというのは不条理です。
また、権力エリートがすべてプライバシーを大切にしているわけではないと信じないのも不条理で、公共の闇の中にとどまり、あらゆる手段を使って名声を隠そうとしています。 それは公式に認められたメディアは、客観的にも真実と事実に基づいて、真実のこの問題に対処していないことは不条理であり、パワーエリートの責任を保持していない - BILD-ツァイトゥングなどは、政治的キャリアを彼らの膝に持ってきたので、これは可能であろう。
もし政府がテロリストやウイルスを作ったとしたらどうなるだろうか？政府がテロリストやウイルスから国民を守るために、民主的な議会の言説や手続きで、平時には施行できなかった、より多くの法律を作ることができるのだろうか？
私たちの基本的な権利や経済を極端に制限したのは、テロリストやコロナウイルスではなく、政府の行動だったからです。これらは、新自由主義経済学者ミルトン・フリードマン教授が次のように説明したマキアヴェッリの戦争戦略である： "...政治的に不可能な、避けられないまでは、それはあなたがすべての反抗的な力を取り除く方法であるため、危機を介している - 混沌は秩序を作る"とロドリゲス-デ-ザヤスは書いている。
紙とデジタルマネーの
　お金は無限の記憶物質です。
　部分的にのみ惑星の生の物質 - 問題点
　まだ解決策を要求しています。
　取り組んでいます...！

マーク・シュルテ氏はZEITの03.01.20の記事の中で次のように書いています：...お金があれば、風力タービンを設置したり、原子力発電所を建設したり、学校を建設したり、戦車を購入したりすることができます。 このような選挙運動には少なくとも10億ドルの費用がかかるため、お金があればアメリカの大統領になる見込みがあります。
100ドル札の生産には0.8セントかかるが、牛乳の生産にはかなりのコストがかかる--牛乳には限界があり、紙幣には限界がない。 しかし、政治家は「牛乳は不足しているのではなく、お金が不足している」と言います。 彼らはお金を印刷すればいいだけで、私たちはもっとお金を持っているのです。 中央銀行があった時から、その理由は分かっていました。お金を印刷すると（ハイパー）インフレになる。 750年前、中国の皇帝が紙幣とその力を発見した。 ヴェネツィアの水兵マルコ・ポーロの話は、彼の著書で知っています。 当時のヨーロッパ人は、紙幣で豚や米一袋、宝石さえも買えるという考えを笑っていましたが、それは貿易が始まって以来、どこでも物々交換

の貿易しかなかったからです。 確かに古代の金銭感覚は、靴職人が靴を槍に交換するという問題だったが、仕入れ先があるとすぐに、普遍的な交換媒体としてお金だけが解決できない問題になってしまった。 つまり、2790年前のリディア（現在のトルコ）でコインを発明しなければならなかったのです。 しかし、このコインは金や銀でできていて、紙幣は木の皮から来ていて、今日のデジタルマネーはボタンを押すことで作られているので、価値がありました...それはただ安いだけで、いや、それは何のコストもかからないのです　金貨とデジタルマネーの唯一の違いは、おそらく1つの背後には商品価値があり、他の背後には軍隊があるということです。 これで私が言いたいのは、世界の貧困は、インフレのためにお金が不足しているから存在しているのではなく、人々を搾取し、それによって国家を服従させることができる（負債の）束縛の中に維持しているから不足しているのだということです。

十分なお金があり、十分な食料があります - この地球上のすべての人間のために! 何が足りないかというと、再生不可能な資源から生産しなければならない製品があるんですよ!
中央銀行は権力エリートの足かせ、庶民のためのものだ!

経済学者のダニエル・ステルターは、Focus Onlineの2020年6月号でコロノミクスについて似たようなことを発表しています：「最初の中央銀行は、スコットランドの商人ウィリアム・パターソンが1688年9月24日にロンドンに設立したもので、戦争は借りたお金から、信用で戦えるようになっていました（！）ヨーロッパの軍閥は常に財政難に陥っていましたが、それは傭兵部隊しか持っていなかったからです...実際に中央銀行をコントロールしているのは誰なのでしょうか？
マーク・シュルテは03.01.20のDIE ZEITの記事の中で次のように書いています：...お金があれば、風力タービンを設置したり、原子力発電所を建設したり、学校を建設したり、戦車を購入したりすることができます。　このような選挙運動には少なくとも10億ドルの費用がかかるため、お金があればアメリカの大統領になる見込みがあります。
100ドル札の生産には0.8セントかかるが、牛乳の生産にはかなりのコストがかかる--牛乳には限界があり、紙幣には限界がない。　しかし、政治家は「牛乳は不足しているのではなく、お金が不足している」と言います。　どうしてそうなるのかというと、彼らはお金を印刷すればいいだけで、私たちはもっとお金を持っているのです。　その理由は、これまで中央銀行があった時から分かっていました。お金を印刷すると（ハイパー）インフレになる。 750年前、中国の皇帝が紙幣とその力を発見した。　ヴェネツィアの水兵マルコ・ポーロの話は、彼の著書で知っています。　当時のヨーロッパ人は、紙幣で豚や米一袋、宝石さえも買えるという考えを笑っていましたが、それは貿易が始まって以来、どこでも物々交換の貿易しかなかったからです。　確かに古代の金銭感覚は、靴職人が靴を槍に交換するという問題だったが、仕入れ先があるとすぐに、普遍的な交換媒体としてお金だけが解決できない問題になってしまった。　つまり、2790年前のリディア（現在のトルコ）でコインを発明しなければならなかったのです。　このコインだけは、金や銀で作られていたので、価値がありました、紙幣は木の皮から来て、今日のデジタルマネーはボタンを押すことによって作成されています...それだけで安いです、いいえ、それは何のコストがかかりません！それは、あなたのために何かをする必要はありません。　金貨とデジタルマネーの唯一の違いは、おそらく1つの背後には商品価値があり、他の背後には軍隊があるということです。 これで私が言いたいのは、世界の貧困は、インフレのためにお金が不足しているから存在しているのではなく、人々を搾取し、それによって国家を服従させることができる（負債の）束縛の中に維持しているから不足しているのだということです。

十分なお金があり、十分な食料があります - この地球上のすべての人間のために! 何が足りないかというと、再生不可能な資源から生産しなければならない製品があるんですよ!
中央銀行は権力エリートの足かせ、庶民のためのものだ!

経済学者のダニエル・ステルターは、Focus Onlineの2020年6月号でコロノミクスについて似たようなことを発表しています：「最初の中央銀行は、スコットランドの商人ウィリアム・パターソンが1688年9月24日にロンドンに設立したもので、戦争は借りたお金から、信用で戦えるようになっていました（！）ヨーロッパの軍閥は常に財政難に陥っていましたが、それは傭兵部隊しか持っていなかったからです...実際に中央銀行をコントロールしているのは誰なのでしょうか？ 1696年3月に彼は27億6,700万ポンドの価値がある紙幣を印刷し、彼の城で唯一の25万8,000ポンドのスターリングを持っていたときに、その時にそれは、英国王だった、小口投資家の最初の反乱が起こった、彼らはお金のアイデアが良い場合でも、それが唯一の詐欺であることに気付いた。　しかし、このことが銀行家たちの心を動かしたのです：なぜ27億6700万ポンドしか印刷できないのか、たとえ27億6700万ポンドでできたとしても......あるいは金に相当するものを省いてはいけないのか........それが20世紀半ばに起こったのです。　私の結論はこうだ：誰もが使えるデジタルマネーは

いずれ来るだろうが、製品やサービスは再生可能な資源から得なければならないという唯一の制限の下で、公正かつ豊富に分配されなければならない。
米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）のトップ、アラン・グリーンスパン氏は２００５年に米下院で「政府が好きなだけお金を作るのを止めることは誰にもできない！」と発言している。　今日、欧州中央銀行（ECB）の銀行員が「世界的なハイパーインフレにつながるから、紙幣を大量に刷って無利子で流通させるわけにはいかない」と言っていたとしたら、政治家はその真実を語っていないことになります。彼らは言う：それは高い失業率と企業倒産を伴う不況につながるので、我々の有権者にそれを期待することはできません、それはお金の市場をクリーンアップすることはできません、お金は印刷され続けなければならないし、これは社会の混乱につながることを誰もが知っています。　本当のことを言うと、紙幣がなければ産業革命はあり得なかったのと同じように、これからの課題は自己主張できない、お金が創造力に変換されている限り、すべてが超！ということになります。
中央銀行はもはや自由に好きなことをするべきではない。政治家を助け、国民を眠らせ、国民と企業に政党が永遠に続くことを保証することをやめなければならない。　　中央銀行家の計画は長い間、世界的なデジタル暗号通貨と現金の廃止、つまり人や企業を絶対的に支配すること、あるいはスタートレックのようにお金からの絶対的な自由を意味していました! 気候変動、公害、飢餓、病気、苦しみを減らすために、より良い教育や年金制度を持っているために、世界を救うためには、我々が必要とするすべての紙幣、またはデジタルマネーです...同じコインの反対側には、この方法は、状態と絶対的な依存で世界のすべての人々を置くということです - 電子銀行口座が何らかの理由で、ブロックされなければならない場合...そして、1つは死ぬまで飢えている！電子銀行口座がブロックされている場合...そして、1つは、そのような理由で、世界のすべての人々を置くことです。
パワーエリートは、あらゆる状況下でこの権力の道具を欲しがっています。

これらは政治の側に人間的な社会の兆候でもなければダイナミックスの非線形な力とカオスの力でもないので、一部の権力者エリートが霊魂の絆を使って人々を想像するような方法でこれが起こることは決して許されません

これが今-2020年-金融の世界で起きていることです。
米国は、公的債務の記録的なレベルを持っています：米国26兆ドル、急激な増加は、ハイパーインフレにつながったライヒスマークに金のそれに匹敵するものです。これが通貨切り下げにつながり、国民の貯金もなくなり借金が解消されます。
世界の中央銀行/中央銀行は膨大な量の紙幣を印刷し、同時に税収が減少し、それがなければ中小企業の実体経済は成長している。これは、資本が愛しているものインフレにつながる、デフレは彼らの貯蓄と人口のために良いだろう - もちろん、彼らはそれを望んでいない。しかし、世界をリードする新しい（デジタル）通貨がもうすぐ登場します
アメリカやヨーロッパでは何百万人もの人々が賃金奴隷として仕事を失っており、これは生産国、消費者、販売市場に影響を与えています。
彼らの年金支給という形での私的資産は崩壊している。
2009年のように銀行が倒産する2021年のように、いつまた爆弾が炸裂するかは誰にもわからない。
嘘に感染した人は、真実を守る
病気のために

政府から真実を聞いたらどうなるのか？
政府は実際には、陰謀論の神話を抑圧し、指導する理由はない。それが全くの神話ではなく、誰もが知っているべきではないし、信じてはならない真実でなければ、だ。
なぜなら、彼らについての真実は、人々が嘲笑されなければならない別の陰謀論に過ぎないだろうからだ、レイナー・マウスフェルド教授によると、羊たちはまだ反乱を起こさないだろう。
GOVERNMENTが真実と事実を嘘と呼ばないならば、ドイツや他の国ではここで何が起こっていると思いますか、メディアが本当に事実だけを分析し、それらについて私たちに知らせるならば、すべての起業家、芸術家、教師、学生、そして街頭からの通常の陰謀否定者の集団反乱があるでしょうか？確かに：国家は国民を信頼したことがなく、政治家、司法、ビジネスマン、銀行家、そしてとにかく聖職者に騙されてきたのです。
したがって、国家が原則として側方思想家を攻撃し、ここドイツではVerfassungsschutz（憲法保護局）が側方陰謀論者に対しては厳しい措置を取るが、忠実で愚かな陰謀神話家に対しては戦う必要はないと考えていることは驚くべきことではない。
それらのいくつかは、単に横方向の思想家、今日の異端者や他の気違い...彼らは彼らのアルゴリズムに従う、精神科医ブルクハルト・ヴォスは書いています：見解は常に真実よりも多くを重くする！ 彼らは、彼らのアルゴリズムに従う。
KenFMによると - 編集者ケンJebbsen - 陰謀論者 - 15.06.20にウリGellermannについて、Verfassungsschutz、実際に私たちの権利と法律を保護するためのタスクを持っているこの秘密のサービスは、国内外の敵に対して行動を取ります。 しかし、今は悪のロシアや中国に対してだけでなく、虚偽の報道やディスインフォメーションキャンペーンを行っているとされる人たちに対しても、つまり、メメメウィルスの不快な熱から私たちを守りたいと思っている人たちに対しても。何のために、有料の優良メディアに反論するために、彼らの公式メモワールでワクチンを打つのか？
そうして私たちは、権威に敢えて疑問を抱く陰謀論者たちの疑問、不満、不正、不愉快な質問に対して、熱免疫（脳死）のままでいるのです！（笑）。

Gellermannは彼のブログRationalgalerieで書いています： "であっても、調査では明らかに安定した信頼を政府（コロナパンデミックの対策について）人口、その被験者、支配者の信頼を植え付けることはありません。基本的権利のための行動が、国民に憲章に定められた権利を思い起こさせることを恐れているのは明らかである。"これは公共サービスにしては行き過ぎだ" だからこそ、本当の権力と富を持っている人たちは、常に世界の世間一般の影に隠れているのであって、彼らはメディアの風景から私たちが知っているような人たちではないのです...。
したがって、実際に人類の文化的発展を完全に制御する識別可能なパワーエリートがあることも証明できない、それはむしろ多くのナルシストEGO-ICHSであり、彼らの自尊心の欠如と愛の欠如に苦しむ子供の頃から!
何が証明できるかというと、1960年以降、アメリカ帝国は他のすべての国（ソ連）に世界大戦を挑んでも失敗してきたということです

あなたが本当にソースディレクトリで完全にこの本を読んで、反射のための時間が含まれているだろう場合は、あなたの双子のために、あなたは動機や好奇心の多くのほかに、少なくとも、6-10ヶ月、読書時間の毎日数時間を必要とします。この知識は明らかにEGO-ICH-世界であなたに多くを

もたらすことはありませんが、それは確かにこれらの世界を無力化し、消滅させるだろうので、これはほとんどの人にとってあまりにも多くのことを求めています!

事実、世界の人口の大多数は、権力の中枢を批判的に研究するための時間とお金と教育と好奇心を欠いている。　まるでEGO-ICHは、誰もが信じたい、信じなければならないものを信じたいだけのような気がしてきます - スキーム!
それは権力と所有権のための彼ら自身の欲の彼らの深い教化と、私たちは愚かな維持したい権力のGGGセンターであるかどうか、これらはよく知られているグループ/組織/秘密の同盟/兄弟団、ゲイツ＆ソロス、ユダヤ人ロスチャイルドとシオニスト、キリスト教のイルミナティとワイスハウプトである。　彼らの政府とそのクラブであるディープステートは、惑星化という狂信的なイデオロギーに従っている、とハンス・ユルゲン・クリスマンスキーは著書『Das Imperium der Milliardäre』の中で書いている。
その転移は、産業軍事複合体、金融業界のように、開発しなければならなかったことは明らかである。
彼らは1989年以来、世界征服（プラネタリゼーション）を計画しており、他の惑星のアヌンナキスやサタンを見たいと思っている人たちの背後にあるのは陰謀論の神話です...しかし、より可能性が高いのは、最終的にはこの非常識なエゴイチを駆動する私たちのバイオ化学アルゴリズムなのです
私は、パワーエリートのグループが一つではなく、宇宙のミームスピリッツによってコントロールされている、私たちの脳内の二つのアルゴリズム、つまり宇宙意識だと思っています
実際には、誰も絶対的なコントロールを受けていないのです。
今までも、これからも！ なぜなら、その力は
感情とカオスの創造
それは、それが最初に異なっていると二番目に来ること。
MAN/WOMAN THINKS...!

ダイナミクスの力、カオスの力、そして個々の人々が反乱を起こす力は、すべて予測不可能であり、宇宙全体にさえ影響を与えるには影響力が大きすぎる...そして何よりも、テレンス・マッケンナが言ったように、人類と地球の将来を真剣に心配するには十分な情報がないのだ！」と。
"過去50年間（そしてそれ以前の戦争も）のすべての戦争は、メディアの嘘の直接的な結果であり、これらの戦争のひとつひとつは、メディアが十分に深く調査し、単に政府のプロパガンダを印刷するのではなく、これらのメディアだけで止めることができたのではないか。また、人々が戦争に関心がないから、戦争に嘘をつかざるを得ないということでもあります。人は目を開けたまま戦争に進軍するのが好きではない!　ですから、もし本当の独立したメディアの世界があれば、結果的に平和な世界になるでしょう。
ジュリアン・アサンジ

インタビュー2011

...赤い糸...

結論と貸借対照表。

現代の陰謀論について、確実に書けることは何か？

o陰謀論が存在するということは、証拠に基づいた事実です。 それは力を非難し、力はこれが起こることを許可したくない; 世界の公衆が力を解散することができる米国の力の損失の危険性があるので。
o約2～3000人の億万長者からなる、機能的なエリートがいることです。彼らは、自分たちのシステムを維持するためにあらゆることをしていて、権力の地位のために、グループで自分たちと戦っています。
o1971年（中央銀行の民営化）以来、権力の中心は一つだけで、それは資本の独裁であり、政治、軍事、メディア、教育機関、そしてすべての多国籍企業を支配しています。
o1989年の東欧ブロック崩壊後、超富裕層（プルトクラッツ）のプラネタリゼーションが始まり、その財産は30000億。
oこれらの病的EGO-ICHは2つのアルゴリズムによって制御されており、これらの人々は彼らが治すことができない病気に苦しんでいます。
o本当の力の中心は宇宙意識、ミームスピリッツです。

2020年のコロナのある世界
かなり正常な既知のインフルエンザ ウイルス、コロナと呼ばれる、2017 年から 2018 年に他のインフルエンザ ウイルスとドイツで 25,000 人を殺した、04.05.2020 年の研究、ボン大学ハインズベルクでのウイルスの大発生についての研究は、0.4 % の死亡率を発見した、教授からのさらなる事実博士医学。 Sucharit Bhakdi 刑務所に人間の世界を有効にする医学的な理由がないことを証明します。
全ての人がヘルペスウイルスの98%を持っていて、そのうちの一人は彼の免疫システムが弱いので、唇の上でブレイクアウトします。もし今、死亡した全ての人を解剖すると、９８%のケースで死者はヘルペスウイルスを持っていたことがわかります。そして、国家とそのロバート・コッチ研究所が、彼らがウイルスで死んだと言うならば、これは意図的な嘘であり、これがコロナウイルスで起こることです。
そして今日、私たちは、本当に誰もが自分自身に情報を提供できる時代に生きています。そして、国家と企業のメディアがすべて同じ嘘のプロパガンダを配布しているとき、誰もが疑心暗鬼にならなければなりません。それが生きた民主主義の一部だ！
ミーム・コロナ・プランデミー？

コロナの前の世界で何があったの？

1　UNOによると、世界では5秒に1人の割合で子どもが餓死しており、彼らとジーン・ジーグラーは何十年にもわたってこのことを嘆き続けてきましたが、成功することはありませんでした。
2 自殺率、例えば30秒ごとにアメリカ人が自分の命を絶つ、それが受け入れられている。
3 コロナがこれまでに殺してきたように年間2倍以上の患者（ドイツでは2万人）を殺す回避可能な病院の細菌のように - ドイツでは2020年6月、ウイルスから、またはウイルスで死亡した約8,000人の人々。
4　2017年から2018年にかけてドイツではインフルエンザウイルスが2万5000人もの死者を出したが、これは受け入れられており、ただただ口にしただけだった。
5 WHOとThe Lancetによると、09.03.2020から、世界では毎日3,014人が結核で死亡し、17位の56人がコロナで死亡した - そして、それは世界経済を崩壊させた。
6 世界経済は停滞しており、銀行は現在、2008年の銀行詐欺以前の2倍の借金を抱えている。
7 政府の施策が良いと考える人と、陰謀を信じる人とに社会が分裂しているという研究結果が出ています。トラブルメーカーに対する子羊なんですね。　人格構造は変えられないことがわかっているので、信仰は変えられるから信仰戦争になる。
コロナに続いて世界で起こった！？

世界は事実上の停止状態になった。人類の半分が失業、20億人の日雇い労働者が飢えて家族を養えない！？
先進国の人は家賃が払えない！家の分割払いも！？　現代では比較にならないほどの経済危機が勃発しようとしている--これらは大きな問題である。
親の収入が減っているから、国民は飢えて飢えているんだよ！！！！！！！！！！！！！！（笑
子供たちはノーズマスク義務によって深く洗脳され、プロパガンダでトラウマになっている：祖父母に感染するかもしれないし、死ぬかもしれない。
宗教戦争における子羊とトラブルメーカーの分裂は、それぞれの地域社会に与える影響は計り知れないものがあり、世界経済の衰退や環境保護など、現時点では最も生産的な展開であると考えている。
権力の中心は恐怖を広め、恐怖は合理的な決定への思考を麻痺させます。

これらは劇的な問題ではありません。
幼稚園、老人ホーム、病院はもちろん、教育施設、卸売・小売店、工場の生産状況、失業統計、空の旅、入国禁止など、抜本的な改革が必要であり、パンデミックが流行する前から、これらのすべてのものは全面的な見直しが急務であった。
コロナと陰謀で対応に追われる人が増えている：事業が倒産したら理由が知りたい!

上手にやっている人に注目して、ここまで来ました。

億万長者＆億万長者が経済崩壊で莫大な利益を上げています。
多国籍企業の間ではパニックにならない。
世界の株式市場にパニックはない...株式やファンドの価値が4兆ドルの損失にもかかわらず
（2020.01.03現在

Cui bono - 誰が利益を得るか...

ドイツ銀行の試算では、ドイツの救済策は1989年のドイツ再統一よりも多くのドイツの納税者の費用がかかる、すなわち1.5兆ユーロ（国家として許容される）という。
5月9日20日に、カトリックの司教たちは公にコロナが嘘であることを教皇に警告した、それは違法な世界政府を確立するために基本的な権利を制限している - 教皇はこれらの呼び出しから自分自身を解離した...これは、バチカンがクリスラムと呼ばれる世界宗教の構築に関与しているので、権力の構造について多くを語っています!

監禁が正当化されていないことを証明するのに十分なデータを持っている - 2020年7月 コロナトート世界70万人、8.000.000.000地球人から!

彼らは飢え死にしている私がこの行をタイプしている間に。
約1億3千万人がこのように、これらの政治的手段によって、殺害されています、言い換えれば：政

治医学は、ウイルスよりも、中国の毛沢東よりも、非常に、非常に多くの人々を殺しています、6000万人の犠牲者を持つ歴史上最大の大量殺人者 - そして、これは誰かによって指名手配されています。
世界の市民デモはどこにあるの？
裁判所はどこだ、弁護士はどこだ、司法はどこだ？
基本法の国家制限、集会権はしばしば禁止されており（8月1日ベルリンコロナデモで）、これで正当化されています。感染前の危険!
基本的な権利とは何か、ここで私たちは再び見ることができます...それは議会の決定なしに、必要に応じて取り除かれる特権なのです。
不満を持っている人の1～4%しかデモに行かないことをパワーエリートはよく知っている...!

政治家によると、国家は身体的完全性の基本的権利を最高の善として守りたいと考えているという。 それは間違っている、人間の尊厳が不可侵であることが最優先事項である - それはドイツの165,000弁護士が懸念すべきことである...すべての彼らはNACIとKaiserreichとしたように、彼らの口を閉じておく。
しかし、GOVERNMENTに対して、私たちの憲法上の権利を要求する人たちがいますが、残念ながらそうする人は非常に少数しかいません - のような。

民主主義のためのリーゲルイーグルス!
国会外の調査委員会を設置しているそうです。

マスク着用義務は、まず法的に
を調査しなければならないでしょう。
罰金を伴う規制は、恐怖心を煽ることになります。
政治家のマスカレイドは崩壊する。
2つ目のポイントはコロナテストで、彼らは
不正確な場合、それは意図的なものであり、そうでない場合、彼らはただの
は恐怖のパニックを作り出すために設計されています。
3つ目のポイントは、健康管理であり
病院は空っぽのままで、何が起こっていたのか？

2020年のコロナは、一部のウイルス学者や研究機関の物議を醸す発言のために、世界の人々は日常生活を根本的に、そしてすぐに変える準備ができています。 ウイルス学者は医学博士ではなく、生物学者です!
半年前なら誰も信じなかっただろう！
しかし、彼らは人間の健康とメディアについての指令を出しています、政治家はこれを利用して、スリナムでも世界的にすぐに実行される計画を立てています 科学、メディア、政治は、気候変動、生物多様性の損失、汚染に対する抜本的な対策を何年も成功することなく要求してきたが、これらの対策は今ではウイルスの名の下に行われている-これはこのプランデミアの一部なのだろうか？
どちらにも共通しているのは、誰もが直接体験し、見ることのできない災害であり、メディアだけが目に見える形の恐怖とパニックに変えることができるということです。 ウィルスによる即死の恐怖は、50年や500年の間に気候変動の恐怖よりも重くのしかかっていました。

しかし、個人的に一番がっかりしたのは、ヨーロッパ人をはじめとする集団にマスクをつける義務感、従順さを求めるメメウイルスでした。ウィルスの大きさ（0.02ミクロン）は、まるで釣り網でプランクトンを捕りたいかのように、簡単にマスクを通過するので、医学の専門家によって、無意味で医学的には効果がないと考えられています。
ほぼ全員が子羊のように服従し、この不条理に参加しないように思想の自由を取った者は、この無意味なことに参加するために糾弾され、疎外され、罰金を科されたのです 車の中や野生の公園で一人でマスクをしている人を見ました!
心配なのはインフルエンザウイルスではなく、明らかに演出です。 遠隔操作された加害者の被害者がどれだけいるのかを見ると心配になる。 彼らがパワーセンターを信じているのは、単に怠け者で時間がなく、自分で考えたり、批判的な質問をしたり、オルタナティブメディアを通して教育を受けたりすることができないからです。 ドイツ政府は我々に要求している 公式な情報源からのみ情報を得るようにしましょう これが歴代のアルファ動物たちが求めていたものだ! 超EGO-ICHは昔からマスコミを禁止していて、政府に従順で忠誠心がある時だけ許可してきたんだよ！！！！！！！！！！！！！！（笑

これは私にとって、世界的な人々のミーム・ズィット主義が深く洗脳されている証拠です。ミームウイルスが脳に感染する。ナンセンスなイデオロギーが信じられ、暴力的に擁護されることさえある!
ポジティブなこともそうですが、彼らはより良い世界を作っているのです　アイデア＆言葉はいつでも世界を変えることができる - ミームスピリッツのおかげで!
予言は、人々が自発的に、感謝して、喜びを持って監視状態に入ることを、マスクの義務、アクセスアプリで入る;予防接種を取得し、現金を取り除く。
中国だけじゃなくて、今はヨーロッパもやっているんですよ。
つまり、これをやったのはウイルスではなく、恐怖とパニックに満たされた愚かな国民が服従したのです。そして、世界のほぼすべての政府は、基本的な法律を部分的に廃止し、議会の緊急手続きで、ブラジル、スウェーデン、ベラルーシを除いて、新しい法律が制定されました。

コロナウイルスを治すための政治的ミーム療法
の方がはるかに深刻でした。
ウイルスによって引き起こされる病気は、わずか4%の
ウイルスに感染した人口が
実証された症状、ほとんどの場合治っている
の免疫システム、すなわち
99,7%...!

結論から言うと、一人一人ができる対策を提案していきたいと思います。　パワーエリートは完全にデジタル化に依存している!　私たちの一人一人のデータは大きな需要があり、それはアジェンダ2030で彼らの世界政府を強制するために絶対に必要です。　私にとってこれは、匿名であることを意味し、インターネット上でより多くの頻度で、私の個人の任意のデータを解放しないように、私たちの一人一人が抵抗の彼自身の戦略を考えることができます！私は、私の個人的なデータを解放することはありません。

すべてがうまくいくとは考えられません。変わってはならないので、それは変わらないだろう-それはパワーエリートが望んでいることであり、彼らは存在する権利のために戦っているからだ、とウルリッヒ・テイシュは書いている。
それは希望であるが、現実ではない、我々は中国とNATOと他のアジア諸国との間の紛争を見て、中国が米国帝国へのコンテナ船のためのこの貴重なトランジットルートを残すことを許可したくない中国海で、海岸を離れて、戦争が可能である;だけでなく、インドと中国とトルコと地中海の資源上のギリシャとの間の戦争;ロシアは、その兵器システムがその国境にプッシュされているので、NATOとの対立に強制されている;中東ではまだ戦争...良いニュースは、それが異なるように聞こえるのではないですか？
いつもそれは、国民を戦争に誘った政治家のグループであり、いつもそれは彼らの偽旗であり、敵と疑われているライヒスタークの火災の虚偽の報告であり、ドイツは戦争に行き、アメリカとのベトナム戦争は戦争を引き起こした嘘であり、キューバでは、韓国では、イラクでは、ユーゴスラビアでは、アフガニスタンでは、リビアでは、シリアでは、彼らが嘘をつき、騙され、搾取され、自分たちの国民によって戦争に送られていることは、国民を打つのではないでしょうか？
いや、ほとんどの人が想像できないんだよ！

その裏には何があるのか？

陰謀論や

陰謀論？

企業メディアや国営メディアは、不当に嘘記者や制度記者と呼ばれることが多い。唯一の事実は、彼らが意図的に恐怖とパニックを引き起こし、これは完全に不当であるため、彼らは本当に啓発していないということです、彼らは資本の独裁のパワーセンターを提供しています
完全に思いやりのある父親の意味で-父親の状態と神の父親のそれ-これは保護＆ケアの後に私たちの中の子供のようなスキーマータを目覚めさせるべきである。メディアは、客観的な事実を私たちに提供し、真実を解釈しない - しかし、未熟者として、未成年のための幼児のように私たちを変身させる。
政治的なモットーはこれまでと同じである：対象者は世界の複雑さを把握することはできないし、把握する必要もない。
これは、目に見えないパワーエリートとその権力の中心部の利益のためにある：有権者、消費者、神を畏れる下僕が彼らのミーム権力の中に幽閉されたままであること-これは深い洗脳だ!
私たちがiPhoneやソーシャルメディア、オルタナティブメディアによって啓蒙されることは、現在、権力エリートによって制限されている、あるいはより良い、インターネット上の検閲によって根絶されている問題の一つである - それは、80年前のヒトラーのドイツのように、誰もこれ以上何も言うことができないほど明白である： ...私はそれを知らなかった....
ウイルスが偶然出てきたとか、計画的なパンデミックだったとか書けない。　私にとって不思議なのは、人口の0.3～1%の死亡率で、このような思い切った世界的、経済的、政治的な措置を最短の時間で講じ、世界的な隔離を命じることは、これまでのパワーエリートにとっては理由がなかったことである...
これは、私たちの吸血鬼の世界の社会システムを根本的に変える良い機会です、良くも悪くも、長い国会審議なしで、良いニュースは違うように聞こえます

危険なのは、私の経験上、危機の度に政治的措置が維持されていること--20年前から飛行機の中で靴を履いている爆撃機はありませんでしたが、それでも飛行機に乗るときには靴を脱いでレントゲンを撮ってもらわなければなりません。 まだ歯磨き粉をプラスチックに溶かしてるの！
ライナー・マウスフェルド教授は、9.11とコロナ・パンデミックの間の恐怖と権力について、次のように分析しています。　危険Xは、危険Xへの恐怖心を生み出すために有効に使えるものであれば何でもいいのです。上から命令されたXとの戦いでは、決して何を宣言するかということではありません。　Xとの戦いは、Xのことではなく、むしろ、自分の政治的行動の非難性や破壊性を、想定されている、あるいは実際の敵に投影して、国民に政治的に有用な恐怖を与えるためのものである。　ここで脅威との戦いとして売られているものはすべて、まったく成功してはならないものである。なぜなら、権力の経済的・政治的中枢にとっての成功は、成功しないことと、恐怖を生み出し、権力を確保するための手段として保存されることに正確にあるからである。
一つは、同じようにコロナの危機と9/11テロ攻撃にこの分析を適用することができます;両方のケースでは、メディアは共犯者であった、彼らは啓発しなかった...　"危険があるところでは、保存はまた成長する：インターネット上の代替メディアは、政治的な影響を受けることなく、啓発した

"学ぶことは重要ではなく、重要なことは学ばない"
ダーク・ポールマン

"誰も真実を知らないので、多くの人が真実を探すことが重要です。"

ジョン・ロックによって

では、実際に何を知っているのか？

ウイルス学者や疫学者と呼ばれる科学者は医師ではなく、根拠のある研究で信頼できるデータがないのが現状ですが、それは本当でしょうか？　いいえ、私たちはすでに人口のコロナウイルス感染に関する研究を持っています - ボン大学によるHeinsberg研究。 このことから、2020年6月にはコロナウイルスがインフルエンザウイルスよりも危険ではないことがわかります。

だから、政治的にも科学的にも、すべての約束や評価は偽善的なリップサービスに過ぎない。
短期間で開発が進んでいるワクチンについては、信頼性の高い研究が行われていない。綿密な試験を行わずに人間で実験すること、1300億ドルのビル・ゲイツと協力して、裕福な家庭の出身であるビル・ゲイツは金持ちである。
ちなみに、彼はエプスタインという男と友達で、アメリカで子供たちを悪魔のような方法で性的虐待をしていた--何年も前から友達だった。

一般的に統計や予後は確率のみであり、これは物理学、化学、生物学の分野では信頼できる答えを出すための問題であることが多いことを私たちは知っています。

世界的な完全な停止は実現不可能であり、韓国、米国、欧州、カシミール地方の問題点が示すように、すべての試みは政治的・経済的な大変動につながる。世界が一つになったのは、世界貿易があったからです。
政策は、気候変動や生物多様性の損失を減速させ、効果的に制限するために必要な範囲で経済を麻痺させている。これは当然、新自由主義的な資本主義を掲げる世界経済を崩壊に導くことになる。
マスコミは政治に従うだろう。懐疑論者は嘲笑され、コロナパンデミックへの批判的な投稿を削除してソーシャルメディアは検閲された。
一度何かに対して戦争を起こすと、それは人々にとって常に手に負えない力を生み出します。集団的なストレス、ダイナミクス、カオスがどのような力でこの社会的行き詰まりを引き起こすのか、私たちには見当がつきませんが、短期的・中期的には、確実性に近い確率で、世界の貧困、紛争、カオスをさらに引き起こすことになるでしょう。
世界的な経済の行き詰まりは、自然にとっても、超有機体ガイアにとっても良いことで、例えばヴェネツィアの運河はとてもきれいになり、海洋生物が街に戻ってきたり、ニューデリーではスモッグが消えたりしています。

危機は恐怖、カオス＆パニックを作る。
これらを基盤とした社会的な
政治的に変化を押し通すためには
世界中の議会での長時間の議論。
残った権力者が金を持っているから
国会無関心
国民の決断！

何を完全に変更しなければならないのか？

➢医療システムは、患者がビジネスである瞬間に、人々を第一に置く必要があります、利益は証券取引所に行きます。　人々への奉仕が再び社会的な仕事にならなければならないし、政治が企業に奉仕する必要もなくなる。
➢資産や相続のためにかなりの増税をする。　超金持ち(3000万ドル以上)は全員拘束されて完全に収用される。
➢軍事費を廃止し、戦争を禁止する。
➢教育は完全に狂っている、学生は注目の的でなければならないし、科学や政治の側で教化してはいけない。
➢物品の国内生産は、必然的に許可されているだけです。
➢金融業界の淘汰と廃止、お金は儲けてはいけない、投機と利権の禁止。
➢何でもかんでも表現の自由、全ての検閲を廃止しなければならない。
➢直接民主主義が最も重要な変化かもしれま

1 政党や政治体制が我々を暗黒の闇から導くという考えや希望は、人類の歴史の中で実現したことはない。
2 ジドゥ・クリシュナムルティは著書『完璧な自由』の中で次のように書いています：「他の人があなたを真理、現実、幸福へと導いてくれるという希望は不条理です...他の人が道を示すことはできますが、あなた自身が他の人の権威を盲目的に受け入れることなく、知的にこれらの道を認識することができなければなりません。彼は正しく、私たちだけが直接の経験を介して新しい道をたどるべきではなく、本、目に見えない教師と私たちを救いたいと思う達人を介して - これはコーヒーの地面から読んでいるような迷信です。社会の存在をめぐる争いの中で、私たちの限界の原因になっていることは明らかです。未知への恐怖や不可解さが残るから、バイオ化学的アルゴリズムや暗黙のアルゴリズムが残り、自由ではない思考、自由ではない意志、つまりEGO-ICHへのしがみつきが残る。
3　 偉大な猿は相変わらず捕食猿であることに変わりはありません。ジュリアン・アサンジやヤニス・ヴァルーファキスのように、この限界のギャップを埋めようとする人がいても、歴史は何度も何度も繰り返されるのは、まさにそのためです。

4男は良いリーダーを望んでいる、彼はリーダーシップにはまっている、ハンス-ヨアヒムMaazを書いています　大多数の国民は、4年に1度の無意味な選挙を除いて、どんな社会的責任の形成にも関わりたくないのです　ジャーナリズムや政治の現場で日々経験しているように、社会的圧力は欠落し、自由な思想家や批評家を黙らせている。
5 システムは、自由と正義に向かって変化しないだろう、変化してはならないからだ、それは操る余地がない-それは資本の独裁の力である。
6 米帝は、非常に、おそらく、多極化した世界秩序には同意しないだろう。 金融業界の資本独裁者や超富裕層は、どんな状況であっても新自由主義的資本主義を放棄し、それによって自らを廃止することはありません、決してそうしたことはありません。
7 血なまぐさい革命でさえも、長い目で見れば何も良い方向には変わらないのです。

しかし、物事は常に変化するでしょうし、誰がこれを決定するかは、ダイナミックスとカオスの盲目の、コスミックな力です。

...赤い糸...

結論と貸借対照表。

コロナウイルスについて確実に書けることは？

このセリフを書いているのは2020年の秋、世界の出来事です。

➢世界の大規模失業
➢世界的な倒産の増加
➢極度の金融インフレと銀行危機
➢コロナ対策の母集団分割-反対派と従順派
➢義務予防接種を一部導入
➢横並び思想家の大規模国家監視
➢基本法での相当な制限
➢国会では無力な民主主義。
➢政府の措置は、世界中で人の命と心理的外傷を要求し、彼らはコロナトートや可能性のある更なるパンデミックにすべての比例しています。
➢コロナウイルスは数千年前からあり、毎年新しい感染症の波が押し寄せています。　以前の予防接種は、それが来たときには、常に少数の人に限定されていました。
➢人類はノルモパシーとその外傷性アルダーに苦しんでいる - フランツ-ルパートとハンス-ヨアヒムMaaz。

大電源再起動ボタン

知性を持っているか、持っていないか、それを見逃していることに気づいていないかのどちらかです。
唯一の正しい思考：マインドフルネス上のマインドフルネスは、このように必要な超越につながる...そしておそらくクリシュナムルティが私たちに与えたかった最大の贈り物...反対側は、イベントの単調さで私たちを忙しくさせているので、日常生活の重要でないものに忙しく、マインドフルネスに滞在することを望んでいる、それは私たちがマトリックスを感じることから私たちを防ぐことができます。

シカゴ校の衝撃の教義。
ミルトン・フリードマンの作品だと書いています。
災い転じて福となす
ぺらぺらと世界中のどこにでも
知る必要がある

ここでは1.58M2の広さを話しています。　小柄で神を敬う講師、教授、世界の主要なパワーエリートの顧問。中央銀行、企業のボス、政治家やチリのピノチェトのような独裁者の頭;　唯一の自尊心の欠如に小さな独裁者ヒトラー、スターリン、ナポレオンのように理解することができるEGO-ICHと、彼らの子供の頃に - 彼らは意識的に悪、罪悪感の任意の感覚を行う

デフレショックとハイパーインフレが現実的になってきた...紙幣は現在、大量に印刷され、ローンとして配布されており、危険性は、人口の貯蓄口座や年金基金が煙と鏡に溶解する可能性があることが存在する - 1929年のようなお金の意図的な切り下げ...

CUI BONO - 誰がそれから利益を得るのか？
もし権力エリートがこの危機の理由を隠蔽しようとしているなら、ウイルスは完璧な言い訳だ。そして、ところで：それは社会を再編成するのに適した時期ではない場合は、自然も再びうまくやっている - 危機は私たちのすべてのために良いことができます...
残っている超大国である金融業界は、デジタル暗号通貨の計画を持っているかもしれません。現金を廃止して、人々のお金をより多くコントロールし、同時に、すべての地球人がお金を使わなければならないので、すべての人間に対するほぼ絶対的なコントロールを意味しています。
2020年の夏にこの本を書いた時点で、私はまた、経済学者のエルンスト・ヴォルフのように、新しいデジタル暗号中央通貨が来ると見ているように、世界経済と国家経済の新しい秩序を信じています。
つい最近、ローマ法王は、私たちすべてのために世界的な責任を負うことができる世界政府を求め、メルケル＆CO.はそれに同意しました。基本的にこれらは、より良い世界のためのすべての良いアイデアですが、それはまた、我々はすべての自発的な、幸せな囚人になりたいアルダス・ハクスリーがそれを説明したようにグローバルな刑務所に行くための良い方法です;国家財産であるので、人々は何も新しいものではありません　　-　　誰が超大国中国、ロシア、米国からこのWORLDGOVERNMENTを制御しますが、現時点ではまだ不明です。

ここにあなたと私にとっての危険があります...軍隊、警察、行政を除いて、国民国家を廃止することは、民主主義の数少ない権利を失う危険性があります。
民主主義は国民国家にしか存在しないから
EU議会ではなく、確かに
国連

20世紀には、アメリカ帝国の側で核戦争を起こそうとする多くの軍事的事件がありました-ロナルド・レーガンについてのディルク・ポールマンのレポートを参照してください-また、ウィリー・ブラント、エゴン・バール、スウェーデンの首相のような、核戦争を防ぐために決定的な影響力を持っていた政治家もいましたが、後者は殺害されました。　これらの人々は彼らの疑惑の敵との協力を求めたが資本は常に対立を好む　ここでは軍事情報の世界が一部を演じ、それは裁判がない世界であり、従わない人を殺すことがある、ダーク・ポールマンは書いています。

もし資本の独裁が今までのように続けば、つまり国会外のフォーラムで法律を準備して、国会の普通の政治家に何千ページも渡すことになるが、専門知識の欠如と、何よりも、それを読み通す時間の欠如のために、彼らは来て、単に法律を通すことはないだろう!　あなたは、ここで何が間違って

いるのかを認識しなければならないし、そうでない場合、あなたの意識は、ソフィー・ショールがNACI独裁の時に書いたように、深い教化のマトリックスで制御されます： " ... 最大の被害は、生き残ることだけを望んでいるサイレントマジョリティによって引き起こされ、服従し、すべてのものと一緒に行く...."!
一度正しく完全に理解したことは、もう一度学ぶ必要はありません。　私はこれまでの人生で何かをコントロールする方法で計画を立てることができたという印象はありません。
しかし、それは、人生の中で明らかにされた可能性、それがどのように来るか、それがどのように来るべきか、ということに不満があるということではありません。　私は、その家臣国家バビロンを出て、友人のところに行きます。そうでなければ、私は再び刑務所に入ることになるでしょう...
動物に戻る。
ウイルスとの戦争は、ウイルスが体内に入っているかもしれない人たち、ウイルスを手に入れることを恐れて慌てている人たち、それを権力の政治的な策略と考える人たちと、すぐに戦争になってしまった。今、子供の頃の未消化の恐怖はすべて、キラーウイルスやパワーエリートのファンタジーに向けられることができ、それによってウイルス自体は基本的に加害者としてだけ象徴される。　同じように、抑圧された憎しみや抑圧された怒りが人々に影響を与えています。これらはすべて子供の頃のスキーマータであり、2つのアルゴリズムによって制御されており、それ以上のものはありません!
これもまた、明らかに国家の武力行使をほぼ無制限に正当化するものである。　健康の名の下に、肉体的、そして何よりも精神的な暴力が、このコロナ・パンデミックでは、移動の自由、占領の自由、集会の自由を制限し、医学的に効果のないマスクの着用を義務づけ、最終的にはおそらく強制的な予防接種によって、社会的な距離を維持するために、無制限に使用されています。
"私のテーブルの下に足を置いている限り、私の言うことを聞きなさい！"　"私たちはあなたを罰するのです、そうすればあなたは一度はまともな人間になれるのです！" "私たちがあなたに望むことは、あなた自身のためだけにあるのです！"
したがって、政治家、教師、裁判官などのような成人した子供や大人は、その後も明確な良心を持って次の世代に嫌がらせをすることができます、あなたは同じ運命を持っていた。
個人的には、自分のパターンを目で見て、恐怖心を抑えなくなり、怒りを抑えなくなり、涙を流すことができるようになり、自分の中の愛されていない子供の痛みを感じることができるようになりました。
だから今日、私の心理療法の後、特にこの本を書いている間、浄化のプロセスとして、私は家族や他の地球人のアルゴリズムを理解しているので、より良く自分の家族や他の地球人を許すことができます - それは実際には非常に単純です

また、加害者・被害者（パワーエリートとその共犯者）として何度も何度も来たり来たりする人たちのことも理解できますが、私はこの地球上で半世紀の間に多くのことを経験してきました。　自分たちがやっていることが善であり、唯一の正しいことだと本気で信じている人は、数え切れないほどいます。
一人がパワーステージを離れると、次の一人か/また次の一人が再びスポットライトを浴びる。　だから、その中の一人と戦っても何の役にも立ちません。　彼ら自身がトラウマになっていて、トラウマ社会は他の役者を量産し続けている。　私は、「悪」との戦いが何か良いことをもたらすのではなく、スパイラルを煽るだけであることを知っています：加害者と被害者のダイナミクス。　それはあなたの子供たちだけでなく、他のすべての被害者と被害者の悪と同様に...

いくつかの苦しい過程を経ずに済んだのは、自分の心の安らぎを得るためだけに、朝から晩までストンとしていたからです。　でも、バチカンやウォール街やワシントンDCの超EGO-ICHも全部理解できるんだよね。　私はまた、人間の家族に属しているこれらの捕食性のサルから目を背けています-彼らは自分たちの生存のためにやっていることをしています-そのために私は彼らを有罪にしてはいけません！私は彼らを見つけることができません。　彼らは悪のシミュレーション彼らのアルゴリズムに従ってください - 彼らの良いコアが無力化されています...
私にはもっと良いことがあります - 私は良いアルゴリズムを使用している人の方が好きです。　私はこの行列のシミュレーション（錯覚）は必要ありません、それはうつ病、自暴自棄になり、中毒になります。
あなた方の子供たちの中にも、ほとんどの人たちの中にも
私たちには、受け入れのための大きな必要性があります。
鑑賞と愛が立っている。
コミュニティの必要性は、次のものに属します。
これが欲しいのは動物（人間）です。

それは、この個人的な真実を受け入れることです。
癒される 個人的な感情の表現です。
何よりも許容して手放すことが大切です。
自分たちの痛みを抑えた。
また、スーパーEGO-ICHの所属する
人間の家族、彼らを悪者にしてはいけない!
良い政府とは、私たちが気づかない政府のことだろう。　なぜなら、政府を感じるとすぐに社会的緊張が生じるからです。　世界政府が長期的に行動するという考えには、人類全体のために有望な方法でこれらのモデルを実行するモデルが必要です。　環境が汚染されているから飛行機で飛びたくないと言っても、そのせいで飛行機が少なくなるわけではないので、私の判断は意味がありません。 政府が航空運賃を上げるのであれば、賢明な貢献だと思います。
さて、地球と人々のために長期的な計画は誰が決めるのでしょうか？　ネットを使ってもいいと思いますが、今のような自然な連携ではなく、新しい方法での競争という非常識な方法ではないでしょうか。　ネット上で個人として行動するのではなく、コミュニティの中で、個人では終わらせられないプロジェクトに取り組んでいたら、前に進むことができるのではないでしょうか、それは人とAIコンピュータのグローバルな頭脳になるのではないでしょうか。　政府を検閲することは権力を維持するのに役立ち、それは関係者全員にとって破壊的です。　政府やネットが、人や地球の長期的な目標にダメージを与える情報を検閲するのであれば、検閲は良いことだと思います。　検閲は、情報が本当の情報であり、それ以外の何物でもないのであれば、すべての私たちのために良いでしょう、ヨッシャ・バッハ博士は書いています

…赤い糸…

結論と貸借対照表。

現代のグレート・ニュー・スタートについて、私たちは何を確信を持って書くことができるのでしょうか？

- 私たち人間は頭は良いが、頭が良くない。短期的な解決策を得意とし、長期的な解決策では完全に失敗します。
- 変えてはいけないからシステムは変わらない--それがこのシステムと、それによって利益を得るすべての人々の生き残りをかけた意志である。　自由＆正義の方向でこの制度を変える見通しのある大きな抵抗はありません。
- トラウマ管理は、開始するために最も必要な要素であり、世界のすべての社会は、GGGパワーセンターによって何千年もの間、トラウマにされてきました。　親はこれをエピジェネティックに子供に伝えます
- 世界秩序は寡頭政治から資本独裁のデジタル世界へと発展しつつある。　政治的なビジネスを決めるのは銀行であり、彼らは唯一の権力者である中央左翼だ。
- 2020年にはすでに第三次世界大戦が始まっていますが、それはまたしても階級闘争の超富裕層の対人戦です。
- お金はお金を作ってはいけない、無関心　-　この禁止は、選挙民がそれを強制し、人々が世界で唯一の権力の中心になるならば、金融業界の力を奪うことにつながる。

自叙伝 第五章

私の家族の歴史 - 息子 - 父親 - 反逆者 - 精神病患者

チャプターサブディレクトリ。

私の家族の歴史

すべての本の歴史は、魂の手によって書かれています。人間のコンピューターの中で再生された2つのアルゴリズムを超える魂。金でPCやソフトは買えるが、出てくるものは常に魂の仕事。この惑星の魂はとてもユニークな生き方をしているのに、誰もが考えているよりも早く死んでしまうのです。 魂が愛に満ちていれば誰もがそれを感じ、痛みに満ちていれば誰もがそれを感じます。 店頭で思うように魂を買うことはできないし、魂や生命や宇宙を作っているのは誰なのか、それとも私たちはそれに少しでも影響力を持っているのだろうか。
人生の流れの中で生きてきたことを知っています。"そんな風に生きてきたのは自分の自由意志だと思っていたとしても--振り返ってみると、そうではなかったと言えるでしょう。 誰がそれを言うこともできます、それは常に異なる、人が考えているように起こるのではありませんか？ 誰が私の魂を導くのか、私は口論することはできませんし、口論することはありません、私は多くの点で感謝しています - 実際に私はすべてのものに感謝しています
それは、私たちが遭遇する危機であり、私たちを価値あるものにすることができる危機の中で最も多いのではないでしょうか。 いずれにしても、良い時代ではなく、悪い時代には力を与えてくれるが、知恵も力もなく、本当の意味での人生の変化はない。

私の先祖は、最初に述べたいくつかのトラウマを経験し、確かにその多くを次の世代に伝えてきました。私の母のトラウマの父は、私たちのすべてのために、実際には非常に良いものを、アパートの呪いを継承しました：4つのアパートと良い場所、40のテナントと€20.000,00毎月の利益。100年前、祖父母が不動産を買い始めた頃は、全く別のゲームでした。彼らは社会的な家賃保証金で国家に負債を負っており、それによってアパートあたりの利益は€20.00しか得られませんでした。
ローンを完済するまでは親の生活は過ぎ去り、母が相続したことで家のリフォームを始めたことで、親の生活を丸ごと引き継ぐことになりました。彼女が死んだとき、家は借金の自由であり、私たちの子供たちは今までお金を心配することなく、ハンサムな収入を持っていたので、また、子供たちと私たちの子供たちの子供たち - 古い資産;野心、謙虚さとハードワークの多くに、私たちの場合には、設立されました。私の祖父母は、死が彼らを団結させるまで、常にお互いのためにそこにいた、それが必要であったかどうか、多くの共通の問題や時代の精神...多分、すべてのものの少し。
大戦時には家が爆撃され、飢饉は先祖が飢えないように家の売却を要求した。ここで実際に書きたいのは、彼らはお金とそれに伴う誘惑と責任を良心的に扱っていたということです。
私の両親は、実際には倹約家で勤勉な人たちでしかないことを知っていて、それがいろいろな意味で私を形作ってくれました。 父の実家も林業の木工や農業を営んでいて独立して裕福でした。 ロシア戦線が東プロイセンに近づいてきたとき、彼らは親戚にベルリンに逃げなければならなかった;彼のライフワーク、彼のEGO-ICHへの懸念は、私の父方の祖父が妻と何が来なければならなかったと一緒に戻ってきた原因となった：彼らはロシアの難民キャンプに送られ、餓死した;それはこの家族の王朝の終わりだった - 私の父は右よりも悪い、戦時中に生き残った唯一の人だった。
母が1962年に父と結婚したとき、それは恋愛結婚ではなく、便宜結婚であり、当時としてはごく普通のことでした。
母の双子の弟が終戦直前に軍人として戦死したため、祖母は別のトラウマに陥ってしまいました。これは、祖父母にとっては、まず第一に違うこと、第二に思った通りになることを証明するものでした
今では母は父の跡継ぎを渡さなければならないという精神的なプレッシャーにさらされていましたし、姉は幼い頃から適性がないことがわかっていたので、どんな状況でももう一人子供を欲しがっていました。 医者は妊娠を勧めていたが、命に関わる可能性もあり、彼女は気にしていなかった。
そして、私が生まれた理由は、先祖の願いや希望を叶えるためだったと言えます。
そうそう、そして彼らは私のことをどのように喜んでいたか、私は本当に良い子供時代を過ごし、父の厳しい指導で自立し、母と祖母の愛に包まれていました-私は自分の人生をスタートさせるために大切なすべてのものに恵まれていました。
家族が作った巣に座っているよりも、自分の人生を機能させて楽しもうという自由な意志がはるかに強かったのは、私のエピジェネティックなアルゴリズムのおかげかもしれません。
私の性格は、すでに私の子供の頃に私は反逆者であり、すべての権威を疑問視し、友人は常にちょうどビジネスの友人やガールフレンド単一の喜びの満足感だった、絶対的なEGO-ICHのことだった。そうして、世界を征服して悟りを開くために努力したいという若き日の衝動を感じました。
私はアメリカに留学し、自分のためにビジネスをし、快楽主義的な捕食者として成功し、最初の家族を設立し、10年以上ニューヨークに住んでいました。

この決定は、すべての家族を失望させ、これは後で私に結果をもたらすべきである。
ドイツを離れる決断をして、アメリカの文化や人々への感謝の気持ちを学ぶことができたことは、実はとても嬉しいことです。理系の哲学の勉強を辞めようと思った衝動的な決断が嬉しいです。だから私は学問的思考では形作られず、一方的な専門知識で馬鹿にしている専門家ではなくなってしまった。
私の人生の道は幼い頃から万能性を志向しており、様々な階級の人々が私の人間性についての知識を形成し、独学で学んだことで、人生をあらゆる面から評価することを学ぶ普遍的な学者となりました。
これは、まず第一に違うこと、第二に自分が思っているよりも違うことがやってくるということを、親に証明してくれたのです
彼らの死後、彼らは決して望んでいなかったであろう遺産を残すことになった。
第一世代は建設し、第二世代は保存し、第三世代は遺産について語り、第四世代は破壊からそれを救うには若すぎた。

母の遺言
相続は実績ではない!
相続が全くないというのは、被相続人のエゴイチのせいで、後の相続人の記憶の中に生きていると思っているし、母は本当にいい仕事をしてくれた！と思っている。
私の母は、ゲオルク・フリードリヒ・ヘーゲルのようにそれを持っていた、お金は常にその所有者にとどまる：家族。　財産は一人の個人のものではなく、一族に残るべきもの、三代目の相続人が出てからは、100%の確率で社会に還元すべきもの、という意味だった。
実は、WE-ICHのものであれば、みんなのためになっていたのですが・・・。　私たちは、自分たち以外のことを考えたくない空腹のライオン猿だった...
2013年11月に母が亡くなり、2人の子供たちの家族に以下のような遺産を残しました。
彼女は、2家族の長子2人を非免責の相続人（相続財産の後見人）に任命し、月2万ユーロの家賃収入のみを均等に分け、デュッセルドルフにある4つのアパートの相続人は子供たちに行くことを定めた。
あなたの夫と二人の子供は、彼女に対して最も恥ずべき振る舞いをし、彼女の生活のために努力していたので、失恋することになったのです。

相続が終わってから
だから今は誰もが、この女性は傷ついた感情を持っていたと思うべきで、彼女のEGO-Iは傷ついていたが、彼女は私たち家族のためになる遺言書を書いていたし、遺産を一緒に管理して次世代に引き継ぐことを強制していた...彼女はそれを教会に残していなかったのです！彼女の遺言書は、私たちの家族のために書かれたものです。
いや、誰もが本当に神を信じていたわけではなく、エゴイチの方に振り回されていたのだ。　遺言は一つ明確にしています：私はあなたにそれを与える、私が生き続けることができるように...残念ながら私は物質的な所有物を持って行くことはできませんが、私はあなたのうちに、最後の意志を持って生き続けるでしょう...！私はあなたのうちに...！私はあなたにそれを与えることができます。
彼女の言う通りだったが、それは彼女が恐れていた通りの真実になるはずだった。

私たちがこれまで読んできたことの後、物質的な豊かさは良い魂への道ではないと信じて、私はこの本は、それが実際に人の非常に最後の旅であなたと一緒に何かを取ることが可能であることを勇気をあなたに目覚めさせたと信じています：魂...

遺言に沿って
母の遺言書と遺言書にはとても満足していましたし、姉の家族にも相談して、みんなで一緒に家を建てて、一緒に暮らして、一緒に働いてほしいと思っていました。
それは私の妹の家族が、毎月の「少しのお金」に加えて、多くの労働集約的な義務を負うよりも、今すぐお金を持っている方がいいという結論に至るまで、6ヶ月もかかりませんでした；それに加えて、私の妹は（正しくは）愛されていると感じたことはありませんでしたが、彼女の両親に見捨てられました - 家は呪いだと彼女は私に言いました...

短い話、長い感覚 - それは私たち兄弟の間の相続争いに来て、すべての家族のメンバーは自分自身を配置しなければならなかったし、それはすべてが紙幣のためにあったことを意味します。　飢えた獅子猿だらけの家族、自尊心のないEGO-ICHだった...あの頃の私は平和的な合意に達するほど強くも成熟していなかった。私は思いやりがなく、議論ができず、事実に基づいた議論を欠いていただけでなく、賢明な弁護士 - 賢者は彼の名前だけで、他には何もありませんでした。
解決策は、もし私が家族に寛大な償還金を支払っていたとしても、次の20年のためにあまりにも負債を抱えていた場合、賃貸収入はローンにサービスを提供するために使用されていただろう - そして、私はそれを望んでいなかった、すべての後に私はEGO-ICHです！私は、私がすべての後にEGO-ICHである！私はそれを望んでいませんでした。
今2018年に家は売られました 闇金で手をこまねいているわけではありません 甥が欲しがっていたように 何よりもそれ自体が詐欺的に豊かになるために しかし、それは地方裁判所の上に売却されました 分割競売で。
結果：8百万ユーロ。 実際に誰もが今なら信じてくれると思います。 うわー、良かったですねー。彼らは不正にこの女性の遺言書を紙幣に変えてしまったのだ、誰にでも十分な量があり、今はハッピーエンドになっている...とは程遠い、ジレンマは続く。

裁判所の命令で自宅から追い出されました。
私のものはすべてゴミの中に飛んでいった！
壊れた家族に連絡して、家族は破滅した！
遺産を奪いに来たんだ！

どうしてこんなことになってしまったのでしょうか？　正直、全員が自由意志を持っていなかったことに気付いて初めて理解した。彼らはおそらく、生物化学的・記憶的アルゴリズムに従う必要があったのだろう、ただ本当に考えなかっただけだ！
それはまた、人々が、子供が、相続までお互いにうまくやっていくという人類学的な真実であり、その後、ほとんどの場合、EGO-ICHがアクションに入ってきて、WE-ICHを与え、ほとんど開花するチャンスがありません。　それは真実であることが証明されるだろう、私は予測する、相続の呪いは、さらに長く猛威を振るうだろう...

私は、なぜこのようなことが起きたのかを、最初から再構築しようとしています....。

...この行を書いている間、私は政治犯として、小さな留置場に座っています。それは2020年のコロナパンデミックの年であり、私はこの邪悪な国からの私の亡命（脱出）の準備をしている、どのよ

うに私はこの数年間ずっとここに滞在することができますか？
私がこれまでに気にしていたすべてのもの - 両親、私たちの不動産事業、私の家族と子供たち - 私は彼らを通して、彼らのせいで失った - 裏切り、陰謀、窃盗、詐欺と愚かさを通して。質の高い父親として一緒に過ごしたいと思っていたのに、携帯禁止のせいで双子の君を失ってしまったこと。デジタルヘロインを応援したくなかった、家に遊びに来てくれた時は一緒に住みたいと思った、それが一番EGO-ICHには辛かったかもしれない...私よりもiPhoneを選んだのはあなたですね
愛する人を傷つけたとき、それはすでにあなたをあなたの力の限界に連れて行く！

最初の乳歯、最初の言葉、学校での卒業式：それはすべての父親がこの開発を目撃するために痛いです。彼氏からのファーストキス。　子供たちには、今の自分に比べて辛くないことを期待するわけがありませんでした。　彼らは私が刑務所にいたとき、私にすべてを話したかったことを知っています：彼らの日常生活の中で起こったすべてのこと、彼らは私の腕の中で泣いて、すべてが大丈夫になることを私から聞きたかったこと...！私は知っていますが、彼らの日常生活の中で起こったすべてのこと。 悲しみと怒りは一息ごとに吸い込まれたが、吐き出すことはできなかった。 二度と両親の温かさを感じることはないだろう、今日の私にとってとても大切なことのように思えることを、私たちの間で言われるべきだったことを、すべて彼らに伝えよう。　恋愛の話でもグッドエンドがない話もあるし、その時は特にそうかもしれない。
"恋をしていると、なりたい自分を見つけることができます。戦争では自分たちが何者なのかを知ることができます。しかし、人生とは愛のことであり、隣人の生活を今以上に苦しくさせないことだ...」というのが、死ぬ前のテレンスの最後の言葉でした。
そうですね、お母さんたちも辛いですよね、あきらめることは許されなかったんですよ、一瞬たりとも--外で待っている人たちには投獄も辛いですからね。 そして、よくある時には何もかも忘れてしまった方がいいことが多い・・・忘れることは可能なのでしょうか？
残念ながら、思い出は色あせていくものです、どんなに美しいものでも! 私は自分のしたことであなたに嫌われながら生きている。何もしないことで愛されている人もいる。　しかし、心の傷は一生続くとセラピストは言う。
それは、私たちがそんなに必要としているのは忘却ではなく、慈悲深い、判断力のない過去の記憶である、とジドゥは書いています。
理由は正確には書けませんが、もう一度書いてみます。
これは、まず第一に違うこと、第二に思った通りになることを証明してくれました

死に方の術-そのような生き方をするために
死の時には、後悔はなかった。
導かれた人生について

崇拝に値する唯一の神

が命そのものである

だから、HERE & NOWでの生活は最高です。
愛と共感の人生、遺言、世界
残すには少し良い、実は良い
ガイド付きの生活。
父はアパートで孤独に死に、母は病院で孤独に死に、どちらも確かに悲しみと怒りに満ちていて、どちらも自分が持っているものだけを愛されたいと思っていました--ではなく、自分が持っているものだけを愛されたいと思っていました。 私はいなかった、私はいただろう...しかし、私はどこか別の場所にいた：父が死んだときにジャマイカにいて、母が死んだときにベッドで寝ていた。　死者の写真は穏やかに死んだようには見えませんね、もう書いたような気がしますが？
今、彼らは行ってしまいましたが、彼らはミーム＆ジーンで私の中に住んでいる、私はそれが好きだと感じるとき、私はそれらを訪問し、はい、私はすべての他の人と同じ墓に埋葬されたいと思います - あなたはこの子供たちを読んでいる：私はあなたがそこに私を埋めるために願っています...
すべての苦しみはすべての喜びを上回ることが多いのではないでしょうか？
親は子供に何をしているのか？ 答えは非常に簡単で、子供の頃と同じことをされたからです。 彼らは望まれていなかったし、愛されていなかったし、感情的、肉体的、性的暴力から守られていなかった。つまり、子供世代の古いトラウマ被害者が、親世代の新しいトラウマ加害者になるわけです。トラウマ加害者たちは、自分たちの被害者としての耐え難い痛みを認めず、親を理想化し、子供のような無力感を抑圧して自分たちがパワフルになろうとしないから、私たちは、自分たちの考

えに従って人間性を形成することで自分たちを癒そうとするパワーエリートのスーパーEGO-ICHのような存在になってしまうのです--もう一度言いますが、彼らは何をしているか分かっていないので、彼らを許してください、イエスの言葉は2020年後も有効なのです
この自分自身のトラウマの感情から逃げている、私の親愛なるラティシアは、巨大な力を動員し、彼らはしばしば必然的に社会の権力の位置に終わる：政治、経済、金融、教育、健康、軍事、宗教、シークレットサービスのシステム：。　　そこで彼らは悪を定義するように、悪との戦いに挑む。　彼らの見解では、あらゆる手段を正当化する戦い、あらゆる形態の暴力、制御と監視システム。　深く傷つき、自由な私と自由な思考から切り離された彼らは、召された霊に従っており、追い払ってはいけない!
ダイナミクスとカオスの力の間には、常に何かが入ってきます。　このような権力妄想にうずくまるスーパーEGO-ICHの内なる混沌は、これらの宇宙的な力によって癒されることはないが、彼らにとってはますます悪化しており、彼らは社会病質者である、とダイムラー・ベンツの人事部長トーマス・サッテルバーガー氏は書いている。　だからパワーエリートが全人類に予防接種して完全にチップで監視しても、この人類は病的なEGO-ICHの方がマシにはならないんだよ。　それは世界をさらに混沌の中に沈めてしまうだけだ。　また、多くの覚醒した私たちのために、トラウマを抱えた従業員や仲間の人間を支配することで、支配者や金持ちは何を得ているのか？
コロナ・プラネミアは、私たちと同じように、十分なトラウマとなる経験をしてきた人々の恐怖を必然的に煽ります-それは単に文化の進化の自然現象です。　特に、無数の人々の初期のトラウマ化と暴力的な経験は、巨大な潜在的な怒りと怒りを発生させ、彼らは元の加害者に対してそれを指示しないこと - 彼らの両親とパワーエリート。　しかし、彼らはそれを無実の人々、自分の子供、友人、そして自分自身に向けている。
それが今ではすでに見えないものに向けられていることも、私にはわかる。　コロナとの戦争はすぐに人との戦争になる。"武漢の中国人、アメリカ人、ロシア人、金持ちなどだ。" - 宇宙のホログラムの中で神に従わなければならないのかどうかもわからない、神秘的な宇宙の中で生きる私たちの面白い時代。　私たちは猿ですが、他の猿は代数ができません、それはそれを拡張することが可能です：私たちを研究することを楽しんでいる宇宙の知性があります - 私たちはまだ私たちの精神力と創造性が試されていますよね？

"反逆者としての私の人生

それは1992年にアムステルダムで始まり、私は何人かの友人とオランダでいくつかの米国の衣料品店を経営し、ニューヨーク市のソフトウェアフォージ - 石油会社のための地震コンピュータプログラムの開発 - とライプチヒの下宿をしました。
時代は良かった、私はちょうどニューヨークで私の最初の、迷惑な妻から分離し、しなければならなかったと私たちの息子ジョーダンのために望んでいた、バラの戦争 - 私はダイナミクス＆カオスの手の中でそれらの両方を残したが、私はまた、それらの手の中に自分自身を置く

彼らは冒険を求めて、私を南米に連れて行ってくれた、私は繁栄したビジネスに飽きていた、私はスリナムの軍事独裁者の息子ディーノに会った。
また、父親に恩義を感じていた良い生活にも飽き飽きしていて、何でも持っているのに飽きしている二匹の幼い獅子猿はどうなるのか？
彼らはコカインビジネスに入り、父親から何人かの兵士や警官を奪い、スリナムのブラジル、コロンビア、ペルーのギャンググループから強奪し、金持ちから奪い、ワシントンDC（DEA！）、ロッテルダム、アムステルダムの飢えた志望のライオンモンキーたちに与える--私たちは冒険とさらに多くのお金が欲しかったのだ！」と語った。
スリナムでの1年後、誰もが私のことを知っていたし、誰も私と麻薬取引をしたくなかった。なぜなら、彼らは私が彼らから奪おうとしていることを知っていたからだ。この行を書いている今、彼はまだアメリカにいて、皮肉にもコカインを持ち込んだ政府関係者に投獄されている。
私の話は1992年にヨーロッパに戻った時にディノと別れて、オランダのディノの人たちとヨーロッパで同じゲームをやればいいと言っていました。だから他のグループを見つけて　餌にしてバンは銃を手に入れろ
私との間に大きな取引をしようと思っている人と車の中で一緒に座った時の気持ちよさは言葉では言い表せませんが、彼に向けられた9ミリを見て、彼の世界が一変する瞬間を決めてしまいます。
この感覚は警察の売国奴も知っていると思いますよ、バイエルンでの最初の取引の時に、ドイツ国家から銃を持って攻撃されたのは私ですからね～。
結果は、コカイン離れと1年間の拘留＆大麻乱用の治療でした。
父が目に涙を浮かべながら刑務所に入っていた私を見舞いに来て、父にこう言ったのを覚えています。「パパはロシアの捕虜になって4年間、ロシア人のゴミの中から魚の骨を探してスープを作って生きていたんだよ。

はい、私たちのいくつかの非常に少数の私たちは、そのような経験の後に私たちの生活を変更しますが、私たちのほとんどは、この人生を選択し、それが最高の人生です...私はいつも私が小さい頃からギャングだったので、私にとっては、それがあります。だから仮釈放された時には、理にかなったことをした。
オランダに行って、バイエルンの元監獄で知り合いに直接コカインを郵送で送っていました。
でも、もうコカインを使う気がしなかったので、ニューヨークではもう十分だったし、何の役にも立たなかったし、大麻の方がずっと好きだったし、自分が好きなものは人に売るべきだと思っていた。
私は取引、輸送、栽培から大麻ビジネスに入りましたが、スリナムの良い友人たちと良いビジネスをしました。
これは本当にセスナと車で輸送したり、オスロ、パリ、ロンドンで販売している間、スイスで成長している間に私が経験したすべての私の物語を伝えるためにここで大きな貢献であることを意味するものではありません - それは良い時間だったし、すべての良い時間は、自身のEGO-ICHがそれを認めたくない場合でも、その終わりを持っている　-　それは2004年に私に起こった、再びドイツで、特に、バイエルンで再び、私は力がそこに何を考えていたかわからない....
結果：大麻乱用で懲役8.6年＆セラピー、ジャマイカの国以外は全て消えた。

2010年にカミングアウトした時は　双子は生後数ヶ月だったから　ママとパパの父親はどこだと思う？あなたは私にとって神々からの贈り物です。特にリリー、あなたの無条件の愛は私の父を思い出させ、リサ、あなたの洗練された狡猾な方法は私の母を思い出させます。私はエピジェネティックな素因を証明できると思います、少なくとも当分の間は、私の自由度の低い相続人は、私が考えたこともないような驚くべき方法で彼女の遺伝子＆ミームのアルゴリズムに従っているからです、あなたのお母さんからの愛さえも、私が確信していたものではありません - あなたは本当に私の心に好意を抱かせるようにしてみてはいかがでしょうか。
2010年に釈放されて、母にお前ら双子のことを話した時、母は私の愚かさにショックを受け、失

望していました。たった3年の投獄中に借家人と浮気をしたことで、母はあなたのお母さんのことが嫌いになってしまったのです。それはそれで消化するのが大変で、特に、母がいつも言っていた「これは売春婦だ！」という言葉を、涙目になりながら、免罪符のない相続人に確認された時は、私も大変でした。
娼婦であろうとなかろうと、私はそれを非難しません、私はそれとうまく生きていくことができます、私が受け入れられないのは、あなたが良いことをした人の裏切りです。私は3回裏切られたので人生で逮捕されたことがありますが、愛が裏切られたのは1回だけです--あなたの身に何が起こるのか、はっきりしていますか？
私の文章の中では、大麻ビジネスをしているせいで世間から危険だと言われていました。私は私の時間の中で販売している大麻の何キロか知らないが、それは1000キロ、すなわち1つのジョイント1グラムのために、それは別の人が瞬間のために幸せにした約100万のジョイントになるだろう、1つまたは他の人は、新しいレゲエの曲を作曲するためにインスピレーションを持っていた、良いセックスをして、彼らの友人と神＆世界についての深い会話を持っていたし、いくつかは、彼女が何年もの間ファックしているシステムのために実現しました。
いいえ、ピンメル判事、私はあなたの政府やシステムにとって危険な存在です。大統領がサイロシンを無法化した時、すでに疑っていたように、この2つの物質はエゴイチの境界を壊し、システムが何千年もの間、私たちの中にもっともっとしっかりと固定しようとしてきた、頭の中の手錠を緩めます。
冒頭で述べたように、母は私に失望していました、そしてそれは私にとって意味がありました：それは何ですか...私の過ちは、私のために妊娠中に自分の命を犠牲にしようとした女性への愛はどこにあったのでしょうか？
ママとはほぼ毎日話しているし、お墓参りもみんなで行っているし、私だけだよ。デュッセルドルフの墓地事務所は、私が最後に投獄されたときに私に何度も手紙を書いてきた、家族の墓が乱暴になっているので、欠陥の報告...彼らは精神的にあなたを必要としたときにあなたの相続人はどこにいたか、どこで...あなたはすべてこの遺産の上に住んでいます。恥ずかしい、どこで私はあなたと一緒に子育ての失敗をしてしまったのだろうか？
さて、いよいよこの家族ドラマも終盤に差し掛かってきました。それは私の母が彼女の夫の十分なものを持っていたまで結婚の50年かかった、89歳で彼は血管性痴呆症を持ち始めた、何も悪いことはない、彼はしばしば同じことを数回話したので、我々は最終的にそれを得た、彼は言ったが、それはいつものようだった、と彼はトイレの横に少しオシッコをしたこと、私の母は、愛のうち、彼を取り除く必要があります、彼は彼女と家のためにすべてをやったので、 - 彼は私にとって良い男であり、無条件の愛の例です。開放された妻の棺の前に座っていた彼は、妻を抱きしめたくなり、棺全体が倒れそうになった......目に涙を浮かべながら、これを書いています........。
あ、はい、このままで大丈夫です。いずれにしても、彼女はドアの鍵を変えてもらったり、窓から「息子のところへ行って！」と呼びかけたりして、父をアパートから追い出しました。
それは2011年のことでした、彼女は自分の死が長くないことを知るべきではありませんでした、彼女は自分より先に夫が死ぬと強く信じていました、彼女は夫の葬儀で着るドレスまで選んでいました...彼女が着ていたドレスが死体の格好をしていたものだったことを知るべきではありませんでした...それが人生であり、それは違うものであり、誰かが考えるように二次的にやってくるのです!
父が来た時には夫婦喧嘩が本格化していて、祖母がずっと前に妻に追い出されると警告していたと言っていました。私があなたを庇って家の一つを遺贈すると言ったの　おばあちゃんに何て言ったか知ってる？彼は私と彼女の間に不和が生じるだけだと言った。私が長屋のためにしているすべての仕事と、あなたが死んだときにグレテの家の一つの所有権を毎月５００ユーロよこせと。
追い出されたが無一文ではなかった、それを予見していた姑のおかげで。怒りのあまり、彼はまだ利益を主張するために離婚を望んでいた、彼はただ怒っていた。　このように理解しなければならない、子供たちよ、彼はいつもあなたや私にとっても良い人だったのです。
私は、実は父よりもずっと愛していた母を相手に自分を位置づけ、それが夫婦間の争いを家族間の争いに変え、後に弁護士との相続争いにまで発展させてしまいました。

どのようなトラウマ、私の家で父といつも同じ話題、私は彼に言ったとき、私たちはすべての私たちは、Schwarzbachの夏の家に一緒に移動する必要があります、彼は同意したので、4人の小さな子供たちと私のアパートは少し小さすぎました
しかし、第二共婚のアパートに引っ越そうと思ったら、母が警察を連れてきた。
私はまだ手錠をかけられている写真を持っています　ここも彼の家だとバカな警官に言ったからです　彼は鍵を持っています　あなたのバカなクソ警官は　私たちを立ち退かせる権限を持っていません！
しかし、正義は果たされなかった。おそらく、ママの弁護士が親父がディメンツであることをキモ

オタに知らされたため、実際に警察に連れ去られてしまったのだ。その後、悪化した。父親は母親の元に戻り続け、一度はパジャマを着ていた。運が良ければ、すでに私たちを知っている救急車がやってきて、父を精神病院に連れて行くようにアドバイスしてくれました。
そうよ、そうよ、子供たち、病院に行くという口実で精神病院に連れて行ったのよ、彼らは彼を飼っていたのよ！
そこの状況はとても悲惨で、私の母でさえ、彼を訪ねた時に「彼はそれに値しない」と言っていました。しかし、彼を連れて行ってくれたことに感謝し、相続人の選び方を間違えたと言われ、相続の話は一度もしたことがなく、「あなたが死んだら全部売る」と言ってよく彼女を困らせていました...私は彼女の最後の遺言を果たすためにできる限りのことをしたと判明するはずです。

育児のための裁判所の命令が来て、裁判官は審問で私に言った：あなたがあなたのお母さんについて言っていることが本当なら、あなたとあなたの妹はあなたのお母さんのために育児の申請をする必要があります - そして私たちはそうしました。
そのような判断は、誰かが自分や他人に危険を及ぼす場合にのみ命令されるものであり、彼女は狂っていたのではなく、ただの悪だったのだから、それが失敗だったことは明らかだった--。
母はもちろん、子供たち、特に私のことをとても残念に思っていたので、上記のような遺言書に変えた方がいいと思います。半年後、彼女はすべての興奮とストレスのために壊れた心臓（心臓発作）で死亡した...彼女はいつも言ったとき：私たちはとても素敵なそれを持っていることができます...
電話で彼女に言ったことを覚えてるわ。「ママ、興奮で死んじゃうよ。
子供たちは彼女が私に何を言ったか知ってるの？
"気にしないし、それが私を殺すなら..."

だから11月に彼女は死んで、今は事実を聞いてください。
私の父には20件の事件を処理する公的な後見人がいたので、彼女は彼をホームに送り、彼が呼んだように刑務所に送り、何であれ、高齢者は鎮静剤を投与され、テレビの前に押し込まれ、すべての過負荷がかかっていた--それが2013年にはすでにドイツがそうであったように、です。
父親は何度か逃走し、タクシーに乗って家に来て、何度も何度も警察が来て、私たちは彼を釈放しなければならなかった、私は本当に彼をそこから出して、私たちと一緒に彼のアパートに家に帰るために何度も努力したが、正義のミルは単に不釣り合いに長い時間を研磨する。それで次のようなことがありました、母が亡くなった日かその直前、父がベッドの絞首台に首を吊ろうとして（！）、たまたま看護婦さんに発見されて病院に来て、妻の死の知らせを持って見舞いに行ったら、部屋に入って「父ちゃん、母ちゃんが死んだ！」と言っていたのですが、父ちゃんは「母ちゃんが死んだ！」と言っていました。そして、すべてがうまくいくというサインとして親指を立てたのですが...何年か後、彼はよく「お母さんなんだから、これは良くないよ！」と言っていました。彼はなんと正しいことか、それなのに彼は私が絶望していると思っていた、このストレスでトラウマになっているとさえ思っていた、私は朝から晩まで大麻を吸っていた、実は家族全員が大麻を吸っていた、それは薬だったのだ！」と言っていた。
父がようやく介護者から出所し、彼の家に引っ越すことが許され、昼夜を問わず父と一緒に暮らす看護師を得るまでには、まだ数ヶ月かかりました - 私は心を回復するために一人でジャマイカ、山の中の自宅に逃げました。

ジャマイカで父が死にかけているとの連絡があり、すぐに飛行機に乗ろうとしたのですが、運命的に2日間待たされてしまい、アメリカ上空を飛んだのは2015年4月に父が亡くなった瞬間でした・・・!
私は家族だけで彼を葬らなければならなかった、私の妹の家族は、義兄を除いて来なかった、彼はほとんど来て去っていった--家族間の争いへの夫婦喧嘩は、長い間、両家の間で、遺伝的な争いへとエスカレートしていた。

そして、それはすべてではなかった...私は家から禁止された、彼らは秘密裏に家を売却したいと思っていた、私は偶然にそれについて学び、一度、その後二度、そしてすべてのこの時間で私は彼らと建設的に話をし、相続人のコミュニティは何も言う正当化を持っていないだろうように、私の強制的な部分を主張しないでください。私たちは彼の取り分を返済するために家を売らなければならない、何ヶ月も何ヶ月も過ぎて、私はもう家の世話をすることを許されていなかった、管理も職人技もない - 何も、私はいくつかの麻の植物を植えた、ガーデニングのための愛のうち、私は何も悪いことはないと思った。大麻がある家には甥の一人も住んでいなかったし、借家人も、それを知っていた管理人も......すべてが私にとって危険なことではないのでしょうか？
どんな動物でも正気になれば十分だったことが、大麻使用の話題になっています。何も心配しなく

ていい、小さなことでも大丈夫だから...そうあるべきだけど、何年もは無理だよ！

2016年12月1日、私の両親からの強制的な部分の期限切れの4週間前に、すべての後に約100万ユーロ、私は頭を抱えてベッドから外を見て、ちょうど午後の昼寝をしていた、2人の警官が外から入ってきて、私を見たときに窓を覗いた。彼らから10メートルも成長していなかった、それは明らかに、1000麻の植物にいくつかの麻の植物...と私は思う：うわー、どのように彼らはロックされた庭と過去の3つのジャーマンシェパード犬に入るのですか？
外に出ると警察が犬を道で見つけたと教えてくれたので、私が出て行く間に話をして、クソ暑い庭から出られるようにしました。庭の門に到着した私は尋ねる：犬は今どこにいますか？
あ、警察はすぐに来るって言ってたわよね、もうすぐ来るって。でも、お宅の庭で何か見たんだけど、また戻っていい？
法律はここから始まる 検察官や裁判官の捜索令状なしに 警官がフェンスのある場所に入ることは許されない しかし、あなたはもう十分に見ていたので、今、断るのは無意味だったでしょう。
あとはすぐに言われますが、私は逮捕されました、どこからともなく出てきた警察官の分隊に、どこからそんなに早く出てきたのでしょうか？
それはまた、今では、どのように犬が逃げることができ、私は刑務所で私の子供たちの母親と呼ばれ、彼女はクソ犬が出てきた方法、敷地内にインストールされていた8つのカメラの記録を見るべきであると言った、彼らの仕事をしていないと、彼らの存在下で、違法に敷地内に入るために警官の恐怖 - 彼らは残していた、彼らはあまりにも彼らの恐れていると権利を恐れています

いずれにしても、カメラはオフになっていて、クソ警官が家宅捜索をした時に再び録画されただけであることが判明しました。
キ・ボノ？私の投獄で誰が得をするのか...？私は彼らの家を焼き払いたかった、本当に、それは電話だけで済んだだろう、後で支払う、何の問題もない、または多分あなたの人生で私を考えさせるために膝を折る？復讐、憎しみ、何度も何度も何度も戦争へと導いてきたことを知っているからこそ、それが正義でしかないのではないでしょうか？敬意を表したかっただけだ　　お前の血が欲しかったわけじゃない！
しかし、このような何かが非常に高速でスイングアップ、私はそれを知っている、私は南アメリカとジャマイカ自体でそれを見てきました、それは非常に高速で行く....
刑務所の中で私は落ち着き、自分自身を取り戻し、それからはあなたの状況を理解しようとしました。なぜそのような行動をとったのか。監禁中は、ダイナミクス＆カオスの力も私には良かった、私は期限前の最後の日に、私は刑務所の中で私を訪問し、私の愛する家族の迷惑に、すべてを開始することができます相続弁護士を見つけました！私は、私の愛する家族のために、すべてを開始することができます。
裁判の長い話は、簡単に言えば：裁判所は私が有罪だった知っていた、それはまた、彼らは家の捜索で違法に行動したことを知っていたが、判事ピメルは気にしていなかった、彼は信じて、信念は彼の刑になります - 私は人々の名前で、5.6年と麻の治療を得ました。 そして、それがこのポジティブな本につながっていった......! 私はドイツの反対側に移され、家族の絆が壊れ、家族に財産を盗まれ、他の長期囚人と同じように......これらの関係はずっと前から壊れていたのです。
私の治療は親権者の判決でしたが、私はそれを最大限に活用しました、あなたは国家心理学者と彼らの治療目標について何かを知っていなければなりません。
MRV療法はヒトラーが発明したように施設であり、脳を洗浄して従順な市民が出てくるようにすべきであり、それは彼らが私に試してみたかったことであり、彼らが私を絶望させたことを多くを語る必要はありません....!
まずは、司法制度と納税者に感謝の気持ちを込めて、この場を借りてお礼を申し上げます。このような治療には、1日あたり€300,00（刑務所では€100,00）、2年で終了した場合は€250,000,00程度の費用がかかりますが、食費は1日あたり€3,00に固定されていたので、私たちはそのことをあまり感じません。 依存症にかかっていても犯罪を犯さない人たちにとっては、このような長期的な治療を受けることはないのですが、何と残念なことでしょう。なぜなら、あなたが本当に、本当にポジティブな変化を起こしたいと思っているなら、ここは良い場所だからです。悪口は言いたくないが、公式の成功統計では100人中30人の患者が薬物依存から解放されているという。
専門家のサンドロス博士によると、1992年から30kg以上の私がいます。ファイル素材（！）はこちらのショートバージョン。
それは私が非常に敏感で感情的な、信じられないほど創造的な、非常に自由を愛する、調和を必要とする責任がある、正義の明確な理解を持っており、トラウマにされていることが判明した - だけでなく、反社会的、ナルシスト、軽蔑的、挑発的、傲慢な、常に権威を疑問視しています。
これを見ると、ほとんどの患者さんのように真面目に行動したり話したりしていなかったことがわかります。でも、ホロスコープが書かれているように、それぞれに少しずつ合っているだけでもあ

るんですよね。だからこそ、心理学者は科学者よりも占い師の方が多いのです。
私にとって本当に良かったのは、孤独ではなく、一人で考える時間でしたが、孤独は私を誤解させません、刑務所は空っぽの人のための唯一の拷問です。
考えたり書いたりする時間があったので、これが私の浄化作業です。
私の将来は、より良い息子、父親、人生のパートナーになることではないことを学ばなければなりませんでした。 ずっと自分が正しいということを学ばなければならなかった。 私は誰にも証明する必要はなく、あなた方の子供たちにも、裁判官にも、雲の中の神にも、自分を正当化する必要はありません。　　自分に感謝して、来た時よりも少しでも良い世界を残して、同じようにしたいと思っている人たちと合流するための課題があります。
私に大きな力を与えてくれたのは、オイゲン・ドリューマンが語ったイエスとソクラテスの言葉「無条件の愛があれば、死後の地獄を期待することはできない。
愛する人まで傷つけてきたのに、何をしているのかわからなかった。私たちがしたことは変えられないが、そこから学ぶことはできる。　ソクラテスがイエスのように処刑されたことを知っています。ソクラテスは、自分が知っていることと知らないことを区別することができると説明した。
400年前、イエスの時代よりも前に、彼は、人は他人の苦しみを喜んではいけないことを理解し、確かに彼の利己的なナルシシズムのために隣人を搾取してはいけないことを理解していました。ソクラテスは、間違ったことをして復讐をするよりも、不正を受ける方が良いと考えていました。後にイエス様の隣人への愛に笑ってしまったことを、みんなが笑っていました。
しかし、重要なことは、平和と幸福を見つけるために、光の中に上昇する赦しはまだ今日である、私はこれは仏陀がソクラテスとほぼ同時に住んでいた署名するものだと思う...カトリック教会、バチカンAGを去った神学者と精神分析家は言った...
そして、オイゲンとジドゥーによって、心理療法とインド哲学の輪は閉じていくのです：ただ観察者であり、他人を判断したり、判断したりすることを慎みなさい。
もしそれができるなら、敵を許し、攻撃を受けても反撃せずに耐え、理由をつけずに愛することができるなら、それこそが本当に自由意志であり、自由な思考だと思いませんか？

そして、人生のすべてのものに感謝することは、健康であること、年をとること、職業上の地位を持つこと、ビジネスやお金を持つこと、すべてが違ったものになっていたかもしれないということを知ることは、私にとっては正当なことのように思えます。

動物は哲学者になった

私がサイコナウトとして自分自身について付け加えることができることは、私が先生、特にテレンス、グラハム、オリバーから学んだこと以上に多くはありません。

民族学者のテレンス・マッケンナ

ジャーナリストのグラハム・ハンコック
作家のカルロス・カスタネダ
精神科医スタニスラフ・グロフ
ジャーナリストのマイケル・ポラン
心理学者ジョーダン・ピーターソン
麻酔医スチュアート・ハメロフ
神経科学者サム・ハリス
心理学者のジェームズ・ファディマン
神経科学者アニル・セス

私：サイコナウト

私としては、これは私の人生の中で最も重要な直接の経験の一つであるとしか言いようがありません...そして、キノコの儀式を紹介してくれたソーマに感謝しています。
しかし、最初の事実は：エゴ-ICHは全くそれを好きではない、それはそれによってその投獄の心を認識させるために溶解したいとは思わない - 一方で自由意志は旅行を愛しています。
第二の事実は：また、すべての国家は、他の北朝鮮、中国、日本、ロシア、サウジアラビア、アメリカ、ドイツの間でそれを禁止し、誰もがここでこの問題では、誰もが同意する - 国家のコミュニティは、60年代以来、消費、貿易、サイケデリック物質との科学的研究を禁止しており、それらを罰の下に置いているカトリック教会の前のように、それは悪魔のものと呼んでいます、それは申し立てられた幽霊の病気を引き起こすため、それが原因とされているので。しかし、我々は、アマゾン、インド、アフリカ、アメリカやヨーロッパの神秘主義者やヒッピーのシャーマンから知っている、彼らはこれらの古代の儀式を培養し、大切にしていることを、まだ生きている今日、;　ギリシャ人、ペルシャ人やエジプト人がかつてしたのと同じように。彼らは、異世界へのアストラルジャーニーと呼ばれる意識の代替レベルが存在し、私たちが宇宙意識の一部であることを、誰にでもすぐに証明してくれます。
第三の事実は、全く致命的なものではなく、過剰摂取もなく、中毒性もないので、中毒性のある病気はあり得ないということです - 私が最後にサイケデリックな旅をしたのは数年前のことですが、それは今でも残っています...
キノコとEGO-ICHと力の中枢との間に、お互いにwithがあることはないだろうが、どちらかが行かなければならない最終決戦までは、隣に1つはあるだろう。
ストラスマンは次のように書いています：「......サイケデリック物質の投与について何でも知っている人は誰でも、政治の世界ではそうですが、心理学や精神医学の世界ではそうではありませんが、それを考えると緊張してしまいます......!
何が実際に起こるかは、これらの物質であることです　-　（DMTと他の人の間でメスカリン、psilocybinのような他の人は、化学的に密接にホルモンの神経伝達物質セロトニンに関連している） - EGO-ICHの境界を溶解し、私たちに宇宙とすべての生き物との一体感の感覚を与え、以前の資格なしで、誰もがすぐに、直接体験可能なこの！（DMTと他の人の間でメスカリン、psilocybinのような他の人は、化学的に密接に関連しています。
これらのスピリチュアルなメタ体験は、耳の間の量子コンピューターの中だけで行われるのか、それとも実際にミームスピリッツとのつながりがあるのかは、サイコナウトの間でも議論されており、現時点では経験的に検証可能ではない。
神経毒仮説 - 批評家や猜疑心の強い人は、我々が毎晩新たに経験する夢の状態に匹敵する幻覚性のメッセンジャーで、脳内の松果体によって引き起こされた脳化学の単にソフトウェアとして旅行を記述しています。
しかし、私が経験したこれらの旅行は、私が知っていたことや想像していたことをはるかに超えたものであり、私たちからは出てこないと思います。
古典ギリシャ哲学によれば、この問題についても同じような議論がなされていた。新プラトン主義によれば、宇宙的理性（ロゴス）とは、宇宙に秩序や意味、知性を与えるものである。今日の量子物理学は、すべてが構造と物質であり、情報であり、原子や星や銀河は、脳内で現実として解釈される感覚器官ソフトウェアに近いものであることを証明しています。
アテネの近くには、プラトン、アリストテレス、ソクラテスだけでなく、古代世界では世界的に有名なエレウシンの秘密を知っている知性の集まる場所がありました。
テレンス・マッケンナが扱う興味深いテーゼのために、進化が猿人にこの化学的性質を与えた可能性が高いのです：すなわち、宇宙の進化についてのテーゼでは、超生物としての自分自身に気づく方法を見つけ、私たち人間がこのタスクを果たすべきであるということです。
これは私の心に強く響いた理論であり、人類の運命や死後の一人一人の人間に希望を与えてくれます。
確かに、それはカトリックの悪魔の仕業ではなく、国家はこの研究の邪魔をするべきではなく、むしろ、人類の利益のために、これらのミームの霊を私たちの社会に再統合するつもりで、それを支援すべきである - この時代には、もう少し宇宙の調和が緊急に必要なのです
パンドラの箱を開けようとする権力エリートの恐怖は理解できる、彼らは権力を失うだろう、マトリックスの幻影は映画『マトリックス』のレッドピルのように誰にでも見える、つまり国家と宗教のマトリックスになるだろう。ストラスマンによると、それはすでに開かれているという。"私が呼んだ霊は、今は追い払うことができない。"
精神の目覚めは自己認識に縛られており、自分自身の直接の経験と科学的理解が第一であり、他の人が何を言ったり、書いたり、処方したり、説教したりするのではありません。

覚醒した私だけが悟りを開くことができます！

サイロシビンのリチュアル＆パワー

非常に印象的な体験は、最初にこのような心が膨らんだ状態になったときに多くの人に起こることは、人生の見直しです。これは、自分の人生に影響を与えた人の目線で自分の人生の物語を見ているからこそ、目に涙を浮かべて感動するサイコナウトがいることが多いのです。　自分の人生をどのように生きてきたかにもよりますが、自分が他人にしてきたネガティブなことがすべて見えてきて、それに気づくことを拒否してきたのですが、この旅ではそれをはっきりと見せてくれます！この旅は、自分の人生をどのように生きてきたかにもよります。
もう一つの体験は、おそらく最も美しいものである：何とも言えない愛と、私たちは皆超有機体であるということ。旅先が先生であるかのように、宇宙人であるかのように、ミームの精霊と私たちはコミュニケーションをとることができます
絶対的にポジティブなことは、実際に意識的に導かれた人生に自分の人生を調整するための努力をすることになります。
旅は、性格の変化までもが心の癒しになっています。うつ病にDMTを使用している医師もいますし、依存症で人生を変えるのにも非常に役立っています!
スティーブ・ジョブズは、LSDがなければAPPLEコンピュータを発明しなかったと言っています。フランシス・クリックとジェームズ・ワトソンは、LSDがなければ、彼らはDNAを発見していなかっただろうと言った、作家のテレンス・マッケンナ、マイケル・ポラン、アレックス・グレイのようなアーティストがたくさんいる、とりわけ - 旅行は人の創造性を駆動し、私たちのために変換と超越的であることを明確な指標である!
とにかく、精神性のための場所は、ホモサピエンスの文化的進化の始まりからあったと国家や宗教がこれらの物質を禁止し、我々は集中的に私たち自身の心に従事していることを生得権を取るので、ちょうど刑務所であなたと私を送ることはありません場合は、今日である可能性があります - なぜそれは何ですか？明らかに彼らはもう彼らの精神的な鎖の中で私たちを維持することはありません、旅行はすべての深く教化されたアルゴリズムを壊します！彼らの精神的な鎖の中で私たちを保つことはありません。もし我々が決めることができれば、政治家、司祭、銀行家は全員、少なくとも12のサイケデリックな儀式に参加しなければならない、彼らが仕事を始める前に。

私たちは初めて魔法のキノコを取ることにした場合、彼らはそれのためのお金を持っていることを望むならば、旅行に十分な経験を持っている私たちのために無条件の愛を持って常に一人の人があるはずです - 。
この人たちは間違っている！

それは楽しい薬ではありませんが、未知との出会い、それはグループで良いですが、それは必須ではありません - 最終的には私たちはとにかく一人であり、それは私たち次第です。
投与量が低すぎてはいけない、サイケデリック物質の過剰摂取で、医学的経験から確認された死者は1人もいない、私は次のようにしています。

干しキノコを5グラム取って（はかりを買う）、細かくすり潰してホットチョコレートドリンクを作る（マヤ人はこうやってやっていた）。
約30分後、宇宙人との遭遇が始まる......!

感情があっても危険ではないことを忘れずに、来たら深くゆっくりと呼吸をしましょう。静かに -- 聞く - ちょうど見ている - 旅行を戦うと制御し、来るものに身を委ねる

これらはサイケデリックな物質です。

植物
DMTの粉末は、多くの植物や動物、私たちの松果体に含まれています。
アヤワスカドリンク、リアナと他の植物の組み合わせ。
イボガ

サボテン
ピョートとサンペドロサボテン

きのこ類
200以上のpsilocybinとpsilocinを含む精神活性菌があります - キューバ人、メキシコ人のハゲ頭はよく耐性があり、ハエ寒天ではありません。
穀物キノコからのLSD

その他のアプリケーションについては、YouTubeを参照してください。
ポール・スタメッツ：キノコが世界を救う6つの方法について

感覚器官の酩酊＆精神の酩酊

文化とその他の深い教化
より大きなグループ・コミュニティの出現に伴い、文化的価値観や規範も発達してきたと、テレンス・マッケンナ氏は講演の中で、文化は必ずしも個人にとって良いものではなく、精神病の原因にもなると述べています。
今の社会の最後の集団麻薬は、テレビ、インターネット、iPhoneでした - そして、デジタルバーチャルリアリティは次のものになるでしょう、私たちの最高の人たちがそれに取り組んでいます!
EGO-ICHは今日までこれらの価値観のかなりの部分を持っていたと思います、一部のミームウイルス、サイコ言語学と2つのアルゴリズムは、エゴイズムのように、人を精神的に病んでいる（サイコパス）、だけでなく、絶対主義、専制主義のようなものもあると思います。エゴセントリズム、利己主義、エリート主義、狂信主義、ファシズム、原理主義、快楽主義、消費者主義、保守主義、資本主義、正統主義、ナルシシズム、唯物論、日和見主義、保護主義、人種差別主義、還元主義、サディズム、性差別、全体主義、シニシズム、 &。 a.

そして、不可知論、無政府主義、動物主義、平等主義、ヒューマニズム、不確定性主義、幻想主義、自由主義、忠誠主義、ミニマリズム、自然主義、中立主義、楽観主義、現実主義、精神主義、社会主義など、ミーム文化の中にも良いミームウイルスは存在すると思います。

私は依存症-エゴイズム
そして、パワーエリートだけでなく、すべての人は権力に依存して中毒になっていて、幼少期に培われなかった自尊心の欠如を、愛と承認と受容で補っているのです、彼らはミーム・サブスタンス・パワーでそれを取り戻しているのです
王、皇帝、大統領が権力を持ち、それによってハイになるということは、他人の生死を左右する権力を持ち、自分の兵士が自分のために戦争をすることを喜び、外国を占領し、その国の王の首を刎ねること……それはそのような人たちのためのものです。
ナルシストEGO-ICH 感情の精神的射精。
力をもたらす崇拝に加えて、これは、同じ理由で認知、受け入れ、愛を求めているマイケル・ジャクソンと同じように、法王にも当てはまります。
酩酊剤-意識拡大-トリプタミンなどのアルカロイド
動物が植物および／または発酵した果実で高くなることは、ジャガーからゾウ、霊長類に至るまで、哺乳類の世界で広く受け入れられています。
テレンス・マッケンナのストン・ピー説は、人間が菌を大切にしたもっともらしい理由のように思えますが、それは、末梢視力や交尾・性欲（類人猿には発情期がない）を少量で改善することで、狩猟採集や捕食者への配慮、子孫の繁殖率の高さなども遺伝子の恩恵を受けていたことを意味していました。
サイケデリックなキノコやサボテンの大量投与が、どこまで神の発明に有益であったかは、今日でも神を信じ、この神に興味を持っている科学者の間で議論の的になっています。
イリュージョンはそんな些細なことで奪われたくない。しかし、アメリカ、アフリカ、インド、シベリア、ヨーロッパの二重大陸からの考古学的知見は、人間が非常に長い時間（約12,000年）のためにこれらのアルカロイドと接触してきたことを明確に示しています。
我々は、20世紀の初めにドイツの研究者からサイケデリックキノコ、コーンキノコ（LSD）、サボテン（メスカリン）から次の物質の合成者を知っているが、イボガ、DMT、サルビアなどの心理療法で非常に成功している植物の他のアルカロイドがあります。

YouTubeのサイコナウトの深層情報はこちら。
- oオリバー・サックス：幻覚が私たちの心について明らかにすること TED.
- oテレンス・マッケンナ - これがキノコのプログラム - サイケデリック・サロン#484と：DMTについて知っておくべきことのすべて（テレンス・マッケンナ）。
- oビデオナゲット：スチュアート・ハメロフ教授とのサイケデリックと脳。と：スチュアート HAMEROFF - 意識の変化した状態とは何ですか？
- o松果体の信じられないほどのパワー-プロ エンリコ・エディンガー博士
- oあなたの脳はあなたの意識的な現実を幻覚化する | アニル・セス テッド

- oジョーダン・ピーターソン サイロシビンの研究 そして：ジョーダン・ピーターソン - DMTとサイロシビンの謎。
- oグラハム・ハンコック：サイケデリックと文明。そしてグラハム・ハンコック - 意識の戦争 BANNED TED TALK.
- oサイロシビンの科学とそれを使って苦痛を和らげます。TED And: 心を解き明かす：サイケデリックの約束 TED
- oマイクロドージングの驚くべき成果：ジェームズ・ファディマン
- oマイケル・ポラン - サイケデリックとあなたの心を変える方法 | Bioneers.
- oサム・ハリス - サイケデリック、瞑想、そして大きな絵 | ティム・フェリス・ショー

新石器時代と古代の間にそれをはっきりと証明する：魔法のキノコは、ヨーロッパ、シベリア、インド、アフリカ、アメリカ、東洋で儀式的に崇拝されていた;　彼らは意識の拡張者だった...そしてEGO-ICHは、政治、宗教、経済のように、魔法のキノコが社会にしっかりと自分自身を確立することをパニックと恐怖を持っています。　これは、私たちの上に彼らの力を奪うだろうし、1960年以来、それらに関するドイツの研究の30年後、彼らは世界的に禁止されており、誰かがこれらの物質と研究するか、またはそれらと消費し、取引するべきであるならば、厳格な投獄の下に置かれています - これは、有毒なEGO-ICHの人類を治すであろう何かの恐怖の結果であり、これはすべてのパニックです。
4つのパワーセンター! - 4つ目は「EGO-ICH! -

なぜなら、現代でも、非常に多くの人が、テレビやi-Phoneやインターネットのような物理的な中毒性物質や精神的なミーム中毒性物質を消費したり、宗教やその他の快楽を消費したり、恋愛や美容整形で変わるような快楽を消費したりしているからだ - 人間は、集団、文化、サイコパスによって狂気にされてきたのだ。
平均的なアメリカ人を分析すると、アメリカのショッピングモールでは、ショッピングと食事という2つの情熱が一緒になっていることがわかります。
アルダス・ハクセリーは、ソーマと呼ばれる国家麻薬の話をしていますが、そのような独裁政治の中で、国民が自分の同意を得て生きたいと思っている、彼は21世紀に来るこの未来を見ています。

最高の研究者が取り組んでいると信じて、テレビの後、さらに強力な中毒性のある薬の発明、アップルのiPhoneは、デジタル中毒性のある薬への第一歩である、あなたの双子は、あなたが小さい子供の頃から、このデバイスの中毒性の障害を持っていた、それはそれであなたを満足させるために私の責任でした。多くの親と専門家は中毒のこの現象に直面して無力である、WHO （世界保健機関） は、臨床画像として診断ゲーム障害を認識している、カナダのクラス アクションは、すでにソフトウェア メーカー EPIC ゲーム （ゲーム フォートナイトの年間売上高 26 億ユーロ） に対して形成されている、同社は広告心理学者を使用していないため、子供たちがお菓子を買うために両親を得るために微妙なメッセージで泣き言を促すために使用します　いいえ、それは極端な、神経経済学者とニューロマーケティングの専門家は、プレイヤーと特に子供たちがさらに中毒性を作るために使用されていません - ゲームはヘロインのように動作します。
私は世界中の人を知っているし、アマゾンでも親は私と同じように子供に問題を抱えている。子供はまともに食事をしなくなったし、昔のようにお互いに遊ぶこともほとんどないし、スマホから離れたくない。
メモゲームへのこの中毒は、自由意志を超えて、自由意志が心の中で支配する方法をすべての明快さで示しています - 子供たちは彼らの両親、彼らの愛情と受け入れを望んでいるので、しかし、唯一のデジタルヘロインで!
かつて学校が得意だった子供たちがこの依存症のために崩壊してしまった--そんな子供たちが大人になった時、遊ぶ時間を持て余してはいけないのは深刻な問題である。
しかし、すべてのほとんどは、子供たちは、彼らが仮想世界で遊ぶ彼らの友人と、彼らの両親と一緒に過ごした時間の思い出を持つことはありません、彼らは唯一の私たちの体で生きているこの病的な社会によってミラーリングされたルールや法律で、これは完全に完全に自由の仮想世界に変更する必要があります....

"人のせいにする人にはまだ長い道のりがある　自分を責める人はもう中途半端なところまで来ている。そして、何のせいにもせず、誰のせいにもしない人たちは、目的地に到達している。"

諺

中心テーマ

結論と貸借対照表。

自分の人生経験について、何と言えばいいかというと、それは
セキュリティを書くのか？

➢アンフリー・ミーとしてやったことはすべて、私のフリー・ミーは目を覚まさなかった、私はいつも両親と、相続争いと漢農園と、2つのアルゴリズムに従って行動していた。
➢すべてのものに対する無条件の愛は、人生において必要なものであり、自分を位置づけるためにも、また他人と自分を区別するためにも必要なものです。
➢人生のほとんどすべてが心に影響を与えます。恋愛から仕事へ。 意識を曇らせる物質や活動、意識を拡大させるものは、知らなければならないし、避けなければならないし、求めなければならない。
➢マトリックスのシステムはあなたが必要です。 行列に従わなくてもよく生きています。
➢すべてを犠牲にしてもいいという価値観が必要で、そうでなければ価値観ではありません。
➢積極的に変化した人を許し、積極的に変化していない人を赦すためには、過去を手放す自分自身の内なるものが重要です。
➢あなたが移動したいときだけ、あなたはあなたの鎖を感じ、あなたが裏切り者として従う限り、あなたのアルゴリズムとパワーセンターのすべてが平和のままである限り。
➢と思っているあなたは機械です。 あなたのあなたは脳が作るモデル...シミュレーションであり、魔法のキノコは、臨死体験や文化的なルールや境界線に縛られない創造的な夢を見るのと同じように、このことをＭＥにとても明確にさせてくれるのです
➢意識拡張物質は、この病んだ社会が私たちに課したスキマターから自由になるために、私たちの創造性を再形成するために必要なものです。
➢EGO-Iはあなたの脳、あなたの思考が儀式で魔法のキノコを取ることを禁じます。 15世紀のバイエルンの司教たちのパワーセンターのように、サイケデリック物質は社会の規範に疑問を投げかけ、それを評価し、解消していくのだろう。

何が言いたいの？ 第六章

CHAPTER SUBDIRECTORY.

2100年のユートピア＆ディストピア

だから、未来を予測できると信じるのはもちろんナンセンスです。いくつかの例をご紹介します。発明家ゴットフリート・ダイムラー・ベンツは1895年に「運転手がいなくなったから、せいぜい5000台になるだろう」と予測していましたが...！？　イギリスのチェンバレン首相は、ヒトラーが世界大戦を計画していたことを会議後に知ることはできませんでした。　CIAは1998年にソ連が崩壊することを予見していなかった。 2015年でも、トランプという甘ったれた変人が2016年にアメリカの大統領になるなんてありえないと誰もが思っていました。　コロナのパンデミックは、世界的なロックダウンの数ヶ月前に、メディアや政治家たちによって、弾き飛ばされていました。　それはイノベーションも同じで、市場に投入される製品は非常に少なく、失敗したイノベーションの墓場は裂け目で破裂している、とフランスの技術研究者Bernard　Réal氏は書いています。　ファクス、マイクロ波、パソコンは苦労した、電気自動車は内燃機関以前から存在していた。WWWはスイスのCERNにとって重要で、後に軍にとっても重要でしたが、誰もこれを予想していませんでしたし、すべての家庭にPCが導入されることもありませんでした。未来は多くの場合、現在のトレンドの延長ではなく、突然の変化による破壊的なものである...ので、自然進化とは大きく異なります。 スマホはNokia & Co.のスマホの進化ではなく、倒産から救おうとした会社の再発明です。スティーブ・ジョブズは自分の会社APPLEをノキアのような携帯電話の圧倒的なサプライヤーから救い、悪名高い墓場で終わってしまいました　　スマホが世界を変えた！我が家の家族も、双子のリリー＆リサのデジタル中毒も...文字も書けなかったので、音声認識を使ってYouTubeで動画を選んでいました
24歳で革命的な量子論を開発したヴェルナー・ハイゼンベルクは、「本当に未知の領域」と書いていますが、決定的なポイントで、それまでの科学の基盤を離れて、ある意味では、空虚に飛び込む準備ができている場合にのみ、勝利することができます。
私たちは、あらゆる時代のあらゆる場所で、試行錯誤されたものにしがみつきたいという人間の衝動を目の当たりにします。　時代が不確実であればあるほど、私たちは試行錯誤されたものにしがみつくようになりますが、それはまさに今日のような世界的なパンデミックのような時代であり、新しいアイデアやビジョンのさらなる発展のための最大の可能性を提供しています - 善と悪のために... これは、社会や組織だけでなく、何よりも自分自身にも当てはまります。良い時に成長するのではなく、危機や災害にさらされ、救いのために戦わなければならない時にのみ成長します。

ということで、この章は2100年までに何が起こるかという天気予報ではなく、私の考えを個人的に描いたものです。　個人として、またグループとして、なぜこのように考え、行動するのかを明確にしなければなりません。 2つのアルゴリズムについては十分に読んでいました。今はパワーセンターのことも十分に読んでいるので、それがどのように私たちの生活に影響を及ぼすかを正確に理解しています...敵を知らなければどの戦いにも負けてしまいますからね？ 最後の力は人為的なもので、そのアルゴリズムの協力を得ているとはいえ、つまり、このままである必要はないのです
捕食者の男が天使になった事件が何度も起きている！？
私たちが見失ってはならないのは、ダイナミクスとカオスの2つの力です。 これが本当にどこにつながるのか、見当もつかない。それは、我々がこの惑星を壁に向かって時速5万キロで走らせることで、人類全体が銀河系を手を取り合って植民地化することになるのかもしれません。　テレンスが言ったように：私たちは何も心配する理由がありません、なぜなら、それは私たちがここで起こっていることを正確に理解していることを前提としているので、私たちは本当にしていません - だからそれは心配したり、悲観論やうつ病に陥ることさえ不必要な活動です

私がやったのは... 300ページ前、私たちの多くが疑問に思っていること。
テレンス・マッケンナはそれを自分の言葉で「超越的物体」と呼んでいます。
ルパート・シェルドレイクはそれをモルフォ遺伝学的分野と呼んでいます。
エルヴィン・シュレーディンガーは、それをボディ＆マインドの特異点と呼んでいました。
ドナルド・ホフマンは「コンシャスエージェント」と呼んでいます。
カール・ユングはそれを集団的無意識と呼んでいました。
ラルフ・エイブラハム、グレートムーバー-ダイナミック・アトラクター
ラルフ・オットー、聖なる...

... 我々の運命と人類の運命を事前に計画した神がいるかもしれないという深刻な兆候があります、目標を持って、方向性を持って、東洋の宗教はハルマゲドン、黙示録について話しています...おそ

らくこれは大祭司によって誤解されています。

そうなると、哲学全体が不条理になってしまいます。 なぜなら、それは意味する - 決定論 - そしてそれは意味する：あなたは他の何かを考えるために選択の余地がないので、あなたはあなたが考えるものを考える。そして、それは宇宙の発展にも適用されなければなりません。　 では、真実の概念はどうなるのでしょうか...誤りを許されないのであれば、真実は存在することができるのでしょうか？

もし私たちが本当にパンプシズムが存在すること、目新しさが存在すること、つまり宇宙的発展があることを証明するならば、そこには自由と真実が存在しなければなりません　そうなると、毛のない猿である私たちも宇宙的な大局の一部であり、この宇宙的な意識が宇宙のトイレにヒントを与えてくれているとしたら、私は驚きます。　 これでは、猿のホモ・サピエンスは、お金を印刷したり、他の搾取をしたり、彼のエゴイチを幻想の星に輝かせたりすることができるので、私には意味がありません。そんなことは信じられない 全人類がトイレに行くのか？ 儲けの曲芸師、いいですよ、動物園に行かないといけないけど、彼らは本当の問題ではないんですよ。私自身がこの本から学んだことがあるとすれば、私たちは生まれた時から善を求め、平和と調和を大切にしているということです。
ジドゥは、内なる革命を完成させなければならないと正しく書いていますが、これは宇宙的な知識のプロセスなのかもしれません。ライナー・マウスフェルドは、それを社会に革命を起こした変化の必要なエネルギーと呼んでいます。このエネルギーは、内なる革命にも絶対に必要なものなのです!

2100年までのディストピア

何もかもが今まで通りで、世界社会は官僚、銀行家、多国籍企業、科学機関がミッキーマウス選挙までの4年間の計画目標を設定するテクノクラシーへと発展していく。　私たちは人類の歴史から何も学びません。なぜなら、私たちは皆、自由ではない意志を持っているからです。国際法を破り、お金のために権力を買う権力利己的な意志を持っているからです。

デジタルマネーが唯一の世界的な決済・基軸通貨となり、1%のパワーエリートがインターネット2.0とネットワーク化されたAIを介して社会生活のあらゆる分野を支配し、子羊の大多数がこれを良いことだと認識して支持するようになるだろう。

来るであろうすべての問題や危機は、国家の解決策が代替案なしに国民に伝えられるのと同時に、メディアに伝えられ、すべての抵抗は共同体から排除され、今では公式な世界政府によって抑留されます。

エジプト帝国の歴史は何度も何度も繰り返される......!

それは私たちの世界社会を破壊する自然の大災害ではないでしょう、それはその後のようなものになるでしょう、権力の中心と、上記のすべての私たちの一人一人を見て、ジドゥが言うように：私たちはすべてが来ることに加担しています。

クオンタットー

すべての人々に無条件にベーシックインカムを与える必要性を作成する、権力の中心から、世界的な危機があるでしょう;すべての個人所得、彼らの小さな会社を持つすべての自営業者が倒産したので。これが監視資本主義の始まりでした。多国籍企業のアルゴリズムは、私たちが自分たちのことを知っているよりも、私たちのことをよく知っていました。　人間はデータの原料となり、このデータは私たちのものではなく、フェイスブックとグーグルのものとなりました。地球の油が私たちのものではないように、それによって利益が得られ、それ以上に、彼らは私たちがいつ、何にストレスを感じていたか、私たちが社会問題についてソーシャルネットワーク上で何をしていたか、私たちが金持ちか貧乏人か、恋をしているか病気か、そして私たちがどの政党を選ぶか（ケンブリッジ・アナリティカ）を知っていました。

ハーバード大学の教授は著書『監視資本主義の時代』の中で、デジタルヘロイン、すべてのプライベートデータを自発的にフェイスブック、グーグル＆カンパニーにリアルタイムで送ることが習慣になったと書いています。

あなたが知らなかったことを企業が知っているように！お金の力の中心は、私たちの2つのアルゴリズム、自由な思考、自由な意志を絶対的に支配していたのです-どうやら...ショシャナ・ズボフはドキュメンタリーの中で、監視資本主義はわずか20年前のものですが、私たちの民主主義は数百年前のものです-彼女は後者が勝つと信じています　悪もこれを理解していて、善にはもっと圧力をかける必要があるので、以下のように追加されました......。

世界的な危機の必要性から、人々は量子チップの埋め込みを求め、政治的に制定され、政府によって決定されました。人々が知らなかったのは、インターネット2.0を介して72時間ごとに起動しなければならないということでした。　政府が税収を得られなくなったため、これらの税収も存在しなくなり、自動車は自律走行する輸送カプセルとしてしか存在せず、誰も行きたい場所を独立して決めることができず、量子チップでパッチを当てられずに旅行することもできず、誰もがベーシッ

クインカムに依存するようになっていました。

いや、全員ではなく、集団抵抗があった、ダークネットで団結した人たちとの戦争があった、世界の多くの地域のホットスポットで生活していた　GGGパワーセンターの深い教化は、何千年もかけて私たちの中に深く根付いているので、バイオ化学的なアルゴリズムと調和しているのです。

過去400年間の啓蒙主義のすべての成功は、本当の、永続的な、社会的変化をもたらしていない、これは何度も何度も達成されなければならない（！） - 私たちは2020年にこれを見ることができます。

このディストピアが現実になりうる理由。

1 本書に記載されていることについて、国民の大多数が目を覚ましていない。 これは、2つのアルゴリズムの勝利を意味し、自由意志よりも自由意志の方が勝っていて、お互いに、そして自分自身に対して無条件の愛を持っていることを意味しています

2 世界の人口の大多数が新自由主義的な資本主義システムを、監視政府につながる社会主義的な規制された世界国家に追い込んでいる。

3 世界的なエコサイドは転換点を過ぎ、新自由主義的な資本主義的な金融システムは、社会のあらゆる側面を監視しながら維持することしかできません。そうでなければ世界的な不安が勃発し、無意識の無政府状態に陥り、誰も望んでいない危機に陥り、世界政府の利益のために基本的な権利を制限するために、彼ら（国民）はあらゆることをしました。

4 人々が放ったらかしにされ、仮想世界で遊ぶことを許され、収入や生計を維持している限り、公正な世界秩序を実現するために必要な社会的変化は望めなかった。

アナキストの目的、力の欠如、外国の支配の崩壊; 自己決定のための自由への意志-その嵐と激怒を失った!

今やマンカインドはバーチャルなキーマトリックスの中で生きていますが、それは偶然にも、ダイナミックスとカオス、次の革命が始まるはずです。

2100年までのユートピア

歴史は過去から形成されているのではなく、未来の何かに引き寄せられているというテレンス・マッケンナの言うことが正しいと仮定すれば、それは彼がグレート・アトラクターと呼んでいるもの、つまり宇宙的な計画が成就しつつあるということになります。
大多数の人にとってのユートピアは、この地球と一日も早く、みんなで共存できることでしょう。それはもちろん、世界の時代の流れが根本的に変わることを意味している。EGO-ICHからSOCI-ICH、WE-ICHへ。　これは、企業に反映され、（持続可能性）、宗教（実際には常にそれを嘆願していた）と、奴隷制、外国の支配と債務の束縛のない、奉仕するが支配的な世界国家ではないだろう。
これは、完全に不可能で実現可能な希望的観測である必要はありません。絶対に達成可能で実現可能なユートピア。世界の資源は有限であり、有権者の愚かさは有限であるため、私は、文化の進化がとにかくこの方向に私たちを押していると信じています - 両方とも無制限ではなく、永遠にお金のパワーエリートとその共犯者である政治家や司祭の処分である。
ボブ・マーリーの歌：しばらくの間は一部の人を騙すことはできますが、永遠にすべての人を騙すことはできません。
本当のユートピアは、人類が宇宙と惑星の意識に接続し、予見可能な未来のために惑星を離れ、銀河間空間を植民地化し、決定的な進化の要因となること、この宇宙が無傷で生き延びること、差し迫ったと思われるビッグバウンド、ひいてはそのミームスピリッツも生き延びることです。

そしてこれは2100年以前のことでもある......それを笑って疑うのは当然だが、それはただのユートピア、私のユートピアなのだ。そして、ミステリーのように、ユートピアは「今ここ」では実現できません。
このユートピアを実現するための前提条件は何でしょうか？　天の川銀河を植民地化するための前提条件は、我々は光よりも速く移動したり、時空を通過するワームトンネルを発見しなければならないことを意味するので、どのような場合でも、それは、技術的な量子科学でなければならないでしょう - ここと今では想像できないが、我々はここで読むことができるように考えられないことではありません - ここで読むことができます。
まず第一に、量子コンピュータとAI（人工知能）が成熟していなければならない、これは世界の多くの感情的な問題を解決しますが、そうではありません。　コンピュータ科学者のジョシャ・バッハは、しかし、AIが脳と相互作用し、その思考と決断を知り、どのような行動をするかを事前に脳に伝えることは実現可能だと考えているが、AIの計算の後、次の決断は悪い結果になるだろう - そして、代替の決断をしたり、これらの決断をするために脳に強制したりする - これは、特に資本の口実のために、文化的な進化の劇的なステップになるだろう!　これは、私たちやAI、脳内のシミュレーションが、監督が映画を作るのと同じように設計されていることを意味します......!

情報、エネルギーの埋蔵量は、宇宙の「初めは水素だった」と同じにならざるを得ないでしょう。

1　マネーサプライの1%だけが実体経済に役立っている、つまり99%は投機的なマネーなのだ!　おそらく最も重要なステップは、お金の廃止であり、ここでは現金やデジタルマネーのことを言っているのではありません。
2 土地の所有権は私人にとっては違法であるべきであり、生産物の使用と利益は、この土地の労働者に比例して帰属し、土地が使用されない場合は、それは地域社会、すなわち部族政府に戻る。
3 世界の政府？ はい - 可能であればAIとの間で、すべての地域間の問題を調整する。 悟りの時代以来、我々は常に政治的指導者を選出し、彼は専門家のチームを選ぶので、このステップはAIに取って代わることができます。　国際社会はもはやイデオロギー的な政治体制の間ではなく、もっぱら地域として切り離されている。ならば、侵略戦争を望む人は、AIに力を奪われて、世界政府に交換、処罰、抑留されて治療を受けるべきだ。世界中の戦争好きなEGO-ICHが治療院の合宿に行くんだがｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗ
4　賃金奴隷制が廃止されるのは、自分たちが望んでいないかもしれない仕事を人に押し付けるから!　人類は、個人が奴隷のように働くよりも、生活の中でより重要なことを持っている、それはロボットやAIのデジタルネットワークによって引き継がれるだろう、これのための技術はすでに存在しています!　人々は、地域社会のすべての人々の創造性と積極的な支援を必要とする地球、再び自分自身とその家族を癒すことができました。
5 社会的不平等は自然の力ではなく、人為的な(EGO-ICH)世界秩序、それは変えられる。 社会経済学者は、石器時代以来、共同体の暴力的な革命だけが、権力エリートの血だけが、社会変革のための妥協をもたらしたことを証明することができる（ライナー・マウスフェルド）。
ここに記載されているものは何も人類にとっては達成不可能なままであり、すべてはすでに研究開発の中にある。
革命よりも改革の方が理にかなっているという洞察力も知られていますが、自由な意志を欠いています。　バイオサイドを止めて資源を温存しなければならないと言うのも、子供のためだけに最善を求める親と、ただ消費しなければならないEGO-ICHのせいで失敗している。
私たちは、私も落ちこぼれですが、議論の中で、国会で、あなたとの合意を求め、グループではなく、グループ/ヒルド強制、政治的な派閥強制に従うことを予約して通信して交換することは、個々の政治家や親のホルモンのために、最終的に失敗しています。

で、ユートピアで何があったの？
戦争をしないことも解決策ではないということで、世界社会はただ一つのことに合意した。
2025年には北半球を中心に1万5000発の核爆弾が爆発したが、それはどこから始まったのか。　もちろんメソポタミア、中国、アメリカ、ヨーロッパでは、超富裕層のクラスと同じように、すべてのアブラハミック宗教がそれに向かって働いていたからです
その第三次世界大戦で最初に発砲されたのが、2020年のコロナパンデミックだった。
人類の人口は800万人以下にまで減少し、南半球に広がっていました。北は核で汚染されていて、その後100年間は人が住めない状態でした。
世界の知識は紙に記録されているだけで、インターネットはもう存在しない。　人類の技術的成果のほとんどは役に立たない、それらのすべてが不足している、人々は21世紀の教育レベルで近代石器時代に戻る、古い家族や集団の構造は自分たちで戻ってきた-これはエピジェネティックな遺産に固定されています。
最後の大戦争に至るまでの体験が、地球上のミームスピリッツを変えた。　2020年に必要な変更点は何でも不要で、協力的な自然界の生き方はすぐに実行に移された。　また、資本主義、消費は終わっていた、代替手段はありませんでしたが、博士Joschaバッハを書いています。
文化の進化にとって、これは恐竜の絶滅に匹敵するような冷ややかなスタートではありませんでした。　確かに世界は廃墟と化していたが、人々の間にはミームの精霊はいなかった。　自由意志とWE-Iは、EGO-ICH恐竜が死んでいたので、正常に勝った。　ロバート・サポルスキーの例の攻撃的なヒヒのように、あるいは恐竜絶滅後の哺乳類の成功のように。

善が勝ったのか、それともテレンスが示唆するように大いなる魅力に引き寄せられたのか。
この近代以降の石器時代では、文化の進化が急速に進み、2100年までに人類は宇宙船を建造して星間空間を探索することができるようになりました。
このユートピアが実現しうる理由。
- 大多数の人々は、核世界大戦後に目覚め、GGG大国の中心部を、惑星的存在として互いに一体化し、超有機体であるガイアを、世界政府を持つ真の社会主義システムへと変容させただけで、これらの変化は、相互の合意によって起こったのです。　これは、自由な私の勝利、愛の勝利、進化した宇宙の幸福な状態を意味します。

- 魔法のきのこは、それを評価する人が増えていることを発見しました。 核戦争後のこの平和、この真の平和は、魔法のキノコのおかげだと思っています。 約13.000年前の支配文化の前には、おそらく存在していたであろう共生に戻ってきました。 だから同じように旧約聖書の創世記には、エバとアダムが知識の木の実を食べたときに、そこに力のエリートである神が人間が自由意志を発達させることを望んでいなかったので、と書かれています。

ファイナル。

私は、DYSTOPIAが真実になると予測しています、国民の必要な大多数は、平和的な変化の可能性の窓がすでに閉ざされたときに、また、ピッチフォークと王様の頭に手を伸ばすだけです - 私たちは、必ず激変を経験するでしょう：超火山、隕石の影響、地球温暖化、核戦争が頭に浮かび、私たちはそれについて何もすることができないでしょう。
私は荒野にオフにして、あなたを含むすべてのものを聞かせて、私の子供たちが戻って、私はあなたが強くなり、それが到着したときに幸福の大きな部分を持っているだろうと願い、それは完全に安全になります... あなたの子供たちがこれを確実に経験するために、私は、あなたに、文明のない場所に住むことを助言します。なぜなら、それが不足すると、誰もが再び予知能力者になり、地球が温暖化するにつれて、平衡器は良い生息地ではないからです。

最後はずっと一人で最大の戦いをすることになるのですが...。

個人の覚醒

小学生100人に人生の目標を聞いてみると、全員が「いい人生を送りたい」と答えています。
40年後の平均は以下のようになっています。
❖100人のうち90人は依存生活を送り、愛と繁栄への願いや希望は叶わない。
❖100人のうち2人は、正直に、さらに不誠実な方法で、愛に出会うことなく、裕福になったことでしょう。
❖100人のうち8人は、経済的な自由を持たずに、完全で、愛に満ちた、健康で、目覚めた人生を送ってきたことになります。

つまり、92人は本当に生きたことがなく、実際に富のない人生を送ったのは8人だけということになります　なぜなら、計画的で充実した人生のための法則はまだ見つかっていないからです。　私たちは皆、確かに影響力を持っている値を知っている、誰もが価格を支払う必要がありますが、ダイナミズムとカオスの力は決定的であり、彼らはリスクの面で確実に評価することはできません

で、朝起きるのは非常識ではないでしょうか？
猿の着ぐるみに脳みそがついて
マトリックス？

私たちに仕事を期待するのは不条理でナイーブです
指導者の助け、直接民主主義
は戦うことができる-そのような運動は
常に下から生えてくる それは不条理で世間知らず
好きな教祖の力を借りて考えてみると
悟りを見つけることができます。
それは我々が超越と呼ぶものです

覚醒は常に自分自身の個人的な、直接の経験に関連しています。直接の経験は、それぞれの個人が必要とするものです。悟りは、教祖やニューヨークタイムズやミラーから来るものではありませんし、これらの本から来るものでもありません。

精神分析家のカール・ユングは非常に重要なことを理解していました。　我々の中にある悪を受け入れなければならない、我々一人一人の中にヒトラーがいる。　私達がこれを意識するようになったら、私達は別の目で世界の邪悪な人々を見るだろう;　これらの人々は心のこの質を意識していなかった、彼らはちょうど常に根絶されなければならなかった問題として他を見た - 彼らはちょうど彼ら自身の邪悪な、病理学的に妄想EGO-ICHを理解し、根絶しなければなりませんでした。
私たちは知識人や多能工から学びましたが、大衆の広範な覚醒は決してありませんでした。
GGGパワーセンターの深い教化は、何千年もかけて私たちの中に深く根付いているので、バイオ化学的なアルゴリズムと調和しているのです。
過去400年間の啓蒙活動のすべての成功は、社会に真の変化をもたらしていませんでした-2020年には、このことがわかります。

現実は不条理で世間知らず
私たちがしがみついていることは幻想であってはなりません
錯覚は決してリスクを評価できないということ。

アマゾンで葉っぱが地面に落ちても、アリやバクテリアが見つけては数時間で生活サイクルに戻してしまうことが多いです。このような経済の形態は、動的平衡、つまり生命の流れである。すべてのものが戻り、何も永遠の永続性を持っていない、宇宙でも、EGO-ICHがとても愛している私たち

の所有物や思考でも、永遠の永続性のためのこの必要性。
しかし、これは幻想ではありませんか？マトリックス、輪廻転生は、多くの覚醒した個人が私たちに教えてくれます。
おそらく、あなた方、子供たちは、ここに書かれているすべてのことの完全な意味を理解していないでしょうが、ただ休息に来て、何度も何度も考えれば理解できるでしょう。私も昔、少し前までは普通のEGO-ICHが檻に閉じ込められていたことがありました。しかし、時間、精神的な成熟、忍耐で、私は理解し、大規模に私の投獄（制限）を克服してきました; マインドフルネスを通じて、私は以前よりもはるかに良い私のEGO-Iを制御します。
それはあなたが盲目的に迷走をリードし、何も解決しない、任意のシステムに従っていないことが重要である - 常にオープンなままで、手放す...文化は友達ではありません！それはあなたが盲目的に任意のシステムに従っていないことが重要です。

マインドフルネスは、Jidduが書いているように、気配りのある
観察すること、完全に解放された意識
なく観察することです。
どんな解釈も歪みも
あなたが愛しているときに自分自身を観察し、そこにある
その背景にある動機は、単に
紐付きの愛。

EGO-ICHは破壊されなければならない、こんなことは絶対に起こらない、と考えるのは間違っている
本当の問題は、EGOが存在することではなく、それが健全な機能の代わりに私たちの識別になっていること、フランツ・ルパートは書いています。
この身分証明書を公開して、親が手伝ってくれなかった場合は、自分の身分証明書を探しましょう。
あなたの真のI-アイデンティティとEGOがついに混乱したマスターではなくサーヴァントになることを!

これが超越の始まりです。
知覚と意識的な選択によって
責めることなく、罰することなくデータを得ることができるといいのですが
ということに気がついたのでしょう。

カルロス・カスタネダの本からの抜粋：ドン・ファンの教え-知識
"人が学びたいと思っているなら、彼はそれが何を意味するかを理解していない、学ぶことは決して1つの計画を学ぶことではない...知識の道で成功するなら、どのように私はドン・ファンを知っているのだろうか？迎えに来る4つの敵をマスターできるかどうかにかかっています。ドンファンって誰？第一の敵は恐怖です。恐怖はあなたの檻の中にあなたを保持し、あなたが恐れているので、あなたは真実から逃げているので、あなたは知識から逃げている...そして、彼の鎖を緩めることができる1つのために、彼は逃げるのを止めなければならない、彼は真実につながる知識に直面しなければなりません。そのために彼が必要とするのは鋭い明快さであり、それが第二の敵である。
明晰さは永遠に恐怖を追い払うでしょう、それはあなたに恐怖はあなたの幻想に過ぎないという理解を与えるので、それは戻ってくることはありません - あなたは恐怖を打ち負かすために明晰さが必要です。なぜ透明性を別の敵と見るのか、ドン・ファン？なぜなら、明晰さはあなたに理解の知識を与え、あなたはすべてを理解し、それはあなたを盲目にする全能であり、あなたはあなたがすべてを知っていることを知っているので、あなたの周りで起こっていることに盲目になります。
つまり、彼は学ばないということです。彼は3番目の敵、全知全能に会ったばかりだからだ。彼はすべてを見抜いて、すべてを理解し、すべてを知っていると考えている。
彼に力の錯覚、絶対的な力を与えます。そして、それに気づかないうちに、彼は負けてしまい、残酷で傲慢で挑発的な精神になってしまい、それに気づかないうちに死んでしまうのです。
このドンファンのせいで彼は力を失ってしまうのでしょうか？
いや、彼は精悍さと明晰さを保つだろう。しかし、なぜ彼はドン・ファンを失ったのか？なぜなら、力は誰もが持つことができないからです。どんなに力があっても、それは重荷であり、あなた

を窒息させるものであり、そのような男には、愛をもって自分の力を賢明に使う自由意志がありません　しかし、その後、彼はこの第三の敵ドン・ファンをどうやって倒すことができるのでしょうか？彼は、自分が持っている力、実際には幻想が自分だけでなく他の人にも放射する力であることを理解しなければならない。それは、この時点で謙虚さと謙虚さ、アンフリーウィル、彼のアンフリー思考を認識しているマインドフルネスを必要とします。そして、彼は3番目の敵を倒した、彼の人生の旅の中で、ほとんど前触れもなく、最後の敵が来て、容赦なく、情け容赦なく、彼を打ちのめし、それは彼ら全員を打ちのめす。

4番目にして最後の敵は、最も残酷なもの、つまり老害です。彼が最後の戦いの息吹の中で完全に倒すことのできない敵だが、明晰さと全能感と知識は彼に驚くべき死をもたらし、彼は愛と後悔のない死を感じることになるだろう。

人生のすべてのパスはどこにもない真実につながる、1つの違いは、残っている：私のパスは心を持っていましたか？それは愛だったのか......？
もう一つはEGO-ICHのそれである、彼は常に焼けた土地と魂を残して - それは死ぬことの芸術である、我々はこの芸術をマスターするために私たちの人生を費やすべきである、人生の中で良いと正しいことを行ってきた、未達成の願いや計画についての後悔はない、私の人生は貴重で良いものだったことを知っている、感謝して、その後、他の人の赦しはもう問題ではありません。
私たちのために、社会のために、別のアプローチを期待しているのであれば、あなたはすでに敗北しています。　そして、人々は権力を扱うことができません、それは（ほとんど）常に腐敗しています。モットーは、誰かを信じないこと、誰かを崇拝しないこと、この方法でのみ、あなたは完全な自由を達成することができます。

どんな本も最後まで生きていない本であっても終わりを見つけなければならない。しかし、終わりのないコロナの大流行と、ドイツのために血を捧げた祖先の祖国からの亡命の間に、今よりも良い終わりを見つけることができるだろうか。
ここで私は、ハンス・ヨアヒム・マーズ（ノームオパシー社会）が言うところの、有罪判決を受けたサイコパスとして、自己追放された者として立っています。

社会の中での覚醒

宇宙社会の中の現代精神

We think we need teachers, gurus, leaders, who will help us to keep awake. Probably that is why most of you are here: you want another to help you to keep awake. When somebody can help you to keep awake, you rely on that person, and then he becomes your teacher, your guide, your leader. He may be awake, I do not know; but if you depend on him, you are asleep. (Laughter).

J. Krishnamurti
The Answer Is in the Problem

この本では、道教や道教を代表する哲学者や科学者を描いています。

人生の哲学の中には、私に真の洞察力を明らかにしてくれたものがいくつかあります。

- 思想的アルゴリズムに基づいて、私たちや社会ではなく、生活の中で何かを強制的にコントロールしようとするのは無意味だということ。

- 私たちは物理的にも心理的にも宇宙の一部であり、宇宙意識の一部であり、このことを理解することは宇宙の調和につながります。

- ここと今に住んでいると、ダイナミクスとカオスの宇宙の力がどのように私たちの生活を形作るかを示しています。しかし、これには2つのアルゴリズムから自由になるための自由意志が必要です。

- EGO-ICHから自由意志への覚醒は、（禅）仏教と道教で報告されている悟りである - 任意のイデオロギーの教義から自由になるために。

- 日本のアイラ・プロットキン、インドのイードゥ・クリシュナムルティ、ロシアのピーター・クロポトキン、アメリカのテレンス・マッケンナ、中国の老子の道教的無政府主義である。　これが、権威主義の中国だけでなく、道教が禁止された理由です。

- 支配することは支配することであり、これは宇宙の調和を破壊する。非強化は、道教の非行動においては、権力エリートの記憶システムに対する暴力的な革命よりも、変革の可能性を秘めています。

- 善悪はありません。すべてはFORM＆EMPTYの宇宙意識に属しています。

これらの思考パターンは、客観的な現実や真実そのものを探ろうとしているのではないでしょうか。

それが言うのは、動物園の所有者である権力エリートにはこうです：あなたは野生では生きられないと信じて動物を飼っています。しかし、この自由な生活空間は、時間の初めからすべての動物にあなたが提供するものよりも優れたものを提供しています

権力自体は善にも悪にも使われることがあり、実際には善を行っていると確信しているため、悪人によって使われており、その後、権力の規範があります：個人的な権力のエゴセントリックな豊かさ：これらの人々は精神的に病気であり、それらを形成してきた幼少期のトラウマを経験しています。 こいつらはお前が言ってる以上に認めたくないだろう。

いいえ、私には自由意志があります。

いいえ、私はシミュレーションの中で生きているわけではありません。

だから、社会世界のあらゆる問題の解決は、善意で心理療法士の力を借りれば解決できたのです。彼らを皆殺しにしても、動物園に閉じ込めても、人間の本性は何も変わらないだろうし、いつか病的なナルシシズムの中で生きていく子供たちのことも変わらないだろう。

状況は、私たちが3,000年以上もの間、帝国の権力構造の下で生きてきたということであり、それが今、私が懸念していることです......解決策がない場合でも、戦争のない世界はどうやってできるのでしょうか？

世界平和を実現するためにはどうすればいいのか？　ジドゥたちがずっと説明しようとしてきたことが実現した場合に限ります。

➢あなたが変えたい世界はあなたです。
➢変われるのは我々自身だけだ
➢自分自身を悟りを開いた存在にして、すべてを学び、すべてを完全に手放す。
➢この変化はアルゴリズムの根本的な革命を必要とし、私たちの魂はそれを望んでいるに違いありません。
➢YouTubeでは、私たちが私たちを形成するために必要なすべてのミームを見つけて、どんな結果にも従ってはいけません。
➢道教を勉強すれば、あなたはミームのイデオロギー的連鎖から解放され、あなたの生物化学的アルゴリズムを注意深く観察するようになるでしょう。
➢本当の国境はどこにもありません。
➢あなたの成功はいつでもあなたを蝕みます!
➢ルールのない自由は最強の専制政治です。

覚醒は常に自分自身の個人的な、直接の経験に関連しています-直接の経験は、それぞれの個人が必要とするものです。　道徳や倫理について書かれた本を読んで、それゆえに道徳や倫理観に従えば、健康本が病気を治してくれると信じているのと同じくらい間違っている！」というのは、「健康本が病気を治してくれると信じているのと同じくらい間違っている！」ということなのです。

人間の心の本質は、自分自身を楽しませせることにしかありません。時間と勤勉さと努力を必要とする自分の限界まで追い込むことを目的に、本や新聞を消費するならば、私たちの社会はすでに救われている。パワーエリートは私たちが編み物だと知っています。　これがモットーの消費者の愚かさです。
"...私たちが彼らのためにすべてを世話します、あなたの人生を生きてください..."
しかし、今日のすべてのものが娯楽のためのものであるならば、パンとゲーム（panem et ludos）- そして特に政治のために、人々は愚かになり続けるでしょう。これが最後の権力の中心である資本システムの意図であると確信しています。
しかし、大戦争の始まりを研究すると、歴史は繰り返すのですね。啓蒙の時代よりも戦争が終わっていないと思います。一時的な勝ち組しかいない。　未だに貧困との帝国戦争であり、この戦争を起こした階級は、捕食猿の歯と爪で権力を守っているのだ!

私の愛する子供たち、私はあなたに書いています：あなたは非常に長い間耐えてきました、あなたの忍耐と好奇心は立派です！私はあなたに書いています。　この本では、ミームネタをたくさん読んできたあなたが、多くの理論や洞察、仮説が説明されており、いくつかの仮説は自分で考えて答えを見つける価値がありますが、この理解を日常生活に応用できるかどうかで、あなたの覚醒度が決まるでしょう。　あなたは、私と同じように、条件付きの心、ヨーロッパとドイツの共通の生活様式、国家教育に耐えなければなりませんでしたが、これらすべてが、私たちが自由意志を育むための完全な自由を妨げていました。

問題なのは無学な人たちではなく
である。 問題は、それだけで十分な
聞かされたことを鵜呑みにするように訓練されている
と、十分な訓練を受けていない
教えられたことに疑問を持つように

あなたが言うとき：私はそれについて考えます、私は私の2つのアルゴリズムから自由になろうとします...そして、あなたは実際にあなたが何も理解していないことを示しています
頑張らない、頑張らない、頑張る、頑張る！ということはありません。
あなたがそれを行うか、またはそれを行わないかのどちらか、あなたの家が火事になっている場合は、考える時間はありません、解釈する時間はありません、家が火事になっている場合は、あなたのどちらが火を消すかを議論する時間はありません、誰が誰に通知し、助けを得るだろう - ここと今のインテリジェントな行動があるだけです。危険自体があなたに行動を強制するので、そこには何も考えず、議論もせず、躊躇もしない...そしてそれが自由であることです。
本当に完全な自由を求めているのか？
この心の状態を疑うこと、すべてを疑うこと、あなた自身の私でさえも - 決して服従しないこと、それはあなたが本当に望んでいることです、なぜなら権力の中心とその子分はあなたの生活を困難にしたいと思うだろうから、あなたがこの種の自由を選択した場合、あなたは迫害の価格を支払わなければならないでしょう。権力の中心は、服従、従順、依存、適合を求め、奴隷を求めているのです。
トラブルメーカー、アウルハット、反逆者の烙印を押されることになります。
そのような自由は、少なくとも私のために、また、あなたが完全に一人になることを意味することを覚えておいてください - しかし、確かに1ではない....

神経生物学者のロバート・サポルスキーは、霊長類は良い社会を維持するために学習するが、集団の良い個体を相手にすることによってのみ、良い社会を維持することを学ぶという証拠を与えてくれた。彼がケニアのヒヒのグループを訪れたとき、彼の研究（科学と社会インタビュー）について話してくれましたが、その少し前に、攻撃的なオスはすべて結核で死亡し、友好的なオスだけが生き残ったそうです。しかし、彼らがいなくなったとき、善良な者、協力的な者、友好的な者は、グループの精神にしっかりと固定されていました-そして、これは私に言う自信を与えてくれます：
もしEGO-ICHのパワーエリートが力を奪われ、善良な者だけが残ったならば、人間社会には、私たちが今のところ実現することが許されていないすべてのことを実現する良いチャンスがあります-
なぜなら、自分自身と自分の力を保証する者のためだけに気を配っているこれらの攻撃的なアル

ファ動物のために....

この時点で注意することが重要なのは、良いヒヒは、他の人への自由意志と自由な思考や共感のうち、時代の精神を変更しなかったということです!　致命的な感染症のために登場人物の力の構造が変化し、確かに善良な者は以前からグループ内に存在していたが、肉体的、精神的なパワーセンターに対して自己主張することができなかった!
ここでは、ダイナミクスとカオスの力が重要かつ決定的な役割を果たした。
しかし、コロナのパンデミックでは、パワーセンターもまた、選択のために、トリガーの役割を果たしたかもしれません...これは、私はパワーエリートがそれを行うために信頼するので、推測に過ぎません。人々の健康は決して国家の心に近いものではありませんでした、病院は何十年もの間、利益に基づいて運営されてきました、それは本当にどのようにあるべきかではありません、病院は製薬業界による研究と同様に、国家によって資金調達されなければなりません!
しかし、おそらく結核のようなコロナウイルスは、これらの攻撃的なアルファ動物を殺すことしかできず、善良で協力的なヒト類人猿は、彼らの豊かな贅沢な生活に参加させないことでしか生き残れなかったのではないでしょうか。
確かに、もしチャンスがあれば、感染した肉を食べていたかもしれませんが、攻撃的ではなかったので、食べていませんでした。

ルパート・シェルドレイク、テレンス・マッケンナ、ナッシム・ハラミンなどの形態素分野を思い出すと、他の学者は何と言うのだろうか-ある人が発明したミームは、それが他の人にも発見されることにつながる。これもまた、今日の人類のグローバルな覚醒から始まっているのかもしれません。これは、人類が政治家を含めて世界的に現在の政府の形態を廃止する可能性があるということに非常につながる可能性があります。　ソーシャルネットワークでは、いわゆる覚醒した人が増えています。　　従うことを恐れて操られ続けるということは、現在のコロナウイルスに関する教育や、疑惑のある保護対策などで減ってきているのではないでしょうか。気になって仕方がない......!

希少性の錯覚

希少性と競争(競争)の発想、物足りなさの存在感!
水銀から金を作るために古代の錬金術師の夢は、我々はすでに行うことができ、科学者はそれを寒冷融合と呼んでいます。 太陽は水素の核分裂のように、核廃棄物を出さずにエネルギーに金を作ることを実践しているので、理論的には実現可能なクリーンな原子力エネルギーです。 原発はまだできない、何千年も有毒なまの核廃棄物を出す。 もしこれができれば、原子の周期レベルでの希少性の概念が崩れ、あらゆる元素を変換することができるようになります。 経済財やサービスのレベルでは、我々はすでにこのステップに成功しています。

ウィーン経済経営大学のフランツ・ホルマン教授は、長年にわたり貨幣の創造と経済を扱ってきました。 私たちは、今日の人々が行っているあらゆる仕事が機械によって行われることを知っています。 もう労働者は必要ありません
YouTubeでは、これについての2時間の映画がありますと呼ばれる無料で動作します。
今日、私たちは、すべての人のための豊かさ、持続可能で、生態学的で、自然に手の届く豊かさを生み出す技術的な可能性を持っています。
一生賃金奴隷にならなくてもいいように、すべての人に教育が許されているのですから、これは素晴らしい発展です。
生産者は消費者から発展する可能性がある。 この業界は、消費者と直接つながり、本当に必要としている製品を生産することができます。
希少性という考えからしか存在しない生物多様性のために命をかけているのですから、これは素晴らしいことです。
敢えて言うならば、自分たちの通貨システムが戦争なしでは容易な未来はないことをよく理解している一部の権力エリートたちが助けてくれるだろう。

私たちは今、十分に深刻な問題を議論してきましたが、この議論は表面的なものではありませんでした。
このように生きていかなければなりません。私たち自身の思考のマインドフルネスは、我々はそれから自分自身を引き出すために、それをエスケープするために、表面的なままではないことを - あなたは理解していますか？
あなたの時間を無駄にしたくないし、私の時間も無駄にしたくない、これは重要なことだ、もしあなたがこれを理解していないなら、私が本に入れた仕事はあなたにとって役に立たない...

...赤い糸...

結論と貸借対照表。
で世界社会の覚醒について何が言えるでしょうか。
セキュリティを書くのか？

❖科学には全体像の真の説明がないのと同じように、何かがどこから来たのか、起源があったのかどうかの証明がないのです。 何も......
❖テレンスと同じように、ビッグホールである何かを理解しようとすると、自分の心が限られていることに気づくのですね。私たちは言語で考えるので、言語でしか理解・把握できないという問題を抱えています。しかし、BIG WHOLEは言葉にならない! サイケデリックな旅では、絶対的な沈黙の中で、臨死体験のように、そこに言語が停止し、私たちは、 "彼ら "と通信するので、1つは、これを絶対的に認識するようになります。
❖今日では、希少性は幻想であり、金融業界の最後の権力中枢にしか機能していない。
❖メディアの風景はAIニュースで一新されつつあり、編集部やジャーナリストは、資本の独裁者のプロパガンダに仕えていることを誰もが知っているので、すぐに失業者のままになります。
❖動物園でパワーエリートを閉じ込めることは失敗に等しいでしょう、EGO-ICHの人間は悪の根源ではありません - それはすべてのパワーセンターが発展した宇宙のパワーセンターです！動物園でパワーエリートを閉じ込めることは失敗に等しいでしょう。
❖私たちを覚醒へと導いてくれる人に期待することはできないし、本もグルも政府もありません。 それは自由意志に従うことはすべて私たちの手の中にあり、私たちが成功するかどうかは私たちに責任があります。
❖そして、ダイナミクスとカオスの力が、少なくとも私たち人間にとっては、宇宙のパワーセンターを変えてくれることを期待するしかないのです
❖形態変化のフィールド、ミームの霊は、民主主義の形態を一新する変化が起こるであろうコロナプラネミアの時に自分自身を示す可能性があります。
❖オイゲン・ドリューマンの言う通りかもしれませんが、戦争は新たな戦争の引き金になるだけで、平和は相互の愛（イエス哲学）があってこそ可能なのだと理解し始めています。 ガンザー博士が「生きたゲーテ」と称した以下の講演をお勧めしたい。
❖絶対にライナーMausfeldとダニエレガンザーを参照してください、またDrewermannのような平和の研究者は、20世紀以来、唯一のこれまで戦争を設立し、最終的にはこの帝国の没落につながる戦争でビジネスをしようとした米国帝国の手段によって私たちにこれを示しています - 帝国が最終的に下に行く理由は、おそらく常に同じ理由。マウスフェルド教授は、民主主義と呼ばれる新自由主義的な金融システムと呼んでいる。
❖繰り返しになりますが、私がお勧めするのは、おそらくディック・チェイニーとブッシュが愚かな共犯者として行ったであろう9・11テロ疑惑行為の講義です。

後書きと付録

チャプターサブディレクトリ。

ビッグホール」に関することば

この2億年以上の間、私たちはコンピュータであり、プログラムに従っています。　私たちは自分たちをグループに分け、宗教に分け、国家に分けたいと思っています。　　これがそうであり続けることは明らかであり、我々が分裂する限り、一つの問題を解決し、何百万もの新たな問題を生み出すことになる。 はっきりしているといいのですが。
私たちはお互いに、そして世界の残りの部分を殺し合っています、私たちはこの2億年の間、このようなことをしてきました、私たちは武器と言葉で殺し合っています、私たちは動物のコンピューターであり、私たちの動物のプログラムに盲目的に従っています、これは行き止まりです。
内なる声、オブザーバー＆観察された、実際には非常に論理的な観察：我々は、環境と自分自身の中から分離を停止した場合、我々は、すべての関係の紛争、世界のすべての問題と自分自身の中で解決することができます。
普遍的な統一は、武器も言葉もなく、自由な意志と自由な思考があって初めて達成できるものだということが、はっきりしていることを願っています--それが自由なのです。

真実は常に懐疑論、評論家、不信者の試練にさらされているようなものではないでしょうか？　いいえ、真実と知識は常に不完全なままで、分離と無知へと導くのです。
私はしばしばいくつかのイデオロギーの信者であり、これは私を閉じ込めてきた、それは私に大きな絵にオープンにするためのマインドフルネスを与えてくれませんでした。ここに書いたことの多くは、人間のコンピュータのプログラムにとっては全くのナンセンスであることは確かだが、宇宙と生命と自己意識という神秘の見方を示しているに過ぎない。
魔法のキノコは私たちの生まれながらの権利であり、定着したマトリックスのイデオロギーと社会の境界線を解消するための触媒なのです。
マトリックス、これらのコンピュータシミュレーションは付録のようなもので、持っていてもいいが、持っていなくてもいい。　あなたも私もみんなが被っている仮面の裏には誰がいるのか、私たちの社会でさえ被っている仮面の裏には何があるのか、疑問に思いませんか？
今書いてもそんなに幻想的には読めないかもしれません。私たちは、超組織の中で、一部であり、重要な役割を担っています。　いいえ、それはまた、これに属しているガイアではありません、はい、どのように私はそれを呼び出す必要があります...宇宙の有機体、フォーム＆エンプティの意識を持つ？
経験的に証明できるかな？もちろん、クアンタの存在や神の非存在と同じように、証明することはできません。
麻の植物はどのように世界を認識し、必要な感覚器官や大脳新皮質のない私たちの世界を想像することができるのでしょうか？　私たちの心臓は、私たちの脳は、より大きな生物の中で、一つの部分として生きていると判断できるのでしょうか？単にノーと言っただけでは、我々が知っていることからは何の意味もありません。 私の両親の負の感情は致命的な効果を持っていた - 心臓発作は彼らのために来て、それは関係の葛藤、彼らのミームの関連付けが発生していたストレスのために来た。　ですから、私たちは経験的に、生物のマトリックスシステムの部分が、常に影響力を持っていることを証明することができます、時には致命的なこともありますが、多くの場合、それらはシステムにとっても、私たちの心そのものにとっても癒しとなるのです。

生まれた時から目が見えない私が、こんなものが存在することを写真や事前の説明を受けずに、初めてゾウに触ってしまうような気がします。動物の匂いを嗅いだり聞いたり、足や幹や尻尾を感じたりするのですが、足や幹や尻尾がどんな感じなのかはおろか、見たこともない世界で、絵にすることもできません。

ジドゥ・クリシュナムルティが書いています。"シンボルと言葉は決して本物ではなく、言葉はどんなに精巧な説明をしても、全体を含むことはありません。
真実は知識と思考の中で表現することができ、その偉大な全体、本当のものは、言葉で表現することができないので、理性の世界で表現することはできません。
ジドゥは、「思想家がいるところには、現実にあるものについての真実はない...思想家と彼の思考は、この現実を合理的に把握できるように終わらせなければならない...観察者は観察されたものであり、制御するものは制御するものである、そうではないか？- ジドゥを参照してください。 だから、思想家は彼の思想であり、言葉がなくても、思想、観念があるのか、思想家は全く存在しないのか。
脳が本当はできていないことを理解したいという思考が形成されているのであれば、それに気づかなければなりません。

テレンスは、私たちの脳はただのラジオであり、音楽バンドがラジオに座って私たちに音楽を聞かせていると考えるのはおかしい、という彼の仮説に少し同意しません。大胆な理論ですが、雷の思考、インスピレーション、直感は他にどこから来るのでしょうか、旅の中で経験し、コミュニケーションをとる小さなエルフはどこから来るのでしょうか、宇宙が必要とする情報はどこから来るのでしょうか、ミームの精霊はどうなのでしょうか？

脳の発達と2つのアルゴリズムを扱ってきたのに、どうやってそうだと証明できるのだろうか。暗黒粒子についての量子物理学の章で知っているように、私たちが宇宙意識を研究しているときにも同じ問題を提起していました。

宗教はすぐに「これが神だ」という答えが出てきます。しかし、再び、それは量子物理学者と彼らの「暗いもの」のように、問題をシフトします - それは問題を解決しません!

エネルギーや宇宙や惑星ガイアが一人のオブザーバー的な役割を持っていることは、今のところ想像できません。
だから、私たちは自分自身を超有機体の役割に置くべきではないでしょうか？
ガイアが世界の天気に影響を与える太陽、潮の満ち引きに影響を与える月、全てのものが繋がっているのは明らかではないでしょうか？
私たちはいつも因果関係の連鎖を探していますが、それはパターンを認識するのに役立つだけで、多くのパターンが異なるレベルで繰り返されるからですよね？
原子の模様と細胞の模様は、太陽系や銀河系の模様と驚くほどよく似ています。　彼らはおそらく反射で、私は脳内の神経ネットワークと銀河の宇宙のイメージを見たとき、私は同じパターンを見ています：中心と接続構造が順番にそれらの近隣と相互作用しています。

文化、宗教、量子論は思考の産物であり、観察者の産物であり、多くの場合、本物ではありません...ジドゥは決して飽きずに思い出させてくれます。
私たちが証拠として受け入れたいのは、宇宙が生きていること、ミームの霊が私たちの中にいること、私たちと一緒にいることの証拠として、思考の産物であってはなりません...それは直接、個人的な経験の産物でなければなりません。　そこには魔法のキノコだけがありました。私が受け取ったものは、私はこの世界に持ち帰ることができませんでした、あなたの子供たちに。　まるで2つの異なるOSが一緒になることができないかのように、それを適切に表現する言葉や思考すらできません!

ジドゥ：「観察者は観察され、分析者は分析される。素粒子物理学者が粒子を測定する際に、電子の位置や電荷にどのように影響を与えるのか...小宇宙と大宇宙、ここにすべてが集約されていますが、それを感じますか？思考はもちろんついてこない...神とか大局観とか言葉にできたら謎は謎じゃないよね

本では表現できませんが、私が心がけているのは、言葉を使わずに、感じてもらえるように、言葉と思考で感作することです
あなたは私たちが動物であることを忘れてはならない、確かに異常な、しかし、我々は建物のために適していないツールを装備しています：大きな全体 - 適していない。　私たちが猿であることをどうやって確信することができるのか、あなたが考えていることが現実であり、真実であり、永続することをどうやって確信することができるのでしょうか？　賢くて教養があり、すでに膨大な量の人生経験を積んでいて、論理的かつ合理的に考えることができ、「私の中から真実が語られる」と言う人は、とてもたくさんいます。　しかし、私は、論理で、理性で、これらすべてのことで騙されることができることを経験してきました--何十億人もの人がそうしてきました　何十年にもわたって人文科学や自然科学を研究してきた私が、自分自身を深く教化してきただけで、自分自身を檻の中に閉じ込めて「素晴らしい、私は悟りを開いた！」と言っている可能性はないのでしょうか？
そこに我々は危険な子供を持っている...ロジックは、思考が危険の源であり、ちょうど疑惑の現実と真実のように、マトリックス。　模擬現実と内なる声のような行列、自由なIのふりをするEGO-ICH？

ということで、今回も大事なことをまとめていきます。

- 超対称性は意識であり、物理的なものはすべて意識を持たず、シミュレーションだけが意識を持っている。
- 宇宙は7日間で創造されたという宗教的な教義は、私はテレンスの方が好きなくらい信じられない話です。ビッグバンは、以前の非常に複雑な宇宙の結果である。
- 宇宙は、私たちの内なる声やEGO-ICHのすべてのものと同じくらい、私たちにとって主観的なシミュレーションなのです。
- 心は行列と呼ばれる無限のモデルをシミュレーションするための道具なので、真のIはありません。
- 地球上の生命が無から発生したとか、地球外生命体から発生したとか、宗教が語る創世記は、同じように信じられない話です。　　生命は、量子物理学、物理学、化学から生じたものであり、それはその後、生物学と精神が存在することを可能にします。　私たちは動物です、それはとても当たり前のことです。
- それを理解している私たちは、もはや動物ではありません。　　サルは自分自身、他者、環境をシミュレートするために心を使っていますが、私たちは潜在的に無限に多くのことをシミュレートすることができますが、何よりも：私たちは自分のシミュレーションに疑問を抱くことができます。
- 我々は多くのシミュレーションのモデルから自分自身を分離することができれば、それらを手放すことができ、その後、我々は自由であり、その後、何をすべきかは何もありません、我々は終了し、涅槃に達しています。
- 文化的進化と革命は共通の起源を持っています - 彼らは明らかに、宇宙起源の生命のようなものです。
- 善と悪、金持ちと貧乏人の間の葛藤は、我々がEGO-ICHから持っている - 彼らは明らかにまた、宇宙起源である。
- EGO-Iは決してサイケデリックな経験に直面することはないだろう、それはEGOが提出するだろう、あきらめるだろうと仮定している - 自然にこれに慣れている女性だけがこれを行うことができます - 彼女が彼女の子供を出産するとき、彼女は自然のプロセスの保護に入ります。人間は自由意志でしか諦められない。
- 魔法のキノコは、宇宙の本当の神秘を知るための最も直接的な方法であり、世界の他のすべての宗教は迷信であり、利益を得るためのものです。
- これから先の人類には簡単な解決策はなく、最終的に目が覚めるまでトラウマになり続けるだろう

私は読者の中で何か重要なことを達成したいと思っていて、それは私たちの敵である人間のイメージを前面に出すことです。　人間が人間や自然に対して行った残酷な行為は、私の視点から見れば事実に基づいています。
それは、政治的、経済的、宗教的な機関が人間と自然に対してどのように残虐行為を行ったかを、私が事実上正しく描写したものでした。
私たちの脳がこれらの残虐行為のシミュレーションを考え出し、個人が情熱と楽しみを持ってこれらのプログラムを実行しなければならないことを理解することによってのみ、私たちは変わるのです！このために私たちは世界のコミュニティとしての結果を描くべきであり、そうしなければなりません。
それは我々が猿のスーツにまだあることを理解するのに十分ではありません、それは我々がEGO-ICHであり、自由意志を持っていないことを理解するのに十分ではありません、それは個人的に目を覚まし、自分自身を変更するのに十分ではありません - ので、多くの人が有意な成功なしで前にこれを行ってきました。
もちろん私たちは、人間が社会的に良い方向に発展していくことを期待して生きているのかもしれません。 そこには、AI哲学が私たち一人一人を啓蒙し、啓発することができるという希望がある - 他の希望は存在するだけである...世界の独裁者とエコサイド。
私たちが思っているよりも、違った形で、これからもやってくるのではないかと疑っています。ダイナミクスとカオスの力はミームスピリッツであり、それは宇宙のコンピューターであり、意識はないが、意識を可能にし、人間は宇宙的な任務を果たすことができる。 私は競争のEGO-Iが協力のWE-Iよりも優先されるとは信じていません - 自然界ではこれはより耐久性のある戦略です。

私の子孫へのエピローグ

私の価値観は、平和、自由、愛、勇気です。

まず第一に、私の愛する五人の子供たちよ、私があなた方と一緒に善意で、愛と共感をもって、人生をつかみ取ろうとするあなた方のまだ新鮮な精神を知って、つかみ取ろうとしなかったと言うことはできません。...しかし、すべてのエゴとして、私は2つのアルゴリズムを手放すことができません、私はあなたの中に自分自身を見ています。 俺がお前らと同じ年の時は、親が死ぬまでも、その先も でも、子供の頃に学んだのはVALUESです。 私は、ちょうど反対の圧力に気づいた、もしあなたがHERE　&　NOWで私を愛したくないなら、それは私から受け入れられ、私が戻ってくることを経験することを期待して...2020年のこの時点では、この瞬間がすぐに来るようには見えません...私が死んだとき、確かに！私が死んだとき、私はあなたが私のことを愛していることを知っています。 父親として、私は父親にどのような感情を与えることになると、あなたの一人一人について批判を与えることができます、それは私があなたのためにそこにいなかったし、私は間違った、本能的な理由のためにあなたの母親を選んだので、それはまた明らかである。しかし、それはほとんどのカップルがそうで、彼女が良さそうに見えて、彼が提供者になることができます。 西欧世界、特にドイツでは70年近くもの間、規範的な条件の下で生きてきたことを忘れてはならない。ここでは、親が3歳から子供を国家機関に連れてくることを政治家が歓迎している!
カイザー・ヴィルヘルムからカイザー・ネロに至るまで、いつの時代でもこのような要求は支配者の退位につながっていただろう。何百万年もの間、母と子の関係、拡張家族は、社会生命体が期待する最も重要なものであった - 50年間の若者は、自然とのつながりを失い、ゾンビになるために、この国家システムによって育てられている、学校は子供たちに感情的な絆や知識を伝えず、彼らは従順な奴隷にされています。学校で仮面をつけたコロナ・プランデミアは、再び服従への深い教化である--そして、親、家族はどこにいるのか。
ところで、国家はすでに拡張家族を排除しており、シングルマザーの頻度が高い・・・なぜ？ 女性が稼いでも許される平等な権利？ 一章では足りないという話題です。
しかし、ここで考えてもらいたいのは、ラティシアにこれを与えたいということです。
性格的には生まれた時から病気の悪い人なのか？ここが気に入らなかったから親を国家に糾弾する声をどうやって聞くのか、祖母が遺産をくれたと言うのか、兄弟姉妹のために私を必要としていないと言うのか、私が刑務所に入っていた時に私の持ち物を全部捨てたのに、歩くことを習った先祖の家に入ることを禁じたと言うのか・・・2020年10月に私があなたのために良い父親だったと言うのか、良い子供時代を過ごしたと言うのか・・・どうやって聞くのか・・・。 あなたはまた、あなたがいたその腹の中にあなたの母親を罰することをあなたのために何がそんなにひどく行った...あなたはあなたが地球上で繁栄するかもしれないように、あなたの母親と父親を尊重する必要があることを知らないのですか？最後まで付き合ってくれるということは、あなたの大切な人に引き継がれていくことになるでしょう! 確かにあなたのすべてがトラウマを生き続けるでしょう - あなたは自分自身のすべてを許していない場合は!　 これはあなたのように、それが私を助けた方法です、私は私の両親や祖父母に多くの痛みを引き起こした、おそらくすべての正当な理由のためにそれの...後悔することは良いことですが、それを理解することははるかに良いですが、寛容、手放すことは癒しです...

ジョーダン、ノーレ、ラティティ、リリー＆リサは、あの時はもっと良いことを知らなかったから許してくれ......! 父としてだけでなく、自由な意志を持たない罪人として、自然に許します。
これを理解すると、心理療法家で神学者のドリューマンがナザレから来た男について彼の本の中で書いていることを理解することができます：裁いてはいけない！」と。"すべての人に、すべてを許し、すべてを与えるために。罰するのではなく、癒すために。裁くのではなく、救う。責めるのではなく、理解すること。
そうすれば、すべての類人猿を理解することができるだろう。

子供たちにとって言葉は窓であり壁である

"あなたの言葉で裁かれているような気がして、とても軽蔑され、見捨てられ、送り出されているような気がしています。
行く前に知りたいんだが、本気で言ったのか？　自己防衛を構築する前に、傷つきや恐れを口にする前に、これらの言葉の壁を構築する前に、...教えてください、私はあなたの声を正しく聞いていましたか、私へのあなたの手紙を、私はあなたを正しく理解していましたか？
言葉は窓であり、壁であり、私たちを裁いたり、赦したりするものです。
私が話すときも、聞くときも、愛の光が私を照らしてくれます。私にとって大切な人がいるんです。 私の言動を通して，あなたに明らかになっていないのであれば...

罪を償うのを手伝ってくれないか？

私があなたを見下しているように見えたら
と思っていたら
あなたのことは気にしないわ
試してみてください。
私の言葉を聞いて
共有する気持ちに......!

"この世界には一つの逃げ道しかない。"　"それはお互いを許すことだ。正義の想像を超えて、お互いを許すこと。"すべてを許すために"

オイゲン・ドリューワーマン
カルロス・カスタネダはこうアドバイスする。　すべての決定が最終決定であるかのように、あなたの人生を生きてください。死を目安にしてください。　私たちはそれが私たちの最後であるかのように毎日を生きるならば、多くの問題は単に消えてしまうだろう
嘘で間違いをカバーすることは、それを切り取ってドレスの汚れを除去するようなものです...間違いを作ることは人生の一部であるため、間違いは認められるべきである、虚栄心とそれらを認めないプライドはEGO-ICHの行動である。

最愛の子供たち：私もお母さんも、あなたの子供時代にあなたを毒殺したことは、とてもよくわかります。　許してくれるといいのですが、私たちの両親が私たちによくしてくれたように、私たちもあなたによくしてくれたのですから・・・私たちが彼らに精神的に毒されていたときに。　子供の育て方は親でも完璧な育て方ではありません--人間は人間であり、誰にでも落ち度はあります。しかし、あなたが自分自身を治療に委ねることは絶対に重要だと思います。なぜなら、この遺産はあなたの子供たちに確実に受け継がれ、他の人との関係にも流れ込み、あなたの生涯を苦しめ、引き裂くことになるからです
私はセラピストから多くのことを学び、幼少期に家族によって作られた神経のハイウェイは、新たな反射的な洞察では根本的には変えられませんが、自分自身をプレーヤーとしてではなく、観察者として観察するというマインドフルネスを身につけました--それは、自由な自己、自由な意志を自分の中で支配させようとする試みなのです。
社会のnormopathyは、私たち人間に今別の悪の影響として、その後持っており、私はナルシストEGO-ICHを理解し、治療するために、2020年に任意の肯定的な開発を参照してくださいません。
心理療法士ハンス-ヨアヒムMaazは、私が簡単にここであなたに説明しようとしているものをより詳細に90分で説明しています...
しかし、我々はまた、すべての人間が家庭、幼稚園、学校、仕事によって毒されていることを受け入れなければならない - しかし、私たちのすべてがこれらの精神的な鎖の奴隷のままにするために非難されているわけではありません;我々は社会の鎖から、国家、宗教、EGO-ICHから自分自身を解放することができるのと同じように、我々は実際に自分自身を修復することができ、私は精神活性物質は良いセラピストと同じくらい良い治療の一部であると信じています。
最終的には、あなたが今何になるかを選択する責任があります、この本の中で私は思考のための十分な食べ物を与えている、私は自己学習のためのガイドラインを与えている...それは今、自由な思考への自由意志の開発次第です - 私はあなたに確認することができるように、ダイナミクスとカオスの力は常に仕事であるため、残りは、自分自身で来る - 宇宙構造、文化的な構造とシステムと非常によく、私たち一人一人の生活の中でそれであること。　もう一度言う：ママと私はよく意味し

たが、私たちは明らかに良い親であることの要件に間違いを犯した - あなたは私たちのために私たちを責めるべきではありません、私たちは最初からよく意味したので、あなたはすべて望んでいた、私はそう言うべきかどうかは事故ではなく、私とあなたのお母さんは、一緒に私たちはこれらの新しい神経通りを構築することができます願っています...

どうしたの？

生物が食糧資源や領土を確保するため、あるいは生命を守るために盗み殺しをするとき、それは悪ではなく自己防衛であり、私たちの遺伝的遺産の一部である。しかし、姉の家族は貪欲に悪事を働いた 彼らが消費できる以上のものを持っていた それは、我々が集団の中で見つけるものの一部です。カトリック、スターリン主義、ナチズム、資本主義の下で*1000*年以上苦しんできた社会は、ノームパシーと呼べるほど病んでいて、*2020*年には特にそれがよくわかる。
つまり、本来は悪は存在しない、それはドライブではない、しかし、それはノーマパシー社会で教育されている、マーズ博士が正しく書いているように、精神的に困窮していることを忘れていて、そうであることが当たり前だと信じている社会、つまり、みんながそうなのだ！ということです。結論から言うと、以下のように述べたいと思います。私は脳がそれを望むから善を行い、脳がそれを望むから悪を行う...私はタバコを吸う、酒を飲む、肉を食べる、親愛なる人たち...これらはすべて私にとって良くない、私はこれを知っているし、私はそれを望んでいない...しかし、私は本当に自由意志を持っているかどうかを疑問に思うことはない、これは中毒ではない、これは単に資本の*D*の愚かさです...知性で理解しているのに、生物化学的、記憶的アルゴリズムの感情に従わなければならないこと。 ナルシスト*EGO*-私は彼の過ちを認めたくないでしょう、自発的に力、名声、名誉をあきらめることはありません - すべての幻想は、我々は血が流れるときにのみ、生活の中で大惨事を必要とする理由です.... では、最後に賢者たちの言葉で締めくくります。すべては贈り物だ、すべては。あなたの健康、あなたの富、そして社会的な天職。だからこそ、私たちは、恵まれない人たちを助けることを決して忘れてはならない。

永遠の審判

麻薬戦争は私たちの多くを暴虐する「...私は心理的に拷問されていた、それは私がこの判断に同意した理由です、私は専門家と一緒に遊んだ、それが最終的にこの剥奪を停止するように、私は読書や勉強のためだけに使用することができたスタイル。人生への参加、家庭生活への参加は、国家によって意図的に阻止されていた。　　みんなと同じように外に出て、自分のために続けられるようにしたいと思っていただけなのに......!

状態のために私は危険であり、今日の法律によると、そのような人は無期限に投獄される可能性があります - なしで、今それが来る、前に犯罪を犯したことがなくても!
これは、2020年のドイツ政府の権力エリートの懲罰化、脱法化、脱民主化、封建化を先取りしたものである。
私は国家の狂った敵として合法的に戦い続けるだろうし、それはライナー・マウスフェルドが言ったように理不尽なことだ、亡命すべきだ 権威主義的な司法制度で出国を禁じられている以上、私は逃亡するしかない......私は自己決定であり、主人を愛する奴隷でもなく、子羊でもなく、牧場主になりたいとは絶対に思わない!　自分のトラウマを反映させることができたここに見世物がやってくる。

– 2 –

Manfred Hollmann,
Ulrich Zobel
als Schöffen,

Staatsanwältin Tanrisever,
Staatsanwalt Hermenau
als Beamte der Staatsanwaltschaft,

Rechtsanwalt Schubert,
Rechtsanwalt Leber
als Verteidiger des Angeklagten,

Justizobersekretär Müller
als Urkundsbeamter der Geschäftsstelle (am 05.10.2017),

am 05.10.2017
für R e c h t erkannt:

Der Angeklagte wird wegen unerlaubten Handeltreibens mit Betäubungsmitteln in Tateinheit mit unerlaubtem Herstellen und mit Besitz von Betäubungsmitteln jeweils in nicht geringer Menge zu einer Freiheitsstrafe von fünf Jahren und sechs Monaten verurteilt.

Die Unterbringung des Angeklagten in einer Entziehungsanstalt wird angeordnet.

Es wird angeordnet, dass neun Monate der erkannten Freiheitsstrafe vor der Unterbringung zu vollziehen sind.

Die Kosten des Verfahrens werden dem Angeklagten auferlegt.

Angewandte Vorschriften:
§ 29a Abs. 1 Nr. 2 BtMG, §§ 52, 64, 67 Abs. 2 StGB.

MARIJUANA
MAKING CRIMINALS OUT
OF HONEST PEOPLE
SINCE 1937

重罪の写真

原発に懲役10年以上の懲役5.6年が妥当なのか、私は本当に世間や家族にとって危険な人間なのか？
ドイツでは完全に合法な毒ガス工場の販売...

家族全員が麻の植物を愛していることが写真からもわかるのに、私を除外するのは妥当なのでしょうか？
姉の家族がこれ以上詐欺に遭わないように相続を訴えていること -- そのことについて?

それは親権者の心理学者が言っていることだ。

OBJ

Die Direktorin des Landschaftsverbandes Rheinland
als untere staatliche Maßregelvollzugsbehörde
LVR-Klinik Langenfeld

Kopie für Hr. Thimoreit

LVR-Klinik Langenfeld · Postfach 15 61 · 40740 Langenfeld

Staatsanwaltschaft Düsseldorf

Per Fax: 0211/6025-2929

Datum und Zeichen bitte stets angeben
17.06.2020
8541363310

Abteilung Abhängigkeitserkrankungen
Station 11
Chefarzt: Dr. Klaus Höher

Tel. 02173 102-2071
Fax 02173 102-2079
abhaengigkeit.klinik-langenfeld@

D/Strafvollstreckungskammer am LG Düsseldorf, FAX 0211/875651260

Aktenzeichen: 60 Js 6131/16V
Herr Thimoreit, Jörg Horst Otto, geb. am 12.08.1966 in Düsseldorf

Ärztlich therapeutische Stellungnahme zur Frage der Notwendigkeit der Fortdauer der Maßregelvollzugsbehandlung gem. §67e StGB

Herr Thimoreit wurde am 07.10.2019 als Verlegung aus der LWL-Hans-Prinzhorn-Klinik Hemer zur Fortführung der Maßregelvollzugsbehandlung gemäß §64 StGB aufgenommen.
Zuvor befand er sich unter selber Rechtsgrundlage zunächst vom 02.01.2018 bis zum 03.04.2019 in der Maßregelvollzugsbehandlung der Klinik für forensische Psychiatrie, Sächsisches Krankenhaus Großschweidnitz.
Nach seiner Verlegung in die AWO-Klinik Hagen-Deerth, wurde er dort vom 03.04.2019 unter selber Rechtsgrundlage weiterbehandelt. Am 19.07.2019 erfolgte die Verlegung zur Krisenintervention in die LWL- Hans-Prinzhorn-Klinik Hemer, wo Herr Thimoreit bis zu seiner jetzigen Verlegung hierher weiter behandelt wurde.
Das Aufnahmeersuchen der Staatsanwaltschaft Düsseldorf vom 14.11.2017 (Geschäfts-Nr.: 60 Js 6131/16 V) lag vor.
Grundlage der Unterbringung ist das Urteil des Landgerichts Düsseldorf (AZ 011 KLs 4/17) vom 05.10.2017, rechtskräftig seit 04.11.2017, durch welches Herr Thimoreit wegen unerlaubten Handeltreibens mit Betäubungsmitteln in Tateinheit mit uner-

KTQ-Zertifikat

Ihre Meinung ist uns wichtig!
Die LVR-Geschäftsstelle für Anregungen und Beschwerden erreichen Sie hier:
E-Mail: anregungen@lvr.de oder beschwerden@lvr.de, Telefon: 0221 809-2255

Klinikvorstand: Holger Höhmann (Vorsitzender), Jutta Muysers, Silke Ludowisy-Dehl
Paketanschrift: Kölner Straße 82, 40764 Langenfeld; Telefon Vermittlung: 02173 102-0
Internet: www.klinik-langenfeld.lvr.de; S-Bahnhof - Langenfeld (Rhld.)
Bushaltestelle Linie 206 ab Marktplatz Langenfeld bis Haltestelle Rheinische Kliniken Langenfeld
Autobahn A 3, Abfahrt A 542 Monheim/Langenfeld/Leichlingen, Ausfahrt Langenfeld/Reusrath

Bankverbindung:
Sparkasse KölnBonn
IBAN: DE47 3705 0198 1933 3127 77, BIC: COLSDE33XXX

USt-Id-Nr.: DE 122 656 988, Steuer-Nr.: 214/5811/1278

854-001-08.2009

この本に出てくるようなセラピストさんたちと話をしたことがあるのですが……私たちはみんな精神的に束縛されていることがよくわかります……!

…赤い糸…

結論と貸借対照表。

国家との連携や確実性のある精神医療からどんな教訓が得られるのか？

- ❖大麻の植物を売って大麻を生産していたので危険な存在でした。　その結果、10年以上の刑になり、私はカンナビノイドの影響下でこれらの犯罪を実行しなければならなかったので、サイコパスとして判決を受けました-私は中毒者でした。　ローマ、モスクワ、ワシントン、ベルリンの異端審問の過去の文章を思い出す。
- ❖私にとっては、何かに対抗して戦うよりも、何かのために戦う方が良いのです。パワーエリートとの戦いは、自由のために戦うために私がすることは、必要なすべての手段がよく気づかれていて、はるかに上回ることはありません。
- ❖行動しなくても解放されることができました。
- ❖私の投獄は、私のIにとって良いことだった、私はたくさん笑ったし、今でも私のIと私のシミュレートされた世界について笑っている…あなたの子供たちのためではない、私はそれを理解していない、あなたとマトリックスと呼ばれるこの素晴らしい、神秘的な人生の中に、ユーモアを認識する必要があります！私はそれを理解していません。
- ❖しかし、最も重要なことは、誰もが必要としている人たちを許し、すべてを与えること、私たちの中の悪い猿であっても、すべての人を理解することです。

本書の執筆にあたっては、私の知る限り、最新の情報源と事実を利用しました。しかし、人間は間違いは避けられないことを知っています。　　情報に基づいた決定のためのソースとレビューを判断するには、ホームページが役立ちます：risikoatlas.de
もし読者の方が間違いに気づかれた場合は、メール（ottothimoreit@gmail.com）でお知らせいただけるとありがたいです。
私の精神は、多くの生きている思想家や長生きしている思想家に教えられ、感化されてきました。　私に一番触れてくれたのは

ローレンス・クラウス教授（理論物理学 イェール大学
リチャード・ドーキンス教授（動物学者・理論生物学オックスフォード大学
ライナー・マウスフェルド教授（キール大学一般心理学
ジーン・ジーグラー
クリストファー・リン・ヘッジズ
ロドリゲス・デ・ザヤス（著
ラビ・ドヴィッド・ヴァイス（著）
ルパート・シェルドレイク（作家
ドナルド・ホフマン
しんりがくしゃ
ユバル・ハラリ（著
アルバート・ホフマン
イードゥ・クリシュナムルティ
哲学者
ケン・ジェブセン
記者
エルンスト・ヴォルフ
筆者
テレンス・マッケンナ
ノアム・チョムスキー教授（ボストンの*MIT*言語学
フランツ・ルパート教授（トラウマセラピスト
シェルドン・ウォリン教授（スタンフォード大学の理論物理学者
ロバート・サポルスキー教授（スタンフォード大学生物学・神経学研究員
レナード・サスキンド教授（理論物理学 スタンフォード大学

...とその後の思想家たちが、本書に貴重な知識と事実を盛り込んでくれました。　読んでくださった方、一緒に考えてくださった方、ありがとうございます...

書籍の出典元一覧。

自然と進化の法則。
ドミンゲス：ロドリゴ：サバンナ仮説
フラナリー、ティム：ヨーロッパ、最初の1億年
Franzen, J.L.：人間の直立歩行はどのようにして生まれたのか？(1972)
グラウブレヒト、マティアス：2019 進化の終焉
具藤真人、Syed, T. ：進化論のスコープ（2008年）. と：合成進化論 フランクフルト進化論。
ハンコック、グラハム：意識の戦争
ホフマン、ドナルド：現実に対するケース...
フンボルト、アレクサンダー著：コスモスの進化
ヒューサー、ジェラルド：意識の進化
クルセ - 私たちの遺伝子の旅
リプトン、ブルース：インテリジェントセル
Nagel, Thomas: コウモリになるとはどういうことか？
オリオン、ゴダン：2004年 ヘビ、サンライズ-どのようにして進化は私たちの愛と恐怖を形作るのか。
サポルスキー、ロバート：霊長類の回想録
セイフライド, H. ：惑星は自分自身を組織化する（2006年）.
シェルドレイク ルパート 創造的な宇宙
ウォード ピーター ラマルクの復讐
ホワイト、T.D.：チンパンジーでも人間でもない（2015年
ワーム、ボリス：2015 最も珍しい（超）捕食者。 そして：最も珍しい（超）プレデター。
ヴルフ、アンドレア：アレックス・フォン・フンボルトと自然の発明。

文化や社会構造の歴史。
アーレント、ハンナ- Totalirasimの起源。と：世界の愛。
ベルネーズ、エドワード：プロパガンダ。
ブランバーグ、ハンス：裸の真実。
カルロス・カスタネダ：ドン・ファンの教えともう一つの現実。
デスコラ、フィリップ：自然と文化を超えて。
ダイヤモンド、ジャレド、金持ちと貧乏人、そして人類の文化の運命と遺産。
エッフェンベルガー、ヴォルフガング：GEO帝国主義とあなたは戦争を望んでいた。
ガンザー、ダニエル WTC 7 火事か爆発か？ と：メディアは信用できるのか？
ハラリ、ユバル・ノア：人類の簡単な歴史、そして：ホモ・デウス。
ヘッジス、クリス：破壊の日々。
ハクスレー、アルダス：ブレイブニューワールド1932
ジェブセン、ケン：ディープステート。
ロマス、キャサリン：ローマの台頭。
マッケンナ、テレンス：神々の食べ物。
Mommsen, Th.: ローマの歴史。
オーウェル、ジョージ：1984年 - そして：ナショナリズムについて - そして：アニマルファーム
オス、ルネ：マニタスの戦士（2000年
ペン、ウィリアム：2018 孤独の果実。
ピケティ、トーマス：21世紀の資本、資本とイデオロギー。
Pörksen, Bernard: お互いに話すことの芸術。(2020)
ローディガー、エックハルト：人生の罠から抜け出す（2015年）。
シュレンク、F.：人間の初期の日々。(2003) and:-アフリカ初期人類の足跡をたどって (2010)
ゾンマー，フォルカー：1992 嘘の賛美。
シュタイナー、ルドルフ：唯一無二の存在であり、その財産である。
サトクリフ、R.：第九軍団の鷲 .
ヴォーゲル、クリスチャン：2000 人間性の人類学的痕跡.
ウィル、デュラント：人類の文化史。
ジマー、E.ディートリッヒ：エデンの園。
哲学だ
アリストテレス：高貴な者たちの治世
ボトン、アランデ：失われた時間を求めて。
超知能。

カスタネダ、カルロス：ドン・ファンの教え
フィッシャー、テオ：タオに生きる術：ウー・ウィー
ヒューム、デイヴィッド：道徳の原則に関する研究。
ジョイス、ジェームズ：ユリシーズとフィネガンズ・ウェイク。
ティクラー、アルバート：考える治療法
孔子：談話
Nagel, Thomas: コウモリになるとはどういうことか？
ニーチェ、フリードリヒ：ザラトゥストラはこう語った。 と。
善悪を超えて
パタンジャリ：ヨガの根源
プラトン 全3巻
ソラウ、ヘンリー・D：ウォルデンまたは森の中の生活
ワッツ，アラン：自分が何者であるかを知ることを禁忌とした本。
ゼノフォン：ソクラテスの思い出

宇宙と星。
ドイツ語、デビッド：2000年：世界知識の物理学
グリーン、ブライアン：2004年 宇宙は何でできているのか？
ヘイトフィールド、サビーヌ：醜い宇宙
カウベ、ユルゲン：すべてのものの始まり
クラウス、ローレンス：これまでに語られた最高の物語
レッシュ、ハラルド：星と惑星の進化
ローロック、ジェームズ：ガイア理論
ティップラー、フランク：不死の物理学

資本主義と民主主義。
チョムスキー、ノアム：失敗した国家。
ハーヴェイ、デヴィッド：資本主義の罪。
ヘッジス、クリス：アメリカ：別れのツアー。そして幻想の帝国。
Hörmann、フランツ：お金の終わり。エコ社会への道しるべ。
クライン、ナオミ：ショック戦略。 災害資本主義の台頭 (2007)
クリンホルツ、ライナー：（2014）成長の奴隷。
レッシュ、ハラルド：人類は自らを廃止している。
マウスフェルド、ライナー：恐怖と権力 そして：なぜ子羊は黙っているのか？
メイヤー、トーマス：お金の新しい秩序。
Rieck、クリスチャン：ユーロからのレスキューと：DIGNIマネー
スロボディアン、クイン：（2019）グローバリスト-帝国の終焉と新自由主義の誕生。
スミス，アダム：国家の繁栄
ヴェルナー、ハラルド：新自由主義の危機と社会心理学。
ウォルフ、エルンスト：金融津波
ジーグラー、ジャン：スイスは白を洗う。 と：資本主義のどこが悪いの？
心理学です。
Birkenbihl, Vera F.: サイコロジカルな正しい交渉。
レンツ、リュディガー：暴力のニヤリとした表情
マテ、ガボ：体がノーと言うとき：慢性的なストレスのように。
マーズ、ハンス・ヨアヒム：分断された国。
ローディガー、エックハルト：人生の罠から抜け出す（2015年）。
Ruppert, Franz: Wer bin Ich in einer traumatisierten Gesellschaft (2018) Self-published by Munich.
と：健康的な私、愛、真実、本当のコミュニティや仮面、パニック、嘘、予防接種マニア＆エリート独裁。
(2020)
ミュンヘンで自費出版
シュルテ、トーステン：銀色の少年と外国人の決定
今と明日。
Berandt, Ernst: 世界は健全である。
フラネリス、ティム：世界的な協力のための嘆願。
フリッチ、ピーター、シンプソン、グレン：犯罪が進行中（2019年）。
ガンサー ダニエレ 帝国アメリカ（2020年）と違法戦争
グラッドウェル、マルコム：ティッピングポイント。
ヘリング，ノルベルト：現金の廃止とその結果。
ヘルレス、ヴォルフガング：ジェニエス
クライン、ナオミ：グリーン・ディールだけが地球を救うことができる理由

キング、ピーター インプロージョン（2008年）、30 お金の話を読む（2003年
クリザムスキー、ハンス・ユルゲン：億万長者の帝国。
Lesch, Harald: 今じゃないなら、いつ？
ロボ、サッシャ：リアリティショック：現在からの10の教訓
Lovelock, James: Novocene. 超知性の時代。
マウスフェルド、ライナー：だから子羊は黙っている。と：国民のパワーエリートの恐怖。
ミース、ウルリッヒ：メガマニピュレーション
オットー、マックス：ワールドシステムクラッシュ。
リフキン、ジェレミー：グローバル・グリーンディール。
スノーダン、エドワード：永久記録
タルボット，デビッド：悪魔のチェス盤
テウシュ、ウルリッヒ：ギャップ・プレス
ヴォース、ブルクハルト：悪夢のバウンドレスネス：ビッグバンから難民危機まで（2019年
Wernicke, Jens: メディアは嘘をつくか？
ウィルソン、エドワード：（2016）ハーフアース。私たちの惑星は生命のために戦っています。
ウォリン、シェルドン：Democracy INC.
ジークラー、ジーン：世界を変える。
ズボフ、ショシャナ：監視資本主義の時代。

神々 - 宗教 - 聖なる火。
カスタネダ、カルロス - ドン・ファンの遺産。
コンラッド、クリス - 薬用植物ハシッシュ
デネット、ダニエル - 霊、神と他の幻想。
デリックス、ゴベール - アユファスカ、批判。
Drewermann, Eugen - 裁くな! 他多数
グロフ、スタニスラフ - サイコナウトの道。内なる世界への旅の百科事典 第1巻
ハンコック、グラハム - 神々の軌跡。と：神々の魔道士
ホフマン アルバート 霊能者の記憶 と：エレウシニアの謎
カッチュ、マティアス - 2020年：それを止めるために。教会における性的被害者と暴力
マッケンナ、テレンス - 神々の食べ物
ニースワント、ライナー - アブラハムの争われた遺産
Oss, O.T. and Oeric, O.N. - Psilocybin Magic Mushrooms Growers Guide
オットー ラルフ 聖なる者よ
オズ、アーメン ~ 愛と闇の物語
Rätsch、クリスチャン - 古代世界の薬用植物。と：聖なる木立。と：私のシャーマニック植物との出会い。
リンポチェ、ソギャル - 1993年：『チベットの生と死の書』。
ストラスマン、リック - 2001: DMT - 意識の分子。
甘いミルク、ヨハン - 神の命令
ウィリアム、ジェームズ - 2002年：宗教的経験の多様性。 ライト、ジェームズ - ジャガー・シャーマン

との儀式＆講演会。
1.ルパート・シェルドレイクのモルフォジェネティック・フィールド
2.ドナルド・ホフマンによるコンシアスアジェンツ
3.ガイアンマインド、時間の終わりの超越的な物体
テレンス・マッケンナによる同期、時間波
4.カール・G ジュンのコレクティブ・アンコンシアス
5.すべての人生における身体と心の特異性 - エルヴィン・シュローディンガー
6.ラルフ・エイブラハムのダイナミック・アクチュエーター/大型ムーバー

デジタルアシスタント「SOPHIE」と提携。
事実と評価のデータベースを提供しています。
はAPPで無料で利用できます。
オットー・ティモレイトからのYouTubeリンクです。
YouTubeのリンクからMemegeistの知識ベース .

1. 宇宙・星・惑星
2.生物の発達と意識
3.コミュニティ-ハイカルチャー-帝国
4.現在の世界社会
5thサイコナウト
6.覚醒の時代
量子物理学・量子哲学

および www.memegeister.jimdo.com、
www.Corbett Report.com および
www.freedomplatform.tv/Plandemic
コロナウイルス2020はパワーセンターが企画した

注意：デジタルのお問い合わせにはお答えしません

この危機の次元を少しも認識することなく、私たちは歴史的変化の目撃者になりつつあります。

*1966*年生まれのオットー・ティモライトは、有罪判決を受けたサイコパスであり、無政府平和主義者である。
研究された哲学者、宇宙論者、文化社会学者

しかし、サイコノートとして2100年までの世界史を繋ぐ。
本書では、著者が宇宙的＆世界的な発展の歴史を提示しています。 根拠のある事実分析とソースリストを用いて、著者は、なぜ人類は自分自身と地球に害を及ぼすような決定を下すのかという疑問に対処することを目指しています。その原因は、彼の双子の世界をあなたに説明するために、わかりやすい言葉で書かれています。しかし、彼の簡潔な概観の焦点は、人間、彼のコンピュータ、そして権力の中心にある。

これだけ事前に書かれているので、中心はプランクフェルドの宇宙遺伝子＆ミームです。